No.135
NOVEMBER 1999



Art Director
加藤 恵 MEGUMI KATO

Designers
エステム
谷本 里奈 RINA TANIMOTO
石井 充子 MITSUKO ISHII
小林 慶一 KEIICHI KOBAYASHI

Photographers
大内 政典 MASANORI OUCHI
山本 季之 TOSHIYUKI YAMAMOTO
斉藤 泉 IZUMI SAITO
谷本 夏 NATSU TANIMOTO

Stylist
黒田 多美子 TAMIKO KURODA

Editor in Chief
豊岡 昭彦 AKIHIKO TOYOOKA

Senior Editor
丸山 隆章 TAKAAKI MARUYAMA

Managing Editor
今井 健史 KENJI IMAI
南波 俊幸 TOSHIYUKI NANBA

Associate Editors
森谷 一敏 KAZUTOSHI MORIYA
高橋 誠 MAKOTO TAKAHASHI
岡本 浩 HIROSHI OKAMOTO
塩崎 泰三 TAIZO SHIOZAKI
山口 愛 AI YAMAGUCHI
雨宮 秀樹 HIDEKI AMEMIYA
渡邉 邦子 KUNIKO WATANABE

Editorial Staff
ランディング
インフォメディア

Publisher
大村 厳 IWAO OHMURA

CONTENTS
# MACLIFE





CONTENTS
# MACLIFE





Cover Design：MEGUMI KATO

Cover Photo：MASANORI OUCHI

Stylist：TAMIKO KURODA

表紙：DRESDEN KRISTALL ＋ 乙女りんご

P.33 CoverStory参照


月刊マックライフ　1999年11月号（No.135）
平成11年11月18日発行 第11巻第11号通巻129号
定価 980円（本体933円）
発行／株式会社エクシードプレス
発売／株式会社ビー・エヌ・エヌ
〒102-0074　東京都千代田区九段南2-7-6
相互九段南ビルディング

編集部　TEL 03-3238-9261／FAX 03-3238-9584
販売部　TEL 03-3238-1622／FAX 03-3238-1324
広告部　TEL 03-3238-1623／FAX 03-3238-1324
印刷／図書印刷株式会社

Cover Story



DRESDEN KRISTALL（ドレスデン・クリスタル）花器+乙女りんご

# Crystal Handle

Power Mac G4を見た時の驚きは、醜いアヒルの子が白鳥だったと知ったときの驚きだろうか？最も特徴的だったのは、このプロダクトデザインのポイントである四隅のハンドルを完全な透明にして見せたことだ。青と白のこれまでのデザインも、独特の造形を際だたせる意味で「躍動感」を表現していたように思うが、色と質感を変えただけで、これほど変わるとは誰が予想できただろうか？やはりアップル社、そしてジョナサン・アイブはあなどれない。



Power Mac G4のデザインで、もっとも特徴的なのは四隅のハンドル。そして、それが透明なことだ

**ドレスデンクリスタルの花器**

ドレスデンはドイツ・ザクセン州の都市。18世紀に始まったクリスタルガラスは、質の高さと切子細工で注目を集めた。ドレスデンは第二次世界大戦の連合軍の大空襲で、街の大半が破壊され、原爆こそ使われなかったものの広島・長崎にも匹敵する惨劇として有名。この時、捕虜として同市に滞在したカート・ヴォネガットがその体験を元にして書いた『スローターハウス5』『母なる夜』を知る人は多いかもしれない。

戦後、東ドイツにあったため、復旧もままならず、倒壊した建物も最近まで残っていたという。音楽祭や美術館など、文化の香り高い都市としても有名。

# BREAK SHOT!

essay

かつてないから買ってない!?

# 古い機や買はづto become G4の一体型を　待つ苦知るらむ

松尾菓匠

まつくやまとうた

文・絵●H・Oタニ





詠み人は、一体型Ｍａｃが好きだ。PowerMac G4は欲しいが、買わずにiMacを使う。G4搭載の一体型の発売はいつだろうか。待つ苦はＭａｃに通ずる。

詠み人…松尾菓匠（まつおかしょう）
飴職人・Expo巡りの旅の途中
代表作「まっくの細道」

幕張へ行かなかった方のために、また行った方にも思い起こしてもらえれば、と遅ればせながら、WORLD PC Expo '98（あっ！　こりゃ遅すぎ）、もといExpo'99の報告をひとつ、ふたつ。

これを見なけりゃ始まらない、Appleブースのi Book。「取りあえず行列を見たら並べ」という国もあるようだが、デモ機を少なくする→人が並ぶ→人気の品→また人が並ぶ、という法則で、デモ機の数を絞っていたのだろうか。それならいっそ、マシンをまったく置かないという、あっと驚くようなデモはどうだろうか。「快挙！怪挙？デモ機１台もなし！」の大見出しが各雑誌を飾ったに違いない。露出を少なくすれば、どうしても見たくてショップへ行ってしまう。さすがパソコン界のHikkiと賞賛を浴びただろう。

i Macならあまり持ち上げたりしないが、iBookは、みんなが「開く」「たたむ」「持つ」「逃げる？」という行程を試し、更に２回も繰り返したりするので、５人並んでいるだけで20分以上待った。端の列に並んだりするともう大変、通りがかりの人も立ち止まり、人が触るのを見ている。iBookを見ているんだろうが、「何いじってるんだ、わからんクセに」なんて視線が刺すようで落ち着いて見られなかった。

午前中にも関わらず、カタログはその日の分がもうなくなっていた。ペーパーメディアを減らし、Web上で確認せよということか。インターネット時代にふさわしい対応と感心した（違うだろ！）。

次にPower Mac G4のコーナーへ。グラファイトカラーに包まれた匡体の把手は、夜店の水飴のようだった。キャンディーの面目躍如である。ステージ上ではPhotoshopを使ったG4とCinema Displayのデモが始まろうとしていた。その時、天女の羽衣のごとく「gogogo」Tシャツが空から降ってきた……司会者が何枚か投げたのだ。これをうまくゲット！　ラッキーと思っているうちにデモは終わったので報告はない。

そういえば、これまで自分で買ったMacはみんな一体型であった。Quadraも8100もG3も欲しかったが買わずじまいだ。そんなことを思うと、「かつてない性能のマシン」のPower Mac G4も、ただの「買ってないマシン」になってしまうのだろう。

もうひとつ、前号で幸い「e-one」を見ていないと書いたが、今回ブースが近かったので、不幸にも見てしまった。失笑を買ったのは、「iMacがたくさん並んでいるが、何のデモか？」という質問を何人かがしていたことだ（信じないでね！）。

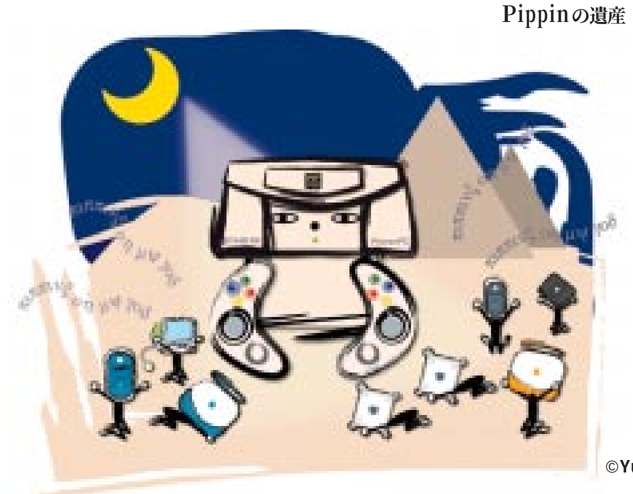
無念！　と思ったのも束の間、マクハリブルー？　の「e-one」は店頭からは消えてしまったようだ……見てよかった。

あれだけ広い会場で見たのはこれだけ。Expo遅報としてお届けした80分間世界一周（してないが）の旅は終わったのである。

# BREAK SHOT!

essay

Pippinの遺産



©Yukiko Kimishima

# Pippinに関わった者にはある種の「絆」があり、実は裏で生き続けているのだ。

姉歯　康＝ライター

結果は確かに大切である。が、それ以上に原因が大切な時もある。しかし、原因を結果ほど正確に伝えるのは難しい作業である。

多くの人は、原因をシンプルに考えたがる。たとえば、野球のオリンピック予選で「日本が韓国に負けた」という結果に対して、「エラーがあったから」という原因を挙げるという具合である。だが、実際はそれだけが原因ではない。試合の中ではさまざまな駆け引きがあり、その一つ一つが重要な原因なのである。原因を絞り込んだほうが解釈するのに都合がいいのだが、逆に見失ってしまうことも多い。これはパソコンの世界でもまったく同じこと。シンプルに考え過ぎると、ウソの常識が一人歩きすることになってしまう。

たとえば、今、私がこの原稿を書いているPowerBook 2400が壊れやすいという常識。2400は、おそらく日本で最も修理店に持ち込まれることの多いマシンである。だからといって「2400が他のマシンよりもヤワだ」と考えるのは、「ゴン中山は故障が多いから弱い」といっているようなものだ。彼が長い間、所属チームだけでなく、日本代表チームでも活躍しているという事実を忘れていないか？

そもそも、PowerBook 2400ユーザーにはマシンを頻繁に持ち歩く人が多い。当然、過酷な条件で使用することになる。これをデスクトップマシンや、たまに持ち歩くマシンと比較するのはナンセンスだ。

もう1つ、「2400は手の大きい米国人には向かない」という「常識」があるが、私はこれも疑っている。米国のアップルが勝手にそう思い込んで、十分にアピールしなかったのではないだろうか？　現に、2400を愛用し続けている米アップル社員もいる。宣伝しないで、勝手に失敗だったと思い込んでいないか？

そして私が声を大にして言いたいのは、Pippinについてである。Pippinとは、かつてアップルがインターネット時代を見据えて打ち出した「Mac OS搭載マルチメディアマシン」の規格である。このライセンスを受けたバンダイが、「Pippinアットマーク」という製品を販売した。結果は……失敗といっていいだろう。当時、失敗の原因はその「はっきりしないコンセプト」などと言われたものだ。

しかし、私の見方は少々異なる。問題点は、まず販売方法にあった。価格の低下を恐れたバンダイが、店頭での書類申し込み販売という方法を選択した。これでは衝動買いができない。また、パソコン店で販売しなかったのもマイナスに作用した。

もう1つは、米国アップルが十分な技術サポートを提供しなかったこと。日本のアップル、バンダイ、そして誰よりデベロッパーの方々は実によく頑張ったが、米国からのサポートは手薄だった。Pippin用タイトルが、一部のPerformaで起動時のトラブルを引き起こすという「困った仕様」もあった。アップルの技術をもってすれば簡単に解決できそうな問題がいくつも放置されていた。米国サイドは本腰を入れていなかったのだろう。

もし、これらの問題がきちんと解決されていれば、Pippinはヒットしただろう。少なくとも、当時Pippinに関わった人たちは、皆成功を信じていた。あの時期ほど、多様な人間がMacのコミュニティに飛び込み、協力し合った時期はない。おそらく今後もないだろう。

そういった意味で、Pippinが残してくれたものは少なくない。あの時期にPippinに関わった者にはある種の「絆」があり、実は裏で生き続けているのだ。今も「Pippinつながり」によって数多くのソフトが誕生している。Pippinというリンゴは、見えないところで大きな実を結んでいるのだ。

結果のインパクトは大きい。そして原因が正確に把握されることは少ない。私が書いていることも1つの意見でしかないが、これだけは断言できる。「単純にPippinを否定すれば、今のMacのコミュニティはない」と。

BREAK SHOT!

essay

G4が先か、MIDI音源が先か？

# G4とMIDI音源の関係は、親子丼の鶏肉と卵のバランスに似ている!?

森本真也＝職業音楽屋



イラスト●益田賢治

卵が先かニワトリが先かと問われれば、間違いなくニワトリが先なのだ。なぜなら、卵を先に調理してしまったのでは親子丼にならない（爆）。冗談はさておいて、卵があったからニワトリが孵ったのか、ニワトリがいたから卵が生み落とされたのか、考えはじめるとイタチごっこになる。この卵とニワトリの関係、Mac使いの「手段と目的」にも似ていると断じよう。そうでないと話が進まない。

G4 Macが発表された。いつものこととはいえ、突然の発表は寝耳に煮え湯（ア〜チ〜チ〜）、意訳すれば「何だよ〜、ついこのあいだB&W G3買ったばかりだよ〜」であり、流す涙もア〜チ〜チ〜という声も聞こえてくる。中には、たとえ身の破滅になろうとも買い直すと気炎を上げる編集者がいるのも、Mac専門誌の悲しきサガか。いやはや、編集後記はネタの宝庫だ（笑）。

筆者は、もはや何世代前のマシンになるのかも忘れた、G3 DT233を愛用している。初めてG3 Macに触れたときには、その驚くべきパフォーマンスに目からナマコが落ちた気さえしたものだ。「こいつは、仕事もサクサクはかどるぜ」と思ったものだが、どういうわけだか、気が付くと余計に作業時間が長くなった。何のことはない、マシンパワーの向上を良いことに、アレもできるコレもやりたいと、こちらの要求がマシンパワーを上回ってしまっているのだ。

そこに加えて、ソフトもバージョンアップを繰り返すたびに、どんどんと肥大化して重くなってきている。そもそも、職業音楽屋にとっての「目的」は音楽そのものであって、Macもソフトも「手段」に過ぎないはずなのだ。多様化した手段に己の処理能力が追いつかなくなっては、本末転倒というものだ。

ところで最近は、久しぶりにMIDIオンリーの打ち込みの仕事をしている。手段をMIDIオンリーに限定して（されて）しまえば、G3 Macすらオーバースペックの感すらある。大体MIDIなんて、パソコンがまだ8bitだった時代の規格。G3のパフォーマンスをもってすれば、何のストレスもなくサクサクと作業が進む、快適快適。もちろん、音楽の産みの苦しみから解放されるわけではないが。

昔々その昔、筆者がまだ学生だったころ、Macはいうに及ばずパソコンはまだまだ高嶺の花だった。その当時は、スタンドアローンタイプのMIDIシーケンサを使って、シコシコと打ち込みをやっていたのだが、何分にもCPUパワーが非力だった。そのため、ボリューム情報などのコンティニアス・データ（連続可変するためにデータ量が膨大になる）を数トラック入れるだけで処理能力をオーバーしてしまい、音がずれる・遅れるといった障害が出て、泣く泣くデータを削ったものだった。

ところが、今のMacと来たらその程度のデータなら、なんなく処理してくれる。それに気をよくして、打ち込みオタクの血沸き肉踊るままにデータを作って再生してみたら、確かにMacは処理してくれた。問題は、そのデータを受けたMIDI音源側が処理能力オーバーしてしまい、音がずれる・遅れる……。考えてみれば、MIDI音源だって中身はコンピューターなのだった。結局、泣く泣くデータを削るハメになる。送り側（Mac）が処理能力オーバーというのなら、まだ諦めもついただろうに。

ここで、「いっそMIDI音源もG4化してくれたら」と考えるに至っては、卵が増えたからと鶏肉を増やし、鶏肉を入れ過ぎたからと言って卵を増量するようなもの。そんなに作った親子丼、いったい誰が食べるんだか。G4 Macはすごいんだけど、あなたの処理能力オーバーしてません？　まぁ、くれぐれもお腹を壊さない程度にね。

# 劇的進化をとげた New iMac

## Special Apple Event レポート

早くから噂が駆け巡り、一部のWebページでは画像も掲載されていたiMacの新機種が、10月5日（米国時間）電撃的に発表された。このために開催されたApple Special Eventで基調講演を行なったApple社暫定CEO、スティーブ・ジョブズ氏は、すべてのモデルを当日から発売することを発表し、会場を大いに沸かせた。同氏が行なった基調講演をレポートする。














**観客に向かい、誇らしげに語りかけるジョブズ氏**

いつものラフな姿ではなく、ややドレスアップして登場したジョブズ氏。おなじみになったマトリックスのiMacの部分に新たに3機種が加わることを説明（右上）。Sherlock 2などの新機能を搭載したMac OS 9をはじめ、「iMac DV」に搭載されるビデオ編集ソフト「iMovie」も紹介した（右中）。右下は基調講演の開始を待ちわびる観客




**新機種「iMac DV」に バンドルされる「iMovie」**
iMovieはAppleのビデオ編集ソフトFinal Cut Proのコンシューマー向けバージョン。

T O P I C S

## Say hello to new iMac !

10月5日、Appleのスティーブ・ジョブズ氏は、カリフォルニア州クパティーノで行なわれた社員と招待客のみのスペシャルイベントで、待望の次世代iMacを発表した。

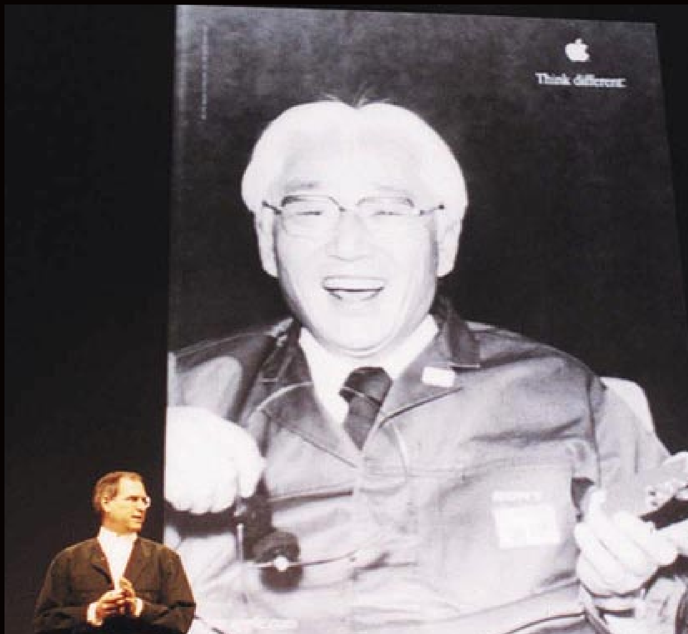
基調講演の壇上に立ったジョブズ氏は、まず冒頭で、10月3日に他界したソニーの共同創設者盛田昭夫名誉会長について、「自分を含めて多くの人へインスピレーションを与えてくれた」と弔辞を述べた。

続いてMacOS 9の説明に入ると、講演ではもうお馴染みの副社長、フィル・シラー氏によるデモンストレーションが行なわれた。MacOS 9は、ジョブズ氏が「今までで最良のインターネットOS」と強調するように、Sherlock 2を使った電子商取り引きをはじめ、マルチユーザー機能、ボイス・ログイン、自動的に必要なソフトウェアをアップデートする自動アップデート機能など、インターネット関連の便利なツールを中心とした新機能を含むOS。米国では10月23日より99ドルで発売とのアナウンスがあった。新しいOSには、全部で50以上の機能が追加されている。

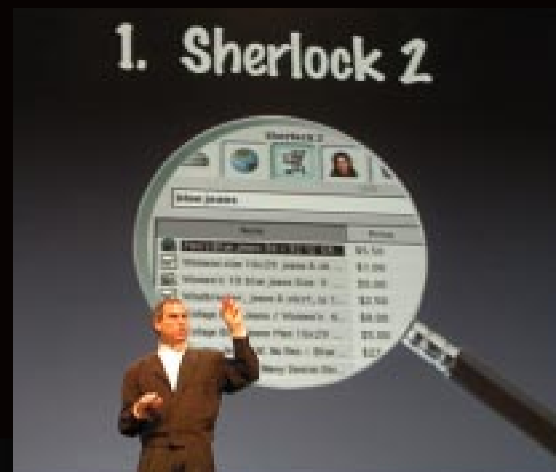
そして、いよいよ待望の新iMacの登場だ。

スペックが徐々に明らかになる。Airportに対応したこと、ファンを取り除いたため他社のコンピュータに比べて２倍以上も静かになったことなどが説明される。しかし、iMacはまだ出てこない。本体裏側に設けられたメモリーやAirPortカードを装着するためのアクセスドアなど、部分的にしか見せず、観客をじらす。そしてジョブズ氏が「Say hello to new iMac !」と合図の言葉を口にすると、ブルーベリーのiMacがついに登場。会場は、まってましたとばかりに沸いた。新iMacは、後部の透明度が増したことを示すため、ジョブズ氏は手をかざして見せた。

スペックは、350MHzのG3プロセッサー、64MBのRAM、6GBのハードディスク、56Kbps V.90モデムを備えている。さらに、Rage 128 VRアクセラレーター、Harman/Kardonのハイクオリティーなオーディオシステムを組み合わせることにより、２D／３




**ソニーの盛田昭夫名誉会長の死を悼んで**
キーノートスピーチの冒頭、ジョブズ氏は10月3日に亡くなったソニーの盛田昭夫名誉会長に弔辞を送り、Think different.のポスターに盛田氏の写真を使うことを発表した









**Mac OS 9を紹介**
続いてジョブズ氏はG4の発表時と同様、Mac OS 9のを紹介した。機能が強化された「Sherlock 2」（右上）、1台のMacを複数のユーザーで使用できる「マルチユーザー機能」（左下）、マシンに新しいデバイスを接続した際、必要なドライバーを自動的にAppleサーバーにつながる機能などをもつ「Auto Updating」（右下）といった機能に観客は拍手を送った

Dゲームファンにはたまらないリアリティでストレスのないゲーム環境を実現できる。色はブルーベリーのみだ。

フィラー氏がAirPortを使用したゲームのデモを行なった後、価格が発表された。999ドルという値段に、会場は大きな拍手で応えた。

「最高のiMacです」と最後の言葉を残してステージを去るジョブズ氏。だが、いつものようにこれはパフォーマンスだ。

## DVモデル登場

次に登場したのは、ベースモデルの機能にDVDドライブを搭載した花形モデル「iMac DV」。400MHzのG3プロセッサー、10GBのハードディスク、さらにビデオ編集には必須のFireWireポートを2基装備。色はお馴染みの５色の中から選択可能で、価格は1,299ドルという優れたコストパフォーマンスだ。

ジョブズ氏は、「これからはデスクトップビデオの時代になる」と、iMac DVに標準添付されるビデオ編集ソフト「iMovie」でデスクトップビデオ市場を開拓していくことを強調し、自らデモを行なった。iMovieは、Apple社のビデオ編集ソフト「Final Cut Pro」のコンシューマー向けバージョンで、家庭でもより簡単にファミリービデオなどの編集が可能になるというものだ。

スピーチの終盤、またステージを去るふりをしたジョブズ氏が最後に発表したのが、グラファイトカラーが美しい「iMac DV Special Edition」。全3機種、その洗練されたデザイン性を継承しながら、より高速に、よりパワフルに生まれ変わった新しいiMacシリーズに会場は色めき立った。

iMac Special Editionは、iMac DVにある機能に加えて128MB RAMと13GBのハードディスクを搭載している。色はグラファイトカラーのみで、価格は1,499ドル。

なお、価格に関して、ジョブズ氏は、11月より開始されるCompuServeとのリベートプログラムも発表した。iMacを購入する際にCompuServeを利用すると400ドルのリベートを受け取ることができるというもの。つまり999ドルのiMacは599ドルで買えるのだ。ただし、購入場所はCompuUSAまたはニューヨーク市内のJ&R Computerworldに限られる。

最後に、ジョブズ氏は、Apple社員とその家族に向け、礼の言葉を述べて２時間におよぶスピーチを終えた。講演終了後、壇上のiMac DV Special Editionの回りに集まったカメラマンに向けて「とても美しいでしょう！」と楽し気に話しかけたジョブズ氏の顔は、満足そうな笑みに溢れていた。

（取材・文：小池直美／Naomi Koike）






## メインの新iMac登場

基調講演後半、メインとなるiMacの新機種が発表された。iMacはAirPortカードが搭載可能になり、それを示すためAirPort経由でゲームのデモが行なわれた（左上、右上）。続いて登場したiMac DVには、DVDドライブが搭載されていることが紹介され、そのデモも行なわれた（右下）。そして最後に登場したのがPower Mac G4と同じカラーをまとったグラファイトモデル（左）だ








## iMac DV、iMac DV Special Editionにバンドルされる「iMovie」

ビデオ編集ソフト「iMovie」の紹介で、ジョブズ氏はステージ上で自らを撮影し、その映像を編集するというデモを行なった。これには会場も大いに盛り上がった




## QuickTimeストリーミングによるライブ中継

もちろん、基調講演はクイックタイムストリーミングで中継された。その時の模様はApple社のサイト（http://www.apple.com/quicktime/showcase/live/appleevent99/）で見ることができる

# 新デザインiMac グレードアップして登場！

## 3モデルの気になるスペックを完全紹介

Now on Sale!

**iMac：118,000円**
**iMac DV：148,000円**
**iMac DV Special Edition：178,000円**



**5色展開は健在**
**丸みと透明度が増した新iMacDV**

透明度が増した本体から、中のパーツがよく見えるようになった。後ろから見ると、以前のモデルよりも丸みを帯びていることがわかる

**米国時間の10月5日、ついに新世代のiMacがデザインを一新してついにそのベールを脱いだ。3つのモデルで華やかなデビューを飾った「新iMac」は、単に従来モデルをアップグレードしただけの製品ではない。家庭や学校でのパソコンのあり方を根本から変えてしまう、まったく新しいiMacなのだ。本コーナーでは、気になる製品スペックの解説を中心に、その魅力と狙いを探ろう。**

### 発売されたのは3モデル うち2モデルはAV機能を重視

今回発売された新iMacは、次の3モデルで提供される。

（a）iMac（ブルーベリー色）
（b）iMac DV（現行機種と同じ5色）
（c）iMac DV Special Edition（グラファイト色）

### 怒濤の最新技術をフル搭載 内蔵スピーカーまで特注品！

では、さっそくパーツ別にそのスペックをピックアップしてみよう。

まず注目すべき搭載CPUは、全モデルとも512KBのバックサイドキャッシュを搭載し、（a）が350MHz型PowerPC G3を採用、（b）（c）の2モデルは400MHz型を採用している。これだけでも日常ユースには十分過ぎる処理能力だが、一部ユーザーの間で期待されていたG4チップは採用を見送られたようだ。

搭載RAMは、それぞれ64MB／64MB／128MBという構成で、最大拡張RAM容量がいずれも従来の2倍の512MBに強化された。実際の拡張RAM取り付け作業も大幅に楽になり、iMac本体底面の専用カバーをコインではずすだけで、すぐにメモリースロット（2個）にアクセスできるようになっている。また、このカバーからAirPortカードを挿入することも可能だ。

搭載ビデオチップにATI Rage 128（ATI製）が採用された点は、ゲーマーや3DCGユーザーには朗報だろう。マザーボードもAGP（2×）に対応し、VRAMも8MBが標準搭載されているので、OpenGLなどを駆使したヘビーなゲームやCADアプリケーションでも大活躍しそうだ。

内蔵ハードディスクもはじめてUltra ATAに対応し、容量はそれぞれ6GB／10GB／13GBといった構成になっている。

内蔵ステレオスピーカーは、ジョブズ氏が「パソコン史上最高の音質」と豪語するだけあり、Harman Kardon製のOdyssey audio systemを採用した特注品が使われている。Harman Kardon社が別売予定している新iMac専用のサブウーファーを購入すれば、高級AVコンポ並みのステレオ環境を実現できる。

内蔵CD-ROMドライブに関しては、（a）が新しいディスク・ローディング型の24倍速CD-ROMドライブを採用し、（b）（c）が同型のDVD-ROMドライブを搭載。これにより、後者2モデルではDVDビデオタイトルの観賞が可能である。

これに加え（b）（c）の2モデルには本体側面にFireWireポートが2個搭載され、DVカメラなどからの映像取り込みが標準で行なえるようになった。そして、同2モデルに限り、外部ディスプレイにMac OS画面をミラー出力するためのVGAビデオポートが1個搭載されている。



iMacに搭載されたHarman International社開発のHarman/Kardon Odysseyオーディオシステムの断面図。上位2機種には、iSubという、より高性能の別売りパーツが搭載できる



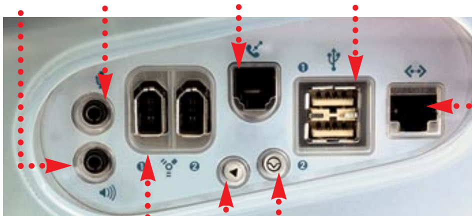
**グラファイトボディは**
**ここまで透過して見える！**

今までのiMacとは異なり、内部の銀色の金属が取り払われたため、内部構造が完全に見えるようになった



**CD/DVD ROMドライブは**
**トレイからスロットに変更**

旧iMacのドライブは、トレイ式だったが、新iMacはスロットイン方式を採用




**DVモデルはFIreWireポートを**
**2基備える**

上の写真はiMac DVとiMac DV Special Editionの接続ポート。通常モデルのiMacには、FireWireポートが搭載されない



最上位機種であるiMac DV Specialは、グラファイトカラーと呼ばれるグレーっぽい色を採用。デジタルビデオ編集がストレスなく行なえるよう、メモリーは128MB、ハードディスクは13GBと最初から大容量になっている

# iMac DV Special Edition

## ●メモリーとAirPortカードの取り付け






**底面からメモリーとAirPortカードを**
**簡単に取り付け可能**

新iMacは、底面から簡単にAirPortカードやメモリーを搭載できるようになっている。一番右の写真は盗難防止のロックをつけたところ

T O P I C S



iMac DVとiMac DV Specialに付属する、VGAビデオ出力ポート



Macでデジタルビデオ編集を行なうことを提案しているマシンは今回がはじめてだ

USBポートに関しては全モデルとも従来どおり2個だが、実は独立12Mbps通信が可能になった高速化タイプのものを採用している。

15インチ・ディスプレイ、56Kbps／V.90モデムと10/100Base-Tポートを搭載している点は旧iMacとまったく同じだ。

## 反対側まで“透ける”ボディとファン音のしない“静寂”空間

しかし、実は新iMac 3モデルの最大の注目点はそのスペックではない。大幅に見直されたボディ・デザインがもっとも重要なキーポイントなのである。

まず、既存のiMacユーザーが新iMacを見て驚くと思われるのが、いままで本体の内側をカバーしていた銀色のシールド板がすべて排除されたことだ。これにより、iMac内部が完全に外側から可視できるようになった。

そして、ジョブズ氏がこの新iMacの開発で最重要視した技術課題が「パソコン動作音の大幅軽減」である。そのため、新iMacでは内蔵ファンを排除し、ボディの排気穴だけで放熱を行なえるように設計されている。これは単にファンを取り除いたというだけではなく、ボディ形状の見直しを行なったことを意味する。

つまり、この新iMacのボディ形状こそが、究極のパソコンボディということなのだ。

## 売れ筋はiMac DVだが、端末ユースならiMacで十分

3モデルもあるので「どこがどう違うの？」と戸惑う読者もいることだろう。しかし、これら3モデルを見分けるコツは意外と簡単である。つまり、スペック的に見ると“基本型（a）”と“オーディオ・ビジュアル型（b）（c）”の2つに大別できるのだ。単にネットサーフィンやアプリケーション作業を楽しみたい読者は（a）モデルで十分だろうし、ビデオ編集やDVD観賞などをしたい読者は（b）（c）モデルを購入すればよいのである。

MACLIFE編集部の結論として、各モデルがそれぞれどのようなユーザーに向いているか、次のように分類してみた。ぜひ、購入前に参考にしてみてほしい。

### ●iMac

個人／企業ユーザーで、主にインターネットやアプリケーションのみの使用に限定される場合。価格的にも安価で、ボディ色もブルーベリーの1色に限定されているので、社内端末としての大量導入やビギナー用のマシンとしてお薦めしたい。

### ●iMac DV

個人／教育機関ユーザーで、DVD-ビデオ観賞もしくはDVビデオ編集などの使用目的を持っている場合。ただし、FireWireポートが標準搭載されたからといって、DVカメラがないユーザーは関係ないかというとそうではない。たとえばこのモデルには背面に外部ディスプレイ接続用のVGA端子が付いているので、講議室などのプレゼンテーション専用機として使うこともできる。ボディカラーも5色から選ぶことができるので、個性重視派もこのモデルを選ぶことになる。

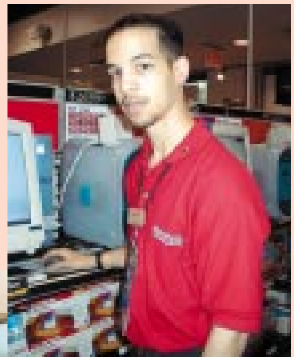
### ●iMac DV Special Edition

このモデルは「iMac DV」モデルのRAMとハードディスクを容量アップしただけのスペック強化版である。あえて注目するとすれば、用意されているボディカラーがグラファイト（グレー系）色なので、余計にお金がかかってもこの色がほしいユーザーは購入を検討すべきだろう。

いずれにせよ、新iMac 3モデルの登場は昨年5月のiMacの発表に匹敵するほどショッキングなニュースだ。この新iMacとiBookの強力コンビネーションで、次々と新しいライフスタイルを提案するジョブズ氏とApple社。まさに今、2度目の絶頂期に突入しつつある。

| | iMac | iMac DV | iMac DV Special Edition |
|---|---|---|---|
| 本体カラー | ブルーベリー | ブルーベリー、タンジェリン、ストロベリー、グレープ、ライム | グラファイト |
| プロセッサー | Power PC G3/350MHz | Power PC G3/400MHz | Power PC G3/400MHz |
| 標準搭載メモリー | 64MB（SDRAM） | 64MB（SDRAM） | 128MB（SDRAM） |
| 最大搭載メモリー | 合計512MBまで | 合計512MBまで | 合計512MBまで |
| 二次キャッシュ | 512K バックサイドレベル2キャッシュ | 512K バックサイドレベル2キャッシュ | 512K バックサイドレベル2キャッシュ |
| システムバス | 100MHz | 100MHz | 100MHz |
| ハードディスク | 6GB Ultra ATA | 10GB Ultra ATA | 13GB Ultra ATA |
| 内蔵ドライブ | 24倍速CD-ROM（Slot Loading） | 4倍速DVD-ROM（Slot Loading） | 4倍速DVD-ROM（Slot Loading） |
| ディスプレイ | 15インチ シャドウマスク ディスプレイ | 15インチ シャドウマスク ディスプレイ | 15インチ シャドウマスク ディスプレイ |
| 解像度 | 1,024×768まで | 1,024×768まで | 1,024×768まで |
| ビデオ端子 | —— | VGA 出力ポート（15ピンmini D-Subコネクター） | VGA 出力ポート（15ピンmini D-Subコネクター） |
| グラフィック | ATI RAGE 128 VR 2D/3Dアクセラレーター（8MB SDRAM+AGP 2X） | | |
| モデム | 56kモデム（V.90、K56flex対応） | 56kモデム（V.90、K56flex対応） | 56kモデム（V.90、K56flex対応） |
| USBポート | 2基 | 2基 | 2基 |
| Ethernetポート | 10/100 Base-T/Ethernetポート1基 | 10/100 Base-T/Ethernetポート1基 | 10/100 Base-T/Ethernetポート1基 |
| FireWireポート | —— | 2基 | 2基 |
| サウンドシステム | Odyssey オーディオシステム（Harman Kardon社製） | | |
| 付属OS | Mac OS 8.6 | Mac OS 8.6 | Mac OS 8.6 |
| ビデオ編集ソフト | —— | iMovie | iMovie |
| AirPort | 使用可能 | 使用可能 | 使用可能 |
| オプション | AirPortカード、AirPortベースステーション | AirPortカード、AirPortベースステーション、iSub | AirPortカード、AirPortベースステーション、iSub |
| 大きさ（H×W×D） | 38.1×38.1×43.5cm | 38.1×38.1×43.5cm | 38.1×38.1×43.5cm |
| 重量 | 15.8kg | 15.8kg | 15.8kg |
| 価格 | 118,000円 | 148,000円 | 178,000円 |

※付属ソフトは、クラリスワークス、Internet Explorer、Outlook Express、Netscape Communicator、アメリカ・オンライン、キッドピクススタジオ、FAXstf、Bugdom、Nanosaur、Kai's Photo Soap 2、PostPet 2001、Adobe Acrobat Reader、Adobe PageMillを予定







左はCompUSAのディスプレイ。上は同店のLuis Mondesi Mac担当ディレクター：「iBookについて尋ねてくる人も多い」と語る



左は、渋谷PARCOで展開されていたiBookの広告。Apple関連の垂れ幕のほか、iBookの壁画でビルの3方向すべてが埋め尽くされている。また、下の写真は、駅前のハチ公前広場から見えるオーロラビジョン。iBookのCMが繰り返し流されていた。TVで、AirPortのCMが始まった





# 話題騒然！iBook 店頭発売せまる！

## 10月16日より発売開始

米国・日本 iBook発売直前 緊急レポート！

### ニューヨーク、発売予定日を過ぎてもiBookの姿は見えず

ニューヨークの小売店では、発売予定日の9月26日を過ぎてもiBookの姿は見受けられなかった。米国時間10月1日の時点でCompUSA、DataVision、またJ & R Music Worldの各店ともにiBookは影も形もない。ミッドタウンにあるCompUSAのMac担当ディレクターであるLuis Mondesi氏によれば「予定では9月26日に発売されることになっていたけど、結局1台も入ってこなかった。店頭発売日は今のところ10月8日となっているが、それもはっきりしていない」とのことだ。

現在の同店のiBook購入予約者は、同氏が知る限りでは数十名ほどとのこと。店内では、狭い一角にMacコーナーが敷設され、G4とiMacが1台ずつ向き合って展示されているだけだ。店のウィンドウには、G4とともにiBookの大きな垂れ幕がかかっていたが、店内にはiBookのポスターなどはなかった。

一方、DataVisionでは、CompUSAよりもMacコーナーのスペースが大きく、店に置かれたiMacの数も4台と充実している。iBook購入予約者は現在20名ほどで、入荷台数は50台前後になるという。Webでは200台出荷されたという噂が流れたが、早い時期に予約した人や、Apple Store USでの予約注文にまわされたようだ。そのうちの1台をハワイ在住の方が手に入れたので、43ページからiBook英語版のレポートを載せている。

ウォール街地区に巨大なスペースを構えるJ&Rでも「店頭発売日は今のところ不明」と答えが返ってきた。同店も同様に購入予約を受け付けているが、入荷台数、時期ともに公表は控えているという。各店ともに店頭には いつ入荷されるかはわからない様子だった。

### iBook発売間近 渋谷はiBookジャック状態!!

ターミナル駅であり、iBookの販売ターゲットでもある若年層の集う渋谷では、1ヵ月ほど前からPARCO前で壁画の広告が始まった。そして、9月の最終週の土日には、駅前の広場から見えるオーロラビジョンで、iBookのCMが5分おき程度の間隔で流れていた。ニューヨークのExpoで発表された6つのCMのうち、「Is it Possible to Fall in Love with a Computer?」バージョンと「Barry White」バージョンだった。発売を目前に控え、いよいよムードが高まってきていた。

渋谷のセンター街のど真ん中に店舗を構えるT-ZONEでは、iBook予約受付中の張り紙があった。実際、相当数の予約が入っており、初回ロットで店頭にまわせるのは少なそう、とのことだ。iBookが本当にコンシューマー市場に根付くことができるか 判断するのは、発売後2カ月以上が経過してからだろう。日本では10月16日より発売することが決定したが、台湾地震の影響もあり、米国同様、購入したい人にすぐに行き渡るかどうか心配されるところである。

米国取材●長野弘子/Hiroko Nagano

T O P I C S

# 発売されてわかった iBookの本当の秘密

## iBook分解図&ベンチマーク詳解






協力：松村 靖氏（ハワイ在住）
http://www.aaa-int.or.jp/machan/computer/ibook/index.html

**iBook搭載のJISキーボード**

先月号までに紹介したキーボードは、英語版と開発段階のJISキーボードだったが、左が発売されるiBook日本語版に付属するキーボード。フルサイズならではの使いやすさが嬉しい

### ついに国内発売が開始されるiBook

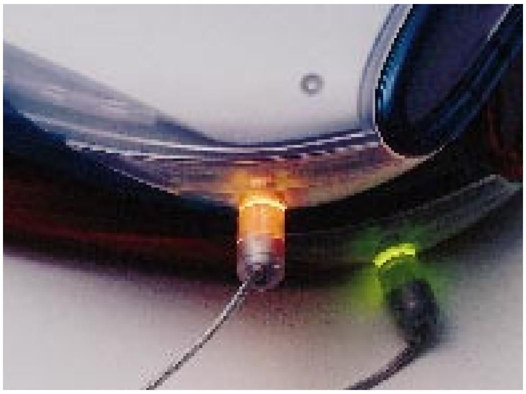
原稿執筆時（10月5日）にはまだ国内では発売されていないが、10月16日にはiBookが店頭を飾ったことだろう。アメリカでも多少出荷が遅れているようだが、Apple Store USで予約をした人には順次配送されている。今回、そのなかの一台を入手されたハワイ在住の松村 靖氏にご協力いただき、iBookのOSと筐体内部をレポートする。日本語版は執筆時点では手に入らなかったので一部英語版の製品版で検証を行なっていることをご了承いただきたい。

まずは、日本語版と英語版の顕著な違いであり、正式に公開が許可されたiBookのJISキーボードについて。

日本語版のJISキーボードは、英語版のキーボードに印刷されている英字と一緒にかな文字が併記されている。しかし、英数キーと、かなキーが追加されているぶんスペースキーが短く、コマンドキーが小さいため、若干押し間違いの可能性が高くなっているが、これはおいおい慣れていくしかないだろう。英語版のキーボードだけ欲しいという人もいるかもしれないが、Appleから提供される予定はないので、これまでPowerBookの英語版のキーボードを輸入したり、自社で開発してきた日本のサードパーティに期待したい。

日本語版の他の特徴としては、バンドルソフトが異なることだ。これは各国のApple社ごとに考慮して決めているためだ。詳細は53ページで後述するが、これらバンドルソフトや日本での広告展開から、iBookの日本でのターゲットが見えてくる。ソフトにはゲームやPostPetなど初心者でも親しみやすいものが付属する。また、発売前の広告展開として、渋谷の街で大々的なキャンペーンを展開していた。Apple Japanの広報によると、渋谷は東急線などの多くの路線の基点となるターミナル駅であり、若者の集まる流行発信基地としてiBookのターゲットのコンシューマー層に最適とのことだ。

iBookの国内販売が始まれば、追ってTV CMも始まる。思わずにやりとしてしまうようなCMが用意されているはずなので、そちらにも期待したい。



バッテリー充電中は橙色、バッテリー充電完了時には緑色と、ACアダプターのコネクト部分の色が変わる。ACアダプターの別売りも検討中とのことだ

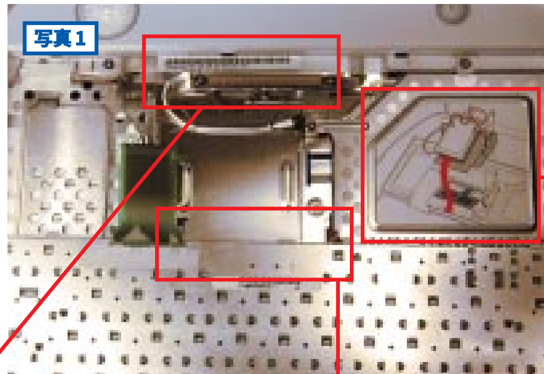


## AirPortカードの装着方法

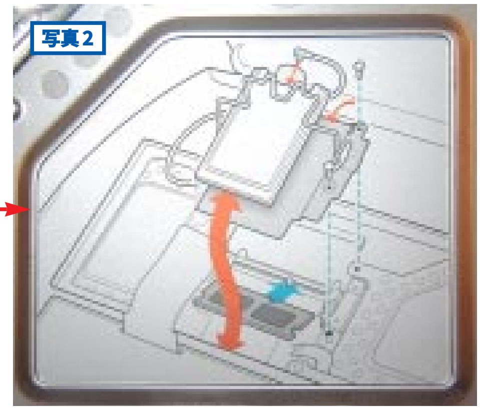



**AirPortカード**

日本では12月に発売される予定のAirPort。今回はそのAirPortカードが搭載されるスロットを英語版のiBookで検証した。メモリーはこのAirPortカードスロットのさらに下部分に搭載されている




キーボードを取ると内部構成が見える



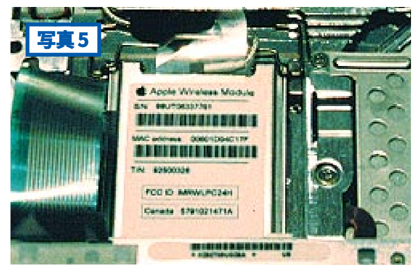

CD-ROMドライブのカバーに付属するAirPortカードとメモリー搭載方法の図解




AirPortカード搭載部分のマシン奥側




AirPortカード搭載部分のマシン手前側




Airportカードを搭載したところ

## 英語版で検証したAirPortカードとメモリー装着方法

Apple Store USで予約していち早く手にいれることができた英語版のiBookで、AirPortカード（日本では12月発売予定。価格は9,800円）の搭載部分の詳細が明らかになった。キーボード上部にあるツメ部分を外すと簡単に内部へアクセスでき、中央にAirPortカードを搭載するためのスロットがあることがわかる（写真1）。24倍速のCD-ROMドライブが搭載されているマシン右側部分には、AirPortカードとメモリーの搭載方法が図解されている（写真2）。これはAIrPortカード、AIrPortベースステーション（12月発売予定。39,800円）が発売されたときのことを考慮して添付されたもののようだ。ただし、日本語版の場合は、仕様が異なる可能性があるので、このような図は添付されないかもしれないことを付け加えておく。カードの装着はそれほど難しいものではないようだが、初心者は自分で取り付けるのではなく、販売店などで装着してもらったほうが無難だろう。

写真3は、マシン奥側に位置するカード装着スロットのコネクト部分。持ち歩いてもカードがはずれたりしないように、可動式のバネで固定する。中央の細長いケーブルが、iBookのモニター上部の両端に搭載されているアンテナと接続するためのものと推察される。

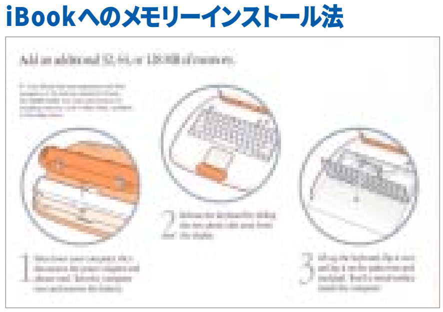
写真4は、マシン手前側に位置するカードスロットのコネクト部分。放熱問題に対処するためか、全面が金属になっている。iBookの場合、PowerBook G3シリーズとは異なり、放熱のためのファンが搭載されていない。ヒンジの部分の金属がヒートシンクになっており、ファンが必要ないのだ。この金属部分は、過去のMacのポータブルマシンのなかで最大の面積を誇るという。iBookは過去のPowerBookの設計に依存せず、一から設計をやり直した製品だという話も、なるほどとうなずける。

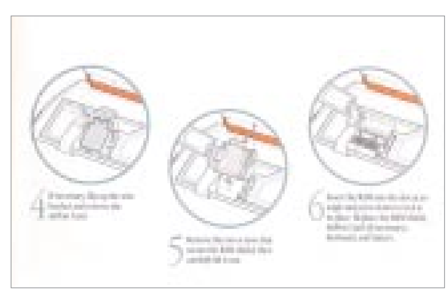
写真5は、MACWORLD Expo '99 NYで撮影したもの。AirPortカードが搭載され、実際にデモ機として稼働していたが、プロトタイプなので販売されるものとは異なる可能性がある。AirPortの開発は順調とのことなので、実機を見るためには日本での認可を待つしかないようだ。

さて、同じく内部に搭載するメモリーの話をしよう。iBookに搭載されているメモリーは、32MBのSDRAM。正直、これだけのメモリーでは、2バイトフォントを使用する日本語のMac OS 8.6を動かすと、約20MB近くのメモリーを占有するので実用的とは言いがたい。標準搭載の32MBのほか、128MBまでのメモリーを追加可能で、最大で160MBまで積むことができるため、本体購入時にメモリーも増設することをお薦めする。

iBookのメモリーの装着箇所は、AIrPortカードスロットのさらに下だ。これは、ネジ2本を外すだけで簡単に搭載できる。英語版のiBookにはスタートアップガイドと称するマニュアルが付属しており、そこにメモリーの搭載方法が解説されていた。Power Mac G3、PowerBook G3シリーズから、「オープンマインド」なコンピューターという宣伝が行なわれているが、そのとおり取り付けが非常に簡単になっているのがわかる。ただし自分で取り付けるのは保証外なので注意。

### iBookへのメモリーインストール法



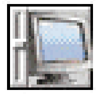


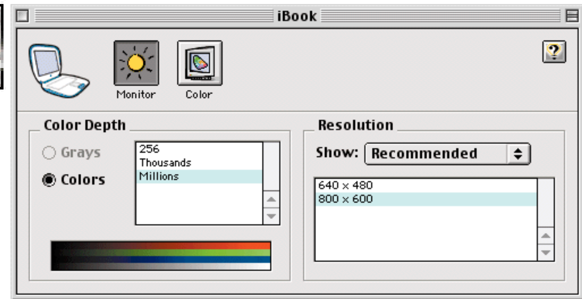
英語版のiBookに付属していたマニュアルのなかにメモリーの装着方法が掲載されていた。ただし、自分で行なうと保証は切れてしまうので要注意

# Mac OS 8.6 for iBookにおける変更点




ホットファンクションキーの設定画面。iBookでは、輝度の調整、音量の調整などがキーボードのファンクションキーからできるようになっている

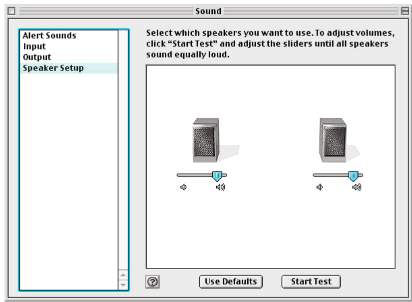




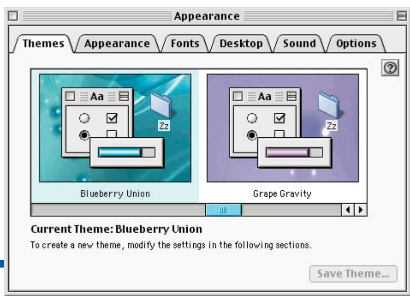

コントロールパネルのモニターのアイコンのグラフィックが変更されている。iBookのモニターは、800×600ピクセル。DTPなどに使用しない限り、十分な解像度だ



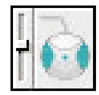
AirPortのインジケーター。フルで無線が届いていることを指し示している。

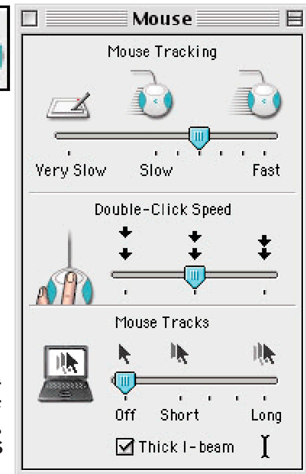



iBookのスピーカーはコストの問題からモノラルになっているが、コントロールパネル自体は、ステレオにも対応




アピアランスには、iBookのために追加されたデスクトップピクチャーが数点見られた






Power Mac G3シリーズのときからマウスのアイコンは変更されていたが、今回も同じものだ。通常のアップグレード版のOSは角形マウスのアイコン



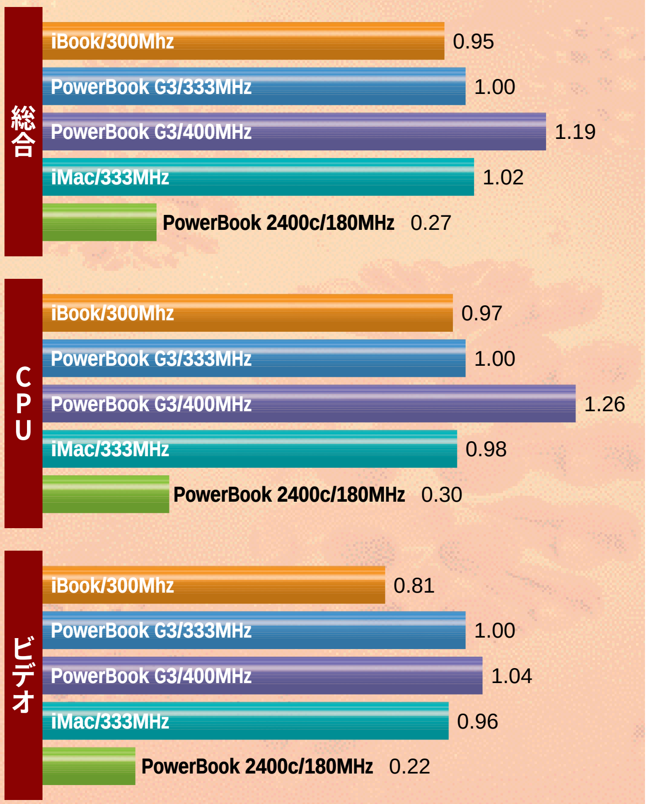
## OSは、Mac OS 8.6の スペシャルバージョンに

iBookに搭載されるOSは、Mac OS 8.6 for iBookで、現在発売されているOS 8.6とは異なるバージョンだ。いくつか細かい点で変更が施されているが、気になるAirPortの採用にともなうOSの変更は行なわれたのだろうか？

ニューヨークのExpoや、日本で行なわれたiBookのプレスブリーフィングでは、ベータ版だがコントロールパネルなどにAirPort関連のものがいくつか見られた。今回、検証した英語版の製品では、AirPort関連のコントロールパネルなどはひとつも搭載されていなかった。おそらくAir Portが発売されたときに、インストーラーが付属し、機能を追加するという形になるのだろう。AirPort関連のものについては、アップル ジャパンより開発中の画面キャプチャーを一部入手した。それが上のAirPortのコントロールバー項目だ。これはAlrPortのインジケーターであり、稼働状況がこれにより把握できる。

さて、そのほかの変更点についてだが、まず目につくのがホットファンクションキーの設定画面。iBookのファンクションキーは、F1からF6まで、すでに輝度調整や音量調整機能が割り当てられているが、残りのF7からF12までコントロールパネルから機能割り当てを行なえるようになっている。また、モニタ調整アシスタントは、iBookの場合、調整できる項目がガンマと色温度のふたつだけになっている。PowerBook G3シリーズにあったRGBごとの調整はできない。そのほか、一部コントロールパネルなどのアイコンや、使用されている画像がiBookに合わせて変更されていた。小さな変更だがデスクトップピクチャーや、サウンド（警告音）にもいくつか新しいものが追加されており、初心者でも親しみやすいユーザーインターフェイスを目指したことがうかがえる。

## ベンチマークテスト




Norton System Info バージョン4.0にて計測。メモリーなど個々の機種により、多少条件は異なる。iBookのみOSは英語版Mac OS 8.6、そのほかのマシンは日本語版OS 8.6で計測した

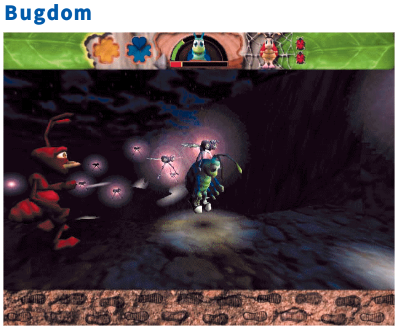
## iBook日本語版スペック表

| | |
|---|---|
| プロセッサー | Power PC G3/300MHz |
| 二次キャッシュ | 512K |
| 標準搭載メモリー | 32MB（SDRAM） |
| 最大搭載メモリー | 160MB |
| メモリースロット数 | 1基空き |
| ハードディスク | 3.2GB IDE |
| CD-ROMドライブ | 24倍速（最大） |
| ディスプレイ | 12.1インチTFT SVGAカラーディスプレイ（800×600） |
| グラフィック | 4MB SDRAMビデオメモリー、ATI RAGE Mobility グラフィックコントローラー |
| モデム | ビルトイン56Kモデム（V.90、K56flex対応） |
| 接続ポート | 10Base T/100 Base TX Ethernetポート、12Mbps USB、16ビットステレオ端子、AC電源ポート |
| バッテリー | リチウムイオン式充電池 |
| 大きさ | W34.4×H29.4×D3.15〜5.2cm |
| 重量 | 3.0kg |
| 付属OS | Mac OS 8.6（iBook専用） |
| オプション | AirPortカード（12,800円）、AirPort Base Station（38,000円）ともに12月発売予定 |
| 価格 | 198,000円 |

付属ソフト●Mac OS 8.6、クラリスワークス、Microsoft Internet Explorer、Netscape Communicator、アメリカ・オンライン、キッドピクススタジオ、Kai's Photo Soap 2、FAXstf、Bugdom、Nanosaur、PostPet 2001、Adobe Acrobat Reader、Quick Time 4

## iBook日本語版　付属ソフト解説

### Bugdom



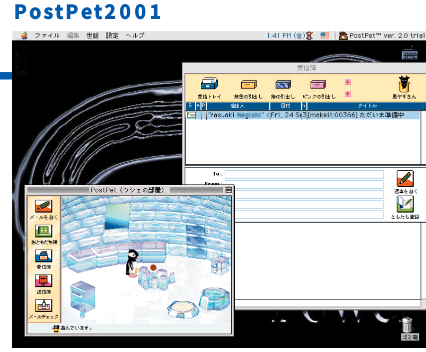
主人公のバグ（虫）が、所狭しと駆けめぐる人気ソフト。Pangea Software社
http://www.pangeasoft.net/

### Nanosaur




さまざまな恐竜たちの攻撃をかわしながら、ゴールを目指す。Pangea Software社
http://www.pangeasoft.net/

### PostPet2001



人気の電子メールソフトPostPetは、おやつなど特別アイテムが付属しない通常バージョン。ソニー コミュニケーションネットワーク(株)　http://www.so-net.ne.jp/postpet/

### Kai's Photo Soap2



デジカメで撮った画像などをさまざまに加工できる画像処理ソフト。(株)メディアヴィジョン
http://www.mvi.co.jp/

　iBookの日本語版には、英語版と異なり、ペットがメールを運ぶ大人気の電子メールソフト「PostPet 2001」が付属する。これは、日本市場を考慮して追加されたものだという。
　そのほかはバージョンが異なる場合もあるが、英語版の構成と一緒だ。内訳は、ワープロ・ドローなどの統合ソフト「クラリスワークスver.4.0」、インターネットブラウザー「Microsofft Internet Explorer 4.5」と「Netscape Communicator 4.6」、電子メールソフト「Microsoft Outlook Express 4.5」、AOLとの接続支援ソフト「アメリカ・オンライン」、デジカメやスキャナーから取り込んだ画像などを加工して遊べるお絵かきソフト「キッドピクススタジオ」、MacでFAXの送受信ができる「FAXstf」、ユーザーの環境に依存しないファイルであるPDFを読むためのソフト「Adobe Acrobat Reader 4.0」。コンシューマーがまず最初にMacでやりたいことを、ほぼすべて網羅する製品構成だ。

Apple プロダクトマネージャーインタビュー

# iBookの予約は非常に好調です



**福島 哲氏**
アップルコンピュータ（株）
事業推進本部
プロダクトマーケティングPowerBook担当

**――まずは日本の市場にiBookがアピールする点はどのあたりだとお考えか教えてください。**

iBookの売りは、ずばり「iMac to go」ですね。iMacのグッドデザイン、買いやすい価格、簡単なインターネット接続、というコンセプトを踏襲し、しかも持ち歩ける製品というのが今回のiBookです。AirPortによりワイヤレスを実現したのも、ワイヤーに煩わされることなく“to go”してもインターネットができるようにするためです。

**――iBookのデモ店が58店に絞られた理由は？**

iBookの販売提携に関しては、当初からiBookの販売環境を考えて、ゼロベースで構築したいとお伝えしてきましたが、AirPortによるデモができるかという点のほか、さまざまな観点から考慮して検討してきました。結果的にiMacの販売で実績を築いたお店が多くなっていますが、これからも店舗数は増やしていきたいと考えています。

**――iBookの想定するターゲットは？**

iMacの購入者の半分以上が初めてパソコンに触れ、初めてインターネットを始める人でした。iBookもそのような初心者の人でも簡単にインターネット接続できるようにと考えています。

**――スティーブ・ジョブズ氏は教育市場への導入に言及しましたが、日本での教育市場の反応は？**

日本では米国と異なり、さまざまな規制があるので教育市場にアプローチするのは難しいのですが、ケーブルを這わせられない構造になっている教室に導入するならiBookが良い、という意見などをいくつも頂戴しております。

**――iBookの予約状況はいかがでしょう？**

日本での具体的な数字は発表していないのですが、iMacの発売時と同様、かなりの台数の予約が入っています。非常に好感触という感じです。

**――AirPortの開発のほうは順調でしょうか？**

AirPortは、従来のアナウンス通り、12月に発売予定です。予定通りに進んでおりますが、AirPortの予約販売に関しては今のところ未定です。

**――iBookに搭載のOSはMac OS 8.6 for iBookですが、OS 9発売後はどうなりますか？**

従来のアップ・トゥ・デートプログラムに類する方法でアップデートパスを提供する予定ですが、現在詳細は検討中です。iBookに搭載のOSはiBook用のスペシャルバージョンですが、OS 9は通常バージョンで提供されます。iBookにOS 9が添付される時期などはまだ未定です。

**――iBookの色は増える可能性はありますか？**

要望が多ければもちろん考えます（笑）。しかし、いまのところブルーベリーとタンジェリンが一番適しているという声が多いですね。iBookの場合、ラバー部分の発色の調整が難しいんです。

**――AirPort経由のNetBootに関しては？**

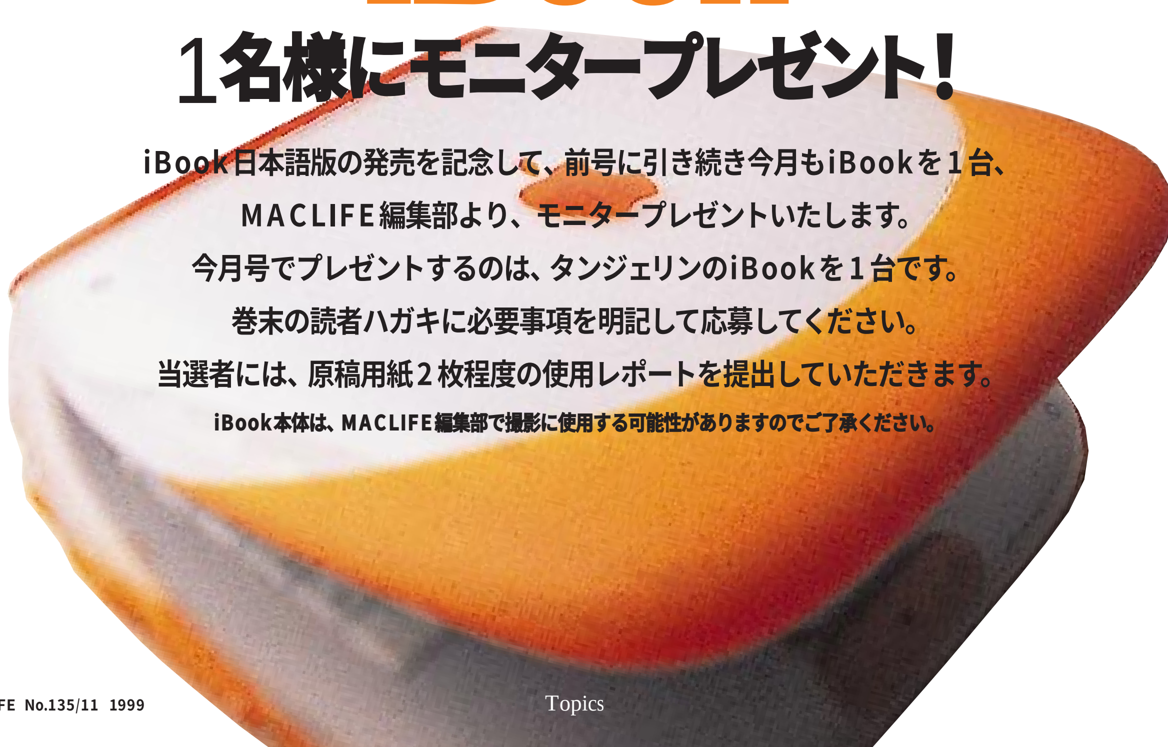
AirPortを通してのNetBootは現状ではできません。NetBootは100Base Tが基本ですが、AirPortは10Base Tであり、AirPortではさすがにそこまでのパフォーマンスは難しいので。

**――最後にユーザーへのメッセージを。**

iBookは写真と実物とでかなり印象が異なりますので、実際に触れて実感してみてください。

# iBook タンジェリン

## 1名様にモニタープレゼント！



iBook日本語版の発売を記念して、前号に引き続き今月もiBookを1台、
MACLIFE編集部より、モニタープレゼントいたします。
今月号でプレゼントするのは、タンジェリンのiBookを1台です。
巻末の読者ハガキに必要事項を明記して応募してください。
当選者には、原稿用紙2枚程度の使用レポートを提出していただきます。

**iBook本体は、MACLIFE編集部で撮影に使用する可能性がありますのでご了承ください。**

# MACLIFE GrandPrix'99

## 読者が選ぶベスト・ソフト＆ハード！

**投票くださった読者の中から、抽選で1名に MACLIFE編集部からiMac 1台をプレゼントします。ふるってご応募ください。**




## アンケート大募集！

**あなたが推薦するソフト＆ハードを いますぐ、巻末の読者はがきでお送りください。**

**応募〆切：1999年11月17日(消印有効)**

**月刊『MACLIFE』では、今年もMacintosh関連の優れた製品を読者の投票で選ぶ「MACLIFE Grand Prix」を実施します。92年に始まり第8回を迎えるMACLIFE GrandPrix。この1年でリリースされたソフトウェア／ハードウェアのなかから、もっとも優れていると思う製品を選んで下さい。投票していただいた方の中から抽選で、MACLIFE編集部提供のiMac 1台をプレゼントします。**

MACLIFE GrandPrix'99の投票は、99年10月18日から11月17日まで受け付けています。本誌巻末の読者はがきでご応募下さい。

昨年の12月から現在までの間にリリースされた製品の中から、優れていると思うソフトウェアとハードウェア、テクノロジーを選んで下さい。それぞれのジャンルについての説明は右ページを参照してください。

P.305～306に掲載してある「MACLIFE Grand Prix」候補製品リストを参照の上、各ジャンルごとに製品番号を1つだけ、読者はがきの所定のマス目にご記入ください。

投票いただいたはがきを集計し、結果は2000年2月18日発売の本誌3月号に掲載予定です。それぞれのジャンルで、グランプリ1製品、優秀賞1製品を選び、グランプリにはトロフィーを、優秀賞には盾を贈呈します。

投票いただいた読者の方には、抽選で、1名様にiMacをプレゼントいたします。

### ソフトウェア

**1――ビジネスアプリケーション**

ワープロ、表計算、データベース、統合ソフトなどのソフトウェア。

**2――グラフィックス＆DTP**

グラフィックス、DTP用のソフトウェア。

**3――ユーティリティ**

ユーティリティソフト。ネットワーク関連ソフトも含まれます。

**4――電子メール**

インターネット用のメールソフトウェア。

**5――エンターテインメント**

ゲームや環境ソフトなどのソフト。エデュテイメントソフトもここに含まれます。

**6――その他市販ソフトウェア**

1.～5.に含まれない市販のソフトウェア。

**7――フリーウェア＆シェアウェア**

主にオンラインで流通しているフリーウェアとシェアウェア。

**■投票用紙**
巻末の読者はがきでお送り下さい。

**■〆切**
1999年11月17日（消印有効）

**■発表**
『MACLIFE』3月号／No.139
（2000年2月18日発売号）

### ハードウェア

**8――モニター**

モニター、プロジェクタ。

**9――プリンター**

プリンター、プロッタ。

**10――スキャナー**

各種スキャナー。

**11――ストレージ**

MOドライブ、Zipドライブ、CD-R／CD-RW、DVDドライブなどの各種ストレージ。

**12――アクセラレーターカード**

MacのCOUをパワーアップしてくれる各種のアクセラレーターカード。

**13――デジタルカメラ**

いわゆるデジカメ。

**14――その他ハードウェア**

8.～13.に含まれないハードウェア。

### テクノロジー

**15――テクノロジー**

QuickTimeやAirPort、Velocity Engineなど、Macに関連した新しいテクノロジーの中で特に優れていると思われるものを選出。

# MACLIFE GrandPrix候補リスト

MACLIFE Grand Prix '99候補製品として、今期発売された主なMac用のソフト＆ハードをリストアップしました。
P.55を参照のうえ、巻末の読者ハガキにMACLIFE Grand Prixにふさわしいと思われる製品の数字を記入してください。
投票用紙■巻末の読者はがきでお送り下さい。
締め切り■1999年11月17日(消印有効)
発表■『MACLIFE』3月号／No.139(2000年2月18日発売号)

## ソフトウェア

| No | 製品名 |
|---|---|
| ■1――ビジネスアプリケーション | |
| 1 | 4th Dimension Ver.6.5日本語版 |
| 2 | ATOK12 for Macintosh |
| 3 | EGWORD PURE Ver.4.0 for Macintosh |
| 4 | EGWORD Ver.9.0 |
| 5 | EGBRIDGE Ver.10.0 |
| 6 | iBase-Diary |
| 7 | iBase-Filo |
| 8 | iLiner |
| 9 | Mariner-J Ver.4.0 |
| 10 | Pascal Write Ver.3.0 |
| 11 | ケータイ・エディ for Macintosh |
| 12 | コマンド・アイ |
| 13 | ジャンボエディタ |
| 14 | テレコムマネージャーPro |
| 15 | ファイルMate グラフ 1.0J |
| 16 | ファイルMate スケジューラ 1.0J |
| 17 | プロアトラス for Macintosh |
| 18 | 駅すぱあと for Macintosh |
| 19 | 直子の代筆 MacVer.1 |
| ■2――グラフィックス＆DTP | |
| 20 | Adobe Acrobat 4.0日本語版 |
| 21 | Adobe After Effects 4.0日本語版 |
| 22 | Adobe GoLive 4.0日本語版 |
| 23 | Adobe PageMaker 6.5 Plus日本語版 |
| 24 | Adobe Photoshop 5.5日本語版 |
| 25 | ArtLine 2.0 |
| 26 | ASTARTE DVDirector |
| 27 | Auto F/X Photo/Graphic Edges |
| 28 | BILLETE 4.0 for Macintosh |
| 29 | Bryce 4日本語版 |
| 30 | CANOMA日本語版 |
| 31 | Corel DRAW 8J |
| 32 | Corel PHOTO-PAINT 8J |
| 33 | CRAFT MAKER |
| 34 | DataHiding Plug-in for Adobe Photoshop |
| 35 | Deneba Canvas 6日本語版 |
| 36 | ElectricImage 3D |
| 37 | Extensis Collect Pro 2.1J |
| 38 | Extensis Interihence Pro |
| 39 | Extensis MaskPro 2.0J |
| 40 | Extensis PhotoFrame 2.0J |
| 41 | Extensis PhotoGraphics 1.0J |
| 42 | Extensis PhotoTools 3.0J |
| 43 | Extensis Portfolio 4.0 |
| 44 | Extensis Preflight Pro 2.1J |
| 45 | Extensis QX-TOOLS |
| 46 | Extensis Suitcase 8J |
| 47 | FILTERiT 3.0 |
| 48 | Final Cut Pro |
| 49 | form・Z RazioZity 3.1J |
| 50 | Fraemz PS XT |
| 51 | Headline studio日本語版 |
| 52 | hot door Transparency for Adobe Illustrator 8 |
| 53 | Image Fountain for Macintosh |
| 54 | Kai's Photo Soap 2日本語版 |
| 55 | Kai's Power Tools 5日本語版 |
| 56 | Macromedia Director 7 Shockwave Internet Studio日本語版 |
| 57 | Macromedia DreamWeaver 2日本語版 |
| 58 | Macromedia Fireworks 2日本語版 |
| 59 | Macromedia Flash 4 |
| 60 | Magictone DUO 1.5J |
| 61 | Media Cleaner Pro 4.0 |
| 62 | MediaCleaner Pro 3.0 |
| 63 | Nodester and Widgetizer Duet |
| 64 | Painter 5.5 Web Edition |
| 65 | Poser4日本語版 |
| 66 | PowerTone 2 |
| 67 | ScanPrepPro3.5J |
| 68 | Shade Professional R3 |
| 69 | SMI EDICOLOR 3.0 |
| 70 | STRATA PetiteVision 3D |
| 71 | STRATA VIDEOShop 4.5 |
| 72 | T-Time ver2.0 |
| 73 | T-Timeパブリッシャーズ・キット ver.2.0 |
| 74 | Ultimatte Knockout 1.0 |
| 75 | VectorEffects 1.1 |
| 76 | VectorWorks 8 |
| 77 | VISTAPRO2 for Macintosh |
| 78 | WildRiver's FunnyPopper |
| 79 | XPertTools Vol.1&Vol.2 |
| 80 | xTools One |
| 81 | イージーコンポII Ver. 3.0 |
| 82 | すぷらいと工房 |
| 83 | ゼノフェクス |
| 84 | デイジーコラージュ3.0 |
| 85 | デジカメiMac3000 |
| 86 | デジカメNinja for Macintosh |
| 87 | フォトコレクターfor Macintosh |
| 88 | ふち職人 |
| 89 | まちがいさがし 2.0 |
| 90 | ルビFree |
| ■3――ユーティリティ | |
| 91 | Action GoMac 2.0J |
| 92 | Adobe Type Manager Deluxe 4.5日本語版 |
| 93 | AppleShare IP 6.1 |
| 94 | Appleネットワークアシスタント3.5 |
| 95 | B's Crew 3.0 |
| 96 | B's Recorder GOLD |
| 97 | backpac 1.5 |
| 98 | Desktop On-Call V3.0 「PCリモコン」 |
| 99 | DoorStop日本語版Ver. 1.0.1J |
| 100 | DragStrip 3.7.1J |
| 101 | E to J INTERNET Ver.5.0 for Mac |
| 102 | E-JBANK / J-EBANK for Macintosh Ver.3 |
| 103 | e.Typistバイリンガルv.4.0 |
| 104 | FunnelWeb 2.0 |
| 105 | Internet Ninja 4 for Macintosh |
| 106 | Kaleidoscope日本語版 |
| 107 | MAC Mounter98 |
| 108 | MacDrive 98 |
| 109 | MacServerIP6.1J for WindowsNT |
| 110 | MacTools Pro |
| 111 | Mailpad for Macintosh Ver.2 |
| 112 | Micro Dry RIP 2.0J for MD-5000 |
| 113 | Murmur |
| 114 | NetCloak 2.5日本語版 |
| 115 | Norton Utilities for Macintosh 4.0 |
| 116 | PCMACLAN for Windows98/95 Ver.7日本語版 |
| 117 | PocketTranser for Macintosh |
| 118 | RealPlayer Plus G2ベストパッケージ |
| 119 | Retrospect 4.1日本語版 |
| 120 | Retrospect Express日本語版 |
| 121 | ShrinkWrap 3.5J |
| 122 | SmartTerminal |
| 123 | SoftWindows98日本語版Ver.5.0.4 |
| 124 | Speed Startup |
| 125 | SpellCatcher |
| 126 | Spring Cleaning 3.0J |
| 127 | StuffIt Deluxe 5.0J |
| 128 | TechTool Pro 2.5日本語版 |
| 129 | Timbuktu Pro for Mac OS 4.8日本語版 |
| 130 | Transmit 1.5J |
| 131 | Transpad for Macintosh Ver.2 |
| 132 | Virtual PC ver.2.1.1日本語版 |
| 133 | WebSTAR3日本語版 |
| 134 | ウイルスキャンVer. 5.9.1 for Macintosh |
| 135 | スーパープラスツール |
| 136 | テレサーチ 2.0 |
| 137 | ばり2バックアップ |
| 138 | 漢字職人 Ver.2.0 |
| 139 | 超速 for Macintosh |
| ■4――電子メール | |
| 140 | ++Mail |
| 141 | AOLインスタント・メッセンジャーv2.0 |
| 142 | ARENA Internet Mailer 1.6 |
| 143 | Microsoft Outlook Express 5.0 Macintosh Edition 日本語版 |
| 144 | NetStickies 3.0 |
| 145 | Postino Palma |
| 146 | PostPet 2001 |
| 147 | アニメコム |
| ■5――エンターテインメント | |
| 148 | After Dark 4.5日本語版 |
| 149 | Mac MP3 |
| 150 | motion dive 2 |
| 151 | 特打2～復讐のマシンガン入力～ |
| 152 | Bugdom |
| 153 | Fly! |
| 154 | Lode Runner 2 |
| 155 | MYTH II―ソウルブライター |
| 156 | SimCity 3000 |
| 157 | StarCraft |
| 158 | Tomb Raider II |
| 159 | Unreal |
| 160 | 信長の野望　将星録 |
| ■6――その他市販ソフトウェア | |
| 161 | cakewalk Metro 4日本語版 |
| 162 | cakewalk Overture 2日本語版 |
| 163 | CodeWarrior Professional日本語版 リリース5 |
| 164 | Digital Performer 2.5 |
| 165 | Dramatica Pro 3.0 |
| 166 | Hatte Kitte Gooo |
| 167 | Logic Audio Platinum 4.0 |
| 168 | Mathematica 4日本語版 |
| 169 | MSP+MAXplay |
| 170 | Ortina LiteWeight 2.0 |
| 171 | PreFab Player 1.5J |
| 172 | Reaktor 2.0 |
| 173 | S-YXG50 V3.0 |
| 174 | Script Debugger J |
| 175 | Singer Song Writer 4.0 for Macintosh |
| 176 | STELLA Research 5.0日本語版 |
| 177 | SuperCard 3.5 |
| 178 | Vibra 9000, Vibra 6000,Stella 9000, Gamma 9000 |
| 179 | ケータイ王 |
| 180 | ケータイ編集王2000 |
| 181 | すぐれ筆 2000 for Macintosh |
| 182 | らくちんCDラベルメーカー |
| 183 | 宛名職人 Ver.7 |
| 184 | 音ぷっと♪ |
| 185 | 携快電話 USB for Macintosh |
| 186 | 携帯＜＞Mac |
| 187 | 着メロ編集王 |
| 188 | 筆王 Ver.3.0 for Macintosh |
| 189 | 遊名人Friend Ver.5.5 |
| ■7――フリーウェア＆シェアウェア | |

※「フリーウェア定番100」などを参照のうえ、読者はがきの欄にソフト名を記入してください。

## ハードウェア

| No | 製品名 |
|---|---|
| ■8――モニター | |
| 301 | NECホームエレクトロニクスMultiSync LCD1810 |
| 302 | アイ・オー・データ機器LCD-A15T |
| 303 | イーヤマTSA3931HT |
| 304 | イーヤマTSA4632HT |
| 305 | イーヤマTXA3621HT |
| 306 | イーヤマTXA3832HT |
| 307 | ナナオEIZO FlexScan T550 |
| 308 | メルコFTD-GT17-A |
| 309 | ロジテック LCM-17TSU（BB） |
| 310 | 三菱電機 MDT121X |
| 311 | パナソニックPanaFlat TX-D5L31F-J |
| 312 | パナソニックTX-D7S36-J |
| ■9――プリンター | |
| 313 | アルプス電気MD-5000 |
| 314 | エプソンSuperColorio PM-3000C |

| No | 製品名 |
|---|---|
| 315 | エプソンSuperColorio PM-770C |
| 316 | エプソン エスパー・レーザーLP-800S |
| 317 | エプソンEM-900C/N |
| 318 | エプソンLP-8200C |
| 319 | エプソンLP-8400PS3 |
| 320 | エプソンMAXART PM-9000C |
| 321 | キヤノンBJC-430JD Lite |
| 322 | キヤノンBJ F600 |
| 323 | キヤノンBJ F800 |
| 324 | キヤノンLBP-2040 |
| 325 | キヤノンBJ F8500 |
| 326 | キヤノンLBP-320Pro |
| 327 | キュー・エム・エス・ジャパンQMS magicolor 330/EX |
| 328 | グラフテックMasterJet JC4008 |
| 329 | コニカKonica KL-3015 |
| 330 | ソニー・テクトロニクスPhaser 740J |
| 331 | ソニー・テクトロニクスPhaser 780J |
| 332 | ソニー・テクトロニクスPhaser 840J |
| 333 | ブラザー工業 P-touch 2500pc |
| 334 | ブラザー工業 P-touch SC-360pc |
| 335 | ブラザー工業SC-2000 |
| 336 | リコー イマジオカラー2800シリーズ |
| 337 | レックスマークインターナショナルOptra S1855/1855n |
| 338 | 沖データ MICROLINE 8w for iMac |
| 339 | 沖データMICROLINE 12n |
| 340 | 沖データMICROLINE 640CL |
| 341 | 沖データMICROLINE 8w |
| 342 | 沖データMICROLINE 8c |
| 343 | 三菱電機CP770D |
| 344 | 日本ヒューレット・パッカード DeskJet815C |
| 345 | 日本ヒューレット・パッカード DeskJet970Cxi |
| 346 | 日本ヒューレット・パッカードDesignJet 1050C/CM |
| 347 | 日本ヒューレット・パッカードDeskJet 880C |
| 348 | 日本ヒューレット・パッカードDeskJet 895Cxi |
| 349 | 日本ヒューレット・パッカードデザインジェット488CA |
| 350 | 富士ゼロックスDocuPrint C1250 |
| 351 | 富士フイルムビジネスサプライ カレイダG44 |
| ■10――スキャナー | |
| 352 | NEC マルチリーダ600S2 |
| 353 | NEC マルチリーダ600U2 |
| 354 | エプソンGT-7000U |
| 355 | エプソンGT-7600S/U |
| 356 | キヤノンCanoScan FB1200S |
| 357 | キヤノンCanoScan FB620S |
| 358 | ミノルタDimage Scan Speed F-2800 |
| 359 | 日本アグファ・ゲバルトSnapScan1212u |
| 360 | 日本マイクロテック ArtixScan 4000t |
| 361 | 日本マイクロテックSlimScan C3 USB |
| 362 | 日本マイクロテックSlimScan C6 USB |
| ■11――ストレージ | |
| 363 | LaCie eko USB 640MOドライブ |
| 364 | NEC clik!-USB |
| 365 | QPS（オープンリソース）Que!Drive |
| 366 | アイ・オー・データ機器 HDVS-UM20G |
| 367 | アイ・オー・データ機器CDR-TX624/AP |
| 368 | アイ・オー・データ機器CDR-TX824/AP |
| 369 | アイ・オー・データ機器HDVS-UMシリーズ |
| 370 | アイ・オー・データ機器PCHD-1Gc |
| 371 | アドテックス ArrayMasStor-J |
| 372 | オリンパス光学工業640MO TURBO LE |
| 373 | オリンパス光学工業640MO TURBO WHITE新G3セット |
| 374 | オリンパス光学工業TURBO MO 1300 |
| 375 | オリンパス光学工業TURBO MO 230 |
| 376 | オリンパス光学工業TURBO MO 640 |
| 377 | オリンパス光学工業TURBO MO 640 S |
| 378 | キャラベルデータシステム RW-6424/M |
| 379 | クワッドエレメンツFrip Disk |
| 380 | クワッドエレメンツQ-RAIDブラックシリーズ |
| 381 | ゲートVST SuperDisk Drive |
| 382 | コンパルUSB外付け型ハードディスク「XARD（ザード）」 |
| 383 | バイオスLAGER IIシリーズ |
| 384 | バイオスSPRINTER Evolution |
| 385 | バイオスUltraVXR HT |
| 386 | ハギワラシスコムFlashGate |
| 387 | プリンストン テクノロジー CompactFlashReader |
| 388 | プリンストンテクノロジー PCF-RD |
| 389 | プレクスターPX-W8220Te/Ti |
| 390 | プレクスターPX-40TS／UW |
| 391 | マツボー Databook |
| 392 | メルコCDR-S820S |

| No | 製品名 |
|---|---|
| 393 | メルコDSC-U17GTR |
| 394 | メルコMOS-S251 |
| 395 | メルコZIP-S100 |
| 396 | ヤノ電器Cerulea B.B.シリーズ |
| 397 | ヤノ電器Cerulea R.B.シリーズ |
| 398 | ヤノ電器NJ1300MO |
| 399 | ヤノ電器U640MO-01 |
| 400 | ヤノ電器V1300MO |
| 401 | リコーMP7040SEM |
| 402 | ロジテックLCW-7408/MP |
| 403 | ロジテックLCW-RW5420A/MU |
| 404 | ロジテックLCW-RW8416/MP |
| 405 | ロジテックLFD-31U/M |
| 406 | ロジテックLMO-1300/MP |
| 407 | ロジテックLMO-1300／MU |
| 408 | ロジテックLMO-M643AK |
| 409 | ロジテックLMO-P230HS/MP |
| 410 | ロジテックLMO-P230HS/MU |
| 411 | ロジテックLMO-P643HS/MP |
| 412 | ロジテックLMO-P643HS/MU |
| 413 | ロジテックLPM-CA20USB |
| 414 | ロジテックLZD-P103A/MU |
| 415 | 加賀電子 iMO64 |
| 416 | 三菱化学MK640WG |
| 417 | パナソニックLK-RB7503ZZ |
| 418 | パナソニックLK-RM934UZ |
| 419 | パナソニックLF-D100JA |
| 420 | パナソニックLF-D102JA |
| 421 | 日本アイオメガ USB Zipドライブ |
| 422 | 日本アイオメガ Zip250(SCSI) |
| 423 | 日本アイオメガJaz 2GBドライブ |
| ■12――アクセラレーターカード | |
| 424 | Interex MACh Carrier G3/400 |
| 425 | newerMAXpowr G3 333/366/400 |
| 426 | Sonnet Technologies Crescendo G3シリーズ |
| 427 | Sonnet Technologies Encore G3シリーズ |
| 428 | アスク MACh Carrier G3アップグレードカード |
| 429 | インタウェアBOOSTER G3 366 |
| 430 | インタウェアBOOSTER G3 466 |
| 431 | インタウェアBOOSTER G3Z 400 |
| 432 | インタウェアBOOSTER G3Z 466 |
| 433 | インタウェアBOOSTER PB2400 G3 240/320 |
| ■13――デジタルカメラ | |
| 434 | NECデジタルPCカメラ for iMac |
| 435 | エプソンカラリオ・フォト CP-700Z |
| 436 | エプソンカラリオ・フォト CP-800 |
| 437 | オリンパス光学工業 CAMEDIA C-21 |
| 438 | オリンパス光学工業 CAMEDIA C-2500L |
| 439 | オリンパス光学工業CAMEDIA C-2000ZOOM |
| 440 | オリンパス光学工業CAMEDIA C-900 ZOOM |
| 441 | カシオ計算機QV-5500SX |
| 442 | カシオ計算機QV-7000SX |
| 443 | キヤノンEOS D6000 |
| 444 | キヤノンPowerShot A5 Zoom |
| 445 | キヤノンPowerShot Pro70 |
| 446 | キヤノンPowerShot A50 |
| 447 | コダックDC240i Zoomデジタルカメラ |
| 448 | コダックDC240Zoomデジタルカメラ |
| 449 | コニカQ-M200 |
| 450 | ソニーCyber-shot DSC-F55K |
| 451 | ソニーCyber-shot PRO DSC-D700 |
| 452 | ニコンCOOLPIX 700 |
| 453 | ニコンCOOLPIX 950 |
| 454 | ニコンD1 |
| 455 | リコーDC-4U |
| 456 | リコーRDC-5000 |
| 457 | 京セラSAMURAI 1300DG |
| 458 | 京セラSAMURAI 2000DG |
| 459 | 三洋電機 DSC-SX150（N） |
| 460 | パナソニックCOOLSHOTII mega LK-RQ130Z |
| 461 | 東芝Allegretto M4 |
| 462 | 富士写真フイルム FinePix1700Z |
| 463 | 富士写真フイルムBIGJOB DS-260HD |
| 464 | 富士写真フイルムCLIP-IT80 |
| 465 | 富士写真フイルムFinePix1500 |
| 466 | 富士写真フイルムFinePix2700 |
| 467 | 富士写真フイルムFinePix2900Z |
| 468 | 富士写真フイルムFinePix600Z |
| ■14――その他ハードウェア | |
| 469 | ATIテクノロジーズジャパン Nexus 128 |

| No | 製品名 |
|---|---|
| 470 | ATIテクノロジーズジャパン Rage Orion |
| 471 | ATIテクノロジーズジャパン Xclaim VR 128 |
| 472 | BUG MN128-SOHO SL11 |
| 473 | corega Dual HUB-8P |
| 474 | corega HUB5PL |
| 475 | NEC Aterm60シリーズ |
| 476 | NEC AtermIR450シリーズ |
| 477 | NEC AtermIT75シリーズ |
| 478 | NEC AtermRS10 |
| 479 | NEC COMSTARZ ROUTER（CMZ-RT-DS） |
| 480 | NECAterm IW 50/D/RS10 |
| 481 | NECAtermIT40/D/AtermWX1 |
| 482 | Newer Technology FireWire to Go |
| 483 | Newer Technology uSCSI |
| 484 | Orange Micro Orange PC660 AMD-K6-2 |
| 485 | Orange Micro Orange PC620 |
| 486 | TDK Global Freedom DF5660 |
| 487 | USB Port for Desltop |
| 488 | WACOM intuos USB |
| 489 | アイ・オー・データ機器 SC-APUN |
| 490 | アイ・オー・データ機器PCMD-560/96 |
| 491 | アイ・オー・データ機器PCMD-560/96E |
| 492 | アイ・オー・データ機器PCML-560E |
| 493 | アイディー静冷台 |
| 494 | アイワPV-BF5601 HMV／PV-BW5601 HMV |
| 495 | アイワPV-BF5606 |
| 496 | アイワTM-ADX1282 |
| 497 | アスク EZ-GIGデータトランスファーキット |
| 498 | アスクKeyspan SX-PRO |
| 499 | アスクKeyspan USB PDA Adapter USA-19 |
| 500 | アダプテックジャパンPowerDomain 2930 U |
| 501 | アプティAPTi InFocus LP435Z |
| 502 | アライドテレシスCenter COM RS508TR |
| 503 | アライドテレシスCentreCOM AR100 |
| 504 | アルファデータ iMacムービーキットAD-VDM3 |
| 505 | エレコム ホイール付きコンパクトUSBマウス |
| 506 | キャノテックWave LAN |
| 507 | セイコーインスツルメンツMC-6550 |
| 508 | ダイアモンド・マルチメディア・システムズ Rio 500 |
| 509 | ハーテック iBow |
| 510 | パナソニックTO-CAF56KV |
| 511 | フォーカルポイントコンピュータ iCap |
| 512 | フォーカルポイントコンピュータ ProRAID/ProRAID II |
| 513 | プラネックスコミュニケーションズEM-502／EM-600P |
| 514 | プラネックスコミュニケーションズUMD-56J |
| 515 | マイクロテック・インターナショナル USBXpress |
| 516 | ヤマハDS2416 |
| 517 | ヤマハNET VOLANTE RTA50i |
| 518 | ヤマハRT103i |
| 519 | ヤマハSW1000XG |
| 520 | ラトックシステムREX-CBFW2 |
| 521 | ラトックシステムREX-CBFW2 |
| 522 | リュウドRboard Pro for Mac |
| 523 | ローランド SOUND Canvas SC-8850 |
| 524 | ロジクール MouseMan Wheel USB Combo for DOS/V&iMac |
| 525 | ロジテックLHA-M511UB |
| 526 | ワコムWACOM ArtPad fan iModel |

## テクノロジー

| No | 製品名 |
|---|---|
| 701 | Air Port |
| 702 | AppleScript |
| 703 | ColorSync |
| 704 | FireWire（IEE1394） |
| 705 | GameSprokets |
| 706 | Mac OS X Server |
| 707 | MRJ |
| 708 | PowerPC G4 |
| 709 | QuickTime 4 |
| 710 | QuickTime TV |
| 711 | RAGE 128 |
| 712 | Sherlock |
| 713 | USB |
| 714 | Verocity Engine |
| 715 | Webobject |



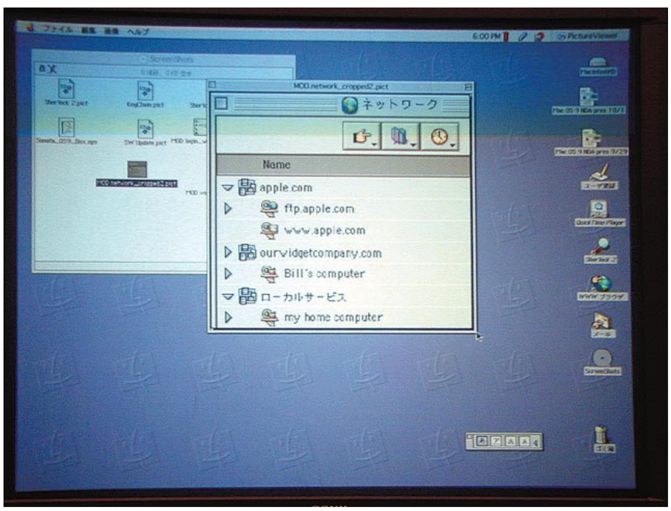

# Mac OS 9日本語版、ついに10月発売！

新居雅行

## インターネットとの親和性を追求した意欲作、12,800円で10月下旬にも出荷開始予定

## Mac OS 9（日本語版）

12,800円　アップルコンピュータ




Mac OS 9日本語版の画面（写真はアップル社が製品デモに使用したベータ版であるため、実際の製品では一部変更される可能性がある）。ユーザーインターフェイス自体は、現行のMac OS 8.6とそれほど変わらないが、実に多くの新機能を備えている。とくにインターネットとの親和性が格段に向上されている点には注目すべきだ

Mac OS 9日本語版のパッケージ価格は12,800円（アップグレード版などの製品詳細に関しては、執筆時点では未定となっている）。システム条件は、PowerPCプロセッサーを搭載し、実装メモリー32MB／仮想メモリー40MB以上を搭載した機種が必要。発売日は「10月中」となっているが、現実的には10月下旬になりそう。すでにアップルストア（http://store.apple.com/03-5350-4567/WebObjects/japanstore/）では予約注文の受け付けをしている。

**Mac OSの次期バージョン、「Mac OS 9（マック・オーエス・ナイン）」日本語版がついに10月末にアップルコンピュータから発売されることになった。1997年9月26日のMac OS 8発売以来、約2年ぶりのメジャーアップグレードとなるこのMac OS 9は一体どのようなOSなのか？　詳しくレポートしよう。**

### 予約注文の受け付けはもうすでに開始されている！

まず、過去の経緯から解説しよう。今年9月、千葉県・幕張市で開催されたWorld PC Expo展示会において、アップルコンピュータによりMac OS 9日本語版の発売が正式発表された。そして同じ日に、同社のホームページ（http://www.apple.co.jp/）では一般ユーザーからの予約注文の受付が開始された。しかし、その搭載機能や発売日の詳細についてはほとんど明らかになっていなかった。

しかし、ここにきて発売を前にしていくらか詳細にその内容をお届けすることができるようになってきた。そこで、本コーナーではまずはMac OS 9によるMacのデスクトップ環境がどのように変化するのかをまとめてみよう。

### Mac OS 8のユーザーインターフェイスをそのまま継承

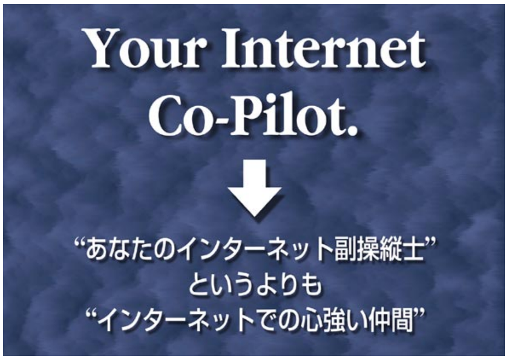
これまでのMac OSのバージョンは8.6が最新版だった。98年10月の「Mac OS 8.5」、99年5月の「Mac OS 8.6」のアップデートリリースに続き、おおむね予定とおり半年ごとのアップグレードが行なわれてきた。その意味では、このMac OS 9はこれまでよりも大きなバージョンアップと言えなくはないが、その新機能の多くはどちらかといえばユーザーの目に見えない部分に多い。

実際にユーザーサイドでのOSの使いごこちは、Mac OS 8.6からそれほど変わるところがないという点はまず整理しておきたい。おなじみのウインドウやメニューがあって、Finderでファイル管理などを行なうこと、そしてアップルメニューでいろいろな機能を呼び出したり、ダブルクリックして書類を開いたりアプリケーションを呼び出すという一連のグラフィックスユーザーインタフェースに基づいた操作体系は、Mac OS 8.6とまったく同じである。

もっとも、その操作体系はもっと昔のシステムから実現されているのだが、そうした初代Macintoshから受け継がれているユーザーインタフェースはそのままMac OS 9でも使える。だから、新しくいろいろなことを覚えるという必要はほとんどなく、これまでどおりにMac OSを使うことができる。

### 最大のウリはインターネットとの優れた親和性

それでは、Mac OS 9はどこが新しいのだろうか？　それはMac OS 9のキャッチフレーズでもある「Your Internet Co-Pilot.（あなたのインターネット副操縦士）」という語句すべてに集約される。つまり、Macとインタ




Mac OS 9のキャッチフレーズである「Your Internet Co-Pilot.」は、直訳すると「あなたのインターネット副操縦士」だが、ニュアンス的にはむしろ「～共同作業員」「～心強い仲間」という意味合いのほうが強いという

ーネットとの親和性を大幅に高めているという点が最大の特長なのだ。別の言い方で表現すると、インターネットのサーフィンを手助けする有能な相棒という意味合いを含めているということだ。

## Sherlock 2は“インターネットを満喫”するための検索システム

では、そのような快適なインターネット環境を提供する新機能を軽く紹介してみよう。

まず、注目の新機能の1つとして挙げられるのは、Sherlockの新バージョン「Sherlock2」である。Sherlockはファイルの内容の検索、インターネットの検索というのがMac OS 8での機能だった。しかし、Sherlock2では、ユーザーの目的に合わせて、さまざまなバリエーションに富んだ検索結果を得られるようになっている。

たとえば、複数のオンラインショップに対して検索をかけることができ、同一の商品に対して、価格順に並べ替えて、一番安いショップを探したり、納期のいちばん短いショップを探したりということができるようになった。それ以外にも、LDAPサーバーを使った人物検索などもできる。

## 新機能「キーチェーン」、インターネット対応になった「ファイル共有」

Mac OS 9では他も数多くのネットワーク関連の新機能が追加されている。

複数サーバーのアカウントとパスワードをまとめて管理できる「キーチェーン」機能を内蔵。熟練Macユーザーが慣れ親しんできた「ファイル共有」や「AppleScript」も、ついにインターネットの標準プロトコルであるTCP/IPに完全対応した。インターネットがネットワークのベースになった現在では、これらのOS機能を活用するにはTCP/IP対応は避けて通れないところだろう。

また、「ネットワークブラウザ」がAppleShareサーバーだけでなく、Webサーバーやftpサーバー、LDAPサーバーなど、インターネットの主要プロトコルに対応したのも、インターネットをより使いやすくするための試みのひとつだ。

## Mac OS X移行への布石！マルチユーザー機能を標準搭載

もう1つのMac OS 9での大きな機能アップは、マルチユーザー対応だ。

UNIX系OSのようにユーザー別のアカウントを登録することで、起動時の“ログイン”画面によるユーザー認証が可能となった。これにより、たとえば家族4人で1台のパソコンを使っているような場合だとか、オフィスで1台を何人かで共同使用するような場合には便利な機能だろう。

このように1台を複数のユーザーで使いまわせる機能を追加したというのは、ユーザーのニーズにはとことん応えるという姿勢の現れとも見ることができる。もちろん、Windows 98に同種の機能が組み込まれているということもあるだろうが、むしろiMacによって家庭へMacがどんどん浸透した中でのニーズに応じるという意味合いが強いと思われる。そこで、音声によるパスワードのような、ある意味で楽しい機能を折り込むあたりが、Macライクだといえる。

こうしたマルチユーザー機能が組み込まれたということは、OS自体の成熟度が高くなったということもあるだろう。一部のユーザーのニーズに合わせた機能がクローズアップされるのも、より完成度が高まって来たという証拠なのかも知れない。

一方、ユーザーに見えない側面としては、Mac OS 9では初めて「Carbon」ライブラリーが搭載されることが注目できる。

今後まったく新構造のOSに移行するということは、開発されたアプリケーションやユーザー側のさまざまな資産を生かすという方向には逆らう面もあるため、従来のMac OSでも、新しいMac OS Xのいずれでも機能するようなアプリケーションを作成するということを可能にしている。そうしたことを実現する新APIこそが、Carbonだ。

## 他にも多数の新機能を搭載 新しいMacライフがこれから始まる

実は、これらの紹介機能以外にも注目すべき新機能はたくさん存在する。それらの詳細もP.58～61で解説しているので、購入前にぜひ読んでおいてほしい。

結論として、Mac OS 9はインターネットとの親和性を高め、次期Mac OS Xとの互換機能が搭載されるという、重要なテーマに答えた意欲的なOSアップグレードだ。これを機会に、Macユーザーすべてに OSのアップグレードをぜひお薦めしたい。

P.58～61でも解説するMac OS 9「9つの注目機能」。これらの機能をざっと見るだけでも、Mac OS 9の開発が、1）インターネットとの親和性、2）マルチユーザー環境の充実、などのテーマに集約されていることがわかる



# Mac OS 9の注目機能を徹底検証する！

## 基本となるのは「9つの新機能」、これだけでもアップグレードの価値がある

新居雅行

Mac OS 9のウリは9つの注目機能に集約されていると断言してもよい。「あれっ、50の新機能があったのじゃないのか？」と思われるかもしれないが、50というのはどうやら技術仕様上のもので、それを逐一新機能として説明するのではなく、メリットがわかりやすい9つのポイントにまとめたものと考えたほうがよい。その9つの新機能に沿って、Mac OS 9の新しい機能を紹介したい。なお、執筆時点はMac OS 9製品版を編集部および筆者は入手できなかったため、実際に稼動させての動作チェックをしての執筆でない点はお断りする。また、画面図版については、アップル社より各編集部に配付された同一のものと一部ベータ版を使用している。そのため、今回掲載されているスクリーンショット数が少ない点についてもあらかじめお許しいただきたい。

## Sherlock2



### あらゆる分野での検索が可能になった「Mac OS 9」の看板機能。効率の良いオンラインショッピングや人物探しが可能に！

Sherlock 2になって、メタリックな雰囲気のウインドウになり、ユーザーインタフェースが変更された。いままでは条件と結果を別のウインドウに出していたが、同一のウインドウで表示されるようになる。まず、ウインドウ上部にアイコンが並ぶが、これを「チャネル」と呼んでいる。従来だと、タブでSherlockの動作を切り替えていたが、それがチャネルに置き換わった。たとえば、ファイルの内容を検索するチャネル、インターネットに対してキーワード検索するチャネル、オンラインショップを検索するチャネルのように、目的に応じたチャネルが用意される。チャネルはユーザーが自分で新たに追加して、そこに独自に検索プラグインを登録するということもできる。

これまでのSherlockのインターネット検索は、ページタイトルやURLが表示されていたが、Sherlock 2では、チャネルごとに検索結果の表示方法が変更できるようだ。通常のキーワード検索は、以前のSherlockと同様なのだが、図にあるようにショッピングサイトを検索した場合には、一覧に値段や納期に関する情報がでるようになっている。もちろん、そこから実際のWebサイトを即座に開くこともできる。

いわば検索プラグインのセットをチャネルとして登録することで、いろいろな形式のインターネット検索に対応できるようになった。Sherlock 2でインターネットの使い勝手はまた一段と高くなるだろう。




これがSherlock2でのショッピングサイト散策画面。製品のキーワードを入力すると、主要ショッピング／オークションサイトを検索し、現在価格を一覧表示してくれる。これでもっとも安いショップを探すのも楽になるはずだ

## マルチユーザー



### 家族や職場の同僚と1台のMacを共同使用することができる。ログイン画面でパスワードを入力すればあなただけのMac OSに！




マルチユーザー機能をオンにした場合、Mac OS起動後にこのようなマルチユーザー画面が現われる。ログイン名をリストから選択して、あとはパスワードを入力するだけ

Mac OS 9では、起動時にログインという作業を行なって、特定のユーザーの環境をそのつど再現するという機能が加わった。

まず、最初に断っておきたいのは、このマルチユーザー機能は最初の状態ではまったく機能しないので、そのままだと従来とおり普通に起動する。ここで、マルチユーザー設定を有効にすると、次回の起動時から、ログイン作業が必要になる。ユーザーの名前をタイプすることも可能だが、一般には、登録ユーザー一覧のダイアログボックスからログインするユーザー名を選択し、その後にパスワードを入力するような形式で使えるようになる。

なお、ユーザーアカウントごとにシステムのさまざまな設定が保存されており、たとえばデスクトップなどの設定はユーザーごとに記録されている。インターネットの設定やブックマークなどもユーザーごとに管理される。また、ユーザーごとにさまざまな制限をかけることもできる。

ハードディスクの中にはユーザーごとに別のユーザーからは見えないようなフォルダを利用することができ、基本的なユーザーごとのセキュリティについても確保されている。



## インターネットを使って、最新のシステムファイルを自動的にダウンロード／アップデートしてくれる！

これまでは、Mac OSあるいは一部のシステムコンポーネントのアップデートがあると、ユーザーはアップデート用プログラムをアップルのサイトなどからダウンロードして、指示に従ってアップデート作業を行なってきた。

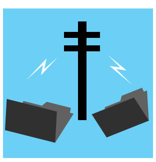
しかし、Mac OS 9では、ネットワーク経由で自動的にアップデートができるようになった。コントロールパネルに「ソフトウエア・アップデート」という機能が追加されるようで、これを呼び出してボタンをクリックすると、現時点での最新版アップデートがなされる模様だ。アップデート作業は時間を指定して行うこともできる。

実際にアップデート作業がどうなるのかは、アップデート以前にOS自体も公開されていないだけに想像となるが、おそらくは次のようになるだろう。たとえば、Mac OS 9の何かのコンポーネントがアップデートする必要が出て来た時、アップルからは「ソフトウエア・アップデート」を利用してアップデートしてほしいというアナウンスが出る。それを見たユーザーは「ソフトウエア・アップデート」を呼び出して「今すぐアップデート」をクリックして、後は待っていればよい…というようになるらしい。




「ソフトウェア・アップデート」コントロールパネル。ここでオプションをチェックしておくと、移行はOSが自動アップデートされるようになる

# インターネット経由でのファイル共有



## 相手が自分のAppleTalkネットワークに接続していなくても、ドラッグ＆ドロップで簡単ファイル交換！

従来までのMac OSにも、ファイル共有の機能があり、コントロールパネルのいくつかの書類で設定を行なうと、ファイルサーバーとして機能するようになったが、プロトコルはAppleTalkだけだった。

一方、サーバーソフトのAppleShareはAppleShare IPとなり、TCP/IPをプロトコルとして利用して、ファイルサーバーの機能を提供するようになっていた。

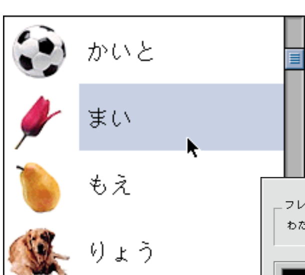
Mac OS 9では、AppleShare IPのTCP/IPベースでのファイルサーバー機能が組み込まれた。つまり、Mac OS 9をファイルサーバーにした場合、TCP/IPで結ばれたインターネットの先にあるクライアントから利用することができるようになるのである。AppleTalkだけだと同一ネットワーク内など限られた範囲でしかサーバー機能のサービスができなかったが、TCP/IPベースになれば、インターネットのどこからでもサーバー機能を利用できるようになる。

ただし、これはAppleShare IPと同等になるとうことではない。ファイル共有の機能は、10ユーザーまでの接続に限られるため、おそらく、TCP/IPを利用する場合も同様な制約はかけられるだろう。多くのユーザーが利用するようなサーバーは、AppleShare IPやMac OS X Serverを利用するということになる。

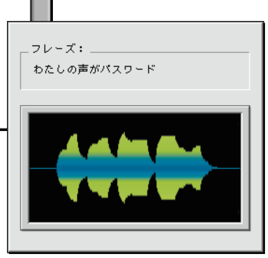
# ボイスプリントパスワード（声紋認証）



## Macに自分の声を聞かせるだけでユーザーを認識。パスワードをいちいちタイプしなくてもログインできるようになる！




ログイン画面で自分のログイン名を選択してパスワードを入力するのが通常だが…




ボイスプリント機能では、表示されたフレーズをMacの内蔵マイクに向かって叫ぶだけ。パスワードのキーボード入力が不要となる斬新な機能だ

マルチユーザー機能を有効にしたとき、ログイン時のパスワード入力では登録したパスワードのキータイプだけでなく、あらかじめ登録しておいた声のフレーズをその場で話して認証するという機能も対応した。言わば「開け！ゴマ！」と言ったらMacが使えるような機能だ。ユーザー登録の段階であらかじめ、何かの言葉を話して録音しておく。そして、ログイン時にはそのフレーズと、実際に話されたフレーズを比較して、最初に登録したときの本人かどうかを認証するという具合である。もし、声による認証が3回失敗した場合には、普通にキータイプする方のパスワードのキー入力でログインすることもできる。

ちょっとSF的な気分になれる機能でもあるし、子供が使うときにはログイン時には自分の名前を選んで、フレーズを叫ぶということで手軽に楽しくマックを使いはじめることができるのではないだろうか。

# キーチェーン



## ひとつのパスワードで複数のパスワードを一発自動解除！ これからはもうパスワード帳をかたわらに用意する必要はない

規模の大きなネットワークで作業をしていると、たとえばあちらこちらにAppleShareサーバーがあって、それぞれにパスワード入力をしないといけないというわずらわしさがある。ネットワークを使うとどうしても、たくさんのパスワードとログイン名をメモしなければいけなくなる。

しかし、この「キーチェーン」機能を使うと、そうした接続先のアカウントとパスワードを一括して管理し、キーチェーンに対応したアプリケーションからの利用の場合は、自動的にログイン名とパスワードを送り出すようになっている。

最初にどこかに接続する時に、キーチェーン自体のパスワードを入力すれば、あとはキーチェーンで管理しているパスワードの送出は自動的に行われるようになり、わざわざ接続のたびにパスワードを必要とするようにはならないのである。キーチェーン自体にパスワードが設定されているため、セキュリティ的にも問題にならない。

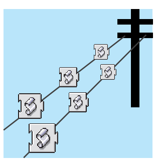
ただし、この機能はアプリケーションが対応していないと使えない。AppleShareサーバーはFinder（あるいはシステム）のレベルで対応しているために、アカウントをキーチェーンで管理できるようだ。電子メールのサーバーや、あるいは認証が必要になるWebサーバーへのアクセスでキーチェーンの機能が使えるかどうかは、アプリケーション次第ということになる。

ちなみにキーチェーン（KeyChain）とは、日本でいう「キーホルダー」のようなもの。たくさんの鍵をじゃらじゃらと鳴らすのはスマートではない、という発想でこのような便利な機能が提供されたものと思われる。




キーチェーンの設定画面で、現在キーチェーン登録されているログイン名／パスワードのリストを確認しているところ。席を離れる場合などは、対象パスワードをすべて「ロック」状態にしておきたい

# インターネット経由でのAppleScript



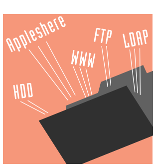
## TCP/IP通信が可能となった。スクリプト次第では、自宅のMacから職場のMacを遠隔操作することも可能になる！

AppleScriptは、ソフトウエア間のやりとりであるAppleEventをベースにしているスクリプト言語だ。あるアプリケーションから別のアプリケーションに、たとえば命令を送る。それを受け取ったアプリケーションが処理結果を返すということが行なえる。これらの一連のプロセスをプログラムとして記述したのがAppleScriptだ。

これまではAppleTalkネットワーク間のやり取りは可能だったが、Mac OS 9では、TCP/IPベースでできるようになった。したがって、インターネットの向こうにあるMacで動いているアプリケーションに対して命令を送り、処理結果をやはりインターネット越しに受け取るということができる。つまり、データベースアクセス的なメカニズムがAppleScriptをベースに実現することになるわけだ。

AppleScriptでデータの取り出しができるソフトなら、インターネットを経由してのクライアント/サーバーアクセスが可能になってしまうのだから、自宅のMacで会社のMacを遠隔作業することなども可能になるだろう。また、スクリプトによっては、チャットソフトのようなものがこのメカニズムを利用して作成できることにもなるはずだ。

# 新ネットワークブラウザ




## FTPやHTTP、LDAPサーバーも登録可能になった。あらゆるサーバー接続はこの「ネットワークブラウザ」画面から始まる！

「ネットワークブラウザ」の機能はMac OS 8.6でもあったが、まだAppleShareサーバーを一覧から選ぶくらいのことにしか対応できなかった。

Mac OS 9では、ネットワークブラウザで、さまざまなプロトコルのインターネットサーバーに接続できるようになった。ファイルサーバーだけでなく、FTPサーバーやWebサーバーも一覧できるようになった。FTPサーバーでは、サーバー上のディレクトリやファイルまでもネットワークブラウザで一覧できるようになったため、単にダウンロードするだけなら、ftpクライアントソフトやWebブラウザを使うまでもないということになってしまうかもしれない。また、LDAPやSLPにも対応している。




AppleShareファイルサーバーばかりでなく、FTPサーバーやHTTPサーバーもリストアップされるようになった新ネットワークブラウザ

# ファイル暗号化機能



**大事なメール文や見られたくない画像ファイルを暗号化して他人に覗かれないようにできる。これからのMacユーザーの必須機能！**

マルチユーザーで利用できるMac OS 9であるが、あるユーザーが別のユーザーに対してファイルの中身を見られたくない場合、そのファイルを暗号化することができる。つまり、暗号化を解除するパスワードを知らないと、そのファイルの中身を読み取れないように設定できるのだ。

暗号化したときのパスワードはキーチェーンに記録させることもできるので、パスワード管理もある程度システムまかせにできるようにもなっている。暗号化の作業はFinderのメニュー項目にある「暗号化」を呼び出せば良いので、作業も簡単に行えるようになっている。

暗号化には業界標準の技術が使われているが、暗号化された結果は基本的にはMac OS 9でしか復号できない。暗号化したファイルを別のMac OS 9のユーザーにたとえばメールで送付し、パスワードを伝達することで復号することはできる。

ただし、現時点では、Mac OS 8.xやWindowsなど別のOSでの復号化については、サードパーティ製品／フリーウェアの登場を待つほかない。




任意のファイルをマウスで選択し、「ファイル」メニューの「暗号化」コマンドを選択すると、このようなパスワード入力画面が登場する。ここでパスワード（パスフレーズ）を設定すれば、誰にもそのファイルは読めなくなる

# Mac OS 9購入前に注目しておきたいポイントは？

## 英語サイトに対応したSherlockプラグインも含む

Sherlock 2でも、従来とおりプラグインとして検索サイトを登録することが可能となっている。プラグインのセットを切り替えて使えるというのがチャネルの機能だ。従来だと、検索サイトは日本のものしか最初は組み込まれていなかったが、Mac OS 9では英語サイトのプラグインも、最初から組み込まれるようにするようだ。

また、ショッピングのチャネルについても、日本向けのショッピングサイトを検索するプラグインをシステムに付属する予定となっているが、現状ではまだどこのサイトが含まれるかは公開されなかった。さらに、英和辞典や和英辞典、国語辞典といったリファレンス系のチャネルも用意できるように準備中とのことだ。

Mac OS 8.6のSherlockでは自分でプラグインを追加しないと、検索対象がやや不足がちだったが、Mac OS 9では初期状態でもそれなりの使い勝手になるくらいのプラグインが組み込まれるのが期待できる。LDAP系についても、公式なサーバーが公開されればプラグインを提供する予定があるということだ。

## Mac OS Xへの布石であるCarbonLib

これからリリースされるMac OS Xの大きな目的は、プリエンティティブ・マルチタスクつまりOSによるスケジューリングでマルチタスクを実現するのがまず1つある。そして、プロテクトメモリーとしてあるソフトウェアが使っているメモリと別のソフトウェアが使っているメモリの分離の度合いを高くして安全に動作させるということもある。これらを従来のMac OSで完全に実現することが困難なために、Mac OS Xという新しいOSが登場せざるを得なくなったのだが、新しいOSに向けて必ずしも新しくソフトウエアが開発されるとは限らない。

そこで、従来のMac OSのソフトウエアを少しの手直しでMac OS Xで機能するCarbonという機能をMac OS Xに搭載されることになった。そのCarbonは、さらにMac OS 9にも搭載される。ただし、マルチタスクなどの機能はOSが実現していないために制約はあるのだが、プログラマーにとっては「Carbon対応」した単一のソフトが、Mac OS 9でもMac OS Xでも稼動するというメリットがある。

CarbonはMac OS Xの主要な機能となっているが、最初に出荷されるのは、Mac OS 9となった。システムに組み込まれている機能はCarbonLibと呼ばれている。Mac OS 8対応のCarbonLibもあるのだが、それがMac OS 9に組み込まれているのと同一なのかは不明だ。Carbon対応アプリケーションが世の中に出てくるタイミングを見計らって、Mac OS 8向けのCarbonLibも出てくるのかも知れない。

Carbonはアプリケーションに対するサービスを提供する層になるが、それよりもさらにOSに近い下層部分に位置するCore Foundationというシステム機能も、Mac OS 9に組み込まれているとされている。ここでは、文字列処理や各種データ処理などに加えて、XMLの解析機能が組み込まれるなどCarbonの下支え的存在ではあるが、新しい機能としては注目できる。

ただし、一般ユーザーにとってはほとんど目に見えないものであり、むしろ開発者にとっての新機能といえるだろう。

## もう予約した？

Mac OS 9の発売は10月中となっているが、執筆時点の情報では、下旬となることは間違いない。

ただし、現時点では「アップグレード優待サービス」についての発表は何もない。これはアップグレードサービスがないとは限らないということで、この原稿の執筆時点でもアップルは「場合によっては今後アナウンスがある可能性がある」というスタンスであった。入手手段についても、しばらくは情報収集を怠らない方がいいだろう。

Mac OS 9のシステム要件はPowerPC搭載機で32MB以上のメモリとなっている。それなりのハードディスクが搭載されていれば、PowerPCマシンであれば使えるということで、Mac OS 8.6と動作条件は基本的には変わらないといえるだろう。

Mac OS 9は従来のMac OS 8.xの延長上にあるOSでもあるので、あまり変わりがないという印象を持った方も多いかもしれない。しかしながら、Sherlock 2だけのために、Mac OS 9にアップグレードしてもきっと損をしたとは思わないだろう。

COLUMN



特集Ⅰ

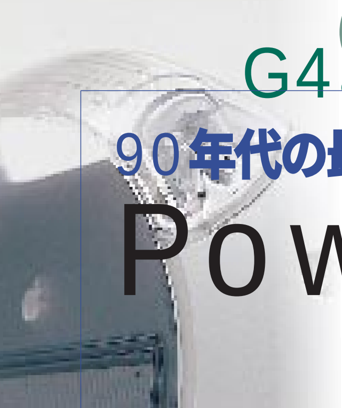
# パソコンを越えたパソコン

# G4という名の革命

新しいミレニアムを目前にして、突如として姿を現したPower Mac G4。しばらく前から噂にはなっていたものの、想像以上のパフォーマンスと予想より早いタイミングでの発表に、誰もが驚きの声を上げた。ここでは、この史上最強・最速のデスクトップPower Mac G4の全体像を考えてみたい。

特集I

G4という名の革命



## 90年代の最後を飾る最強・最速のデスクトップマシン

# Power Mac G4の登場

大谷和利

ついに登場したPower Mac G4。このマシンはアップル社がよりプロユース市場に向けて送り出す、強力な「兵器」といえるマシンなのである。この特集の巻頭において、まずPower Mac G4の登場の背景とその製品の持つ意義を考えてみたい。

### Power Mac G4登場の背景

Power Mac G3の次にPower Mac G4が登場する。これは言うなれば予定調和的なラインナップの進化であり、Apple社自体のロードマップでも示されていた自明的な製品展開だった。その流れをあえて分析するならば、内部的な要因と外部的な要因が考えられるだろう。

まず内部的には、iMac（Rev.D）でも333MHz、PowerBookに至っては最高400MHzというクロック周波数が示すように、しばらく前からコンシューマーモデルやポータブルモデルがPower Mac G3（350、400、450MHz）に迫るCPU性能を発揮しており、プロ向けのデスクトップモデルとしてのポジションを明確なものにするためにも、次の段階へと進むことが求められていた。

G4チップはまだ単価が高いためにコンシューマーラインには向かず、消費電力と発熱量の関係でポータブルラインへの搭載ももう少し先のことになる。Apple社としては、iMacやiBookが売れることはもちろん嬉しいわけだが、ビジネス全体を考えればPower Macに他の製品ラインにはない魅力や長所を与えて販売を伸ばすことが不可欠だ。

また外部的には、ライバルチップに対するPowerPC の優位性がマーケットに浸透し始めてきたところで一気に拍車をかけ、周波数の違いのみで見かけ上の高性能をアピールするPentium III などを一気に振り切ること。それが、プロシューマー市場におけるMacのポジションを一層強固なものにする上で不可欠である点が挙げられる。

もちろん、さまざまなマルチメディアコンテンツの開発プラットフォームであるMacintoshには、年々複雑化し重くなるデータや編集処理をこなすために、処理速度はいくら速くても速すぎることはないという事情もある。つまり、Power Mac G4は生まれるべくして生まれたのだ。

### 予想より早い発表時期が意味するもの

しかし、今年のWWDCにおいてApple社が公表していたロードマップでは、G4マシンの登場は2000年初頭ということになっていた。それが8月の最終日に早まった理由は何だろうか？　それは第1に、人々の注目を集め、メディアを利用することにかけては一流のジョブズの意向によるものだろう。今回Power Mac G4が発表されたSeybold Seminarsと言えば、アメリカのみならず世界中のDTPやグラフィックデザイン関係のプロフェッショナルたちが大きな関心を持って見守る、一大イベントだ。この機会を、素晴らしいプロ向けの新型機の発表のために利用しない手はない。

実際に発表当日にリリースされたのは、B&W G3に使われていたYosemiteマザーボードを利用することで開発期間を短縮できた400MHzモデルのみだが、それにしてもパッケージやマニュアル、パンフレット類などの制作期間を考慮すれば、かなり以前から発表準備が進められていたはずだ。つまり、「発表時期が早まった」というのは、あくまで見かけ上のことで、実際にはSeyboldに焦点を合わせて周到に準備が進められていたと考えるほうが妥当である。現実にも、この時期にG4搭載機が登場したことの衝撃は大きく、Apple社の評価は一層高まった。

うがった見方をすれば、公表されたロードマップ自体がライバルメーカーを欺くために幅を持たせてあった可能性すらある。G4マシンの登場自体が自明ならば、クリエイティブ市場を狙うWindows陣営が戦略を練る上で、後はその登場時期だけが問題となる。秘密主義を貫き、意表を突いた戦術で新製品をヒットに導いてきたジョブズならば、それぐらいの策略を使ってもおかしくない。

もちろん、MotorolaによるG4チップの開発と量産が順調に進んだために、早めの製品投入が可能となったということも考えられるが、実際にはさほど余裕のある開発状況ではなかったようだが、そこをジョブズが押し切ったようだ。本命が大幅に改良されたロジックボードを搭載した上位機種であるのは間違いないにもかかわらず、安価で気軽にG4マシンを味わえる400MHzモデルを用意したのも、即日発売がもたらすインパクトを計算しつくした彼の戦略的発想の結果であるに違いない。

### より明確化したApple社ターゲット市場

さて、今回のPower Mac G4の登場によって、Apple社のがプロシューマーラインの製品で狙う市場の姿が一段とハイエンド方向に広がり、グラフィックワークステーションの領域にまで踏み込み始めたといってよい。

現在のアプリケーション環境に限定すれば、G4のパフォーマンスは、すでにコンシューマーやビジネスユーザーの一般的な要求水準を超えており、その意味で、あえてビジネス市場に背を向けて、G4にふさわしいマーケットをより深く掘り下げようとするApple社の姿勢は間違ってはいない。

ちなみに、アイスホワイト&ブルーベリーから精悍なシルバー&グラファイト&クリアパーツへと大転換が行なわれたのは、G3の時にはiMacに続く新生Apple社の看板モデルとして製品ファミリーイメージを強調する統一感が要求されたのに対し、それが定着した現在では逆にコンシューマーラインとの差別化を強く推し進める必要が生じたためと推測される。特にシルバーは、最近発表されたドイツの高性能スポーツカーが軒並みテーマカラーとして採用している色でもあり、トレンド的にも正しい選択だ。もちろん、これまでは色の好みでPower Macの導入をためらっていたデザイン事務所などにも幅広く受けいれられることだろう。



## スーパーコンピューター並の性能を持つ
# Power Mac G4のすべて

三谷 森

スーパーコンピューター並の性能を持つPower Mac G4とはどのようにして構成されているのか。ここでは6ページにわたって、外観、内部構造、ハードウェアアーキテクチャーなどにわけて紹介し、合わせてG3都のといや新しく採用されたテクノロジーなどを紹介する。

### カラーリング変更でイメージを一新

今回登場したPower Mac G4は、先代となるB&W Power Mac G3と同じデザインを踏襲している。特徴的な四隅のハンドルや、ふくらみを持たせた側面パネルなど、一目見て普通のパソコンではないという雰囲気をかもし出している。大きく変更されたのはカラーリングと表面の仕上げで、アップル社ではこのカラーリングを「シルバー& グラファイト」と呼んでいる。半透明だった先代モデルよりもシャープなイメージになり、より「プロ向けのマシン」という印象を強めている。

アップル社ではPower Mac G4のターゲット層を明確に「プロフェッショナル」と位置付けている。したがってカラーリングの変更もイメージを一新するために行なったのではないかと推測される。

### 処理能力に準じた3グレードを用意

Power Mac G4は、搭載するCPU*1の動作クロック周波数*2に準じたモデル構成が行なわれている。エントリーマシンとして用意されるのはクロック周波数400MHzのPowerPC G4を搭載したモデルで、Apple Store価格で198,000円と安価に設定されている。この上位にあたるのが、クロック周波数450MHzのPowerPC G4プロセッサーを搭載したモデルで、こちらは318,000円に設定されている。

500MHzのPowerPC G4搭載モデルは、CPU本体の出荷がまだ行なわれていないため、1999年11月に登場予定となっている。450MHzのモデルも10月出荷といわれている。10月初旬の時点でユーザーが入手可能なのは、400MHzのPower Mac G4「単体」モデルだけだ。

「単体」と書いたのは、このほかにApple Store*3経由でのみ販売される直販専用モデルが用意されているからだ。こちらは「Ultimate Model」と銘打たれ、同社の大型液晶ディスプレイ「Apple Cinema Display」(P76を参照)とのセットになる。組み合わされる本体は450MHzと500MHzのモデルで、現在Apple Storeで注文を受け付けている。Apple Cinema Displayの出荷準備が整い次第、販売を行なうとアップル社は発表している。

### 人気は上々先行予約も順調

Power Mac G4はすでに予約が集まっており、人気は上々のようである。ただし、Apple Cinema Displayの供給がままならないため、出荷は年末になりそうな雰囲気だ。価格も450MHzモデルが816,000円、500MHzモデルが926,000円と高額である。システムの性能を考えれば安いという声もあるが、この組み合わせで導入するには相応の思い切りが必要だろう。




左がPower Mac G4/400MHzモデル。右がPower Mac G4/450MHzモデル。外観はZipドライブの有無でしか判別できない。カラーリングは比較的おとなしめの色合いに変わった。

# G4はどこが違うのか

このページでは、Power Mac G4の外観を中心に、G4のモデルよってどこが違いを解説していく

## ●本体正面と背面の違い

G4/400　G4/450



色が変わったほかは、B&W Power Mac G3と同じである。450MHzモデルには記憶容量100MBのZipドライブが標準で組み込まれ、400MHzモデルとの識別ポイントとなる。グラファイトカラーは、実物を見るとかなり落ち着いた印象だ

## ●側面は共通

左側　右側



側面はシルバー＆グラファイトカラーで構成されている。ロジックボード側のパネルが簡単に開閉できる仕組みもそのまま継承。ハンドル部分がクリアパーツになったことも、アクセントになっている。光沢仕上げになった側面パネルは張ツヤがあり。G3よりもかっこよく映る。グラファイトカラーのAppleロゴが渋い

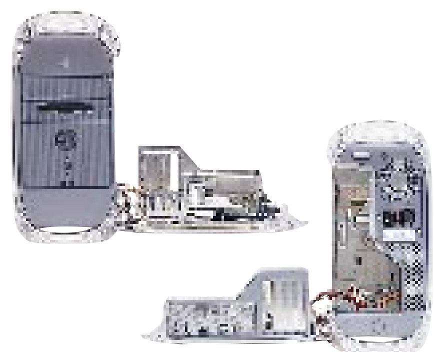
## ●本体正面と背面の違い

G4/400　G4/450



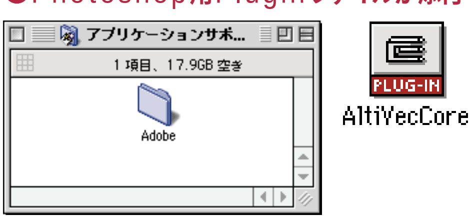

400MHzモデルと、450MHz／500MHzの上位2モデルではロジックボード*4の構造が一部異なることから、背面に備わるインターフェイス関係の配置も若干異なっている。ポート数や構成そのものは同じだが、配置が異なる。上位2モデルのUSBポートは、独立2系統となっている

## ●アクセスドアも健在



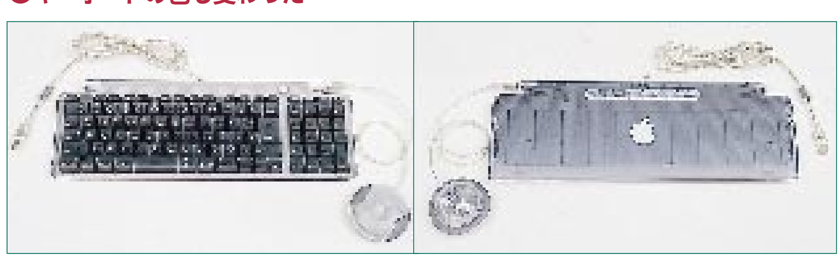
メモリーやカード類を増設する際に、簡単にロジックボード部へアクセスできるサイドパネルも先代とまったく同じ。右側側面の取っ手を引くことにより、簡単に開けることができる。ロジックボードへのアクセスのしやすさは非常に高いレベルでまとめられている

## ●Photoshop用Pluginファイルが添付




システムフォルダーの中にある「アプリケーションサポート」フォルダーに、Photoshop用のプラグインが収録されている。Photoshop 5.5の機能の一部を、Power Mac G4で採用された新機能「Velocity Engine」に対応させるために必要なファイルだ。Photoshop 5.5をインストールすると、自動的にPhotoshopのプラグインフォルダーと連携するように設定される

## ●キーボードの色も変わった



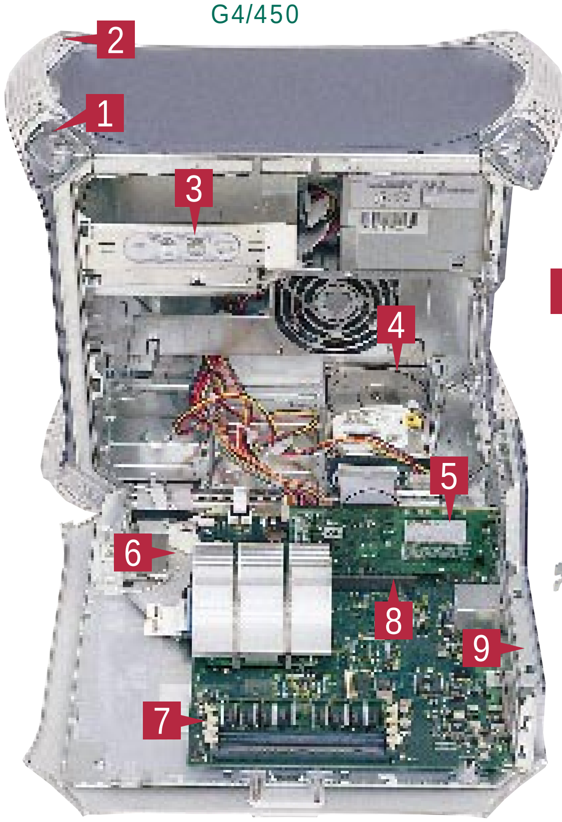
本体に付属しているキーボードは、カラーリングが変更になったことが、先代との大きな違いだ。キー配列などはまったく同じ。iMac以降お馴染みのUSBキーボードとマウスである。

*1 CPU：Central Prosessing Unitの略。コンピューターの中心的なパーツで、プログラムの内容を解釈してさまざまな処理を行なっている。コンピューターの頭脳とも言うべき部品。
*2 クロック周波数：CPUを駆動するために入力する信号の速度。一般的に速ければ速いほど処理速度は向上する。　*3 AppleStore：アップル社が自社のHPで展開しているオンラインショップ。http://www.apple.com/japanstore/。　*4 ロジックボード：コンピューターの部品が取り付けられている基板のこと。　*5 プラグイン：Photoshopなどのアプリケーションで、機能を拡張するための専用ファイルのこと

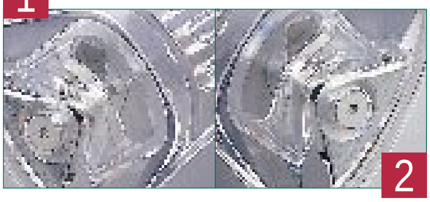


# G4の内部を検証する

Power Mac G4の内部構造は、先代のPower Mac G3と比べると、あまり大きくは変化していない。拡張スロットの数やドライブベイ*1の構成などは、Power Mac G3とまったく同じといっていい。ただしPower Mac G4 450/500MHzモデルに関しては、AirPort*2への対応など、機能が追加された部分に関しては小幅ながら変更が加えられている。このような変更箇所は一見しただけではわからない部分だが、ここでは450MHzモデルを例に、Power Mac G4の内部構造について、各パーツについて解説しよう




## 1 AirPortアンテナ




無線通信機能としてオプションで用意されているAirPort用のアンテナが、正面側にある2つのクリアハンドルの内部に埋め込まれている。一見しただけでは黒い板に見えるのがアンテナユニット

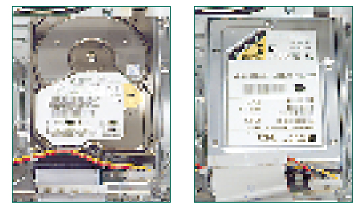
## 3 内部ドライブベイ



CD-ROMドライブもしくはDVDドライブを本体上部に固定している。Zipドライブ搭載モデルは、CD-ROMドライブ/DVDドライブの下にZipドライブを装着。空間的に余裕はあるが、拡張や追加は行なえない

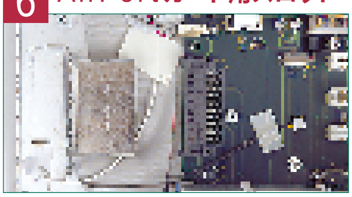
## 4 内蔵ディスクドライブ

G4/400　G4/450



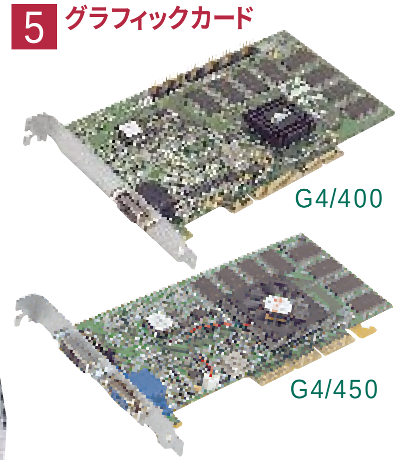
400MHzモデルはATA/33*3対応の3.5インチ・9GBドライブを搭載。450MHzモデルはATA/66対応の3.5インチ・20GBドライブを搭載する。いずれも本体下部のドライブベイに装着されている

## 6 AirPortカード用スロット



ロジックボード上には、AirPort拡張カードを取り付けるためのコネクターが追加された。このスロットは400MHzモデルには用意されない

## 5 グラフィックカード




400MHzモデルは、PCIバス用のATI RAGE128ビデオカードを搭載。32ビット幅・66MHz動作のPCIバスに装着している。450MHzモデルは、デジタルインターフェイスを備えたATI RAGE128PROビデオカードを採用。AGP×2スロットに装着し、3Dの高速描画を実現している

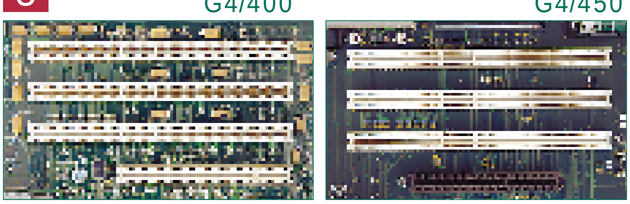
## 7 メモリースロット



168ピンSDRAM用スロットを4基搭載。最大1.5GBまでのメモリーを搭載できるようになった。メモリーモジュールは高速アクセスに対応したPC100仕様のものを用いる

## 8 拡張スロット

G4/400　G4/450



400MHz、450MHzモデルとも、64ビット幅・33MHz動作のPCI*4スロットを3基搭載。通常の拡張カード類はこちらに装着する。ビデオカードを装着するスロットは、400MHzモデルがPCIスロット、450MHzモデルがAGP*5スロットとなっている

## 9 外部拡張ポート

G4/400　G4/450

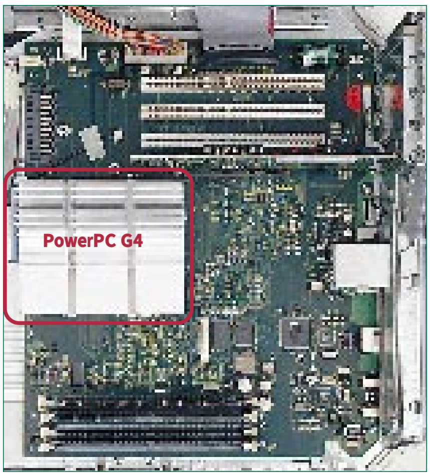


400MHzモデルではFireWireポートがカード形式で後付けされているほか、モデムも装備されている。450MHzモデルではFIreWireポートはロジックボード直付けになりすっきりしている。なお400MHzモデルは56Kモデムが標準で搭載されいてる(450MHzはオプション)

# G4 新しいアーキテクチャを採用した のロジックボード

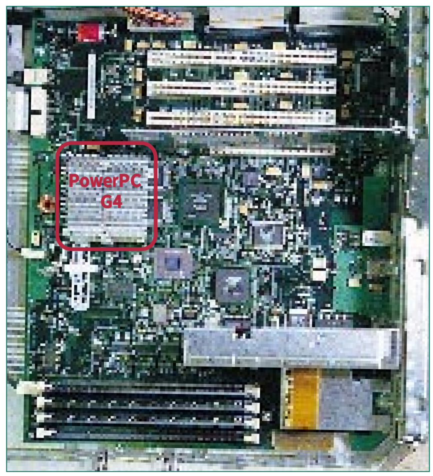
Power Mac G4は、クロック周波数400MHzのPowerPC G4を搭載するエントリーモデルと、450MHz／500MHzで動作するPowerPC G4を搭載する上位モデルとで、ロジックボードが異なる。先代のPower Mac G3で採用されたロジックボードをベースにしている点は同じだが、拡張バスの仕様やコントローラーチップなどに違いが見られる。拡張スロットやメモリー増設スロットの配置など、基本的なレイアウトは先代のPower Mac G3と変わらない。しかし、コントローラーなどのチップ関係は統合化／高性能化が押し進められ、ロジックボード全体としてはスッキリした感じになっている。

### ●G4/450ロジックボード



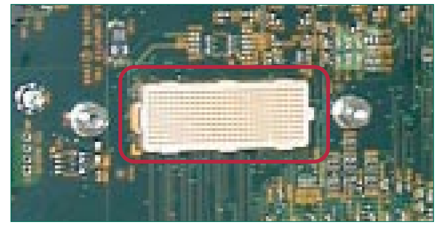

この写真は450MHzモデルで、無線通信を実現するオプションのAirPortカード用スロットや、内部増設機器用のFireWireポートなどが備わっている。またグラフィックカード用として、AGP×2スロットが1基用意された。ハードディスクを接続するATAインターフェイスも従来の2倍の理論性能を備えるATA/66に変更され、周辺機器とのデータ転送におけるボトルネックを解消するよう配慮されている

### ●G4/400ロジックボード



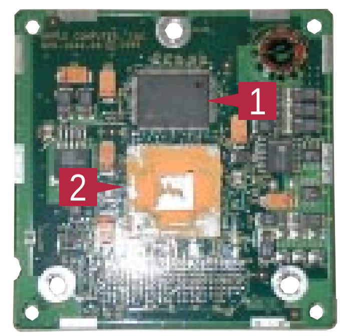

400MHzモデルでは、PCI拡張スロットの構成やCPUモジュール／ヒートシンク*7、ATAインターフェイスなどの構成は、先代のPower Mac G3とまったく同じだ。メモリー拡張の限界も768MBまでだが、これだけあれば普通の使い方では十分という意見も多いだろう

### ●プロセッサーカードスロット



メインのロジックボードとプロセッサーカードをつなぐソケットは、ZIF*6方式であることに変わりないが、スロット形状は変更されている。G4搭載によりCPU周りのバスが全面的に見直されたことから、変更を受けたものと思われる

### ●プロセッサーカード




1 2次キャッシュメモリー
2 PowerPC 7400 (PowerPC G4) プロセッサー

450MHzと500MHzのPowerPC G4を搭載するCPUモジュールは、これまでのものよりも大型化している。CPUの発熱量が増加したことを受けてヒートシンクも大型化しており、冷却効率を高めるよう配慮されている

## G4 のハードウェアアーキテクチャー

**■高速化されたシステムアーキテクチャー**

Power Mac G4のハードウェアは、G3に比べてメモリーバス幅が800MB/sと高速化されているのほか、システムバスは、いままでの66MB/sから100MB/sに高速化されたのが大きな特徴だ。

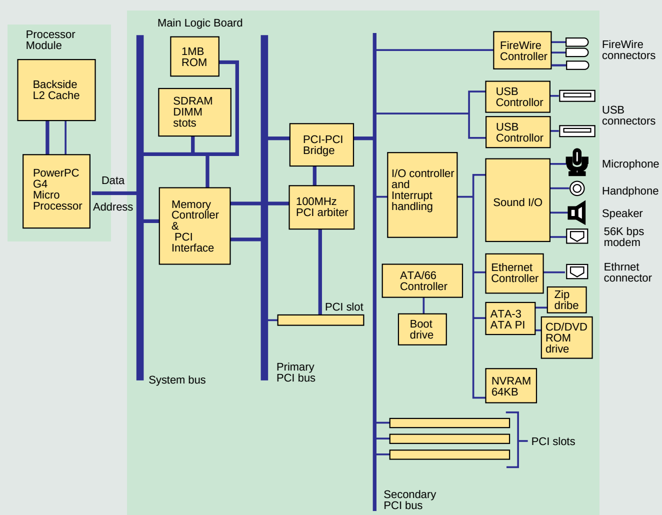
これはPower PC G4プロセッサーが新しいシステムバスに対応したため、より高速なデータ速度が実現されている。いくらCPUが高速になっても周辺機器やメモリーとやりとりするための部分が高速化されていないと、トータルパフォーマンスは向上しないのだ。

**■インターフェイスも改善**

インターフェイス周りでは2つのUSBポートが独立して動作するようになっており、USBのトラフィックを軽減するようになった。またiBookでも採用された、AGP×2スロットが用意され、グラフィックデータのやりとりも高速化されている。

**■消費電力も大幅に削減**

目立った機能ではないが、スリープ時の消費電力も大幅に削減されており、スリープモードで6W以下、シャットダウン時で3W以下と、EnergyStar2000規格の15Wを下回っている。




*1 ドライブベイ：内部のハードディスクやMOドライブを格納するためのスペースのこと。*2 AirPort：アップルが提唱している無線LANシステム。iBookから採用されており、10GHzという電波帯を使って、最大450m離れたところにあるマシンとネットワーク接続を可能とする。 *3 ATA/33、ATA/66：Ultra ATAより転送レートをさらに高めた、IDEの拡張仕様。最大転送レートは33もしくは66Mbytes/sec。 *4 PCI：Peripheral Component Interconnectの略で、インテルが提唱した拡張カード用のバス規格のひとつ。 *5 AGP：Advanced Graphic Portの略で、インテルが策定した規格。グラフィックコントローラーとメインメモリーの間を高速でデータ転送を行なうためのもので、主に3Dグラフィックやゲームなどでメリットがある。 *6 ZIF：ピングリッドアレイ（PGA）コネクタ経由でPowerPCチップを載せた小型プリント基板（インポーザーモジュールと呼ばれる）のこと。 *7 ヒートシンク：放熱板のこと。

# PCIよりも高速表示を実現する AGPグラフィックカードの仕組み

Power Mac G4/450で採用されたビデオカードは、新たに設けられたAGPバスを利用している。ここではAGPの仕組みや、いままでのPCI接続のカードとは何が違うのかを解説する。あわせて、グラフィックカードの接続にAGPを採用することによって、どのようなメリットが得られるのかを紹介する。

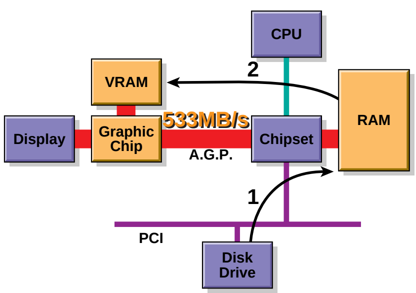
Power MacG4に搭載されたAGPとは、Advanced Graphics Portの略で、ビデオコントローラー*1とメインメモリーを高速なバスで接続して、メインメモリーにもビデオメモリーの役割を担わせる働きを持つ専用バスのことだ。AGPを採用するメリットには、たとえば3Dのような大容量の画像はAGPという専用のバスを利用してやりとりするため、高速に画像データのやりとりができるようになる点が挙げられる。

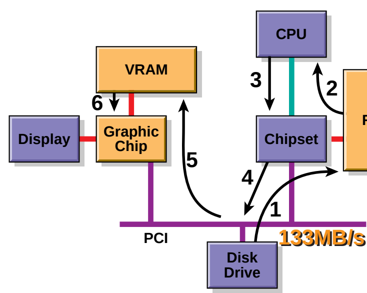
従来のPower Macでは、PCI接続のビデオカードが使われてきた。しかし、PCIバスにはビデオカードだけではなく、SCSIカードなどの周辺機器が接続されていることが多い。そのためPCIバス上には画像データ以外のさまざまなデータが流れている。そのため大きな画像を表示すると、画像データやディスクのデータの流れが同時にバスの中を流れて混雑するため、転送効率が低下してしまう問題があった。

いままでのPower MacのPCIバスの速度は133MB/sだが、Power Mac G4ではAGPの規格のなかでも高速なAGP×2という、データ転送速度が533MB/sと高速な規格を採用している。そのため、より高速に画像データを転送できるようになるので、大量の画像を一度に表示するような場合でも、表示速度の低下を招かずにすむ。

このようにPower Mac G4でAGPを採用することによって、より高速な画面表示を実現できるようになったのである。

●AGP接続とPCI接続による処理の違い

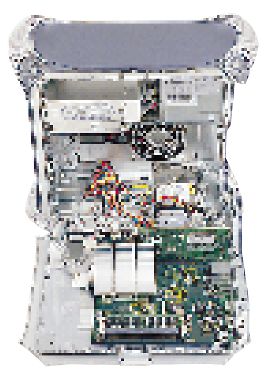



AGP接続の場合、ディスクにある3D画像データをメモリー上に展開し、それを533MB/sと高速なAGPバスでビデオコントローラーに転送する。PCI接続の場合、低速な133MB/sのPCIバス経由でメモリーに転送し、かつCPUの命令でビデオコントローラーに送るためにPCIバス上に多くのデータが流れて処理効率が悪くなり、全体的に表示速度が遅くなってしまう

# G3との違いはどこか？








Power Mac G3とPower Mac G4は、外観の色が変わっただけではなく、ハードウェアの構造も大きく変わっている。ここでは、G3とG4の違いをまとめておく。

まず外観では、側面にあった「G3」というロゴがなくなり、グラファイトカラーの素材のシンプルなものになっている。また、特徴的な四隅の取っ手も、白い半透明な素材から透明なものへと変更されている。

前ページでG4/450のロジックアーキテクチャー*2を解説しているように、プロセッサーがPowerPC G3からG4へと変わった以外にも、システムバス*3が66MB/sから100MB/sへと高速化されている。これにより、CPUとメモリー間でのデータのやりとりの速度が高速化されているのが大きい。ちなみにG4/400ではG3/400とほぼ同じロジックアーキテクチャーとなっているため、基板を見ても同じように見えるので注意。

このほかに、G4ではUSBコントローラーが2チャンネル分用意され、プリンターやMOやなど、一度に大量にデータをやりとりする機器を複数同時に接続しても、処理時間が遅くなることがなくなった。

| システム構成 | Power Mac G4 | Power Mac G3 |
|---|---|---|
| プロセッサ | PowerPC G4（PowerPC 7400） | PowerPC G3（PowerPC 750） |
| システムバス | 100MHz | 66MHz |
| ビデオカード | AGP×2 | PCI |
| 無線通信 | AirPort内蔵可能 | 不可 |
| ボディカラー | シルバー＆グラファイト | ブルー＆ホワイト |
| USB | 独立したUSBポートが2ch | 1ch×2 |
| FireWire | 外部2ポート、内部1ポート | 外部2ポート |

Power Mac G4とPower Mac G3のスペックの違い

# プロが求めていたマシンがG4なのです

## G4のターゲットユーザーをアップルに聞く

当初の予定よりも大幅に早く登場したPower Mac G4は、多くのユーザーに大きなインパクトを与えた。アップル社では、この新型マシンをどのように位置づけ、市場での展開を図ろうとしているのだろうか。プロダクトマーケティング・パワーマッキントッシュ担当課長の鯉田潮氏に話を聞いた。



**鯉田 潮氏**
アップルコンピュータ株式会社
マーケティング本部 プロダクトマーケティング
パワーマッキントッシュ担当課長

**――Power Mac G4のセールスポイントと、想定しているターゲットユーザーを教えてください。**

鯉田● Power Mac G4は、とにかくその高速なCPU処理能力がすべてを物語っているといえます。Velocity Engineに対応したソフトは、従来のものと比較して数倍ものパフォーマンスを発揮できます。アップルとしては、このマシンは完全な『プロフェッショナル』向けのものと考えています。これまでの『プロシューマー』ではなく、本当の意味での『プロ』がターゲットです。

**――今後、G4に対応するソフトとしては、どんなものがありますか？**

鯉田●現在はPhotoshopしか対応していませんが、今後3Dソフトやデジタルビデオ編集ソフトなどを中心に、よりハイエンド向けのソフトウェアが対応してくるでしょう。そのときにPower Mac G4の真価が発揮されると思っています。プロがコンピューターを使うときに求めているのは、まず速度です。Power Mac G4は、そうしたプロの人たちにとって、欠かすことのできない存在になるでしょう。もちろん、アプリケーションがまだ対応していない現状では、実力を100パーセント発揮することはできません。それでも、既存のPower Mac G3と同等以上の処理能力はあるので、十分に速いといっていいと思います。Velocity Engineに対応することで、それ以上の劇的な高速処理が行なえるようになれば、まさに無敵ともいえるマシンになります。

**――Power Mac G4のラインナップのうち、どのモデルがメインになりそうですか？**

鯉田●一番売れると考えているのは、エントリーに位置する400MHzモデルです。価格設定も安価にしていますので、一気に導入するケースなどを考えると、これが一番でしょう。Power Mac G4 Ultimateは、それほど数は出ないと思っていたんですが、すでに予想以上の予約が集まっています。500MHzモデルは、できるだけ早く出荷したいと思っています。CPUの出荷が始まった時点で、より明確なスケジュールを発表できるでしょう。

## Power Mac G4シリーズスペック表

| システム構成 | Power Mac G4/400 | Power Mac G4/450 | Power Mac G4/500 | Power Mac G4 Ultimate Model |
|---|---|---|---|---|
| プロセッサ | PowerPC G4（PowerPC 7400） | ← | ← | ← |
| プロセッサスピード | 400MHz | 450MHz | 500MHz | 450MHz/500MHz |
| メモリー（PC100準拠SDRAM） | 標準64MB（最大1GB） | 標準128MB（最大1.5GB） | 標準256MB（最大1.5GB） | 128MB/256MB（最大1.5GB） |
| | PC100準拠SDRAM（3.3V 駆動、バッファなし、64ビット幅、168ピン、サイクルタイム100MHz） | | | |
| | スロット×4基、最大1GBまたは1.5GB（各アプリケーションにつき最大999MB）までサポート | | | |
| バックサイド二次キャッシュ | 200MHz /1MB | 225MHz /1MB | 250MHz /1MB | 225MHz/250MHz /1MB |
| グラフィックカード | ATI RAGE 128／PCI | ATI RAGE 128PRO／AGP×2 | ← | ATI RAGE 128／AGP×2 |
| | SDRAMグラフィックメモリ16MB搭載 | | | |
| ハードディスクドライブ | 約10GB Ultra ATA/33 | 約20GB Ultra ATA/66 | 約27GB Ultra ATA/66 | 約20GB/約27GB Ultra ATA/66 |
| | 5,400rpm Ultra ATA/33ハードディスクドライブ | | 7,200rpm Ultra ATA/66ハードディスクドライブ | |
| 拡張ドライブベイ | 3.5インチハードディスクドライブ拡張ベイ×3基（内蔵ATAドライブを合計2基もしくは内蔵SCSIドライブを合計3基まで追加可能） | | | |
| CD/DVDドライブ | 32倍速CD-ROM | DVD-ROM（DVDビデオ再生可能） | 5.2GB DVD-RAM | DVD-ROM／5.2GB DVD-RAM |
| Zipドライブ | ― | ○ | ○ | ○ |
| FireWireポート | ×2（合計400Mbps） | ×3（合計400Mbps） | ×3（合計400Mbps） | ×3（合計400Mbps） |
| USBポート2基 | ×2（合計12Mbps） | ×2（各12Mbps、合計24Mbps） | ×2（各12Mbps、合計24Mbps） | ×2（各12Mbps、合計24Mbps） |
| ワイヤレスネットワーク機能 | オプション不可 | オプション | オプション | オプション |
| 内蔵56Kモデム | ○ | ○ | オプション | ○／オプション |
| Apple Cinema Display | ― | ― | ― | 標準装備 |
| 大きさ（W×B×H）／重さ | 43.2×22.6×46.7cm／13.6kg | ← | ← | ← |
| 電力条件 | 115V AC（90V～132V AC）または230V AC（180V～264V AC） | | | |
| 最大消費電力 | 200W（ディスプレイは含まず） | | | |
| 付属品 | Apple USB JISキーボードおよびマウス、Mac OS 8.6（専用）、Microsoft Internet Explorer、Netscape Communicator、マニュアル一式、サービス保証書 | | | |

*1 ビデオコントローラー：コンピューターから送られてきた画面表示用のデータを解析して、ディスプレイに正しく表示するための信号に変換したり、グラフィック情報を解析して、より高速に表示できるようにするための専用プロセッサー。 *2 ロジックアーキテクチャー：コンピューターのハードウェアを構成する回路の考え方のこと。 *3 システムバス：CPUやメモリー、拡張スロットなどをつないでいるデータが流れる信号部分。



Velocity Engineで何が速くなるのか？

# PowerPC G4 プロセッサーの速さの謎を探る

三谷 森

Power Mac G4はスーパーコンピューター並みの性能を持つという。では、いったいどのような仕組みで、そのような性能が発揮されているのだろうか？　ここでは、その速さの秘訣を解明してみたい。

## スーパーコンピューターはなぜ速いのか？

スーパーコンピューターは、とにかく演算処理の速さが求められる。それゆえ、一般向けのパソコンとは明らかに異なるアプローチが行なわれている。そのポイントとなるのが、ベクトル演算と並列処理である。ベクトル演算とは配列変数を用いた計算処理のことである。簡単な例を示してみよう。

❶数式Aで求められた答えを数式Bに代入
❷数式Bで求められた答えを数式Cに代入
❸数式Cで求められた答えを数式Dに代入
…………最終的な答えを算出

このような処理を行なうためには、それぞれの数式で求められた答えを順番に貯えておく必要がある。

かなり乱暴な表現ではあるが、この「答えを貯えておく領域」を設けることがすなわち「配列変数を定義する」ということであり、




ベクトル演算とはこの配列変数を用いた計算のことを意味するのである。

この手の計算が必要になるのは、コンピューター上で偏微分方程式を解く必要がある場合で、流体力学や構造解析、気象予報、画像解析といった特別な分野の処理を行なうときには必ず必要なプロセスである。

スーパーコンピューターはベクトル演算処理に特化したハードウェア／ソフトウェアで構成されており、膨大な配列演算を高速に処理するために、ハード／ソフトとも完全に独自のアプローチをとっている。したがって、もしベクトル演算を行なわない処理を任せたなら、とたんに処理効率は低下し、実力を発揮することはできなくなる。

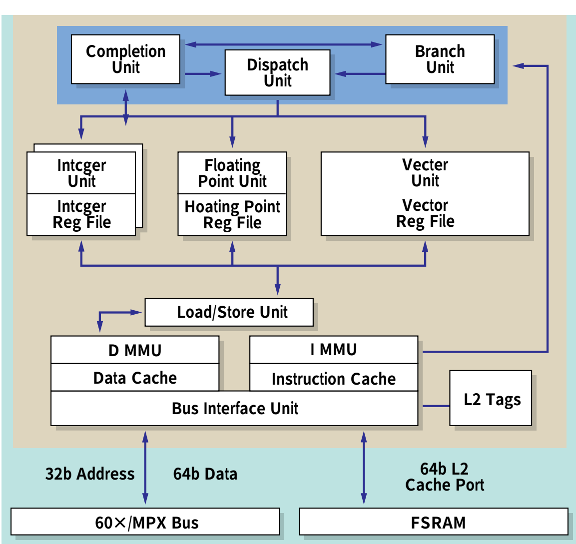
そしてこれは、PowerPC G4プロセッサーに組み込まれている「Velocity Engine」にもそのまま当てはまる話なのだ。

## PowerPC G4の速さのキモ Velocity Engine

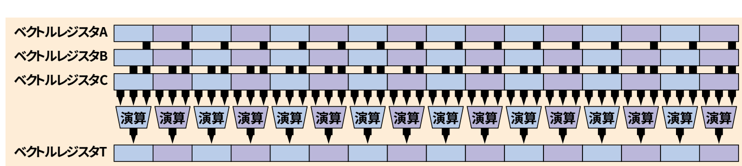
Velocity Engineとは、つまるところ、前述のベクトル演算機能をコンパクトにまとめてCPUの内部に搭載したものである。それでも、理論値で4GFLOPS*1、実効性能でも1GFLOPSという性能を実現しており、その処理能力は非常に高いといえる。Velocity Engineの仕組みを容易に利用できるため、SIMD*2用としてあらかじめ162個の命令セットが定義されており、これを使えば処理効率を引き上げることが可能になる。

Velocity EngineはあくまでCPU全体の中の機能の一部であり、これを活用するようにプログラムを作らなければ、その実力を発揮できず、単純にCPUを入れ替えれば速くなるというわけではない。現在のところ、Velocity Engineに対応しているのはPhotoshop 5.5のフィルター関連機能の一部のみである。しかし今後は、3Dソフトやデジタルビデオ編集ソフトを筆頭に、DVDデコードソフトやMP3エンコード／デコードソフト、科学分野に特化したソフトなどが対応してくるものと思われる。

Power PC G4はまだまだ登場したてのCPUであり、1999年末から2000年初頭にかけて、対応ソフトが出そろうと推測される。Power Mac G4／PowerPC G4の本当の実力を判断できるようになるまでには、もう少し時間が必要だといえるだろう。




PowerPC G4の内部ブロック図。右側にある「Vector Unit」が新機能「Velocity Engin」の中核である。整数演算ユニットや浮動小数点演算ユニットよりもはるかに多くのデータを処理するため、各ユニット間を接続するバス幅*3も128ビットに広げられている。また整数演算ユニット*4の性能はほぼ同じだが、浮動小数点演算ユニット*5は2倍の精度になり、処理能力が向上している。CPU内部の処理能力が向上したことを受けて、データの受け渡しを行なうバスの拡張も行なわれている




配列演算の概念を表した図。数式やあらかじめ定義されている変数を貯えた領域（この図ではベクトルレジスタA／B／C）の内容を基に演算を行ない、それを別のレジスタ（この図ではベクトルレジスタT）に代入している。ここでベクトルレジスタTに代入された結果を基に、また別の計算が行われ、それはまた別のベクトルレジスタに代入されていく。このような処理を連続して行なうのが、ベクトル演算＝配列演算である

# G4は次世代のパソコンを作り上げます

## モトローラインタビュー



**岩泉直人氏**
モトローラ株式会社
半導体セクター　ネットワーキング&コンピューティングシステムグループジャパン　コンピュータ・システム製品部　マネージャー

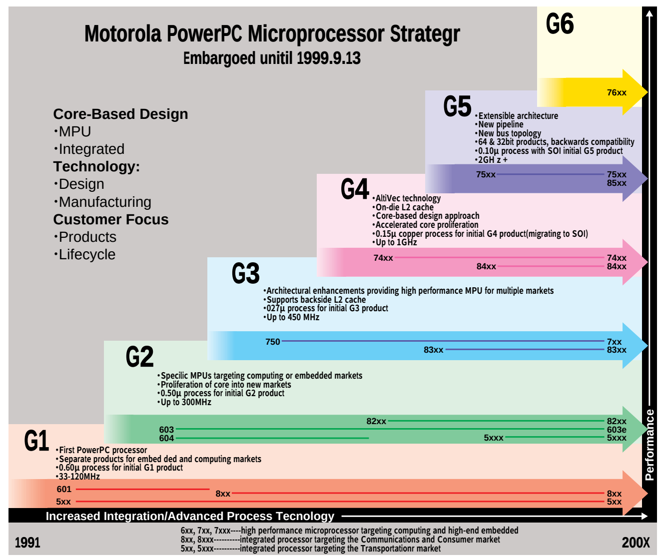
モトローラが考えるPowerPC G4と戦略について、そして次のPowerPCプロセッサーについてモトローラ社に聞いた。

**――新しく登場したPowerPC G4プロセッサーとは、どのようなものなのでしょうか？**

岩泉● PowerPC G4プロセッサーは、Altivecを搭載した、第4世代のPowerPCプロセッサーです。大きな特徴としては、非常に高いバンド幅*6を持ち、高性能なアルゴリズムエンジン*7や浮動小数点演算を高速に処理できるように作られています。PowerPC G4の大きなポイントであるAltivecの持つメリットとしては、複数のデータを平行して一括処理できる機能3Dグラフィックを使ったゲームやグラフィックアプリケーション、音声認識などを高速化することができます。Altivecを活用したプログラムならば、いままでのプロセッサーに比べて、4倍以上の性能が発揮されます。より今までのパソコンでは処理が複雑で実現しにくかったことを可能にしてくれます。

**――今後、PoweerPCプロセッサーは、どのようになっていくのでしょうか？**

岩泉●PowerPC G4プロセッサーはハードウェア的にマルチプロセッシングをサポートしているので、将来的に複数のPowerPC G4を搭載したPowerMac G4が出てくる可能性もあるという。今回登場した7400はG4の第1段ということで、今後さらに高速なものが登場する予定です。また将来的にはスピードや集積度を上げ、機能を増やしたPowerPCプロセッサーも登場すると思います。アップルは重要なパートナーですので、アップルの意向を反映したプロセッサーを今後も開発していきます。




Motolora社が公開しているPowerPCプロセッサーのロードマップ。すでにPowerPC G5の機能概要までアナウンスされているが、登場時期は未定とのこと

# IBMは今後もPowerPCを発展させていきます

## IBMインタビュー

PowerPCプロセッサーを支えてきたもう一方の雄、IBM社では、今後どのようなPowerPCプロセッサー戦略を考えているのか尋ねてみた。

**――今後IBMはPowerPC シリーズを、どのように発展させていくのでしょうか？**

有本●IBMとしては、PowerPCプロセッサー市場に今後も積極的に携わっていく方針に変わりはありません。9月初めにはクロック周波数500MHzで動作するPowerPC 750の出荷を発表していますし、今後も供給は続けていきます。

Doyle●日本国内では、まだプリンターなど一部の機器に採用されている段階ですが、米国では埋め込み型PowerPCは非常に多様な分野から支持されています。各種コントローラーはもちろんですが、ゲーム機に代表されるエンターテインメント分野でも、着実に市場を広げているのです。

**――モトローラ社との共同開発は、今も継続しているのですか？**

有本●AltiVecは、アップル、IBM、モトローラの3社で共同開発した技術ですから、我々としても時期がくれば、AltiVec搭載のPowerPCプロセッサーを出すかもしれません。チップ製造のテクノロジーでは、IBMは他社よりも一歩先んじているという自負があります。次のステップとして、より高速かつ無駄のない処理を実現することを目指しています。IBMは、今後もPowerPCの市場を発展させていきます。



**Bruce A. Doyle氏**
IBM Corporation
Program Manager.
Software Products
PowerPC industry marketing



**有本昌史氏**
日本アイ・ビー・エム株式会社　テクノロジー事業部　マイクロエレクトロニクス　ビジネス開発部　マネージャー

*1 GFLOPS：Giga FLOating point instructions Per Secondの略。プロセッサーの処理性能を示す指標のひとつで、1秒間に処理可能な浮動小数点演算の回数を示す。10億回を越えるGFLOPS単位になると、スーパーコンピュータークラスの性能といわれている。　*2 SIMD：Single Instruction stream Multiple Data streamの略。多数のプロセッサーを持ち、複数個のデータを同一の命令でまとめて処理する方式。　*3 バス幅：コンピューター内部でデータをやりとりするための配線の大きさのこと。　*4 整数演算ユニット：整数値のみを計算する回路。　*5 浮動小数点演算ユニット：コンピューター内部では、小数が入る数値を123×10*のような仮数部と指数部から成り立っている数値として、整数と別個に扱っている。この小数点を含む数値を計算するための回路。　*6 バンド幅：コンピューター内部で一度にデータをやりとりするデータの処理速度のこと　*7 アルゴリズムエンジン：プログラムの処理の方法や流れをプロセッサー内部で解釈して実行する部分。



### 本当にPower Mac G4は速いのか？

# G4のパフォーマンスを徹底検証する

三谷 森

今回パフォーマンステストを行なったのは、クロック周波数Power Mac G4 400MHzのモデルと、450MHzのモデルの2機種である。いずれのモデルも、本誌発売時期の10月中旬には、入手することが可能になっているはずだ。Power Mac G4 500MHzモデルは11月出荷予定となっているため、今回のテストには加わっていない。なお、1999年10月1日現在、PowerPC G4プロセッサー（Velocity Engine）に対応したアプリケーションはPhotoshop 5.5のみとなっている。

### 現状における性能は果たしてどの程度なのか

ここではPhotoshopによる各種処理の時間を計測することを中心に、既存のベンチマークソフトなどを併用してPower Mac G4の実力を検証してみた。未対応ソフトの計測結果は、ワープロなどのソフトを動かすときの目安として判断していただきたい。

なお、テストに用いたPower Mac G4は最終的な製品版ではないため、ここに示した結果はあくまで参考として受け止めてほしい。

## System Info

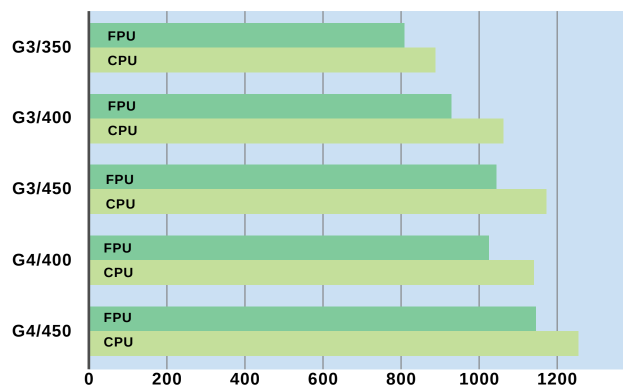
テスト条件●バージョン：5.0　システムキャッシュ設定：128KB　画面表示解像度：1024×768ピクセル　画面表示色数：1670万色　SystemInfoに対するメモリ割り当て：インストール時標準設定　ネットワーク関連機能：すべてオフ　Power Mac G4本体仕様●搭載メモリ容量：320MB　搭載ハードディスク：ATA/33接続9GB（400MHzモデル）／ATA/66接続20GB（450MHzモデル）　使用ディスプレイ：Apple Studio Display17インチCRTモデル

### クロック周波数に準じた結果 AGP対応が望まれる

SystemInfoは PowerPC G4のVelocity Engineにまったく対応していないので、ベクトル演算ユニットの処理能力については試すことができない。したがって、主にCPUの処理速度の性能差についての観点から、このテストを行なっている。

このテストの結果は、Velocity Engineへの対応が行なわれないであろうワープロソフトなど一般的なビジネスソフトを動かすときの指標になるはずだ。その意味においては、従来機種と同等の速度を発揮しており、十分な性能と判断していいだろう。

グラフに掲載していないSystem Infoのディスクアクセスについては、ハードディスクに搭載されているキャッシュ容量に左右され、あまり参考にならないため割愛した。参考までに、連続ディスクのデータ転送テストを別途行なったが、400MHzモデルは19MB/秒、450MHzモデルは22MB/秒という結果が得られている。




System Info 5.0によるベンチマーク結果。グラフの長いほどが高速

## Mac MP3

テスト条件●バージョン：2.0　エンコード品質：128bit　エンコード時の同時再生：オフ　CD楽曲演奏時間：4分44秒　Mac MP3に対するメモリ割り当て：インストール時標準設定　ネットワーク関連機能：すべてオフ　Power Mac G4本体仕様●搭載メモリ容量：320MB　搭載ハードディスク：ATA/33接続9GB（400MHzモデル）／ATA/66接続20GB（450MHzモデル）　CD-ROMドライブ：32倍速（2モデルとも）

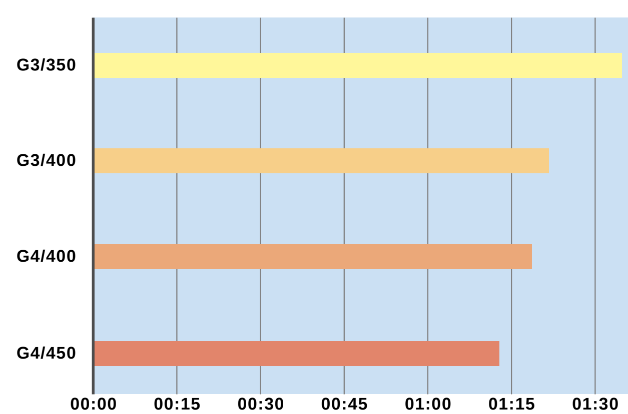
### エンコード時間はほぼ同じ 非対応でも十分速いことを証明

PowerPC G4の高速処理を利用して、MP3データのエンコーディング処理がどこまで速くなるかのテストを行なった。しかしMP3エンコードプログラムがVelocity Engineに対応していないので、こちらもPowerPC G4を「普通のCPU」としてテストしている。

結果を見るとわかるように、G3マシンと極端に処理速度の差はない。Power Mac G4の450MHzモデルがやや速いが、実質的に動作クロック周波数が高い分時間が短縮された。

今後、エンコード部分のプログラムがVelocity Engineに対応すれば、もっと高速になるかもしれない。しかし一方で、データを読み出すCD-ROM／DVDドライブのアクセス速度にも影響を受けることも考えられる。

試しにエンコード品質を変えてみても、時間そのものは変化したが、G3マシンと比較して劇的に速いということはなかった。しかし、Velocity Engine非対応のソフトであっても、ある程度高速に動作するということを証明したといえるだろう。




Mac MP3による音楽ファイルのエンコード処理時間。グラフの短いほど高速

# Adobe Photoshop 5.5J

テスト条件●バージョン：5.5　システムキャッシュ設定：128KB　画面表示解像度：1024×768ピクセル　画面表示色数：1670万色　Photoshopに対するメモリ割り当て：200MB　使用画像ファイル：52.8MB（EPS形式）　仮想記憶領域：起動ディスクに設定　ネットワーク関連機能：すべてオフ　Power Mac G4本体仕様●搭載メモリ容量：320MB　搭載ハードディスク：ATA/33接続9GB（400MHzモデル）／ATA/66接続20GB（450MHzモデル）　使用ディスプレイ：Apple Studio Display17インチCRTモデル

## いくつかの対応フィルターでは大幅な高速化を確認

既存のアプリケーションの中で、唯一Photoshop 5.5がのみVelocity Engineへの対応を謳っているだけに、どれくらい高速化されるのか注目しているユーザーは多いはずだ。アドビシステムズ社の発表では、Velocity Engineに対応している機能・フィルターは、画像サイズ変更、画像回転、色調補正、レベル補正、アンシャープマスク、ガウスぼかし、変型フィルター、極座標、波紋、球面、回転、描画フィルター、照明効果、3Dトランスフォームなどだ。

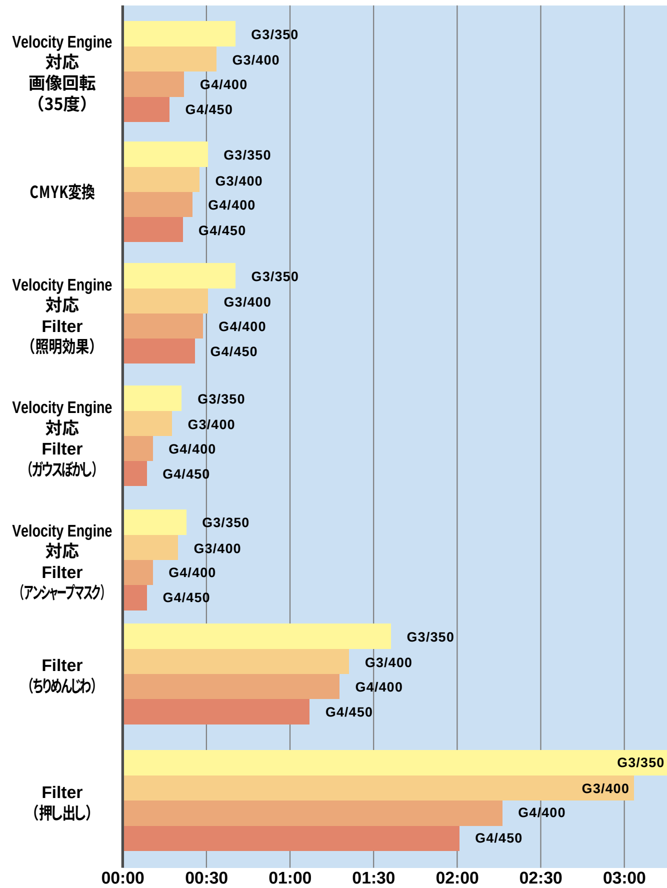
今回のテストでは、実際に使用頻度が高いと思われる、画像回転、アンシャープマスク、ガウスぼかしを基本にし、さらに照明効果を加えた4つをVelocity Engine対応機能として用いた。また、スケッチフィルター・ちりめんじわ、表現手法フィルター・押し出しの2つを未対応のフィルター機能として使用し、それぞれの高速化の度合いを検証することにした。この2つのフィルターをテストに選んだのは、処理に比較的時間を要するので、手動計測の誤差を抑えることができると判断したからである。

これに、印刷系ユーザーが多用するRGB→CMYK変換処理を加えた合計7つの処理を実行した。ちなみに今回のテストでは50MBの画像を完全にメモリー上に展開して処理を行なっているので、仮想記憶の影響は排除している。

さて気になる結果だが、結果を見るとVelocity Engineに対応したとされているフィルターの処理は、いずれも同クロック周波数のG3マシンの6割程度の時間で終了している。Velocity Engineに対応することで処理が高速化されているのは確かといえる。

一方、Velocity Engineに対応していないフィルターの場合、「ちりめんじわ」は、ほとんど変化がない。これに対して、未対応のはず（アドビ社が対応を表明していない）「押し出し」は1分近く時間が短縮されている。PowerPC G4は浮動小数点演算ユニットが新しくなっており、これを多用する処理の場合は、Velocity Engineに未対応であっても高速化されたのだと思われる。

なおCMYK変換については、Power Mac G3とさほど変わりない速度であった。




Photoshop 5.5による画像処理、フィルター処理のエンコード処理時間のグラフ。グラフの短いほど高速

# Quake II

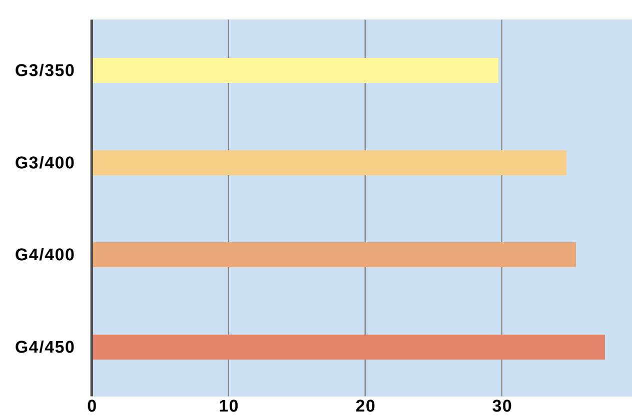
テスト条件●システムキャッシュ設定：128KB　画面表示解像度：1024×768ピクセル　画面表示色数：1670万色　QuakeIIに対するメモリ割り当て：インストール時標準設定　ネットワーク関連機能：すべてオフ　Power Mac G4本体仕様●搭載メモリ容量：320MB　搭載ハードディスク：ATA/33接続9GB（400MHzモデル）／ATA/66接続20GB（450MHzモデル）　使用ディスプレイ：Apple Studio Display17インチCRTモデル

## クロック周波数に準じた結果AGP対応が望まれる

Quark IIには、コンソールモードでコマンドを入力することで、オートデモを実行して描画に要した時間を計測し、フレームレートを算出する機能が備わっている。今回もこの方法を用いてフレームレートを計測してみた。描画フレーム数と、それが何秒で描き終わったかによって数値が変化するわけだ。

結果はグラフのとおりである。クロック周波数分の違いは出たが、G3マシンと比較して劇的な速度向上とはなっていない。もともとVelocity Engineにまったく対応していないのだから、当たり前の結果である。むしろ、ゲームソフトの場合はAGPバスに対応したより速く、より美しいグラフィック描画に注目すべきだろう。

とはいうものの、現在Mac用ゲームソフトの中でAGPに対応しているものはない。それゆえ、描画が美しくなるとか、テクスチャーの品質が向上するといったことも今回のテストでは確認のしようがなく、ごく当たり前の結論しか出せないのが残念である。




Quale IIによる画面描画のフレームレート数。グラフの短いほう高速

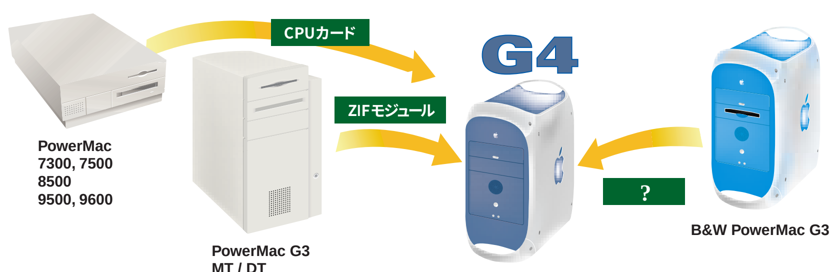
# あなたのMacもG4になる？ G4アップグレードカードが登場

## G4カードはいつ市場に登場するのか

新しくPowerPC G4プロセッサーを搭載したMacが登場したが、ここで気になるのが、既存のPower MacでG4プロセッサーが利用できるか、ということである。PowerPC G3を搭載したPower Macが登場したときにも、それほど遅れずにPowerPC G3を使ったプロセッサーカードがさまざまなベンダーからリリースされてきた。ここでは、各ベンダーから、すでにアナウンスされているPower PC G4カードの情報をお伝えしよう。

PowerPC G4プロセッサーカードは、次ページにもあるように数社から発売がアナウンスされている。ほとんどのメーカーでは、Power Mac 7300〜9600で利用できるCPUカード形式のものと、Power Mac G3などで利用されているZIFモジュール*1形式の2つのものが発売される。クロック周波数は350MHzから450MHz、500MHzのものが登場する。製品の発売時期は、プロセッサーそのものの供給がまだ追いついてないようで、そのためか、早くても今年末にならないとG4カードは登場しないのではないかと見られている。

しかし、気になる話もある。B&W Power Mac G3では、サードパーティ製のG4プロセッサーカードが利用できない、という噂である。真偽のほどは定かではないが、ロジックボード上のファームウェア*2の内容でG4に対応できない部分があり、そのためにG4カードを装着しても、Macが起動しないトラブルが発生するという。しかしPowerlogx社では、独自にファームウェアをアップデートするファイルを用意し、B&W Power Mac G3でも同社のG4カードを利用できるようにするとのことだ。

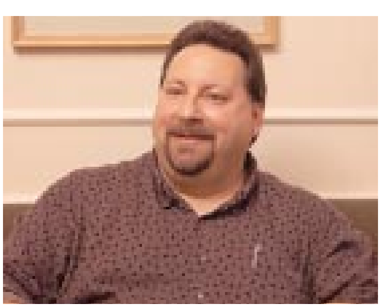


既存の各MacからG4へのアップグレード方法.

# G4アップグレードカードをもうすぐ発売します

## Newer Technologyが語るアップグレードカードの将来像

9月に日本で開催されたPC World Expoに合わせて来日したNewer Technology社のRoger Kasten, Jr.氏に、同社のPowerPC G4アップグレードカードの販売計画について話を聞いた。



**Roger kasten, Jr.氏**
Nerwer Technology,Inc
Senior VP& CTO

**――Newer Technologyでは、すでにさまざまなPower PC G3カードを販売していますが、今後PowerPC G4を使ったカードの発表はあるのでしょうか？**

Kasten●すでにPowerPC G4を使ったカードは試作品が完成しています。このカードの販売予定ですが、プロセッサーの供給状況にもよりますが、いまのところ今年第4四半期の予定です。G4カードの種類は、CPUカードとZIFモジュールのものを販売します。クロック周波数は、400MHzから500MHzを予定しています。キャッシュは最大2MBまで搭載したいと考えています。

**――B&W Power Mac G3では、サードベンダーのG4カードが利用できないという噂がありますが、これは本当なのでしょうか？**

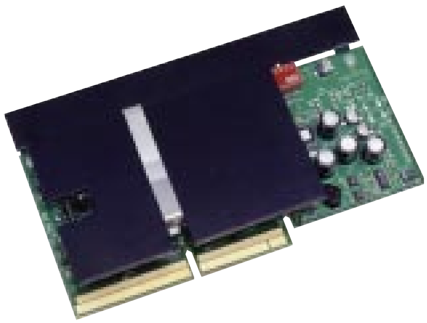
Kasten●たしかにB&W G3 ではG4アップグレードカードは動きません。これはロジックボード上のファームウェアの問題なのです。残念ながら、この件についてアップルに問い合わせても、きちんとした解答が得られていません。それでも私たちは、なんとかB&W G3でもG4カードが動くように開発を進めていきます。

**――今後、G4だけではなく、高速なG3のカードは販売しないのでしょうか？**

Kasten●G4が出たからといって、G3を求める人がいなくなるということはありません。Newerでは今後、もっと高速なG3プロセッサーカードの販売も計画していますし、既存のものは低価格化していくでしょう。いままで古いMacを持っていた人も、G3カードが安くなれば購入するケースが増え、より市場が広がるのではないかと考えています。

# サードパーティから販売予定のG4プロセッサーカード

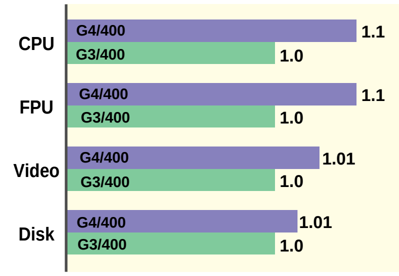
## XLR8 ●http://www.xlr8.com/



XLR8社では、「MACh Speed G4」というG4カード製品について、製品概要から価格まで発表している。このMACh Spped G4に搭載されるG4プロセッサーは400/450MHzのもので、バックサイドキャッシュ*3は当初1MBとなっているが、将来的には2MBのものも計画されている。

製品はCPUカードとZIFモジュールの両方を販売予定で、CPUカードはPower Mac 7300、7500、8500、9500、9600、ZIFモジュールはG3/MT、G3/DTで利用可能だ。

すでに同社のWebサイトでは製品のテスト結果が掲載されていた。これによると、G3/300のカードを入れたマシンとG4/400を搭載したマシンを比べると、後者で演算処理で1割以上の性能アップが得られるという。




販売予定のG4プロセッサカード

| | | | |
|---|---|---|---|
| **G4 Daughter Cards** | | | |
| MACh Speed G4Z | 450 MHz | 1 MB | $1,299 |
| | 400 MHz | 1 MB | $999 |
| **G4 ZIF Module** | | | |
| MACh Speed G4Z | 450 MHz | 1 MB | $1,199 |
| | 400 MHz | 1 MB | $879 |

## インタウェア

●http://www.interware.co.jp

日本唯一のCPUカードベンダーであるインタウェアは現時点でG4カードの発売に関するリリースは正式に出していない。しかし、PC World Expoで開催された「『10倍速』マックの未来」と題したセミナーにおいて、PowerPC G4を採用したBOOSTERシリーズの開発を進めていることを述べている。同社は、当面は400～500MHzクラスの製品を市場投入する予定で、将来的に1GHzのG4アップグレードカードを2000年末までにリリースする計画でだ。さらに、Mac用G4アップグレードカードのリリースも検討中であることを明らかにしている。

古くから日本のMacユーザーにCPUカードを提供してくれた同社だけに、製品の登場に期待がもてる。

## Newer Technology ●http://www.newertech.com/

Newer Technologyでは、同社のアップグレードカードMAXpowerシリーズにG4プロセッサーを採用したMAXpower G4 Upgradesを発売することをアナウンスしている。

G4カード上に搭載されるバックサイドキャッシュメモリーは1MBだが、将来的に最大で2MB搭載する予定だという。MAXpower G4の対応機種はPower Mac7300、7500、7600、8500、8600、9500、9600で、B&W Power MacG3には当面対応できないとのこと。

この製品はすでに開発がほぼ完了しており、9月に開催されたPC WORLD EXPOのセミナー会場では400MHzのPowerPC G4を搭載したカードのデモを日本で初めて公開している。発売日は未定というが、市場に投入されるまでそれほど長くかからないだろう。

販売予定のG4プロセッサカード

| | | | |
|---|---|---|---|
| **G4 Daughter Cards** | | | |
| MAXpower G4 | 500MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 450 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 400 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| **G4 ZIF Module** | | | |
| MAXpower G4 | 500 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 450 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 400 MHz | 1 MB | 価格未定 |

## PowerLogix

●http://www.powerlogix.com/



販売予定のG4プロセッサカード

| | | | |
|---|---|---|---|
| **G4 Daughter Cards** | | | |
| PowerForce G4 | 350 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 400 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 450 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| **G4 ZIF Module** | | | |
| PowerForce G4/ZIF | 350 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 400 MHz | 1 MB | 価格未定 |
| | 450 MHz | 1 MB | 価格未定 |

Power Logix社ではいちはやくB&W G3に対応させるG4カードの販売を表明している。これはFirmware updateを施したマシンなら利用可能だという。

Power Logix社がリリース予定のG4カードは、350から450MHzのものを Power Mac 7300、7500、8500、9500、9600用のCPUカードとして、今年第4四半期には出荷開始を予定している。

このカードに搭載されるバックサイドキャッシュは1MBだが、2MBのものも計画しているとのこと。また、ZIF形モジュールの販売も行なわれ、ほぼ同時期に市場にでてくるものと思われる。どちらも価格は未定となっているが、今年末までには公開されるという。

## Sonnet Technologies

●http://www.sonnettech.com/

Sonnet社では400/450/500MHzクロック周波数のG4カードの発売を計画中だ。具体的に商品名やクロック周波数に関してのコメントは出ていないが、比較的低価格の製品ラインナップでリリースされるという。また、B&W Power Mac G3にも早い時期に対応する予定だ。出荷は今年第4四半期を予定しており、価格については未定とのとこ。

Old Mac用のアクセラレーターカードを数多くリリースしている同社には、多くのユーザーがOld Macでも使えるG4カードのリリースを期待している。

? *1 ZIFモジュール：ピングリッドアレイ（PGA）コネクタ経由でPowerPCチップを載せた小型プリント基板（インポーザーモジュールと呼ばれる）のこと。 *2 ファームウェア：ロジックボード上の搭載されているプログラムの一種で、ハードウェアの仕様やアクセス方法など、マシン固有の情報などが書き込まれているプログラム。 *3 バックサイドキャッシュ：PowerPCプロセッサーと直結して接続されているメモリーの一種で、実行中のプログラム命令やデータを蓄えているもの。キャッシュに蓄えられているデータならば、プログラム実行中に、毎回メインメモリーやディスクに情報を読みに行かなくてもすむので、より高速な処理が実現できる。



新世代のディスプレイサイズを実現した

# Apple Cinema Display

三谷 森



Power Mac G4とのセットでAppleStoreのみ購入可能

Power Mac G4のリリースにあわせ、対角22インチサイズの大画面液晶ディスプレイが登場した。Power Mac G4のターゲットユーザー層であるプロフェッショナルでも満足できるクオリティを持った製品だ。

## Power Mac G4とのセットで大画面を実現

今回登場した「Apple Cinema Display」は、その大きさとクオリティで注目すべき液晶ディスプレイといえる。Macとの接続をデジタルインターフェイスに限定することで、アナログ回路を省いて本体の厚さを抑え、非常にスタイリッシュな印象を与えることにも成功している。当面はApple Storeによる直販で、Power Mac G4と組み合わせた「Power Mac G4 Ultimate」としてセット販売されるだけで、今のところ単体発売の予定はない。

Cinema Displayに採用された液晶パネルは対角22インチ、アスペクト比*1 9：16という大きなものを使っている。TFT液晶パネル*2を採用した製品としては最大級のものだ。特に対角22インチTFT液晶パネルは、まだ歩留まりが悪く、安定した供給が難しい。このディスプレイが単体発売の予定がなく、あくまでApple Storeによるセット直販のみというのも、こうした理由によるものだ。

基本的な表示性能はしっかりしており、最大表示解像度は1,600×1,024ピクセル。A4見開き2ページを実寸表示して、さらに横方向に余裕がある広さであり、特にDTP作業やデジタルビデオ編集において、その恩恵を得ることができるはずだ。

表示解像度は640×480ピクセルから1,600×1,024ピクセルまで、いくつかの選択肢から選べる。ワイドサイズに対応した独自の設定もあり、目的に応じて切り替えられるようになっている。狭い表示領域を選択した場合、画面は拡大表示を行なう。周囲に黒い非表示エリアが生じる実寸表示モードは備えていない。

視野角は上下左右とも80度とかなり広い。実際にいろいろな視点から眺めてみても、鮮明な画像を確認できる。

なお、Mac本体との接続インターフェイスはデジタルのみで、Mac側にもデジタルインターフェイスを備えたビデオカードの装着が必要になる。Power Mac G4 UltimateではATI RAGE 128 Pro*3ビデオカードを採用しており、高品質な描画をサポートしている。

●高品質かつ広範囲な表示エリアを実現





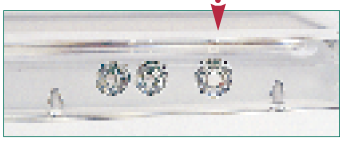

ワイドシネマサイズの表示がぴたりとハマる。DVDの再生はもちろん、編集作業においても、この広さはありがたいはずだ。A4見開き2ページが実寸で表示でき、さらに余裕があるというのは、ページレイアウトを行なうデザイナーやプリプレス関係のユーザーにとって垂涎ものといえるのではないだろうか

## Mac OS 8.6もいち早く対応済み

OS側の対応もColorSync*4用のプロファイルデータはあらかじめ用意されており、即座に設定できるようになっている。また、Cinema Displayにある電源スイッチをディスプレイのみのパワーボタンとして用いるか、Mac本体の電源ボタンとして用いるかを設定できるなど、使い勝手の部分での配慮が見られる。ディスプレイが大きいだけに、本体を机の下に移動させた場合などに重宝するのではないだろうか。

## ●ディスプレイ外観

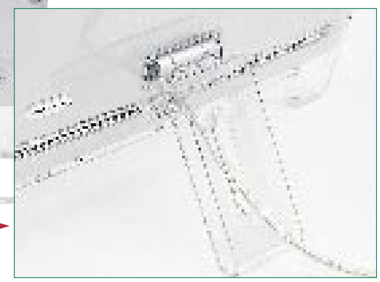




とにかく大きいというのが第一印象。そしてそのフラットさにも圧倒される。電源スイッチなどは右側下面にあり、動作状況によってインジケーターの色が変化する。パワーボタンはOS側の設定で、モードを切り替えられるのが便利だ

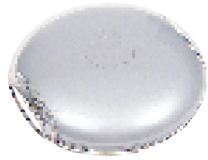
## ●ディスプレイ裏側



のっぺりした感じの裏面。放熱ダクトもきれいに収まっており、シンプルな印象を際立たせている。スタンド部は特許申請中とのことで、パネル部分を動かすだけで任意の角度に片手で調整できる。重いパネル部分を支えるために、作りはしっかりしている。またスタンド左側に2ポートのUSBハブ機能を用意

## ●丸いACアダプター



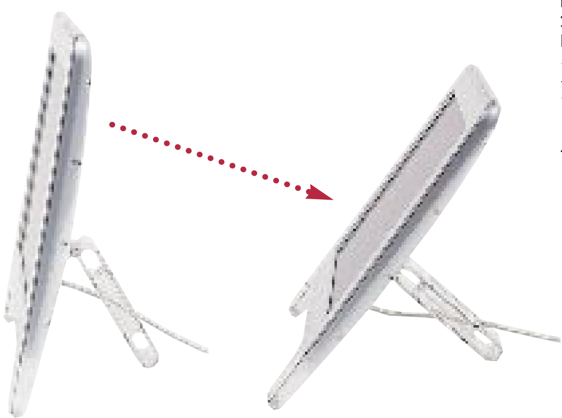
円盤状のACアダプターは意外と大きい。こちらには「Apple Flat Panel Display」という刻印がある。電源ケーブルも専用のコネクターを介して接続する。iBookのアダプターのような土台がなく、ころころころがってしまうのが難点といえる

## ●まとまったケーブル



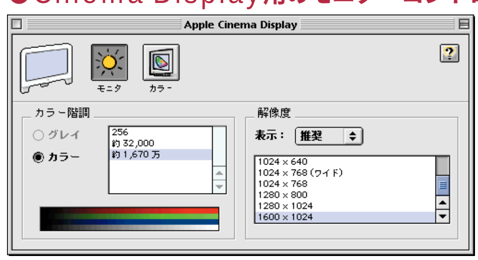
Mac本体との接続ケーブルは、途中まで1本にまとめられており、先端部分のみ分岐している。使い勝手と背面の煩雑な配線を極力シンプルにしようという意図が汲み取れる

## ●簡単に角度が変えられる



本体は片手で傾けるだけで角度が変えられるスタンドを装備している。自動的に押さえた角度で止まるように、ヒンジの部分が工夫されている。これはアップルの特許にもなっているという。傾けられる角度は、約5度から40度近くまで変化させることができる

## ●Cinema Display用のモニターコントロールパネル




モニター設定用のコントロールパネルを開くと、Cinema Displayに対応した解像度の一覧が表示される。ColorSync用のプロファイルも用意されているほか、パワーボタンの設定などもコントロールパネルで行なえるようになっている

## ●デジタル端子を装備した専用ビデオカード



Apple Cinema Displayは、国際標準のデジタルインターフェイスを備えている。Power Mac G4との接続にはデジタルインターフェイスを備えたビデオカードが必要だ。Power Mac G4 Ultimate 450MHz／500MHzモは、この仕様に対応したATI社のRAGE 128 Rrpビデオカードが備わる

ビデオコネクターは、デジタルインターフェイスである24ピンDVI端子となっている



### Apple Cinema Display 22インチTFT液晶モデルスペック表

| | |
|---|---|
| 表示サイズ | 22インチ（対角表示可能サイズ） |
| 表示解像度 | 1,600×1,024、1,280×800、1,024×640、800×500ピクセル |
| 画素ピッチ | 0.297mm |
| 最大輝度 | 180cd |
| 最大表示色 | 1,670万色 |
| 視野角度（左右）／（上下） | 160度／160度 |
| コントラスト比 | 300:1 |
| 周波数（水平）／（垂直） | 31.5〜60kH／56〜75Hz |
| 映像入力端子 | TRMS (Transition Minimized DifferentialSignaling) 付き<br>デジタルビジュアルインターフェイス（DVI）24ピンコネクタ |
| コントローラー | システム起動/スリープ機能、電源ボタン、輝度調整ボタン |
| オーディオ入力／出力端子 | ー |
| USB端子 | 2ポート自己電源式USBハブ |
| オートアジャスト機能 | ○ |
| 内蔵スピーカー | ー |
| 電源／消費電力 | AC100V〜240V／連続使用時62W以下 |
| 大きさ／重量 | 47.9×58.8×21.0cm〜31.0cm／11.4kg |

*1 アスペクト比：モニターの最小表示単位の、縦横比のこと。　*2 TFT液晶：Thin Film Transisto液晶の略で、薄膜トランジスタカラー液晶ディスプレイという意味。液晶ディスプレイの各表示ドットを構成するセルの電極ごとにトランジスターを積み重ねた駆動方式。高品質な表示が可能　*3 RAGE 128 Pro：ATI社が開発した128bitグラフィックコントローラーを搭載した最新グラフィックカード。　*4 ColorSync：Apple社が開発したカラーマッチング技術。Mac OSでは標準でサポートされており、スキャナーからモニター、プリンターまでトータルで同じカラーバランスで処理ができるような機能。



あなたに最適なPower Mac G4はこれだ！

# G4購入ガイド

新居雅行

Macには大きくわけて4つの製品系列があるが、Power Mac G4がその中で、どのような位置付けにあるのかを改めて整理しておこう。そして、今回発売された3つのモデルが、それぞれどのようなユーザーにマッチするのかを考えてみたい。

## G4を選ぶポイントはここだ！

アップルはこれまでさまざまな発表会でMacの製品系列を4つのマトリックスに区分*1してきた。そして先のiBookの発表で、そのマトリックスがすべて埋まったのはよく御存じだろう。この中にはプロシューマー*2向け、つまりハイエンドや大容量のデータを扱う処理が必要になるユーザーのデスクトップ向けのマシンがあり、最初からマトリックスの一角はPower Mac G3、次にB&W Power Mac G3へと置き換えられた。そして今回登場したPower Mac G4へと代替わりしてきた。

では、Power Mac G4を買う意味がどこにあるかを下のイラストに示してみた。ここに上げた3つのキーワードが、Power Mac G4を選ぶポイントなのである。

## スピードでG4を選べ！

Power Mac G4の特徴は、最高速のMacであるということだ。クロック周波数が400～500MHzと速く、G4に組み込まれたVelocity Engineによる高速化が計られている。さらにシステムバスが100MB/sになっているなど、現在のMacの製品系列の中ではいちばん高速なマシンであることはいうまでもない。

こうしたスピードを発揮される場面として想定されるのは、ハイエンドのグラフィックス作成や映像系の作業だろう。Photoshopで数十MB以上の高解像度画像の処理をするとか、ビデオ編集では時間のかかるエンコード処理*3などを短時間で終わらせたいというユーザーには大きな意味がある。

特にPower Mac G4にはPhotoshop 5.5用のVelocity Engineを利用するためのプラグインが標準で付属しているので、Photoshopユーザーにはメリットの大きいマシンである。

## ディスプレイの大きさでG4を選べ！

ハイエンドユーザーは大画面ディスプレイを使うことが多い。iMacのような15インチサイズでは仕事にならないと考えているユーザーは、少なくとも17インチ以上、DTPやハイエンドグラフィックユーザーなら21インチクラスのディスプレイを使うためにPower Mac G4を選ぶはずだ。もちろん、同時に発表となったApple Cinema Displayを使いたいために、G4を選ぶというのも正しい選択である。ディスプレイを自由に選べるというのは、Power Mac G4だけに許された楽しみなのである。

## 拡張性でG4を選べ！

Power Mac G4では内部にハードディスクを増設したり、PCIカードも3枚装着できるなど、拡張性も高い。たとえば、高速SCSIカードを装着してディスクアクセスを高速にしてビデオ編集をよりスムーズに行なったり、高負荷のサーバー運用が可能になる。

一般的に搭載するディスクとしては、高速なハードディスクやCD-Rなどの記憶メディア系ということになるだろう。またハイエンド向けのサウンドカードなども、PCIスロットが必要になる。もちろんFireWireでDV対応のビデオからの取り込みしたいのであれば、現在ではPower Mac G4しかほぼ選択肢はないことになる。

## 最適なG4を選べ！

ほかのMacのモデルにはない性能や拡張性など、Power Mac G4はシステムを構築する楽しみが数多く用意されている。Macにいくら予算をかけられるのかはユーザーによって異なってくるが、処理が速ければ、画面が大きければいいというわけではない。たしかに最上位機種を選べば間違いないが、ほとんどのユーザーは限られた予算枠のなかでシステムを選ぶはずだ。

あくまでもあなたが使う用途に合ったスペックのマシンを選んで、より幅の広いMacの使い方を楽しんでほしい。

●Power Mac G4の特徴





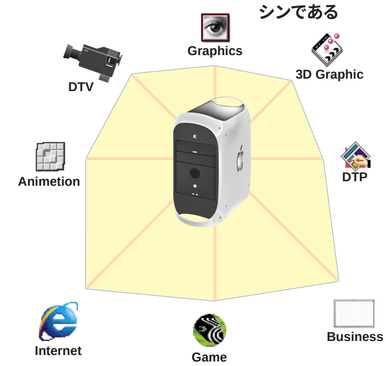
手頃な価格でデスクトップが欲しい

# Power Mac G4/400

CPU●PowerPC G4/400MHz　メモリー●標準64MB　ビデオカード●PCI ATI RAGE128　ディスク●9GB Ultra ATA/33　拡張スロット●PCI×3　拡張ポート●FireWire×2、USB×2

実勢価格●185,000～198,000円
出荷時期●販売中

大きなグラフィックを扱うには、少々パワー不足は否めないものの、G4/400はビジネスや個人ユーザーでも、十分活用できるマシンである




| こんな人にお薦め | ・デスクトップ型のMacが欲しい<br>・とりあえず速いMacが欲しい |
|---|---|

400MHzモデルは、デスクトップ機が必要だが、なるべく入手コストを押さえたいというユーザーにお薦めのマシンだ。このモデルはPower Mac G3時代のもっともローコストな機種と同程度の価格帯となっているため、Macを買う予算が少ないユーザーは、まずこのモデルの購入を考えたい。

一体型のiMacでは外部に大画面ディスプレイをつないで利用することができないため、大きな画面を使いたいがためにPower Macを使うのであれば、このモデルから始めたい。また持ち運びをしないのであれば、割高になるPowerBook G3ではなく、Power Mac G4/400という選択になる。

400MHzモデルは内部にFireWireポートがなく、AirPortの接続もできないし、グラフィックの高速化に関わるAGPポートも存在しない。いわば、従来のPower Mac G3のCPUだけをG4にしたようなモデルだ。もちろんCPUの処理に依存する部分は高速化されているし、Photoshopを使うのであれば、Velocity Engineによる高速化は魅力だ。

主にビジネスソフトやインターネットのアクセス、ゲームなどのソフトを使うユーザーなら、この400MHzモデルで十分活用することができる。利用するデータの関係で大画面ディスプレイを使いたいとか、すでに所有しているSCSI系の周辺機器を再活用したいユーザーならば、まようことなくG4/400MHzを選ぼう。もちろん性能も大事だが、購入資金が厳しい場合にも、この機種を選択するしかない。



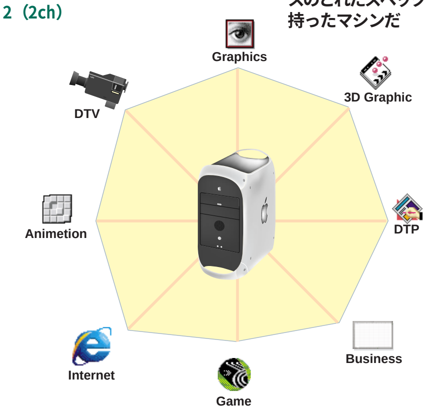
コストパフォーマンスは最高

# Power Mac G4/450

CPU●PowerPC G4/450MHz　メモリー●標準128MB　ビデオカード●AGP×2 ATI RAGE128PRO　ディスク●20GB Ultra ATA/66　拡張スロット●PCI×3　拡張ポート●FireWire×3（うち1つは内部）、USB×2（2ch）

実勢価格●298,000～318,000円
出荷時期●10月中旬頃

G4/450は性能といい価格といい、ほとんどのジャンルで、バランスのとれたスペックを持ったマシンだ




| こんな人にお薦め | ・グラフィックソフトを主に扱う人<br>・ともかくいろんなことをやってみたい |
|---|---|

3機種ある　Power Mac G4のラインナップのうち、中間に位置する450MHzモデルは、新しく設計されたロジックボードが使われている。さらにAirPortカードによってワイヤレスネットワークが利用できるうえに、AGPによるグラフィックスの高速化も期待できる。またDVDドライブも装備されているので、DVDソフトで映画鑑賞などもMacで楽しむことができる。

最上位機種の500MHzモデルの出荷が11月以降になるため、いち早くPowerPC G4を使った高性能なMacが欲しいとなると、この450MHzモデルがベストな選択である。

このモデルは、たとえばPhotoshopで数十MBクラスのグラフィックデータを扱ったり、イラストを描いたり、DTP処理などに使いたいと考えているビジネスユーザーには一番お薦めなモデルである。もちろんビジネス用途だけではなく、「ともかくPower Macでいろんなことをやってみたい」と考えているパワーユーザーにもお薦めできるモデルだ。

G4のラインナップのなかで、価格と性能を見比べると、この450MHzがもっともコストパフォーマンスに優れたマシンであるといえる。ちなみに、上位の500MHzモデルとの価格差は約10万円ほどだが、プロフェッショナルユーザーが3Dグラフィックで膨大なレンダリング処理などを長時間行なうような作業をしない限り、500MHzモデルを選択する理由は少ないと断言する。性能差は10%ほど下回るが、一般的なアプリケーションを利用している限り、その違いを体感することはない。

*1 4つのマトリクスに区分：Apple社はコンシューマー向けのデスクトップ（iMac）とノート型（iBook）、プロフェッショナル向けのデスクトップ（Power Mac）とノート型（PowerBook）の4つの製品ラインナップを持っている。昔はターゲットジャンルに重なって複数のモデルが用意されるなど、混沌としていた。　*2 プロシューマー：アップル作った造語、プロフェッショナルとコンシューマー層の中間に当たるユーザーのことを指す。　*3 エンコード処理：あるフォーマットのデータを、他のフォーマットのデータ形式に変換するための処理のこと。取り込んだ画像データをムービーファイルにしたり、音楽データをMP3のファイルにすることなど。

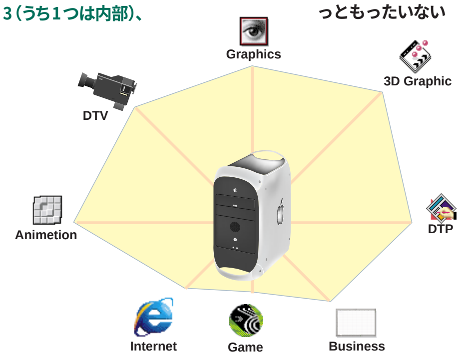


プロフェッショナルユーザー向け

## Power Mac G4/500

CPU●PowerPC G4/500MHz　メモリー●標準256MB　ビデオカード●AGP×2 ATI RAGE128PRO　ディスク●27GB　Ultra ATA/66　拡張スロット●PCI×3　拡張ポート●FireWire×3（うち1つは内部）、USB×2（2ch）

想定市場価格●428,000円前後
出荷時期●11月予定




G4/500はハイエンドユース向けのマシンといえる。ビジネスで使うには、ちょっともったいない

**こんな人にお薦め**
- デジタルビデオなどの編集
- 大容量の画像データを扱うプロフェッショナル

最上位機種である500MHzモデルは、プロフェッショナル向けモデルと限定していいだろう。このマシンを必要とするユーザーは、数十MB以上の画像データを使ってフォトレタッチしたり、3Dレンダリングやグラフィックデザインワーク、デジタルビデオ映像の編集のような、マシンパワーを最も必要とする現場での利用を考えている人だ。またPowerPC G4/500MHzの性能ならば、大学や研究所でVelocity Engineの性能を活かした複雑な数値解析や画像分析などの用途にも利用されるだろう。

500MHzモデルの発売時期は11月以降だが、なにより処理速度を重要視する現場で新しいMacの購入を考えるのであれば、いまからG4/500モデル購入の計画を立てておいて遅くはない。このモデルは、本当のプロの人が使うべきマシンなのである。

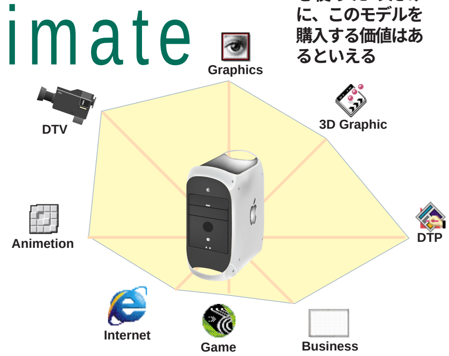


最高のシステムを目指すなら

## Power Mac G4 Ultimate

CPU●PowerPC G4/500MHz　メモリー●標準256MB　ビデオカード●AGP×2 ATI RAGE128PRO　ディスク●27GB Ultra ATA/66　拡張スロット●PCI×3　拡張ポート●FireWire×3（うち1つは内部）、USB×2（2ch）

AppleStore価格●816,000円（450MHz）、926,000円（500MHz）
出荷時期●12月頃




Cinema Displayを使うためだけに、このモデルを購入する価値はあるといえる

**こんな人にお薦め**
- 最高性能のマシンが欲しい
- Cinema Displayを使いたい

Power Mac Ultimateを選ぶポイントは、「Apple Cinema Displayを使いたい」、この一点に絞られる。Power Mac G4とCRTディスプレイのセットだともう1台買えてしまうほどの値段だけに、一般的なビジネスユーザーはなかなか手を出しにくいかもしれない。

それでも、DVDソフトを鑑賞するために、このモデルを購入するパワーユーザーもいるかもしれない。しかしApple Cinema Displayの持つ大画面の液晶ディスプレイは非常にきれいで見やすいというメリットを生かして、ビジネス用途に使うことも考えてほしい。たとえばCADを使うような場合、液晶ではCRTよりも細い線でもくっきりと見やすいという利点は大きいはずだ。高価なCAD専用ワークステーションを購入するより、実はUltimateモデルの方が安価だったりするので、よく検討すべきだ。



## 意外と狙い目かも 在庫品G3を買うか？

Power Macデスクトップ機をなるべく安く手に入れたいとなると、モデルチェンジした前の機種であるPower Mac G3も選択肢のひとつに入れてもいいだろう。G4の登場によってG3は製造中止になったようだが、執筆時点（9月中旬）ではまだG4/400以外は出荷前ということもありG3は継続して販売されている。しかし、一部の店頭では値崩れしているケースも見受けられるものの、従来通りの価格で売られているところもある。ショップによっては、すでに完売しているモデルもあるようだ。

もし、本誌が発売される頃にまだG3が売られている場合には、値段の下がり具合と在庫を見ながら、タイミングがあえばデスクトップ機を安く手に入れることができるかもしれない。

もちろん、Power Mac G3は現状では最高速Macではなくなっているし、今後1つのトレンドになるのは間違いないAirPortもアップル製品は使えないなどの制約はある。

今後G3がどれくらい値下がりするかは予測がつかないが、Power Mac G4/400MHzが20万円を切っているだけに、よほど値下がりしていない限り、購入する気にならないだろう。

G4とG3の違いは、CPUの違いとDVDかあるいはZipがあるかどうかというところで、そのあたりを秤にかけることになる。

いずれにしても、この雑誌が出たころにはG4の450MHzが発売されているかという時期だけに、G3の400MHzや450MHzもある程度は市場に残っていて、微妙な値付けを考えるユーザーを大いに迷わしてくれるに違いない。

AppleStoreでは、執筆時点ではすでにG3モデルはリストから外されている。しかしスペシャルセールとしてG3がかなり安い価格で販売されたこともあるので（すぐに売り切れた模様だが）、ともかく安く手に入れたいのであれば、Apple Storeはこまめにチェックしたい。

特集II

# Macは「本」をどう変えたか？

Macの登場でもっとも影響を受けたもののひとつが、紙、あるいはWebやCD-ROMなどデジタルをベースとした「本」ではないだろうか？　Macあるいはデジタルメディアの普及は、こうした「本」のあり方に、常に変化をもたらしているといえるだろう。「本」とMac、あるいは「本」とデジタルメディアにまつわる、さまざまな分野における変化の状況と、未来を探る。

編集協力／ランディング

# Mac とデジタルメディアが変えた「本」の形
## デジタルクリエイターの先駆者が語るこの10年

古くは雑誌NumberやELLE JAPONのアート・ディレクターとして、そして日本におけるDTPの草分けとして活躍してきたデジタローグの江並直美氏。CD-ROMにおいても「YELLOWS」でブームの火付け役となるなど、常に時代の先駆者として歩み続けている。「本」に対するMacとデジタルメディアの影響を常に見つめてきた同氏に、これまでの約10年間の歩み、現状に対する認識、そして今後の展望を聞いた



江並 直美氏
Nomi Enami
デジタローグ代表取締役　アートディレクター／プロデューサー

### ■DTPの現状 ——「単に合理化が終わっただけ」

デザイン、DTPの世界では、もはやMacintoshを使うのは当たり前という世の中になりつつある。この10年の間に技術的にも格段の進歩が生まれ、大きな不安もなくDTPの世界に飛び込むことができるようになった。では、果たしてDTPによって表現の幅が広がったのだろうか？　MacによるDTPやデジタルメディアの先駆者として活躍してきたデジタローグの江並直美氏に聞いてみた。

「個人によるフリーペーパーというメディアが出現してきた。あれこそがDTPのいい面ですよ。グラフィックという自己表現ですね、デザインと呼ぶにはおこがましいけど。商業誌については、単に合理化が終わっただけです」

あえて「合理化が終わっただけ」と語る背景には、新しい表現が登場するわけでもなく、むしろ画一化していく傾向にある雑誌に対しての江並氏のいらだちがある。コンピューターを使ったことによってデザインが似通ってしまうということがあるのだろうか？

「コンピューターのせいで画一化されるっていうことはありませんよ。みんな同じになってしまうのは、何も考えてないからです。ある意味じゃ、学校が悪いんです。何を使っても、いかに違うものを作るかという発想があるはずなんだけど、作り手も大衆化してしまってるんです」

江並氏は、皆が同じようになるのは過渡期の現象かもしれないが、画一化されてしまうのは、作り手側の責任でもあり、同時にチョイスする側の問題でもあると強調する。そして、自身もいろいろな実験を行なってきたが、『雑誌エディトリアルデザインにおけるフロンティアを探す』ことは未だできていないのだという。

### ■Mac導入の目的 ——「ひたすらデジタル化すること」

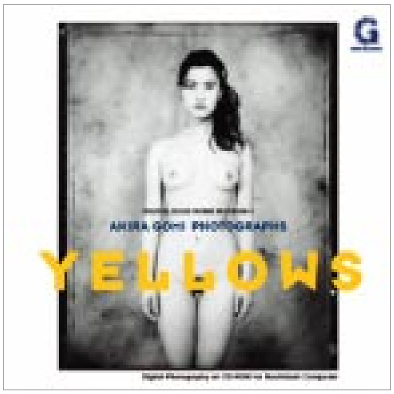
江並氏がデザインのためにMacを購入したのは10年程前に遡る。導入したはいいが、実際に作業してみると手作業のほうが早いことに気付いた。しかし、だからといって手作業に逆戻りするということはなかった。逆転の発想で、慣れ親しんだ手作業を一切切り捨て、技術を習得するためにひたすらパソコンを練習するという方向に走った。効率のためではなく、データのデジタル化だけを目的にした江並氏の実験が、ここからスタートしたのである。

「デジタル化に踏み切った一番の理由はカッコよさそうだったから（笑）。カメラマンにはたくさんの機材があってカッコいいいけど、デザイナーには三角定規とカッターしかない、地味なんですよ。それから、コンピューターを使えば表現が広がるだろうと思ったんです。その結果を得るためには、極めなきゃいけないでしょ？

それと、大手出版者のおじさんのいうことを聞いてやるよりも自分たちで出版しようと思っていたんです。そのためには、こんなに便利なものはないですよ」

デザイナーという職業は、ある意味で受注業である。人気雑誌でデザイナーを務めれば、当然、

## デジタローグ社のCD-ROMタイトル




デジタローグの名を一躍高めた記念碑的作品「YELLOWS」。写真家五味彬氏が「日本人の体の記録」をコンセプトに、52人の一般の日本女性を撮影したCD-ROM写真集。いわゆるペーパーの“本”にできなかった写真集をデジタル化し、CD-ROMセールスのあらゆる記録をぬりかえるベストセラーとなった。その後デジタローグでは10タイトル以上の「YELLOWS」シリーズを制作し、現在も続行中である




天才アラーキーこと、荒木経惟氏がデジタローグのために撮りおろした、同氏初のデジタル写真集「ARAKITRONICS」。2日間に渡って3,000枚を越える写真の中から1500のイメージを厳選して収録された。また、見る度に違う印象を与える、デジタローグ独自の写真構成法Suggested Order Movie Systemを初めて採用した作品でもある。




日本を代表するアーチスト日比野克彦の、デビューから現在にいたる、13年の幅広い活動の軌跡を振り返るインターラクティブ作品集「HIBINO INTERACTIVE EXHIBION」。学生時代の作品から、貴重なパフォーマンスや屋外制作風景、立体作品など、2000点を越える作品を収録している。年代やカテゴリー、テーマ、モチーフなど、各キーワードごとに同氏の作品を検証して鑑賞することができる




デジタローグでは、アート系以外にも歴史的な写真を集めたCD-ROM写真集も数々制作している。この「NO／原水爆実験記録写真集　ある晴れた日に」という作品では、「ディスプレイから投射される光の意味を考えよう。原子爆弾とコンピュータが出自を同じくすること」をテーマにしている。スクリーンセーバーと、スライドムービーを収録。

編集部との軋轢の中で仕事を続けなければならない。数々の人気雑誌をアートディレクターという立場で手がけきた江並氏だが、ある時を境に、そこまでして仕事を続けたいと思う雑誌がなくなっていったという。

「人の考えたものが面白くなくなったから。あるいは、肝銘を受ける雑誌がなくなったといえばいいのか。70年代はPOPEYE、Olive、BRUTUS、そして写楽、写真時代と、いい悪いは別として、個性的なものがいろいろと登場していた。それがだんだん、しぼんでいったんです。」

そこで、実験をすることを目的にPR誌などの仕事を探し、DTPの経験を積んでいくこととなる。そして、その成果は'92年に出版された世界文化社の「家庭画報インテリア」をフルDTPで作ることで結実する。この雑誌を見た人は、誰も従来の写植との違いに気付かなかったという。

「最初は指定紙でやろうか、イメージセッターで版下を出そうかという話もあったんですが、どうせなら全部データで入稿しようという話になりました。日本サイテックスのアセンブラーというのを使って、QuarkXPressのデータをゲートウェイを介して持っていってやったんですよ。

僕らはもう、カタログやPR誌を作って実験しているから、知識もバッチリなんですよ。印刷屋より詳しかったかもしれない。この頃、ベニヤスキャンという会社が活躍していましたね。

いろいろな苦労があった時代です。JISコードが違うので文字化けして、それを調べるのに印刷会社が2晩徹夜したとか、そういうのは日常茶飯事でしたね」

### ■Yellowsの出版——「なりゆき」

このように、江並氏のMac導入後の数年の実験のテーマは、「従来の印刷物をDTPでどう再現するか」であった。この段階を過ぎると、93年頃から、「エレクトリックデザインならではの表現とは何か」「それと人間がどう関わっていくか」を実験のテーマとして掲げるようになった。

「パソコンで作業効率が良くなるのは当たり前。僕らはその部分はあえて否定して、他にどんな利点があるかを追求したんです。それが何かといえばグラフィックデザインですよね。その流れの中で出版と平行してマルチメディア分野の実験を始めました」

実験をくり返すうち、江並氏は、印刷物ではなく、電子メディアの世界に惹かれるようになった。ここで初めて同氏はCD-ROMタイトルのプロデュースをすることになる。それがあの、『YELLOWS』である。

当時、ヘアヌードを扱った写真集YELLOWSを出版できなかったところに、CD-ROMというメディアが登場した。江並氏によれば、「なりゆき」でできたものだったが、そこに時代の風が吹いたのである。

「モニターではきれいに見えるのが、なんで印刷するとこんなに汚くなるのか、きれいに印刷するためには、なんでこんなに重いデータを用意しなきゃならないのか。このままでいいじゃないか！　とやっていったら、CD-ROMっていうメディアがあったんですよ。YELLOWSについては、『確信犯』って言う人がいるんですけど、本当になりゆきだったんですよ（笑）」

コンピューターをきっかけに、どんどん新しい分野を切り開いていった江並氏だが、決してコンピューターによって考え方が変わったわけではない。むしろ、すべてをデータとして扱えるコンピューターが、当初から江並氏の目指していた方向性に合致していたということである。

「もともと、万博に影響を受けた『万博オヤジ』なんですよ。その発想は変わっていない。むしろ、自分にコンピューターという非常に強力なブースターがついたっていう感覚です」

一方で、「写真」というと、すぐ解像度を考え

この本で江並氏は、コンピューターでデザインすることの意味を自らの体験を踏まえた上で多角的に分析し、エレクトニックデザインの発想と手法の根本を語りつくしている。ネビル・ブロディ氏、タナカノリユキ氏、松本弦人氏との対談も収録。




“過去10年に及ぶコンピューターによる試行錯誤は、
単に作業効率の向上のためだけではなかった。
それは表現の変革を余儀なくされることであり、
気がつくと変容していくメディアに遭遇し、
デザインという行為の意味さえも問い直す結果を招いた。
その時代ごとの表現と意味を検証することで、
エレクトロニックデザインという新分野が、
もはや従来的な現実のメタファーを
デジタルに落とし込むだけでは意味がなく、
デジタル表現ならではのフォルムを
構築しなくてはならない段階に達していることを、
実証してみようと思う。”

〜『OUT OF DESIGN
電子意匠論　終わるデザイン　始まるデザイン』〜より
（江並直美著／美術出版社・3,800円）

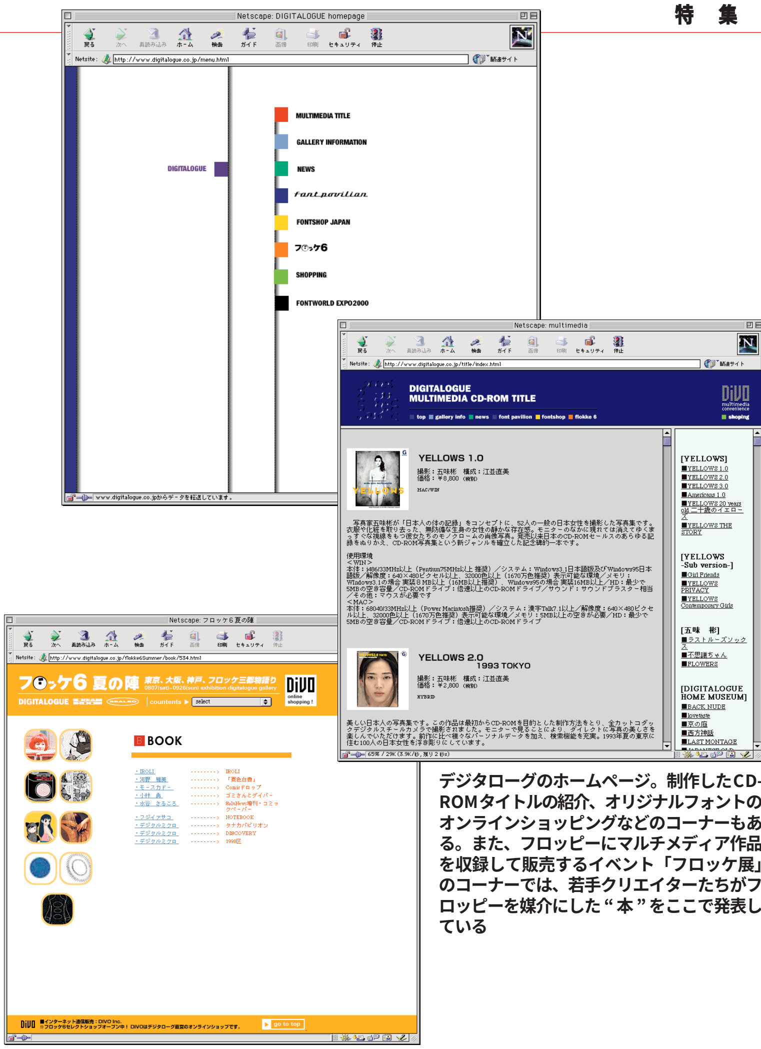
てしまうなど、コンピューターに慣れたことによって発想を制限してしまっているという弊害もあるという。

「コンピューターの表現力は強いから、どんどん自分に侵食してくる。それをどこまで許すかっていうのは難しいですね。
　それと、コンピューターによるデザインの最大のウィークポイントは、できてもいないのに、できたかのように見えるということなんですよ」

　コンピューターを使えば、技術的には簡単に線が引ける。しかし、手作業でやったことがないと、その仕事の大変さは身をもって体験できない。江並氏曰く、手描きで何年も苦労して学んだことは、『丁寧な仕事をする身体感』であり、コンピューターだけの作業では、そこが欠落してしまうのではないかと危惧している。

## ■メディアの将来
## ――「本やCDは贅沢品になる」

　初期の段階では印刷物を制作するための道具としてパソコンを導入し、次にCD-ROMなどでの電子出版に取り組んできた。となれば、次はインターネットというメディアにどのように向き合っているのかが気になるところ。
「もちろん、無視できないメディアです。もうちょっと通信速度が速くなったら、僕も面白いことができるかな、と思いますね。ただ、プログラムも絡んでくるようなことをしようと思うとプログラマーを雇わなくちゃいかんし……」
　江並氏は、インターネットの存在に注目しつつも、今のところはオンラインショップを運営している他には、特に目立った活動をしていない。現実の通信速度のことなどを考えると、まだ好きなことを表現できる段階にはないと判断しているようだ。
　では、雑誌畑の出身者として、ネット上の雑誌、つまりWebマガジンについてどう見ているのだろうか？
「Webマガジンって呼ばれているものは、結局、Netscape NavigatorやInternet Explorerで見るものでしかないわけでしょ？　あれはまだまだ最終形ではないですね。それに、『Webマガジン』っていっちゃうから、世の中から文句をいわれてしまうんです。あれは、「マガジン」ではなくて、もっと得体の知れないものなんですよ。
　それから、ネット上の発言についてとやかくいう文化人がいますが、それもおかしな話です。きっと彼等にとっては、世の中で発言できるっていう特権がインターネットによって失われるっていう感覚なんでしょう。誰でもものを作りだせて、発言できるっていうのは、いいことだと思うんですが……」
　インターネットというメディアを考えると、コンテンツそのものもさることながら、それによって引き起こされる流通形態の変化にも注目せざるを得ない。いわゆる「ノンパッケージ化」への動きである。これについては江並氏も注目しており、「間違いなくその時代が来る」と考えている。たとえば、音楽配信が進化すればCDの流通がなくなる方向にあるという話。
「人によっては、『音楽はパッケージと一体化しているものだから、CDはなくならない』っていいますけど、それは単に『今まではそうだった』ということでしかない。知らない間に世の中が変わっていくっていうことがあるんです。いつの間にか、レコード屋にレコードがなくなってCDになっていったでしょ？
　まあ、それでもCDは残るでしょうが、贅沢品になると思います。手うちうどんみたいなもので




デジタローグのホームページ。制作したCD-ROMタイトルの紹介、オリジナルフォントのオンラインショッピングなどのコーナーもある。また、フロッピーにマルチメディア作品を収録して販売するイベント「フロッケ展」のコーナーでは、若手クリエイターたちがフロッピーを媒介にした“本”をここで発表している



すね（笑）」

そして街からはポスターがなくなり、代わりに大型ディスプレイが並ぶようになる。人々は紙ではなく、スクリーン上で読書するようになっていく。マルチメディアを根底として、パッケージレスの方向に、情報インフラは変革していくというわけである。

「ただ、CD-ROMっていうのはまだ生き残ると思ってます。DVD-ROMの大容量のデータを埋めるのが大変だっていうことは、作ってきた僕らがよく知っています。まあ、僕はまだCD-ROMを続けていきますよ」

## ■再び雑誌　——「最後の挑戦」

「僕は実験を続けて追求するという意識を持ち続けています。それは変わっていませんよ。それから、僕の中では、編集やデザインをする時、『紙だから』とか『ROMだから』という分け隔てはないんです。『作ったものをどういうものにコーディングするか』っていう感覚です。その辺は、さすがに10年もやっているとわかってきますね」

今後、情報インフラが変わっていく中で、江並氏は形を変えて様々なメディアに挑戦していくであろう。それでも、紙媒体への可能性を諦めたわけではない。

「本当はまだまだ、いろいろな表現があるはずなんです。文字が大きくなったり小さくなったりとか、渦を巻くとか、新しい表現にチャレンジしたいんです。ただ、そういうことをいい加減にやってもだめ。それを生かす文章をつくれる人がいないと」

このような人物こそが、冒頭で語った「フロンティア」なのであろう。そこで昨年、江並氏自らが10年間の集大成として「OUT OF DESIGN」という本を出版した。これもDTPの可能性を試した実験の1つである。

「雑誌ではありませんが、あの本は640×480／72dpiの原寸の印刷ブックなんですよ。2人がかりで、すべてを3週間で作ったんです。こんなに短く作れたのはDTPのおかげです。その間、家に帰ってませんけど（笑）」

「OUT OF DESIGN」は、これまでの版型にとらわれず、コンピューターの発想からアプローチした作品である。同じように「コンピューターならでは」というアプローチとして、オンデマンド印刷にも可能性を感じているという。

「うちから前田ジョンの『リアクティブブック』シリーズというのを出しているんですけど、今度、このシリーズのボックスをつくるんです。それをオンデマンド出版にしようと考えています。500部つくるとして、全部違う印刷にして箱をつくってしまうんです。これは新しいでしょ？　ニッチでカルトだけど（笑）」

電子メディアへの移行を様々な形で実験してきた江並氏。この10年の流れを正確に把握し、最先端を走り続けてきたわけだが、それでも紙の本へのこだわりを持ち続けている。そして、雑誌を進化させたいという意識は人一倍強い。

「本をつくったところから自分のデザイン人生が始まってますから、やはり本が最後の挑戦ですね。電気がなくても読めるし、電子出版の世の中になっても、クラシックとして残っていくと思いますよ。これからも、機会があったら本を作ります。紙を選んで、装丁を決めてと、渋くて愉しい作業ですからね。それに作品がモノとして残って触れられるというのは、作り手の欲望が満たされるという意味では、最高ですよ」

（取材・文／姉歯康）

# 進化を続ける小説の流通形態
## 村上 龍氏が語る「道具としてのMac」

『限りなく透明に近いブルー』でデビュー以来、『コインロッカー・ベイビーズ』『愛と幻想のファシズム』『5分後の世界』など、数多くの文学作品を発表してきた作家・村上龍氏は、現在、小説の執筆をPowerBookで行なっている。従来の書籍の形態にとどまらず、Webマガジン、メールマガジンも手がける同氏に、Macを使うことの影響、紙媒体と電子媒体の違いを聞いた。



## 「Macを使っても、小説そのものが変わることはない」

**村上 龍氏**
*Ryu Murakami*
作家

### Macとインターネットを活用

「パソコンやインターネットを題材にした小説の準備ため、Mac互換機をもらった」というのが、村上龍氏がMacに触れるようになったきっかけだ。

「コンピューターといえばMac、というイメージは以前からありました。映画『KYOKO』を制作したときも、スタッフはMacを使っていましたからね」

現在では、PowerBookですべての作品を書き上げるほか、CGの制作にG3を使用している。

「最後までPowerBookで書いたのは、『イン・ザ・ミソスープ』(97年)が初めてでした。今ではキーボードのほうが早く書けます。手書きのときよりていねいに書くようになりましたね」

Macの習熟と並行して、インターネットも活用するようになった。

「インターネットは便利なメディアですね。最初はアダルトサイトを見たりもしていましたが、今は小説を書く際の資料を探すために使っています。調べようのないことを調べるとき、たとえば、『放置された製材所』について書く必要があるときに、サーチエンジンで検索すると、製材機械など関連する項目まで出てくる。それをもとに製材所を描写するわけです。もちろん、限界はありますが」

### Webマガジン、メールマガジンへの進出

村上氏は、Webマガジン『tokyoDECADENCE』のプロデュースも行なった。これは、18歳未満入場禁止の有料サイトであり、Webだけに掲載される小説『the mask club』、CG、すでに発表された小説『トパーズ』の英訳版、坂本龍一氏によるオリジナル曲などで構成されるもの。しかし、すでに入会を締め切っている。

「クレジットカードをはじめ、BitCash[*1]などの電子マネーでの課金を試してみましたが、まだインフラが整っておらず、運営は難しいものでした」

その一方で、今年3月から無料メールマガジン『Japan Mail Media』(週刊)の発行を開始した。内容は、金融・経済をテーマに、現役為替ディーラーやアナリストなどによる座談会、心理経済学者によるコラムなど。編集長である村上氏は、座談会の司会も務める。

*1 BitCash：電子マネーのひとつ。1997年6月からサービスを開始した、事前購入のカードでインターネット上の決済を行なうシステム。クレジットカードのように、インターネット上に個人情報を流さなくてもすむという利点がある。

「メタファーなどでは説明できない動きを見せる現在の社会において、伝えるべきことをきちんと伝えていない既成のメディアを批判してきましたが、『Japan Mail Media』を始めてからはその必要がなくなりました。金融・経済をテーマにしたのは、それが現在の社会においていちばんのトピックスでもあるからです」

村上氏にとって、もはや仕事を進めていくためにはMac、あるいはインターネットは欠かせないようだが、小説を書くうえで、どのような影響を与えているのか？

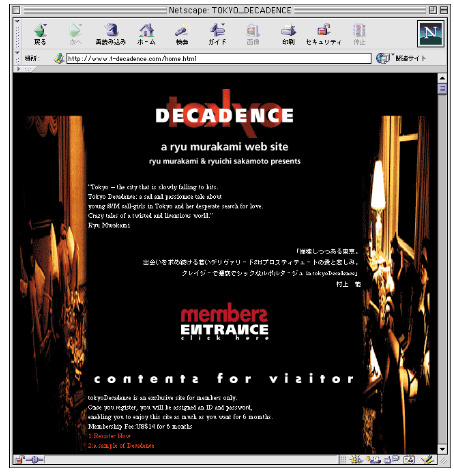
「Macを使っても、小説そのものが変わることはないですね。文体や全体の構成などは、普段、使っていない脳細胞を使うような作業なのでロジックで考えてもだめなのです。Macはあくまでも道具であり、そのことを忘れてはいけないでしょう。アイデアを形にするのは、あくまで人間の作業であり、道具が変わろうと、それは変わりません」

だが、題材として取り上げるケースはあるようだ。

「インターネット上では、別人になりすます人がいたりしますよね。そういった人間のアイデンティフィケーションに関することなど、普遍的な問題がインターネットを通じて表面化する場合は取り上げることもあります。『共生虫』（月刊『群像』連載中）はそうした作品です」

では、Webやメールなど、流通形態の変化は、作品に何らかの変化をもたらすのだろうか。

「『the mask club』は、Webマガジンのために書き下ろしましたが、影響はありません。ただ、モニターで読むという制約があるため、長いものは向かないと思います。また、メールマガジンで小説を発表する予定はありません。あったとしてもそれで小説が変わるということはないでしょう。重要なのは、Webでも、メールでも、そのツールで何をやれば効果的かということです。たとえば、『Japan Mail Media』では、興銀、富士銀、第一勧銀の三行合併のニュースに関して、経済紙よりも早く対応できました。これは、発行の3時間前まで変更ができるメールマガジンという形態ならではのことでしょう」




村上氏のプロデュースによる有料Webマガジン『tokyoDECADENCE』（http://www.t-decadence.com/home.html）。いずれコンテンツをCD-ROMに収録して発売することも考えているという。今後Webでは、セリエAの中田英寿選手のページに、サッカー小説の連載を行なう予定だ

## 「インターネット万能主義」を否定

これは、まさにインターネットの利点を生かしたケースだが、いわゆる「インターネット万能主義」については警鐘を鳴らす。

「インターネットさえあれば、なんでもできるという発想は違うと思います。インターネットに関していちばん騒いでいるのは、日本政府でしょう。小学生のうちからキーボードを触らせようとしていますが、それで発想が豊かになるわけではないですからね。また、ネットベンチャーの企業に補助金を出そう、という考えみたいですが、それでは逆に可能性を潰すことになると思います。アメリカでスティーブ・ジョブズやビル・ゲイツのような起業家が出て来たのは、米国経済が崩れ、それまでの自動車産業などが立ち行かなくなり、新たなことをやらざるをえなかったからです。ただ、日本も悪い部分はあるにせよ、多様化してきているので、クリエイティビティを発揮できる方向に進めばいいと思います」

自身の職業の観点からも、インターネットに依存する姿勢はうかがえない。

「インターネットは、コミュニケーションの効率を上げるものであり、それはそれで重要なことですが、作家の立場からいえば、当然、それ以前に表現力が重視されます。また、いくらインターネットが普及しても、紙の本がなくなることはないでしょう」

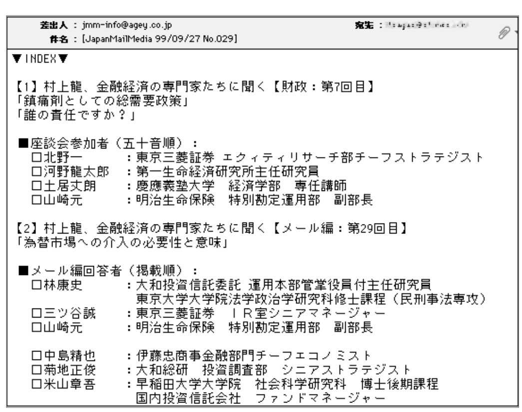
## Webマガジンを離れオンデマンド出版の道へ

インターネットを利用すれば、出版社を通さず、安価に海外へも作品を発表できるという見方もあるが、「それでも翻訳のコストはかかる。既存の出版社を通じてできるのであれば、それでいい」という考えだ。

しかし、村上氏は決してメディアとしてのインターネットを否定しているわけではない。

「ビジネスとして成立させるのは難しいにしても、たとえば、前衛的過ぎて既存の出版社から発行できないようなものを、Webを通じて発表できるという可能性はあると思います。週刊誌、女性誌、スポーツ紙など、下劣な煽り方をする、時代にフィットしていない紙媒体が存続している状況で、そのカウンターとして、重要で正確な情報が掲載されたWebマガジンが成立する余地はあるでしょう。ただ、今後、自作を発表する場としては、Webマガジンではなく、オンデマンド出版を考えています。詳しいことはまだお話しできませんが、近い将来、スタートする予定です」





差出人：jmm-info@agey.co.jp　　宛先：
件名：[JapanMailMedia 99/09/27 No.029]

▼INDEX▼

【1】村上龍、金融経済の専門家たちに聞く【財政：第7回目】
「鎮痛剤としての総需要政策」
「誰の責任ですか？」

■座談会参加者（五十音順）：
□北野一　：東京三菱証券 エクィティリサーチ部チーフストラテジスト
□河野龍太郎　：第一生命経済研究所主任研究員
□土居丈朗　：慶應義塾大学　経済学部　専任講師
□山崎元　：明治生命保険　特別勘定運用部　副部長

【2】村上龍、金融経済の専門家たちに聞く【メール編：第29回目】
「為替市場への介入の必要性と意味」

■メール編回答者（掲載順）：
□林康史　：大和投資信託委託 運用本部管業役員付主任研究員
　東京大学大学院法学政治学研究科修士課程（民刑事法専攻）
□三ツ谷誠　：東京三菱証券　ＩＲ室シニアマネージャー
□山崎元　：明治生命保険　特別勘定運用部　副部長

□中島精也　：伊藤忠商事金融部門チーフエコノミスト
□菊地正俊　：大和総研　投資調査部　シニアストラテジスト
□米山章吾　：早稲田大学大学院　社会科学研究科　博士後期課程
　国内投資信託会社　ファンドマネージャー

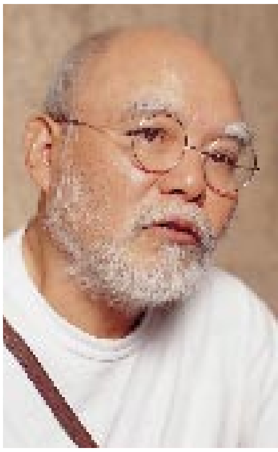
村上氏が編集長を務めるメールマガジン『Japan Mail Media』（http://www.agey.co.jp/JMM/）のホームページ（左）。ここから購読の申し込みができる。上は実際に送られてくるメールマガジンのINDEX。コンテンツは、NHK出版から刊行される




村上氏の最新作『あの金で何が買えたか』（小学館1500円）。銀行救済のため投入された公的資金で、アップル社（1,440億円）やシカゴブルズ（1,200億円）など、ほかに何が買えたかということを、はまのゆか氏のイラストを多用して示している

# 多様な表現を獲得したカバーデザイン

「道具」を変えても独自の作風を貫く



## 「Macこそ、まさに最適の道具」

**平野甲賀氏**
*Kouga Hirano*
装丁家




CD-ROM版『文字の力』（発売元 エフツウ）。平野氏が装丁を行なっており、同じタイトルの書籍（晶文社刊1,456円）もある。描き文字の極意をきわめた平野氏の作品が400点以上紹介されている

**出版の世界でMacが使われるようになったことで、書籍の装丁やデザインも変化したといわれる。しかし一方で、Macを使っていながら、それまでの作風を完璧なまでに継承している人もいる。装丁家として名高い平野甲賀氏は、その際たる存在である。**

### アナログを捨てデジタルの道具へ

特徴あるタイプデザインを行ない、非常に印象的な装丁を実現している平野甲賀氏の作品は、一見、Macとは無縁のようだ。しかし、本人はいたって自然にMacを使い、独特の作品を生み出している。

「はじめは特にMacを気に留めていなかったんですよ。『ああ、そんなのがあるんだ』という程度で。ただ、友人の作品展に行ったとき、彼がIllustratorを使っているのを見て、使ってみようかと。そのあとは早かったですね。IIfxとIllustrator 2.0を導入して、１週間ほどで基本的な部分は覚えてしまいましたから」

独特の作風をMac上で実現するために、それなりの苦労があったのでは？　と聞いたところ、意外な答えが返ってきた。

「自分の作風を再現するのに苦労するということはなく、逆に、Macこそ、まさに最適な道具だな、と感じましたね。おそらく、Illustratorを開発した人と私は、同じくらいの世代の人なんでしょう。デザインに対する考え方が非常に似ていて、同じ時代の教育を受けたんだろうと思います。ですから、Macを使いはじめてからは、それまでのアナログの道具は全部捨ててしまいました。自分にとっては、MacとIllustratorというのは、新しい烏口やロットリングのようなものです。つまり『道具』なんですね」

アナログからデジタルへの移行も非常にスムーズに進んだという。

「Macだから、デジタルだから、という抵抗はまったくなかったですね。私はいわゆる、アナログの手法の作品でよくいわれる『偶発性』とか『偶然性』というのが嫌いなんです。手書き文字のハネやトメがどうだとか。ですから、自分でタイプデザインをするときは、くずれたように見せていても、実はきちんと計算してやっているというところはありますね。その点では、私のデザイン手法やアプローチは西洋的なのかな、と思いますね。それゆえ、Illustratorがぴたりとはまったということでしょう」

### Illustratorとの出会い

Macとすんなりつきあえるようになったのは、Illustratorに出会ったおかげだと、平野氏は強調する。

「初めてMacを見たとき、そこで動いていたのがIllustratorだったから、使う気になったんだと思います。Photoshopだと、手書きのニュアンスとかを残そうという姿勢があるでしょう。製品にも、使う人にも。個人的にそういうのが好きではないので、もしPhotoshopを先に見ていたら、Macを使うこともなかったかもしれませんね。Illustratorのバージョンは、まだ5.5のままです。新しいバージョンだとショートカットが違うでしょう。あれを覚えるのが面倒で。よく使うのは『合体』機能ですね。エレメントを寄せ集めて『合体』。これだけで、さも複雑そうなタイプデザインも楽にできるようになりましたから。便利なもんです。ほとんどの人は、手書きでやっていると思っているのかもしれませんが」

Macを使うことで一番変わったことは？　と尋ねると、「助手が必要なくなった」との答えだ。以前は、写植台紙の扱いや原稿の受け渡しなどを手伝ってもらっていたが、Macによるデジタルデータになってからは、そうした面倒な部分はかなり改善されたという。それでも、紙で見本を添付する必要があることから、プリンターなど設備一式は常にそろえている。

平野氏は、自らタイプデザインを行なうだけあって、現在のフォントやDTPについても一家言ある。

「最近になって、いろいろな試みも行われていますけれど、日本語の書体はまだまだですね。自分で関わっているものもありますけど、これから、という感じです。だからといって、写植に戻れというつもりはまったくないんですよ。自分でも使っていないし。ただ、日本語の組版、DTPといった環境を考えるとき、これまでの資産や職人と呼ばれた人たちの知恵や経験を生かしていくといったことは、大切だと思っています」

（取材・文／三谷 森）

# 文芸書の装丁の常識を覆す



## 「Macを感じさせないデザインを」

### 常盤 響氏
*Hibiki Tokiwa*
デザイナー

**CDジャケットを中心とした音楽関係のデザインをはじめ、イラスト、アートディレクションなど、幅広い活動を続けるデザイナー、常盤響氏。作品のひとつである大胆な写真表現を取り入れた『インディヴィジュアル・プロジェクション』(阿部和重著)のカバーデザインは、それまでの文芸書のイメージを一新するものだった。以来、カバーデザインの仕事が増えたという同氏に、カバーデザインとMacとの関係について聞いた。**

### 文芸書のイメージ変えたカバーデザイン

デザイナーの常盤響氏は、『インディヴィジュアル・プロジェクション』のカバーデザインを手がけるまで、CDジャケットのデザインが仕事の9割を占め、「それまで本の装丁をしたことがなかった」という。しかし、その初仕事は予想外の反響を呼ぶことになった。

『インディヴィジュアル・プロジェクション』のカバーを手掛けたのは、以前からの知り合いであった著者、阿部和重氏に依頼されたからだ。阿部氏は三作目となる同書を、前二作とは違うイメージにしたかったという。

「最初の打ち合わせでは、CDジャケットのようなデザインにしようということになりました。でも、やってみて気がついたんですが、面白いことに、正方形にすれば何でもCDジャケットに見えるんですね。しかし、四六版にするとどうやってもCDジャケットには見えない」

常盤氏は、書店に足を運び、文芸書のカバーデザインがどういうものかを見て回った。そして出した結論は「写真を使う」ということだった。撮影も自ら行なった。

「CDジャケットが無理なら、少しでも音楽のイメージを出すため、書店に並んだときに目立つことも考慮して、写真を使いました。CDジャケットは、アーティスト本人、もしくはアーティストの個性が前面に出ている。でも、純文学のカバーは、みな同じなんですね。カバーだけでは、誰の作品かということがわからないんです。従来の装丁は確かに洗練されていて美しく、僕にはできないデザインなので、憧れる部分もありますが」

写真を使った表紙、しかも大胆なポーズの女性。「純文学に俗っぽい装丁があってもいいのでは」というこのカバーは、常盤氏の狙いどおり、書店で目立つ存在となった。文芸書のカバーデザインに少なからず影響を与えたのは間違いない。同書の発売以降、純文学系の書籍のカバーに、写真表現を取り入れたものが増えているほか、音楽CDの「ジャケット買い」ならぬ、書籍の「装丁買い」をする読者も出て来たほどである。

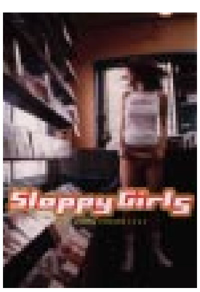
### 写真を扱う場合、Macは便利

常盤氏のMac歴は長い。Mac Plusからのユーザーだというから、15年近くになるだろう。デザインワークのほとんどをMacで行なっており、『インディヴィジュアル・プロジェクション』も、当然、Macでデザインされたものだ。

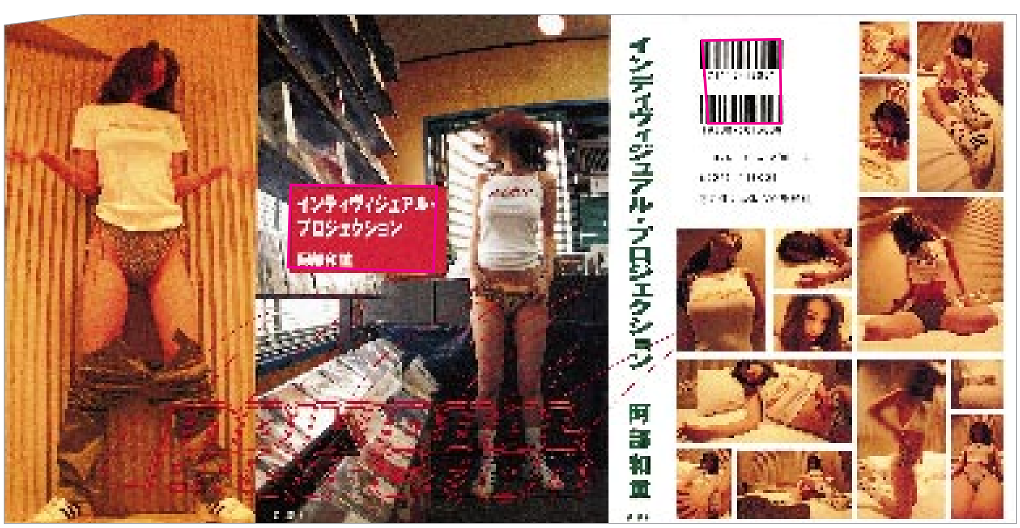
「とくに写真を扱う場合、Macは便利ですね。初めはスケッチブックにラフを描き、ある程度、方向が決まったら、写真の入るスペースを空けて、Illustratorでデザインを固めます。そしてそのスペースに合わせて写真を撮影するんです」

撮影した写真は、反射原稿やフィルムで入稿する場合もあれば、デジタルデータとして入稿する場合もある。これは、Macの中でデザインのすべてを完結させてしまうということではなく、あくまでもデザインの道具としてMacを利用することを意識しているからだという。

「Macを使っていると、Macでできることだけで済ませがちです。でも、そうならないように、スケッチブックにまず描きます。Macを使っていても、Macを感じさせないデザインを心がけています」




11月18日に発売される常盤氏の作品を収めた写真集『SLOPPY GIRLS』(新潮社刊 予価1,900円)。11月19日から24日まで、同名の写真展も開催される（Art Laboratory Rocket/ TEL：03-3470-6604）




常盤氏が手がけた初めてカバーデザインであり、代表作でもある『インディヴィジュアル・プロジェクション』(阿部和重著 新潮社刊1,300円)。見返しの部分から表につながる書名やTシャツにプリントされたロゴもMacでデザインされたものだ

# 台頭するインディーズマガジン
## 商業誌に迫る部数を誇る『Coa』とは？



藤枝 憲氏
Coa Graphics
『Coa』編集長

山本光徳氏
Coa Graphics

**フリーペーパーやインディーズマガジンの発行が容易になったのは、Macの影響によるところが大きい。一部の若者から絶大な支持を得ているインディーズマガジン『Coa』は、近々、第8号が書店に並ぶ。発行部数は1万部、第5号からは全国の書店で販売されており、インディーズマガジンとしては大きな規模だ。Coaを創刊した編集長の藤枝 憲氏と、読者からスタッフとなった山本光徳氏を訪ねた。**

### Macが先か、Coaが先か

「今思えば、どちらが先だったかよくわからないですね」と2年半前の創刊時のことを振り返り、『Coa』編集長の藤枝憲氏はいう。

「Macがあったから『Coa』を作ったのか、『Coa』を作りたかったらMacを使ったのか……。ただ、一つだけ覚えているのは、とにかく、自分の回りに面白い人たちがいて、それをたくさんの人に紹介したいという一心で始めたということです」

1996年6月に発行された創刊号は、1,000部でスタート。「自分たちが作ったものがそんなに売れるはずはないと思っていた」が、あっという間に完売してしまった。これが自信となり、2号、3号を発行、4号は5,000部、5号からは1万部と順調に部数を増やし、確実に読者を獲得している。読者は主に、専門学校生、美大生、高校生、フリーのデザイナーなどで、年齢層は、10代後半から20代前半が多いという。

インディーズマガジンの醍醐味は「自分の作りたいものを作る」ことができるというところにあり、「自分の意見を発信する」ということにある。ここが大手出版社から発行されている「売れるものを作る」商業誌とその性格を異にするところだろう。しかし、自分の作りたいものを作ることができるからといって、むやみに発行しても、それを受け入れてくれる人がいなければ、インディーズマガジンを作るモチベーションも上がらないはずだ。

『Coa』は、もともと家具デザイナーをめざしていた藤枝氏がクリエイターの視点から、有名、無名を問わずさまざまなクリエイターを取り上げている。毎号、テーマを決め、それに沿った作品が掲載される。

「視点が読者に近いため、共感を得ているのではないか」と藤枝氏は分析する。

### オールDTPでのデータの作成

『Coa』は、すべてMacで製作されている。誌面には、クリエイターたちの写真や作品がふんだんに掲載されているが、製版*1は使わず、すべてスキャンしてDTPソフトに貼り付け、画像データとして入稿している。写真のほとんどが、作品であるだけに、気を使う作業だ。しかし、最初のうちは、まったく右も左もわからない状態だったという。

「実は3号目ではじめて、自分がやっている作業がDTPなんだということに気づいたんです。印刷所の方にいろいろ教わりながら作ってきて、最近になってようやく、データをどうやって作ったらいいかがわかるようになってきました」

### Macがなかったら……

Macを使うことの一番のメリットは、「速さとわかりやすさ」だという。自分たちが作ったものが、大手出版社が作ったものと比べても見劣りしないというのは、大きな魅力だろう。また、資金の面でも、製版を使わないということが、かなりの費用の節約になっている。「アナログだったら、『Coa』は作っていないかもしれませんね」という藤枝氏の発言はうなずけるものだ。

雑誌の製作には体力が必要だ。とくにインディーズマガジンのように、予算も人手も限られた中での製作は、非常に困難なものだろう。

実際、藤枝氏と、途中からスタッフとして加わった山本光徳氏は、昼間、デザイン事務所Coa Graphicsのデザイナーとしての仕事をこなし、空いた時間を『Coa』の製作に充てている。

## Mac Publishingのススメ――1
# インディーズマガジンの作り方

Macを使えば、個人で雑誌を作ることも決して不可能ではない。自分で雑誌を作ってみたいと考えている読者も多いだろう。ここでは、Macを使った雑誌の作り方を、コンパクトに紹介する。

### ▶創刊0号を作ってみよう

一般に、出版社では新しい雑誌を創刊する際、見本誌を作成する（実際の創刊号よりページ数を少なくした、雑誌のイメージが伝わりやすいもの。パイロット版ともいう）。これを創刊0号と呼ぶ。創刊0号は主にターゲットとしている読者の反応をみたり、広告を掲載するための営業ツールとして使用する。

インディーズマガジンを作ろうと思い立ったら、自分の作りたい雑誌が、どのくらい世の中に受け入れられるのか、見本誌を作って反応を調べてみよう。リサーチの結果から、どのような規模で雑誌を作ったらよいかがわかるだろう。

Coaの場合は、創刊号が結果的に創刊0号の役割を果たしたようだ。部数は1,000部だったが、書店には置かず、周囲の人に配ったり、売ったりして、あっという間になくなってしまい、反応は非常によかったという。そして、自分たちの方向性を支持してくれる人がいるという確信を持って、2号からは書店での販売を始めた。

Coaは、写真やクリエイターの作品を中心にしたものなので、創刊号もMacで組版し、印刷所で印刷したが、作りたい雑誌の内容によっては、コピー本で十分な場合もある。DTPソフトを使って原稿を作成し、出力センターなどできれいにプリントアウトしたものを版下*2にして、コピーするという方法もあれば、使い慣れたワープロで作成して、インクジェットプリンターなどで印刷するという方法もある。

要は、自分のやりたいことが相手にうまく伝わるようなものを作成すればよい。それをもとに多くの人の意見を聞き、雑誌の発行部数や発行形態、価格などを決める。この時点で自分がインディーズマガジンを発行することができるかどうかが、自ずとみえてくるはずだ。

### ▶発行部数や価格を検討して印刷

発行部数と価格に目処がついたら、あとは予算に合うかどうかを検討する。コピーで作る場合は、コピー費用と価格から予算を検討すればよい。また印刷するか、コピーにするかを迷っている場合は、印刷所に相談し見積もりを出してもらい、予算を検討してから決めてもよいだろう。当然、Macで製作したからといって、無料になるわけではないが、版下の製作費、製版代がかからない分、多少は印刷費を抑えることができる。

### ▶販売、あるいは配布する

最初は知り合いに配布するだけでもよいかもしれないが、本格的に出版するなら、やはり書店に置いてもらうのが一番よいだろう。

Coaの場合、本の内容がクリエイターを紹介したものであることから、青山ブックセンターやパルコブックセンターといった、美術系の書籍を多数取りそろえている書店に置いてもらっているという。

そのほか、美術系なら画廊や画材店、音楽系なら、ライブハウスや楽器店、レコード店など、ターゲットにあった人が集まる場所に置いて販売してもらうのもよい。また、インターネットなどを利用して通信販売をするという方法もある。いろいろな販売形態を検討してみるとよいだろう。

### ▶定期刊行をめざそう

雑誌の場合は、定期的に刊行することを目指そう。Coaは不定期刊行だが、それは、読者が、Coaの性質を理解してくれているから成り立っている特殊な例といえるだろう。もちろん、発行する雑誌の内容にもよるが、発行日が決まっているほうが、読者が書店などにいって購入しやすくなり、定期購読者も増える可能性は高くなるだろう。

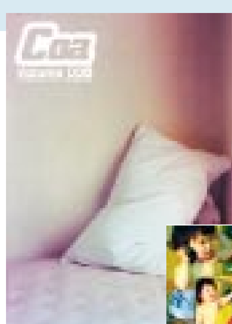



最新号となる8号。10月中旬頃の発売予定で、価格は880円



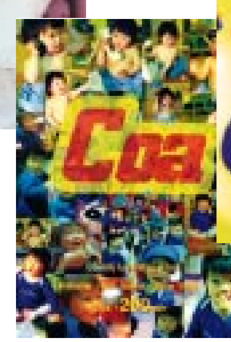


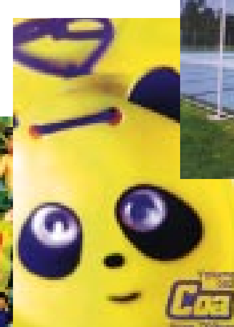














『Coa』バックナンバーの表紙。一部バックナンバーが残っている号もあるそうなので、興味のある方は、書店で注文するか、メール（coa.@ha.bekkoame.ne.jp）で直接連絡を

「『Coa』が認知されたことで、デザインの仕事も増えてきています」と山本氏。

今では、「少ないながらも『Coa』のみで利益が出ている」というから驚きだ。最初はアルバイト代を製作資金としてつぎ込んでいたという。そんな無理をしてまで、なぜ、雑誌を発行し続けてきたのか？

藤枝氏の答えは明快だ。

「クライアントもなければ、広告もほとんど入っていない。それだけに制約を受けることなく、会いたい人に会い、自分のやりたいことが何でもできるわけです。仕事の都合上、定期刊行は難しいのですが、逆に、この人を紹介したい、雑誌を作りたいというモチベーションが高まってから毎号作っているので、本当に楽しいんです」

*1 製版：印刷をするための版を作ること。印刷の種類によっていろいろな版があるが、現在の通常印刷の主流であるオフセット印刷では、いったん版下をフィルムに焼き付ける。さらに、そのフィルムを薄い金属の板に焼き付け、印刷するための版を作る。フィルムに焼き付ける作業をフィルム製版、金属の板に焼き付ける作業を刷版という。DTPの場合、印画紙で版下を出力せずに、直接フィルム出力し、フィルム製版の工程を省くことで、コストを下げることが可能だ。　*2 版下：印刷に利用するために作成した原稿のこと。DTPでは、イメージセッターで印画紙に出力した原稿を版下として利用する。また、精度が高くない印刷を行なう場合は、レーザープリンターやインクジェットプリンターで印刷したものを版下として利用する場合もある。

# Macintoshは電子本の夢を見るか？
## PowerBookの未来の姿は？ Macという「本」の進化の系譜

大谷和利

人類にとって知識と情報の宝庫である「本」という存在が、電子化の流れの中で、その在り方と流通形態を変えようとしている。一方で初期モデルから印刷と出版に深く関わってきたMacintoshは、ツールとしてのみならずメディアとしての機能も拡張しつつ、21世紀に向けた助走を行なってきた。果たして両者の交わる先には、何が待っているのだろうか？



**PowerBook 100**

**1991年**
初期のPowerBook は、トラックボールを採用していた。このPowerBook 100はCPUに16MHzの68HC000を採用。画面サイズは9 インチ（640x400）とコンパクトだ。上位機種として PowerBook 140 、170 も同時に発表された



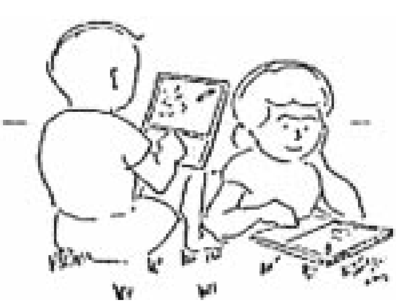

**PowerBook G3**

**1999年**
最強のPowerBookといわれるG3シリーズ。クロック周波数は最速モデルで400MHz、画面サイズも14.1インチとなったが「本」というには大きすぎるだろう

### 電子の本とMacintoshの関係

1960年代にコンピューター科学者のアラン・ケイが理想のパーソナルコンピューターとしてのDynaBook*1コンセプトを構想したとき、そこには明らかにデジタルなメディアとしての使われ方が含まれていた。その名前からしてDynamic Book（動的な本）の略称であったDynaBookは、知的なツールでありながら同時に情報のビューワーとしての用途が想定されていたのだ。

それから30年以上を経て、Apple社は1991年にPowerBookを発表した。商標の問題さえなければ、その製品名は当然DynaBookとなっていたことだろう。バインダーノートを意識した外観自体、ある種の本を思わせ、当時のDOSベースのノートPCとはまったく異なるトラックボールによって情報を操る感覚は、確かにコンピューターを越えた何かを予感させた。



アラン・ケイが描いたDynaBookのイメージ

Macとブックメディアを具体的に結びつける動きは、Voyager社がPowerBookをターゲットとして開発した電子本タイトル"Expanded Book"（日本ではエキスパンドブック）シリーズから始まり、そのオーサリング環境であるエキスパンドブック・ツールキットの登場によってひとつの完成を見たと言える。それは、持ち運びのできる情報ブラウザーとしてのPowerBookの可能性に端を発し、Mac自体を非常にパーソナルなメディアへと変身させる、情報の送り手側からのアプローチだった。

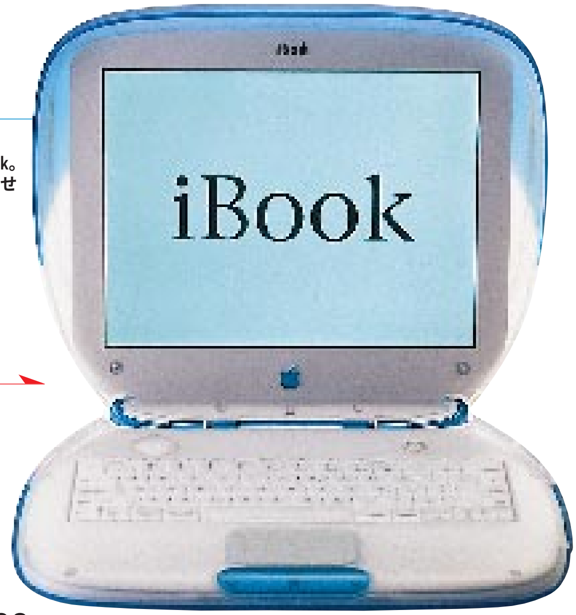
この動きは、Adobe社が提唱したPDFファイルによって、企業レベルのドキュメント環境の中でも加速しながら現在に至っている。

その一方で、すでに存在する情報を受け手の側でアレンジして電子的に読みやすい形に整えて利用するという新しいアプローチも登場した。8cm CD-ROMで供される電子ブックのデータをMac上のビューワーソフトで利用するというのもその１形態だが、いかにもMacらしい発想は、ボイジャー・ジャパンがMacのために開発したハイファイ・テキストブラウザーことT-Time（現在はWindows版も存在）によって生み出された。この流れは、以前から存在していた青空文庫など、著作権の切れた文学作品などをインターネットを通じて配布するインフラなどと相まって、デジタルな情報環境にふさわしい新しい本の形を作り出そうとしている。

さらに、来年登場するMac OS Xは、PostScriptをネイティブに扱えるQuartzグラフィックモデル*2によってPDFがシステムワイドに利用可能となり、画面に対する文字のレンダリングクオリティや編集操作能力も大幅に向上すると思われることから、Macintoshのブックメディアとしての能力を一段と強化してくれるはずだ。そしてハード面でも、Mac環境をどこでも利用可能にしたPower Bookに加えて、より一般消費者の手に届きやすくなったiBookの登場で、電子的な文書の閲覧は一層身近な行為になっていくに違いない。

### 新たな読書とデバイスの形態

もちろん、いくらお膳立てが整ってもMacをそのまま本に見立てるには、重量やサイズ、形状の点で無理が多い。これは当たり前の話であり、Macは読書用デバイスとしても機能するが、当然、それ以上の多岐に渡る用途を想定して作られ




## iBook

**1999年**
衝撃のデビューを飾ったばかりのiBook。そのデザインテーマにはeMateを発展させたような部分も見られる



## eMate 300

**1997年**
米国の教育市場向けモデルとして登場したeMateは、Newton OSを搭載。トランスルーセントのボディは、iMacへと引き継がれた



## Newton MessagePad

**1993年**
PDAというコンセプトを定着させた画期的デバイスだったが、商業的には大きな成功に結びつかず、MessagePad 2100が発表された後に開発が中止された。「携帯用読書ツール」としてはふさわしい大きさだったかもしれない

ているからだ。

本の持つルック＆フィールをある程度再現しようとすれば、それ専用の設計が必要となる。しかし、そういうデバイスが価格や気軽さを含めて現実の本に対抗できるようになるまでには、まだ時間がかかりそうに思える。また、ニュースのダイジェストならまだしも、本を読むという行為を、コンピューターを介してデータをダウンロードし、小さなデバイスの画面でブラウズすることで代用できるかどうかという問題もある。

その意味では、たとえば自宅でiBookを抱えてお気に入りの場所に座り、AirPort経由でインターネットに接続して青空文庫をT-Timeで楽しむほうが、行為としてはよほど読書的なものとも言える。あるいは、携帯しないのであれば、いっそCinema Display一杯にフルカラーの写真集を広げて鑑賞したり、PDFの新聞やカタログを閲覧することのほうが、新しい電子読書のスタイルに相応しいのかもしれない。

おりしもアメリカでは、E Ink社の電子インク技術（http://www.eink.com/pr_index3.html）が実用実験に入り、今年の5月から一部の大規模小売店舗においてインターネットを通じて制御されるポスタータイプの表示装置として使われている。この技術は、電気的に配列を変えることのできる特殊なインク粒子をフィルム状の媒体に印刷するもので、薄く、安く、しかも電流を切っても配列が維持されるために消費電力が少なくて済む画期的な表示デバイスを作ることができる。今はまだ解像度も低いが、最終目標は普通の印刷物に匹敵する表示品質の実現にあるという。

実はApple社は、将来のeMate（開発が中止されたNewton技術に基づく教育用ポータブルコンピューター）として計画されていたプロトタイプで、ベールのように薄く、紙のようにめくることのできるディスプレイの組み込みを想定していたことがあった。そういうテクノロジーが実際に存在しているのかどうかは今となっては知るよしもないが、現実にE Inkのような表示技術が登場したからには、少なくとも夢物語でないことは確かだ。そして、そこまで薄く柔軟性に富むディスプレイならば、かつてのKnowledge Navigator*3のような横開きの本のような筐体デザインも実現するかもしれない。

ここからは想像の域を出ないものの、こうした新世代の表示デバイスとワイヤレスネットワーク、そして最先端のインダストリアルデザインが組み合わさったときこそ、PowerBookやiBookは本当の意味でデジタルの"Book"に生まれ変わる。先頃、Apple社が液晶メーカーに投資を行なったのも、ディスプレイを重要視していることの表れだが、おそらく開発チームは、すでにその先を見ているはずだ。

「Mac＝電子の書物」というにはまだほど遠いとしても、Macは確かに電子本の夢を見ている。そしてその夢は、OSとソフト、ディスプレイ関連の基礎技術の進化によって、日増しに輪郭を整えつつあると言ってよいだろう。

*1 DynaBook：アップルフェローのひとりであるアラン・ケイが提唱した、ノートサイズで、子供にも使えるインターフェイスを備えたパソコンの未来像。商標をとった東芝が同名の製品を販売しているが、アラン・ケイが開発に携わったわけではない。*2 Quartzグラフィックモデル：Mac OS Xにおいて、ディスプレイ表示や2次元ラスタライズをつかさどる。標準でPDFデータの生成をサポートしている。*3 Knowledge Navigator：アップル社が21世紀までに開発することを目標にした、ノートサイズで音声操作が可能なコンセプトマシン。

# Webマガジンは紙媒体を超えるか？

## 『eiga.com』の人気の秘密を探る

Eメール、Webページという言葉がコンピューターを使わない人の間でも一般常識となりつつある現在、WebマガジンやメールマガジンといったJ紙媒体とは異なる情報発信形態が数多く登場している。果たしてWebマガジンは紙媒体を超えることができるのだろうか？　映画関係の情報を発信するWebマガジンとして人気の『eiga.com』を訪ねた。



**駒井 尚文氏**
デジタルプラス
『eiga.com』編集長

### eiga.com誕生

eiga.comの編集長であるデジタルプラスの駒井尚文氏は、元映画宣伝マン。ちょうど、インターネットがブームとなり始めていた頃、Macにハマり、その結果インターネットに深く携わることとなった。そして、宣伝マン時代にとても苦労して入手していた海外の映画情報がインターネットでは簡単に手に入ることを知り、映画業界にいたときより、より身近に映画の情報があることに気づいたという。

その後、映画業界も徐々にデジタル化され、いろいろな映画サイトを日本国内でも見かけるようになったが、決定的なものはない。海外のサイトに比べると見劣りするものばかり。そこで、自分たちで作るということを考え始めたという。

「プロジェクトがスタートしたのは、1998年初頭。それから資金援助してくれる会社を探したところ、PRの仕事の関係で縁のあった、日経BP社が制作費の一部を出資してくれることになって、1998年の8月29日にeiga.comが立ち上がりました」




eiga.comのトップページ。劇場公開前の最新作情報中心にページが構成されている
http://www.eiga.com/

### 試写会の運営

現在も制作費の一部は、日経BPが出資しているが、eiga.comでは、そのほかにも「映画の試写会を売って」資金としている。こういったノウハウもスタッフの多くが映画業界に携わっていたことから生まれている。

「映画の試写会は、スポンサーとのタイアップが基本なんです。たとえば、有名家電メーカーなどが冠スポンサーとなって試写会を行なう。すると、ホール代などがペイできるうえに売り上げが計上される。これが試写会を売るということです。我々のスタッフには、編集の他に試写会のスペシャルチームがあります」

eiga.comの試写会は人気が高い。創刊時の応募は6,000通だったが、この応募数は朝日新聞の試写会応募に匹敵する数だという。それがどんどん増え、現在では応募数が1万2,000通を超える。これは、Webマガジンが全国紙並みの宣伝効果があることを立証している数字ともいえるだろう。

「サイトのアクセス数は、Webを知らない人にはわかりにくい。でも、試写会応募数なら映画会社の人間にもわかる基準なんです」

しかし、これだけの応募数でありながら、最初のうちは、映画業界の人間がWebページというものを理解してくれず、紙媒体と連動しなければ試写会を行なうことは難しかった。

### 紙媒体との連動

「試写会の応募が6,000通あったとしても配給会社はWebマガジン単独では試写会をやらせてくれませんが、雑誌に見開き2ページの告知ができるなら、案外簡単に作品を出してくれます」

こういったこともあり、スポンサーである日経BPが発行する「ネットナビ」という紙媒体と連動することを意識しているという。試写会に限らず、ハリウッド俳優、女優などへのインタビューも同様だ。eiga.com単独でのインタビューは難しい。eiga.comには、「e-People」というインタビューのページがあるが、Webだけの露出ではインタビューの時間を取ってもらえないため、ネットナビと同じ日にインタビューをするようにしているという。

しかし、こういった形も変わりつつある。

「映画会社も最近急速にインターネットづいてきて、今年の春頃からeiga.comに重きを置いてくれるようになりました。これは大きな変化ですね」と駒井氏は語る。これもeiga.comというWebマガジンが、多数の読者に支持されていることにほかならないからだろう。

### 紙媒体にはない強みとは？

Webマガジンには、さけて通れない難しい問題もある。それは、数多いブラウジング環境だ。Windows、Macならまだしも、Dreamcast、WebTV、WindowsCE、iモード…。インターネットが発展し続ければ、さらに端末は増えていくだろう。このとき、Webマガジンはどう対応していけばよいのだろうか？　答えはまだ見えていない。駒井氏も、「どのブラウジング環境を標準とするのかは日々悩んでいる」とのことだ。

では、webマガジンならではの強みとは何だろう？　少人数のスタッフで運営するeiga.comだけに、大手の雑誌社が発行する映画雑誌には情報量ではとても太刀打ちできない。だが、これまで「STAR WARS」の全米公開初日の模様や、カンヌ映画祭のリポートを連日速報として発信するといった、月刊の紙媒体では不可能な企画も何度か行なってきた。eiga.comが大きく成長していけば、さらに情報の速報性が高まり、ボリュームも増えていくことだろう。米国には毎日のようにエンターテインメント情報を数多く発信するwebサイトも少なくないので、1日も早く追いついて欲しいところだ。

ただ、もしかすると現在のeiga.comのように

## Mac Publishingのススメ――2

# Webマガジン、メールマガジンの作り方

Webマガジンやメールマガジンは、紙媒体に比べ費用がかからないことから、やる気さえあれば誰にでも情報を発信することができるマガジンだ。ここでは、Webマガジンの作り方を簡単に紹介する。

### ▶ドメイン名も重要なアイテムだ

Webマガジンの場合、URL*1は重要だ。誰もが覚えやすいシンプルなもののほうがよい。eiga.com然りだ。覚えやすいURLなら誰でもすぐにブラウズすることができる。

独自のURLを得るには、ドメイン名*2を取得すればよい。ドメイン名の取得には通常費用がかかるが、レンタルサーバーと合わせて、ドメイン名取得サービスを行なっているプロバイダーもある。本格的なWebマガジンの発行を目指すなら検討してみよう。

### ▶まずはコンテンツ

コンテンツが面白くなければ人は集まらない。人の集まるコンテンツとはどんなものだろうか？

マガジンというと、どうしても紙媒体の雑誌のイメージを思い浮かべてしまうが、お金がかかっている商業誌と同じものを作ることは不可能だ。また、映画、音楽といった万人が楽しめる話題のほうが人を集めやすいことは間違いないのだが、逆に誰もが知っていることだけに、作成する側にそれなりの知識が求められる。そして、それに応えることができなければ、すぐに読者に飽きられてしまう。

eiga.comの場合、駒井氏は元映画宣伝マンであり、映画のプロフェッショナルでもある。それ故に内容も充実している。映画配給会社との人脈もあり、Webマガジンにプロならではの内容が掲載できているのだ。これを素人がやろうとしてもなかなかうまくいかないだろう。それならば、自分の持っている知識を活かした、特定の話題に絞った専門的なWebマガジンを作ってみてはどうだろうか？　商業誌としては成立しないような分野でもWebマガジンなら成功するケースもある。

Webマガジンのよいところは、月に一度、週に一度の紙媒体と異なり、いつでも更新できるということだ。こういった特性を活かし、常に最新の情報が掲載されているようにするのもよいだろう。

### ▶ページの作成

コンテンツが固まったら、実際にWebページの製作に入ろう。

Webマガジンのトップページは、紙媒体の雑誌の表紙であり、目次でもある。つまり、2つの機能を同時に満たすものになる。そのため、見やすくて内容がすぐにわかり、それでいて目立つ、センスのよいデザインが求められる。かといって、デザインに凝りすぎるとページが重くなってしまうので、気を付けなければならない。また、新しい機能を使えば、それだけ面白いページを作成することができるが、同時に読者を限定してしまうことになりかねないということに注意しよう。

### ▶最も困難な課題

インターネットの利点は、コンピューターの機種に依存しないということ。しかし、Webページを製作する立場から考えると、これはどのようなコンピューターからでも見ることができるようにページを作成しなければならないという困難を極める問題となる。さらに、ブラウザーの種類もたくさんある。

eiga.comでも、この問題は最重要課題となっている。個人で製作する場合、これらすべてに対応するのは無理がある。そこで、自分と異なる機種を持つ協力者を見つけ、テストしてもらうようにしよう。

### ▶検索ページに登録したり、リンクを張ってもらう

Webマガジンの作成ができたら、検索ページやリンクページに登録したり、友達のホームページなどにリンクを張ってもらおう。

### ▶メールマガジンも視野に入れよう

Webマガジンを作成することが難しければ、メールマガジンという手段もある。メールマガジンは、電子メールで新聞・雑誌のようなテキストを送信するというものだ。

メールマガジンを発行したら、自分のホームページで読者を募集したり、「無料メールマガジンスタンドPubzine」（http://www.pubzine.com/）といったメールマガジン検索ページに登録すればよい。しかし、基本的にテキストベースのマガジンのため、面白くなければ、すぐに読者に飽きられてしまう。Webマガジン以上に内容や文章に気をつけなければならないだろう。

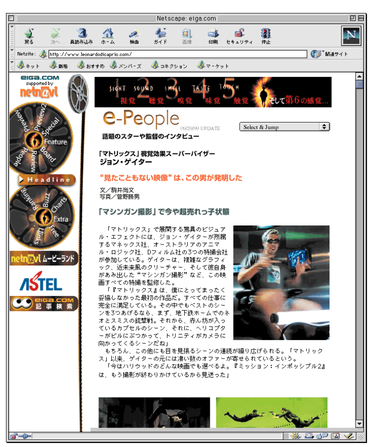



新作映画の紹介は、「e-Review」と「e-Special」。このほかにも、試写会募集やプレゼントなど、楽しいページがたくさんある

気軽にさっと読めるところがいいという読者も多いのかもしれない。そのへんは判断が難しいが、無料で楽しい情報が読めるのはやはり紙の雑誌ではあり得ない強みである。

一方で紙媒体には勝てないのはグラビアの魅力だろうか。eiga.comでもブラッド・ピットの画像集といった企画が好評だったらしいが、やはりスターの写真や映画のスチルなどを楽しむのは紙媒体ということになるだろう。

駒井氏によれば、eiga.comの基本的なコンセプトは“Variety（バラエティ） meets TokyoWallker”ということになる。「Variety」は、アメリカで定評のある業界系映画雑誌、それにTokyoWallkerに掲載されているような映画館のタイムテーブルや地図などの情報が掲載されたら…。それが、紙媒体を超える最強のWebマガジンが誕生するときかもしれない。




インタビューページ「e-People」に掲載しているインタビューは日経BPが発行する「ネットナビ」と連動して行なうことが多い




「マトリックス」のムービー。動画はWebマガジンならでは。しかし、オフィシャルサイトに行けばみれるものに関しては、リンクだけにして、できる限りサーバーの負担を減らし、軽快にブラウズできる環境を作りたいとのことだ

*1 **URL**：Uniform Resource Locator。インターネット上の情報の所在地を指定する記述方式。インターネットの住所のようなもの。アドレスと呼ぶ場合もある。　*2 **ドメイン名**：domain name。インターネット上での名前。日本では、日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が管理している。ここにドメイン名を申請すれば、最後が「jp」（日本を表す）が付く国別ドメイン名になる。最後が「com」となっているものは、米国でアドレスの管理を行なっているInterNICでドメイン名を申請したもので、一般ドメインと呼ばれる、国を区別せずに業種だけで区別する。たとえば、企業なら「com」、教育機関なら「edu」など。

# ディスプレイでの読書を改革
## ボイジャーが進めるT-Time戦略




T-Timeを利用したCD-ROM『オキナワなんでも事典』(10月21日発売 3800円)。池澤夏樹、椎名誠など総勢170名が、オキナワを語る。左は同日からスタートする関連Webサイト『オキナワ・オンライン』(http://www.impala.co.jp/)




**「ディスプレイでの読書なんて……」初めは誰もがそう考えていた。しかし、一貫してその可能性を追い続け、実践してきたのがボイジャーである。そうした成果は、ボイジャー・ジャパンから昨年リリースされたT-Timeによって、あるレベルに達したと見てもいいだろう。なぜ、エキスパンドブックからT-Timeへの移行が必要だったのか？　なぜ、T-Timeがヒットしたのか？　そこを解読することで、デジタルメディアの将来が見えるかもしれない。同社代表取締役の荻野正昭氏に聞いた。**

### T-Time誕生の2つの理由

古くからのMacユーザーなら、電子出版と聞けば、まずエキスパンドブック*1のことを思い浮かべるだろう。まだ電子出版という言葉が定着していない頃から、米国ボイジャー社は、HyperCard*2ベースのExpanded Bookをリリースしてきた。そして、日本法人であるボイジャー・ジャパンは、HyperCardに頼らない独自の出版ツールとしてエキスパンドブックIIを開発した。

ところが昨年、これまで「本を作ること」に力を入れてきたボイジャーが、一転して、Web上の文章を読むためのツール、T-Timeをリリースした。何がきっかけだったのか？　ボイジャー・ジャパンの荻野正昭氏は当時を振り返る。

「95年頃からインターネットが普及し、インターネット上に読むべきものが徐々に出てきた。そうなってくると、自分たちで作ることよりも、人が書いたものを読むための環境を作ることが大切になると思ったんです」

だが、実はもう1つの事情がからんでいる。ボイジャーには、エキスパンドブック・ツールキットを一気に拡大し、いわばDirectorのようなマルチメディア・オーサリングツールを作ろうという構想があった。しかし、それが頓挫してしまったのだ。

「その時に、我々は過った道を進んでいるのではないか、と思ったんです。テクノロジーまみれのものを先走って手に入れて、500年続いてきた本という形態のものに、無理矢理載せようとするという行為が果たして正しいのかと。それで反動が出てきたんです。ハンバーグにいろんなものを入れるより、すっきりとしたもりそばでいいんじゃないかと。それでT-Timeが生まれたわけです」

### 本を否定したことがT-Timeの長所に

T-Timeは、縦書きで文書を読むためのテキストビューワー。専用ファイル形式であるTTZのほか、テキスト、HTML、PDFファイルの縦書き表示も可能なものだ。エキスパンドブックと似通ったものにも見えるが、「形（フォーム）」を持っているか否かというところが大きく異なる。

「エキスパンドブックは、本を手本にするがゆえに、本になりたいと思っているんです。つまり、『なりたいけど、なれなかった』という落胆があった。我々は、この落胆が長所であるという感覚に辿り着いたんです」

エキスパンドブックは本と同じく、決まった形を持った出版物である。つまり、すべてのユーザーに対して、無理に共通した形で見せていることになる。これは理想的のようにも思えるが、実はユーザーのマシンスペックやOSの違いを無視していることになる。そこで、相手の環境にゆだねることができるようにしたのがT-Timeなのだ。

「本の形を否定した点が、T-Timeの優れているところです。我々は紙から離れたという点が新しいと思っています。PDFなどとの大きな違いは印刷を念頭に置いているか否かですね」

それにしても、ディスプレイ上で文字を読むという行為がこれだけ普及したことに、驚きを覚えずにはいられない。

「実は、こんなに普及するとは思っていませんでした。ただ、T-Timeが登場する前から、多くの人はメールのチェック、Webブラウジングと、実はとんでもない分量の文字をモニター上で読んでいたんですね」

インターネットの普及などにより、ユーザー側は、すでにモニター上での文字に対しての免疫ができているというわけだ。

読む側にとって、T-Timeは非常に便利なツールである。しかし、コンテンツの制作者が縦書きで読ませたい時、読者がT-Timeを持っていなけ

?*1 エキスパンドブック：米国ボイジャー社が開発した、Mac上で電子ブックを閲覧するためのソフト。*2 HyperCard：アップル社が開発した、ハイパーテキストの概念を実現したマルチメディアオーサリングツール。

ればならない。そこで、縦書きでも読めるコンテンツを作るためのツールとして、ボイジャーはT-Time パブリッシャーズ・キットをリリースした。これを使ってTTZ形式のファイルを作成すれば、読者はフリーのブラウザーを使って柔軟にコンテンツを楽しむことができるのだ。

## 音・映像・文字の調和、そして「デジタル化の基準探し」が今後の課題

では、この後、T-Timeは、いやボイジャーはどこに向かうのであろうか？

「やはり、文字に音や映像が調和していくということが、デジタル時代の課題だと思います。しかし、これには長い時間がかかるでしょう。やみくもに『マルチメディアだ！』という風潮がありますが、ここは注意深く進めていかなければならないと思います。今後、知識のある人たちが、自分たちの持っている資産をリンクするようになってくれば、一定の水準を超えたものが築かれていくのではないかと思います」

一度苦い経験をしているだけに、慎重だ。萩野氏は、業界全体が一進一退をくり返しながら、少しずつ進んでいくのではないかとみている。

ただし、何でもデジタル化すればいいとは考えていない。

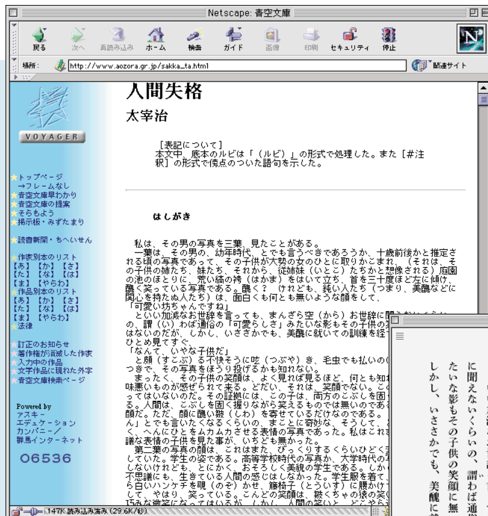
「紙の本を蓄積することは難しいから、何でもデジタルにしようという動きがある。しかし、ゴミはゴミなんです。デジタル化するには見識というものが重要になってくると思います。我々は『本は素晴らしい』などと、勝手に考えてしまっていますが、この仮面は冷静にはがす必要があるでしょう。デジタルでも紙でも、必要なものを残していくべきなんです」（取材・文／姉歯　康）

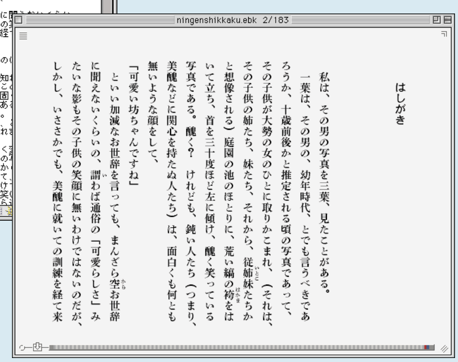


青空文庫専任スタッフの野口英司氏




青空文庫のページ（http://www.aozora.gr.jp/）。芥川竜之介、太宰治、梶井基次郎といった、著作権の切れた作家の作品が揃う。作品は作家別のリスト、あるいは作品別のリストから検索できる




読者は、テキストファイル（ルビあり／ルビなし）、HTML版、エキスパンドブック版の４種類の形態から、好みのものを選んでみることができる。上はHTML版。右はT-Time 2.0で縦書き表示したもの

## Webは図書館になった

# 過去の名作を中心に、650作品をそろえる青空文庫

**青空文庫は、ボランティアの手で運営されるインターネット上の「図書館」である。すでに著作権の切れた文学作品を中心に、ネット上で読むことも、ダウンロードしてT-Timeで開いて読むこともできる。専任スタッフの野口英司氏に、設立の経緯から、今後の行方を聞いた。**

**――青空文庫設立の経緯を教えて下さい。**

**野口●**私は以前、ボイジャーにいたのですが、当時、ボイジャーはT-Timeの前身となるテキストリーダーを開発していました。そのデモを行なうための長文のテキストを探していたところ、福井大学の岡島先生が運営している、著作権切れの作品のリンク集のWebページを知りました。それを見て「こんなことができるんだ」と思い、青空文庫を立ち上げました。これが始まりです。その後、文学作品を中心に、ボランティアが手作業で入力し、掲載するという形態ができ上がりました。

**――アクセスした人からの反響は？**

**野口●**最初は「私もテキストの入力作業に協力します」という人がポツポツ現れた程度でした。ところが、ある方が芥川竜之介の作品をたくさん入力してくれたんです。芥川の作品が揃ったところで一気に加速がつきました。当然、作品の数が増えれば増えるほど、それだけ注目を浴びるという相乗効果が出てきます。そうして、夏目や太宰の作品を入力する人も出てきました。

**――今、青空文庫に掲載されている作品数はどれくらいですか？**

**野口●**過去の文学作品を中心に、約650作品あります。数は常に増えつつあります。

**――著作権切れとはいえ、出版社からクレームがくることはありませんか？**

**野口●**例外はありますが、著者の死後50年経てば、公開しても法律上は問題ないんですよ。クレームもありません。私は、「青空文庫に載っているからこの本を買わない」という人は少ないと考えています。むしろ、青空文庫を通して「この本が面白い」ということに気付く人のほうが多いのではないでしょうか。実際にそうして本を買ったという方もいます。

**――青空文庫のゴールはどこにあると考えていますか？**

**野口●**難しい質問ですね。私はむしろ、著作権切れの作品については国会図書館のような公的な機関が、このようにテキストで保存し、管理していくというのが理想だと思うんですが……。いずれにしても、パソコンで本を読むという行為が、ようやく認知されてきたなという感触はあります。つまり、米国のボイジャーがやったことが早すぎたんです。現在、青空文庫には、絶えず初心者の方がアクセスしてくるので、対応が大変なんです（笑）。（取材・文/姉歯　康）



# Photoshopの「科學」プリントアウト研究班

主任研究員／望月宏信●研究員／吉田浩章

どのようにしてキレイなプリントを得るか、誰もが悩むところ。
特に超写真画質と呼ばれる最近のプリンタの実力はどの程度のものなのか？
数万円代のコンシューマー向けカラープリンターを中心に、
その発色性や写真表現の品質をPhotoshopでどう引き出すかを探る。

## キレイなプリントアウトを得るための条件

Photoshopからのプリントアウトの役割には2種類ある。ひとつは、プリンター出力そのものを作品の最終形態とするもの。もうひとつは印刷やWebが最終形態でその確認用とするものだ。ここでは、プリンター出力が最終形態であることを中心に話を進めよう。

まず、「キレイ」の定義を考えてみよう。特に色について、大きく2つの考え方がある。色を「再現」するのか、色を「表現」するのかという違いだ。たとえば写真画像の場合、被写体の色を正確にプリントで「再現」するのか、あるいは、主観を入れて頭の中にある記憶色を「表現」するのかということである。ほとんどのケースは、後者、つまり記憶色を表現することに属するはずである。

原稿をスキャナーで取り込んで、正確にプリンターで出力するだけなら、ある意味ではPhotoshopなど必要なく、高精度なカラーコピー機を使えばいいだけのことだ。しかしそうではない。様々な方法で得られた画像（デジタルカメラやスキャナー、コンピュータグラフィックス等々）をPhotoshopからプリントするということは、少なからず画像に補正を加え、自分好みの画像を得たいためであるはずだ。そこで、主観的にキレイと感じるプリントの「表現法」を探究してみよう。

### より良い画像データを得る事が第一歩

たとえば、手持ちのプリンターで画像を出力してみる。しかし、キレイなプリント結果にならなかった。これはデジタルカメラやスキャナーで取り込んだ画像データのせいなのか、プリンターのせいなのか、悩むところだ。しかし、少なくとも「最新（あるいは最近）の写真品質プリンター」と呼ばれるものでは、用紙選びと設定を間違えない限り、ほぼ満足できるプリントが得られるはずだ。同じメーカーのプリンターであっても、数年前の機種とは比べものにならないほど、最近のプリンターは写真的表現力が高まっている。となれば、用意した画像データそのものがキレイでないことになる。

特に写真はカメラのせいだけでなく、撮影時の様々な条件が絡み合うため、意図する画像を得にくい。筆者はコマーシャル（広告）フォトグラファーであるが、写真のプロであっても思うような画像を得ることは難しい。そのため、Photoshopを使い、より高度な写真表現を目指したいと考えている。撮影の技術や経験の少ない方は、なおさらPhotoshopの重要性が増すだろう。本音を言えば、不本意な画像であってもPhotoshopの力を借りて、「キレイに見えるプリント出力を得たい」と考える人もいるはずだ。

しかし、より良い画像データを得ることが、よりより出力結果を得るための第一歩なのだ。この点をまず認識しておいてほしい。本来なら、キレイな写真画像を得るためのライティングのコツやデジタルカメラでの撮影

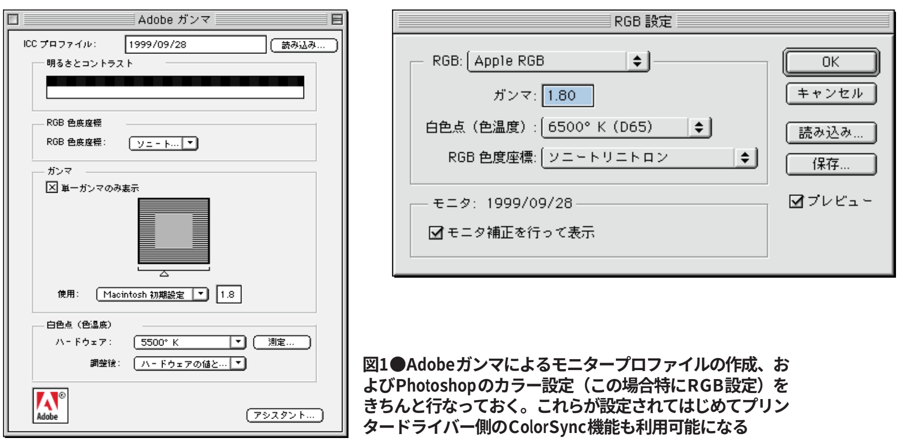



図1●Adobeガンマによるモニタープロファイルの作成、およびPhotoshopのカラー設定（この場合特にRGB設定）をきちんと行なっておく。これらが設定されてはじめてプリンタードライバー側のColorSync機能も利用可能になる

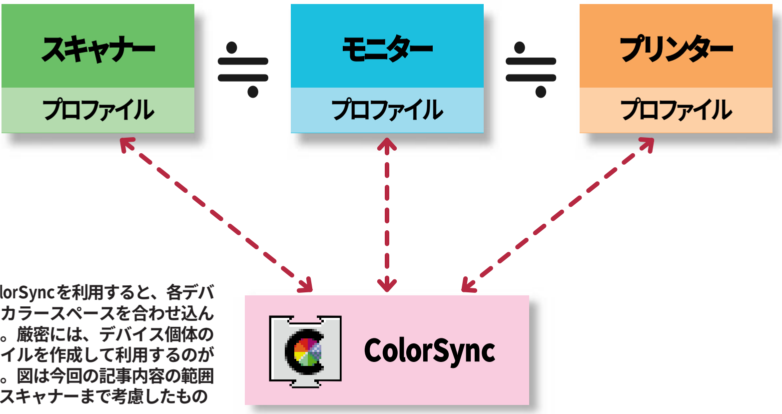



図2●ColorSyncを利用すると、各デバイス間のカラースペースを合わせ込んでくれる。厳密には、デバイス個体のプロファイルを作成して利用するのが望ましい。図は今回の記事内容の範囲外だが、スキャナーまで考慮したもの

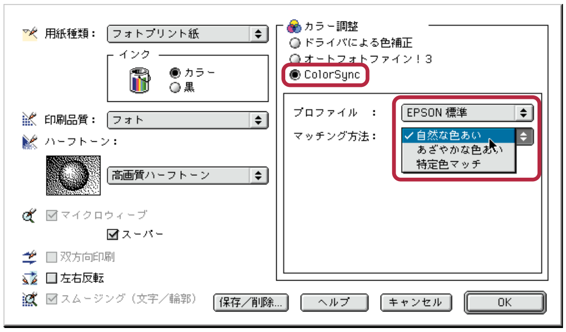



図3●プリンタでColorSyncを利用するにはプリンタードライバー上でColorSyncをオンにする。図はエプソンPM-3000Cのドライバー画面

のコツ、スキャニングのコツといったことから説明すべきなのだが、今回のプリンターとPhotoshopというテーマにはそぐわないので、指摘するに止めておく。

## モニター調整とColorSyncの設定

繰り返すが、まずは画像データが「キレイ」であることが大前提だ。ところでこの画像データがキレイであるかどうかを判断するのは、モニターで行なうことになる。Photoshopのスポイトツールを使って、部分的に正確な色情報を見ていくことはもちろん必要だが、画像の持つ全体的なイメージを判断するのにモニターの画像表示に頼らざるを得ない。つまり、モニターに正確に画像が表示されない環境では、画像がキレイかどうかは判断できない。逆に、画像がモニターに適切に表示されていれば、プリントの調整はモニター表示を基準に行なえる。デジタル画像を扱う場合は、どうしてもモニター表示が基準となるので、きちんと調節しておくことが重要だ。

ただ、モニターで表現できる色域（RGB）と プリンター出力された反射原稿が表現できる色域（CMY）は、厳密な意味では異なる。また、モニターのように発光している光源に対しては人間の目は順応性があり、見続けていると色が分からなくなることもある。そのため、モニター表現というのは、絶対的なものではないということも頭の片隅に入れておいてほしい。

ただ、画像の「雰囲気」あるいは発色の「傾向」がモニターで見ている画像とプリンター出力で似ていれば、主観的な画像補正は十分に可能で、Photoshopで調整した画像がモニターでキレイに見えている限り、目的のプリントが得られる。

ところでモニターを適切に調節（キャリブレーションをとる）するということは、モニター自身の輝度や色調の調節のはもとより、Adobeガンマによる調節、そしてそれを元にPhotoshopの「カラー設定」、特に「RGB設定」なども行なうということだ。特にこれらPhotoshop上で行なうソフトウェア的な設定は、ColorSyncを有効に利用するために必要で、プリンタードライバーのColorSync機能を機能させるためにも重要だ。詳しくは、本誌1999年6月号の『Photoshopの「科學」カラー研究班』も参考にしてほしい。

なお、モニターの調節の際は、モニターフードなどを装着して外光を遮断すると同時に、安定した光源下で行なうのが望ましい。

## 用紙の選択とプリンタードライバーの設定

最新の写真品質プリンターを入手したとしよう。ここで重要なのが、どのような紙でプリントするのかということと、適切なプリンタードライバーの設定である。特殊な用途を除いて、写真画像を写真らしく表現したい場合、プリンターメーカーが指定する純正の写真用紙を使ってみることを勧める。特にインクジェットプリンターの場合、インクの噴出量は用紙別に厳密に調整されている。プリンターメーカーが指定する用紙を用い、プリンタードライバー上でもその用紙を指定しない限り、正確な色表現はできない。

さらに、ColorSyncに対応しているプリンター（最近のほとんどのプリンターはColor Syncに対応している）を使っているなら、ドライバーの設定を変えてみよう。多くのプリンターはデフォルトでColorSyncがオフになっていることが多いが、Macintoshからプリントする以上、ColorSyncを使ってプリントしたほうが、簡単に満足のいくプリント出力を得ることができるはずだ。プリンタードライバーでColorSyncをオンにすることによって、モニター表示とプリンター出力のデバイスの特性の違いを合わせ込んでくれるからだ。そのためにも、モニター表示を調節し、Photoshopのカラー設定を行なうことが重要だ。

## ColorSyncを有効に利用する

Photoshop5.0（5.5）を使う上でColorSyncの働きは重要だ。きちんと設定されていれば、十分に満足のいくプリントが得られる。本稿のサンプルも、Phtoshopのカラー設定を行なった上で、プリンタードライバーのColorSyncを利用してプリントしたものだ。

ただ、厳密な色再現を求めるには、高い精度のプロファイルが必要となる。メーカーが用意しているプロファイルは、現実的な運用に適さないものもある。機械の個体差に左右されない、自分の環境でのプロファイルがほしい。プリンタープロファイルの作成は、数百色から千色以上のカラーパッチを出力し、分光光度計で測色し専用ソフトで行なう。当然、数万円のプリンターでこのような投資と作業は現実的でない。妥協案としては、モニターの調整をプリント出力に近付けるというのが一般的だ。プリンター出力に合わせるのがいやな人は、Photoshopのアクションでトーンカーブや色相彩度調整をプリンター用に作って適用させるようにしよう。

## プリンターを使いこなす──1

# 用途に応じたプリンター選び

**方式や特徴を理解し、Photoshopでどのような画像をプリントしたいのか、その目的に応じたプリンターを選ぼう。現在はインクジェットプリンターが主流だが、他にも、プリント速度が高速なもの、銀塩写真同等の超高画質のものや、大判印刷が可能なものもある。**

現在、選択可能な各種プリンターの代表的な製品を取り上げた。最近では、以前のようなメーカー間の競争〜高画質化、印刷スピードの向上、低価格化〜などは一段落したような状況で、それぞれのプリント方式や特徴を前面に押し出している。

インクジェットプリンターは写真画質の追求、マイクロドライ方式は印刷のシミュレーション用。これらはコンシューマー向け製品だ。一方、事務用、ハイエンドなデザイン用としてカラーレーザーやピクトログラフィーなどがある。

価格で見ると、コンシューマー向けが数万円台なのに対し、カラーレーザーやピクトログラフィーはだいたい100万円以上の製品で、大量にプリントしたり（カラーレーザー）、インクジェット以上の写真品質（ピクトログラフィ）を求める場合に利用される。それぞれの特徴と用途に合わせて、プリンターを選び分けたい。

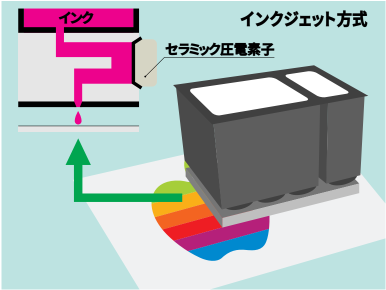
ここで紹介したプリンターメーカー4社からはコメントをもらった。併せてプリンター選びの参考にしてほしい。コメントの内容は❶自社プリンターの現状認識と❷今後の展開について。

なお、比較的特殊な用途としてここでは大判プリンターとオンデマンド印刷機も取り上げた。大判プリンターは例えばポスターなどを作成したり、オンデマンド印刷機は小ロットのパンフレットを短時間に作成したい場合などに用いられる。いずれも個人で購入するようなものではなく、出力センターなどに設置されているものだが、デジタル画像やDTPデータの出力形態のひとつとして、今後さらに注目されるべきものだ。

## インクジェット方式

### ➡低価格で写真画質

写真品質に迫らんとするインクジェットプリンターは、今最もホットなプリンターだ。数万円という価格ながら写真画質を追求し、エンドユーザーに高画質プリントの楽しみを与えてくれた。サードパーティから各種用紙も発売され、写真画質だけでなく、さまざまな質感のプリントが楽しめる。プロの写真家、イラストレーターなどにも愛用者は多い。






### ➡EPSON PM-800C

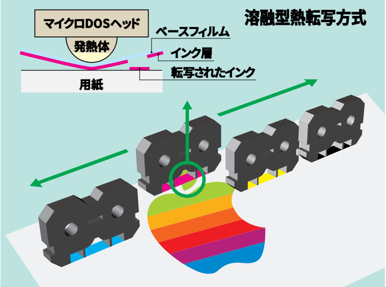
写真はエプソンの新製品PM-800C。PM-770Cの後継機となる。これまでのインク体積6ピコリットルがわずか4ピコリットルになり、より表現力が向上した。印字速度は従来機の1.5倍にアップしながら、同時に静粛性も実現。苦手だったシャドー部の階調表現も向上し、より写真品質に近づいた。A3ノビ対応機は、同様の改良が施されたPM-3000C（A3ノビ対応）の後継機PM-3300C。

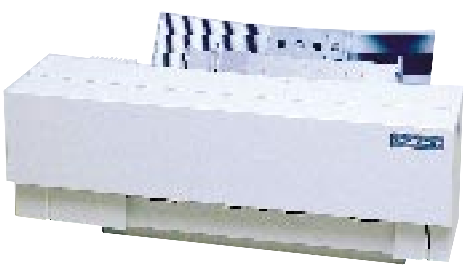
価格●59,800円（PM-800C）79,800円（PM-3300C）
問合せ●エプソン販売（株）（042-585-8555）

## 溶融型熱転写方式

### ➡低価格で写真画質

マイクロドライプリンタは溶融型熱転写方式という独自方式で根強いファンを持つプリンターだ。1台で溶融方式と昇華方式（オプション）のプリント方式を兼用できる。専用紙だけでなく普通紙への印刷もきれいで、商業印刷に近い発色をする。ソフトウェアRIPを用いて、プリントを色校正代わりにすることもできる。金、銀、白色といった特色インクも充実している。



### ➡ALPS MD-5500

マイクロドライプリンターの新製品。A4ノビ、およびA4縦二倍長尺に対応。印刷本紙に対応した2,400dpi相当／160線モードを追加した。用紙はPCM竹尾より、アート、マット、キャストの3種類の印刷本紙が発売され、より本紙校正に近い状態で仕上がりを確認できる。オプションのソフトウェアRIP、Micro Dry RIP2.5Jを使ってPostScript出力も可能。金、銀、白色といった特色インクも利用できる。

価格●59,800円
問合せ●アルプス電気（株）（045-544-8240）

## プリンターメーカーに聞く

数年前まで主流だったモノクロレーザーに代わり、カラーインクジェットやカラーレーザーなどが、家庭やオフィスで使われるようになった。特に、カラーインクジェットは低価格ながら高画質を達成し、パソコン用プリンタのシェアの大半を占めている。カラーレーザーはビジネス的用途の他、PostScript対応機によってDTPやグラフィックデザインでの利用も多い。マイクロドライ方式は趣味的な目的での利用から、最近では印刷の色校機としての側面も打ち出している。またピクトログラフィ（銀塩方式）は、未だインクジェット方式の及ばない写真画質を実現しプロの写真家などにも愛用者が多い。では,それぞれのメーカーはどう捉え、どう進化させようとしているのか？　各メーカーに尋ねてみた。質問は❶自社プリンターの用途・適性など現状認識について、❷今後の自社プリンターの進化・展開は？

### ➡セイコーエプソン(株)

セイコーエプソン広報　日向健司氏

❶インクジェット方式は、パソコン用プリンタの中で現在80%程度のシェアと言われています。市場も毎年2桁成長を続けています。パソコンの周辺機器としてだけでなく手軽に美しいプリント出力が得られるのも人気の一因でしょう。年賀状作成に用いる頻度が高いと思いますが、デジカメのプリントや、シールプリント、アイロンプリントなど、さまざまなシーンでも使われるようになってきています。

❷インクジェットプリンターは単なるパソコン用出力プリンタとしてだけでなく、大判プリンタやデジカメ専用プリンタなど、現在すでにさまざまな用途に合わせたプリンタが商品化されています。お客様のご要望に合わせた商品開発、またメーカーとして新たな用途を提案できる商品を今後も積極的に提供することで、カラーイメージングの新しい世界を創造してまいります。

### ➡アルプス電気(株)

アルプス電気（株）　営業本部 リテール営業部 鵜沢純一氏

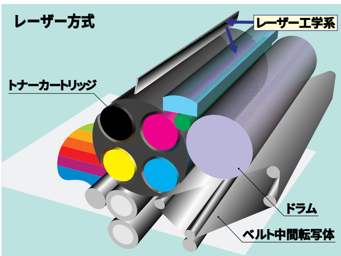
❶マイクロドライプリンターはオフセット印刷の品質に非常に近い溶融型熱転写方式です。印刷方式の特性上、色、質感、素材にこだわりを持つ方々（デザイナーなど）や場面で特に支持されています。また、金、銀、白などの特色インクも数多く用意し、年賀状や、仕上がりにこだわる印刷、デザインシミュレーションの場面等でも活用されています。

❷目標はオフセット印刷により近づけること、すなわち印刷品質の実現です。マイクロドライプリンターは顔料系の固形インクを使った面順次印刷であり、階調表現については網点に近いディザを用いて表現しています。ですから、印刷に非常に近い色再現性を持っています。また、この方式は普通紙（印刷本紙）への高画質印刷や両面印刷、特色印刷も可能です。したがいまして、この独自の技術、特徴を活かした製品開発を今後も進めていきたいと考えています。

## カラーレーザー方式

### ➡プリント速度と耐久性はバツグン

カラーレーザープリンターは、グラフィック、デザイン、DTP用途から次第に一般オフィスへと用途の二極化が進んでいる。4色のトナーを使うため、多少濃いめの発色をするが、PostScript対応機を使い多少の調整をすれば、印刷に近い色再現が可能となる。特にMacを中心とした利用では、DTPやグラフィック分野で、カラーカンプ、色校正代わりなどによく使われる。






### ➡富士ゼロックス DocuPrint C1255

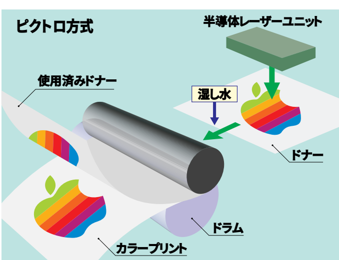
同社のAcolorシリーズに代わるハイエンド向けカラーレーザープリンター。レーザープリンターの特徴は印刷速度が高速なこと。連続コピー・プリントで1分間にフルカラーで12.5枚、モノクロで50枚のプリントが可能な高速エンジンを搭載。このほか、カラーコピー機能も併せ持ったDocu Color 1255CPや、廉価なColorLaserWindシリーズもある。

価格●345,0000円
価格●富士ゼロックス(株)(0120-274100)

## ピクトロ方式

### ➡銀塩写真に迫る超高画質

現在のインクジェット方式は写真画質に迫るが、それでもピクトロ（レーザー露光熱現像転写）方式が表現する写真品質には及ばない。解像度こそ400dpiと高くないものの、写真表現においてはまったく問題がなく、優れた光沢感はまさに写真と呼ぶにふさわしい。クリエイティブフォトをプリントしたり、デジカメなどのデジタル画像のミニラボとして利用したり、最高の写真画質を求めるならピクトロ方式が最適だ。



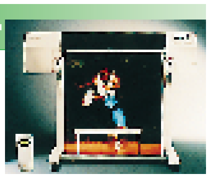



### ➡FUJIFILM PICTROGRAPHY 4000

A3ワイドまで利用可能なPICTROGRAPHYの上位機種。写真画質のプリントは説得力も高く、プロの写真家だけでなく、プレゼンテーション用途にも威力を発揮する。用紙は、マット、グロッシー、OHPなどが用意され、目的や用途に応じて使い分けられる。PostScript対応オプションもある。またPICTROGRAPHY 3000（1,797,000円）はA4対応機。

価格●2,880,000円(120MBモデル)
価格●富士写真フィルム(株)(03-3406-2165)

## 大判プリンター



最近注目を浴びているのが大判プリンター。A0やB0といった大サイズのプリントが可能で、店舗でのポップやポスターなどに使われる。企業での利用の他、作家の作品をプリントするというケースも。プリント方式はインクジェットが大半だが、インクの種類によって顔料系、染料系のものがある。写真は日本ヒューレットパッカード（株）（03-3335-8333）のHP DesignJet2800CP（1,690,000円）。PostScript3対応のRIPをバンドルし、従来機より1.6倍の印刷速度を誇る。

## オンデマンド印刷機



印刷するにはコストがかかりすぎるというとき、数十部から数百部というオーダーで印刷できるのがオンデマンド印刷機。展示会などで配布するパンフレットやカタログ、レストランのメニューやチラシ、ハガキ、名刺など、小ロット、小部数のものや、また頻繁に内容の変わる印刷物を作成するときなどに最適。写真は東洋インキ製造（株）（03-5560-7322）のE-Print1000（56,500,000円）。オンデマンド印刷機にはいくつかの方式があるが、E-Print100はカラーコピー機に近い方式。

### ➡富士ゼロックス(株)

富士ゼロックス(株)　DTP事業部事業企画G 大橋宏光氏

❶国内のカラーレーザーの出荷台数は'99年には12万台（当社予測）と前年比2倍を予測しています。低価格化と画質やプリント速度の向上がその理由です。初期のものが、印刷・デザイン等の専用市場に浸透したのに対し、現行製品は一般業種でのプレゼンテーション用途などで増えています。特にオフィスでは普通紙への出力品質（特に文字）や印刷速度の高生産性が受け入れられています。

❷ビジネスシーンへの導入が当然となります。ポイントは価格と印刷速度です。価格は50%増し、速度はモノクロレーザーと同じ（12～25ppm）程度が規準となるでしょう。技術的にはモノクロとカラーの印刷速度が同じタンデムエンジンが主流となり、現主流の4サイクルエンジンは画質重視の製品に採用されるでしょう。高速印刷のためにIEEE 1394が採用（弊社は一部採用済み）され始めるでしょう。

### ➡富士写真フィルム(株)

富士写真フィルム(株)　営業本部ピクトロ部 津山●●氏

❶ピクトロ方式は、銀塩写真レベルの高画質を求めるユーザーに利用されています。写真市場ではクリエイティブフォト、小ロットの写真集制作、証明・肖像写真、ポストカード、デジカメのデジタルプリントにも利用されています。他に高画質の顕微鏡写真を必要とする医学・サイエンス分野、プルーフを目的とした印刷分野、一般企業内での各種CGの出力やプレゼン資料制作などにも使われています。

❷ピクトロ方式は1ドットですべての階調（データは8ビットでも露光量としては12ビットで制御）を表現できるため現行の400dpiで画質的には十分です。ただ文字や線画の表現力向上にはさらなる高密度化が必要で、市場ニーズに合わせて商品化を検討していきます。またプリントのノイズ（色ムラやスジ、滲み等）が少ないのも特徴ですが、これ以外のノイズ要素に対しても改良を加えていく予定です。

## 1 カラープリンターはこうして使う
## DTPWORLD・CGWORLD編集部の巻



DTPWORLD編集部
デスク
小木昌樹さん



CGWORLD編集部
石川加奈子さん

DTPの初心者からプロまで幅広くカバーする『DTPWORLD』と、同じフロアに机を構えるCGとビデオ編集の専門誌『CGWORLD』の編集部では、様々な用途にカラープリンターを利用している。導入しているのは富士ゼロックスのLaser-Color Wind 3320とエプソンのPM-5000C（FielyにRIPを装着してPostScriptプリンターとして利用）。編集部でカラープリンターを利用するのは、「デザイナーと打ち合わせの際に画像確認用としてサムネールをプリントする」（石川さん）のと校正時が大半。いずれも大量にプリントするため、高速なColor Laser Windを利用する。では、PM-5000Cは？　「PM-5000Cはカラーレーザーに比べて微妙な階調を表現できるため、たとえば画像補正記事の補正前後の画像を（実際に違いが表れるかどうか）確認するために利用したりする」（小木デスク）という。

運用上の課題はカラーマネージメント。DTPの専門誌といえどもやはり印刷とプリンターのカラーマッチングに悩んでいる。印刷の振れが大きいため、なかなか思うようにはいかないようだ。

最後に小木デスクから。「SOHOユーザーなどにはオフセット印刷に近い仕上がりのアルプスMD-5000がいい。（A4ノビまでだが）RIPも含めて10万円程度で色校正機が入手できるのです。これで十分なケースも多々あるはずです」



『DTPWORLD』と『CGWORLD』。DTPWORLDは隔月刊（奇数月発行）CGWORLDは月刊。いずれも1,280円。それぞれDTP、CG（3Dやビデオ編集）の初心者～プロまでカバーした記事内容で、実験記事なども豊富。

発行●(株)ワークスコーポレーション（03-5427-6461）

## プリンターを使いこなす──2

# 「紙」を使いこなそう

最近の高解像度プリンターにおいて、Photoshopからの出力でプリント品質を決定する大きな要因は「紙」。プリンターの性能を十分に発揮するには純正の用紙が基本。紙の違いによる写真画像を比較した。また、画像解像度の違いによる写真表現の品質についても検討した。

インクジェットプリンターでは、普通紙（PPC)、専用紙（インクが保持しやすい)、光沢紙（写真表現重視)、光沢フィルム（写真表現重視)、OHPフィルム（OHP用）などを使うことができる。事務用には普通紙や専用紙、写真表現用には光沢紙や光沢フィルムといったように使い分けることが可能だ。どの機種においても基本的にはメーカーの純正のものを使うようにする。似たような材質のものでも、他社製品の用紙では仕上がりが異なってくる。場合によっては、インクが滲みすぎて使いものにならないものもある。各プリンターメーカーがプリンター自体の開発と合わせて、用紙（そしてインクも）の技術開発にも力をいれているからだ。特にPhotoshopからの出力で用いる写真表現向きの光沢紙や光沢フィルム、あるいはOHPシートなどは、高度な技術によって作られているので、純正品を使うようにしよう。

Phhotoshopの写真画像にとって理想的な用紙＝光沢系用紙の性質としては、ドロップしたインクのドット形状が真円でシャープになる、ドット濃度が均一になる、インクの吸収率が高くかつ吸収速度が早い、正確な色再現性を持つ、光沢感を強める、などが挙げられる。各メーカーとも以上のような性質を究めるべく開発に取り組んでいる。このようにして専用開発された用紙は、自社プリンターで最適にプリントできるようにプリンタードライバーに、その特性をプロファイル化して組み込んである。だから、メーカー指定の用紙を使用してはじめてベストな写真表現のプリントが得られるのである。

さらに同じメーカーの光沢系の用紙でも毎年のようにモデルチェンジを行っており、前述の技術改良に加え、耐久性や耐光性、耐候性を高めてきている。光沢紙は100ミクロン単位でいくつかの層から成り、特に最も表面にあるインクを受け止めて吸着させる「インク受容層」にはメーカーごとに異なる添加剤が塗布されている。

このインク受容層には、吸着力を増して耐水性を向上させたり、インクの変色を防ぐ成分を持たせプリントの耐久性を増すテクノロジーが折り込まれている（価格が高いのは、このような技術のため製造コストがかかるから)。

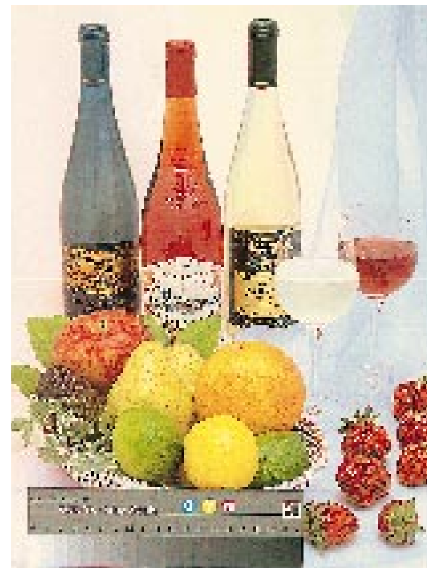
ところで純正紙が最上かというと実はそうでもない。筆者の場合、写真画像をプリントする上で光沢性を最も重視しているため（株）ピクトリコ（P.110ページ参照）のグロッシーフィルムを使っている。当然プリンターメーカのプロファイルは適用できないので、分光光度計とプロファイル作成ソフト（凸版のCS-Sharpner）を用いてプロファイルを自作した上で使用している。

## 用紙の違いによって写真表現は異なるか？

➡普通紙（PPC用紙）



➡純正専用紙



➡純正光沢紙（フォト用紙）



➡他社光沢フィルム（ピクトリコ）



このテストはHP DeskJet 970Cxiを用い、4種類の用紙にPhotoshopからプリントした結果を比較した。同機は用紙別のプロファイルがよくできており、補正なしで各々ほぼ満足のいくプリントが得られた。

あえてPhotoshopで調整するなら、普通紙の場合はやや彩度を上げ、シャープネスを強める。専用紙の場合は明るく出る傾向があるので、トーン調整でガンマを下げ彩度を下げると落ち着く。同時に、ややシャープを強めるといいだろう。光沢系の用紙は強くシャープをかけるとざらつき感が目立ってしまうので注意する。光沢系の用紙は画像の入力がしっかりしていれば、補正なしで十分キレイなプリントが得られるが、トーンカーブでややコントラストをつけて、色相彩度で赤系のみ彩度を少し上げると立体感のある出力が得られる。他社製用紙である「ピクトリコ」は、当然ドライバーでプロファイルは用意されていない。やはり、純正の用紙とは異なったニュアンスで出力される。シャドー部分のトーンを少し上げて、彩度を少し下げたほうが自然に見える。しかし、抜群の光沢感は素晴らしい。インクジェットプリンターとは思えない出力だ。これらの結果は、プリンターの機種・紙種によって異なるので各自でテストしてほしい。

# 写真表現を決定するのは解像度ではなく階調表現

最近のインクジェットプリンターの解像度は2,000dpiを越えるものがある。インクジェットプリンターの解像度は、文字や線画のラインをより滑らかにするのに貢献するが、解像度の向上は、必ずしも写真画質の向上にはつながらないのである。それは300〜400dpiとインクジェット方式に比べれば遙かに低解像度のピクトログラフィーや昇華型プリンターのプリント品質と比べると明らかだ。

プリンターの解像度は、単色の文字や線など輪郭のハッキリした絵柄をどれだけシャープにプリントできるかという指標となる。一方、Photoshopなどのビットマップ画像は連続した階調や色彩表現であるため人間の目で判別不可能な300〜400dpi以上の解像度は写真品質を決定しない。

もう少し詳しく述べよう。ピクトログラフィーや昇華型プリンターが1つのドットで256階調（CMYの3色で1,600万色）を表現できるのに対し、インクジェット方式ではインクのドットは基本的にあるかないかの2階調であるため、インクのドロップする回数で階調を表現する。また、前者は隣り合うドット同士は溶けてつながるのでドットは目立たず連続階調の表現に適するという特性を持っている。ところが一方、インクジェット方式ではドットの輪郭はシャープなため、ドット自体を小さく（インクのドロップ量＝体積を少なく）することで、シャープさを目立たなくさせている。なるべくインクのドロップ量を小さくすることで、階調表現が豊かになるのである。

インクジェット方式のインクの粒状性は、画像のハイライト部分で特に目につく。このためにCMYKの4色の通常のインクの他に、薄めたCとMのインク（ライトインクやフォトインクなどと呼ばれる）追加したプリンターも多い。ただしこの方式は通常インクとライトインクとのつなぎ部分での処理が難しく、トーンジャンプや中間調での粒状感の増加を引き起こすことがあり、インクジェット方式の今後の課題のひとつともなっている。

インクジェット方式の写真表現では、他にスクリーニングという技術も絡んでくる。インクジェット方式ではドットの集合で画像を表現するが、ほとんどのプリンターは等間隔かつ規則的な配列でドットを打っていない。ドットの打ち方をディザ処理することでトーンジャンプを抑え粒状感を低減するのだが、一定パターンのディザだと目の粗い印刷（例えば新聞紙）のように見えてしまうからだ。誤差拡散法のディザで不均等に配列することでスムーズな階調を表現できる。このディザ処理が、各メーカーの腕の見せ所でもある。

## 画像解像度によって写真表現はどう変わるか？

➡ピクトログラフィー出力(400dpi)

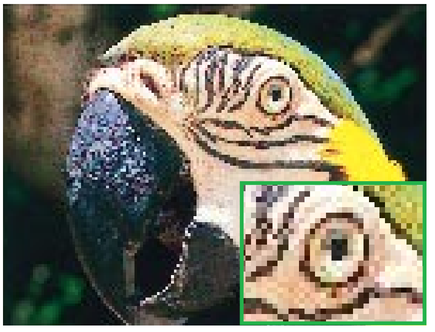


2880dpiの解像度を持つHP DeskJet 970Cxi を使って解像度と写真表現の関係を比較してみた(原寸。枠内は200%拡大)。解像度が低くなればやはり画像は粗くなるが、解像度が高い(1200dpi)からといって劇的に写真品質(階調表現)が高まるわけではないことがわかる。また拡大図ではハイライト部の階調表現も見てほしい。ルーペで丹念に見ていくとやはり1200dpiの画像は400dpiよりキレイではある。が、違いは微々たるもので区別できない人もいるだろうし、印刷ではそこまでは表現しきれない。結論としては、300〜400dpiで画像を用意するのがベストと言えるだろう。スキャニング時の解像度は取得する画像データ容量が増加することも考え合わせて、300〜400dpiの間でプリンターの最高解像度の整数分の1となるようにする。なお、HP DeskJet 970Cxi の場合、150dpi以下の画像には自動的にアンチエイリアスがかかるが、ぼけて見えるのは避けられない。また参考までに写真表現の得意なピクトログラフィーの出力サンプルも併せて掲載した。

➡1,200dpi



➡400dpi



➡300dpi



➡200dpi



➡150dpi



➡72dpi



## プリンターを使いこなす──3

# テストチャートを用いた発色テスト

**低価格でありながらも写真画質を表現できるプリンター。それが各メーカーが目指してきたプリンターの性能だ。それはどの程度まで達成できたのか？　標準的なチャートに加え、コンシューマー機の苦手なハイキー、ローキーの画像をPhotoshopからプリントし、プロ写真家の目でじっくり比較した。**

発色テスト（デジタルカメラ学習塾阿部氏作成）の結果を見ると、１世代前の機種とは異なり、メーカーごと、機種ごとの違いが少ない。発色に関してはどの製品もかなり理想に近づき、良好に仕上がっているといえる。その上でいくつか気づいた点を指摘してみよう。HP970Cxiは、赤からマゼンタにかけて彩度が低いが、自然な発色だ。他の機種は全体的に色の飽和度が高い。特にMD-5500は彩度が高く色が濃い。光沢を出すコーティングのせいだろう。発色やガンマは、どのプリンターもPhotoshopの補正で合わせ込むことができるレベルだ。各々の違いはメーカー供のプロファイルの違いによる可能性もある。CMSを使わない場合は、違った結果が出るだろう。

### ●テストに用いたプリンター

104～107ページのプリント結果は下の4つの製品を使用した。



EPSON PM-800C
価格●59,800円
問合せ●エプソン販売（株）（042-585-8555）

10月23日発売の新製品。4ピコリットルインクでさらに高画質。シャドーの階調表現も増した。印字速度と静粛性が向上



Canon BJ F6000
価格●69,800円
問合せ●キヤノン販売（株）（0570-01-9000）

今回唯一のA3機。全色独立インクでインク交換時のムダを省く。Macとの接続には別売ドライバーとケーブルのセットが必要



HP DeskJet 970Cxi
価格●57,800円
問合せ●日本ヒューレット・パッカード（株）(3-3335-8333)

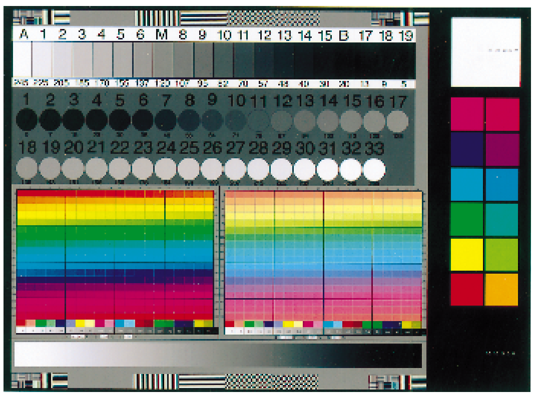
2,400×1,200dpiの印字解像度を持ち、印字速度も1分間に10枚のA4カラー印刷が可能な能力を持つ。自動両面印刷機能を搭載



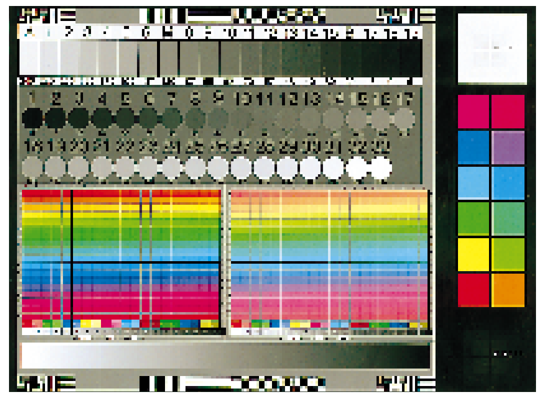
ALPS MD-5500
価格●59,800円
問合せ●アルプス電気（株）（045-544-8240）

160線モードの搭載で印刷本紙に対応し、色校正代わりのプリントが得られる。Micro DryRipでPS出力も可。A4ノビ対応

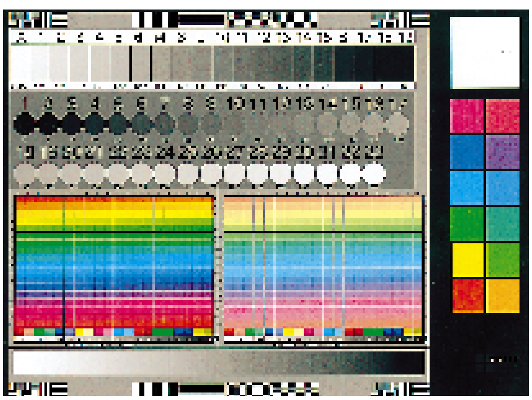
➡FUJIFILM ピクトログラフィー出力（参考）



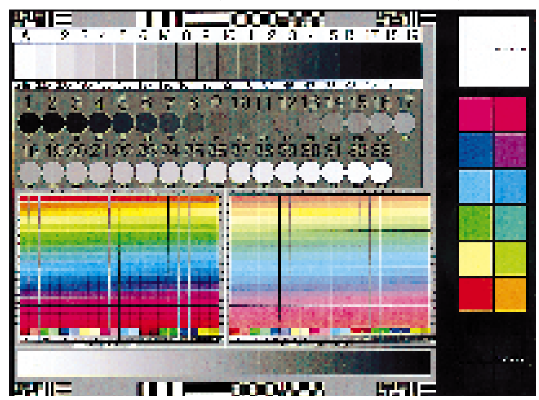
➡EPSON PM-800C



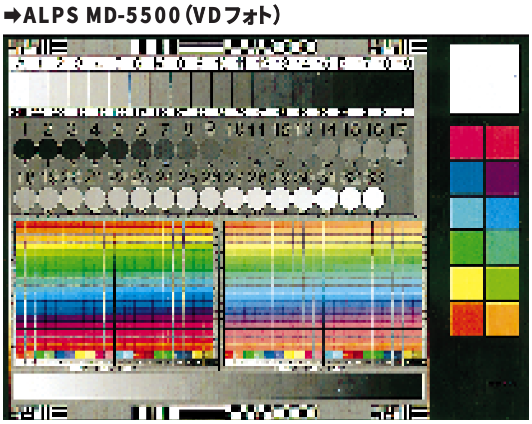
➡HP 970Cxi



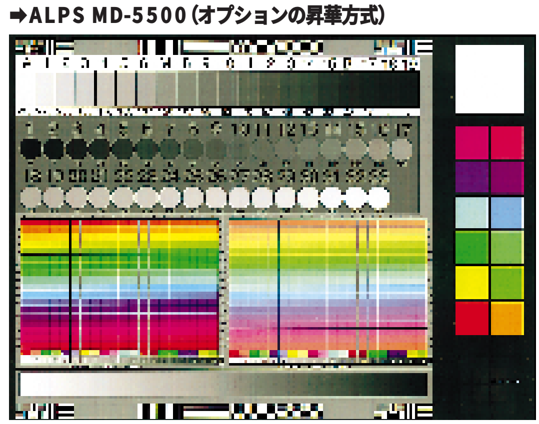
➡Canon BJ F6000（フォトカラー+カラーインク）



➡ALPS MD-5500（VDフォト）



➡ALPS MD-5500（オプションの昇華方式）



### ●プリントアウトの条件

各プリンターとも、写真再現を目的とした設定、用紙を使用した。テストに用いたチャートは2,992×4,252ピクセルのものを、画像解像度400dpi（36.4MB）で出力した。またプリンタードライバー上でColor Syncの利用をオンにしている

# 自然画像とハイキー、ローキー画像を用いた画質テスト

プリンターの画質を判断するには、まず自然な発色かどうか、次にハイライト部分の粒状性、シャドウ部分のバンディング（カートリッジの動く方向に「すじ」が入ること）、緩やかな階調表現（トーンジャンプを確認）といった点を観察する。最近のプリンターは高精度になったおかげで、チェックのためにはルーペが必要だ。逆に言えば、ルーペを使わなくてはわからないほど性能が上がっているのである。そこでここではプリンターの極限に近い性能を見るために、重箱の隅をつつくような画像をPhotoshopで作成し、テストを行なった。テストに用いた画像と目的は、] カラーの画像で色の分離と各色の階調表現を、^ ハイキーな画像でハイライト部分の粒状感とグレーの階調表現を、_ ローキーな画像で、純黒から中間調までの階調を、比較した。

# プリント速度の比較

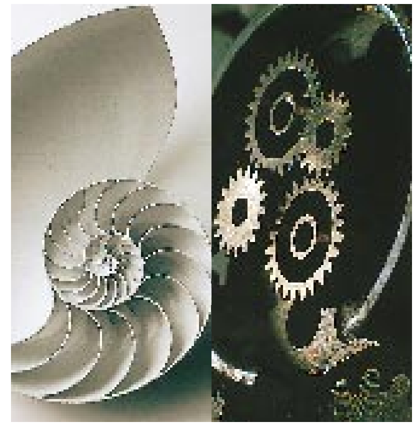
テスト画像を3回繰り返し出力して平均を出した。スプールする時間や、プリンターへの転送時間も含む。プリントボタンを押した瞬間から用紙が完全に排出されるまでを計測。MacOS8.6、G3/300（512MB RAM）を使い、Photoshop 5.5（メモリー割り当て200MB）から出力。テスト画像は400dpi、19×27cm、8bit RGB約で36MB。フォアグラウンドでプリント（HP DeskJet 970Cxiのみバックグラウンドプリント。テスト段階でプリンタードライバーがベータ版だったため時間のかかるバックグラウンドで行なった）。

| | |
|---|---|
| EPSON PM-770C（1440dpi／USB接続） | 9分57秒 |
| HP 970Cxi（2400dpi／USB接続） | 10分39秒 |
| Canon BJ F6000（1440dpi／USB接続） | 13分32秒 |
| ALPS MD-5000 VDフォト（2400dpi／SCSI接続） | 11分03秒 |

表●プリントアウトまでの経過時間。ここではエプソンとアルプスの両プリンターは旧機種を使っているが、新製品の貸し出しがテストに間に合わなかったため。結果は参考程度に考えてほしい

### ➡EPSON PM-800C

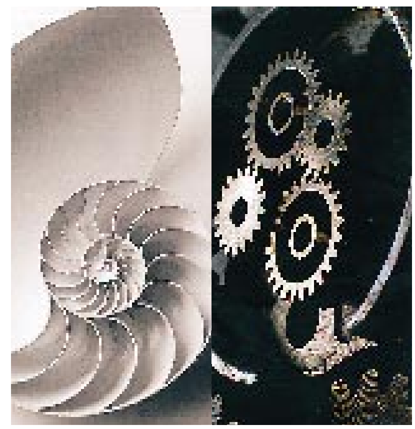
さすがにトップシェアのプリンターだけあって、そつのない仕上がりとなっている。カラーの分離もよく、彩度の高いインクジェットらしい発色。ライトインクをうまく使い、ハイライト部分の粒状性は驚くばかりだ。ルーペを使っても、インクの粒がほとんど見えない。今となっては解像度のスペックは他社製品に劣るが、写真表現に関してはまったく問題はない。1世代前のPM-770Cと比べると、このPM-800Cはガンマ値が上がったようだ。また新しくロール紙に対応し、ふち無しの写真プリントが可能になった。より写真を楽しむことができるプリンターと言える。





### ➡HP HP970Cxi

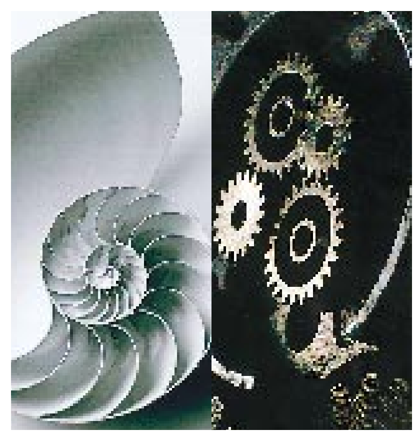
HPは、アメリカ市場はもちろん全世界をターゲットにしているメーカーだ。扱いやすさを第一に、あらゆる点で合理的な設計だと感じる。他のインクジェットプリンターが多色インクを使っているのに、カラー画像は3色でプリントする。しかし、ハイライトの粒状感はほぼ満足できるレベル。薄いインクと濃いインクの切り替えがないので、ハイライトからシャドウまで自然なグラデーションを表現する。また黒インクを使わないので、ローキーな画像はしまりがなく見えるが、自然な階調表現のためかえって写真的と言える。今までのHPのプリンターから格段に進歩した。





### ➡Canon F6000（フォトインク+カラーインク）

今回、唯一のA3プリンターで歩が悪い。同社のF8500のほうが、より写真表現に適していると思う（価格帯は上だが）。全色（6色）独立のカートリッジを採用しており、無くなった色のみ交換すればいいのは合理的。カラー表現は遜色なく、用紙の光沢度も手伝ってメリハリがある。残念なのは、薄いグレーのグラデーションが不自然なこと。大きな幅でのトーンジャンプと色浮きが見られる。やはりA4プリントはA4機で出力すべきなのかもしれない。他機種と比べて粒状性も気になるところだ。しかしF600よりは目立たない。

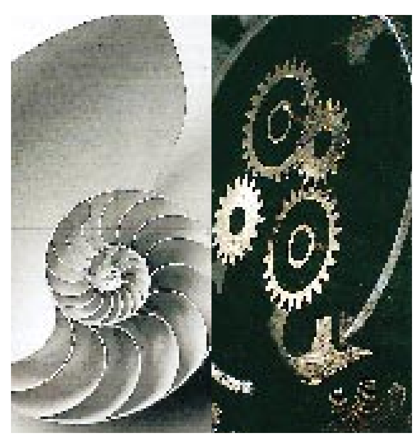


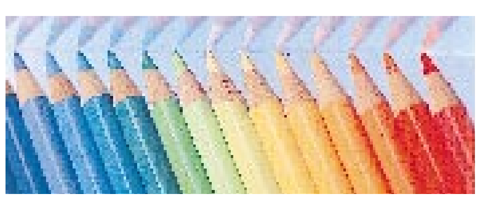


### ➡ALPS MD-5500 VDフォト

MDは溶融型熱転写方式のプリンターでインクジェット方式とは異なるプリンターだ。オプションで写真に適した昇華方式の印刷もできる。ここではVD（バリアブルドット）方式を検証する。

とてもハッキリした色使いでコントラストも強い。写真よりは印刷に近い表現だ。どの画像も、トーンジャンプは少なくなめらかな階調表現を示す。ハイキーな画像でややヘッドの動作方向のむらが出る可能性がある。インクの特性としてオフセット印刷に近く、印刷のシミュレーション用途に向いたプリンターといえるだろう。





## プリンターを使いこなす──4

# 簡単！キレイ！はColorSyncを使ってプリントアウト

**原稿のプリンターは低価格のものでもColorSyncに対応している。そのためよほど厳密な色再現を求めるのでなければ、ColorSyncを使った法が、より簡単かつキレイにプリント結果を得ることができる。ここではColorSyncを使い各メーカーの4機種のプリントアウトを比較した。**

実を言うと、このページでは各々のプリンターに合わせてPhotoshopによる画像補正方法を検証する予定だった。

ところが実際に各プリンターでプリントアウトしてみると、どれもモニター表示と大きく異なるものはない。筆者や編集部の予想を超えてプリンターの精度はますます高いものになっているようだ。これは、各メーカーの技術革新もあるだろうし、またMacやPhotoshopのカラーマネージメントによるものでもあるだろう。そこでここでは、プリントアウトのサンプルとそのドライバー設定を掲載することにした。

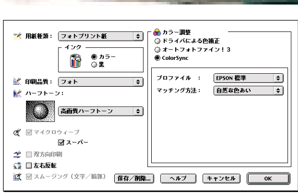
4機種とも写真向けの用紙を選び、設定を間違えさえしなければ、十分に「キレイ」なプリントが得られるのである。前のページのテストはちょっとシビアなケースでの検証だったが、ここに掲載したような標準的な画像であれば、各々のプリンターの欠点はあまり露呈しない。

冒頭にも述べたことだが、やはり、入力した画像データがしっかりしていることと、カラーマネージメントの設定が最も重要だ。

ここでのテストは、プリンタードライバー上でColorSyncを選び、Photoshopから出力した。なお、プリンタードライバー上で選択するPhotoshopの出力カラースペースは「RGBカラー」に設定した。画像ファイルは2,992×4,252ピクセル、400dpiの36.4MBのもの。

## ➡EPSON PM-800C



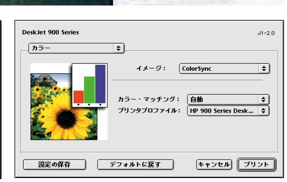


ドライバー設定●詳細設定で「スーパー」をチェック（最高解像度が得られる）
ColorSync●オン（EPSON標準／自然な色合い）
用紙●フォトプリント紙2

## ➡HP 970Cxi







ドライバー設定●用紙の種類／品質の設定で高解像度（フォト用）を選択（これにより2880dpiの出力が可能）
ColorSync●オン
用紙●HPプレミアムプラスフォト用紙（光沢）

# ColorSync プロファイルを作成するには？

**Photoshop 5.0 (5.5)を使ってプリントする以上、モニターのキャリブレーションが取れていることと、モニタープロファイルがしっかりしていることが重要だ。これらが前提にあってはじめてプリントをコントロールできる。目視による調整が得意でない場合は、専用ツールを使おう。ここでは、比較的低価格のツールを紹介しておこう。**




## ➡Color Vision mc7

モニター色測計のColor Vision mc7とキャリブレーションソフトのPhoto Calのセット。Color Vision mc7は７つのフィルターによってモニターを測定。可視光線外の光や高角度の光をセンサーやフィルターが感知しない構造になっている。これにより、LCDディスプレーのキャリブレーションも正確に行える。PhotoCalはICCに準拠したColorSyncとICMプロファイルを作成でき自分のモニター専用のプロファイルを作成することが可能だ。またプレ・キャリブレーション機能により、モニターのダイナミックレンジを最大限引き出せる。

**価格●**2,8000円
**問合せ●**(株)イメージアンドメジャーメント(03-3365-3641)
**URL●**http://www.imi-jp.com/pre/CV/PhotoCal.html

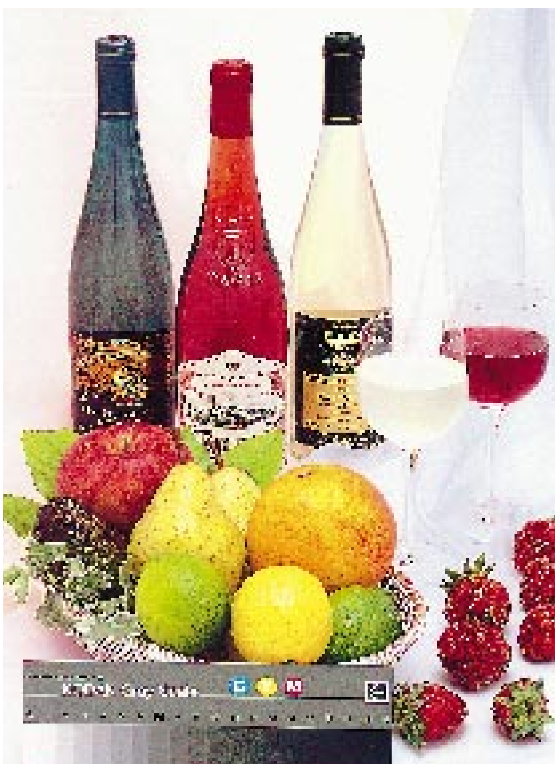


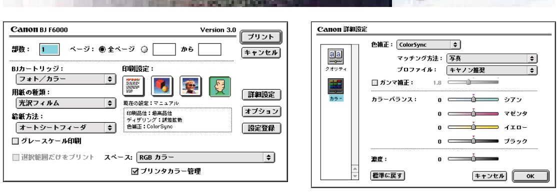

## ➡CS-Sharpener ver2.0

モニター、スキャナ、プリンター、印刷などのプロファイル作成や、キャリブレーションが可能。デザイン／DTP／印刷で安定したカラーマネージメント環境を構築できる。測色機とプロファイル作成ソフトのセット。

**価格●**130,000円
**問合せ●**凸版印刷(株)(03-3835-5615)
**URL●**http://www.toppan.co.jp/products+service/sharpener/index.html

## ➡Canon BJ F6000

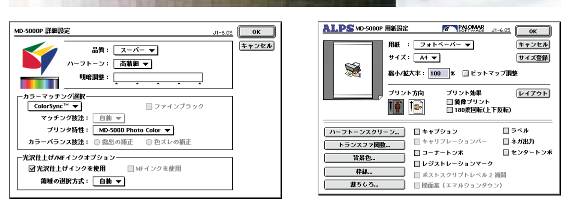




**ドライバー設定●**「フォト／カラー」カートリッジを選択（最高解像度が得られる）
**ColorSync●**オン(写真／キャノン推奨)
**用紙●**フォト光沢フィルム
**その他●**フォトインク＋カラーインクを使用

## ➡ALPS MD-5500



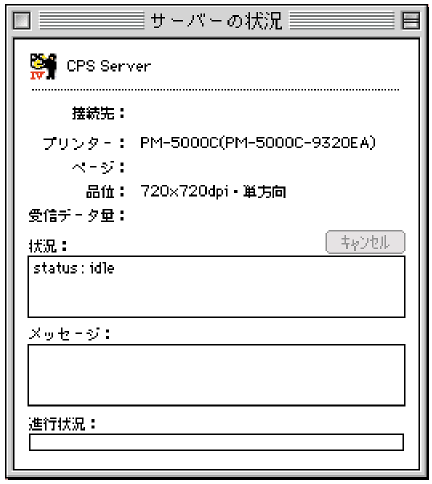


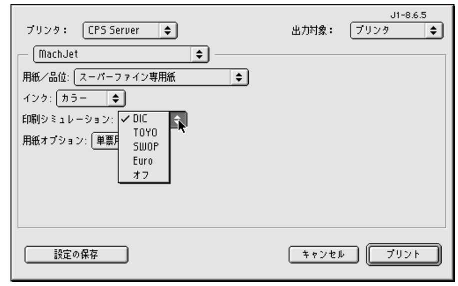
**ドライバー設定●**品質は「スーパー」(2400dpi出力となる)インクカセットは「紙用」
**ColorSync●**オン(MD-5000 Photo Color)
**用紙●**VDフォトフィルム
**その他●**VDフォトモード

## プリンターを使いこなす──5

# ソフトRIPで印刷シミュレーション

**一口にプリンターと言っても、その機種や使い方は実にさまざま。Photoshopで加工した写真や描いたイラストの最終形としてプリントしたり、印刷データを入稿するための色見本としたり。ここではそんなプリンターを巡る2つのTips、PSソフトRIPと大判プリンターを紹介しよう。**




CPSソフトリッパー4のダイアログ。ソフトリッパーをインストールするとそのMacがプリンターサーバーになり、ネットワーク上の他のMacからもプリントが可能になる。左図プリントサーバーの状況を示すダイアログ。右図はクライアント側の用紙設定ダイアログ。右図を見ると分かるように、印刷シミュレーション機能によって各種インクの特性をシミュレートできる

ソフトRIPとは、QuickDrawプリンターをPostScript（以下PS）プリンターにするもの。プリンターを接続しているMacにソフトRIPをインストールして使う。QuarkXPressなどのPSアプリケーションから直接QuickDrawプリンターに出力すると、文字や曲線がシャープでなく、貼り込まれたEPS画像はプレビューで出力されるが、ソフトRIPがその諸問題を解決する。純正のものにはエプソン「CPSソフトリッパー」（A4機では不可）やアルプス「MicroDryRIP」等がある。

ソフトRIPを使うことで、PSアプリケーションとQuickDrawプリンターの組み合わせでも、高品位な出力結果が得られる（プリンターの性能にもよる）が、その特徴を経験上の事柄を踏まえて、いくつか挙げてみよう。❶曲線のある文字や回転・変形した文字、Illustratorなどドロー系ソフトからのオブジェクト、ベジェ曲線などの輪郭がシャープに出る。❷QuickDrawドライバーとソフトRIPの処理の違いから、グラデショーンの仕上がりが違う。❸PSアプリケーションからの出力が速い。❹（特にCMYK色指定の）色調が安定している（QuickDrawプリンターでは、ドライバーがRGBデータをCMYKに変換するので、色調が崩れたり、スミベタ指定した文字にCMYの色が混ざることがあるが、ソフトRIPによりPSアプリケーションからCMYK色指定のまま、データを送信し、処理することができる）。

ソフトRIPは最終的に印刷データを作成する人のためのものなので、以上のようなメリットが挙げられるわけだ。ところで、PhotoshopのEPSデータについても経験上だが❹のようにソフトRIPを通したほうが安定した色調の再現ができるようだ。Photoshopにしろ他のPSアプリケーションにしろ、最終的に印刷するデータであるなら、やはりPS（ソフトRIPに限らずPSプリンター）で出力し、色を確認すべきだろう。印刷に近い色を確認することで、後の工程に携わる人と色についての誤解が生じにくくなるからだ。

ただソフトRIPのデメリットは、プリンターフォントが別途必要で、それなりのコストがかること（Photoshopの出力用だけではもったいない…）。とはいえ、PS対応カラーレーザーを導入するよりは安く済む。選択の基準としては、大量にプリントするならカラーレーザー、プリント量が少ないのであればQuickDrawプリンター＋ソフトRIPという組み合わせで十分だろう。（KIYOE）

## 2 カラープリンターはこうして使う

## イラストレーター石川浩二さんの巻



漫画家の叶精作さんから譲り受けた大判プリンターHP DesignJet 2500と石川浩二さん。6月の個展に展示した大判作品もこのプリンターで出力した。大小のインクジェットプリンターを使うようになり、さまざまな媒体にプリントできることから、創作意欲も新たにかき立てられたという

長年使っていたピクトログラフィー3000からエプソンのインクジェットプリンターPC-3000Cにメインのカラープリンターをリプレースしたイラストレーターの石川浩二さん。また、6月に開催された個展に合わせるように漫画家の叶精作さんから大判インクジェットプリンターのHP DesignJet 2500も譲り受けた。

最近のインクジェットプリンターが数年前とは違って画質が格段に進歩し、またその色調や仕上がりが自分好みであることを知って、インクジェットに切り替えた。今では作品のプリントは、インクジェットによるものが大半だという。インクジェットプには和紙や水彩紙など実にさまざまな用紙が用意され、そのなかから作品の意図、雰囲気に合ったものを選ぶことができるのも大きな魅力だという。石川さんの作品はデータ自体にマチエール（絵肌）を盛り込んでいるため、絵の完成度は用紙に左右されない。それでもプレゼンテーションということを考えると、絵と用紙の相乗効果が見る人を引き込むことは否定できない。作家や作品の表現意図に合わせて用紙が選ばれるべきで、そのような見せ方の工夫ができるのは、用紙が豊富なインクジェットプリンターならでは、なのだそうだ。

普段はPM-3000Cを作品の確認用や入稿用として頻繁に利用する。ランニングコストが低いため、何枚もプリントできるのも魅力のひとつだ。DesignJet 2500は展覧会への出品や、絵を販売したり贈る際に利用している。インクジェットの利用によって作品発表の幅が広がったようだ。

# 大判プリンターを使ってみたい！

## 大判プリンターを何に使う？

大判プリンターとは、A0サイズやB0サイズのプリントが可能な大型のプリンターだ。その印刷方式は多くがインクジェット方式を採用している。昨年末ごろから、大判プリンターの低価格化が進んだことなどもあって、出力ビューローなどで導入したところも多い。この大判プリンター、実は最近の隠れたヒットなのだ。

これまでは、プリンター自体が高価だったため、出力ビューローなどに依頼するとA0判1枚で数万円もの費用がかかったが、本体の低価格化に伴い、最近ではA0判1枚あたり1万円〜2万円程度で出力することが可能になってきている。そのため、さまざまな用途で大判プリンターが使われるようになってきたのである。



老舗出力ビューローのひとつ、グラパックジャパン六本木店店長代理の冨山詩曜さん。大判プリントだけでなく、さまざまな出力の相談に乗ってくれる。

グラパック六本木
Phone.03-5410-5471

グラパック六本木店に設置されているB0判対応のRoland Hi-Fi JET FJ500。顔料インクのためインクジェットで主流の染料インクより、耐水性、耐光性が高いのが特徴



取材を依頼したグラパック六本木でも、今年はじめにRolandのHiFi JET FJ-50を導入したところ、毎連日稼働するほど、出力の依頼があるという。どのような用途で使われるか気になるところだが、同店の冨山詩曜さんによると、最も多いのが展示会に飾るポスターだという。その他、バーゲンを知らせる店舗でのポスター（吊ったり、ウィンドウの内側に張り出すなど）、駅等に貼り出す看板やバックライトフィルム等に、大判プリンターを使うお客さんが多いそうだ。

変わったところでは、ゴルフ場で使うホールインワンのためのパネルを作成したり、大き目の箱の展開図を本物を作成する前のシミュレート用として利用したり、映画やテレビのセット（電柱などに巻くポスターや、海外から3mほど横長の石垣の絵柄などもあるという）などに使われることもあるというから、アイデア次第で用途はさまざまに広がる。

最近では写真家やイラストレーターの利用も目立ってきた。個展を開くときなど、大きく作品を展示したいときに使われるのだろう。前ページに紹介した石川浩二さんなども、昨夏の個展では大判プリントしたものを展示していた。

## 大判プリントする際のデータ作成法

ところで、A0といえば幅が841mm、B0に至っては1030mmもある。ロール紙なので縦方向には数メートルまで一度にプリントすることが可能だ。となると、一体どのようなデータをどのように作成すればいいのか、特にそのデータ容量が気になるところだ。

その点について冨山さんは、「Photoshopなどの画像をきちんとした品質で出力したいならやはり300dpiはほしい」という。かといって本当にA0版サイズ（841×1189mm）をPhotoshopで作ろうとすれば、RGBデータでおよそ400MBにもなる。これだとPhotoshop上での作業もひとつひとつの操作が重くなり大変なので、データ容量やマシンパワーを考慮して、200dpiあるいは150dpi程度に落とす。1mほど離れてみるような場合は200dpi程度でも画像の粗さは目立たない。どのような状況で大判プリントが見られるのか、その条件で作成するデータサイズも変わってくるので、実際の出力の際は出力ビューローに相談しよう。

一方、Illustraotrなどのデータは、出力時にプリンタードライバー上で拡大すればよいので、それほど大きなサイズで作らなくてもOKだそうだ。ただしビットマップ画像を貼り込んでいるような場合は、やはり出力時の解像度には気を付けなければならない。

冨山さんのもう一つのアドバイスは、Roland HiFi JET FJ-50でプリントすることがあらかじめ分かっているなら、RGBモードでデータを作成してほしいとのこと。RIPを使用しているもののプリント方式はライトインクのシアンとマゼンタを持つ5色インクのインクジェット方式のため、RGBデータだとその彩度が損なわれないからだ。確かに、発色は鮮やかだ。ただしやはり、具体的なデータ作成の方法については、出力を依頼するビューローに相談してほしい。



石川さんの画風もすっかりおなじみ。これは作品のひとつ「ビームスの肖像」

石川さんのホームページ。今後はWebにも力を入れていくとか。作品を閲覧できるギャラリーだけでなく、オリジナル作品が描かれたポストカードやTシャツなども販売する。
URL●http://www1.odn.ne.jp/koji/



# 究極のインクジェットプリンター用紙

## (株)ピクトリコ



お話を伺った（株）ピクトリコ代表取締役後藤勲氏。ちなみにピクトリコとはスペイン語で「絵になる」という意味だそうだ

プリンターの性能を十分に引き出すために、インクジェットプリンターの用紙は基本的にはメーカー純正のものを使うというのがセオリーだ。しかし、その純正を超える画質を表現できる用紙がある。それがピクトリコである。

ピクトリコというのは、本来は10年ほど前に旭硝子（株）が開発したインクジェットプリンター用の記録媒体（紙ではなくてインクの受容層に当たるもの＋セラミックス）そのものを指す。その旭硝子の出資でピクトリコの処理を施した用紙の販売や出力サービスを手がけるのが（株）ピクトリコである。

そこでピクトリコ用紙と言えば、ベースとなる紙の表面に、インクの受容層としてピクトリコ処理（ピクトリコの塗布）を施したものとなる。

ピクトリコの特徴を挙げてみよう。

❶インクの吸収速度が速い
❷シャープな真円のドットを形成する
❸インクの受容層が透明
（インクの発色性が高い）
❹耐水性が高い

と、いずれも、インクジェットプリンターの用紙としての適性に優れた特徴を持っている。特に❸。受容層（ピクトリコ）が透明であるため、光沢フィルムなどにピクトリコ処理を施すと、これまでの用紙にない光沢感が表れる。インクが受容層に止まり、ベースまで浸透しない。そのため、インクの発色性が高く鮮やかな画像となる。写真表現を求める上ですぐれた媒体であるため、プロ写真家なども愛用している（本集中レポートを執筆した望月氏も愛用者のひとり。ただし、ピクトリコに合わせたモニタプロファイルを自作している）。

さらに、

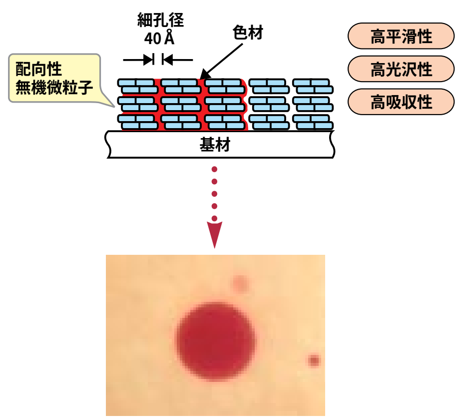
❺素材を選ばない

という特徴も見逃せない。紙、布、フィルムなどだけでなく、金属、コルク、人口皮革などにも、ピクトリコ処理ができることを確認している。

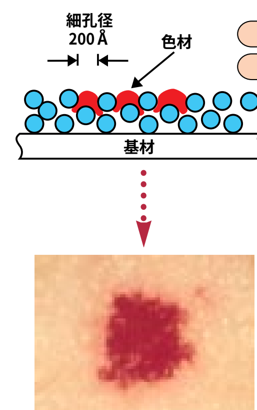
### ピクトリコの受像メカニズムと従来品の比較

ピクトリコを塗布したものは、高い配向性によって表面平滑性、光沢性、吸収性に優れている。また、インクはピクトリコの層（受容層）で保持されるため、インクがベース（基材、例えば紙）で滲むようなこともない。下の画像は、インクを吹き付けたあとの、用紙の表面の拡大写真。ピクトリコの場合は真円を描くが、ピクトリコ処理を施していない従来品ではインクが滲んでしまい、きれいな円を描かない。ドットが小さくシャープなためグラデーションの表現力も高い

**ピクトリコ（配向性微粒子）**




**従来品（無配向粒子）**




ピクトリコは、確かに高品質のインクジェット用媒体としては高品質で、なおかつ多用途に利用可能だ。まだ知名度は低いが、その分、ピクトリコ（株）としてもユーザーのさまざまな要求に応えていきたいという。アイディア次第で、これまでにないプリント表現が可能になるだろう。

ところでこれまで（株）ピクトリコでは、あまり積極的にコンシューマーユーザーを対象にプロモーションをしてこなかった。しかし、今後は高画質プリントや、いろいろな媒体にプリントを必要としているコンシューマーユーザーにも、ぜひ使ってほしいという。ただ、販売店などを持っていないため購入は（株）ピクトリコから通信販売という形で入手可能だ。現在はプロ写真家向けのPICTORICO PROという用紙があるが、細かな要望にも応えてくれるので、相談してみては？

●(株)ピクトリコ／Phone.03-3473-7661



（株）ピクトリコで販売しているプロ向け、写真表現用のPICTORICO PRO。グロッシーフィルムとフォトペーパーが、A5〜A3ノビまで用意されている。個人ユーザーには通信販売で入手可能。価格は例えばA4グロッシーフィルム40枚入りが10,000円、A4フォトペーパー40枚入りが4,000円。他に、大型インクジェットプリンター用の各種用紙やフィルム、キャンバス布などもある



ピクトリコ（株）が、ピクトリコの塗布のテストを行った媒体。左は木材、中央はコルク、右はアルミである。他にも布などにも可能だ。クリエイターは大いに興味をそそられるだろう。ただし、このような固い媒体に印刷するには、専用のインクジェットプリンターが必要。興味があるならピクトリコ（株）に相談してみよう

アドビ・イン・デザイン
# Adobe InDesign英語版

●村上みゆき

## 昨年から話題のデザイン・DTPツールの英語版がついに発売！

### Check Point

**・エディトリアルデザイナーに向けて開発された新製品**
Illustratorに似た外観であるAdobe InDesignはページデザイン、つまりエディトリアルデザインを重視したソフトウェアであり、デザインをするツールとしての機能が充実している。

**・Adobe製品の統一インターフェイス*1**
インターフェイスの統一により、ショートカットキーや操作方法が他のAdobe製品と同じ。また、QuarkXPressのショートカットキーに変更することも可能。

**・テキストフレーム*2での文字の割り付け**
テキストはテキストフレームを連結*3させて割り付けるようになっている。

**・テキストのアウトライン化*4**
プロテクトのかかっていないフォントはアウトラインに変換することができる。

**・グラフィックスの割り付けと編集**
グラフィックスは、グラフィックスフレーム*5に割り付け、マスキング*6に利用することも可能。

**・グラデーション*7**
作成したオブジェクトだけでなく、文字にもグラデーションを適用することができる。

**・レイヤー*8機能**
作成したレイヤーはドキュメント全体のページに適用される。

**・マスターページ*9とスタイル*10の設定**
マスターページ、スタイルの設定は、PageMakerと同じだが、段落スタイル*11の設定と文字スタイル*12の設定が別々に用意されている。これにより、段落設定とは別に文字設定をスタイルで行なうことができる。

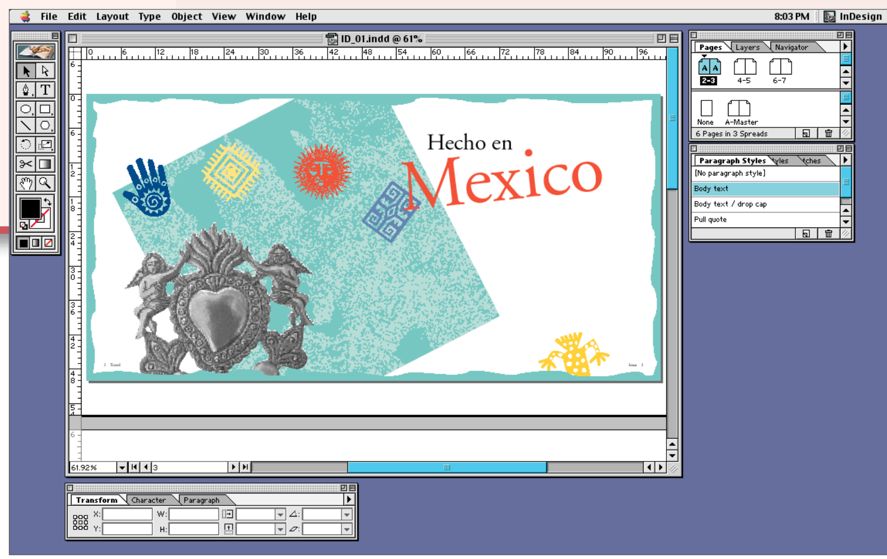
**・ナビゲーションパレット*13**
複数のページをナビゲートすることが可能。

**・プラグイン*14化されている各パレット**
ほとんどのパレット類がプラグインモジュール化されている。

### Get Information

発売元・問合せ●アドビシステムズ(株)アドビカスタマーインフォメーションセンター(03-5350-0407)
URL●http://www.adobe.co.jp/
価格●オープンプライス（米国では739ドル）
バージョン●1.0
対応機種●PowerPC搭載機（604以上）
動作環境●Mac OS 8.5以降（英語版）、Mac OS 8.6対応（英語版）
メモリー●仮想メモリがオンの場合は48MB、仮想メモリがオフの場合は96MB、推奨128MB以上

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |




## エディトリアルデザイナーに向けて開発された新製品

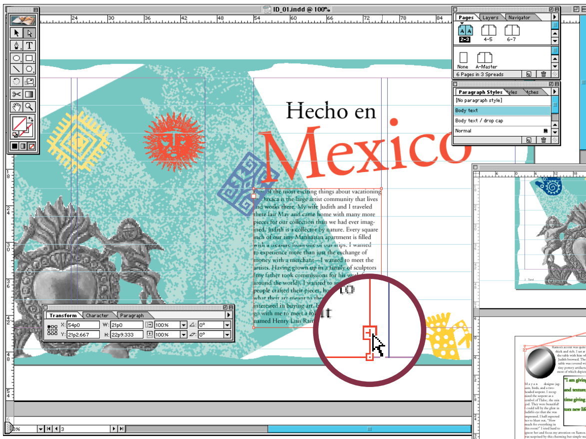
昨年のSeybold Seminarsで開発が明かされて以来、DTP、デザイン業界では、話題になっていた「Adobe InDesign（英語版）」がついに発売された。現在は、英語版のみの発売で、日本語版がいつ発売されるかは未定ということだが、発売前からその発売を待ち望んでいるユーザーも多いことから、ここでは少しでもはやく概要をお伝えすべく、英語版での紹介をする。

Adobe InDesignは、エディトリアルデザイナーに向けて新たに開発されたDTPソフトウェアだ。デザイナーの必須ソフトウェアであるAdobe Illustratorでおなじみの機能が数多く導入されているため、アドビシステムズ社から発売されているDTPソフトウェアであるAdobe PageMakerよりはIllustratorに似た感じの製品となっており、まったく新しいアプリケーションでありながら、文字の取り扱い機能が強化されたIllustratorといった印象を受ける。しかし、それだけにIllustratorを使ったことのある人なら、すぐにAdobe InDesignを使用することができるということだ。

また、DTPソフトウェアを使用せずに、使い慣れたIllustratorでDTP作業を行なっていたデザイナーも多いため、Adobe InDesignは重宝するアプリケーションになることは間違いない。

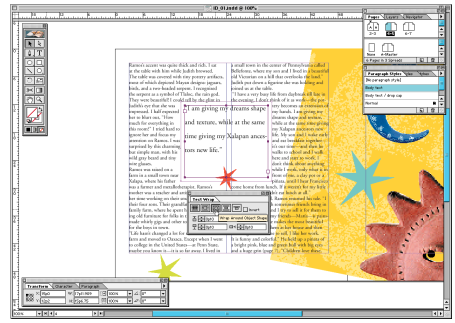
PageMakerが複数ページの編集や長いテキストの取り扱いを重視したソフトウェアであるなら、Adobe InDesignはページデザイン、つまりエディトリアルデザインを重視したソフトウェアといってもよいだろう。

*1 Adobe製品の統一インターフェイス：アドビシステムズ社の製品をどれかひとつ使えれば、インターフェイスが統一されているため、どの製品も迷うことなく使用することができる。
*2 テキストフレーム：テキストを入力するためのボックス。テキストボックスやコラムというアプリケーションもある。　*3 テキストフレームの連結：長いテキストを複数のテキストフレームにまたがって割り付ける場合、テキストが流れていく順番に沿って、テキストフレームを繋げておく。こうしておけば、テキストを流し込んだときに自動的に文字が割り付けられるようになる。





テキストフレームの連結方法はIllustratorと同じ。あふれた文字がある場合、テキストフレーム右下の＋マークをクリックし、再びクリックすると次のテキストとフレームに流し込まれる



テキストフレームの上にテキストフレームを重ね、テキストの回り込みの設定をすることも可能だ

## DTPアプリケーション内でのデザイン

これまでのDTPソフトウェアは、作成した、いろいろな部材を並べるという作業が重視されており、DTPデザイン＝レイアウトという捉えかたをされていた。実際、これまでのDTPソフトウェアにも、線や図形などの作成機能はあったが、直線と図形を組み合わせて、罫線や枠などをデザインする程度のもので、ちょっと凝ったデザインにしたい場合は、Illustratorで飾り罫を作成し、作成したファイルを割り付けて使用していた。しかし、Illustratorで作成したファイルはDTPソフトウェア上では、細かい部分がうまくプレビューされないため、微調整は印刷を繰り返して行なわなければならず、これに不満を感じていたユーザーも少なくはないはずだ。

Adobe InDesignでは、Illustratorと同じようにベジェ曲線を使うことができる。このため、曲線を使った罫線の作成から、イラストレーションの作成まで、かなり自由な表現をAdobe InDesignだけで行なうことができる。

さらに、Adobe InDesign、Illustrator、Photoshopの3つのソフトウェアは、EPSファイルの表示用にいずれもAdobe Graphics Managerを利用しているため、精密なレイアウトも可能になっている。また、Adobe InDesign上でIllustratorで作成したオブジェクトを直接編集することもでき、作業の省力化にも繋がる。

これは機能以上にデザインを行なう上で重要なことだ。1つのアプリケーション内でデザイン、レイアウト作業が完結するようになれば、クリエイティブな思考を中断せずにデザイン作業に集中できるため、よりクオリティの高いデザインが望めるのではないだろうか。

## Adobe製品の統一インターフェイス

Adobe製品のほとんどはインターフェイスが統一されている。もちろん、各アプリケーションに特化した機能については、各アプリケーションごとに異なるが、パレットやツールボックスのインターフェイスはどれも同じ構造になっている。このため、新製品であるAdobe InDesignも、独自の機能さえ覚えれば、IllustratorやPhotoshopと同じように使うことができる。Illustratorと同じ機能が多いだけに、すんなりと新製品へ移行することができるだろう。

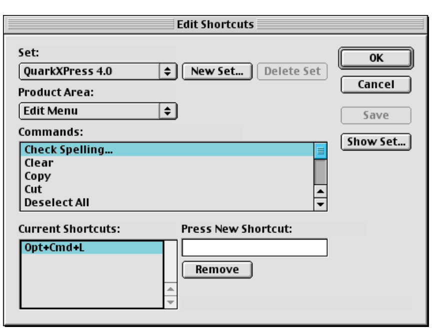
ショートカットキーも主要なものは統一されている。IllustratorやPhotoshop、PageMakerなど、DTPで使用するソフトウェアを普段から使い慣れているユーザーは、少しでも効率よく作業するために、ショートカットキーを多用する。同じ機能がAdobe InDesignにもあれば、ほとんどの場合、覚えたショートカットキーをそのまま使うことができる。たとえば、Commandキーを押すと選択ツールになり、Optionキーでドラッグしてコピー可能で、Shiftキーを押すと決まった角度で……といった操作を同様に行なえる。

Adobe InDesignには、ショートカットキーの編集機能も用意されている。ここには、あらかじめQuarkXpressのショートカットキーが登録されており、QuarkXpressからの乗り換えユーザーの使い勝手も考慮されている。

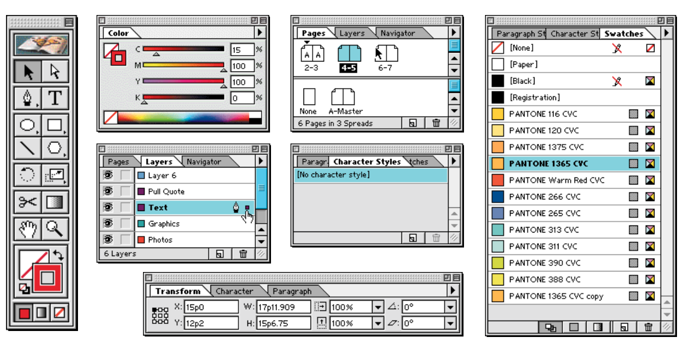
## テキストフレームでの文字の割り付け

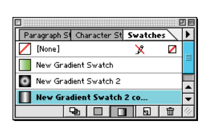
アドビシステムズ社から発売されているPageMakerは、さまざまな意見はあるものの、それなりに使いやすいDTPソフトウェアだ。しかし、テキストの先割機能が弱いため、デザイン先行型のページレイアウトを行なうには多少なりとも工夫が必要だった。

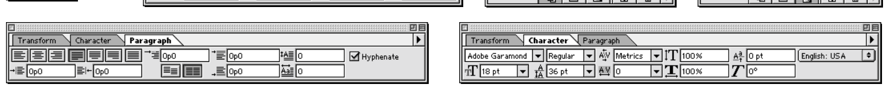
Adobe InDesignではテキストフレームというボックスを作成してから、テキストを割り付けるためテキストの先割りが可能になっている。また、テキストフレームを作成せずにテキストを割り付ける操作を行なえば自動的にテキストフレームが作成され、文字を割り付けることもできる。基本的な使いかたは、Illustratorの文字ツールと同様だ。異なるのは、フレームの中にフレームをペーストすることができるということだ。これに




Adobe InDesignでは、ショートカットキーを編集することができる。QuarkXPressからの移行ユーザーのためにQuarkXPressのショートカットキーの設定があらかじめ用意されている







Adobe InDesignには、さまざまなパレットが用意されているが、ほとんどのものがAdobeアプリケーションで見たことのあるものだ。使い方もほとんど同じなので、すぐに使用することができるだろう

*4 テキストのアウトライン化：Illustratorでは、以前からテキストのアウトラインをパスに変換する機能があった。Adobe InDesignもこの機能とまったく同じものが搭載されている。ただし、アウトライン化できるフォントは、プロテクトのかかっていないフォントに限られる。最近になって、DTPの基本書体といわれているモリサワのNewCIDフォントのアウトライン化が可能になった。　*5 グラフィックスフレーム：画像を割り付けるためのボックス。画像ボックスと呼ぶアプリケーションもある。　*6 マスキング：画像の一部分をほかの画像で覆い、見えないようにする機能。

アドビ・イン・デザイン

# Adobe InDesign 英語版

より、文字の中にインラインで画像を割り付けることもできる。そのほか、ドロップキャップスにも対応しているので、テキスト回りのデザインの幅も広がるだろう。

文字のカーニング機能の操作もIllustratorと同様で、Option＋矢印キーの組み合わせによるショートカットや文字パレットなどで調整することができる。

## テキストのアウトライン化

プロテクトのかかっていないTyruTypeフォントやATMフォントをIllustratorでの操作と同じようにアウトライン化して編集することが可能になった。Adobe InDesign英語版は、日本語フォントのアウトライン化に対応しているとは、明記されていないが、実際に日本語版のMac OS上でAdobe InDesign英語版を動作させ、日本語フォントのアウトライン化を試みたところ、きれいにアウトラインが作成され、文字の形を編集することができた。この機能を用いると、既存のフォントをそのまま使用しないタイトル文字などの作成が、DTPソフトウェア上で可能になるため、画期的な機能だといえる。Adobe InDesign日本語版で、この機能がどのような仕様になるのかは不明だが期待したい機能だ。

## グラフィックスの割り付けと編集

グラフィックスの割り付けも、テキストとまったく同じだ。フレームを作成してからフレーム内にグラフィックを割り付けることもできるし、フレームを作成せずに、直接画像を割り付けることもできる。フレームを作成せずにデータを割り付けた場合は、自動的にフレームが作成される。

割り付けたグラフィックスはリンク、埋め込み、どちらの設定も可能。リンクを設定した画像は、画像情報が、リンクパレットに表示されるため、管理がしやすくなっている。これもIllustrator 8.0の機能と同じだ。リンクパレットを使って、画像の埋め込みとリンクを切り替えることもできる。

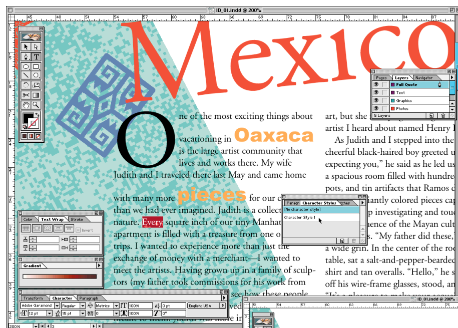
ただし、Illustratorの画像を使用する場合は、割り付けるのではなく、ドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストによってAdobe InDesign上に直接コピーしたほうがよいだろう。グラフィックスフレームに割り付けたデータは、いったんビットマップに変換されるため、割り付けたデータをパスに変換しても、Illustratorで描いた元のパスとは異なるパスにしかならないからだ。

面白いのは、割り付けた画像データを使ってマスクができる機能。文字のアウトラインでも、ベクター画像でも、ビットマップ画像でもマスキングが可能になっている。文字のアウトライン画像を選択したまま、新たな画像を割り付けると、文字でマスキングされた状態で割り付けられる。これは文字のアウトラインがフレームとして認識されるためだ。また、ビットマップ画像は、透明度を設定してマスキングすることもできるので、いろいろな使い道が考えられる。

また、Adobe InDesignには、Illustratorと同じペンツールが用意されている。これを使えば、Illustratorのデータを編集することはもちろん、新たにオブジェクトを作成することもできる。さらに、複合パスやマスクといった機能も用意されているため、複雑なオブジェクトの作成も可能になっている。

## グラデーション

Adobe InDesignでは、Illustrator同じようにオブジェクトにグラデーションの線と塗りを適用することができる。グラデーションの作成方法は、IllustratorやPhotoshopとまったく同じだ。線状と放射状のグラデーションを適用できるの




文字の編集機能は充実している。カーニングもIllustratorと同じショートカットキーで使用することができる。また、段落にスタイルを設定した後、一部の文字だけに文字スタイルを適用することができるが、これは非常に便利。また、ドロップキャップスも簡単に設定することができる

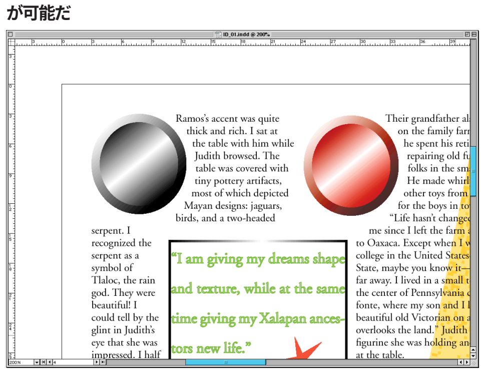


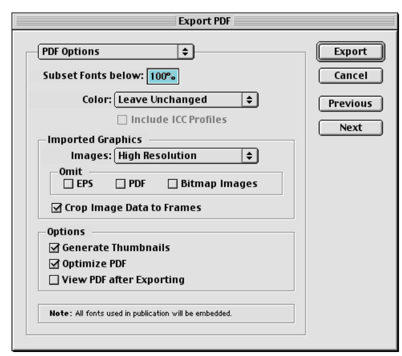




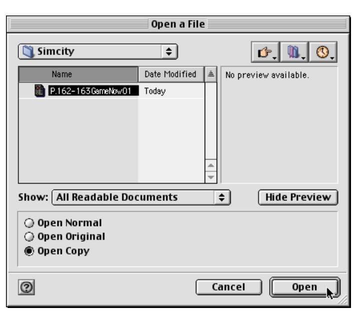
テキストをアウトライン化することも可能になっている。アウトライン化した文字をマスクとして使用することも可能だ

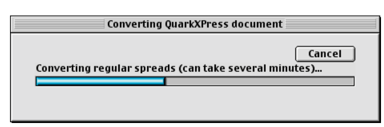
Adobe InDesignには、グラデーション機能がある。これを使えば、ちょっとしたメタリックな飾りなども簡単に作成することができる。また、グラデーション機能は、オブジェクトだけでなく、文字にも適用することが可能だ




作成したドキュメントをPDFファイルに書き出すことも可能。設定のダイアログボックスはIllustrator 8.0のものとほとんど同じだ




Adobe InDesignでは、Adobe InDesignで作成したファイルだけではなく、QuarkXPressやPageMakerのファイルを開くこともできる。これによって、過去に作成した書類を流用することも可能

*7 グラデーション：ある色からある色までの色の移り変わりを段階をおって表現したもの。色の移り変わる段階をステップという。このステップの数が多ければ多いほど、きめの細かいグラデーションが作成される。　*8 レイヤー：アニメーションのセル画のように透明なフィルムの上にオブジェクト配置したもの。ちなみにPhotoshopのレイヤー機能は、各レイヤーの画像を合成するための目的で使用することが多いが、IllustratorやAdobe InDesignでは、オブジェクトを整理したり管理したりするために使用する場合が多い。　*9 マスターページ：すべて、あるいはある一定のページで共通の要素を入力しておく。　*10 スタイル：文字や段落の属性。

で、Adobe InDesign上で作成したオブジェクトに対して、Illustratorなみの効果を与えることができる。また、グラデーションは、ベクトルオブジェクトだけでなく、アウトラインに変換していないテキストにも適用することができ、この機能を利用して、派手なタイトル文字を作ることも可能だ。なお、テキストにグラデーションの線と塗りを適用した後でも、テキストを編集することができる。

## レイヤー機能

レイヤー機能もIllustratorやPhotoshop、PageMakerでおなじみの機能だ。Adobe InDesignのレイヤー機能は、PageMakerやIllustratorのレイヤーと同じようにドキュメント全体にレイヤーが設定されるような構造になっている。そのため、ドキュメント全体で表示／非表示を設定するようなことに利用すると便利だろう。たとえば、ガイドだけを別のレイヤーにして、レイヤーの非表示／非表示機能でガイドの表示／非表示を変更したり、ビットマップ画像、テキスト、ベクター画像といったオブジェクトの種類や見出しテキストや飾りといったオブジェクトの内容によってレイヤーを分けたりすることもできる。ロック機能もIllustratorと同様で、重なり合ったオブジェクトを編集する場合は、オブジェクトが選択されないようにロックしておくと便利だ。このほかにも作成するドキュメントによっていろいろな使い方が考えられるだろう。

なお、レイヤーだけにかぎらないが、重なり合ったオブジェクトには、トラッピングやオーバープリントの設定もできる機能も用意されているということを付け加えておく。

## マスターページとスタイルの設定

複数のマスターページの作成機能とスタイルの設定は、PageMakerの機能が継承され、さらに使いよく改善されている。

マスターページは複数作成することができ、各マスターページには、ヘッダー、フッター、ページ番号、フレームなど、繰り返し使いたい要素をあらかじめレイアウトしておくことができる。

PageMakerのマスターページの機能と異なるのは、ベースとなるマスターページを作成し、そのページを元に別のマスターページを作成した場合、ベースとなるマスターページを編集すると、すべてのマスターページが変更されるという機能だ。これを利用すると、ノンブルなど、全ページに共通の位置に入れる要素を変更しなければならない場合、ベースとなるマスターページを変更するだけで、すべてのページが変更される。最初にマスターページを作成するときによく構成を考えて設定しなければならないが、便利に使える機能ではある。

また、文字属性や段落設定は、スタイルとして保存しておくことができる。これも基本的な考えかたはPageMakerのスタイル機能と同じだ。しかし、PageMakerでは、文字属性のスタイルを文字の一部だけに設定することはできなかったが、Adobe InDesignでは、段落と文字を別々に設定することができ、一文字だけを別のフォントを設定したい場合などでも、適用したい文字のスタイルをクリックだけでスタイルが適用される。

## ナビゲーションパレット

ナビゲーションパレットは、Illustrator、Photoshopなどではおなじみのパレットだが、PageMakerのように複数のページを扱うものにはなかったものだ。Adobe InDesignのナビゲーションパレットは、1ページ表示とファイル全体表示を切り替えて使用できるようになっている。大きな版型で、複数のページがあるような大判のパンフレットを作成する場合には、有用な機能だ。

## プラグイン化されている各パレット

そのほかにもいろいろな機能がある。たとえば、やり直しと取り消しが複数回できるとか、オブジェクトの整列ができるなど。どちらも基本的にはIllustratorと同じ機能だ。

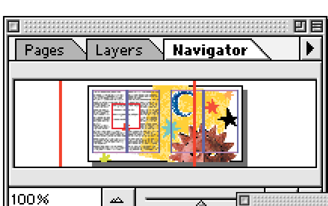
残念なのは、ページレイアウトウェアなのに、索引や目次機能がないということだ。PageMakerにはこの機能があり、この機能を使いたいがためにPageMakerを使う場合もある。DTPソフトウェアとしては、重要な機能に間違いない。

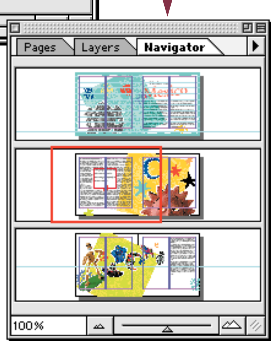
しかし、こういった問題も案外近い将来に解決されるのではないだろうか。実は、Adobe InDesignのプログラムの構造は、ほとんどのパレット類がプラグインファイルとしてモジュール化されている。これによって、機能の追加が簡単になり、プログラム本体の拡張性が高くなっているように思われる。そのため、足りない機能もプラグインによって補われる可能性が高く、将来的には、サードパーティ製のプラグインが発売されるということもあり得るだろう。

しかし、多くの機能をパレット化してあるため、デスクトップ上のパレットが煩雑になってしまいがちだ。パレットの表示／非表示のショートカットキーを覚えて、随時表示を切り替えるなどの工夫が必要かもしれない。

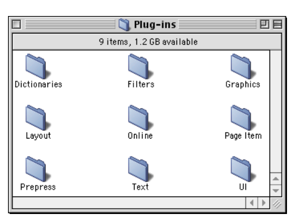
## 気になる出力は…

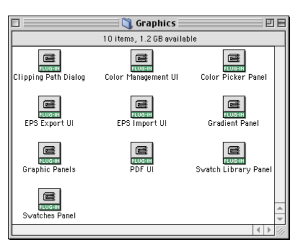
イメージセッターなどによる出力の対応状況は、DTPユーザーが最も関心を持つところだろう。実際、出力に対応していないとどんなにソフトウェアの性能がよくても使いものにならないというのが現状だ。Adobe InDesignの場合、現時点でははっきりしたことはわからないが、PDF形式でファイルを保存できるため、PDFファイルによる出力は可能なのではないかと推測する。

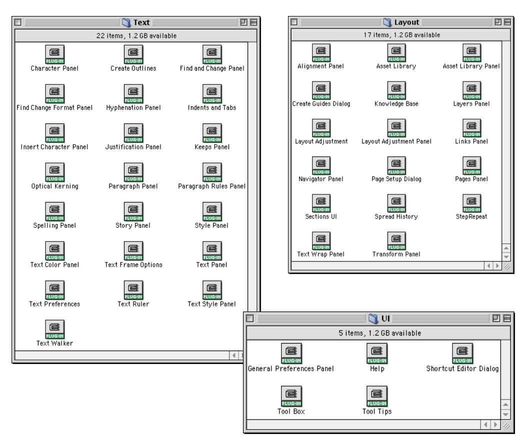



Nabigator（ナビゲーション）パレットは、現在選択されているページのみを表示するモードと作成したページ全体を表示するモードがある。1ページだけを表示するモードは、IllustratorやPhotoshopと同じ。赤い枠（カスタマイズ可能）で囲まれている部分が現在デスクトップ上に表示されている位置を示している。スライダーを使って拡大表示することもできる




Plug-insフォルダーには、さまざまなプラグインファイルがフォルダーごとに分類されている。Adobe InDesign上に表示されるパレットのほとんどがプラグインファイルになっている

*11 段落スタイル：ひとつの段落全体に適用される文字や段落の属性。 *12 文字スタイル：Adobe InDesignの場合は、段落スタイルに関係なく、設定できる文字属性。 *13 ナビゲーションパレット：ドキュメント上のどの部分が表示されているかを明確に示すためのパレット。拡大・縮小表示などや表示領域を変更することもできる。 *14 プラグイン：アプリケーションに追加機能を付け加える追加ソフト。アドイン、アドオン、エクステンションともいう。Adobe Photoshop、Netscape Navigatorなどのプラグインは有名。

# Macware Selection

## SOFTWARE



## HARDWARE



※前月紹介分までの製品名の索引（Selection Index）を、CD-ROM MACLIFEにPDFファイルとして収録してあります。

アイ・ライナー
# iLiner

CD-ROM DEMO

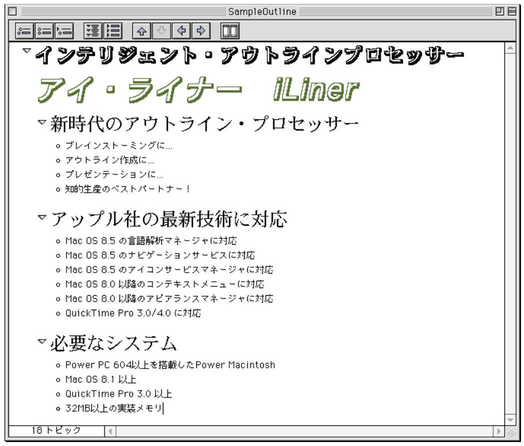
## アイデアの整理から簡単なプレゼンテーションまで、これ1本でOK!

**Get Information**

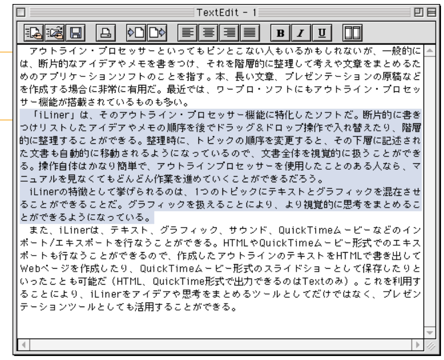
開発元・問合せ●(株)マーキュリー・ソフトウェア・ジャパン(075-751-0205)
URL●http://www.mercury-soft.com/
価格●9,800円
対応機種●Power PC 604以上を搭載したPower Mac(iMac、Power Mac G3推奨)
動作環境●Mac OS 8.5日本語版以降、Mac OS 8.6対応、要QuickTime Pro 3.0以上、(※)Japanese Language Kit には未対応
メモリー●32MB以上(64MB以上推奨)

**Check Point**

プレゼンテーション用の原稿、本、論文などの長い文書の作成を行なう時ばかりでなく、予定表、To Doリスト、防備録、蔵書録、業務日誌などの作成にも威力を発揮してくれる。




iLinerの基本画面。シンプルなインターフェイスで操作も簡単。断片的に書きつけたアイデアやメモを階層的に整理することにより、文書全体をより視覚的に把握することができるようになる



iLinerには、テキストエディタ「TextEdit」が付属しており、入力したテキストをアウトライン書類にドラッグ＆ドロップすることが可能だ

**「iLiner」は、アウトラインプロセッサーの標準機能はもちろん、グラフィック、サウンド、QuickTimeムービーの取り込み機能も備えた高機能アウトラインプロセッサーだ。**

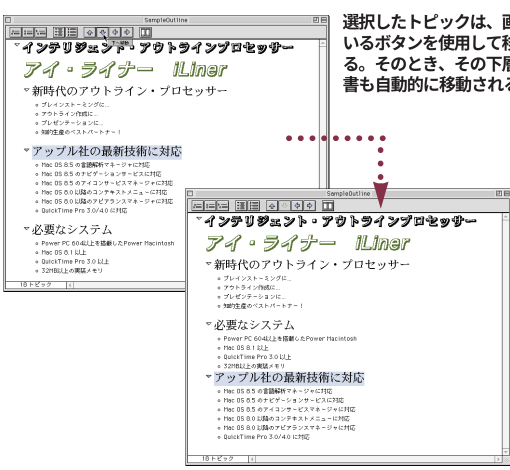
アウトラインプロセッサー*1とは、一般的に断片的なアイデアやメモを階層的に整理して考えや文章をまとめるためのアプリケーションソフトのことをいう。ブレーンストーミング*2などのアイデアや箇条書きをまとめたり、解説書、論文、小説といった長い文章の構成やプレゼンテーションの構成を考えながら、原稿を作成する場合に非常に有用だ。最近では、ワープロソフトにもアウトラインプロセッサー機能が搭載されているものも多い。

「iLiner」は、そのアウトラインプロセッサー機能に特化したソフトだ。断片的に書きつけ、リストアップしたアイデアやメモの順序を後でドラッグ＆ドロップ操作で入れ替えたり、階層的に整理することができる。整理時に、トピックの順序を変更すると、その下層に記述された文書も自動的に移動されるようになっているので、文書全体を視覚的に扱うことができる。また、作成したトピックに自動的に番号付けを行なう自動ナンバリング機能も備えている。操作自体はかなり簡単で、アウトラインプロセッサーを使用したことのある人なら、マニュアルを見なくてもどんどん作業を進めていくことができるだろう。

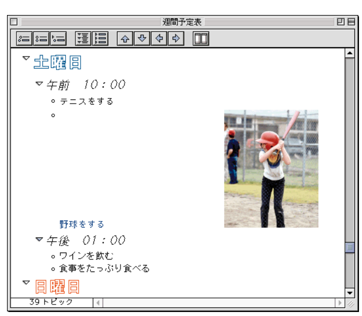
iLinerの特徴として挙げられるのは、1つのトピックにテキストとグラフィックを混在させることができることだ。グラフィックを扱えることにより、より視覚的に思考をまとめることができるようになっている。また、iLinerは、テキスト、グラフィック、サウンド、QuickTimeムービー*3などのインポート/エキスポートを行なうことができる。HTMLやQuickTimeムービー形式でのエキスポートも行なうことができるので、作成したアウトラインのテキストをHTMLで書き出してWebページを作成したり、QuickTimeムービーのスライドショーとして保存したりといったことも可能だ（HTML、QuickTime形式で出力できるのはTextのみ）。これを利用することにより、iLinerをアイデアをまとめるツールとしてだけではなく、プレゼンテーションツールとしても活用することができる。

加えて、iLinerには、要約機能が搭載されている。これは、文書に含まれる語句を解析し、最も出現頻度の高い語句の含まれる段落を抜き出すというものだ。抜粋された段落は重要度が高いと思われる順に並べられるので、文書の要点を素早く理解したい場合に役立つ。ただし、この機能は、文章の流れを汲んだ厳格な意味での要約ではないので注意してもらいたい。

ここまで機能についていろいろ書いてみたが、アウトラインプロセッサーの便利さというものは、実際に使ってみないと実感できないものだ。iLinerは、その操作の容易さ、機能の豊富さからみて、アウトラインプロセッサーの入門ソフトとして最適なのではないだろうか。　●門　泰伸



選択したトピックは、画面上部に表示されているボタンを使用して移動させることができる。そのとき、その下層に表示されている文書も自動的に移動される




iLinerでは、テキストとグラフィックを混在させることができるので、文書全体をより視覚的にとらえることができるようになる

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 アウトラインプロセッサー：アイデアやキーワードを箇条書きにした文や文節を簡単に入れ替えたり、階層構造にしたり、試行錯誤してアイデアの構成を考えることができるため、アイデアプロセッサーと呼ばれることもある。 *2 ブレーンストーミング：Brainstorming。創造的集団思考法と呼ばれるアイデアを出すための手法。アイデア会議、企画会議などでよく使われる。他人の意見を否定しないなどの一定のルールにおいて、いろいろなアイデア、インスピレーションを箇条書きにしていく。さらに箇条書きにしたアイデアを決められた軸によってアイデアをまとめていくもの。 *3 QuickTimeムービー：アップルコンピュータ社が開発したQuickTimeのデータとして作成された動画ファイル形式。

# すぐれ筆2000 for Macintosh

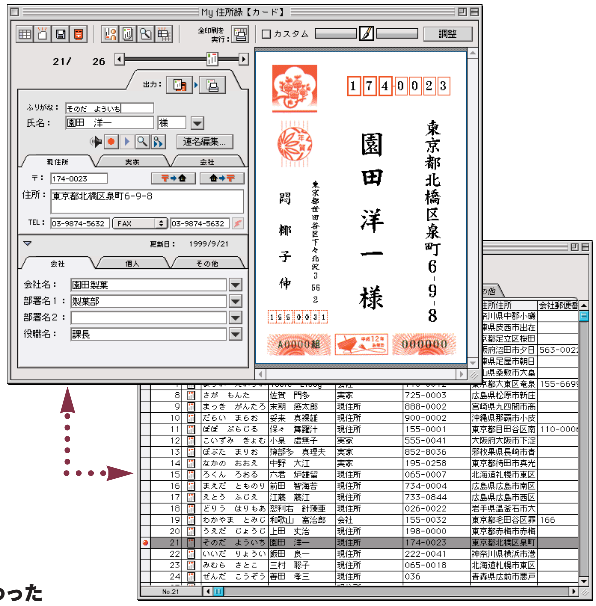
## 「簡単、早い、きれい」が身上の宛名作成ソフト、メール送信機能も搭載されて充実のバージョンアップ

**Get Information**

開発元・問合せ●(株)エルゴソフト（045-565-3330）
URL●http://www.ergo.co.jp/
価格●6,200円（バージョンアップ価格は3,300円）
対応機種●PowerPC搭載機（B&W G3、iMac対応）
動作環境●Mac OS 7.6以降（Mac OS 8.6対応、要QuickTime2.5以上
メモリ●ナビゲーション機能：約1MB、宛名編集機能：約6MB、文面編集機能：約5.5MB、アラーム機能：約600KB

**Check Point**

簡単な操作で美しい宛名や文面を作成することができるので、時間がない人にはもってこいの宛名作成ソフトだ。今なら、キャンペーン中で、オマケもついてくる。



「すぐれ筆宛名」の基本画面。左上隅に表示されているボタンをクリックすることにより、カード表示とリスト表示を切り替えることができる



どのようなアプリケーションを選択し、どう操作したらいいかをナビゲートしてくれる「すぐれ筆2000」のインターフェイス

**ナビゲーション機能とメール送信機能が加わった「すぐれ筆2000 for Macintosh」。レイアウト機能やテキストファイルの読み込み機能も強化され、より一層使いやすくなった。**

「短時間で、簡単に、見栄えのよいオリジナルハガキを作成できる」がモットーの宛名作成ソフト「すぐれ筆'99」のバージョンアップ版が、この「すぐれ筆2000 for Macintosh」だ。前バージョンでは、年賀状や暑中見舞いのハガキを作るためだけではなく、個人情報を管理するPIM*1としてフルシーズン活用できるような機能を充実させることに重点がおかれていた。それに対し、今回のバージョンアップでは、前バージョンの特徴と機能を継承しつつ、より使いやすさが追求されたソフトになっている。

今回のバージョンアップの目玉は、ナビゲーション機能、メール送信機能のふたつの新機能が搭載されたことだ。

すぐれ筆'99では、宛名や住所録を作成する「すぐれ筆宛名」、文面を作成する「すぐれ筆文面」、お知らせ機能を持つ「すぐれ筆アラーム」の3種類のアプリケーションでソフトが構成されていたが、すぐれ筆2000では、それにナビゲーション機能を担当する「すぐれ筆2000」が加わった。これはすぐれ筆2000のアイコンをクリックすると1番最初に表示されるアプリケーションであり、ユーザーが使用するべきアプリケーションや行なうべき操作などを適切にナビゲートしてくれるというものだ。何をしていいかわからない場合などでも、ナビゲーション画面に表示されている「目的別アシスタント」をクリックすれば、ウィザード形式*2で適切なアプリケーションに導いてくれる。すぐれ筆2000の導入により、すぐれ筆宛名には目的別モード、すぐれ筆文面には文面アシスタント機能がそれぞれ追加されることとなり、ユーザーが作業したい項目をすぐに選択でき、マニュアルなしでも操作を行なうことが可能になっている。

また、すぐれ筆宛名には、新たに「メール送信機能」が加わった。これは作成した文面ファイルをJPEG形式に変換してメールを送信する機能で、この機能を使用すれば、インターネット環境での、メールフレンドやチャットフレンドといった住所がわからない人宛にも作成した文面の送信が可能だ。これはかなり画期的な機能といえるのでないだろうか。

評判の住所録を音声で検索できる音声検索機能、非常に簡単にきれいな地図を作成できる地図作成機能も引き続き搭載されているのに加え、レイアウト機能やテキストファイルの読み込み機能も強化されており、宛名作成ソフトとしてかなりパワーアップした感がある。さらに、イラストや写真が約1,000種類、文面テンプレート*3が100種類、TrueTypeフォントが和文20書体添付されているので、他のグラフィックソフトなどを使用しなくても、このソフト一本で事足りてしまう。使い勝手、機能の両面における、かなり充実のバージョンアップといえるだろう。　●門　泰伸




「すぐれ筆2000」のナビゲーションにしたがって、文面ファイルを作成した後、ファイルメニューの「メール送信…」コマンドを選択する。作成した文面がJPEG形式に変換され、メール年賀状が送信される

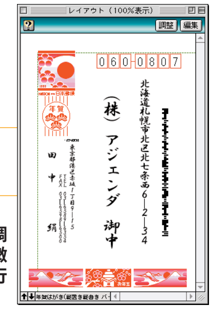
| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★☆☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

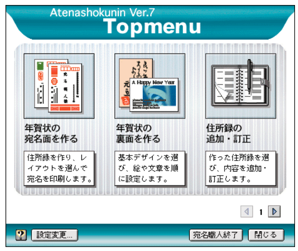
*1 PIM：Personal Information Managerの略で、個人情報管理ソフトのこと。住所録、スケジュール、メモなど、個人の情報を総合的に管理するためのソフト。　*2 ウィザード形式：連続するダイアログボックスを対話的に設定していくことで、複雑な操作を簡単にする機能のこと。　*3 テンプレート：特定の目的で使用するための書式やレイアウトや計算式などが定義されている書類のこと。グラフィックスソフトウェアでは、下絵のことをいう場合もある。

あてなしょくにん
# 宛名職人 Ver.7

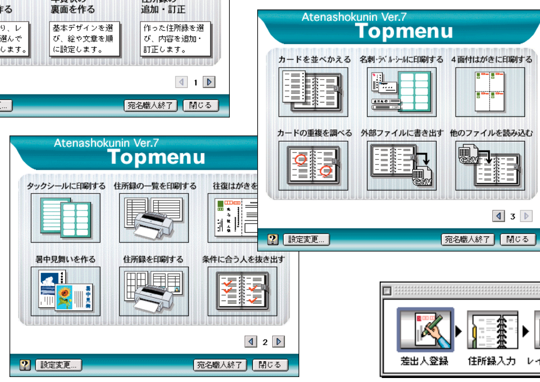
CD-ROM DEMO

## 入力支援機能が強化され、年末に向けて人気宛名書きソフトウェアがバージョンアップ！

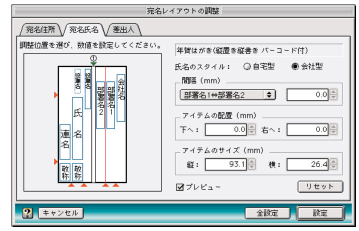





トップメニューは、非常に見やすくわかりやすくなった。選択できるメニューは、全部で15種類。また、機能とは関係ないが、トップメニューの色は複数用意されていて、季節に合わせて替えることもできる




宛名レイアウトの調整機能を使えば、微妙な行間の調整を行なうことができる



基本的な使い方は変わっていない。ガイドパレットに沿って、データを作成すれば、簡単に年賀状を作成することができる




### Get Information

開発元・問合せ●(株)アジェンダ（011-700-2161）
URL●http://www.agenda.co.jp/
価格●6,800円
対応機種●68030以降またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.5.1以降、Mac OS 8.6対応、Kai's Photo Soap2 for AGENDA：Mac OS 8.1以降
メモリー●4〜7MB以上、Kai's Photo Soap 2 for AGENDA：32MB以上

### Check Point

基本機能の変更はないが、トップメニューがわかりやすく改善され、電話番号辞書、姓名辞書が搭載され、入力が簡単になった。さらに地図ソフトや携帯メモリー編集ソフトとの連携が可能になった。

**人気宛名書きソフトウェア*1「宛名職人」がバージョン7にアップデートされた。基本機能はそのまま継承され、姓名辞書、電話番号辞書が搭載され、入力機能が強化されている。**

秋も深まった頃に行なわれる宛名書きソフトウェアのバージョンアップも年を重ねるごとに浸透し、年末に向けての風物詩的な役割を担っているような感すらある。今年も例年通り、宛名職人が年末に向けてアップデートされた。

毎年この時期にバージョンアップされる宛名職人だが、今回のバージョンアップでは、使いやすいと定評のあった基本的な機能はそのままに、細部にわたって機能強化が施された。これらの変更点は、見た目の派手さはないが、よりユーザーフレンドリーに使いよくなったという印象を受けた。もちろん、バージョンアップの目玉ともいえる、来年の干支「辰」に合わせた画像データ集は添付されている。

今年の機能のバージョンアップは、入力を支援する「個人・法人電話番号辞書」と「姓名辞書」の搭載、レイアウト機能の強化、そして、地図ソフトウェア、携帯メモリー編集ソフトウェアとの連携だ。

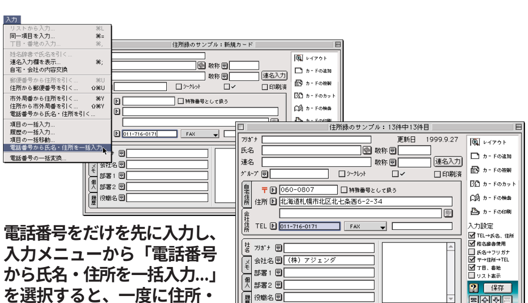
「個人・法人電話番号辞書」は、法人電話番号と個人電話番号を合わせて4,120万件以上が登録されている。これを利用すれば、電話番号を入力するだけで、住所、氏名や会社名が自動で入力される。ただし、基本的には、電話番号帳に掲載されているものなので、すべてが入力できるというものではない。また、企業の場合は登録されている大代表を入力しなければ自動入力できない場合もあるので、使い方に工夫が必要かもしれない。しかし、「姓名辞書」は非常に便利。人の名前というものは、人名漢字や当て字が使われている場合が多く、通常の辞書だけでは、入力に手間がかかる場合がある。宛名職人の姓名辞書は、約24万件の姓名が収録されているので、難しい読みの名前も簡単に入力できる。

レイアウト機能は、以前のバージョンで気になっていた、差し出し人の氏名や会社名、宛名と役職名の上下の空きなどが微調整できるようになった。この機能で、より美しいバランスの取れたレイアウトが可能になる。

電子地図ソフトウェア*2や携帯メモリー編集ソフトウェアとの連携は、宛名職人を住所管理ソフトウェアとしてフルシーズン使用する場合には便利なものだ。「Map Fan II PowerUp Edition日本地図全国版」をインストールしておけば、住所を入力した欄の右側にあるボタンをクリックするだけで、住所から付近の地図が表示される。こういった機能はビジネスで利用するには非常に便利だ。また、「携帯ほいほい」「ケータイ・エディ」「携帯Mac」などに対応しているため、宛名職人の住所録を携帯メモリー編集ソフトに読み込ませたりすることも可能。

そのほか、住所録には、連絡先として電話、FAXの他に携帯電話やPHS、Eメール、URL*3などが最大8件まで登録できる。さらに、入力したEメールやURLからボタンを押すだけで、メールソフトやブラウザーが自動的に起動するように設定することもできる。

宛名職人の画像編集は、トライペイントが標準添付だったが、今回のバージョンでは、Kai's Photo Soap 2 for AGENDAも合わせて添付されているため、写真画像の編集も可能になった。●渡辺美岐



電話番号をだけを先に入力し、入力メニューから「電話番号から氏名・住所を一括入力...」を選択すると、一度に住所・氏名を入力することが可能



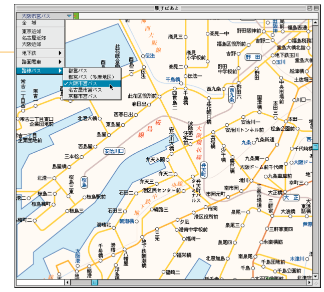

姓名辞書は便利。難しい名前でもすぐに入力することができる

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★★ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★★ |

*1 **宛名書きソフトウェア**：はがき作成ソフトウェアともいう。高性能インクジェットプリンターが低価格で普及していることや、デジタルカメラの普及により、誰にでも簡単に画像を入れた美しいハガキが作成できるようになったため、最近ではいろいろな製品が発売され、コンピューターソフトウェアとしては一大市場を築いている。　*2 **電子地図ソフト**：デジタル化し、コンピューターで扱えるようにした地図のこと。電子地図、デジタル地図、地図ソフトと呼ぶ場合もある。モニター上に地図を表示するという基本機能に加え、通常、デジタルデータの特徴を活かし、住所、ビル名、電話番号などから地図上の位置を検索するという機能がある。ソフトウェアによっては、GPSナビゲーションシステムに対応していたり、URLで検索可能になっているものもある。　*3 **URL**：Uniform Resource Locator。インターネット上での住所を指定する記述方式。

# 駅すぱあと（えきすぱあと）Macintosh

**鉄道、空路、バスを組み合わせた探索も可能になった。仕事、レジャーに必携のソフト！**



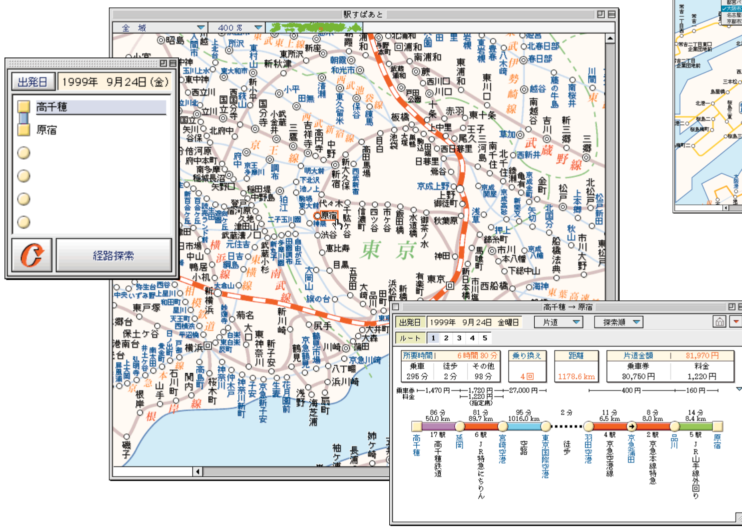
今回の最新版では、新たに東京、大阪、名古屋、京都の4都市の公営バスの路線情報が加わった。上図は、大阪市営バスの路線図

### Get Information

開発元・問合せ●(株)ヴァル研究所（03-5373-3522）
URL●http://www.val.co.jp/
価格●19,800円
対応機種●68040以降またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.1以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●12MB以上推奨

### Check Point

4大都市の公営バス路線の情報が扱えるようになったことにより、よりフレキシブルに経路の選択を行なうことができるようになった。また、通学定期の料金などもわかり、ビジネスや旅行のためだけでなく、ファミリー全員でソフトを利用できるようになっている。



「駅すぱあと for Macintosh」の基本画面。宮崎県の高千穂駅から東京都の原宿駅までの最短経路を探索させてみた

**「駅すぱあと*1 Macintosh」の最新版では、鉄道、航空路に加えて、4大都市の公営バス路線も探索可能になり、より綿密で、現実的な経路の探索が可能になった。**

「駅すぱあとMacintosh」は、その名の通り駅のエキスパートといえるソフトで、目的地までの最短時間経路を瞬時に導き出してくれるというものだ。出発する駅と目的の駅を指定すると、その間の最短時間経路を探索し、探索した経路の所要時間や距離はもちろん、その経路の片道/往復運賃、料金（自由席、指定席、グリーン）、定期代、乗換回数、乗換駅、途中駅など、およそ知りたいことのすべてを教えてくれる。このとき、通過または下車する経由駅を複数指定することも可能となっている。

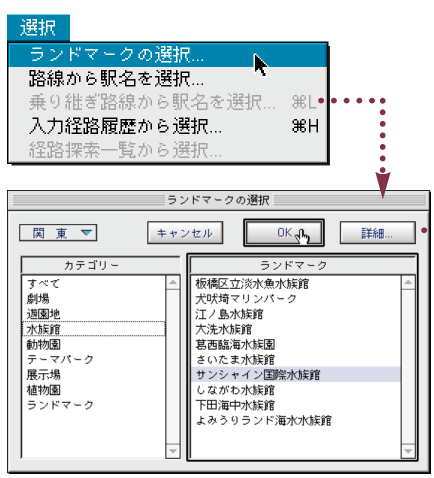
操作もいたって簡単で、路線図に表示されている駅から出発する駅と目的地の駅をクリックして選択する、あるいはテキストボックスに双方の駅名を直接入力するだけだ。

駅すぱあとでは、JRや大手私鉄の駅だけでなく、路面電車の駅、航空路までカバーされているので、より綿密かつ現実的な移動経路を導き出せるようになっている。そのため、北海道から九州などの陸路だけでは無理がある経路にも利用することができる。もちろん所要時間や運賃も路面電車、航空路を含めたものが表示される。

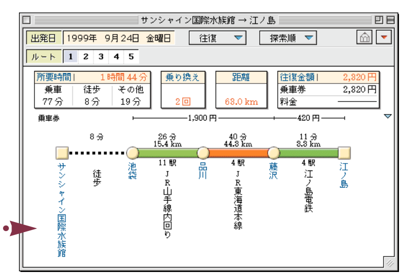
今回発売された最新版の駅すぱあとの特徴としては、鉄道、航空路に加え、4大都市の公営バス路線も探索可能になったことが挙げられるだろう。加えられたバス路線情報は、東京都営バス（23区のほか多摩地区を含む約170系統）、大阪市営バス（約120系統）、名古屋市営バス（約190系統）、京都市営バス（約100系統）の4つで、それぞれの路線、運賃、標準所要時間を探索することができる。バス路線情報が加わったことにより、鉄道・空路・バスを組み合わせた探索が可能になったので、よりドア・トゥ・ドアに近い経路を選択することができるようになっている。これは非常にうれしい。

また、今回発売された最新版から通学定期代の情報も追加されたので、ビジネス、旅行などの用途以外に幅広く利用することができるようになった。ほかにも、インターネットを利用したJR・航空券の座席指定予約サービスへの接続機能やシーズン別航空運賃に対応した出発日指定機能など、機能的には申し分ないほど充実している。

この駅すぱあとは、運賃改定や新駅・新路線の開業などにすばやく対応するため、隔月ごとに合計年6回最新版に定期的に更新されていく。ユーザーは、ユーザー登録後に、10,000円/1年の料金で定期的に更新していくことができる。また、そこまで頻繁に最新版が必要のない人は、1回：3,500円、2回：5,000円の料金で随時最新版を購入することもできる。必要に応じて更新度合いが選択できるといったサポート体制もかなり充実している。 ●山本浩司




選択メニューの「ランドマークの選択...」コマンドを選択して、ランドマークとなるオブジェクトを選択する。ここでは、サンシャイン国際水族館を選択し、ここを出発点に設定した



目的地を神奈川県の江ノ島駅に設定して経路を検索。上図のようにサンシャイン国際水族館の最寄りの駅が表示されて、経路が表示される

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★★ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 駅すぱあと：経路、運賃を選択、探索するソフトウェアの定番。ビジネスユース、ホームユースともに人気があるソフトウェア。2ヵ月ごとに更新されるため、常に最新の交通事情を知ることができる。最近では、アプリケーション版に加え、ネットワーク対応版（Windows95/98/NT）、イントラネット版など、インターネットやネットワーク上で、活用できるバージョンも発売されている。また、駅すぱあとをベースに、ユーザーの特別な使用目的に合わせ、機能をカスタマイズするカスタマイズ版というものも発売されている。そのほか、途中下車シリーズという駅すぱあとと連携して使用する、観光案内のCD-ROM（Windows95/98/NT）も合わせて発売されている。

# プロアトラス for Macintosh

## シンプルでわかりやすい操作の電子地図ソフト

**Get Information**

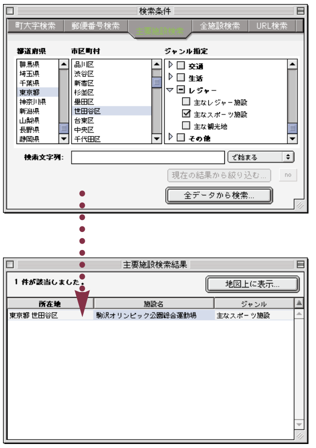
開発元・問合せ●(株)アルプス社（052-789-1500）
URL●http://www.alpsmap.co.jp/
価格●首都圏・東海・近畿・日本広域 各5,800円
対応機種●PowerPC搭載機（iMac、New Power MacG3、New Power BookG3対応）
動作環境●Mac OS 8.5以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●64MB以上

**Check Point**

操作が非常に簡単なマニュアルいらずの電子地図ソフト。部分インストールもできるので、PowerBookなどにインストールしておけば、目的地までのカーナビ代わりにも使用できる。インターネットから気象情報なども引き出すことができる。



「プロアトラス for Macintosh」（首都圏版）の基本画面。メインの地図と右上に表示されている位置図は連動している。移動は、マウスドラッグ、位置図による場所の指定、経緯度の指定などによって行なう



町名、主要施設名、URL、郵便番号などから検索を行なうことができるので、地域ガイドとして使用することもできる

**「プロアトラス for Macintosh」は、シンプルでわかりやすい操作が特徴の電子地図ソフト*1だ。膨大な情報が縮尺にあわせて見やすくグラフィカルに編集されており、検索機能も充実している。**

「プロアトラス for Macintosh」は、かなり使える電子地図ソフトだといえるだろう。“電子地図ソフト”といっても、あまり聞き慣れない名称かもしれないが、辞書ソフトのように地図帳を丸ごとデータベース化したものを考えてもらえばわかりやすいと思う。

今回、Mac版では「首都圏」「東海」「近畿」「日本広域」の4種類が発売されたわけだが、前3者と後者では、内容が異なる。「首都圏」「東海」「近畿」の3種類では、1/1,400の都心図から日本全図を含む索引図まで、最大5段階の地図と5段階の索引図が用意されており、2種類の世界地図も収録されている。対して「日本広域」では、1/70,000広域図から日本全図までの4段階の地図で日本全国がカバーされており、東京23区、名古屋市、大阪市には別途に1/20,000拡大図が用意されている。加えて2種類の世界地図も収録されているという具合だ。地図はそれぞれ25〜200%まで拡大/縮小表示することができる。

操作パレットはシンプルにまとめられており、インターフェイスも非常にわかりやすい。ほとんどマニュアルを見なくても操作できる。メインの地図には、それと連動する見やすい位置図が用意されており、それぞれ縮尺を選んで表示できるので周辺の様子もすぐに知ることができる。 また、マウスを使って地図をドラッグすれば、任意の方向へ地図を自由にスクロールできるので、地図帳のように次のページに続きの地図が表示されていないということもない。これはかなり便利だ。

検索機能も充実しており、町名、主要施設名、URL*2、郵便番号などからの検索を行なうことが可能で、探したい情報を瞬時に見つけることができる。また、搭載されている測定機能を使用すれば、距離、方位、面積なども測定することができ、目的地までの所用時間を知りたい場合などにも活用できる。補足だが、選択した場所の緯度や経度の表示はもちろん、緯度や経度からも場所を特定することができるようになっている。

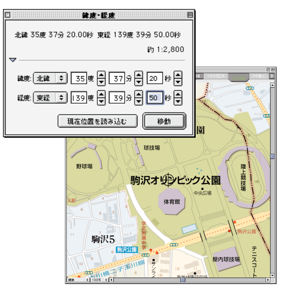
特にうれしいのは、アルプス社のホームページにアクセスすれば、最新地図情報、気象情報、自信情報、積雪情報などのさまざまな情報をリアルタイムで入手できることだ。これより部屋に居ながらにして、目的地の状況を知ることもできる。

ほかにも、クリップボード経由で地図を他のソフトに貼り付ける機能や、範囲指定印刷機能なども搭載されているので、引っ越し通知や招待状などの案内図として活用したりと、自然に使用用途も拡がってくる。

難点としては、フルインストールにハードディスクを500MBも使用してしまうということが挙げられるが、目的の地図だけ選んでインストールする切り出し機能（PowerBookなどに最適）なども搭載されているので、これもあまり問題にはならないだろう。 ●山本浩司




「測定...」コマンドを使用すれば、距離、方位、面積などを測定することが可能だ。距離を測定した場合、徒歩、あるいは車での所要時間も同時に表示される



緯度や経度の表示はもちろん、緯度や経度度から場所を特定することもできる

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★★ |

*1 電子地図ソフト：デジタル化し、コンピューターで扱えるようにした地図のこと。電子地図、デジタル地図、地図ソフトと呼ぶ場合もある。モニター上に地図を表示するという基本機能に加え、通常、デジタルデータのという特徴を活かし、住所、ビル名、電話番号などから地図上の位置を検索するという機能がある。ソフトウェアによっては、GPSナビゲーションシステムに対応していたり、URLで検索可能になっているものもある。 *2 URL：uniform resource locator。インターネット上のでの住所を指定する記述方式。

フィルターイット

# FILTERiT 3.0

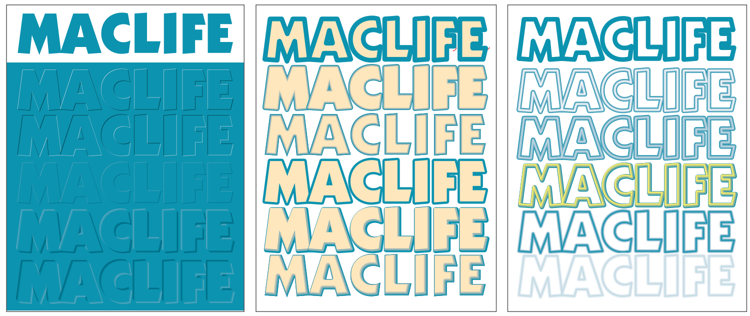
## Illustratorプラグイン「FILTERiT」が大幅に機能アップし、3年半ぶりにバージョンアップ！

### Get Information

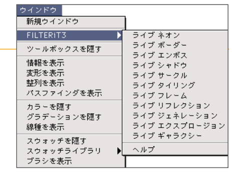
開発元●(有)ナカエソフトウェア開発
問合せ●(株)フラッシュバック(03-5474-8278)
URL●http://www.flashbackj.com/
価格●28,000円
バージョン●3.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 7.5以降、Mac OS 8.6対応、Illustrator 8.0以上
メモリー●20MB以上

### Check Point

パスを変形したり、加工する便利なIllustrator 8.0用のプラグインソフトウェア。82種類のフィルターがセットされて、非常に便利。ほとんどのフィルターが機能変更され、リアルタイムでエフェクト効果が確認できるようになっている。RGBカラーにも対応。

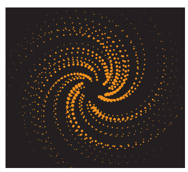



「ライブアップデート」をオンにしておくと、パレットでの設定変更が、リアルタイムでオブジェクトに反映される。上図は各フィルターの設定例。左上からライブエンボス、ライブボーダー、ライブネオンを設定したもの



ウインドウメニューには、11種類のフィルターが追加される



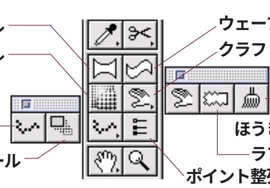


ライブギャラクシーの作例。左上隅にある小さな丸を1つ描くだけで、面白いイメージが作成可能

**日本で開発されたAdobe Illustratorのプラグインとして、人気のあったFILTERiTが大幅に機能変更し、Version 3.0となって、3年半ぶりにバージョンアップされた。**

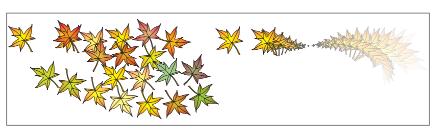
Illustratorのプラグイン*1はPhotoshopのプラグインほど、数が多くない。それだけにさまざまな効果が作成できる「FILTERiT」は、非常に重宝するプラグインだった。

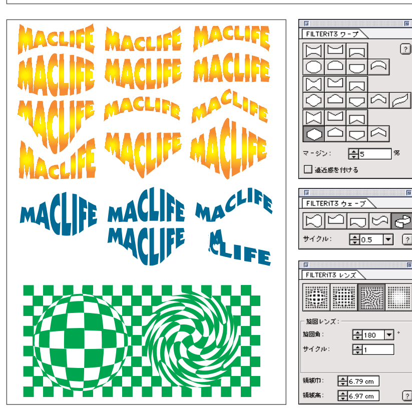
前バージョンもフィルター数が多く、オブジェクト全体の加工からポイントの追加や変形など、便利に使えるフィルターが揃っていた。しかし、フィルターメニューからフィルターを選択すると、表示されるダイアログボックスの中の小さなプレビューボックス内でしか、効果を確認することができなかったため、いったんフィルターを適用してから、Illustratorの画面上で確認し、ダメなら取り消すというトライ＆エラーを何回も繰り返さなければならなかった。それが今回のバージョンでは解消されている。




ツールボックスにインストールされるツールは、全部で9種類。「ポイント整列」ツールを除き、各ツールを選択すると、Illustratorの標準のパレットと同じ形式のパレットが表示され、各ツールの設定を行なうことができる。右図は、上からメタブラシツールとフェードツール、ワープツール、ウェーブツール、レンズツールの設定例

今回のバージョンアップでは、FILTERiTのフィルターは、ツールボックスにインストールされるものと、ウインドウメニューにインストールされるものがある。どちらもポイント整列ツールを除く、すべてのフィルターがIllustratorのパレット形式に準拠しており、各フィルターの設定は、このパレットで行なうようになっている。特にウインドウメニューに追加されるフィルターの効果を適用した場合、「ライブアップデート」機能がオンになっていると、そのパレット内の数値を変更するだけで、エフェクト効果がIllustrator上で、リアルタイムでプレビュー*2される。これは何回でも繰り返し行なえるので、いちいち適用して、キャンセルするという操作を行なう必要がなく非常に便利。適用した効果を確定するには、「拡張」、解除するには「解除」ボタンを押す。このボタンを押すまでは何回でも自由に変更することができるので、自分の求めている効果を納得のいくまで追求することができる。また、これらの効果は、Illustratorのアクションとして記録しておくことも可能だ。






ツールボックスに追加されるフィルターは、選択したツールで、Illustrator上のパスを直接ドラッグして、形状を変形することができるので効果がわかりやすい。ツールでドラッグするタイプのフィルターのため、ライブプレビュー*3といった機能はないが、Illustratorの取り消しとやり直しの機能を使えばよいだろう。オンラインヘルプもパレット形式になっており、わかりやすい。

なお、旧バージョンでは、選択したパスを3Dの形状に変換するフィルターがあったが、今回のバージョンではそれらはない。球、ドーナツ、らせん型などの3Dの形状が簡単に作成できるフィルターだっただけにちょっと残念だ。しかし、全体的には実用的なフィルターが増え、効果も洗練され、より使えるフィルターになったという印象が強い。また、旧バージョン「FILTERiT plus BarcodePack 2.0J」に同梱されていた、バーコードを作成するモジュールは、今回のバージョンアップには含まれず、同社より発売されている「バーコードROBO3」(49,800円)に全面的に開発が移行されるということだ。　●渡辺美岐

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★½☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★½☆ |
| 総合評価 | ★★★★½ |

*1 プラグイン：アプリケーションに後から組み込み、機能拡張する小さなプログラムファイル。単独では動作しない。IllustratorでもPhotoshopと同様にプラグインファイルによって、機能を拡張することができる。プラグインファイルは、Illustratorのアプリケーションがインストールされているフォルダー内にあるプラグインフォルダーにインストールする。
*2 プレビュー：フィルターを完全に適用する前に画面上で確認できるように表示すること。　*3 ライブプレビュー：FILTERiTのライブプレビューとは、フィルターを適用後にオブジェクトを操作しても、その結果がリアルタイムで反映されるという意味。オブジェクトを変更すると、適用されているフィルター効果も同時に変更される。

フォーム・ジー・レディオ・ジティ

# form・Z RazioZity ver.3

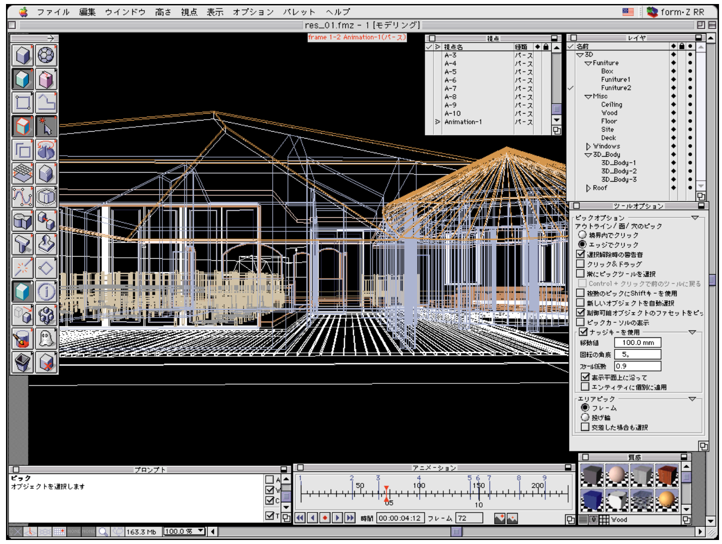
## form・Z が自由曲面モデラーとアニメーション機能を搭載し総合3Dソフトへ進化した

**Get Information**

開発元●auto・des・sys
発売元・問合せ●(株)イメージアンドメジャーメント(03-3365-3641)
URL●http://www.imi-jp.com/
価格●260,000円(form・Z)、360,000円(form・Z RenderZone)、420,000円(form・Z RadioZity)
バージョン●3.1
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.5.5以降、Mac OS 8.6対応。QuickTime 3以降が必要
メモリー●64MB以上

**Check Point**

建築・都市計画、インダストリアルデザインの定番3Dソフトとして、ソリッドモデラー*1、NURBS*2モデラー、メタボール*3、ラジオシティ*4など高度な機能を満載した。



アニメーションの設定をしているところ。ツールパレットがカラー化したが、従来のグレータイプにも設定できる

**「form・Z」は発展途上のソフトといわれながらも、建築などエンジニアリング分野で定番ソフトとなって久しい。以前から一応の完成版といわれていたVer.3がついに日本でも登場した。**

form・Z 3.1Jはモデリング、レンダリング、アニメーション、2D CADの4つの機能をもつ。そして、レンダリング機能の違いにより次の3製品がある。

▶簡易レンダリングのみのform・Z
▶レイトレーシング機能が付いたform・Z RenderZone（form・Z RZ）
▶form・Z RRにラジオシティ機能が加わったform・Z RazioZity（form・Z RR）

ここでは最上位のform・Z RRを紹介するが、レンダリング以外の機能については3製品とも同じものである。

form・Zのひとつの到達点といえるVer.3は、1999年の初春にアメリカでリリースされていたが、新機能が多かったせいもあり不安定であった。このため日本語版の発売は見送られ、バッグフィックス版ともいえるVer.3.1をローカライズしたものが、今回発売されたバージョンである。

Ver.3.1は、英語版の追加マニュアルだけで300ページ近くあり、1つのソフトウェアに匹敵するほどの新機能の分量がある。それらの新機能を整理すると次のようになる。

❶ユーザーインターフェイスの改良

レイヤーの階層化、ビュー機能の改良、画面を分割するフレーム機能など、これまで要望の多かった機能が盛り込まれた。なかでもレイヤーの階層化は、これだけでバージョンアップする価値がある。

❷自由曲面モデラーの搭載

今回のバージョンアップの最大の特徴が自由曲面モデラーの搭載で、その内容はNURBSモデラーとパッチ*5（ベジェとクーンズ*6）である。従来、Cメッシュ（編集可能なポリゴンメッシュ）などで曲面を作る機能があったが、下手に変形させると表面が破れるなど扱いにくかった。これがNURBSとパッチで自由曲面を気楽に使えるようになり、form・Zの用途が大きく広がった。

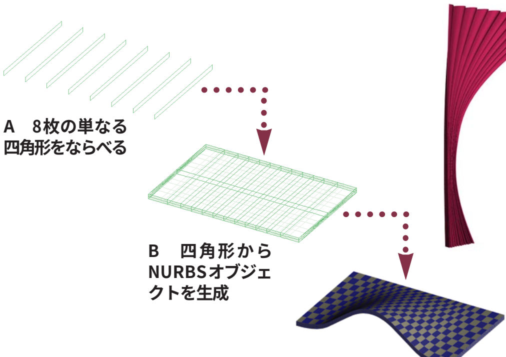
❸アニメーション機能

form・Zに、初めてアニメーション機能が搭載された。ビューをキーフレームにするタイプのアニメーション機能しかないが、本格的なムービーファイルを出力できる。

❹その他

直線階段や点オブジェクト、あるいは曲面マッピングなど有用な機能が増えている。

form・Zは、建築分野などでは最高のモデラーとの評価を得ているが、レンダリング機能に関してはラジオシティ以外に格別の特徴はなく、アニメーション機能がなかったこともあり、モデリングだけをform・Zで行なうケースも多かった。しかし、今回のアニメーション機能の搭載でform・Zだけで最終成果品を作成できるようになった。 ●鳥谷部　真




NURBSモデリングの例



NURBSモデリングで作ったカーテン



直線階段。手すりの自動生成機能もある

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★★ |
| 機能 | ★★★★★ |
| 操作性 | ★★★☆☆ |
| マニュアル | ★★★★★ |
| 総合評価 | ★★★★★ |

*1 ソリッドモデラー：中身のある立体モデルの3D画像を作成するツール。　*2 NURBS：ナーブス。Non Uniform Rational B-Splineの略。有機的な形状や曲面を作成するために利用する。　*3 メタボール：3DCGで、周辺にいくほど濃度が薄くなる球を連続的に配置し滑らかな面を表現する。有機的なモデリングに利用する。　*4 ラジオシティ：3DCGで用いられる手法。物体に当たる光と反射光の相互作用を計算することで、間接光や光源を表現する。　*5 パッチ：曲面のこと。　*6 ベジェとクーンズ：どちらもコンピューターでパラーメーターを用いて表現される曲面（パラメトリック曲面）。どちらも開発者の人名を取って名付けられている。

ポーザー・4

# Poser4 日本語版

## 3Dフィギュア・アニメーション作成ツールがバージョンアップでさらなる進化を遂げた！

**Get Information**

開発元●MetaCreations Corporation
問合せ●(株) メディアヴィジョン（03-3263-0566）
URL●http://www.mvi.co.jp/
価格●44,800円
バージョン●4
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.0以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●34MB以上（66MB以上推奨）

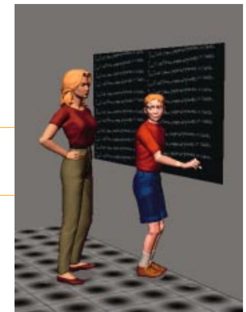
**Check Point**

直感的なインターフェイスで、操作も簡単なので、これから3Dを始めたいという人から現役CGアーティストまでの幅広い人にお薦めできる。MetaStream形式に対応したことにより、マルチメディア、ムービー、Webコンテンツなどにも使用できる。





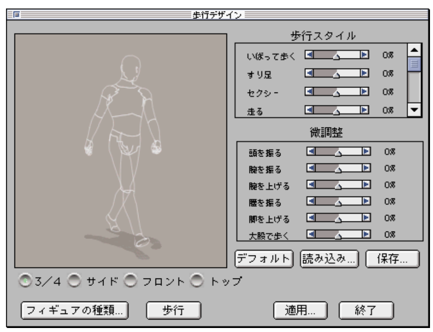
このような髪型、目の色、顔の表情の変化もスライダを操作するだけで、簡単にできてしまう





「スケッチデザイナー」を使用すれば、上図のような画像のアニメーションファイルをレンダリングして、下図のようなタッチのアニメーションを作成することができる

**Poser4では、3D人体フィギュアの顔の表情はもちろんより細かなパーツの造形が調整可能になった。さらに新機能「スケッチデザイナー」も搭載され、表現の幅が拡がった。**




「歩行デザイン」を使用すれば、歩行するアニメーションを効率的に作成することが可能だ





Poser4では、指先にも多彩な動きを設定することができるようになっている

Poserはバージョンアップが進むほどに確実に進化している。最初は、単純なポーズをとらせるためだけのアプリケーションだったが、スムーズな動作のフィギュアアニメーションが作成可能となり、さらに顔、手などの表情、人体以外のモデルの作成も可能となってきた。

今回のバージョンアップにおける一番の目玉は、顔や手の表現を細かく設定することが可能になったことだろう。操作は、スライダーをドラッグするだけといたって簡単だ。さらに顔の形を変形させるスライダーが追加され、顔の輪郭、鼻、目などの細かいパーツの形、大きさまで設定することができるようになっている。また、今回のバージョンアップでは人体フィギュアが身につける衣装ライブラリが豊富に用意されている。これらの衣装はフィギュアの動きに合わせて自然にフィットするように設定されているので、衣装にあまり気を使わなくてもすむのはうれしい。

もう1つの目玉として挙げられるのが、新機能として搭載された「スケッチデザイナー」だ。これは、データから手描き風のレンダリング画像を作成する機能で、この機能を使用することにより、設定したアニメーションを手描き風のムービーとして書き出すことが可能となった。手描き風に変換するときの、背景やオブジェクトに対するブラシストロークも細かく設定できるようになっているので、表現の幅がグンと拡がった。このような、面白い効果を生み出す機能がこれからもどんどん搭載されていくことを期待したい。

また、Poser4は、Webブラウザー上で3D画像の回転や拡大表示が可能なMetaStream*1形式への書き出しに対応した。これにより、Poserのフィギュアを Webコンテンツとして活用できるようになった。

また、前バージョンからの機能だが、あらかじめ歩く動作をモーションキャプチャー*2データとしてプリセットした「歩行デザイン」やBVHモーションキャプチャーファイルの読み込みも少し改善され、便利になっている。これにより、ゴルフスウィングやダンスのような複雑なアニメーションも簡単に作成することができる。歩く動作も含め、一般的な動作のアニメーションならば、かなり作業の効率がアップする。「歩行デザイン」では、忍び歩き、駆け足などさまざまな歩行スタイルをプレビュー画面で確認しながら設定することも可能だ。

また、人体フィギュアと同様に動物10体とロボット3体のフィギュアが収録されている。これらのフィギュアも人体フィギュアと同様にポーズやアニメーションの設定ができる。

今回のバージョンアップでは、前回のバージョンアップで追加された新機能が改善され、使いやすくなっている。大幅な機能変更は少ないが、充実のバージョンアップといえる。　●門 泰伸

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 MetaStream：メタストリーム。MetaCreations社とIntel社が共同開発した新しい3Dファイルの形式。Webブラウザー上で3D画像をマウスでドラッグして、自由に回転したり、拡大することができる。http://www.metastream.com/からWebブラウザー用プラグインを無料でダウンロードできる。　*2 モーションキャプチャー：実際に人間や動物にセンサーを取り付け、その動きをビデオカメラで撮影し、センサーの動きを測定してデジタル化し、コンピューターに取り込むこと。モーションキャプチャーデータとは、そのデジタル化したデータのことをいう。

マイクロソフト・アウトルック・エクスプレス・5.0・マッキントシュ・エディション

# Microsoft Outlook Express 5.0 Macintosh Edition 日本語版

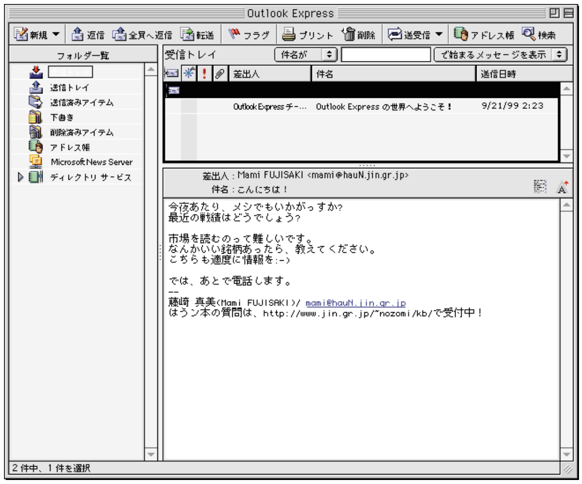
## マイクロソフトの提供する統合型メールクライアント、OutlookExpressの最新版

**Get Information**

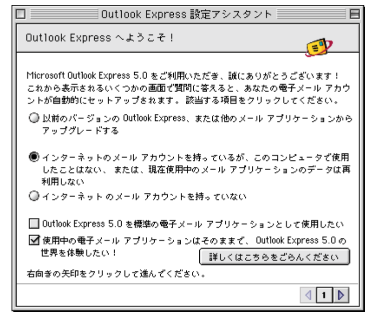
開発元・問合せ●マイクロソフト（株）（03-5454-2300／06-6245-6995）
URL●http://www.microsft.com/japan/mac/
価格●無料
バージョン●5.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 7.5.3以降、インターネットに接続した環境
メモリ●8MB以上

**Check Point**

OutlookExpressもバージョン5となり、さらに強力になった。特に他のインターネットで使われているメーラーとの親和性が格段に向上した点は大きく評価できる。




メインウィンドウにはおおよそ必要と思われる情報はすべて表示されている。基本的にはこのウィンドウですべてが操作可能になっている



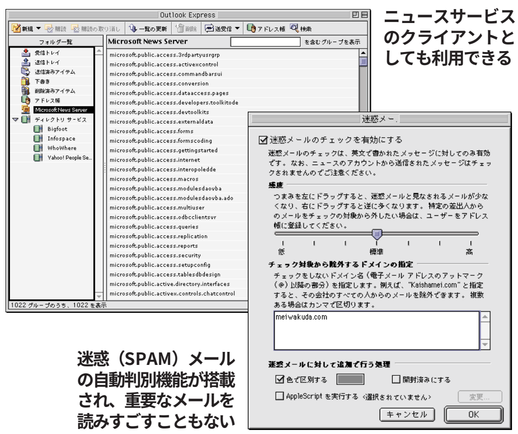

アシスタント機能を使えば、簡単にセットアップ可能だ。前バージョンや他のメーラーからの移行をサポートされている

**マイクロソフト社のメーラー「OutlookExpress」は、最新のMac OS 8.6では、バージョン4.5が標準搭載されている。今回のバージョン5.0では、ユーザーの意見を広汎に取りいれ、改善された。**

OutlookExpress（以下、OE）は、Mac OS 8.1以降、標準のメーラーとしてOSと同時にインストールされるため、iMacなど最近のユーザーには最もなじみ深いメーラーだろう。もちろんWindowsでもOS標準のメーラーなので、世界中で最も使われているメーラーともいえる。今回のバージョンアップでは、ユーザーからの要望の高いものを考慮して、改善したとのことだ。

インターネットでメールをやりとりする場合、相手がどのような環境でそのメールを読むかわからない。多くのユーザーはWindowsやMac、UNIX系のOSを利用しているのだろうが、これがすべてではない。特に最近では、家庭用ゲーム機などにもメーラーが付属しており、手軽さから多く普及している現実もある。そのような多機種混在といった状況では、ある一定の約束にしたがってメールをやりとりしなければ、相手に内容が伝わらないこともありうる。これまでOEでは、標準の送信形式が、HTML形式だったが、5.0からはプレーンテキスト形式に変更され、インターネットの標準に適合した。

新機能は多数あるが、なかでもアドレス帳の機能が大幅に強化された。新規メッセージでメールアドレスを入力する場合、メールアドレスを直接入力する以外に、アドレス帳に登録されている姓、名、ニックネームのいずれかを入力すれば、自動的に一致する名前を表示するのだ。アドレス帳自体も項目が増え、姓名、メールアドレス、自宅／会社の住所のほかメモが8種類、日付が4種類入力可能になっていて、ちょっとした住所録といったものになっている。アドレス帳の入力インターフェイスも使いやすい独特のものだ。




ニュースサーバーのクライアントとしても利用できる

迷惑（SPAM）メールの自動判別機能が搭載され、重要なメールを読みすごすこともない

また、迷惑メール（SPAMメール）*1を自動的に判別し、他のメッセージと区別する機能（ただし英語の迷惑メールにのみ対応）やHotmail（Webメール）*2のWebサイトに接続しなくとも、メールを送受信する機能、複数のアカウントへの対応なども取り入れられている。

操作のなかでは、受信トレイ内のメッセージを閲覧する場合、スペースキーによるワンキー操作ができる点が便利だ。これは、メッセージを表示しているウィンドウ内の文書をスペースキーでスクロールしていき、文章の末尾までスクロールしたときにもう一度スペースキーを押すと、次の未読メッセージに移動する機能である。




メッセージの作成書式の設定が標準でプレーンテキスト形式になった（従来はHTML形式）。ただし、従来のバージョンからアップデートした場合は、以前の設定が引き継がれているので注意しよう

メール以外にも、ネットニュース*3やディレクトリーサービス*4にも対応しているので、統合環境として利用することも可能だろう。

OE 5.0も、順次Macに添付されていくということだ。無料という手軽さと、機能の充実している点から、今後Macユーザーの間でますます普及していくのではないだろうか。　●結城月葉

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★★ |
| 機能 | ★★★★★ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ── |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 迷惑メール（SPAM）：不特定のメールアドレスあてに無差別に送信される広告や嫌がらせのメール。　*2 Hotmail（Webメール）：マイクロソフトが提供するWeb電子メール／メッセージ送信サービス。Webページからメールの送受信ができ、ふだんと異なるマシンからも安全にアクセスできる　*3 ネットニュース：インターネットで特定のテーマごとに意見交換できる電子掲示板。メインとなるサーバーがあるのではなく、情報のミラーリングをバケツリレー方式で行なうことでインターネット全体に配信される。　*4 ディレクトリーサービス：普通は、インターネット上のページやデータを分類して検索できるサービスのことだが、この場合ユーザーの名前やアドレスを検索するサービス。Bigfoot、Yahoo! People Searchなどが有名。

ティ・タイム

# T-Time パブリッシャーズ・キットver.2.0

CD-ROM



## 日本語を表示するために生まれたテキストビューワー、T-Time用ハイブリッドファイル作成ソフト

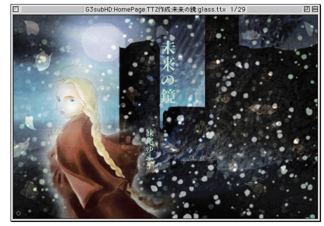
**Get Information**

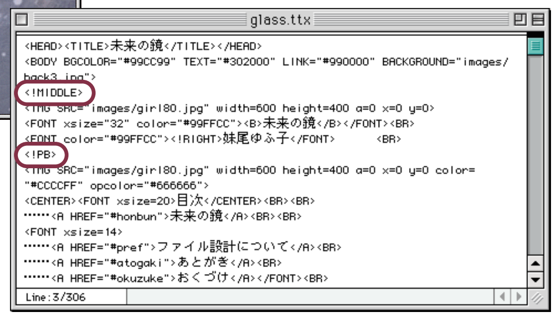
開発元・問合せ●(株)ボイジャー(03-5467-7070)
URL●http://www.voyager.co.jp/
価格●30,000円(Web上での販売のみ)
バージョン●2.0.2
対応機種●68040以上またはPowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 7.6.1以降、MacOS 8.6対応。QuickTime 3以降が必要
メモリー●16MB以上

**Check Point**

Mac／Windowsの双方で閲覧可能な電子テキストを読むための表示ソフトT-Time用の専用ファイル（TTZ*1）を簡単な手順で作成用できるツールだ。







```
<HEAD><TITLE>未来の鏡</TITLE></HEAD>
<BODY BGCOLOR="#99CC99" TEXT="#302000" LINK="#990000" BACKGROUND="images/back3.jpg">
<!MIDDLE>
<IMG SRC="images/girl80.jpg" width=600 height=400 a=0 x=0 y=0>
<FONT xsize="32" color="#99FFCC"><B>未来の鏡</B></FONT><BR>
<FONT color="#99FFCC"><!RIGHT>妹尾ゆふ子</FONT>      <BR>
<!PB>
<IMG SRC="images/girl80.jpg" width=600 height=400 a=0 x=0 y=0 color=
"#CCCCFF" opcolor="#666666">
<CENTER><FONT xsize=20>目次</CENTER><BR><BR>
……<A HREF="#honbun">未来の鏡</A><BR><BR>
<FONT xsize=14>
……<A HREF="#pref">ファイル設計について</A><BR>
……<A HREF="#atogaki">あとがき</A><BR>
……<A HREF="#okuzuke">おくづけ</A></FONT><BR>
Line:3/306
```

テキストをT-Timeで表示させたところ。もとになるttxファイルはHTMLとほぼ同じ仕様だが、「<!」で始まるのはT-Timeの独自タグ。イメージに透明度を指定した塗り潰しもできる

**「T-Timeパブリッシャーズ・キットver.2.0」は、Mac／Winハイブリッドの電子出版ツールとして注目される、バージョン2.0のT-Timeの専用ファイルを作成するオーサリングツールだ。**

電子出版、オンライン出版に必要な条件とはなにか。

画面上で読みやすいのが、まずひとつ。絵や音声、ムービーも添付したい。ファイルサイズも小さいに越したことはない。多くの読者に読んでもらうために、Mac/Windowsハイブリッド形式が望ましいし、読者が新たにソフトを購入することなくファイルを閲覧できれば、さらにいい。

上記すべての条件をクリアした読み出し専用ファイル製作のためのツールが、このT-Timeパブリッシャーズ・キットなのだ。

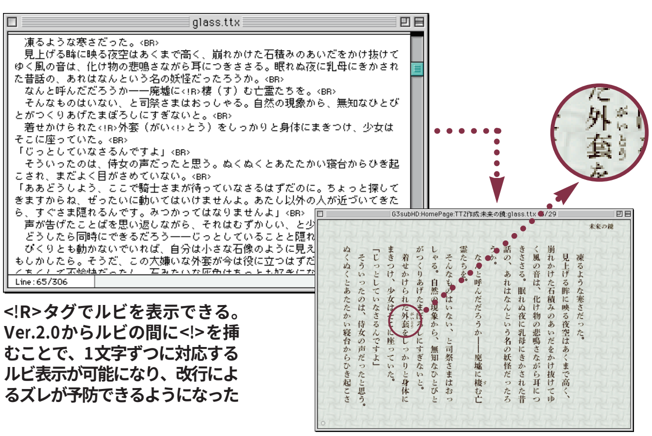
現在、T-Timeは、EBK（エキスパンドブック）およびT-Time 専用の電子出版形式TTZファイルを表示できる機能限定版（ボイジャーのサイトから無料でダウンロードできる。今月のCD-ROM MACLIFEにも収録)、ホームページのHTMLデータや、ワープロ原稿などのプレーンテキスト、PDF、EBK、TTZファイルを読むことができる製品版T-Time（書店版3,400円、パソコンソフト店版3,900円)、そして専用ファイルTTZファイルを作成するためのパブリッシャーズキットがラインナップされている。

T-Timeで作成するファイル形式はTTX*2と呼ばれ、これでT-Timeの機能をほとんど使ったファイルを作成できる。基本的なHTML*3の知識があれば、作成は非常に簡単。改ページやルビなどの独自タグを覚えれば、それだけで書物としての体裁はかなり整う。ただし、TTX形式は配布用の形式ではないので、無料配布されている機能限定版では開くことができない。そこで、パブリッシャーズ・キットの出番となる。

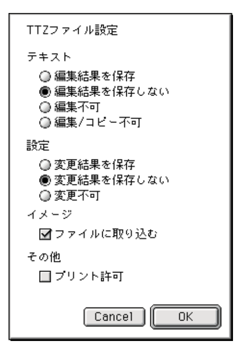
パブリッシャーズ・キットで、納得いくまで作りこんだTTXファイルを開き、「TTZファイルを作成」というメニューを選ぶだけ。できあがったファイルはMac／Windowsの双方に対応しており、Macで作成したものをそのままWindowsユーザーにも読んでもらうことも可能なのだ。また、心ないユーザーがコピーしたりすることを防ぎ、著作物の権利を保護するため、コピー不可のプロテクトをかけることも可能と、いたれりつくせりである。

とにかく便利なソフトだが、あえて欠点を探せば、読者が自由に設定を変更できるので、どんな設定でも閲覧に支障をきたさないファイルを作成する必要があるという点だろう。テキストを読んでもらえればいいというわけではなく、レイアウトに凝りたい場合でも、ソフトの性質上、見る人がどのように見るかを、完全にコントロールすることは不可能だと知っておくべきだ。

製品版T-Timeに比べて、パブリッシャーズ・キットの価格がかなり高いのも気になる。電子出版で先行しているPDF*4を追撃するためにも、より安価に設定してほしかった。 ●妹尾ゆふ子



<!R>タグでルビを表示できる。Ver.2.0からルビの間に<!>を挿むことで、1文字ずつに対応するルビ表示が可能になり、改行によるズレが予防できるようになった




TTZファイルの作成オプション。これが標準の状態。テキスト／設定とも下にいくほどプロテクトが強化される

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★☆☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★★ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 TTZ：T-Time（機能限定版）で表示できるT-Time専用ファイル形式。T-Timeパブリッシャーズ・キットで作成できるほか、開発元のボイジャーでTTZ化のサービスも行なっている。 *2 TTX：TTZを作成する基となるHTMLにT-Time独自のタグを加えたテキストファイル。T-Time製品版で作成／編集／ブラウズが可能。 *3 HTML：Webブラウザーに表示させるページを作成するために使用されるマークアップ言語。最近では、ソフトウェアのヘルプファイルなどもHTML形式で作成されているものがある。 *4 PDF：Portable Document Formatの略。Adobe Acrobatのファイル形式。Mac、Windows、UNIXなどプラットフォームにかかわらず、オリジナルのレイアウトのまま、表示、印刷が可能となっている。

モーション・ダイブ

# motion dive 2

## リアルタイムで動画パフォーマンスを行なうためのVJソフトウェア

### Get Information

開発元・問合せ●(株)デジタルステージ(03-5454-2245)
URL●http://www.digitalstage.co.jp/
価格●26,000円
バージョン●2
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 7.6以降、Mac OS 8.6対応(Mac/Windows版同梱)
メモリー●64MB以上

### Check Point

ニッチな分野を、個人ユーザーが手軽に扱えるものにした。ほとんどの操作をショートカットで扱えるのは、現場でたたき上げられたソフトならではの操作感だ。




メインスクリーン パフォーマンスが表示されるスクリーン。画面は、Aチャンネル、Bチャンネルがブレンドされているほか、テキストレイヤーに入力したアンチエイリアステキストが表示されている

トータルコントロール 全画像要素のスピードを調節する

A/Bチャンネル A/Bチャンネル用素材。再生速度を調整したり、スクラッチをすることも可能

テキストレイヤー テキストを自由に入力し(1バイト文字)、1レイヤーとして挿入できる。テキストの表示方法は下の9つのボタンから選択可能

クロスフェード AチャンネルとBチャンネルとのミックスを調整するスライダー

**「motion dive 2」は、ビデオジョッキー(VJ)*1御用達ソフトの新バージョンだ。インターフェイスを一新し、操作性が大幅に向上。音楽再生も取り込み、もはやVJという域を飛び越えたようだ。**

motion diveは、静止画像や動画をリアルタイムに組み合わせ、音楽に合わせて映像を「演奏」する、VJ用ソフトだ。バージョン1.5ではクリック操作によるオン/オフを主体としたインターフェイスだったが、2.0ではスライダーを多用したドラッグ&ドロップを使ったインターフェイスへと大幅に変更された。テキストやサウンド関連の新機能も多数追加されている。

本格的なVJパフォーマンスで使う場合には、Mac上で動画を作成し、Macのモニター出力をスキャンコンバーター*2を介してプロジェクターで投影するという形で利用することになる。もちろん、このようなシステムは、観衆を想定しているが、ソフト単体でリアルタイム画像合成を楽しむこともできる。

motion diveの基本となるのは、画面下部にあるライブラリーだ。ここにはQuickTimeムービーをはじめとする画像、動画ファイルを登録できる。ライブラリーに登録した素材は、画面左側にあるAチャンネルもしくは右側にあるBチャンネルへ移動して再生することができる。メインの画面上には、この2つのチャンネルを合成したものが表示される。つまり、この2つのチャンネルで画像や動画を表示させ、A/Bチャンネルの画像を合成したり、切り換えたりすること(ABロール切り換え)で、パフォーマンスを行なうのだ。

画像の切り替えには、さまざまな特殊効果を用いたトランジション*3が利用できる。また、新機能のテキストレイヤーを使えば、テキストを9種類の方法で表示させることが可能だ。テキストの表示方法はプラグイン形式で追加できるので、今後のプラグイン登場に期待できる。

また、新バージョンではオーディオも扱えるようになった。Macに挿入したオーディオCD、サウンド入力からの音声信号、そしてMP3*4やMIDIなどのサウンドファイルを、パフォーマンスと同時に再生することができる。ただし、処理能力のことも考えると、オーディオは別系統で処理したほうが無難だ。なるべくMac側の負担を軽くしておくべきだろう。

要求されるCPUスペックはかなり高く、G3/300MHz以上でなければ快適な画像合成は楽しめないだろう。スペックの低いMacでは、特に画像合成時にムービーのコマ落ちが激しく、Power Mac 8600/250でも7〜10fps*5程度のカクカクした動画になってしまった。QuickTimeムービーを多用するので、ハードディスクも速ければ速いほど有利だろう。

画像を切り換えるタイミングはどうしてもキー入力からワンテンポ遅れてしまう。キー入力とのズレを体で覚えることがmotion diveマスターへの第一歩となるだろう。 ●秋田克彦



ファンクションキーに各映像を割り当て、ファンクションキーひとつで画像を切り替えるモード。PRELOAD機能を使えば、ムービーファイルをあらかじめ読み込み、ディスクアクセスによる再生速度低下をできるだけ防ぐことができる




音楽CDやMP3ファイルの再生にも対応した




ABロール切り換え時に利用するエフェクトを18種類から選択できる

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★★ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 ビデオジョッキー:ビジュアル・ジョッキーともいう。クラブなどで音楽に合わせて映像を流す人のこと。 *2 スキャンコンバーター:モニターの走査周波数を変換する装置。家庭用テレビなどをパソコンのモニターに利用したい場合に使用する。 *3 トランジション:画面を転換する際の効果。ディゾルブ、ワイプ、ラジアルなどがある。 *4 MP3:MPEG 1 Audio Layer 3。MPEGはMotion Picture Experts Groupの略で、デジタル動画の圧縮規格の標準化を行なっている。MP3は、このうちオーディオ部分だけを活用したもので、高品質な音楽を高比率で圧縮できる。 *5 fps:フレーム数/秒のこと。これが大きいほど滑らかに動いてみえる。

# 超速（ちょうそく） for Macintosh

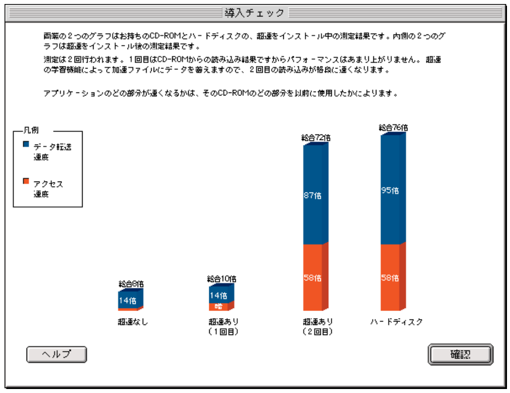
## あらゆるCD-ROMを高速作動させるCD-ROM加速ユーティリティがDVD-ROMに対応！

### Get Information

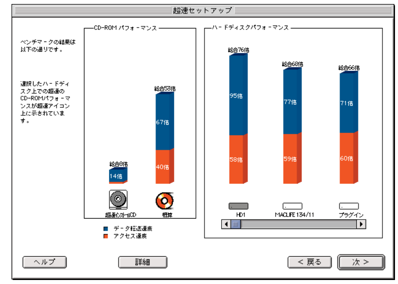
開発元●（株）ソース
問合せ●ソースネクストサポートセンター（03-5350-4844）
URL●http://www.source.co.jp/
価格●8,800円
バージョン●2.1
対応機種●68040/25MHz以上またはPowerPC搭載機、PowerMac G3、iMac対応
動作環境●漢字Talk 7.5以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●2MB以上

### Check Point

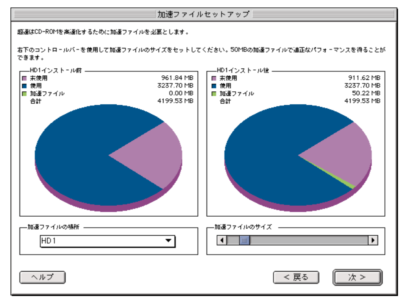
DVD-ROMドライブを搭載したマシンでもCD-ROMディスクのアクセススピードを加速することができるようになった。また、Mac OS拡張フォーマットでも、キャッシュを作成することが可能になった。



超速をインストール後、CD-ROMドライブのベンチマークテストが行なわれる。テストは、2回行なわれる。1回目は最初に計測したデータに近いものだが、2回目は、ハードディスクの速度に近い結果となる。これは、超速の学習機能によって2回目が高速化することを表している



セットアップ時に表示されるベンチマークテストの結果。一番左側がCD-ROMドライブの最初の計測結果。左から2番目が超速を導入したときの概算。右側にハードディスクのパフォーマンス。比べてみると、超速をインストール後は、CD-ROMの速度がハードディスクのスピードにより近くなることが分かる



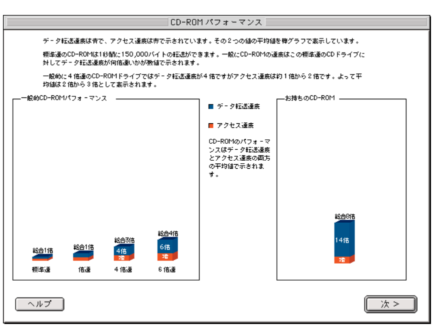
CD-ROMのキャッシュを保存する加速ファイルのサイズを設定するダイアログボックス。自動インストールの場合は、自動的に設定される

**ハードディスク内に作成したキャッシュ*1にCD-ROMのデータを蓄え、CD-ROMのスピードを高めるCD-ROM加速ユーティリティ「超速」がDVD-ROM*2対応にバージョンアップした。**

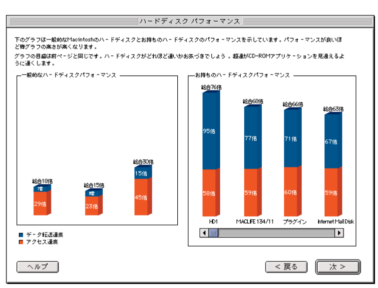
「超速」は、米国でシェア95%、売上本数世界一のCD-ROM加速ユーティリティ「d-TIME」を日本語化したものだ。「超速」は、CD-ROM内にあるデータの構造を自動分析し、使用頻度の高いデータをハードディスク内にキャッシュとして保存する。CD-ROMのデータをすべてハードディスクにコピーすれば、ハードディスクと同じアクセススピードでCD-ROMのデータを使用できるようになるのは当たり前のことだ。しかし、ハードディスクにCD-ROMと同じ空き容量が必要となってしまう。使用するたびにいちいちコピーするのも非常に時間がかかってしまう。その点、「超速」は、CD-ROM内のすべてのデータをハードディスクに保存するわけではないので、使用するハードディスクの容量も50MB程度が標準。もちろん、これは、カスタマイズで大きくも小さくもでき、使用するハードディスクの容量によって、容量に応じた高速化が可能になっている。また、学習機能があるため、同じCD-ROMを使用すると、そのたびに使用頻度の高いデータを解析し、徐々にアクセススピードが速くなり、最終的に使用するデータがすべてハードディスク内のキャッシュに保存された状態になると、ハードディスクと同等のアクセススピードでCD-ROMを使用することが可能になる。アクセススピードの速いハードディスクを使用すれば、CD-ROMドライブの50倍以上の速さでCD-ROMを使用することも原理的には可能だ。

インストールも非常に簡単。自動インストールにしておけば、後は、Macintoshを再起動するだけで、CD-ROMのアクセススピードが高速化される。使用中も超速の存在を感じることはほとんどない。まったく意識することなく使用することができる。また、CD-ROMソフトのデータ登録も行なうため、一度使ったCD-ROMソフトは、ドライブに入れた瞬間に自動認識し、いつでも高速作動するようになる。

今回のバージョンからは、DVD-ROMに対応すると同時にMac OS拡張フォーマット（HFS+）にも対応している。このため、ハードウェアやメディアなどに制限されずに「超速」を使用できるようになった。 なお、DVD-RAMドライブでDVD-ROMを加速することは可能だが、DVDはDVD-ROM規格にのみの対応で、DVD-RAM、DVD-Videoには対応していない。 ●高橋レオ



インストール時には、最初にCD-ROMドライブの速度を計測する。左側は、標準的なCD-ROMドライブの速度



続いて、ハードディスクドライブの速度を計測する（右側）。左側は標準的なハードディスクの速度。カスタムインストールの場合は、右側のグラフで一番速いハードディスクに超速のキャッシュを作成すると、さらに高速化できる

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 キャッシュ：コンピューターと外部記憶装置との間で、データのやり取りを高速化するためのもの。この場合は、CD-ROMやDVD-ROMドライブとコンピューターのやり取りのためにハードディスク上に作成する仮想メモリー領域のことを指す。CD-ROMから直接コンピューターとやり取りするのではなく、CD-ROMよりアクセススピードの速いハードディスク内にキャッシュを作成し、そこを介してデータをやり取りすることで、アクセススピードを高速化する。 *2 DVD-ROM：DVDとは、松下電器産業、ソニーなど9社が策定したビデオディスクの統一規格の総称。直径12cmの光ディスクに、テキスト（プログラムを含む）、映像、音声などのデジタルデータを収録する。このDVD規格で、デジタルデータを再生するパソコン用記憶装置がDVD-ROM、また再生記録装置がDVD-RAM。映像、音声を再生するものがDVD-Videoである。

カレイドスコープ

# Kaleidoscope 日本語版

## 究極のデスクトップカスタマイズユーティリティKaleidoscopeがパッケージ版で登場

### Get Information

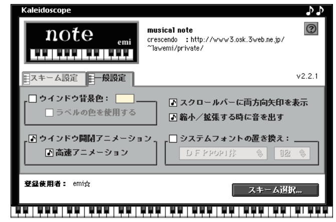
開発元●Gregory D. Landweber、Arlo Rose
発売元・問合せ●(株)アプリックス(03-3204-6320)
URL●http://www.aplix.co.jp/
価格●5,800円
バージョン●2.2
対応機種●68020以上またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.5以降、Mac OS 8.6対応

### Check Point

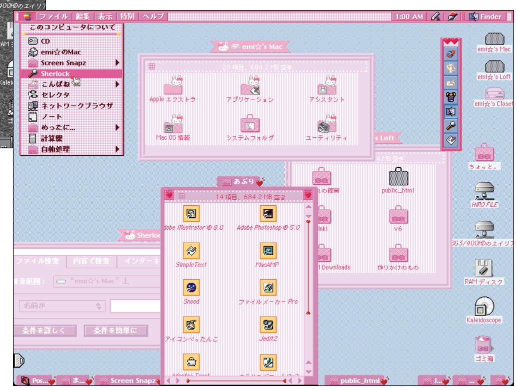
デスクトップ*1を手軽にドレスアップするKaleidoscopeに、300以上の設定ファイルや、オリジナルに挑戦したい人向けに設定ファイル作成ツールも同梱されている。



_k_w_L_氏の作品「Exculibur II」



機能の設定ウインドウ。ダブルスクロールやサウンド、カーソルなどのカスタマイズも自由自在



スキームのアイコンをダブルクリックするだけでデスクトップがガラっと変る。スキームを選ぶのが楽しくなる

**デスクトップをカスタマイズする定番シェアウェア「Kaleidoscope」のパッケージ版が登場した。ユーザー登録が簡単で、多数のカラースキーム*2が付属し、ユーザーサポートも行なわれる。**

デスクトップをドレスアップさせるといっても何がどうなるの？　という人に少し説明しよう。Kaleidoscopeとは、Mac OSのウィンドウやアイコン、メニューバー、壁紙、カーソルなどをまるで着せ替え人形のように変化させ、飾りつける定番ツールで、Mac OSのアピアランス*3に対応したアプリケーションでは、ウィンドウだけでなく、タブやボタンなども同様に変化する。これらはカラースキーム（スキーム）という設定ファイルを変更することで、さまざまなデザインを簡単に楽しむことができるのだ。

こんなに楽しいKaleidoscopeだが、ユーザー登録はKagi*4を使っているので、クレジットカードまたはマネーオーダー、小切手などが必要で、しかもドル建て価格なので、登録が困難だった人も多かったのではないだろうか。事実、筆者も「登録方法がわからない」などというメールをよく受けた。日本語版パッケージ版のユーザーサポートは発売元のアプリックスが行なうため、簡単にショップなどで購入でき、日本語でのサポートを受けることができるのは、初心者にとってはありがたいのではないか（シェアウェア版のサポートについては今後も従来どおり）。

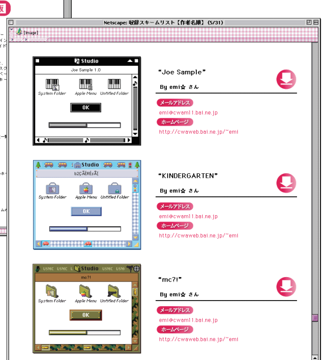
同梱されているカラースキームは300種類以上で、メタリックなものやキュートなもの、ベーシックなものなどさまざまなタイプがあり、日替わりで楽しむこともできる。ただし、インターネット上には、とてつもない数のカラースキームが公開されているので、同梱されているものだけではまだまだ物足りないゾという人は、好みのものを探してみるのも面白いだろう。

また、HTML*5形式で書かれたスキームガイドには、同梱されているすべてのカラースキームのプレビュー画像が掲載され、好みのカラースキームを選ぶことができる。しかも、作者のメールアドレスやホームページのURLも掲載されているので、インターネットでカラースキームを探すのに役だつはずだ。気に入った作者の最新カラースキームをチェックしたり、感想メールを送ったりして、Kaleidoscopeの世界をどんどん広げていくことができる。

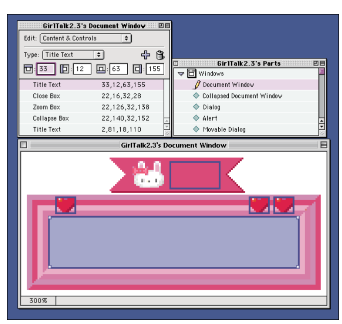
さらに自分好みのデスクトップを求めるなら、カラースキームを自作することも可能だ。自作のためのツールが各種用意されている。とりわけ、SchemeFactoryは、スキームの細かい数値設定を直観的な操作で行なうことができるので、スキーム作成もグッと楽になるはずだ。

マニュアルには、インストールからカラースキームの変更、各機能の設定など、親切に書かれているので、Kaleidoscopeが初めての人でも問題なく使用できるはずだ。　●emi☆





スキームガイド。スキームを選び、矢印のボタンを押せば圧縮されたスキームがハードディスクにコピーされる



スキーム作成お助けツール、SchemeFactory。直観的な操作で細かい数値の入力ができる

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★★ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★★ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 デスクトップ：Macのファインダー画面を机の上にたとえたもの。　*2 カラースキーム：Kaleidoscopeのプラグイン形式の設定ファイル。　*3 アピアランス：Mac OS 8から採用されたコントロールパネル書類。デスクトップやウィンドウの外観を設定する。Mac OS 8.5から各種設定をテーマとして保存できる。　*4 Kagi：Kee Netheryによって運営されているソフトの登録処理代行会社。Kagiはもちろん鍵のこと。シェアウェア登録（Register）というソフトを使うか、オンラインでシェアウェアの登録、シェアウェア代価の支払いなどを処理してくれる。URLはhttp://www.kagi.com/。　*5 HTML：Webブラウザーに表示させるWebページを作成するために使用されるマークアップ言語。

リアル・プレイヤー・ジーツー

# RealPlayer Plus G2 ベストパッケージ

## インターネット環境でスタンダードに利用されているストリーミングビデオ／オーディオプレイヤーの最新版

### Get Information

開発元●リアルネットワークス(株)
開発元・問合せ●(株)アスキー ネットメディア事業部(03-5351-8652)
URL●http://www.ascii.co.jp/netmedia/
価格●6,980円
対応機種・動作環境●PowerPC 604/200 MHz以上搭載機種。Mac OS 8.1以降、Mac OS 8.6対応。28.8Kbps以上のインターネット接続環境、Internet Explorer 4.01または Netscape Communicater 4.05以上が必要
メモリー●32MB以上

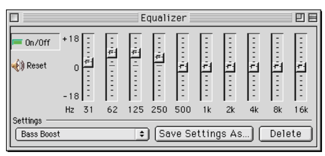
### Check Point

無料のRealPlayer G2に追加機能を付加したPlus版にガイドブックが付属している。

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★★ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |



RealPlayerはビデオストリーミング分野では大きなシェアを誇っている。国内でも多くの番組が配信されている



Plus版では、イコライザーなどが搭載され、画質や音質の調整が可能となっている

ISDNの普及やCATV、低価格専用線の普及によって、インターネットインフラが充実してきた。高速なネットワークが個人ユーザーでも利用できるようになり、かつては考えられなかった大容量データのやりとりが可能となった。

大容量のデータといえば、やはり動画ではないだろうか。インターネットを経由して動画を配信するには、用意された動画のファイルをユーザーがダウンロードして、ローカルで再生する方式と、動画を格納しているサーバーから受信しながら、再生するストリーミング*1方式がある。RealPlayer G2は、このストリーミング方式を採用している。

RealPlayer G2は、最新版のプレーヤーで、従来のRealAudio／RealVideoデータの再生のほか、新たにMP3*2やAVI*3、QuickTimeムービーにも対応した。Plus版では、画質や音質を詳細に設定できるほか、録音や録画、スキャン機能などが追加され、デジタルコンテンツとの融合がより身近なものになった。

また、ベストパッケージには「RealPlayer Plus G2を32倍楽しむためのハンドブック」が付属していて、RealPlayer Plus G2（英語版）の使いかたや、さまざまなコンテンツについて紹介されており、導入後すぐに楽しめるように配慮されているのも特徴だ。　●結城月葉



エーオーエル

# AOL インスタント・メッセンジャー v2.0

## インターネットを利用した、オンラインコミュニケーションツール

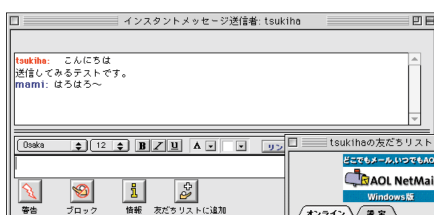
### Get Information

開発元●AOL（サポートは行なわない）
URL●http://www.jp.aol.com/aim/
価格●無料（インターネットのAOLのサイトからダウンロード可能）
バージョン●2.0
対応機種● PowerPC搭載機種
動作環境● 漢字Talk 7.5.3以上、Mac OS 8.6対応。インターネットに接続できる環境
メモリー● 4MB以上

### Check Point

AOLに登録しているユーザー同士がオンラインになった場合、簡単なメッセージをやりとりやチャットなどができるツール。利用料は無料なので手軽に使えるだろう。

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★★ |
| 機能 | ★★★★★ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |



メインのウィンドウには監視するユーザーを登録する。ユーザー名の先頭にあるアイコンで状態が表示される



相手がオンライン状態にあれば、インスタントメッセージ機能を使い、リアルタイムでメッセージをやりとりできる

オンラインコミュニケーションツールとしてはICQ*4が有名だが、この「AOLインスタント・メッセンジャー（以下、AIM）」も同種のコミュニケーションツールだ。

利用するには、まずAOLのサイトでユーザーネームを利用登録し、次に、ソフトをダウンロードしインストールする。ソフトはMac版以外にWindows版も用意されている。ここで仮登録されると確認のメールが来るので、返信すれば本登録となり、利用できるようになる。

基本的な機能は、自分のメインウィンドウに登録したユーザーの状況（オンラインかオフラインか）を確認でき、もしオンライン状態にあるならば、リアルタイムでメッセージのやりとりができるといったものだ。

今回のバージョンでは、複数のユーザーが同時に会話するチャット*5機能が搭載され、パソコン通信やIRC*6などと同様に、友達が集まって会話することができる。また、友だち検索という機能を使えば、相手が登録している住所やメールアドレスなどを閲覧することも可能だ（ただし、登録された内容が公開許可されている場合。相手によってどの程度のレベルで閲覧許可するかなど、細かく設定できる）。

今後専用線環境の普及とともに、このようなツールの需要は増えていくのだろう。AIMはv2.0になり、その選択肢のひとつとして十分満足できる製品といえるのではないか。　●結城月葉

*1 ストリーミング：インターネット上にある音声や動画データをダウンロードしながら再生すること。　*2 MP3：MPEG 1 Audio Layer 3。MPEGはMotion Picture Experts Groupの略で、デジタル動画の圧縮規格の標準化を行なっている。MP3は、このうちオーディオ部分だけを活用したもので、高品質な音楽を高比率で圧縮できる。　*3 AVI：Audio Visual Interleavedの略。Microsoftが定めたWindows用の動画フォーマット。　*4 ICQ：イスラエルのMirabilis社が開発したクライアントサーバー型のインターネットソフト。チャットやファイル交換も可能。
*5 チャット：ネットワークを介してユーザー同士が文字を使ってリアルタイムに会話すること。　*6 IRC：Internet Rellay Chatの略。インターネット上のチャットシステムのひとつ。

SOFTWARE●グラフィックス

エクステンシス・フォトフレーム

# Extensis PhotoFrame 2.0J

## 画像に美しいフレームとエッジエフェクトを無限に作成することができるPhotoshopプラグイン

### Get Information

開発元●creativepro.com社
問合せ●(株)ソフトウェア・トゥー(03-5676-2177)、(株)メディアヴィジョン(03-3222-6841)
URL●http://www.swtoo.com/
http://www.mvi.co.jp/
価格●39,800円
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5.5以降、Mac OS 8.6対応、Photoshop4.0J以降、Photoshop5.5対応

### Check Point

テクスチャーやフレームを読み込めば、いくつでも画像のフレームを作成できる。

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

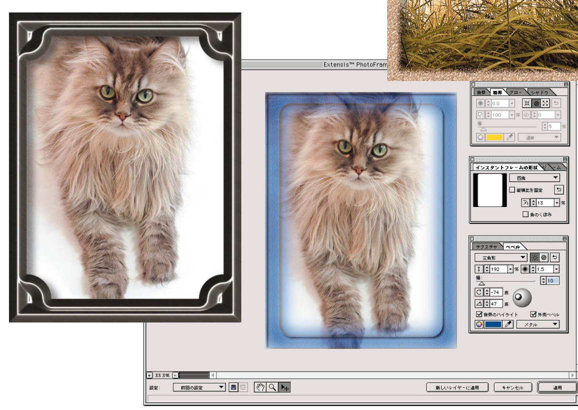
「Extensis PhotoFrame 2.0J」は、Adobe Photoshop用の強力なプラグイン*1。インストールすると、Photoshopのフィルタメニュー、あるいは、追加されたExtensisメニューからアクセスし、フレームとエッジエフェクトを簡単に作成できるようになる。

PhotoFrameのインターフェイスは、プラグインでありながら、独立アプリケーションのようになっており、Photoshopライクなパレットが9つ用意されている。これらのパレットを使って、フレームの形を設定し、それに対して、背景、境界、ドロップシャドウ、グロー、ベベル、テクスチャーなどの設定を行なう。作成中は、ダイアログボックスにリアルタイムでプレビューされるので、効果を確認しながら、フレームを作成することができる。各パレットごとに細かいぼかしや透明度などの詳細な設定ができるようになっているため、作成できるフレームの数は無限。

今回のバージョンアップでは、さまざまな効果の機能強化に加え、前バージョンの3倍もの読み込み可能なフレームの形状が添付され、さらにプラグイン内部にもインスタントエッジ、インスタントフレームといったフレームの形状が保存されているため、使いやすくなっている。 ●村上みゆき



9つのパレットを操作すれば、さまざまなフレームやエッジエフェクトを作成することができる



SOFTWARE●ユーティリティ

シュリンクラップ

# ShrinkWrap 3.5J

## HD、CD-ROM、FD、リムーバブルディスクをディスクイメージに変換するユーティリティShrinkWrapがバージョンアップ

### Get Information

開発元●Aladdin Systems社
問合せ●(株)アクト・ツー (03-3328-8431)
URL●http://www.act2.co.jp/
価格●パッケージ版：9,800円（税別）、キャンペーン価格：8,800円（3,000本限定）、オンライン版：3,900円（税込）
バージョン●3.5
対応機種●68040以降またPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.5.5以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●1MB以上

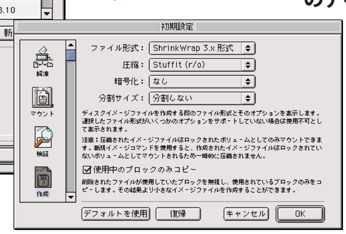
### Check Point

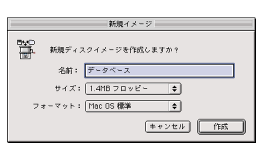
ディスクスペースの節約や複数のCD-ROMを同時に使用したい場合は非常に便利。

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★☆☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |



Apple社の最新ナビゲーションに対応しているため、ファイルやフォルダー、ボリュームの選択が簡単になった。また、初期設定ダイアログも一新され使いよくなっている





HD、CD-ROM、FD、MOなどを ShrinkWrapのアイコンにドラッグ＆ドロップするだけで、イメージファイルを簡単に作成することができるShrinkWrapは、ネットワークでの配布やディスクスペースの節約、複数のCD-ROMを同時に使用したい場合に便利なユーティリティだ。

作成したイメージファイルは、ダブルクリックするだけで、オリジナルの完全な複製であるディスクイメージとしてマウントされる。ドライブを使用しないため、FDドライブを持たないPower Mac G3などでは、FDドライブの代わりに、FDのディスクイメージファイルを使用することもできる（キーディスク*2など、プロテクトのかかったものを除く）ため、FDでしか供給していないプログラムのインストールにも使用することができる。また、複数のCD-ROMディスクを同時に使用したい場合も、ディスクイメージを作成して保存しておけば、HDの容量が許す限り何枚分でもマウントして使用することができる。アクセススピードの遅いCD-ROMドライブを使用する際など、場合によっては、HDにマウントしたディスクイメージを使用したほうが快適に作業が行なえるだろう。

今回のバージョンアップでは、分割されたイメージファイルやHFS+*3フォーマット、4GB以上のHD、DiskCopy6.3のサポートなど、機能がより強化され、使いやすくなった。 ●村上みゆき

*1 プラグイン：アプリケーションに機能を追加するファイル。Photoshopの場合は、Photoshopフォルダーの中にあるプラグインフォルダーの中にインストールして使用する。
*2 キーディスク：アプリケーションのプロテクトの方式の一つで、FDをアプリケーションを使用するための鍵として使用する。 *3 HFS+：Hierarchical File Structure Plus。Mac OS 8.1から採用されている、新しいファイル管理形式。Macintosh拡張フォーマットともいう。HFSフォーマットでは制限のあった、1ボリューム内の最大ファイル数や最大サイズが拡張され、1ボリュームに作成できる最大ファイル数は42億9496万7296個、最大ボリュームサイズは2TBまでサポートされるようになった。

アイベース・ダイアリー
# iBase-Diary

## 三年日記や十年日記のように長年愛用できるシンプルな日記帳

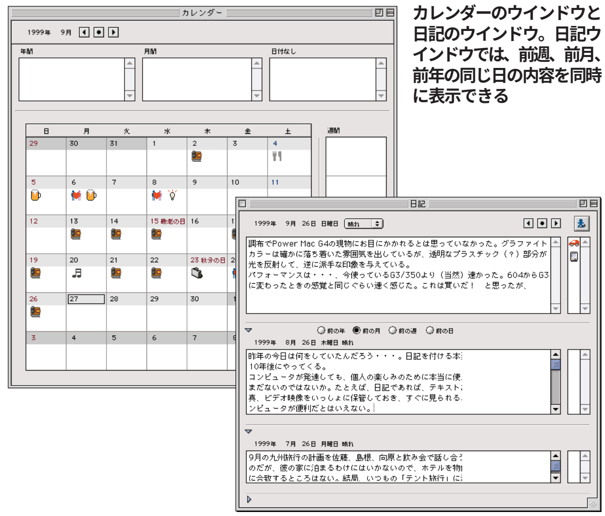
**Get Information**
開発元・問合せ●ホロン（株）（044-981-1075）
URL●http://www.hln.co.jp/
価格●9,800円（オンライン販売のみ）
バージョン●1.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.1以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●5MB以上

**Check Point**
今日の日記を、前年の同じ日、前月の同じ日などと見比べることができる。画像ファイルなどを日記内にリンク設定できるので、データベース日記として活用できる。

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★☆☆ |
| 機能 | ★★★☆☆ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ★★★★☆ |
| 総合評価 | ★★★½☆ |

iBase-Diaryは、パーソナルデータベース製品群「iBaseシリーズ」のうちのひとつ。データベース管理システム「HiBase」が使われており、データ量が増えてもソフトのパフォーマンスが落ちないというのが売り。シリーズ第一弾として、PIM*1ソフト「iBase-Filo」がすでに発売中だ。

iBase-Diaryは、何の説明もいらないほどシンプルな日記帳ソフト。カレンダーウインドウの日付をクリックすると表示されるウインドウで日記を書く。日付ごとに「旅行」「ドライブ」といったアイコンを設定し、カレンダー上で日記の内容のヒントにできる。日記のウインドウでは、特定の日に対して、前年の同じ日、前月の同じ日、前週の同じ日、前日の日記を同時に表示できる。前年の同じ日に何をしたか一目瞭然で、いわゆる三年日記のような使い方ができるようになっている。また、画像や映像のファイルなどをドラッグ&ドロップして日記に添付することができ、ファイルのアイコンをダブルクリックすれば元ファイルが開く。デジカメで撮った写真などを記録のひとつとして保管できるわけだ。日記ソフトとしては、シェアウェアの同種のソフトと比べて価格が高めなのがちょっと残念。　●渡辺みなみ


カレンダーのウインドウと日記のウインドウ。日記ウインドウでは、前週、前月、前年の同じ日の内容を同時に表示できる



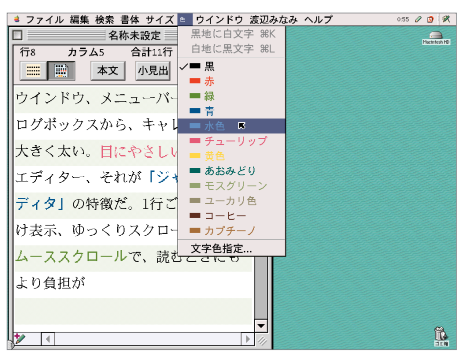
# ジャンボエディタ

## 大きな表示で目が疲れない、高年齢のユーザーにもやさしいバリアフリーなテキストエディター

**Get Information**
開発元・問合せ●（株）コーシングラフィックシステムズ（011-281-9391）
URL●http://www.kohshin-graphic-sys.com/
価格●14,800円
バージョン●1.5.1
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 8.5以降、OS 8.6対応、640×480ピクセル以上のモニター解像度
メモリー●2MB以上

**Check Point**
ウインドウやメニューなどの文字表示が大きくて見やすく、目にやさしい。ワンタッチでの表示切り替え、スムーススクロールなど、人にやさしいインターフェイスだ。

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★★ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |


文字表示からウインドウ、ボタンにいたるまですべてが大きい。新バージョンからはメニューバーや選択ダイアログも大きく表示されるようになった

キーウェア*2製品のみだった「ジャンボエディタ」にパッケージ版が登場。それにともなって、バージョンも1.5にアップしている。

「ジャンボエディタ」は、ウインドウ、ダイアログ、メニューバーなどインターフェイスの構成要素と、それらに表示される文字も大きいテキストエディターだ。従来の作業画面では目が疲れるという高齢者や視力の弱いユーザーの目にかかる負担が軽減される。マウスポインターも大きく、キャレットや漢字変換中の下線表示も太くできるという徹底ぶり。バージョン1.5からはウインドウ背景を1行ごとの塗り分け表示や罫線表示にできるようになり、文章を追うときの視線の移動がしやすい。enterキーだけでのスムーススクロールも可能になっており、文章を読む作業での快適さも追求されている。また、フォントが同じ書式で表示される「ベタ打ちモード」と、印刷時の書式で表示される「飾りモード」をワンタッチで切り替えることができ、ベタ打ちモードではフォントの大きさをワンタッチで3段階に切り替えられる。大きな表示で入力していても、すぐに印刷時の見た目を確認できるわけだ。マルチフォント、オートインデントなど、テキストエディターとしての基本機能も申し分ない。

なお、パッケージ版には、マイクに向かって手を叩くと「ジャンボエディタ」のウインドウがスクロールするというユーティリティ「ジャンボスクロール」が同梱されている。　●渡辺みなみ

*1 PIM：Personal Information Managerの略で、個人情報管理ソフトのこと。住所録、スケジュール、メモなど、個人の情報を総合的に管理するためのソフト。　*2 キーウェア：オンラインなどで配布され、キーコードによって、機能制限や試用期間が限定されているソフト。代価を支払い、ユーザー登録すると、キーを教えてくれ、機能制限が解除される。

*PANASONIC*

# NV-MG3

## パーソナルユーザー向けノンリニア動画編集DVカメラキット

**Get Information**

開発元／問合せ●松下電器産業（株）P3カスタマーサポートセンター（03-5821-3180）
URL●http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3/annex/videpara/
標準価格●298,000円（税別）
対応機種●青白Power Mac G3シリーズもしくはFireWire端子を標準搭載した機種
動作環境●Mac OS 8.6
本体映像素子●CCD固体撮像素子（有効画素31万画素、総画素48万画素）
信号方式●NTSC
使用テープ●6.35mm幅DVカセットテープ
録画時間●最大80分（SP）／120分（LP）
レンズ●自動絞り10倍電動ズームF1.8（f=3.6〜36mm）マクロ付き（フルレンジAF）
ズーム●光学10倍、デジタル25倍、スーパーデジタル100倍
液晶モニター●広視野角2.5型（20万画素）
サイズ／重量●49×108×86mm／400g
パッケージ付属品●「Edit DV Unplugged 1.1.3」CD-ROM、標準／大容量バッテリー、MMCカード、ACアダプター、AVワンタッチステーション、ソフトケース、Mini-DVカセットテープ（60分）、ヘッドクリーナー、各種ケーブル類、マニュアルほか

**Check Point**

青白Power Mac G3さえ持っていれば、買ったその日からハイクオリティのムービーやオリジナルのDV作品の編集ができる。G3にあわせたボディカラーやDVカム単体としての機能の充実ぶりも大きな魅力だ。




青白Power Mac G3に合わせたカラーリングはDVカム単体として見ても魅力あるデザインだ



消費電力をセーブしたい場合はこのように液晶モニターを閉じた状態で撮影することになる




本体前面。光学ズームは10倍（スーパーデジタルズームで100倍）とパーソナル向けのスペックだ。右下のカバーにDV端子が隠れている



Power Mac G3との接続はいたって簡単。付属のケーブルをDV端子とFireWire端子に差し込むだけだ



DVカセットの挿入は、背面カバーを手で開いてから行なうようになっている



液晶モニターを開いたところ



液晶モニターは20万画素の2.5型液晶モニターは上下120度以上、左右110度以上の広視野角で、様々な位置からの映像モニターが可能だ

**松下電器産業が発売したDVカム*1「NV-MG3」は、業界でもはじめて青白PowerMac G3専用としてデビューした製品である。ムービー編集ソフト「EditDV Unplugged」とDV／Mac間を結ぶFireWire*2ケーブルがセットになっており、なによりG3本体にあわせたボディカラーが嬉しい。**

### 小型かつ軽量、そしてG3カラーボディ

DVカムの特長を並べると、ハイクオリティの映像、コンパクトかつ軽量なボディ、記録したデジタル映像と音声をFireWireでそのまま転送可能。などが挙げられる。今回紹介するNV-MG3は、そのすべての点にスポットを当てた製品だ。

NV-MG3の見た目の大きな特長であるブルーの配色は、DVカム単体として見ても、単調な色合いの並ぶDV群の中で個性を放っている。また「手のひらサイズ」をうたうコンパクトなボディは単に小さいだけでなく録画ボタンやズームレバーの位置が考慮されておりボディを握ったままの感覚で撮影をすることができる。機能切替などのボタン群はすべて背面に配置されており、使用頻度の高い機能がボタンにうまく組み合わされている。またボタン機能付きのジョグシャトルで液晶に表示されるメニューや再生時のボリュームなどを素早く操作できる点も便利だ。

実際に持った感触では、重量もバランスも申し分なく、長時間用バッテリー*3を装着しても安定して撮影することができる。

### DVカムとしての基本性能はどうか？

DVの高画質映像はいまさら述べるまでもなく、色のにじみの少ない安定した綺麗な映像を収録することができる。また、マニュアルフォーカスや白バランスなども前述のジョグシャトルでの操作が可能であり、フルオート機能だけではカバーできないいろいろな場面にも素早く対処することができる。その他、ワイプやフェードの画面切替やモザイク、セピア、モノトーン、タイトルなどの特殊効果機能も搭載しているが、これらの機能の大部分はムービー編集ソフトにも備わっているので、Macでの編集を前提としている場合は作品全体のバランスや撮影での失敗を考え、最終的な編集でのみ効果をかけることをお薦めする。

テレビやVTRへのAV出力は付属のAVワンタッチステーションを装着することでS映像を含む

*1 DVカム：DV（Digital Video）方式のビデオカメラのこと。従来の8mmビデオカメラとは違い、デジタル方式のMini-DVカセットを使う。通称「デジカム」「DV」と呼ぶこともある。
*2 FireWire：Apple社が規格策定に参加した次世代高速シリアルポートで、青白Power Mac G3/G4シリーズで標準搭載されている。正式には「IEEE1394-1995」で定義された業界標準規格であるが、たとえばソニー製品では同ポートを「iLink」と呼ぶこともある。　*3 NV-MG3の長時間バッテリー：別売オプションの長時間バッテリー「VW-VB5（24,000円）」使用時で、最大9時間の連続撮影（液晶モニター未使用）ができる。また、付属の大容量バッテリーでは、約2時間40分の連続撮影が可能。

映像と音声を出力することができる。また、本体にもミニジャック用のAV出力端子が装備されており付属のケーブルで直接AV出力することができるので、S映像を使用しないのであればこれで十分だ。AV入力に関してはDV入力のみであり、アナログAVの入力は残念ながらサポートしていない。

スチル（静止画）撮影用として外形32×24×1.4mmの小型メモリカード（MMC：マルチメディアカード）を本体前面スロットに装着することができ、付属の4MBカード（別売最大8MB）に、ファインモードで約25枚。ノーマルで約50枚。エコノミーで約100枚を記録することができる。

## Power Mac G3と接続してみる

NV-MG3とG3との接続はいたって簡単。付属のFireWireケーブルをNV-MG3のDV端子とG3のFireWire端子に差し込むだけだ。このケーブル1本でNV-MG3からの映像と音声の取り込み、G3からのNV-MG3のコントロール、NV-MG3へのムービー作品の出力が可能になる。

もちろん、従来のアナログビデオカメラからの取り込みと違い、映像と音声のデータをそのままG3に転送するので画質や音質の劣化はなく、DVの持つハイクオリティ映像をそのまま取り込むことができるのだ。

パッケージ付属のムービー編集ソフト「EditDV Unplugged ver.1.1.3」*4のキャプチャーウインドウにはDVのコントロールやオプション、キャプチャーボタンが配置されており、デバイス制御でDVコントロールのプラグインを指定すればキャプチャーウインドウでNV-MG3本体の再生をコントロールすることができる。

映像と音声のキャプチャー設定をDVにした後、DVをコントロールしてテープに収録された映像をMac上でプレビューする。プレビューウインドウには動きを優先するために、やや荒い画質の映像が表示される。取り込む場所が見つかったら、少し手前から再生しキャプチャーウインドウのキャプチャーボタンをクリックする。キャプチャーしている間はプレビューウインドウにコマ落ちした映像が表示され、再びマウスクリックするとキャプチャーが終了する。

取り込まれた映像と音声はQuickTimeムービーとして保存され、ファイル名を決定すると自動的にプロジェクトウインドウに表示される。これは編集のためにファイルを読み込んだ状態と同じであり、取り込みが終了すればすぐ編集が可能なわけだ。

DVフォーマットのムービーは高画質、高音質な分ファイル容量も大きいので、ハードディスクは可能な限り空き領域を確保することが必要。目安としては2GBで約9分のDVムービーが収録できると考えておけば間違いない。

EditDV Unplugged上での編集作業に関しては、駆け足で説明しておこう。まず編集の素材となるものは、DVからキャプチャーしたムービーとPICTなどの画像ファイル、CDやAIFFなどのオーディオファイルであり、これらを自由に組み合わせてオリジナル作品を編集していく。映像には色補正やミラーなどのフィルターや速度調整の効果をかけることができ、切り替え効果にはワイプやオーバーラップ（ディゾルブ）、音のフェードなどが設定できる。

効果をかけた映像はレンダリングすることでプレビューが可能になり、作品全体をモニターウインドウで確認しながら編集を進めていく。高画質映像を編集しているにもかかわらずストレスを感じさせないのはG3ならではである。

## できあがった作品をDVへ収録

できあがった作品をDVに収録する場合は、まずNV-MG3を再生モードにし、ファイルメニューの「ビデオに出力」から「Apple DV PTV」を選択すると、編集結果がレンダリングされFireWire経由でDVカムに出力される。出力された映像と音声はNV-MG3側のモニターで確認することができるので、ここで最終確認をおこなった後再び出力して録画を開始する。

DVテープへの録画はNV-MG3のリモコンカードを使い手動で行なうため、作品がいきなり始まると最初の部分が収録されない恐れがある。そのため、作品の前後には編集で黒画面の余白を作っておくことをお薦めする。

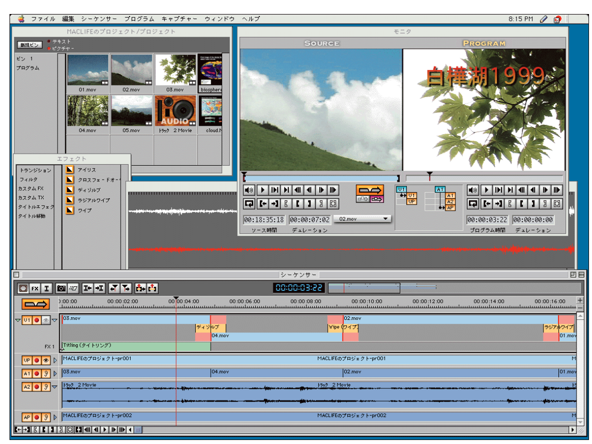
こうして高画質のビデオ作品が完成する。撮影でピンボケなどの失敗をしていない限り、DV編集のクオリティの高さは誰もが驚くはずだ。

結論として、NV-MG3はDV単体としても最新の機能を持った製品であり、ムービー編集の頻度がそれほど多くないユーザーも迷わず購入できるだけの魅力を持っている。

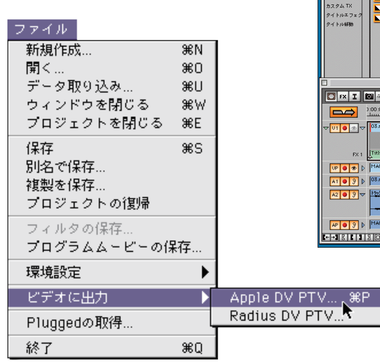
DVが決して安価な製品ではないため、このNV-MG3のようにMacとのカップリングを前提とし、Macユーザーが安心して購入できる製品が登場したことは嬉しい限りだ。　●石坂アツシ




付属のEditDV Unpluggedでは、通常のビデオリモコンの感覚でNV-MG3をコントロールしながら取り込む映像の場所を探すことができる




取り込まれた映像と音声はそのまま通常のムービー編集と同様に編集することができる




ファイルメニューのビデオに出力で、できあがった作品をNV-MG3に出力する。録画は手動になるため、綺麗に収録するためには編集時に作品前後に黒画面を入れておくなどの配慮が必要だ

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★★★ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*4 EditDV Unplugged Ver.1.1.3：　Digital Origin社（http://www.digitalorigin.com/）のノンリニアDV編集ソフト「EditDV」の機能限定版。なお、DV側のコントロールは市販のすべてのDVカムに対して可能ではなく、MacでのDV編集を前提としてDVカムを購入する場合は、EditDV側の対応機種表と照らし合わす必要がある。が、当然の事ながらNV-MG3にはその心配がいらない。

*HEWLETT PACKARD*

# HP DeskJet 970Cxi

## 普通紙でも高画質を実現するプリンターが、自動両面印刷モジュールを標準装備しての登場

### Get Information

開発元・問合せ●日本ヒューレットパッカード（株）HPカストマ・ケア・センタ（03-3335-8333、06-6838-1155）
URL●http://www.jpn.hp.com/
価格●57,800円
対応機種●USBポートを標準装備したMac
動作環境●Mac OS 8.1以降
形式●オンデマンド型サーマルインクジェットプリンター
印刷品質●2,400×1,200dpi
印刷速度●モノクロ最高：12ppm、カラー最高：10ppm
対応用紙●普通紙、インクジェット専用紙、フォト用紙、専用OHPフィルム、バナー用紙
給紙トレイ●普通紙150シート、封筒15シート、OHP30シート、ハガキ45シート
インターフェイス●双方向パラレル、USB（MacではUSBのみ対応）
サイズ●440（W）×370（D）×196（H）mm、自動両面印刷モジュール装着時：430（D）mm
重量●5.85kg、自動両面印刷モジュール装着時：6.65kg
付属ソフト●グラフィルはがき倶楽部2.0、PhotoStudio 3.0、PhotoBase、MegaStitch

### Check Point

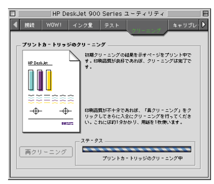
普通紙での自動両面印刷で、ページプリンターとして、専用紙で写真高画質プリンターとして使え、印刷品質も良好。コストパフォーマンスの高いモデルだ。



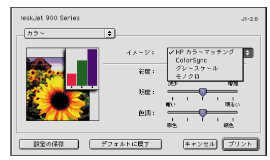


自動両面印刷モジュールは本体背面に着脱可能





付属の「HP DeskJet 900 Series Utility」でインク残量の確認やカートリッジのクリーニングも行なえる



ColorSync設定も選択可能



エコノ、ノーマル、ベスト、高解像度の4種類の印刷品質

**DeskJetシリーズの最上位機種が、静寂な動作音はそのまま、画質・印刷スピードアップ。しかも、自動両面印刷モジュールを標準装備した。**

DeskJet 895Cxiの後継機「970Cxi」は、装いも流線型の傾向を増し、よりスタイリッシュになったが、変わったのは外観だけではない。

まず、印刷解像度が895Cxiの1,200×1,200dpiから、2,400×1,200dpi（フォト紙使用時）にアップした。これは、5ピコリットルという超微量なインクで可能となった。光沢紙に印刷すると、人肌の仕上がりは非常に滑らかで、デフォルトでも色カブリは少ない。アルプスの「MD-5000」でVDフォトカラー*1を使用した印刷物と見間違えるくらいの出力結果だ。用紙の種類に合わせて、インク噴射量・スピード等が調整され、普通紙での小さな文字も、にじみが少なく、比較的シャープである。また、印刷スピードは、モノクロ最高12枚／分、カラー最高10枚／分と、前最上位機種895Cxiのモノクロ最高11枚／分、カラー最高8.5枚／分よりも速くなっている。

だが、その静寂なヘッドや紙送りの動作音は、970Cxiでも健在だ。DCサーボモーターが実現するその動作音は、まるでアイロンがけをしているかのような音で、深夜でも気兼ねなく使える。

そして今回のウリは、パーソナルインクジェットプリンターとして「世界初の自動両面印刷モジュールを標準装備」したことである。紙の節約はもちろん、大量な文章やホームページの印刷にはもってこいである（普通紙を推奨）。片方の面が印刷されると、インクが乾くまで、いったん用紙送りを止める構造になっており、表裏に画像が重なる部分でも、インクの乗り過ぎによって、紙がふやけてしまうことを、ある程度防ぐことができる。

今回テストに使用したマシンはPower Mac 7500で、当然USB*2ポートは標準装備してないが、895Cxiで動作確認済みのKeySpan社のUSBカード*3「UPCI-2」（国内正規販売代理店は（株）アスク http://www.ask-corp.co.jp/ ）をPCIスロットに差すことで、USB接続した。

他の接続手段として、「HP JetDirect300Xプリントサーバー」*4を利用して、100BASE-TXか10BASE-TでMacとEthernet接続する方法もあるが、実勢価格が2万8千円程度するので、Windows共有環境でもなければ、割高であろう。

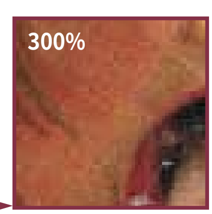
HP DeskJet 970Cxiは数多い低価格プリンター中で、頭一つ抜けたなと思わす存在だ。普通紙でも高画質で、しかも自動両面印刷ができる。そのコストパフォーマンスの高さは、日常的にプリンターを使うユーザーほど、感じるはずだ。　●KIYOE







400%



300%

光沢紙で印刷品質「ベスト」で出力

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★★ |
| 機能 | ★★★★½ |
| 操作性 | ★★★★☆ |
| マニュアル | ― |
| 総合評価 | ★★★★½ |

*1 VDフォトカラー：インクリボンを用いた溶融型熱転写方式の「MD-5000」が、2400dpi相当を再現する印刷モード。　*2 USB：MacではiMac以降採用されているシリアルインターフェイス規格。転送速度最大12Mbps。最大127台の機器が接続可能。最近のプリンタの高速処理化で、性能的にボトルネックであった従来のシリアル・ポートに代わり、USBの採用の傾向がある。　*3 USBカード：PCIスロット用のUSBカードはいくつか販売されており、値段も6～8千円程度で入手できるが、対応機種の動作確認済みのものを購入したい。　*4 HP JetDirect300Xプリントサーバー：日本ヒューレット・パッカード社のマルチプロトコル対応のプリント・サーバーで、100BASE-TXと10BASE-Tに対応。パラレル・インタフェイスを1つ搭載する。

*PANASONIC*

# LF-D102JA

## Macでも使える注目のSCSI型外付けDVD-RAMドライブ

### Get Information

開発元／問合せ●松下電器産業(株)P3カスタマーサポートセンター（03-3834-2921）
URL●http://www.pcc.panasonic.co.jp/pd/
価格●79,800円
対応機種●SCSIインターフェイスを搭載したMac
動作環境●Mac OS 7.6.1以降
インターフェイス●SCSI-2（Fast SCSI）
平均シークタイム●120ms（DVD-RAM）、85ms（DVD-ROM、PD、CD-ROM）
消費電力●約11W
サイズ／重量●168×50×245mm／1.5kg

### Check Point

ビデオ動画やCGアニメーションなど、大容量のバックアップメディアを必要とする場合にはお薦め。同時に、DVD-ROM／CD-ROMドライブとしても活用できる。



LF-D102JAの外観。サイズ的には同社のPDドライブとほとんど変わりはなく、縦置きも可能



本体背面。2個のSCSIコネクターはハーフピッチ50ピン(ピンタイプ)で、ターミネーターは内蔵型



LF-D102JAの付属品一式。SCSIケーブルは付属しないので注意しよう



2.6GB型のDVD-RAMカートリッジ



カートリッジとして挿入すればDVD-RAM／PDドライブとして使え…

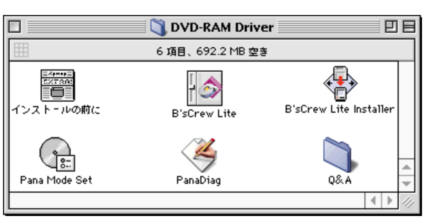


ディスクのみで挿入すればDVD-ROM／CD-ROMドライブとして機能する

**大容量記憶メディアとして注目されているDVD-RAM[*1]に対応したドライブがついに登場した。DVDの本家ともいえる松下電器から発売された「LF-D102JA」は、Macにはじめて対応した外付けSCSI接続型DVD-RAMドライブである。**

外見的には、LF-D102JA本体はコンパクトにまとまっている。好みに応じて縦置き／横置きのいずれも可能で、どちらの場合でも安定した印象を受ける。

本体前面にはメディア挿入口とイジェクトボタン、電源とアクセスのインジケーターが備わる。背面にはハーフピッチ櫛形50ピンのSCSIコネクター×2機と、SCSI ID設定用DIPスイッチ、音声出力端子（ステレオミニジャック）、電源ケーブル接続コネクターを備える。電源はACアダプターを介して接続する。20倍速CD-ROMドライブ／2倍速DVD-ROMドライブとしての性能が基本となっており、キャッシュメモリーは2MBを搭載している。




付属CD-ROMの中身。ドライバーソフト「B's Crew Lite」の他に、松下独自のユーティリティも添付されている

使用可能なメディアは、CDメディアすべてとPD、そしてDVD-ROM／DVD-RAMとなる。PDとDVD-RAMに関しては、メディアへの記録も行なえるが、書き込み方式が異なるためCD-Rドライブとしては機能しない。

再生面だけに限ると、パソコン用DVD-ROMタイトルは使えるが、残念ながらドライブ本体にMPEGデコーダーを内蔵していないので、DVD-Videoソフトを楽しむことはできない（別途MPEGデコーダーカードが必要）[*2]。DVD観賞を期待する読者は、あらかじめ注意しておこう。

記憶容量は、PDの場合650MB／DVD-RAMの場合片面2.6GB（両面メディアの場合は5.2GB）[*3]となる。DVD-RAMメディアのフォーマットはHFS／HFS Plus形式が使え、Mac OS 8.6以降ではUDF形式のディスクも使えることになっている。ただし、現行のApple社製UDFドライバーの問題で、データの書き込み時にエラーが起こるなどの不具合がある。注意点をまとめた文書がマニュアルと一緒に入っているので、必ず目を通すことをお薦めする[*4]。

メディアの挿入はカートリッジ方式とディスクをそのまま入れるダイレクトローディングの両方に対応する。カートリッジの場合は安心して挿入できるが、ディスクを直接挿入するときには、ガイドに相当するものがないために、少々不安に感じる。ガイド用の溝のようなものがあれば、印象も違うのではないかと思える。

Mac用ドライバーソフトとしては、ビー・エイチ・エー製の「B's Crew Lite」が付属。ほかにも、同社製のユーティリティーが付属しており、ツール関係はしっかりしているほうだろう。気になるMacからのデータの書き込み速度については、同社のPDと同じ相変化方式のため、速いほうではない。今回のテストでは、50MBのファイルをコピーした場合、2.6GBメディア／HFSフォーマットで2分という結果になった（ちなみにハードディスク同士だと35秒である）。

現在のところ、LF-D102JAの最大の利点は大容量にあり、記憶メディアを手軽かつ安価に扱うことができる点に集約される。とくにビデオ／CGクリエーターはバックアップ用ドライブとして検討してもよい製品だと思う。　●三谷　森

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★☆ |
| 操作性 | ★★★½☆ |
| マニュアル | ★★★☆☆ |
| 総合評価 | ★★★½☆ |

*1 DVD-RAM：DVDディスクの書き換え型フォーマットで、1枚のDVDで片面2.6GB／両面5.2GBの自由なデータ書き換えメディアとして使うことができる。　*2 DVD-Videoソフトを楽しむ方法：DVD-Video映像はMPEG2形式にエンコードされているため、パソコン上での再生にはそのデコード作業を行なうハード（もしくはソフト）が必要となる。　*3 2.6GBと5.2GB：片面2.6GBタイプのDVD-RAMカートリッジはType I型と呼ばれ、中身を取り出してDVD-ROMとして使用することができるが、両面5.2GBタイプのカートリッジはType II型といい、取り出し不可となっている。　*4 UDFとの相性：なお、松下電器によればこのUDFドライバーの不具合はMac OS 9では解消されているとのこと。

*SANYO*

# DSC-SX150

## QuickTime 3.0形式の動画撮影もできるコンパクトな150万画素デジカメ



記録メディアとしてはコンパクトフラッシュに加えマイクロドライブも対応。「動画デジカメ」としての実用性が増している

### Get Information

開発元／問合せ●三洋電機（株）マルチメディアカンパニー（0720-70-4184）
URL●http://www.sanyo.co.jp/
価格●78,000円（標準価格、税別）
形式●CCDデジタルカメラ
記録画素数●1,360×1,024～640×480 pixel（静止画／連写撮影）、640×480～160×120 pixel（動画クリップ）
記録画像形式●JPEG／TIFF（静止画）、QuickTimeムービー（動画）、Wav（音声）
電源●単3形ニッケル水素電池×2
サイズ／重量●110×63×40mm／約220g



コンパクトなDSC-SX150のボディ外観。前面のレンズカバーをスライド開閉することで瞬時に電源ON/OFFされるため、とっさの撮影にもすぐ対応できる



背面の液晶モニターと方向ボタン（左下）を使い、各種のモード選択を行なう

### Check Point

静止画に加え、簡単な動画撮影にも挑戦してみたいビギナーユーザー。搭載される動画撮影機能は決してDVカメラには及ばないが、ビギナーユースには必要十分だろう。

**三洋電機の「動画デジカメ」シリーズは、通常の静止画に加えて簡易的な動画撮影機能を提供することで独自色を出してきた人気デジカメである。今回は同シリーズの150万画素モデル「DSC-SX150」を動画撮影を中心に検証してみた。**

DSC-SX150は、外見的にはきわめてコンパクト／軽量なデジカメである。スペック的には、1/2インチCCDを採用し、液晶モニター／ファインダーを搭載、最大1,360×1,024ピクセルの静止画撮影が行なえる。つまり‘エントリー’向けのカメラとして位置付けられる製品だ。

プロ／エントリー向けを問わず数多くの製品が乱立するデジカメ業界だが、このDSC-SX150は従来のデジカメ製品とは少し違うユーザー層から注目を浴びている。なぜなら、同機には標準でQuickTimeムービー形式*1での動画クリップ（音声付き）撮影を行なう機能が提供されており、記録メディアとしてコンパクトフラッシュ（3.3V）に加えてマイクロドライブ*2に対応しているからだ。このコンビネーションによって、使い方によっては安価な「QuickTimeビデオカメラ」としても使えるわけだ。そこで、今回はとくにその動画クリップ撮影機能に注目してみよう。

動画クリップの撮影は本体上部のセレクトダイヤルを回して動画モードを選択し、あとは静止画撮影と同じようにシャッターボタンを押すことで実現できる。解像度は液晶モニターのメニュー設定を使って640×480／320×240／160×120の3モードから選択することができ、音声は本体前面のモノラルマイクからピックアップされる。操作自体はきわめて単純明解だ。

たとえば記録メディアとして8MBタイプのコンパクトフラッシュ（付属）を使った場合、640×480モードで最大10秒、160×120モードで最大1分05秒の音声付き動画が撮影が可能だ。一方、340MB型のマイクロドライブを使った場合、これらの記録時間をそれぞれ7分30秒／50分にまで延ばすことができる。インターネットでQuickTime Streaming Server*3を使ってビデオクリップ配信を行なう場合などは後者の160×120モードでも画質十分なので、撮影時間はそれなりに実用的なレベルにまで到達しているといえる。



左側面のモノラルスピーカー

撮影した動画クリップは液晶モニターや搭載Digital AV In/Out端子を使ってテレビ画面等で確認が可能。気になる消費電力だが、付属品の充電式単3型ニッケル水素電池を使って30分程度の動画クリップ撮影ができた（液晶モニターを常時点灯）。

QuickTimeビデオカメラとして使ってみた感想としては、細かいズーム機能などを欠くため、やはりパーソナル／ビギナー用途に限られるべきだろう。しかし、実売価格が5～6万円台と非常に安価で、操作インターフェイスも簡潔でわかりやすい。分野を問わず、Macユーザーならぜひ注目しておきたいデジカメのひとつである。

●鈴木太郎



動画クリップ撮影時の撮影解像度選択。使う用途に応じて細かく解像度を切り替えたい




撮影した動画はQuickTime 3形式のMovieファイルとして保存されるため、そのままMacに持ってきてもすぐに再生できる



これは160×120モードで撮影した動画をインターネット配信しているところ

| | |
|---|---|
| コストパフォーマンス | ★★★★☆ |
| 機能 | ★★★★★ |
| 操作性 | ★★★★★ |
| マニュアル | ★★★☆☆ |
| 総合評価 | ★★★★☆ |

*1 **QuickTime ムービー形式**：Mac OSに標準添付されるビデオ再生機能「QuickTime」の標準ファイル形式。なお、DSC-SX150撮影のQuickTime MovieファイルはQuickTIme 3.0非圧縮状態になっているので、QuickTIme 4(Sorenson)形式に再圧縮するとファイルサイズを大幅に縮小できる。　*2 **マイクロドライブ**：IBMが発売した42.8mm×36.4mm×5.0mm／重さわずか20gの超小型ハードディスク。170MB版と340MB版があり、コンパクトフラッシュ（Type II）スロットに装着可能。　*3 **QuickTime Streaming Server**：QuickTIme動画をインターネット上でストリーミング配信するためのサーバーソフトウェア。Mac OS X ServerやLinuxなどのUNIX系OSで動作する。オープンソース版の入手先はhttp://www.publicsource.apple.com/。

# p r e s e n t

## 1 クラシックの神髄 〜バロック〜　1名




バロックの華やかさと
厳格さが織りなす
多彩な世界を時代背景や、
作曲家、エピソードなどを
多数まじえて紹介

東京書籍　03-5390-7579
http://www.tokyo-syoseki.co.jp/

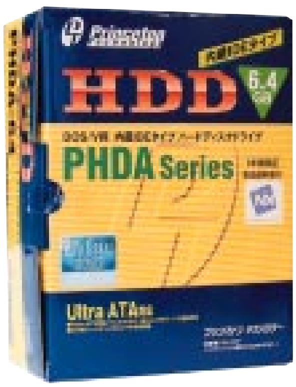
## 2 Grab Pac　1名



iMacを気軽に持ち歩けるように
作られたカバーケース

GrabPac,Inc
http://www.grabpac.com/

## 3 PHDA-64　2名




DOS/V用　内蔵IDEタイプ
ハードディスクドライブ6.4GB
iMac対応
（ただし標準搭載のHDDとの交換での取り付け）

プリンストンテクノロジー株式会社
03-3863-7131
http://www.princeton.co.jp/

## 4 ニセモン ストラップマスコット　3匹セット20名



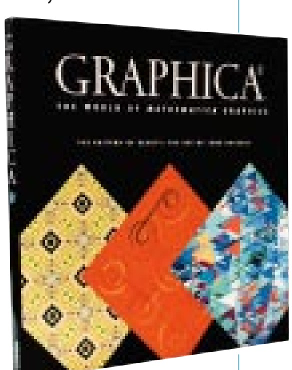
ニンキモン、イナカモン、
バカモンの3匹のかわいい
モンスターマスコットストラップ

坂本文具株式会社　03-3876-1331
http://www.nisemon.net/

## 5 GRAPHICA 2　1名

THE WORLD OF MATHEMATICA
GRAPHICSMATHEMATICAで作成する
美しい幾何学模様の
グラフィックパターンテクニック集

Wolfram media,Inc




## 6 MacromediaTシャツ　1名



Macromedia社のオリジナル大判Tシャツ

マクロメディア株式会社
http://www.macromedia.com/jp/

## 7 Newer Tシャツ　1名

Newer Technology社の
オリジナル大判Tシャツ

newertechnology,Inc
http://www.newertech.com/



## 8 マウスパッド＆携帯ストラップ　1名

Newer Technology社の
オリジナルマウスパッドと
携帯ストラップ

newertechnology,Inc
http://www.newertech.com/



**●応募方法**
巻末の綴じ込み読者はがきに、ご希望のプレゼント番号をご記入ください。CD-ROM MACLIFEに収録の「読者メール&資料請求テンプレート」にご記入のうえ、maclife@bnn.co.jp宛の電子メールでも応募できます。申し込み締め切りは、99年11月17日です（当日消印有効。メールは当日到着分まで）。なお、当選者は2000年1月号にて発表させていただきます。

MACLIFE・ASKUL**共同企画**

# Macユーザーのための
# アスクルカタログ

**http://www.askul.co.jp/**







法人（事業所）で登録すると送られてくるアスクルカタログと、添付されているCD-ROM。CD-ROMには、WindowsとMacに対応した注文ソフト「マイカタログ」が収録されている

## *SOHOに最適のシステム*

アスクル株式会社は、顧客数80万事業所を誇る日本最大のオフィス用品デリバリーサービスの会社だ。今回、MACLIFEとアスクルの共同企画「Macユーザーのためのアスクルカタログ」では、このアスクルのサービスをMacユーザーのためにMACLIFE誌上で公開してもらうことになった。

アスクルのサービスは、もともとオフィス用の文具・備品の購入などの総務的な労務を削減したい、中小規模のオフィス（SOHO＝Small Office Home Office）をターゲットに1993年に開始された。注文した商品が翌日には届く（明日来る＝アスクル）サービスが好評で、1997年5月期には年商56億円、1998年に106億円、1999年に226億円、そして今期は400億円を目標とする成長株の企業だ。

東京23区内や大阪市内なら、朝11時までに注文すれば、当日の夕方までに、それ以外でも翌日には届く（サービスエリアは北海道、沖縄および離島を除く）。2,500円以上のものなら、送料は無料で、価格も格安店にひけをとらない。支払いは、法人での利用なら、月1回請求書をもらって支払うシステムとなっている。

また、総合カタログに付属している発注ソフト「マイカタログ」を使えば、より簡単にインターネットで発注することができるとともに、履歴の保存によって、発注の内容の確認や、経費予算の管理などが可能だ。

個人ユーザーの場合は、ポータルアスクルというホームページからカード決済で購入することができる。

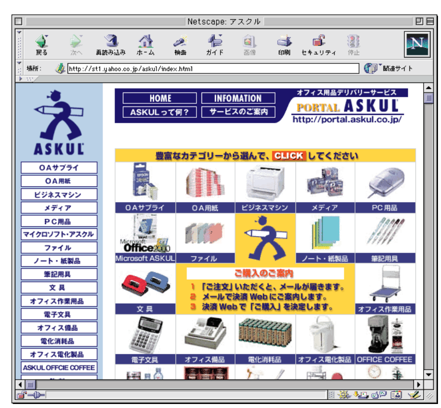
Macユーザーに多いSOHOに最適のシステムといえるだろう。



http://www.askul.co.jp/
アスクルのホームページ。アスクルの案内が見られるほか、カタログの申し込みもできる



http://portal.askul.co.jp/
個人向けのアスクルのホームページ「ポータルアスクル」。カード決済で約8,700アイテムの商品が注文できる



http://st1.yahoo.co.jp/askul/index.html
Yahooショッピング内のアスクルのホームページ

アスクル社インタビュー

# お客様のベネフィット追及と新しい価値の創造が我々の使命



代表取締役社長
岩田彰一郎氏

「アスクル」という名前は、明日届く（明日来る）からアスクルと名付けました。オフィスというクリエイティブな空間をもっとクリエイティブな場にしていただくために、オフィスで必要なサプライ商品を、時間を約束したサービスとして提供する。しかも、時間、価格、品質などそれぞれのカテゴリーでも最高のものをお届けするというのが我々のポリシーです。コンピューターサプライ商品についても、秋葉原の価格に負けない価格で、東京23区と大阪市なら朝11時までにインターネットで、ご注文いただけば、夕方6時までにはお届けできます。

我々が「物流工場」と呼んでいる東京と大阪の物流センターでは、毎日数万個の荷物を発送していますが、それが可能になっているのは、注文が入ってから15分で出荷を可能にするシステムができているからです。

また、東京のリレーションシップセンターには、百数十名の電話オペレーターがいて、毎日4,000～5,000コールのお客様からの要望をお受けしています。注文はFAXとインターネットで受けていますので、これは純粋にご要望をお受けするためだけのコールセンターです。最近ではEメールでのご要望も増えてきており、毎日400～500通のEメールをいただきます。これらのご要望は、当日のうちにすべて入力、とりまとめられ、新しいサービスやカタログに反映されています。カタログには現在8,700アイテムが掲載されており、これらはすべてをインターネットでも注文できます。9月9日から始まったYahoo!ショッピングにも参加しており、個人の方のインターネットからの注文も次第に増えています。

インターネットからの注文は、現在のところ全売上げの10%強ですが、今年度は20%を目標にしています。2005年には全売上げの70%はインターネットでの注文にしたいと考えています。本年度の総合カタログには発注用のソフト「マイカタログ」（Windows版／Mac版）を添付しました。マイカタログを使うと、インターネット経由で簡単に発注ができるだけでなく、履歴が残るので、自社の定番商品を把握し、予算を設定して、月々の予算管理もできるようになっています。もちろんカタログの更新もインターネット経由でできます。

インターネット経由の発注はアスクル側の処理が迅速に行なえ、その分を配送の時間短縮につなげることができます。さらに、オペレーションコストも安くなりますので、マイレージクラブによるキャッシュバックなどでお客様に還元しています。

アスクルはオフィス用のデリバリーサービスですので、パソコン関連の商品については、これまではWindows用の製品を中心に品揃えを行なってきました。しかし、我々のターゲットとするSOHOの中には、デザイナーやドクター、研究者などのMacユーザーが多く含まれていることもわかってきました。コールセンターに寄せられる要望の中にも、Mac関連商品の充実を望む声がたくさん寄せられています。また、我々のホームページやカタログを制作している人たちも多くはMacユーザーです。

今回MACLIFEと共同で企画を進めていく中で、Macユーザーの方にも満足いただけるようになることを望んでいます。

アスクルのサービスは、オフィスで働く人々にとって一番高い価値を提供することです。そのための「新しい価値の創造」をこれからも続けていきたいと思います。

## アスクルへの登録方法

MACLIFE・ASKULホームページ
http://www.askul.co.jp/maclife/index.html

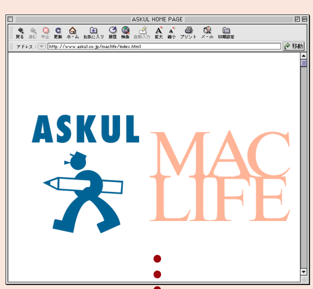
アスクルでは、法人と個人で登録方法や支払方法が異なります。

### 1）法人の場合

法人の場合は、月決めの支払いが可能です。登録方法としては、インターネットでの申し込みと、FAXでの申し込みの2つの方法があります（商品の注文はカタログ到着後）。

**●インターネットで登録**
「MACLIFE-ASKUL」のホームページで、「法人申し込み」ボタンを選択したあと、アスクルカタログの申し込みのページで、必要事項を選択してください。登録手続きが完了すると、アスクルカタログが届きます。

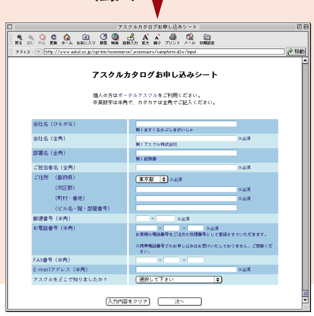
**●FAXで登録**
本誌付録のCD-ROM MACLIFEの「アスクルカタログ」フォルダーの中に「maclife登録form.pdf」というファイルが入っています。Acrobat Readerでプリントアウトして、必要事項を記入の上、「FAX.0120‐117‐881」にファックスしてください。登録手続きが完了すると、アスクルカタログが届きます。




個人



法人




### 2）個人の場合

個人の場合は、クレジットカードで決済されます。使用できるカードはダイナース・JCB・AMEX・VISA・Masterの5種類。「MACLIFE-ASKUL」のホームページで、「個人」ボタンを押してください。「ポータルアスクル」が表示されるので、商品を選択します。その後に、「支払いカウンター」で「はじめてのご利用」を選ぶと、決済システムに登録することができます。

# iMac、iBookユーザーにオススメ!

**5色のiMacの登場以来、一気に広まった色鮮やかなスケルトンブーム。**

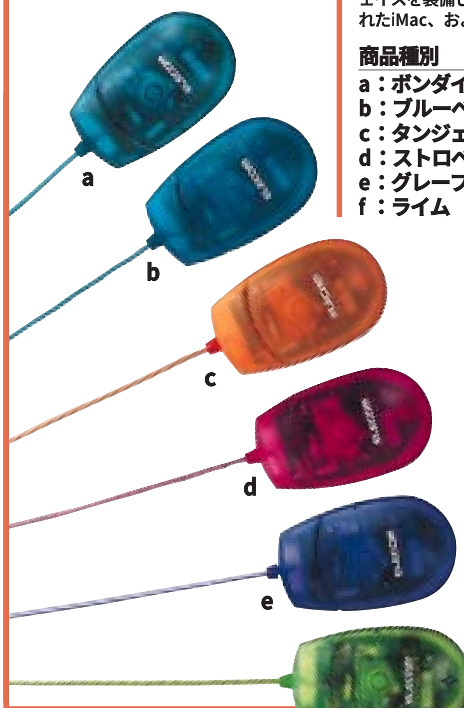
## PC周辺機器

**いずれも定価4,500円のところ 3,580円に!**

エレコム
### Macintosh用ワンボタンUSBマウス

インターフェイス：USB／分解能：400カウント／ケーブル長さ：0.65m／対応機種：USBインターフェイスを装備し、Mac OS 8.1以降がインストールされたiMac、およびPowerMac G3

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ボンダイブルー | 396-296 |
| b：ブルーベリー | 396-311 |
| c：タンジェリン | 396-302 |
| d：ストロベリー | 401-851 |
| e：グレープ | 401-860 |
| f：ライム | 401-879 |




**いずれも定価7,450円のところ 5,980円に!**




USB機器を効率的につなげるためのマストアイテムがカラフルに登場

サンワサプライ
### シースルー4ポートUSB HUB a〜e

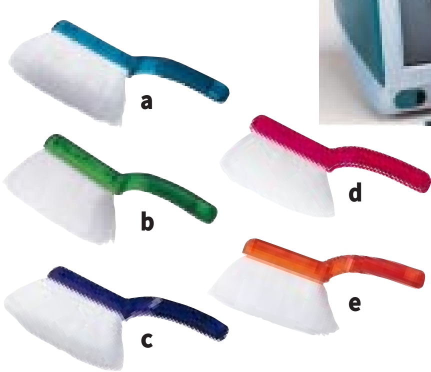
最大で4台までのUSB機器を接続することができるHUB。寸法は、いずれも、735（幅）×134（奥行）×24（高さ）mm。

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルーベリー | 401-609 |
| b：グレープ | 401-627 |
| c：ライム | 401-645 |
| d：ストロベリー | 401-654 |
| e：タンジェリン | 401-663 |

## アクセサリー

**定価1,300円が 980円**



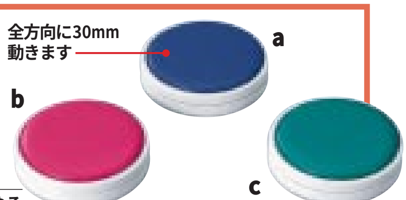



エレコム
### ハンディブラシ

5色のiMacに合わせたハンディブラシ。網状になった穂先で、ホコリと一緒に静電気も除去してくれます。ブラシ部：ポリプロピレン開繊糸／柄部：ABS樹脂

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルーベリー | 402-651 |
| b：ライム | 402-661 |
| c：グレープ | 402-670 |
| d：ストロベリー | 402-689 |
| e：タンジェリン | 402-698 |

**定価900円が 765円**





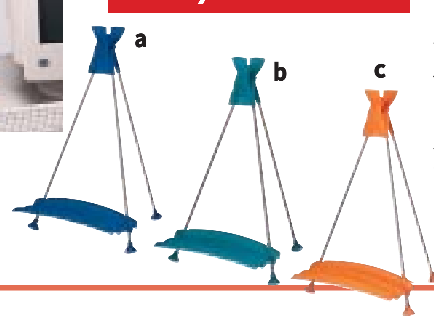

カール
### マウスターン

マウスを使う時に腕を乗せれば、360度あらゆる方向へターンすることができます。パソコン作業における腕や肩の疲れを軽減してくれます。材質：ABS（本体）、PVC（クッション）／寸法：120（直径）×23（高さ）／重量：150g

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルー | 355-168 |
| b：ピンク | 355-177 |
| c：グリーン | 355-186 |



**いずれも定価3,500円のところ 2,980円に!**




multi
### formデータホルダー

コピーホルダーとして、インフォメーションボード立てとして利用できます。使用しないときは折り畳んで収納することも可能。寸法：収納時62×426×62mm、使用時256×288×390mm材質：ポリプロピレンおよびスチール

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルー | 363-894 |
| b：グリーン | 363-901 |
| c：オレンジ | 363-910 |

# カラフルで楽しい小物がいっぱい

**マウスやHUBを始め、iMacやiBookにフィットするアクセサリーもたくさんあります。**

PC周辺機器




ケーブルを彩りも鮮やかに
すっきりまとめるホルダー

**いずれも定価780円のところ**
**638円に！**



サンワサプライ
## ケーブルホルダー

なにかと煩雑なコード類をきれいにまとめる、カラフルで便利な小物。Macのヨコに両面テープで取り付けることもできます。寸法：60（縦）×60（横）×25（高さ）mm／ケーブル巻き取り量：約1.2m（φ3.5mmケーブルの場合）／付属品：取付両面テープ

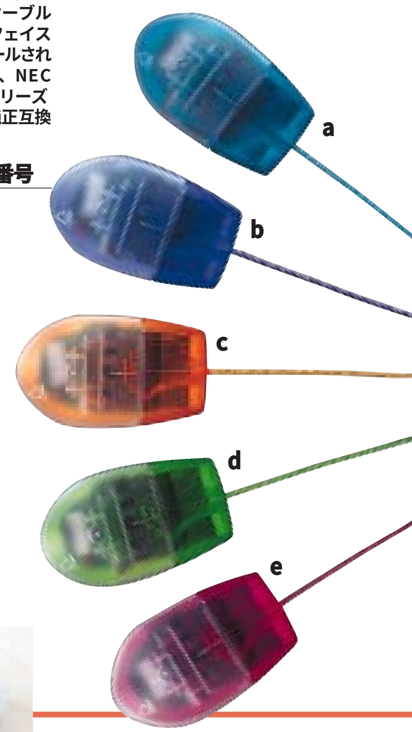
| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルーベリー | 396-699 |
| b：グレープ | 396-705 |
| c：タンジェリン | 396-714 |
| d：ストロベリー | 396-732 |
| e：ライム | 396-723 |

サンワサプライ
## スケルトンカラーUSBコンフォートマウス

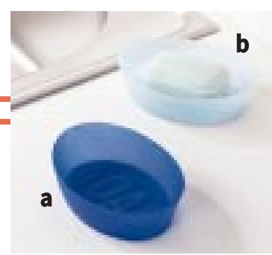
寸法：59（幅）×98（奥行）×32（厚さ）mm／インターフェイス：USB／／ケーブル長さ：1m／対応機種：USBインターフェイスを装備し、Mac OS 8.1以降がインストールされたMac。他に、各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM Think Padシリーズ
注！：Macでのボタンは、左右とも純正互換（1ボタン）機能となります。

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルーベリー | 396-518 |
| b：グレープ | 396-536 |
| c：タンジェリン | 396-554 |
| d：ライム | 396-572 |
| e：ストロベリー | 396-591 |

**いずれも定価3,700円のところ**
**2,680円に！**




アクセサリー







Lemnos
## 掛け時計

プラスチック素材特有の透明感を活かしたシンプルな時計。
寸法：248（直径）×38（厚さ）mm／材質：フレーム（ABS）／重量：620g／ステップムーブメント使用／単3電池1本付

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：オレンジ | 386-899 |
| b：ブルー | 394-971 |
| c：グリーン | 386-923 |

**定価3,000円が**
**2,700円**

**定価750円が**
**675円**

KOZIOL
## ソープディッシュ

柔らかいプラスチック製の石鹸入れ。
寸法：140（幅）×100（奥行）×35（高さ）mm／材質：ポリプロピレン

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルー | 387-733 |
| b：ライトブルー | 387-742 |

**定価380円が**
**342円**

KOZIOL
## タンブラー

落としても割れにくいP.P製のシンプルデザインのタンブラー。
寸法：80（直径）×125（高さ）mm／材質：ポリプロピレン

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ブルー | 387-798 |
| b：ライトブルー | 387-813 |




**定価2,600円が**
**2,340円**

UMBRA
## ゴミ箱ガルボカン

こちらは少々大きめの取っ手付きゴミ箱。用紙入れやカサ立てにも。
寸法：342（縦）×330（横）×432（高さ）mm／材質：ポリプロピレン／容量：19.7ℓ

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ライトブルー | 387-091 |
| b：ホワイト | 387-081 |




**定価1,800円が**
**1,620円**

UMBRA
## ゴミ箱ガルビーノカン

おしゃれなオフィスにフィットする、小型の取っ手付きゴミ箱。
寸法：267（縦）×254（横）×330（高さ）mm／材質：ポリプロピレン／容量：9ℓ

| 商品種別 | お申し込み番号 |
|---|---|
| a：ライトブルー | 386-951 |
| b：ホワイト | 387-063 |



# 大容量時代に対応するさまざまな

アスクルの中でも売れ筋の商品はMOやCD-Rなどのメディア類だ。

## 230MOディスク

日本の大容量メディアのスタンダード

Macフォーマット（50枚入）1枚あたり **396円！**



SONY
### 230MB MOディスク（Macフォーマット済）

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 310-291 | ¥569 | ¥569 |
| プラケース入1パック（5枚入り） | 310-282 | ¥2,080 | ¥416 |
| プラケース入1箱（50枚入り） | 310-273 | ¥19,800 | ¥396 |
| 抗菌タイプ | | | |
| プラケース入1枚 | 375-035 | ¥590 | ¥590 |
| プラケース入1パック（5枚入り） | 378-636 | ¥2,280 | ¥456 |

Macフォーマット（50枚入）1枚あたり **421.9円！**



TDK
### 230MB MOディスク（Macフォーマット済）

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 335-657 | ¥559 | ¥559 |
| プラケース入1パック（5枚入り） | 310-489 | ¥2,290 | ¥458 |
| お徳用1パック（10+1枚入り） | 381-364 | ¥4,660 | ¥423.7 |
| 業務用 | | | |
| 紙箱入り1箱（50枚入り） | 520-941 | ¥21,095 | ¥421.9 |

Macフォーマット（50枚入）1枚あたり **385.2円！**



テイジン
### 230MB MOディスク（Macフォーマット済）

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 331-219 | ¥589 | ¥589 |
| 紙箱入1パック（5枚入り） | 319-143 | ¥2,180 | ¥436 |
| プラケース入1パック（10枚入り） | 349-868 | ¥4,050 | ¥405 |
| 業務用 | | | |
| プラケース入1箱（25枚入り） | 521-643 | ¥9,970 | ¥398.8 |
| プラケース入1箱（50枚入り） | 521-616 | ¥19,260 | ¥385.2 |

Macフォーマット（11枚入）1枚あたり **427.2円！**



FUJIFILM
### 230MB MOディスク（Macフォーマット済）

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 319-377 | ¥610 | ¥610 |
| プラケース入1パック（5枚入り） | 386-932 | ¥2,410 | ¥482 |
| お徳用1パック（10+1枚入り） | 387-036 | ¥4,699 | ¥427.2 |

Macフォーマット（5枚入）1枚あたり **796円！**



SONY
### 640MB MOディスク（Macフォーマット済）

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 321-491 | ¥880 | ¥880 |
| プラケース入1パック（5枚入り） | 321-517 | ¥3,980 | ¥796 |

Macフォーマット（6枚入）1枚あたり **795.4円！**



TDK
### 640MB MOディスク（Macフォーマット済）

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 310-461 | ¥932 | ¥932 |
| プラケース入1パック（5枚入り） | 316-301 | ¥4,290 | ¥858 |
| プラケース入1パック（5+1枚入り） | 388-061 | ¥4,772 | ¥795.4 |

# バックアップ用メディア

売れ筋だけに値段も安い。ボリュームがあっても、オフィスまで届けてもらえるから安心、便利。

CD-R／ZIPディスク／スーパーディスク

安価なバックアップ用のメディアとして人気の高いCD-R

## CD-R

簡易パック（100枚入）1枚あたり **149円!**




1枚ずつ不織布に入っています

TDK
### CD-Rディスク(74min 650MB)

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| 1パック(10枚入り) | 387-500 | ¥1,590 | ¥159 |
| 業務用 1箱(100枚入り) | 522-131 | ¥14,900 | ¥149 |

プラケース入り（100枚入）1枚あたり **158円!**




1枚ずつプラケースに入っています

SONY
### CD-Rディスク(74min 650MB)

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| 1パック(10枚入り) | 321-615 | ¥1,680 | ¥168 |
| 業務用 1箱(100枚入り) | 510-514 | ¥15,800 | ¥158 |

プラケース入り（100枚入）1枚あたり **163.9円!**




1枚ずつプラケースに入っています

TDK
### CD-Rディスク(74min 650MB)

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| 1パック(10枚入り) | 316-311 | ¥1,690 | ¥169 |
| 業務用 1箱(100枚入り) | 510-523 | ¥16,390 | ¥163.9 |

ドラムケース入り（50枚入）1枚あたり **165.8円!**

円筒形のドラムケースにCD-Rがそのまま50枚入っています。




TDK
### CD-Rディスク(74min 650MB)

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | 価格 | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| ドラム入り1パック(50枚入り) | 387-116 | ¥8,290 | ¥165.8 |

## OTHER

Macフォーマット（5枚入）1枚あたり **936円!**




iMac対応のドライブとして注目を集めたスーパードライブ対応メディア

IMATION
### スーパーディスク(Mac用)

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | アスクル価格(定価) | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| プラケース入1枚 | 375-401 | ¥980 (¥2,200) | ¥980 |
| プラケース入1パック(5枚入り) | 394-999 | ¥4,680 (\11,000) | ¥936 |

Macフォーマット100MB（5枚入）1枚あたり **1,576円!**

Power Mac G3で標準搭載されたZipドライブ対応メディア




FUJIFILM
### ZIPディスク(Macフォーマット済)

| パッケージ/単位 | お申し込み番号 | アスクル価格(定価) | 1枚あたり |
|---|---|---|---|
| 100MB | | | |
| プラケース入1枚 | 315-485 | ¥1,730(¥2,680) | ¥1,730 |
| プラケース入1パック(3枚入り) | 349-993 | ¥5,090(\7,800) | ¥1,696.7 |
| プラケース入1パック(5枚入り) | 319-401 | ¥7,880(\12,730) | ¥1,576 |
| 250MB | | | |
| プラケース入1枚 | 386-914 | ¥2,498(¥2,780) | ¥2,498 |

# 最新のMac用プリンターが

Macを買ったら、絶対欲しくなるのがプリンター。

プリンター／専用ペーパー

エプソン
## PM-770C

6ピコリットルのインク滴とマルチサイズドットテクノロジーでインクの粒子を消して、6色インクによって繊細な色の表現を実現。A4対応。USBポートを標準装備。
解像度：1,440 dpi×720 dpi／用紙サイズ：A6縦～A4縦／給紙容量：A4最大100枚、ハガキ30枚／寸法：429(幅)×261(奥行)×167(高さ)mm／重量：約5.2kg／消費電力：約18W／インターフェイス：シリアル＆USB対応
プリンターケーブルは付属していません。

お申込番号　366-822

定価59,800円を
**41,800円に!**

A4
1,440dpi

インクジェットプリンターの
超人気製品
ディスカウント価格で提供！



定価44,800円を
**31,800円に!**

ヒューレットパッカード
## HP DeskJet 880C

ColorSyncに対応し、色を自動的に最適化するカラーインクジェットプリンター。モノクロ最速9ppm（1分間にA4サイズ9枚出力）、カラー最速 6.5ppm（同6.5枚出力）の高速印刷ながら音が静か。給紙、排紙がすべて前面でできるのも嬉しい。USB専用。
解像度：1,200dpi×1,200dpi／用紙サイズ：A4～ハガキ／給紙容量：A4最大100枚、ハガキ30枚／寸法：446(幅)×355(奥行)×185(高さ)mm／重量：約5.5kg／消費電力：最大30W／インターフェイス：USBのみ
プリンターケーブルは付属していません。

お申込番号　385-425

高性能写真画質を実現する
究極の快適プリンタ

NEW



A4
1,200dpi

A4
1,440dpi

手軽に高画質プリントが
楽しめるパーソナルモデル



定価39,800円を
**28,800円に!**

エプソン
## PM-680C

USB専用の低価格インクジェットプリンター。6色インクの採用によるスーパーマイクロドット方式で、1,440dpiの高画質を実現。A4対応。
解像度：1,440dpi×720dpi／用紙サイズ：A4～ハガキ／給紙容量：A4最大100枚、ハガキ30枚／寸法：429(幅)×250(奥行)×165(高さ)mm／重量：約5.2kg／消費電力：約15W／インターフェイス：USBのみ
プリンターケーブルは付属していません。

お申込番号　382-138

ASKULオリジナル



カラーコピー機や
カラーレーザープリンターで
鮮やかな色彩を再現

アスクル
## ハイグレードカラーコピー機用ペーパー

厚さは四六換算70kg（81.4g/㎡）と、適度な厚みがありますからプレゼンテーション用にオススメ！　クリアな色彩が再現でき、保存性にも優れた、ハイグレードなカラーコピー機用ペーパーです。
●カラーコピー機用、普通コピー機（PPC）レーザープリンター対応
●1包500枚入●四六換算／70kg（81.4g/㎡）●紙厚／96 μm●静電転写、レーザー静電写方式のカラーコピー機で使用できます。

| 商品種別 | お申込番号 | 価格 |
|---|---|---|
| a：A3　1包（500枚） | 376-293 | ¥1,796 |
| b：B4　1包（500枚） | 370-281 | ¥1,396 |
| c：A4　1包（500枚） | 325-525 | ¥898 |

注：1包単位でお申し込み下さい。
注：インクジェット方式のプリンター、FAXなどには対応していません。



A4 2,500枚入
1包(500枚)あたり
**799円!**

アスクル
## ハイグレードカラーコピー機用ペーパー業務用パック

| 商品種別 | お申込番号 | 価格 |
|---|---|---|
| d：A3　1パック(1,500枚) | 521-840 | ¥4,999 |
| e：B4　1パック(2,500枚) | 521-831 | ¥6,299 |
| f：A4　1パック(2,500枚) | 521-821 | ¥3,995 |

注：dは1パック500枚×3包、eとfは、1パック500枚×5包
注：1パック単位でお申し込み下さい。

# お手頃価格で勢揃い！

アスクルでは、パーソナル向けのプリンタも各種取りそろえています。

プリンター／インクカートリッジ

**定価79,800円を 59,800円に！**

A3ノビ 1,440dpi

## A3ノビにも対応し、ビジネスにも最適な高画質プリンタ



エプソン
### PM-3000C

PM-770Cの上位機種。A3ノビ対応。770C同様に、6ピコリットルのインク滴とマルチサイズドットテクノロジーでインクのツブツブを消すと同時に、6色インクによって繊細な色の表現を実現。
解像度：1,440dpi×720dpi／用紙サイズ：A3ノビ〜ハガキ／給紙容量：A3ノビ最大100枚、ハガキ30枚／寸法：578(幅)×286(奥行)×175(高さ)mm／重量：約7.5kg／消費電力：約18W／インターフェイス：シリアル＆USB対応
プリンターケーブルは付属していません。

**お申込番号　366-804**

## Macユーザーに信頼の厚い定番プリンター

A4 2,400dpi

**定価59,800円を 51,800円に！**



アルプス
### MD-5000

普通紙でも2,400dpi相当の写真画質印刷を実現したマイクロドライ（溶融型）カラープリンター。顔料系インクのため水や光に強い特性があります。金銀などの特色インクも使えます。給紙、排紙がすべて前面でできるのもうれしい。
解像度：1,200dpi×600dpi、VDフォト2400dpi相当／用紙サイズ：A4〜ハガキ／給紙容量：A4最大100枚、ハガキ30枚／寸法：W462×D300×H190mm／重量：約5.2kg／／消費電力：最大40W／インターフェイス：別売りのUSB変換ケーブルまたはSCSIアダプタ（申込番号<415-581>）が必要

**お申込番号　396-035**

NEW

## Eternet、IEEE、USBポートを持つ、ネットワーク万能モデル



**定価99,800円を 76,800円に！**

A4 1,440dpi

エプソン
### EM-900CN

モノクロ最速 9ppm（1分間にA4サイズ9枚出力）、カラー最速7ppm（同7枚出力）の高速プリンターながら、マルチサイズドットテクノロジーにより写真画質を実現。100BASE-TX、10BASE-T対応。
解像度：1,440dpi×720dpi／用紙サイズ：A4〜A6／給紙容量：A4最大100枚、ハガキ30枚／寸法：最大467(幅)×296(奥行)×199(高さ)mm／重量：約8.4kg／消費電力：最大30W／インターフェイス：USB対応、100BASE-TX、10BASE-T
プリンターケーブルは付属していません。

**お申込番号　382-156**

## プリンターには欠かせないインクジェットカートリッジも充実！



| メーカー | 適応機種 | メーカー型番 | 商品種別 | 単位* | お申込番号 | 定価 | 価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| エプソン | PM-770C | ❶IC5CL02 | 5色一体型 | 1個 | 366-054 | ¥1,500 | ¥1,330 |
| | | ❷IC5CL02W | 5色一体型 | 1パック(2個入) | 366-063 | ¥2,400 | ¥2,130 |
| | PM-770C、PM-3000C | ❸IC1BK02 | 黒 | 1個 | 366-072 | ¥1,500 | ¥1,330 |
| | | ❹IC1BK02W | 黒 | 1パック(2個入) | 366-081 | ¥2,600 | ¥2,190 |
| | PM-3000C | ❺IC5CL03 | 5色一体型 | 1個 | 366-036 | ¥2,000 | ¥1,780 |
| | | ❻IC5CL03W | 5色一体型 | 1パック(2個入) | 366-045 | ¥3,200 | ¥2,840 |
| | EM-900C/900N | ❼IC1BK04 | 黒 | 1個 | 379-867 | ¥3,500 | ¥3,100 |
| | | ❽IC3CL04 | 3色一体型 | 1個 | 379-885 | ¥4,800 | ¥4,200 |
| | PM-600C/670C/680C/700C/750C/2000C | ❾PMIC1C | 5色一体型 | 1個 | 316-400 | ¥1,500 | ¥1,310 |
| HP | DeskJet710C/720C/880C/895Cxi/1120C | ❿C1823DA#ABJ | 3色一体型 | 1個 | 395-029 | ¥4,600 | ¥4,080 |
| アルプス | MD-1500J/D、MD-5000 | ⓫MDC-FLCK | ブラック | 1個 | 357-977 | ¥650 | ¥570 |
| | MD-1500J/D、MD-5000 | ⓬MDC-FLCC | シアン | 1個 | 357-986 | ¥650 | ¥570 |
| | MD-1500J/D、MD-5000 | ⓭MDC-FLCM | マゼンタ | 1個 | 357-995 | ¥650 | ¥570 |
| | MD-1500J/D、MD-5000 | ⓮MDC-FLCY | イエロー | 1個 | 358-007 | ¥650 | ¥570 |

# Macユーザーの必需品

**データのバックアップに欠かせない大容量MOドライブや高速ZIPドライブ、インターネットに最適のモデムやターミナル、**

230MOドライブ／モデム／TA

**定価74,500円を 56,680円に！**

大容量化時代に対応するバックアップ装置の本命




メルコ
## 640MOドライブ MOS-S645R/A

**対応機種および対応OS**
SCSI接続が可能なMacintosh／漢字Talk7.5以降、Mac OS 8.5対応
**付属品**
640MB MOディスク1枚／ドライバーソフト（B'sCrew 2）／SCSIケーブル
**主な特徴**
640MB/540MBでは高速4,500rpm、230MB/128MBでは超高速5,150rpmを実現する「リアル･ターボ」機能搭載●縦置き横置き両対応●アクティブターミネータ機能本体内蔵。●データの書込みを効率化する「リアル・キャッシュ」搭載。●ダイレクトオーバーライト対応。●640MB/540MB/230MB/128MBのリード、ライトに対応●外形寸法：121（幅）×200（奥行）×38（高さ）mm●重量：860g（ドライブ本体）

**お申込番号　401-780**

**定価9,800円を 8,680円に！**

高速モデムもお買い得！



メルコ
## 56kbpsモデム IGM-B56K

**対応機種および対応OS**
対応機種：Apple モデムポート搭載 Macintosh、PowerMacintosh、PowerBook／対応OS：MacOS7.6以降
**付属品**
●本体（IGM-B56K）●モジュラケーブル(1.7m)●RS-232Cケーブル(1.2m / D-sub9ピンーD-sub9ピン)●Macintosh用シリアル変換ケーブル(14cm / D-sub9ピンーMINI8ピン)●延長コネクタ●ACアダプタ●ドライバディスク
**主な特徴**
●低価格の外付型インターネットモデム●56kbps高速データモデム機能搭載●V.90とK56flex両プロトコルに対応●14.4kbps G3 FAXモデム機能搭載●Rockwell社製チップ搭載●Windows、Macintosh両対応。

**お申込番号　393-516**

**Aterm IT75D（DSU内蔵） 定価42,800円を 36,380円に！**

**Aterm IT75 定価34,800円を 29,580円に！**

USB対応の大人気ターミナルアダプタ

NEC
## ターミナルアダプタ Aterm IT75D、IT75



**対応機種および対応OS**
MiniDIN8pinのシリアルポートを備えた全Macintosh（USBポートについては，PC-9821をのぞくWindowsマシンのみ対応）／対応OS：漢字Talk 7以上
**主な特徴**
接続回線：INSネット64またはOCNエコノミー回線／DSU機能：AtermIT75/Dのみ内蔵（折り返し機能有）／データ端末インターフェイス：USB（2ポート），V.24/V.28（RS-232C）／アナログ端末インターフェイス：3ポート，端末3台までのブランチ接続が可能／寸法：57（幅）X182（奥行）X142（高さ）mm（縦置スタンド添付。突起部分除く）／重量：約810g（本体のみ）
通信速度●PIAFS:32kbps，非同期：28.8/38.4/57.6kbps，同期：64/128kbps（非同期/同期PPP変換（64kbps），マルチリンクPPP通信またはOCNエコノミー通信は128kbps時のみ）

**お申込番号　Aterm IT75D（DSU内蔵）　371-850**
**Aterm IT75　371-822**

**31,800円**

コンパクトで軽いボディ 250MBを高速転送




フジフィルム
## ZIPドライブ ZDR250 SCMS A
**250MB対応／100MB対応**

**対応機種および対応OS**
本体：MacintoshSE以上。2倍速以上のCD-ROMドライブ、8MB以上の実行可能なRAM、30MB以上のHDD空きスペース／OS：漢字Talk7以上。Mac OS 8以上／インターフェイス：FAST SCSI　※PowerBookには市販のPowerBook用SCSIアダプタ（D-sub25ピンメス-HDI30オス）が必要。
**付属品**
インストール用フロッピー／Zip250ディスク（ブランク）1枚／SCSIケーブル（D-sub25ピン オス-メスタイプ）
**主な特徴**
●ATOMM技術が実現した大容量250MB●従来のZipディスク（100MB）も読み書き可能な下位互換●パワースイッチ&オートパワーオン機能搭載●約2.4MB/S（SCSI接続時・Zip250MBディスク使用）の高速アクセス●データ転送レート：SCSIの場合は、最大2.4MB/S●回転数：2,941rpm●平均シークタイム：29ms●最大寸法：139（幅）×190mm（奥行き）×42mm（高さ）●重量：約450g

**お申込番号　393-721**

アスクルでは、デスクやイスなど、オフィス用家具もページ取り扱っています。詳しくは、Webページで



# 便利で役立つ周辺機器

**さらには最近大人気の高画素デジタルカメラもお買い得価格で各種取り揃えています。**

## デジタルカメラ



**230万画素の高画質で3倍ズーム付き！**

**定価99,800円を 81,200円に！**

FUJIFILM
### FinePix2900Z

画素数230万画素を持ち、写真画質に迫る高精細画像を実現。高解像度3倍ズームレンズ搭載、充実のマニュアル撮影機能、軽量で堅牢なボディ、簡単にバランスのよい構図で撮影できるようにしてくれる「ベストフレーミング機能」、多彩なエフェクト機能も満載のハイエンドモデル
重量：800g／材質：マグネシウム合金／色：シルバーメタリック／フジノン光学式3倍ズームレンズ／総画素数：230万（記録画素数1800×1200pixel）／シーン自動認識オートホワイトバランス

**お申込番号 395-341**

**定価62,800円を 51,800円に！**



**世界最小にして、最軽量の150万画素デジカメ**

FUJIFILM
### FinePix1500

150万画素クラスで世界最小にして、最軽量！ 多彩なPC接続、簡単にバランスのよい構図で撮影できるようにしてくれる「ベストフレーミング機能」、美肌モード・クロスフィルターモード・セピアモードなど、多彩なエフェクト機能も満載
重量：600g／材質：アルミ合金／色：シルバーメタリック／総画素数：150万（記録画素数1280×1024pixel）／シーン自動認識オートホワイトバランス

**お申込番号 395-332**

**定価79,800円を 63,800円に！**

**この価格でズーム付き！**



Canon
### PowerShotA50

131万画素、2.5倍ズームレンズ搭載、1.2MBのバッファ内蔵など、充実のハイスペック
寸法：103（幅）×37.3（奥行）×68（高さ）mm／重量：260g／総画素数：130万画素 Large 1280×960 Small 640×480pixel／記録画像枚数：8Mのコンパクトフラッシュカードで、高画質モード時は23枚、標準画質モードでは、43枚

**お申込番号 394-003**

---

ユーザーインタビュー

## アスクルで雑用が激減

スタジオスーパー
**佐藤豊彦さん**

**スタジオスーパーは、渋谷区神南にオフィスを構える従業員12名ほどのデザイン事務所だ。界隈には、東急ハンズやLOFTなど文具・画材店なども多く、買い物には不自由しない。しかし、スタジオスーパーでは数年前から、アスクルを利用しており、今ではアスクルはなくてはならないものだという。アスクルを利用する利便性や今後の要望について聞いた。**




佐藤さんのイラストを使った『サリダ』の表紙



若手のスタッフと打ち合わせ中の佐藤豊彦さん。アスクルがMacの周辺機器や消耗品を扱っていることを知らなかったという

イラストレーターであり、代表でもある佐藤さんによると、一番のメリットはアスクルだけで事務所内で必要なもののほとんどがそろってしまうことだという。以前は若手のデザイナーの人が、紙袋はここ、ボールペンはそこ、お茶はどこというように、社内で必要になる用品や消耗品を1つひとつ違うお店に注文したり、買いにいったりしており、Macのデータベースでその方法やお店のデータを管理していたという。しかし、今ではアスクルに頼めばたいていのものは事足りるため、それまでのノウハウは必要なくなったという。また、お店に買いにいけば現金が必要で、そのたびに、重いものを持って帰って出勤伝票を切らなければいけなかったのが、今では事務所内で仕事をしながら待っていればいいだけだ。

「新人のデザイナーには、先輩デザイナーがどこに買いに行きなさいとか、どんなものを買ってきなさいとか、教えることも結構大変だったのですが、今ではアスクルで頼んでおいてというだけで済んで楽そうです」

今アスクルで頼んでいないのはカラープリンター用に必要な厚手のコピーペーパーや、「デザイナーが持って、かっこいいと思えるボールペンやマジック」など、ちょっと特殊なものだけだということだった。

Macの周辺機器などはどうか聞いてみたが、パソコン関連の商品をアスクルが扱っていることを知らなかったという。今後商品が充実するのであれば、是非買いたいとのことだ。

「故障した時などにとても困りますから、うちではハードディスクやMOドライブなどは、必ず複数台購入するようにしています。ですから、ハードウェアを届けてもらえるとしたら、とても嬉しいですね。あとは、保険が付けられたりするといいのですが」

渋谷という恵まれた環境の中にあっても、若手の人に本来のクリエイティブな仕事をしてもらって、荷物はアスクルに事務所まで届けてもらえるというメリットは非常に大きいようだ。

見ればわかる Mac活用語辞典

text & Illustration
インフォメディア

# グラフィックソフトの巻

## Draw Soft
［ドロー系ソフト］

コンピューターグラフィックスのソフトウェアは、
ドロー系とペイント系の2つの分野に大別される。
前回のペイント系ソフトに続いて、
今回はドロー系ソフトとして名高い
Illustratorの代表的な機能を紹介しつつ、
その用語を探ってみよう。
ちなみにこの辞典のイラストは、
毎回ほとんどIllustratorで描かれている。



# ドロー系ソフトとは

前回も触れたが、グラフィックスソフトには、小さな四角形に色を塗って絵を描くペイント系のソフトと、点や線、面の集合で絵を描くドロー系ソフトの2つがある。

ペイント系ソフトは手軽に絵が描けて、微妙なグラデーションやぼかし、にじみの効果などを表現するには非常に便利だが、拡大・縮小、変形するとピクセルが削除されたり、ピクセルが追加されたりして、元の画像より汚くなってしまうことがある。また、画像の寸法や解像度が大きくなるとファイル容量も大きくなり、扱いにくくなってしまうこともある。

ドロー系ソフトは、ぼかす効果は出しにくいが、微妙な制御が可能で、正確な線や図形を描くことができ、拡大・縮小、変形なども簡単に行なうことができる。画像の寸法が大きくても、ペイント系ソフトで描いた画像ほど、ファイル容量は大きくならない。

ドロー系ソフトは、一般的に単にドローソフトを呼ばれるものと、PostScript対応ドローソフトの2つに大別される。以前は、スプライン関数を使ったスプライン曲線で曲線を描くドローソフト、アンカーポイントとハンドルを使ったベジェ曲線で曲線を描くPostScript対応ドローソフトという違いがあったが、最近ではドローソフトでも、アンカーポイントとハンドルによって曲線が制御できるものも増え、判別が難しく、現在ではPostScriptに対応しているかどうかで区別されている。

PostScriptとは、米アドビシステムズ社が開発したページ記述言語。ページ記述言語とは、ページプリンターで1ページ全体をベクトルデータに置き換えて印刷する方式。

Illustratorは、このPostScriptに対応しているドロー系ソフトで、Illustrator上で描画した線や図形は、すべてこのPostScript言語でファイルに保存される。テキストエディターで、Illustratorのファイルを無理矢理開いてみると、訳のわからない文字がたくさん記述されている。これがPostScript言語だ。

PostScriptは、アプリケーション上で作成された文字や図形をベジェ曲線などのベクトルデータ、画像をビットマップデータに変換し、プリンターやイメージセッターの解像度に合わせて出力する。そのため、ベクトルデータには解像度というものは存在しない。Illustratorで作成した文字や図形データも解像度を持たず、作成した画像データの解像度に依存するペイント系ソフトとは異なり、実際に描いた図形を拡大して出力しても元のクオリティを保ったまま印刷できる。

ドローソフトとしては、クラリスワークスのドロー機能、Canvas、CorelDRAWなどが有名。PostScript対応ドローソフトには、今回取り上げたIllustratorやFreeHandなどがある。

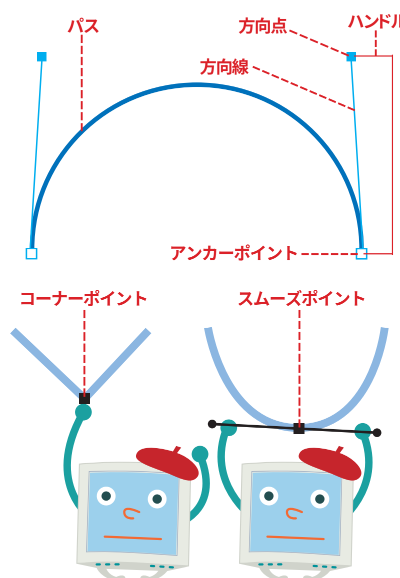


## ベジェ曲線

Illustratorは、パスと呼ばれるラインを使って図形（オブジェクト）を描く。個々のオブジェクトは、座標値や大きさ、角度などをベクトルデータという数値データで持っているため、拡大・縮小するときもベクトルデータだけが変更され、ピクセル単位で描くペイントソフトのように、拡大することでジャギーが目立つこともない。ただし、ベクトルデータで管理されているといっても、ユーザーが数値入力して操作するわけではなく、基本的にはマウス操作でパスの描画や編集が行なわれる。Illustratorで作る1本の直線は始点と終点となる2つのアンカーポイントでできている。曲線の場合は、そのアンカーポイントから方向線が伸び、方向線の端には方向点と呼ばれるコントロールポイントが作られる（これらを総称して「ハンドル」と呼ぶ場合もある）。その方向点を移動させることで、曲がる方向や角度がコントロールできる。アンカーポイント、方向点、方向線はいずれもプリントできない。あくまでもパスを操作するためにモニター上だけで表示されるものだ。こうした方法で曲線を操る仕組みを、考案者であるフランス人のベジェ氏の名前を付けてベジェ曲線と呼んでいる。PostScriptフォントもベジェ曲線で作られており、拡大・縮小しても滑らかな輪郭の文字が描かれる。TrueTypeフォントもベジェ曲線の仕組みで作られているが、PostScriptのベジェ曲線の仕組み（3次ベジェ曲線）とは厳密な意味で異なる方法（2次ベジェ曲線）を採用している。

## オブジェクト

操作を行なう対象、あるいは選択できる対象のことをオブジェクトと呼ぶ。Illustratorの場合は、1本のパスで描かれた線をオブジェクトと呼ぶ場合もあれば、直線や曲線で描かれた複雑な図形全体をオブジェクトと呼ぶ場合もある。




直線のパス作成の場合は、ペンツールを選択し、ウインドウ上でマウスをクリックすることで、コーナーポイントが得られる。曲線のパス作成の場合は、ウインドウ上でペンツールを使いマウスをドラッグすることで、ハンドルのついたスムーズポイントが得られる

# 見ればわかるMac活用語辞典



お嬢さんとのはかない恋に別れを告げて旅立ったお弟子さんは、立派な絵描きを目指し、パリに向かった

グラフィックソフトの巻

## Adobe Illustrator

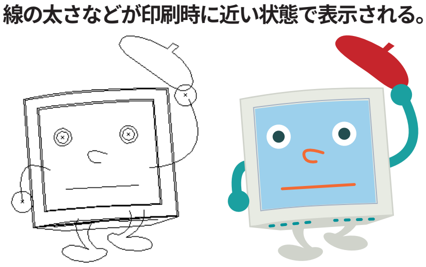
［アドビ・イラストレーター］

ページ記述言語のPostScriptに対応したドローソフト。アンカーポイントとハンドルでパスを描き、図形を描画する。幾何学的な図形、タイプフェイスを組み合わせて作るシンボルマーク、製図用途でも活用できるテクニカルイラスト、グラフをビジュアルに見せるインフォメーショングラフィックス……など、さまざまなイラストを作成することができる。さらに、文字や写真などを配置したページレイアウト（DTPデザイン）も可能。作られたグラフィックスは、パーソナルユースのプリンターから商業印刷物用のイメージセッターまで、多くの出力機でプリントアウトできる。現在のバージョンは、8.0。

## アートワークとプレビュー

［artwork & preview］

Illustratorにはアートワークとプレビューという2つの画面モードがあり、作業状況に合わせて切り替えて使う。アートワーク表示は、描いた絵の輪郭線だけを細い線で表示する。オブジェクトがいくつも重なるときでもすべて表示されるため、他のオブジェクトの下になっているオブジェクトも編集しやすい。プレビュー表示は、描いた絵の印刷イメージを表示する。塗りつぶしの色や線の太さなどが印刷時に近い状態で表示される。


左がアートワークモードで、右がプレビューモード。プレビューでは色を確認しながら作業ができる。一方、アートワークでは背面に隠れたオブジェクトを選択しやすいので2つのモードを切り替えながら作業をすると便利である

## カラーとスウォッチ

［color & swatch］

Illustratorでは大きく分けて、スポットカラー（特色）とプロセスカラー（グレースケール、RGB、CMYK、HSBの4つのカラーモードからなる）、レジストレーションカラー（トンボやトリムマークに使用する）の3つのカラータイプを使用することができる。Illustratorは、画像ファイル全体にしかカラーモードを設定できないPhotoshopとは異なり、各オブジェクトごとに異なるカラータイプを割り当てられる。なお、各オブジェクトに使用する色は、カラーパレットで設定するが、設定した色をスウォッチ（色見本）として［スウォッチ］パレットに登録しておくことも可能だ。

## グラデーション

［gradient］

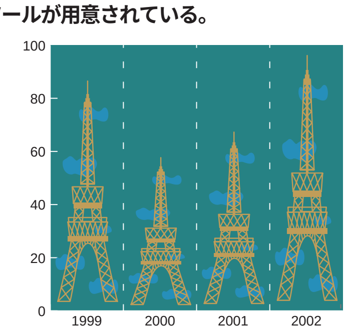
ある色から別の色へ、連続的に段階をおって変化させていく手法。Illustratorでは、オブジェクトにグラデーションをペイントしたり、独自のグラデーションを作成することができる。Illustrator 8.0のグラデーションメッシュは、1つの図形内に複数のポイントを作成し、ポイントごとに異なるグラデーションを設定し、より複雑なグラデーションを簡単に作ることができる機能。



## グラフツール

［graph tool］

数値データを計算してグラフを描画するツール。Illustrator 8.0には、棒グラフ、積み上げ棒グラフ、横向き棒グラフ、横向き積み上げ棒グラフ、折れ線グラフ、階層グラフ、散布グラフ、円グラフ、レーダーチャートという9種類のグラフツールが用意されている。

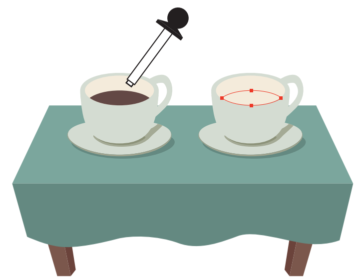


単純なグラフ図形を作るだけでなく、棒グラフの棒の部分にシンボルマークを使うなどのデザイン処理が可能

## スポイトツールと塗りつぶしツール

［eyedropper and paint bucket tool］

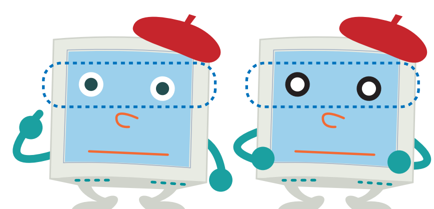
スポイトツールはオブジェクトのペイント属性や文字属性をコピーできる。コピーされた属性はカラーパレットや文字設定パレットで確認できる。塗りつぶしツールは、使用時のペイント属性でペイントしたり、文字属性を適用するツール。


スポイトツールと塗りつぶしツールはセットで使用することが多く、optionキーで2つのツールを切り替えることができる

## 塗りと線

［fill and stroke］

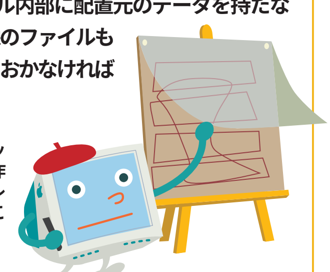
カラーパレットでオブジェクトに色を設定するとき、輪郭線の［線］と、その線で囲まれた部分の［塗り］に分けて行なう。ツールボックスの［塗りと線を入れ換え］ボタンをクリックすると、［塗り］と［線］の色が入れ替わる。



## 配置とリンク、配置と埋め込み

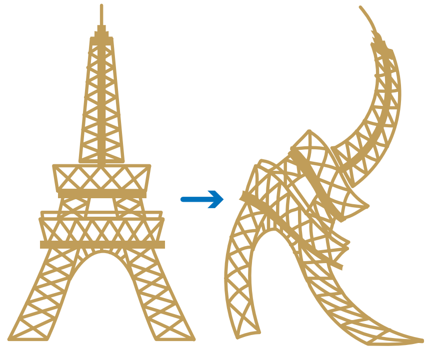
［place & link,place &embed］

Illustratorでは、他のアプリケーションで作成したビットマップ形式の画像データを配置することができる。配置の方法は、「埋め込み」と「リンク」の2つの方法がある。埋め込みの場合は、Illustratorのファイル内に配置元の画像情報をすべて保持するため元画像は不要。埋め込んだ画像は、Illustratorでラスタライズされ、Photoshop式のフィルターを使用することができる。リンクの場合は、Illustratorのファイル内部に配置元のデータを持たないため、元画像のファイルも一緒に保存しておかなければならない。


配置したビットマップ画像をトレース作業の下絵（テンプレート）として使うこともできる

## フィルター
[filter]

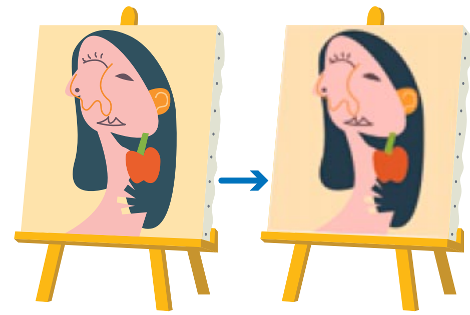
Illustrator 8.0のフィルターは大きく区分して2種類ある。ひとつは、ベジェ曲線で描画したオブジェクトに変形や色の変換などを行なうタイプのもの。もうひとつは、ビットマップ画像にPhotoshop式の特殊効果を与えるタイプだ。ベジェ曲線で描いたオブジェクトも、Illustrator上でビットマップ画像化（ラスタライズ）することでPhotoshop式のフィルター効果を適用できる。



変形フィルターの中から旋回フィルタを使用した例。旋回の角度を数値入力して好みの変形を行なう

## ラスタライズ
[rasterize]

ベクトルデータをビットマップデータに変換すること。一般的には、パソコンで扱う文字や画像データを画面やプリンターに出力する場合に、ビットマップデータ、すなわちラスターイメージに展開することをいう。rasterは「ディスプレイのブラウン管を走査する光点の軌跡」という意味。



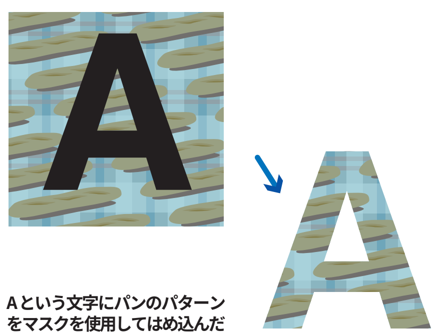
## ブラシツール
[brush tool]

ブラシパレットで選択された形状（ブラシストローク）で、線を描くツール。初期設定のブラシパレットでは、20種類のブラシが登録されているだけだが、メニュー操作で豊富な種類のブラシを読み込んだり、オブジェクトを登録したりして、オリジナルのブラシストロークを作成することもできる。




## マスクと複合パス
[masks & compound paths]

Illustratorで作成したイラストや取り込んだ写真データを、一部分だけ表示させるトリミング機能。マスクされるイラストなどは複数のオブジェクトで構成されていてもかまわないが、マスクするオブジェクトは1つでなければならない。複数のオブジェクトの場合、［複合パス］で1つのオブジェクトとして認識させてからマスクする。




Aという文字にパンのパターンをマスクを使用してはめ込んだ

## レイヤー
[layer]

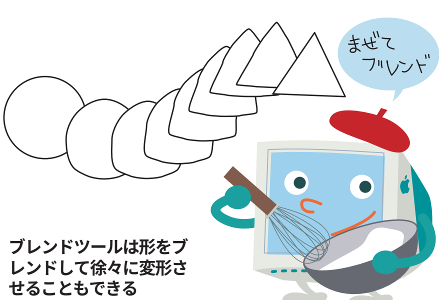
IllustratorにもPhotoshopと同じようにレイヤー機能がある。複数のオブジェクトが折り重なるような複雑なイラストを描く場合は、複数のレイヤーを作成し、オブジェクトごとにレイヤーを分けて作業すると各オブジェクトを選択しやすくなり便利。




パス上文字ツールでパス上をクリックすると、パスに沿ってテキストを入力できる

## ブレンド
[blend]

ブレンドツールまたは［ブレンド］コマンドを使うことで、選択した2つのオブジェクトの間に、カラーと形状が一連となった中間オブジェクトを作成する。ブレンドを使うことで、より複雑なグラデーションを作成することもできる。さらにIllustrator 8.0からは、中間オブジェクトがパスに沿って描かれる（ライブブレンド）ため、パスの編集も可能である。




ブレンドツールは形をブレンドして徐々に変形させることもできる

## 文字ツールと文字のアウトライン
[type tool & create outline]

文字ツールは、Illustrator上で文字を入力するためのツール。通常、文字を入力する［文字］ツールのほかに、直線や曲線、四角や円などのさまざまなオブジェクトのパス上に文字を入力するための［パス上文字］ツールや四角形や円などの内部に文字を入力するための［エリア内文字］ツールがある。なお、入力した文字にプロテクトのかかっていないPostScriptフォントやTrueTypeフォントを割り当てると、文字をアウトライン化して、アンカーポイントを使って自由に編集することもでき、図形のように加工して、ロゴをデザインすることも可能だ。




たとえば左上のPARISという文字をアウトライン化し、さまざまなフィルタを使用することで、文字デザインのバリエーションをつくってみた。タイトルやマークデザインに有効なテクニック

# From A New World
## 世界のファインダーから






ビーチではビール会社主催のビーチバレーの大会が開かれてました




**藤岡 ひさし**さん
*Hisashi Fujioka*
海外勤務6年目の渡り鳥生活を続けている30代の独身！
昨年、前赴任地である、悠久なる大地インドでの勤務を経て、現在の北米フロリダ州・マイアミ勤務に。そのあまりの激変に本人がついていけず、今でもマイアミ市内のインド料理レストランを徘徊する怪しい日本人。マイアミに来る予定のある方、ご一報ください。
E:mail Hisashi1@AOL.com




年中泳げるマイアミビーチはいつも大にぎわい

# 世界のリゾート地マイアミでもMacユーザーは元気！

今回はアメリカ合衆国フロリダ州マイアミ在中の藤岡ひさしさんによるマイアミ最大のユーザーグループGold Coast M acintosh Users Groupのレポートです。

抜けるような青空、透き通る海。ここは北米東海岸の南端、世界のリゾート地、フロリダ州マイアミ。ここマイアミは「未来の都市」「マジックシティー」などと呼ばれ、フロリダ州の文化・経済の中心的役割を担っている大都市です。地理的にも中南米諸国とも近く、空路は北米と中南米を繋ぐハブ空港の役割を果たしているマイアミ国際空港があります。ちなみにマイアミという地名の由来はインディアン語で「水の近く」を意味しています。その地名にふさわしい巨大なマイアミ港は旅客数、入港量数ともに世界トップクラスです。また、地理的に、スペイン語圏の方が人口の50%をこえており、街の看板や会話などはスペイン語が溢れ、一瞬、本当にここは北米なの？　と疑問がおこることもしばしばです。

さて、今回はこのようなトロピカルムード満点のマイアミからフロリダ州、最大のMac




椰子の並木が続くマイアミビーチへと繋がる道



ビーチの前の通りは朝から夜中まで人がたくさん



iMacの好調を物語るように、バス停にもこのようなものが



GCM主催のユーザグループ会合。Comp USAなど大手の販売店が協賛して行なわれた（受け付けの様子）



会合には子供の姿も

GCM会長のRose Lynn女史の挨拶からスタート





iBookについてApple社のアシスタントエンジニアのJack Quattlebaum氏を招いてプレゼンテーションが行なわれた

ユーザーグループであるGold Coast Macintosh Users Group（以下、GCM）の活動を紹介します。

GCMは会員数50名をこえ、非利益法人としてフロリダ州政府に正式に登録されている財団です。法人の活動内容はMacintoshユーザー間の技術交流会や会報の発行、月に一度のApple社からスタッフを招いてのプレゼンテーションなどを行なっています。今回は運がよく、わたしが取材にいった翌日に「今月の会合があるから来てみない？」と誘っていただき、マイアミ科学博物館の小ホールで行なわれた会合に参加させていただきました。

当日は100人を超える参加者で会場は熱気ムンムン。家族連れや年輩の方々も参加していて、幅広い年齢層のMacユーザーがお互いの交流を深めていました。特に子供のMacユーザーも積極的に技術的な質問をしていたのには感心させられました。このような世代にMacユーザーが増えれば、Appleの将来も安泰であるなと感じました。

会場では、コンピューター量販店のComp USAや、地元のアップル販売店などが協賛しており、お菓子やジュースを無料で配っていて大好評！　子供たちも大喜びでした。

最初にグループの技術担当役員と会員との日頃感じているMacの疑問を質問、解明する場が持たれ、その後、会長のRose Lynn女史から、ニューヨークで行なわれたExpoの状況の報告が行なわれました。そして、なんとそのとき、驚くことに会長から日本の友人として、私も舞台へあげて紹介していただきました。突然のことだったので、大変恐縮してしまいました。その後、Apple社のアシスタントエンジニアであるJack Quattlebaum氏が今回発表になったiBookについてのプレゼンテーションを行なうと、iBookに関する質問が矢継ぎ早に会員から飛び出し、iBookの関心の高さを感じました。最後に各販売店から提供されたソフトの抽選会が行なわれましたが、とんだハプニングが！　3つあった特賞のうち2つに役員の家族が当選してしまい、会員からはブーイングの嵐。「卑怯だ」とか「裏で取引があるぞ」と声が飛び交っていましたが、そのようなハプニングも含め、参加していた全員が楽しんでいたようです。

最後に会長からメッセージ！「これからさらに、Macユーザー間の交流を図っていきたいと思ってます。最近のAppleの好調により、新規の会員も増えてきており、日本のユーザーグループとも将来は交流を図りたいと思っております」とのことです。もちろん、私も会員になりました。なお、GCMは年会費35ドルで誰でも会員になれ、マイアミにあるMac販売店での割り引きもあり、お得だそうです。

GCMのHP：http://www.gcm.org/
E-mail: info@gcm.org



夜になると地元の人や観光客で大にぎわいの、マイアミベイサイドだが日中は閑散としている



さすがマイアミのお巡りさんの制服もトロピカルです

## マイアミのMac事情

マイアミでは数少ないAppleの専門店の一つであるComputer Village。iMacの売り上げは依然と好調で品不足ぎみ。iBookも既に20台程予約をいただいているとホクホク顔のスタッフ。

また、本文で紹介したGCMの会員になると「5〜10%の割り引きをさせていただきますので、日本の皆様もマイアミに長期滞在する予定があるようでしたらGCMに入会し、当店でMacをお買いあげください」とちゃっかり宣伝していました。

http://www.computer-village.com/
E-mail: info@computer-village.com




GCMの会合にも協賛していたComputer Village



マイアミでは数少ないMacの専門店の店員の方々（Computer Village）

LIFE COLLECTION

# 優雅さとスポーティーさを持ち合わせた、文字盤が回転する腕時計「タンク バスキュラント」。

*text：Masahiro Sugimoto*

時計選びは難しい。

もちろん自分のスタイルに合ったものを選べばよいのだが、多様化の進む今の世の中、すべての生活シーンをカバーする時計となると、なかなか見つけることができない。

服や靴は着替えたり、履き替えることができるけれど、時計をつけ替える人は一体どのくらいいるのだろう。自分にとってこれだ、と思う時計と出会うのは難しい。

そんな時計選びの微妙さを軽く超えてしまった時計として、今回紹介するのが、カルティエの「タンク バスキュラント」。

1847年、パリに作られた宝飾工房からスタートしたカルティエ。150年余り続くその伝統と歴史で、カルティエは新たな素材と技法を積極的に取り入れることで常に時代をリードしてきた。1917年に生まれたカルティエの代表作、タンク。そのタンクの流れをしっかりと受け継ぐ、タンクシリーズ初のステンレススティールモデル。それが「タンク バスキュラント」だ。カルティエのステンレススティールモデルといえば、95年に発表された「パシャC」が思い出される。手に入れやすい価格で、しかもカルティエならではの、エレガントさを十分に感じさせるスポーティーな時計として、ブランド好き＆時計好きだけではなく、ファッションに関心のある人々の間で大人気を呼んだ。タンク バスキュラントも、同様に大ブレイクしそうな個性溢れる時計なのだ。

「タンク バスキュラント」は、1932年に発表されたモデルからインスピレーションを得て、新たに制作された。黄金比に基づいてサイズとフォルムをが割り出され、絶妙のバランスでそれぞれのデザインが考え出されている。ケースの形状は優雅そのもの。しかもそれはクラシカルなものではなく、今を感じさせるモダンなものとなっている。そんなケースの中にはカルティエならではのローマ数字を配したシルバーポリッシュダイアルが収められている。針はもちろんブルースティールだ。どこかスポーティーでありながらエレガント。オンでもオフタイムでもつけられる時計だ。

さらに「タンク バスキュラント」は回転軸によってケースが反転するという構造を持っている。このメカっぽい発想がとても斬新でおもしろい。この反転システムによって、2種類の顔を持つことになるわけだ。さらにこの構造によって、スポーツ時の衝撃から時計をしっかりと守ってくれることにもなる。

どんなシーンでもハマる時計。そんな時計との出会いは少ないが、カルティエの「タンク バスキュラント」ならシーンを選ばず、しっかりと個性を主張してくれそうだ。




■問い合わせ先
カルティエ・ジャパン
03-5561-0625
http://www.cartier.com/



これが反転システム。興味深い機能的なこの機構が、タンク バスキュラントの特徴だ。回転させる方法は至って簡単



裏面には希望によってさまざまなマークや模様を刻みつけてくれる




タンク バスキュラントには3種類のサイズが揃っている。最も大きなLMがこれ。LMのみ、オートマティックのムーブメントが搭載されている。レザーストラップのタンクモデルに、ステンレススティールが導入されたのは初めてのこと。おかげでスポーティーで優雅なモデルが誕生した



スーツでもカジュアルでもつけられるモデル。いつでも腕につけていたい

携帯情報端末ホットライン

メール充実の新機種続々登場

# 最新PHS端末と新システム

さいとうよしこ

郵政省のこの9月の発表によると、8月までの携帯電話の加入台数は約4,550万台で、PHSは約570万台。前年の8月と比較すると、携帯電話は約75万台増、PHSは約1万台減になっている。一見、PHSは、携帯電話に押されっぱなしのようだが、携帯電話の急激な伸びに比べてPHSの減少はかなり緩やか。データ通信での快適さや音質のよさなどでPHSを手放せないユーザー像が浮かんでくる……というのは考えすぎだろうか?この秋は各社、PHSの長短所をふまえ、「メール強化」「途切れない通話」をポイントにした新端末を発売してきた。

まず、端末単体で操作できるメールの強化を進めているのがNTTドコモとアステル。

NTTドコモは「Eメールパルディオ」と銘打った2端末を発売。今までも端末単体でEメールを送受信できる551Sが発売されていたが、すでにカタログから姿を消している。手書きイメージも送信できる反応のよいタッチパネルなどPDAとしての使い心地はまあまあだったが、電話機としての使い心地と大ぶりなボディには疑問が残った。代わって今回登場した端末が、フリップタイプの621Sとストレートボディの622S。どちらも64Kデータ通信対応。すっきりとしたデザインにひかれて622Sのパールホワイトに機種変更してみたが、個人的には真ん中のカーソルボタンがきしむのがちょっと気になった。とはいえ、肝心のEメールの機能にはほぼ満足。メール内の電話番号やメールアドレスの抽出、アドレス帳への登録も簡単だった。パルディオのEメールには自動受信や自動転送のシステムはないが、メールがない場合のメール確認は無料、メールごとの転送も簡単なので、さほど大量のメールでないかぎりストレスはないだろう。できるとは知っていても今までほとんど使用していなかったパルディオEメールだが、これからは出番が多くなりそうだ。

そして、Eメールではやや遅れをとっていたアステルだが、アステル東京ではいよいよこの10月15日から「MOZIO eメール」をスタートする。対応端末はAJ-32、AP-32、AD-31、AT-31。他のPHS系Eメールとの大きな違いは電話機1台に対し、メインアドレス(****@phone.ne.jp)、セカンドアドレス(****@###.mozio.ne.jp)という、2つの任意のメールアドレスを取得できること(****部分は4～20文字)。さらに送信時の緯度・経度情報を記載したメールの送信もできるとか。この機能のユニークな使いかたはいろいろありそうだ。1メールにつき全角512文字受信できるが、長いメールは自動で最大99分割。理論上は全角50,688文字まで受信できるのもおもしろいアイデア。使い心地についてはまたのちにご報告したい。



Paldio 622S
(SHARP製)
価格●17,600円
サイズ:120.5×40.5×18.8mm
重量:約67グラム
64Kデータ通信対応
パルディオEメール対応
色はブルーとホワイト
機能は621Sと同様。待ち受け画面にビットマップ形式のイラストを表示できる。携帯電話のP270っぽいデザイン。

## アステル(スーパースムーズ)



AJ-32(by JRC)
価格●オープン
サイズ:122×41×15.9mm
重量:約70グラム
32Kデータ通信対応
MOZIO eメール対応
スーパースムーズEX採用
色はシルバーとブルー。3和音、10曲メドレーなど、着メロ機能も充実。カラーバリエーションは今後追加される予定。



AP-32(by Panasonic)
価格●オープン
サイズ:115×40×18mm
重量:約69グラム
32Kデータ通信対応
MOZIO eメール対応
スーパースムーズ採用
色はホワイト、ゴールド、ブルー。全角256文字までの送受信メールを50件まで保存できる。バックライトは緑とオレンジから選んで設定可能。

## NTTドコモ(Eメール パルディオ)



Paldio 621S(SHARP製)
価格●17,600円
サイズ:108×41.5×19mm
重量:約68グラム
64Kデータ通信対応
パルディオEメール対応
色はゴールドとシルバー
最大全角1500文字のメール送受信が可能。イヤホンマイク端子から録音した曲を着メロにできる機能も。

# WORLD PC EXPO 99でも新製品続々のNTTドコモ

9月7日から5日間、幕張メッセで開催されたWORLD PC EXPO 99。ここでもいろいろと携帯電話とPHS関係の参考出品が展示されていた。特に目を引いたのはNTTドコモのブース。あらかじめ通信機能を持たせた携帯電話、PHS内蔵ノートPC2機種は参考出品とはいえ、商品化の近さを感じさせるリアリティのあるアイテムだった。

SeaLionは、NECの「Lavie NX」をベースにしたPHS一体型ノートPC。ノートのフタ部分にセットされたPHSユニットは独自にバッテリーとキャッシュメモリーを持ち、本体の電源が入っていなくても自動的にメールを受信、保存する。実際に数日使用してみないと便利なのか、バッテリーの保ちぐあいなど、まったくわからないが、おもしろい発想なのは確かだ。内蔵PHSとは別に携帯電話との接続も可能。

もう1台のMobile Warriorは、携帯電話との一体型ノートPCで、ベースは東芝の「Libretto SS 1010」。SeaLionもMobile Warriorもイヤホンマイク接続での音声通話に対応。モバイルのためだけに新たにもう1回線携帯電話を持つ必要性は低いので、すでに携帯電話を持つユーザーがモバイルのためにSeaLionを買う……というセンが現実的な気がした。

NTTドコモはほかにも、この12月からサービス開始予定のGPSと携帯電話網を利用した位置情報サービス用の端末「NAVIEWN」も参考出展。このPDAは位置情報を利用した地図表示やナビゲーション機能を備えている。また、ユーザーだけでなく企業の注目度も高いiモード関連もコーナーを設けて大々的に展示。Java導入、W-CDMA対応、メモリーカードによるアプレット供給など、来年に向けてパワーアップするiモードをアピールしていた。



SeaLion
サイズはB5で、まあまあコンパクト。液晶の裏側にPHSが付いているので、閉めるとちょっとデコボコした印象だが、余計なケーブルやアダプターが必要ないことを考えると、荷物はすっきりするかも



Mobile Warrior
やはり携帯電話ユニットは液晶モニタ裏にあり、ピンと伸びたアンテナが愛らしい。ベースになっているLibretto SS 1010は98年10月発売のミニノートPC。OSはWindows 98。通信速度は9,600bps

●問い合わせ
NTTドコモ・PHS（0120-898956）
アステル（0120-050-017）
DDIポケット（0077-23-892050）

## DDIポケット

携帯電話の音質に真っ向から挑戦状をたたきつけたのがDDIポケットの新端末「エッジ」。キャッチコピーはなんとPHSではなく「ハイブリッド携帯」。

もともとPHSは携帯電話より音質はいいが、基地局1基あたりの守備範囲が狭いため、移動すると通話が途切れてしまうことが問題だった。移動しながら次々に最寄りのアンテナの電波をつかまえれば切れてしまうことはないが、若干の無音時間が生じる。そこで、通話しているメインの電波を押さえたまま同時にの電波もサーチし続け、無音時間を最小限にしたのがこの「エッジ」。

また、64Kデータ通信にも対応。32Kを2回線分を使用するベストエフォート方式なので、新しい基地局の整備を待たずに従来のDDIポケットの圏内で高速データ通信できる。

アステルも最新の2機種で「スーパースムーズ」「スーパースムーズEX」方式を採用。やはりメイン電波、サブ電波を同時にキャッチして通話のストレスを軽減している（64Kデータ通信は端末2台とアダプターが必要）。



PHS-J80（by SANYO）
価格●オープン
重量：約69グラム
64Kデータ通信対応
PメールDX対応
ツインウェーブ機能搭載（H"）
色はシルバーとブルー、液晶はELバックライトを採用、明るくて見やすいのでメール確認もラク。





KX-PH23F/923F（by Panasonic）
価格●オープン
サイズ：119×39.5×18.5mm
重量：約69グラム
64Kデータ通信対応
PメールDX対応
ツインウェーブ機能搭載（H"）
色はシルバーとホワイト、限定色のブルーの3種類。KX-PH33Sと同等の機能のフリップタイプ。



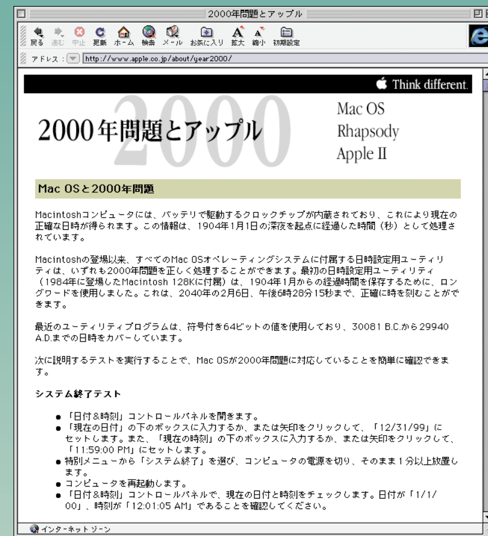


KX-PH33S/933S（by Panasonic）
価格●オープン（10月中旬発売予定）
サイズ：119×39.5×18mm
重量：約71グラム
64Kデータ通信対応
PメールDX対応
ツインウェーブ機能搭載（H"）
色はシルバーとホワイト、限定色のピンクもある。メールはPメールDX（Eメール含む）100件程度は楽々保存。

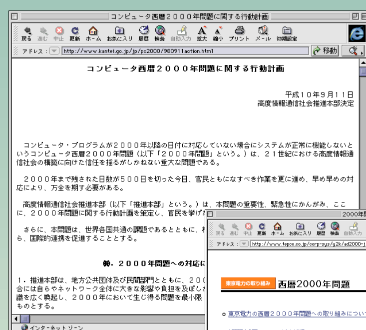
# 2000年問題直前、その時どうする?

## インターネットでY2K対策を

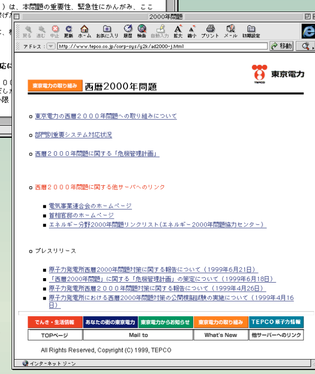
**2000年問題が米中戦争に発展してしまう――ベストセラー『パニックY2K』がそのまま現実のものとなることは考えにくいが、それでも2000年問題は深刻だ。パソコンが停止するのではなく「誤作動」するために被害が生じる可能性がある、という側面が厄介なのだ。**



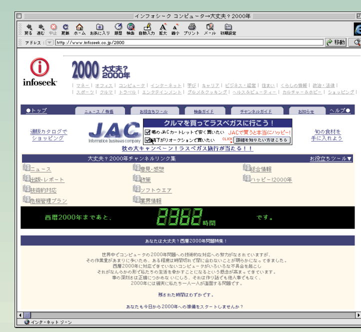
アップルの2000年問題対策ページ。問題の確認方法が記載されている



首相官邸の2000年問題に関するホームページに掲載されている「行動計画」



東京電力の2000年問題対策ページ(http://www.tepco.co.jp/corp-sys/y2k/ad2000-j.html)



Infoseekなどのポータルサイトでも2000年問題を特集していることが多い

### うちのMacは大丈夫?

コンピューターの日付が2桁で処理されている場合に、2000年以降に誤作動するという「2000年問題」のタイムリミットまであと2カ月となり、いよいよ間近なものとして迫ってきている。まず最初に症状が現れるのがコンピューターであるだけに、情報の多くはWebサイトに集約されている。

まずはMac関連から見てみよう。アップルの2000年対策ページ(http://www.apple.co.jp/about/year2000/)では、Mac本体およびMac OSオペレーティングシステムが2000年問題を正しく対処できることが掲載されており、簡単なテスト方法も記述されている。

このページの結論からいうと「Macは問題ない」ということになるのだが、ここで触れられているのはあくまでMac本体とMac OSのみだ。Macで日常的に利用しているソフトウェア、特に常時起動しているようなアプリケーションについても、2000年問題に対応しているかどうかを確認しておこう。たいがいはソフトウェアメーカーが2000年問題についてページを設けているはずだ。

たとえば、データベースソフトにファイルメーカーProを使っているのであれば、ファイルメーカーのWebページへアクセスして「2000年対応について」のページを参照する、といった具合だ。もしメーカーが製品に関して2000年問題に関する回答を用意していないようであれば、2000年以降の不具合の影響を検討して、対応を考えたほうがいいだろう。

### Y2Kパニックにどう対処する?

仮に手元にあるコンピューターが誤作動したとしても、事態はそれほど深刻ではないかもしれない。むしろ、2000年問題でやっかいなのは、社会基盤をなすインフラの管理に使われているコンピューターが誤作動した場合である。

まず問題となるのが、電気・ガス・水道・電話・交通などの社会インフラが正常に動作することが確認されているかどうかだ。首相官邸ホームページでは「コンピューター西暦2000年問題に関するQ＆A集」が掲載されており、金融、エネルギー関連、交通関連などについての2000年問題対応状況が掲載されている。

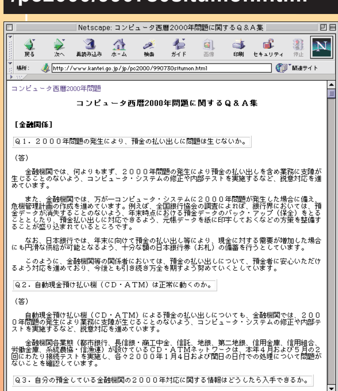
また、重要な社会インフラを提供する企業および団体では、独自に2000年問題対策を講じており、そのほとんどがホームページ上で情報を公開している。

たとえば、東京電力2000年問題に関するページでは、東京電力の設備として電力を制御・監視する「制御系」と、料金計算や経理処理などを行なう「事務処理系」の2系統のコンピューターを利用していること、「制御系」は基本的に2000年問題の影響を受けないこと、「事務処理系」については随時2000年対策を行なっていることなどが説明されている。

ただし、これらの企業・団体が万全な対策を講じているとしても、実際に何が起きるのかは今の段階では何とも言えない。万が一の場合に備えて個人として2000年問題に備えておくのもよいだろう。食料を確保しておく、交通機関を使わない、などといった2000年1月1日前後にとるべき行動のガイドラインを解説したホームページも多数公開されている。各種のディレクトリサービスを使って2000年問題ページを検索し、これらを一読しておけば、いざというとき慌てずにすむかもしれない。 (秋田克彦)

**CHECK!**

http://www.kantei.go.jp/jp/pc2000/990730situmon.html



首相官邸のWebサイトにあるQ&A集。詳しくは関連する企業などの対応策を参照したほうがよいだろう

# Webブラウザーから飛び出した広告

## リッチメディア広告制作会社「togglethis」

**バナー広告には飽き飽きしたって？　それなら、togglethisのインタラクティブ・ショーを試してみよう。ブラウザーから飛び出した映画の主人公が、君のデスクトップを自由に動き回り、TV番組を見ているようなビジュアル体験が味わえる。リッチメディアだからといって、高速の回線も必要ない。なぜなら、2MBのインタラクティブ・キャラクター（IC）エンジンをいったんダウンロードしてしまえば、その後送られてくるショー自体は20K前後のファイルと軽量だからだ。このICエンジンを開発したtogglethisは、1996年1月に設立されたシリコンアレーの企業。現在、Warner BrothersやDisney、Intelをはじめとする多数の企業が、同社のエンジンを使ってリッチメディア広告を配信している。**



Paul Maya共同設立者兼CEO兼CTO




オフィス風景

### きっかけは、動かないWeb

togglethis設立者のひとり、Paul Maya CEOは、企業設立のきっかけをこう説明する。

「当時、インターネットは動かないテキストと画像だけの、ものすごく静的な世界だった。そこで、もっとコンシューマよりの、TVみたいなものがあってもいいと思ったんだ」

最初に同社がデザインしたアニメキャラクターの「Bozlo Beaver」は、インターネット・コミュニティでカルト的な人気を集め、その後はDisney映画「Mulan」のドラゴン、New Line Cinemasの映画「Lost in Space」のロボットのショーで、ティーンの人気を集めた。ICエンジンの強みは、インターネットに接続していなくても、Webブラウザーの外側で自由にキャラクターが動き回り、インタラクティブ・ショーが楽しめることだ。Maya氏は「現在、インターネット広告の主流はどれもWebサイトをベースにしたものだが、僕たちはWebブラウザーにコントロールされないエンターテイメント広告を提供している」と語る。

### キャラクターと深みにハマる？

togglethisショーは大抵、TV番組のように6回から12回のエピソードに分かれている。ユーザーは、このショーに参加することで、楽しみながらキャラクターとの関係を深めていく。New Line Cinemasの「Austin Powers」の広告キャンペーンでは、数カ月で約10万人がICエンジンをダウンロードしたという。このショーには、映画情報やローカル映画館のリストへのリンクも組み込まれているので、興味があればクリックしてWebサイトから映画のチケットを買うこともできるのだ。このキャンペーンは、何と30%のクリック率を達成した。同社は、ICエンジンのライセンス、インタラクティブ・ショーの製作/配信などで収入を得ているが、ショーの製作はプログラムに関する専門知識がない人でもドラッグ&ドロップで比較的簡単にできるそうだ。

### エージェントが情報収集

ICエンジンの次世代バージョンは、デジタル・セットトップボックスや携帯電話、PDA、その他のインターネット情報家電に対応したPersonal Javaベースのものになるという。ストリーミングメディア、3Dアニメーションなどエンターテインメント的な面も強化されるが、パーソナリゼーションやデータ収集／分析などのインターネット商取引（EC）向け機能も組み込んでいく。これを使えば、インタラクティブ・ショーに登場する映画の主人公がオンラインショッピングのエージェントになって、いろんなアドバイスをしてくれるといったことも可能だ。

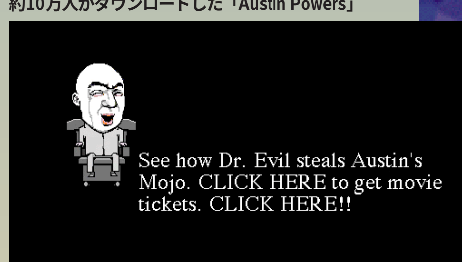
Maya氏は「あなたが『帽子が欲しい』と言えば、お気に入りのエージェントが『何色の帽子？』と尋ねてくる。『赤の帽子』と答えると、それらを販売しているオンラインストアの情報を集めてくれる。…… 新しい形態のインターネット広告が求められているんだ。もちろん、バナー広告はベーシックとして定着しているけど、多くはもっと魅力的でエキサイティングなリッチメディアに期待しているよ」と語る。

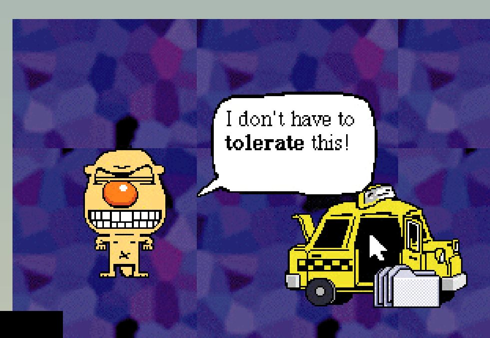
（写真・文：長野弘子／Hiroko Nagano）




http://www.togglethis.com

約10万人がダウンロードした「Austin Powers」




カルト的な人気を呼んだ「Bozlo Beaver」

On the Net

# ウソツキは歌手の始まり（かも）



## 青柳美奈子

（あおやぎ みなこ）　http://www.alles.or.jp/~mina0724/index.html
94年、プロの作詞家としてデビュー。Romi、高橋由美子、田村英里子など、多数のアーティストをはじめ『ときめきメモリアル』のイメージアルバムやTV番組などの楽曲に作品を提供。現在、「自称歌手」から「公認歌手」を目指して修業中

## 第5回 私はコレで泣きました

こんにちは。お元気ですか？　最近、私は作詞のみならず作曲にもチャレンジしてます。ヒーヒー言ってる今日この頃です。

作詞をする時はたいていの場合、曲が先にあって歌詞をはめていくことが多いので、たとえ煮詰まっていてもウォークマンで何度も何度もメロディを繰り返し、もうイヤっていうくらい聴いているうちに、歌詞がふつふつと浮かんで来るのですが、作曲ってやはり難しいものですねー。う〜ん、う〜ん、と考えたらメロディが出てくるってものでもないし、煮詰まるとどうしようもなかったり。実はこれまでにも作曲はしたことがあるのですが、今まではメロディと歌詞が同時になんとなく生まれてきちゃって（私的にはこういう現象を神様が降りてくると言ってます、汗）、「あ、これ、いいかも！」とか一人で勝手に感動しつつ仕上げていくのがパターンだったのですが、作曲しようと思って作曲することは大変なんだと知りました〜。う〜ん、う〜ん。あら？　実は今、まさに煮詰まってる最中だってバレちゃいました？　汗、汗。

ともあれ、10月21日に私が作詞作曲した楽曲『タ・ス・ケ・テ！！』が水野由加里さんのシングル曲として日本コロムビアよりリリースされます。ホントに神様が降りてきたのかどうか（なんだか、かなりおおげさな気がしなくもないけど）チェックしてみるのもいいかも！　なんてね。

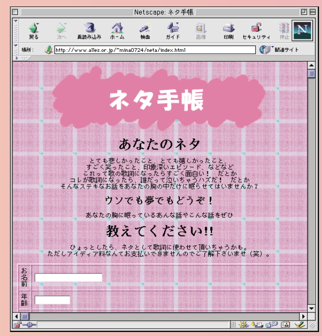
ところで先日、インターネットワールドをフラフラしていたところ、『7月の新曲（邦楽女性ボーカルのシングル曲）へのコメント』なるホームページに、『「だめって／青柳美奈子」へのコメント』を発見！　読むと、「声が意外に可愛らしい。話すような歌い方が良さか。『だめって』の繰り返しが耳に残る」と、一応、誉めてありました。しかし、そのとなりにはHP著者による楽曲に対する点数が……78点。ああ、がっくり。

どうやらその著者は80点以上じゃないと購入しないとか。そ〜なんだ〜、くすん。でも、著者の音楽に対する情熱がヒシヒシと伝わってくるHPで、そのページ以外もとても興味深く楽しめるページでした。こういうページに出会えることや、いろんな方のそれぞれの視点を知ることができるのは、本当に面白いです。おかげで私も、もっと「いいな」と思ってもらえるような楽曲を作っていかなくちゃ！　と、思ったりもして。

そーいえば先日、とある街のとある喫茶店でお昼を食べてると、聞き覚えのある歌が！　『だめって』だ！　誰かが有線にリクエストしてくれたのね、嬉しいな。煮詰まって泣いてる場合じゃない！　エイエイオー！……って、やっぱり作曲は難しいよ〜、う〜ん。う〜ん。

### ネタ手帳

http://www.alles.or.jp/~mina0724/neta/




もっと「いいな」と思ってもらえるような楽曲を作っていかなくちゃ！といいながら、人からネタをもらおうという著者のページ。11月4日（木）恵比寿GUILTYにてライブ決定。（GUILTY 03-3486-8557）

# On the Net de Get

## 第5回 カニに溺れる幸せをあなたに

## 山口桜子

（やまぐち さくらこ）
規則正しい生活を心掛けるOL詩人。お仕事＆文筆活動に励む毎日を送っている。ほかに女性美に関する研究会を主催

### 兼丸水産

http://www2s.biglobe.ne.jp/~kanemaru/index.htm




### 道産子物産

http://ip-p.com/dosanko/





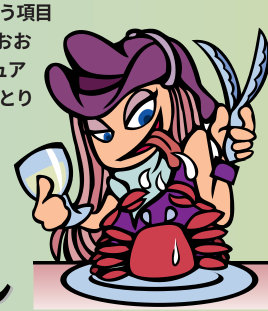

ビバ！　甲殻類！　ということで、今回はカニ。最北の海の幸をあなたに届けてくれるサイトをご紹介します。

まずは「鮮度を保つため、毎日が時間との戦い」という、北海道稚内の兼丸水産のHPから。見た目も麗しいタラバガニ、毛ガニ、ズワイガニが、詳しい水揚げ情報とともに掲載され、トップページからワクワクさせてくれます。価格相場の変動の理由や、家族構成によって何キロのものが最適かということまで、懇切丁寧に記された内容は、まさに人情味溢れる頼れる市場のオヤジという感じ。素人にはなかなか難しいゆでで加減も、ボイルされて送られてくるので心配御無用。すぐむしゃぶりつけますな。注文も親切なフォームでわかりやすい。

次は、札幌卸売り市場と直結して、リアルタイムで市場の商品と価格の情報を提供してくれる道産子物産。まず「札幌卸売り市場とは？」を読んで、活気溢れる北の市場の臨場感を疑似体験。気分を昂揚させた後、いざ、メニューへ。ここはカニはもとより、貝類やうに、珍味、鮭、魚卵など海の幸のオンパレード。お買い得セットなども設定されていて、贈答品にも便利。では、さっそく「タラバガニ姿大型」という項目をクリックしてみよう。おおおお！！　その圧倒的なヴィジュアルのタラバガニのお姿にうっとり…！

「贈った先でビックリするほど喜ばれます！！」というコメントに首をぶんぶん縦に振って納得。なんと「最近ロシア船の影響で価格が下がっているが、カニ資源が激減し2〜3年後には容易に口に入らなくなるでしょう」という不穏なコメントも発見。ということは、早く食べなきゃ！　カニ！　一生分！

北の国の海鮮市場事情に思いを馳せながら、たまには奮発して、ネットでカニを取り寄せてプチ・ブル気分を味わおう。というわけで、カニですよ。カニ。タラバガニもいいけど、上品で深い味わいの毛ガニもオススメよ〜！



Illustration：ケイコ・モス

第5回 ハリウッド映画最前線

# 『B.MONKEY』

**マックス桐島**（まっくす きりしま） http://www.saizensen.com/
ハリウッドの若手日本人プロデューサー。これまで8作品をプロデュース。現在、『Easy Rider2』の製作準備のほか、CBSとの提携によるインターネット用映画のプロデュースなどを手掛けている

1994年のヒット作『イル・ポスティーノ』でアカデミー賞外国映画部門賞にノミネートされたマイケル・ラッドフォード監督が、アンドリュー・デイビーズのベストセラー小説を映像化した興味深い作品が『B.MONKEY』だ。

現在イタリアで人気絶頂の若手女優、エイジア・アルジェントと『アンディー・ウォールホールを撃った男』で注目された新人ジャレッド・ハリス、そして最近売れっ子のルパート・エベレット（『インスペクター・ギャジェット』出演）が繰り広げる、ダークで危険なラブ・ストーリーは、ハリウッド映画とはひと味違った雰囲気を醸し出している。

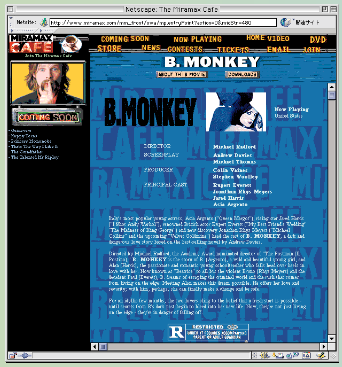
静寂で平凡なロンドン生活を楽しむ、情熱的でロマンチックな教師アラン（ハリス）は、暗黒街と繋がりのある美女ビアトリス（アルジェント）に一目惚れし、今までの単調だった自分の人生に埋もれていた「危険な世界への隠れた欲望」に目覚める。夜の街では「B.MONKEY」というニックネームで呼ばれるビアトリスは、冷酷無比なチンピラのブルーノや退廃的な悪党のポール（エベレット）の手を逃れてまともな生活を営みたいと願う反面、暗黒の世界独特の異様な魅力にとりつかれている魔性の女なのだった。純粋なアランの愛に、荒んだ人生からの突破口と心の安らぎを見いだしたビアトリスは献身的なアランと数カ月間のささやかな新生活をエンジョイする。だが、やがて彼女の暗い過去の影が二人の背後から忍び寄り始め……。

といった、ありきたりのストーリーなのだが、いかにもヨーロッパっぽいデカダンスの臭いと、ラッドフォード監督の巧みな状況描写が物語を盛り上げている。

製作スタジオ、ミラマックスのミラマックス・カフェ・サイトにあるHPは、QuicktimeとAVIの両形式によるビデオがダウンロードでき、『クライング・ゲーム』のスティーブン・ウーリーの製作らしい、その怪しげな雰囲気を垣間見ることができる。映画の紹介とPRビデオ、そしてスチール写真だけのベーシックなページだ。

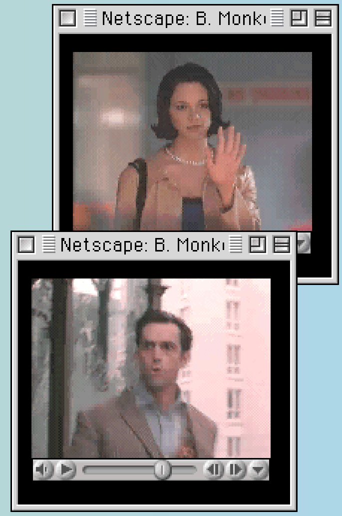
## オフィシャルサイト

http://www.miramax.com/mm_front/owa/mp.entryPoint?action=0&midStr=480






オフィシャルサイトからダウンロードできるスチール画像




エイジア・アルジェント（上）とルパート・エベレット

# the Net

# Check the Artist

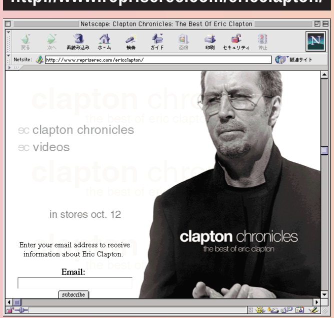
Vol.5

## Eric Clapton

**影山亜紀子**（かげやま あきこ）
世界をまたにかける追っかけ。『ルーディーズ・クラブ』など音楽誌のライターとしても活躍

### REPRISE RECORD

http://www.repriserec.com/ericclapton/




さて今月は、ここ何年かマメに来日し、ベンチャーズ状態になりつつあるエリック・クラプトンだ。今年も11月に武道館公演をやってくれるぞ。引退発言はしたものの真偽のほどは定かじゃないが、最後になるかもしれないから、とりあえず行っておいたほうがいいかも。特に日本公演はね。

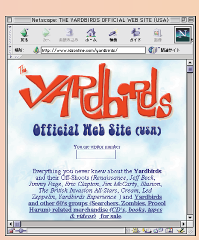
クラプトンのページだが、どうやら事務所サイドがうるさいらしく意外に少ないぞ。オフィシャルサイトとなるのは、レコード会社のリプライズ・レーベルのページだけど、ここはなかなか情報が更新されないんで、あまり使えないかもしれない（正式なオフィシャルサイトだったら、ヤードバーズのがあるんでこっちがいいかもね）。

THE ERIC CLAPTON LYRIC ARCHIVE（http://www.ils.nwu.edu/~davies/ecla/）はすべての曲の歌詞がアルファベットで検索できる。『ピルグリム』には歌詞カードが付いてなかったので、泣いてた人はここへどうぞ。

ファンのサイトだったら、FAQ（http://guitar.isd.net/）かSTOSH'S WORLD OF EC!あたりがお勧めだな。情報も早いし、データも豊富だぞ。FAQでは、RealAudioでラリー・キング・ライブに出た時の様子も聞ける。

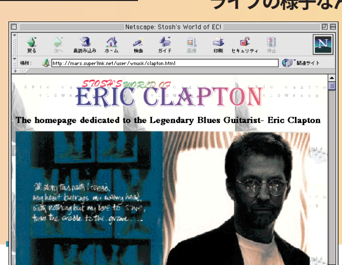
### THE YARDBIRDS OFFICIAL WEB SITE USA

http://www.idsonline.com/yardbirds/



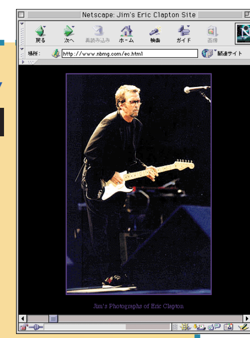

### STOSH'S WORLD OF EC!

http://mars.superlink.net/user/wnuck/clapton.html




### JIM CROWLEY PHOTOGRAPHY

http://www.nbmg.com/jrc.html



JIM CROWLEY PHOTOGRAPHYでは、クラプトンのカッコいい写真が見れる。ここからVH-1のオークションのページ（http://www.vh1.com/clapton/clapton_auction.tin）にも行けるので、クリスティーズに売りに出したギターも見る事ができるぞ。ギター小僧だったら、これ以外にもギブソン（http://www.gibson.com/）、フェンダー（http://www.fender.com/）、マーティン（http://www.mguitar.com/index.html）などのページもあるから要チェックだな。

彼が大事な「BROWNIE」を含む100本近くのギターを売った資金をつぎ込んでいるのが、カリブのアンティグアに作ったアルコール＆ドラッグのための療養所「クロスロード・センター」（http://www.crossroadsantigua.org/）だ。最近、いまさらのようにアル中発言をしたクラプトンだから、アル中のつらさは自分が1番よくわかるってことなんだろうねぇ。かくいう飲んだくれの私も、実は秘かに将来はここにお世話になりたいもんだと考えているんだが、無理かねぇ、やっぱり……。もちろん、ここのページもある。ここでチャリティライブの様子なんかもわかるぞ。

最後に、ロンドンにいる留学生から仕入れたネタを紹介しておこう。クラプトンがロンドン市内にいる時は、必ず顔を出すヌードル屋があるらしい。でも、ここのヌードルは、日本人だったら不味くてとても食べられた代物じゃないんだってさ(笑)。天下のクラプトンも、味覚はたいしたことないってことだな。

# シムシティ3000
## 元祖育成ゲームの最新作

エレクトロニック・アーツ・スクウェア（03-5436-6499）／8,800円／
http://www.japan.ea.com/simcity/



あらかじめ、ある程度まで、発展した都市データが用意されている。これは「Metropolis」。面白い都市構造になっている




調査ツールを使うと、その土地の状態やビルの名前がすぐに分かる。不要な建物や土地は、取り壊したり、整地を行なうとよい






第1作が発売されて10年、世界中で愛される都市開発シミュレーションの最新作。プレイヤーは市長となって都市を発展させる。たくさんの市民を満足させて名市長を目指そう




時間の経過は、画面下のインジケーターで確認する。ゲームの経過は、スピードメモリーで変更することが可能。カメ、ラマ、チーター、アフリカツバメの4つのモードが用意されている

**大ヒットした都市開発シミュレーター「シムシティ」の最新版「シムシティ3000」が登場した。これまでの世界観を踏襲しつつ、よりリアルに複雑にパワーアップしている。**

1989年に第1作が発売されて以来、全世界で親しまれている都市開発シミュレーター、シムシティの最新作がシムシティ3000だ。

この名作ゲームを知らない人にちょっと説明しておくと、このゲームの目的は単純に都市を繁栄させること。プレイヤーは架空の都市の市長となり、住民の不満や要望に答え、また、都市に発生するさまざまな問題に対処しつつ、都市を発展に導いていく。都市が発展し、人が住みやすくなれば、税金による収入が増え、さらにそのお金を使って都市を発展させていく…という仕組み。他を攻撃したりなどということはいっさいなく、あくまで、市長として自分の都市を守り、発展させることのみが目的だ。

こう書くと単調なゲームのように思えるかもしれないが、実際はそうではない。都市に住む市民たちは、わがままで、交通の便が悪いと文句をいい、商店主たちは税率を下げないと街をでていくと脅す。また、都市が発展していくと、犯罪率の増加、火災の発生、はてはUFOの攻撃などという問題にも対処していかなくてはならず、飽きることがなくゲームにのめり込んでいく。

ゲームは、何もない地形だけから都市を作成していく「新しい都市」、設定されたモデル都市を基に都市を発展させていく初心者用の「スタータータウン」、ある程度開発された都市データを引き続き発展させる「都市データ」、香港、東京、ベルリンなど実在の地形をシミュレートした「地形データ」の4種類からマップを選択できる。

ゲーム中にプレイヤーの手助けをしてくれるのが「アドバイザー」。7人の個性的なアドバイザーたちは、税金や資金の運用に関する「財政」、都市の交通に関する「運輸」、住宅地区、商業地区などの都市開発計画に関する「都市計画」、ゴミや大気汚染、水質汚濁に関する「環境」、警察署、消防署の運営に関する「公共」、市民の健康や教育機関に関する「厚生」、電気、水道に関する「公益」という7項目についてアドバイスしてくれるため、次に何をやっていいかわからなくなるということは




建設できるランドマークタワーの種類も増えた。自由の女神と東京タワー、エッフェル塔、そして大仏が並んでるなんてお遊びもOKだ。ただし1つの都市に建設できるタワーは10個まで。ランドマークタワーは重要なアイテムだ。建設したランドマークタワーを一般公開すると、人が集まり、都市が潤う

ないので安心だ。

都市画面は5段階に拡大縮小表示することが可能だ、画面は美麗なグラフィックで3D表示されており、最大に拡大すると、自分の都市に住んでいる住民たちが生き生きと生活する様をぞんぶんに満喫することができ、眺めているだけでも飽きない。また、BGMや効果音もリアルで雰囲気を盛り上げてくれる。

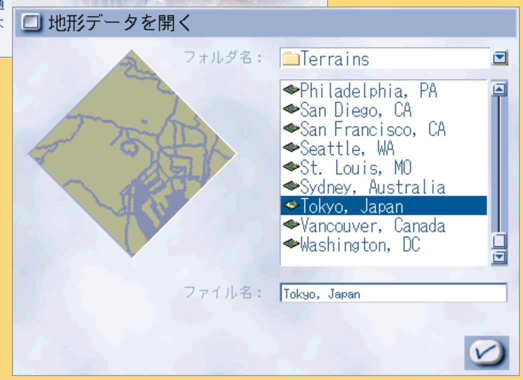
自分の都市を100万人の大都市に発展させ、名市長と呼ばれることを目指すもよし、発展させた都市に自ら災害を発生させ、慌てふためく市民を眺めながら、日頃のうっぷんをはらすもよし、このゲームの楽しみかたは、ひとつではない。これからの秋の夜長を過ごすには持ってこいのゲームだ。

また、インターネット上に展開されている公式サイト（http:/www.japan.ea.com/simcity/）では、新しい、建造物や、地形のオリジナルデータをダウンロードできるほか、市長育成講座というチュートリアルも開講されているので参考になるだろう。

ただし、これだけリアルな描写をしているため、ゲームを快適に行なうためには、CPUパワーや必要メモリーはそれなりに高い水準のものが必要となる。ストレスのない操作環境を維持するためには、iMac、またはG3以上のマシンで、メモリーは128MB以上のメモリーがほしいところだ。　（貞岡　修）



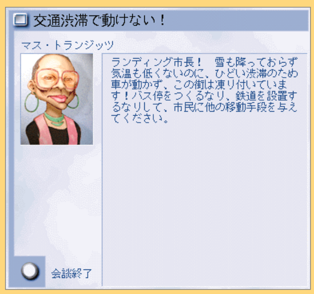

新しい都市を作成する場合は、都市の名前と市長の名前、難易度、介意し年月日、都市のサイズを設定する




実際の地形データや、ある程度完成された都市データなど、さまざまなマップで遊ぶことができる。右図は東京の地形データ。これを使って、ゲームを開始すれば、東京都知事となって、東京の未来をかいま見ることができるかも？！




プレイヤーの手助けをしてくれる7人のアドバイザーたち。顔は変だが心強い味方だ

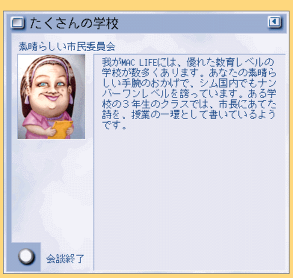



市民から苦情が来た。無視してもよいが、市民が逃げ出してスラム化したり、最悪、暴動が起こることも





レイヤー機能を使えば、水道管の整備や地下鉄の路線を確認することができる。水道の整備は都市発展の重要事項だけにたよりになるゲーム中は多用する機能だろう




たまには褒められることもある

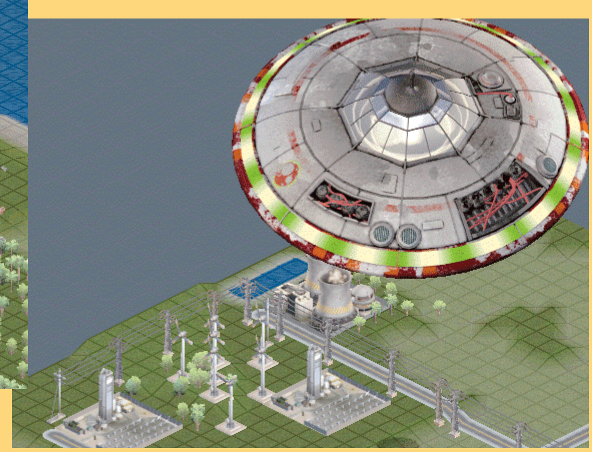



都市を順調に発展させていると、ボーナスとして特殊施設が建造可能になる。「市長官邸」から「テーマパーク」、「宇宙港」まで、さまざまだ




データマップで都市の状態を確認することで、災害や犯罪が起こりそうな地域を確認することができる。災害が起こりそうな場所には消防署、犯罪の起こりそうな場所には警察署を建設するとよいだろう





都市を襲う災害は、火事、地震、竜巻など自然災害のほかUFOの襲撃まである。また、災害はプレイヤーが任意に起こすことも可能だ

# 信長の野望 烈風伝

## 超人気歴史シミュレーションの最新版

コーエー（045-561-6861）／11,800円／http://www.koei.co.jp/



今回採用された新データ威信は外交だけではなく配下の忠誠度にも関係する



シナリオ2。最初は国も荒れている。灌漑すれば奥地の平地も水田にできるから治水工事は早めに行なおう



洗練された「信長の野望 烈風伝」インターフェイス。マップ表示は、全国の巨大なマップの一部を覗く形になっている。各国には地元名産の特産品が決められている。ただの畑よりも収量が高いのでどんどん開発だ



シナリオ3の初期勢力状態。本城だけでなく支城も押さえないと一国を支配したとはいえない

**本格的歴史シミュレーション最新作のMac版登場。自分の歴史マニア度に自信がある人はぜひ挑戦を。**

シリーズ8作目となった戦国歴史シミュレーション。長年の開発の結果、システム操作がやや煩雑になり、初心者にはとっつきが悪いものとなってしまったが、でもそんなデメリットを越えたおもしろさがこのゲームにはあるのだ。

シナリオは3つ。桶狭間の合戦前夜、姉川の合戦直後、そして本能寺の変前夜だ。一度日本統一を果たせばもう一つシナリオは増えるが、どのシナリオも織田信長の人生にとってターニングポイントになった事件が起きた年なので、プレーヤーの想い次第でさまざまな歴史になるはず。

さてゲームの基本は国力増大。初めは国の開発から始めよう。兵士は開発した村から毎月少しずつ供給されるので、一度大損害をうけると回復に時間がかかる。レベル3の村が3つできれば何とか他の国からの攻撃を撃退できるはず。レベル3水田も6つ程度あれば十分軍隊の維持ができる。そして配下の武将を増やすことを始めるのだ。端的にいえば武将の数が国力に直結するのだが、弱小大名で始めた場合、最初は戦の捕虜すらこちらをバカにして味方になってくれない。これは威信値が低いためだが、威信は、烈風伝で新採用されたデータで、大名の評判を表わし、戦いに勝つことや、朝廷から官位をもらうことで上昇する。総計200を超えれば、少しは味方になってくれる人もでるだろう。京都を占領するだけでも20も上がるので、天下布武を目指すものは上洛が最初の目的となる。

武将はどんなに能力値が低くても使い道には困らない。内政でも一人より大人数の方が作業期間は短くなるし、野戦で6人そろって陣形がくめるようになると、格段に戦いやすくなる。さらに家宝の兵法書でその場に適した陣形が組めるようになれば、ほぼ負けることはない。また武将の能力はそれぞれ固有のものなので、優秀な部下にするために家宝を買い与え、能力アップすることも必要だ。家宝には忍者になれる忍術書から、裏切りにくくする茶道具まで、値段は高いが、役に立つ能力が付加される。ぜひとも早めに手に入れたい。特に当主は、家宝で付加、上昇した能力も姫武将に反映されるので、自分より高い能力の一門を作ることもできるのだ。

また、ある一定の条件がそろえば、さまざまな特殊イベントが起きる。先の桶狭間シナリオでの桶狭間の合戦のような有名どころから、最上のお家騒動まで起きるのは、歴史シミュレーションの醍醐味だろう。

忠誠度が100%の武将でも、完全に信頼できないのは当然のことだとは思うが、なんとなく納得がいかないところがある。しかし、逆にパラメーターとしては表わしにくい新興国の拡大する勢い、というものをうまくシミュレートしているともいえる。実際、コンピューター任せでも織田家はどんどん領土を広げる。戦国時代、日本統一が進む時代に生きた人が感じた、その空気をうまく表現しているのではないだろうか。

（宮本高志）



征夷大将軍のような重要な役職を朝廷から授けられるには、さまざまな条件を満たす必要がある





気の毒だけど生まれた姫を武将に取り立て。一度武将にしてしまうと政略結婚には使えない



大雪に埋もれた国では移動力が下がる。天気は人の思いどおりにいかない



宣教師がやってきた。布教許可を与えると、忠誠度が下がる武将もいるので注意しよう



織田家からの恫喝の使者が来た。強国のもとに降るとゲームとしては終わってしまうので注意しよう



陣形を組むと個々の武将能力が低くても強い軍団と対等に戦える

●電車運転シミュレーション● 長野真教

# Train Simulator

## 近鉄南大阪線・吉野線（あべの橋〜吉野）

### 定番運転シミュレーターは阪南を駆ける

音楽館、ポニーキャニオン(03-5521-8021)／5,800円／http://www.ponycanyon.co.jp/

**TrainSimulatorの最新作は、私鉄の雄、近鉄だ。また、待望のMaster Controller IIもついに発売だ。**

快進撃を続けるトレインシミュレーターシリーズのシリーズ16作目の作品。今回は、日本最大の私鉄、近畿日本鉄道の第1弾として南大阪線、吉野線のあべの橋〜吉野の間の65kmを走ることができる。さて、この南大阪線と吉野線は、山あいを走る路線らしく、他の路線とくらべて、細かく頻繁に速度制限がかけられている。これらの速度制限をきちんとクリアできるかどうかが、今回のポイントになっている。初心者はナビゲーションモードで練習してから挑んだほうがよい。



ナビゲーションモードで運転すると、細かい指示をしてくれるので、運転を覚えることができる



## Master Controller II for Train Simulator

TrainSimulatorシリーズ専用コントローラー第2弾。大きさ、重さ、操作感ともまうしぶんないできで、マウスやキーボードでは得られないリアルな操作が可能になる。そのぶん値段が張るのがネックだが、TSファンなら、マストバイではないか。19,800円。




運転を始める前に、標識の意味を知っておかないと、すぐに運転中止になってしまう




特急列車さくらライナー26000系。さすがが特急だけあって、終点までほんの35分程度

# 発車よし！阪急宝塚線

### 阪急が自ら制作した運転シミュレーション

阪急電鉄(06-6373-5148)／4,800円／http://www.hankyu.co.jp/hankyu/soyu/game/

**梅田と宝塚を結ぶ、おしゃれな雰囲気の阪急宝塚線を舞台に、実際の運転士の試験の雰囲気を味わえる。**

阪急電鉄が自らが制作した電車運転シミュレーションゲーム第3弾が「発車よし！阪急宝塚線」。前2作はWindows専用だったが、このゲームからハイブリッドでMacに対応した。発車よし！は基本的に、阪急の運転士が実際にパスしなければならない本務試験の合格をめざすという目的のゲームだ。さて、試験はレベル3まであるのだが、レベル1と2では停車駅の本物の駅長が運転に対する評価とアドバイスを出してくれる。このアドバイスに従えば、試験をパスするのも難しくない!?レベル3まで合格すると、ボーナスステージとして阪急最初の車両である1形を運転することができる。




駅では本物の駅長さんが、運転の評価をしてくれる。悪い点をアドバイスもしてくれる




運転席から見た風景。十三から三国までの間は、直線が長いため見晴しもよくスピードも出て爽快だ




渋谷、代官山。自由が丘と若い女性に人気のスポットを繋いで走る東横線。比べると目蒲線は落ち着いた雰囲気のある街が多いかな？




東急東横線、急行桜木町行きの運転席から見た風景。これから渋谷を出発して中目黒へ向かう

# 鉄道運転シミュレーション

## 東急東横線／目蒲線

CD-ROM DEMO

### 変貌をとげつつある東横線、目蒲線を走る

小学館プロダクション(03-5281-6837)／5,800円／http://www.shopro.co.jp/

**複々線化や目蒲線から東横線への直通運転など、大きく変貌しつつある、古くからの東急の幹線を走る。**

東横線と目蒲線は、渋谷と横浜、目黒と蒲田を結ぶ、東急の発祥の路線であり、膨大な乗客を乗せて、通勤通学や、都市間の日常の足として日夜大活躍している。現在、東横線と目蒲線は、複々線化、地下鉄との相互乗り入れにともなう直通運転などで大きく変貌しつつある。

2路線それぞれ、目蒲線は2ハンドルの古いタイプの7200系車両、東横線は今年の4月に登場したばかりの最新型1ハンドルの3000系と異なった車種が運転できる。また、今回も沿線案内や車両紹介、3000系を詳しく紹介した盛りだくさんの内容になっている。

# STARCRAFT拡張版 BROOD WAR ハイブリッド版正規輸入版

## リアルタイムストラテジーの名作の続編

ソースネクスト（03-5350-4844）／オープン価格／http://www.source.co.jp/

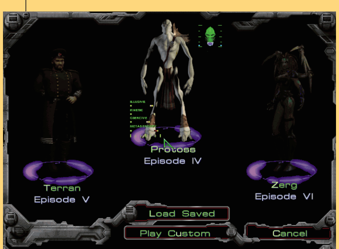
**前作で撃退したはずのザーグ、あの生命体が帰ってきた。しかも、今度は人間のDNAを吸収して。**

前作で、ザーク種族は別の種族の遺伝子を吸収し、能力を得て進化するという設定があった。その結果というか、今拡張キットでは、人間の能力の一部を取り込んだザークの復讐戦の相手をこなすのだ。

新しいザーグのデザインは、個人的には人間との融合でかなり格好良くなった気がする。

基本的な操作や、そのゲーム中の戦術戦略も前作との違いはないのだが、今回細かい部分が強化された。たとえば看護兵が新設され、今まで修理できなかった海兵隊もまるで新品同様に回復できる。

最初のシナリオから自部隊が厳しい状況に置かれている“濃い”設定なので、StarCraftをプレイしたことない人は、基本セットから始めることをお薦めする。（宮本高志）




今回のキャンペーンはプロトスからザーグの見た目も変化しただけでなく能力もアップ



ザーグの大部隊と接触。敵の思考ルーチンも強化されているから慎重でないとすぐ全滅の憂き目にあう



テナントとして真っ先にたこ焼きとうどん屋を入れたのは偏見かな

見たことがある大阪ご当地広告が山ほど

# タワーキットCD なにわビル王伝説〜わいが浪花のビル王や!!〜

## なにわテイストのタワーはいかが

オープンブック9003（03-5447-6434）／3,800円／http://www.openbook9003.co.jp/

**「もうかりまっか」の大阪だけど、通天閣より高いビルをまわりに立てちゃっていいかな。**

今回の拡張キットの今回の目的は大阪の象徴、通天閣近辺の開発だ。

ゲーム序盤はただのTOWER IIだが、資金がたまってくれば、大阪の名物が続々とテナントに入ってきて、大阪の有名店は軒並みテナントとして可能。派手なイベントが目白押しだ。

大阪の名物がここ一点に集中した感じだけど、自分の手でづぼら屋やカニ道楽、タワービジョンなど、デコレーション（本当は広告）で、ますますどぎつく派手にできる。

また、VIPの評価によって隠しアイテムが出現し、食い倒れビルやお笑いビルを建てることもできる。またマイナスイベント、泥棒やガス漏れ事故もなかなかおもしろい。泥棒は、ちゃんと捕まえないと何度でもやってくるのだ。

最後の最後までイベントが起きる。一度では全部を目にすることはできないものもある。あなたはいくつ確認できるだろうか。（宮本高志）

# SHOCK PRICE 500シリーズ ダイビングアクションほか

## シリーズ通算200万本におよぶ人気シリーズの第8弾

SME・インターメディア（03-3266-5791）／各500円

**手軽な値段で大好評のSHOCK PRICE 500シリーズに、またまた4本が仲間入り。**

縦スクロールのアクションゲーム「ダイビングアクション」は、下からせりあがってくる床目掛けて飛び下りるという、ただそれだけのゲームだが、これがなかなか楽しい。

横スクロールのアクションゲーム「走れ！奥山くん！」。営業成績が最下位の奥山くんが、上司から契約を取ってこなければクビだと言われ、町中を走り回って契約書をかき集めるという内容で、できることはジャンプするだけと、これもシンプルな作りになっている。

「クイズ500」は、普通の4択だが、回答者が妙な特殊能力を持っている。ジャンルは10あり、早めに選択すればレベルは低く、後半になればなるほど問題のレベルが高くなっていく。

「百人一首」は、百人一首の公式ルールで楽しむもの。読み手は全日本かるた協会の公認読み手なので本格仕様だ。（長野真教）



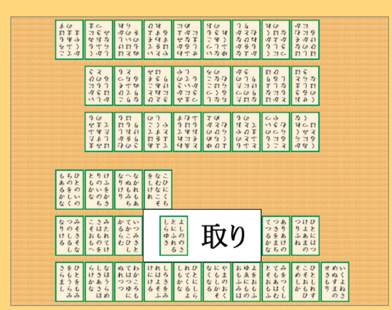
障害物や自動車などをジャンプでかわして、契約書を集めなければならない。おでんやビールも集めておこう



基本的に時間制限付きの4択問題。ジャンルは全部で10個用意されている。すべてのジャンルを制覇しよう




異かさを使えば、落ちる速度が軽減され、ふつうでは届かない遠くの足場までジャンプできる




公式ルールに則って百人一首ができる。競技会用の練習になるのでは




ラショウ
（イタチョコシステム）

## その拾四 よく遊び、よく…寝てるし…

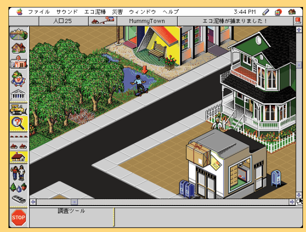
ゲームが苦手と思う人へ。こう思ってしまえば楽だ。シミュレーションは基本は「眠い」モノなのである。途中飽きたからといってすぐゲームを止めてしまわず、しばらく放っておいてみてはどうだろうか？

根っからの根気のなさがウリの私は、初期のお膳立て部分は好奇心という熱意のもとに済ませ、シミュレーションの基礎の土台創り、世界の構築に殆どのパワーを投入し、そこで大半の満足を得てしまい、果たしてぐったりと疲れる。そして睡魔がやって来る。残る余生を睡眠とその合間のときどきの不意の覚醒の中のどんよりとした眠気ごしに見るモニターの中の変わりように（たいていは荒廃している）驚くために、プレイしているのである。

シムタウンもそうだ。見た目は小綺麗な街なみで、ふうんモダンだね。ああ、よござんしたね、お子さまも安心といった感じだが、シムを冠するだけはある。ちゃんとお店にヒビが入ったり、壁が崩れ落ち、経営者の失踪、身投げを予感させる、そんなイタチョコ的な荒廃グラフィックが用意されているのである。

だが故意の失政を犯しても、このシムタウン様はあまり悪い方向にはいかないのである。やはり少し退屈になってくる。そして苛立ちがでてきた。この登場人物の行儀よさは何なのだ？　私はいつしか眠気を忘れ、この整然とした世界を壊すことに没頭してしまったのだった。道路切断、ライバル店乱立、自然の脅威（やたら木を植える）、およそ考えられる妨害をすべて実行してみるのだった。荒廃グラフィックが、わたし的にはボーナス画面のように思えてきてしまった。だが、健気にまた普通の生活に戻ろうとする人々に、気紛れな神様もついにサジを投げ、一息ついてしまったのだった。ふう、まったく善き人々だよ。

もし神様がこういう運営精神だったら、たまらないよね。そんなことはないだろうけど…。ひととおりあがき終えた私は、今やっぱりちょっと眠いです。（つづく）



図書館長の私。本当は自転車が好きな設定だが、なぜかスケボーに乗っている

CD-ROM

海外Macintoshゲーム事情　第16回

## GameSprocketsの功績

桑原弘詩

GameSprocketsはAppleがゲーム開発者のために用意した4つのライブラリー群で、Mac独自のゲーム環境を強力にサポートすることからシェアウェアメーカーやMac移植専門メーカーを中心に積極的な採用が進められている。

**DrawSprocket●**マルチバッファリング描画と解像度自動切替え機能を提供するライブラリー。特に解像度自動切替え機能は、一般環境からゲームへの移行が容易なMac独自の環境にマッチすることから、多くのゲームで採用されている。

**InputSprocket●**ゲームに負担をかけずにスムーズな入力環境を提供するライブラリー。マウスやジョイスティックを組み合わせた自由度の高い設定が可能で，2人用ゲームで威力を発揮する。USB機器にも対応し、多くのアクション系ゲームがアップデートで対応を進めている。

**NetSprocket●**ネット接続機能を提供するライブラリー。PCとの接続性がないという欠点をもつが、ネット機能を容易に実装できるためシェアウェアを中心に普及している。LANとダイヤルアップの同時接続が可能なため、家庭内LANを中心にした対戦環境の構築に重宝する。

**SoundSprocket●**3Dサウンド機能を提供するライブラリー。3D RAVEとも連動しドップラー効果まで再現する。採用例は少ないがシェアウェアゲームで効果的に用いているものが見られる。

GameSprocketsは一時Appleによってリストラの危機に立たされたことで知られるが、開発メンバーのChris De Salvo氏による献身的なサポートと多くのメーカーの採用により普及が進み、ついには正式サポートの復活とMac OSへの標準装備へと至った。この復活劇は、Macのゲームに何が本当に必要なのか正しく見極め、大御所の言動に振り回されずにその信念を貫き通した人たちの勝利ともいえよう。



InputSprocketに対応したMars Rising。複数の入力機器による2人プレイにも対応



NetSprocketを採用したAsshole。Apple Talkとダイヤルアップ IPの同時接続も可能。日本語版は「大富豪」としてMSD-Japanから発売中

## GameOnline CD-ROM

**Goofy Golf Deluxe●**
Squeegee Software／デモソフト
（製品版は24.95ドル）
http://www.squeegeesoftware.com/
有名なミニチュアゴルフアーケードGopher Golfの続編。トリッキーな54ホールとクレイモデルによるカラフルなグラフィックスが特徴。

**Deathground●**
Freeverse Software／デモソフト
（製品版は29.95ドル）
http://www.freeverse.com/
ギャングの縄張り争いをテーマにしたRISK型ボードゲーム。逆転劇によるエキサイティングなプレイとダイナミックなゲーム画面。

**Cythera●**
Ambrosia Software／シェアウェア
（25ドル）
http://www.delver.com/
混迷と荒廃の異世界キテラ島を舞台にした2Dファンタジー RPG。洗練されたインターフェイスと奥の深いシナリオによる硬派向け仕様。

**取り調べ室シミュレーター●**
Masaru's MatchBox／フリーウェア
http://www.mmbox.com/
警察の取調べをテーマにしたロールプレイングシミュレーション。爆破予告犯を精神的にゆさぶり自供を引き出せ。表情豊かな3Dキャラ。

**召!喚!Ju!●**
RIEN／フリーウェア
http://www1.linkclub.or.jp/~rien/
カードバトル型ボードゲーム。魔獣のパーツを組み合わせて召喚獣を呼び出せ。多彩な召喚獣と戦略的なプレイによるパズル的頭脳ゲーム。

**チャカポコ大追跡●**
松本けい／シェアウェア（900円）
http://member.nifty.ne.jp/cable/
もぐらたたき型アーケード。愉快な盗賊三人組を叩いて追い詰めろ。チャレンジ性の高いスコアシステムとユーモラスで賑やかな演出。

文●宮澤誉樹




年表で見るプロフィール



接吻(1)／クリムト






年表で画家の面影にふれる




作品解説は実に細かい




各作品の一言コメントも充実している

# 名画への旅 Selection I、II

## 芸術の秋。印象派の名画をデスクトップで鑑賞

(株)シンフォレスト／03-3440-6108／4,900円／Mac & Win



洗濯する女たちのいるアルルの跳ね橋／ゴッホ

知ってるけれど、実物は見たことがないという超有名な名画ばかりを集めたデジタル画集。基本はランダムとオールプレイ、そして画家ごとに章立てられた各パートごとのスライドショー再生ソフト。それに作品解説、画家及びその時代を描き出す年表、壁紙機能が付いている。横や縦に長い作品ではエフェクティブスライドショーを使って、作品の全体をくまなく見せてくれる演出もある。また、アルバムギャラリーでは好きな絵を保存できるのでオリジナルスライドショーの作成も簡単。まさにデスクトップ美術館だ。作品の解説や年表もしっかりしているので、絵画の入門書としての活用も可能。

セレクション I、IIはいずれも印象派の画家の作品。第一集はマネ、モネ、ルノワール、ドガ、ピサロ、シスレーの5人。第二集はゴッホ、ゴーギャン、セザンヌにウィーン末期のクリムト、シーレを加えた5人。それぞれの作品が数十点ずつ収録されている。クリムトとシーレは時代の雰囲気なのか、少しタッチが暗いが、他の8人は典型的な印象派の「笛を吹く少年」や「ひまわり」など教科書や街角、切手でおなじみの名画がデスクトップに蘇る。残念ながら実物の筆運びや油絵独特の絵の具の盛り上がりの質感はないが、絵の雰囲気は十分に伝わってくるし、美術の資料としての価値は高い。もちろんデスクトップの背景としても使用できるので、iMacに使うとよりアートな感じになる。芸術の秋、教養を高めるにはぜひ手にしたい作品だ。



一覧表示の画面




アルバムギャラリーは好きな絵を保存できる




各章で個人作品がまとめられている

# 生き物いろいろ飼い方百科

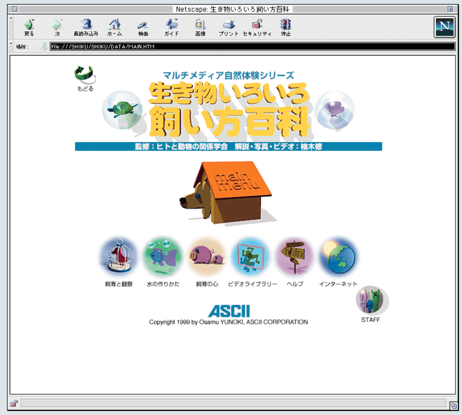
## 230点の写真が物語る、去りゆく二十世紀を振り返ろう

（株）アスキー／03-5351-8640／2,980円／Mac & Win

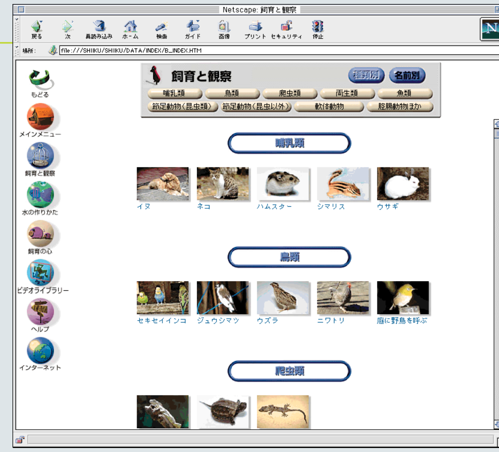
　生き物を「見つけよう、育てよう、観察しよう」をコンセプトに制作されたCD-ROM。

　ブラウザー画面を使用しているので操作は簡単。哺乳類から魚、鳥、昆虫まで約70種類の動物の飼い方を解説。600点以上の写真に加え、イラスト、アニメーション、ムービーなど、あらゆる手法でわかりやすく飼育のノウハウを紹介している。ムービーは全部で50分用意されていて、かわいらしい動物の姿をとおしてコミュニケーションの楽しさや、野生の生態を紹介。「人と動物の関係学会」の監修で楽しさだけでなく、ペットが死んだときの心構えまで用意されている。また、ネットに連動していて、水族館や動物病院などの情報まで網羅。ちなみに項目は、メインメニュー、飼育と観察、水の作り方、飼育の心、ビデオライブラリー、ヘルプ、インターネットの7つ。2枚組で、1枚に必要なプラグインなどのインストーラーが用意されているので閲覧環境に困ることもない。ただし、各ページにジャンプする際に少し時間がかかるのが気になる。

　ともあれ、動物を飼う際に必要な情報は充実していて、飼う前に目を通すととてもためになるばかりでなく、かわいい動物達のムービーや写真を見るだけでも癒しの効果がありそうだ。




ブラウザー形式なのでわかりやすい




かわいい動物を飼う前に飼育と観察で大変さを要チェック






解説は図解やビデオ、写真がふんだんに使われている

# アンデス

## アンデス山脈の自然の美しさを堪能

（株）メディアカイト／03-5449-3181／7,800円／Mac & Win

　高野潤は過去数十年にわたりアンデスを撮り続ける写真家。彼の作品集をスライドショーにしたのが「アンデス」だ。機能は至ってシンプル。150枚の写真を昇順、降順、ランダムの3種類のいずれかで再生する。再生時間の調節が可能で、他には写真をどこで撮影したかが一目でわかるメモ機能が付いているだけ。ここではそれぞれの写真の一言コメントや地図もある。1枚1枚の作品もさることながら、150枚をまとめた作品集としてもかなり見ごたえがある。また、「Photo Quest」の機能限定版もバンドルされていて、壁紙機能では好きな写真をデスクトップに使用できる。無駄な機能の全くない作品を見せるソフトといえる。もちろん640×480ピルセルの標準画面と1024×768ピクセルの大画面のいずれかを選択できる。

　写真はアンデス山脈を中心にした自然、動植物など。どの写真も自然の雄大さや、荘厳さが伝わってくる美しいものばかり。海から雲の上までの標高、ジャングルから岩山までのバリエーションあふれる地形など、さまざまな表情を見せるアンデスの偉大さを感じる。日本ではお目にかかれない自然の美しさを堪能しよう。



メモでは撮影場所と簡単なコメントを掲載

メニューは至ってシンプルだ







人智の及ばないアンデスの奥地は鳥にとって楽園なのだろうか

雄大な自然現象に息を飲む



# CD-ROM REVIEW

## シンフォレスト100
### シンフォレストCD-ROMシリーズ・ダイジェスト
(株) シンフォレスト／03-3440-6108／1,900円／Mac & Win





各作品の紹介と数点のフォトで構成される



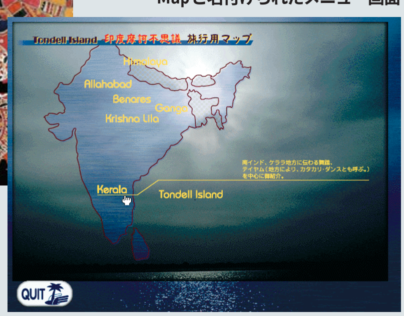
9つのジャンルに分かれて表示されるメイン画面

質の高い写真と美しい音楽でさまざまな景色を切り取ってきたシンフォレストのCD-ROMシリーズ。すでに160以上のタイトルが発表され、今も毎月増え続けている中から、人気の高かった104作品、計300点のサンプル画像を収録したダイジェスト版が登場。「アート作品集」「憧れの世界紀行」「動物達の世界」「豊かな恵み　自然と山岳」「美しき国　日本」「神秘の光景　天体と宇宙」「鉄道・車窓の旅」「歴史再発見」「CD-ROM図鑑シリーズ・リファレンス」の9つのパートに分けて各作品を紹介。製品パッケージとテキストによる解説、そしてサンプル画像が数点ずつ収録されている。通常製品同様にサンプルをスライドショーで表示することも可能。タイトル検索の機能も付いている。

## 印度摩訶不思議
### 不思議の国インドのミステリアスな写真集
(株) 金羊社／03-3750-2101／3,980円／Mac & Win




クリシュナリラの写真



Mapと名付けられたメニュー画面

インドのミステリアスな部分を描き出す写真集を中心とした摩訶不思議な作品。写真集パートは6つ。「KurishnaLira」はクリシュリラの子供たちの肖像。「himalaya」はヒマラヤに暮らす人々と雄大な自然。「GANGA」はガンジス川とそこに集まる人々。「Allahabad」はサヴィと呼ばれる修行僧たち。「Benares」はシバ神の約束の地で行われる祭りなどの光景。「Kerala」はケララン地方の伝統舞踊テイヤムを紹介している。ほかに「とんでも商店街」、来世占いの「カルマルーレット」。あいさつ編と買い物編の「ヒンドゥー語講座」その発展形になるヒンドウー語クイズ「解脱はまだか」。そして20種類のポーズの効能を紹介した「ヨガ道場」。随所に不思議な演出がほどこされている。

## ハンドメイドバスプラグ
### 手作りルアーでもっと釣りにはまる
NECインターチャネル（株）／03-5440-0762／各5,800円／Mac & Win

バスフィッシングに欠かせないルアー。特に最近は少量生産のハンドメイドプラグに人気が集まっている。そんな著名バスプラグ254種類を収録した作品だ。全体は5項目で構成されている。「ハンドメイドプラグオールカタログ」では約200種類のプラグを細部にわたり紹介。代表的な30種類は動きをムービーで収録。水音を収録したものもある。ビルダー、タイプ、コンセプトでの検索も可能だ。「ルアービルディング」ではオリジナルの型紙データ（Adobe AcrobatReader形式）を収録。実際に制作する際に使用できる。「ロッドビルディング」はテキストと動画によるロッド作成の製作工程紹介。「インターネットに接続」はソフト監修の永江一石氏の釣りページに接続される。「お宝拝見」はマニアに特に人気の高いハンドメイドルアー33種を静止画とテキストで紹介している。



メニュー画面



36種類のルアーの型紙や製作工程を紹介している





入手困難なお宝が11種類

# Dog's in the sun

## ギリシャの島々とかわいい犬達

（株）シンフォレスト／03-3440-6108／3,900円／Mac＆Win



かわいい犬たちの生活がふんだんに盛り込まれている

世界中でヒットした「Cats In The Sun」のハンス・シルベスターの新作の主役はかわいい犬達。約150点の犬を主人公とした魅力いっぱいの写真を収録している。ギリシャの島々にすむ気高い犬たちの写真を「On fine mornig」「Life on iskanda」「playin' with friends」「Wonderful place」の4章で紹介する。

ほかに特殊なスライド効果を使ったエフェクティブダイジェストスライドショーと、犬にまつわるちょっと愛しくて悲しい物語を、写真と文章で綴ったショートエッセイが収録されている。さらにAfterDarkモジュールとしてのスクリーンセーバー機能、CD-ROMなしで再生できるSFカスタムセーバーやおまけカレンダー、1,024×768dpi用の壁紙用画像も入っている。

メニュー画面








PostCardShopでは収録されている全写真の閲覧が可能

メニュー画面






# IBIZA 70's

## スペイン、イビザの魅力満載

（株）金羊社／03-3750-2101／3,980円／Mac＆Win

6つのメニューで70年代からのスペイン、イビザの魅力を伝える作品。「IBIZA BAR」ではメニューを使って現地語を習得。「CLUB PACHA」は1956年から今年までの現地で有名なクラブで撮影された写真。厳選された写真はどれも生々しく、夜の喧噪を伝える。「POST CARD SHOP」は収録された全写真の一覧データにアクセスする。「IBIZA LINK」は関連Webページ紹介で、現地のラジオ局のページも収録。「GO! HICH HIKING」はEs Cana、La Cashde Marla、Formentera、そしてIBIZAの各地へ誘う。地域別に写真を見たい場合にはここからアクセスする。他にゲームが2種類。ヒッピーを捕まえるゲームと、逆にヒッピーになって警官から逃げるゲームがある。

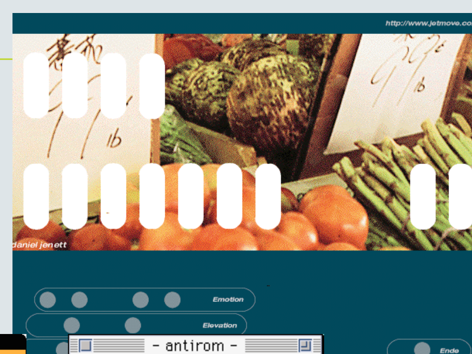
# GASBOOK 6

## ビジュアルアーティストの最先端情報

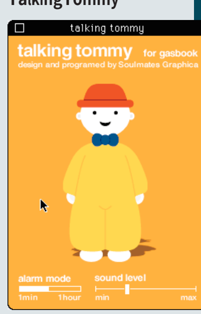
A&Pコーディネータージャパン（株）／03-5798-0210／5,800円／Mac＆Win

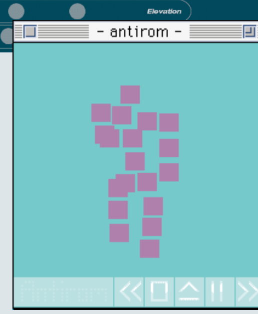
「GASBOOK」は新進のビジュアルアーティスト達の作品を集めた新形態メディアだ。ビデオ、Tシャツ、ブックレット、エンハンストCDが同梱されている。ブックレットで各アーティスト情報や制作背景を収録し、作品をビデオやCD-ROMで見ることができる。もちろんTシャツも作品だ。世界各地で活躍中の18組のビジュアルアーティストの作品を収録。まさにビジュアルアーティストの最先端情報と最新作の宝庫といえる。日本語フォントのプロトタイプやデスクトップウォッチ、ビデオクリップなど作品の種類は多岐に及ぶ。現在の若者の元気なビジュアルアートをぎゅっと詰め込んだような作品で、なんだか見ているこっちも元気になれそう？

Daniel Jenettの作品




TalkingTommy




Anti-Romという作品

# i & imac

すっかり秋の気配である。夏の間、あんなにハマッていたピコピコなショートメールにも、やはり飽きてきた私である。あの小さな枠の中で文字を書くのは、やはり間抜けに見える。で、さっさとiモードに買い換えたマネージャーのコマッチィは、

「やっぱり、ショートメールよりインターネットができる方が文字数が全然多いですもん。こうやってホームページまで見れるし」

と、自慢げに見せてくれるが、

「見られるし、でしょうが。＜ら＞を抜くな！」

と、妙なことを厳しくチェックする私である。私はこのら抜き言葉が大嫌い。許せん。あるときは編集者の携帯電話にメッセージをのこそうとしたところ、

＜ただ今電話に出れません＞

と、あるまじき応答メッセージが聞こえてきて、用件を忘れてしまった。

「編集者なのに、らを抜いてはいけません。入れ直すように」

と言って、電話を切った私なのである。

ようし、もう、iモードは買わない。そのかわり、「H"」を買ってやる。もう、誰より新しいのを買ってやるもんねー！

それにしても私のデジタル環境は整ってきた。PowerBook G3は、快調そのもの（Photo1）。猫のチャイの襲撃にも負けずにがんばって動いている。iMacも相変わらずキュート。最近は、いろいろなレストランやブティックでiMacをインテリアに使っているところが増えてきたね。

私がよく行くところでは、アニエスb.の青山本店がストロベリー色を、ラスチカスという無国籍レストランが、各フロアに色違いのiMacを置いている。時代にぴたっと合っている感じ。

そんな中、コマッチィは、大忙しである。何しろマックを買ったはいいが、上手に使えない不届き者が多く、私の友人たちもこぞって頼ってしまう。写真は、新宿に住むフーラなどでDJをしている鐘比くんの部屋。グレープのiMacをコマッチィがセッティングしてあげたところ（Photo2）。お礼は彼の作ったカレー一杯だけだった、らしい。この部屋、なんてことはないマンションなんだけど、新宿の夜景が全開に見渡せる。おかげで、私はここである短編を一本思いついたぞ。ラッキー！

DJをしている友達は、他にもいるのである。髪の長いカンタロウさんは、椿ハウスの頃からのDJ、私と同い年。毎月最終土曜日に渋谷のクラブCAVEで回している（Photo3）。私も時々、遊びに行きます。そのカンタロウさんたちが、この夏は由比ヶ浜にスタジオを借りてずーっとこもって曲を作っていたんだね。私も遊びに行きました。七月、八月は、コギャルさんたち大集合で何だか落ち着かなかったけれども、九月にもう一度バーベキューをしに戻ったら、そこにはとっても静かで落ち着いた海があった。波の音も潮の匂いもきちんと伝わってきて、海に入っているのは本物のサーファーやセイラーで、見ていても気持ちがよかった。デートするなら、この季節に限るね。

で、今月はイベントだらけ。大森うたえもんさんがブリキマンに扮した＜オズの魔法使い＞を新宿コマで見た（Photo4）。

私、不覚にも泣きました。楽日というのもあったろうけれども、熱い舞台だったな。

主演の安達祐実さんには、ものすごーく人を惹き付ける魅力があった。うたえもんさんのブリキマンはやはり歌がとってもよくて、何だか切なくて、動きも派手なので、子供たちに大人気。私の隣に座っていた見ず知らずのお嬢さんはずっと、

「ブリキのお兄ちゃん、ブリキー」



Photo1



Photo3

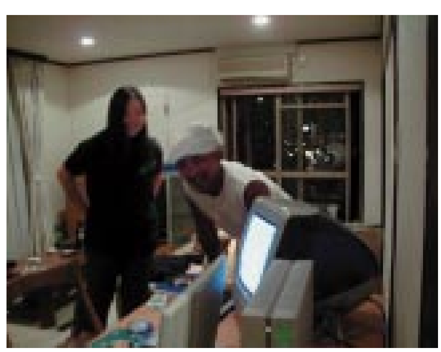


Photo2

＜その5＞

これは、僕の記念すべき2通目のメールです。なんていう文体は好きなのである。

**谷村志穂**（たにむら　しほ）…作家。最新刊に、『おやすみなさい、と彼が言う』（世界文化社刊）がある。Macは3年前から使い始め、現在はiMacとPowerBook G3を愛用している。ホームページ「HOUSE」（http://www.age.ne.jp/x/shiho/house/）では、谷村さん自ら掲示板にメッセージを寄せることもあるので、ファンは必見。

# 谷村志穂のdigidigi日記

Shiho Tanimura

と叫んでいた。そんなブリキマンと、句会の大先輩の渡辺文雄さん(大魔王役)の楽屋に、それぞれ薔薇を一輪ずつ届けた私である。来年もまた見に行きたいな、みんなも行こう！

思えばコマ劇場の日はまだ暑かったな。それなのに、もうブーツを履いて出かけたおしゃれぶっている(?)私であったが、秋田ではこんな醜態を。

集英社が主催する高校講演会で、秋田の三つの高校を回ったのである。どの高校にも、一人も茶髪やガングロの子はいなかった。ウッソーと思うくらい清純な匂いが漂っていた。

帰りに集英社の小山田女史と、代理店の小島っちと一緒に温泉に立ち寄ったのだが、この温泉が凄い。本当は乳頭温泉を希望していたのだが、どこも年内はすでに予約で埋まっているとかで、我々は秘湯中の秘湯……と、何かの本に紹介されていた強首温泉(こわくび、と読む)へと向かったのである。字面からすでにコワソーなこの温泉は、実際謎だらけ。あるホテルには、フロントから廊下にかけてずらーっと、本物の日本兵が着ていた軍服姿のマネキンが立っている。うんぎゃー。

我々が泊まったのは、小山田邸という、集英社の小山田さんとは、一応縁もゆかりもないはずの豪農の家なのだが、小山田邸の未亡人である色白の女将と話し込んでいたら、あまりにこちらの小山田さんと共通するエピソードが多い。なーんかつながっているんだろうな、呼ばれてきたのかな、それにしても静かだなー、この広いお屋敷に泊まっているのは我々三人だけなんだよなー、とか思っているうちに、もう、飲んでしまえー、それしか道はないぞーということになり、朝まで浴衣ですっぴんの大酒飲み大会ということになったのだ。いいんだろうか、の初公開、眉なし写真(Photo5)。ご迷惑でしょうが、お許し下さい。

と、こんなにいつも乱れていても仕方がないので、ちょっと気取った夏の思い出も一つ。

油壺、シーボニアで、ヨットに乗った。連れていってくれたのは、テレビマンユニオンの土橋正道プロデューサー、最近ではNHKの〈ようこそ、課外授業〉などを撮っている。私とは、ずっと以前ネイチャーリング・スペシャルで出会って、それから土橋さんの縁で浅井慎平さんとも知り合い、句会にも入った。思えば、お世話になっているのである。

で、土橋さんのおじさま(業界の有名な方なのですが)の所有する素晴らしいヨットに乗せてもらった。海のロールスロイスっていわれているんだって。しかし、風情のない私は、すぐに激しく酔い、ごろんごろんと寝たきりまぐろんであった。素晴らしく澄んだ空、どこまでも青い海、おじさまの奥さまの用意して下さったおいしいランチをみんなが食べ始めたというのに、まぐろん谷村はなお転がったまま。ところが、海に夕暮れが迫り、日が陰ってきたとたんに、むくむくっと起きた。

「復活！」

「君はよほど夜が好きと見えるね」

と、土橋さん。

で、慌ててぱちりと記念写真を撮る(Photo6)。

ところで、ヨットの中ではひとしきり皆がインターネットの話をしていた。だが土橋さんだけは、未だ原稿も手書きというではないか。

「楽しいのに、メール」

と、私がいうが、土橋さんは頑固一徹だ。

すると、数日後、いきなりこんなメールが届いた。

〈これは、僕の記念すべき2通目のメールです。1通目は、おまえは若いくせにメールもやってないのかと僕を煽った叔父さんに、くやしいので真っ先に送りました。〉

今ではすっかりメール仲間なのである。



Photo4

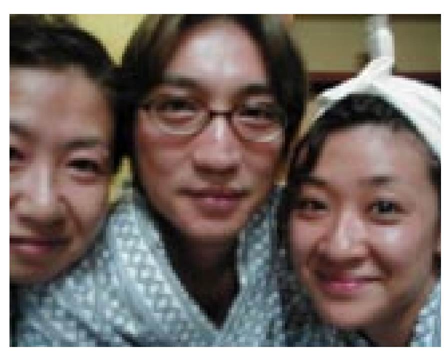


Photo5



Photo6

# MAC MIND STORMS RESEARCH CENTER

●MacユーザーのためのLEGO MindStorms研究所●

# 倒しても起きあがるロボットを作るためには？

いよいよ今回から、「倒しても起きあがるロボット」の制作を始める。とりあえず基本形としてはRISのみのパーツで作るという前提にしたため、動きなども限定されるが、その分、読者の皆さんが比較的に簡単に再現してみることができるだろう。今回紹介する基本形をベースに、数回にわたってさまざまな応用方法を考えていく。

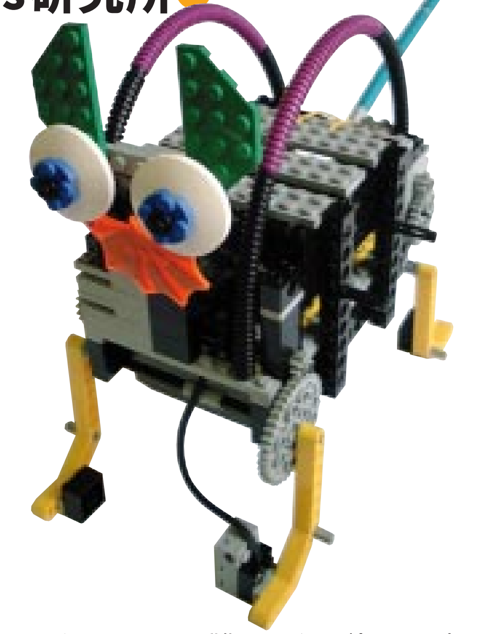


図1●このネコのような動物風のロボットが今回のサンプルモデル。構造をシンプルにするために、歩き回ったりはせず、横倒しにしたときにそれを関知してヨッコラショと起きあがる機能だけを実現した。背中のカーブと尾はフレキシブルチューブをコネクターペグでつないだものを使用

## バランス変化型正立メカ

今回は図版が多いため、説明に関してはほとんど写真の説明文を読んでいただくことになる。ロボットのテーマである「倒しても起きあがるロボット」というのは、あえて幅を持たせたもので「倒されても再び起きあがって動き回るロボット」でもよいし、「起きあがりの動作そのものが面白いロボット」でもよい。

個人的にはソニーのAIBOの動きを見たときに、ころんで起きあがる動作がなかなか面白かったので、これに似た動きをさせられないかと思って組み上げてみた。もちろん、RISの基本パーツと2つのモーターだけではAIBO並みの「関節ワザ」は不可能なので、自走機能はなく、ユーザーが手で横倒しにすると元のように立ち上がるという点に機能を絞っている。

制作のポイントとしては、

・ビームを使った頑丈なフレーム
・大きな減速比（＝高トルク）をコンパクトに実現するギア配置
・直線構成になりがちな外観を和らげるフレキシブルチューブ

といったところだ。これらのポイントは、事前にある程度のイメージを描きつつ、作りながら実現可能な範囲で軌道修正していく。掲載図版だけではわかりにくいところもあるだろうが、そこはLEGOブロック組立の基本精神に則り、自分なりに構造を類推して作りあげることを推奨したい。

### ロボットの構造は？

基本的には図4、5のようにRCX本体にダークグレイのコネクターペグでビームを取り付けてコアフレームとし、図6～8のようにスタッドアクスルで左右に動力を伝達しつつ、モーターの回転を減速（＝トルクアップ）する機構を組み込むことにした。図9、10で示すカバー状の追加フレームは、ギアの噛み合わせがゆるまないようにする上で重要な役目を果たしている。

図13のプログラムはセンサーによるトリガーとモーターの駆動時間制御を組み合わせた単純なものとしたが、実際のモーターの回転量は電池残量によっても異なるので、各自で調整されたい。もちろん、センサーを増やしてより厳密なコントロールを行なう方法もある。

最後にフレキシブルチューブ（ブロックにはめただけ）で加えた背中のラインは、ご覧の通り輪郭を模した単純なものだが、これだけで全体の印象がかなり違ってくる。ブロックにはもともと造形的な「近似の美学」的な部分があるので、最小限の要素でいかに雰囲気を出すかということも興味深いテーマだといえる。

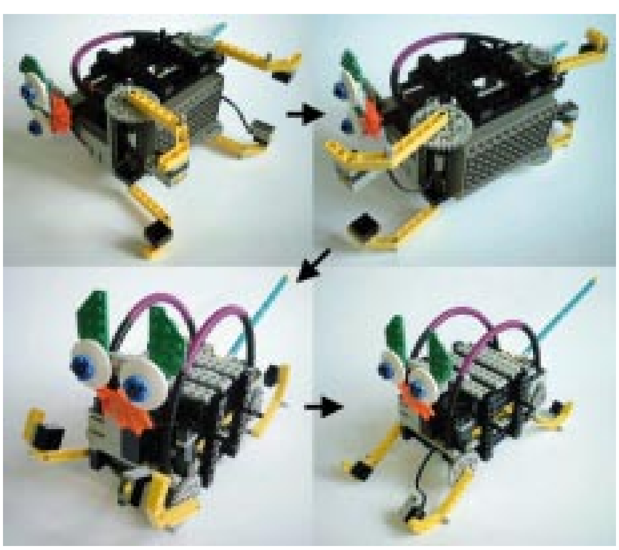


図2●ソニーのAIBOが起きあがる動きにヒントを得て、一連の起きあがり動作には脚部の動きに応じて変化する支点と重心の関係を利用した。まず体が正立し、その後に脚が前後から閉じて図1の状態に戻る

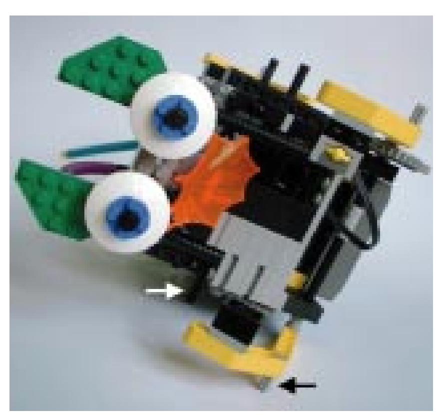


図3●脚がこの位置まで来たときに、重心が支点の外に出て、体が正立する。このバランスの変化をスムースに行なわせるために、体の側面と脚の一部にコネクターペグを埋め込んでいる（白と黒の矢印部分）

1つ注意すべきなのは、今回のサンプルロボットはタッチセンサーで床の有無を直接判別する方式なので、絨毯などの上では新聞などを広げて動作面をスムースにする必要があることだ。

## より高度なロボットに向けて

さらに、応用や改良の課題としては、以下のようなことが考えられる。

1）起きあがる前に少し脚をバタバタさせたり、何もせずに立っているときに体を揺するなど、より生き物らしい動きを表現してみる。

2）対で動く脚を左右のペアではなく、前後のペアにしてみる。

3）デファレンシャルギア（付属のConstructpediaに収録されているROBO 2参照）などを利用して、モーター1個のみで同等の動作を再現する。

4）モーターを増やして首や尾にも動きを出す。

5）タッチセンサーやライトセンサーを応用して、床面接地タイプではない傾き関知センサーを作り、動作面の影響を受けにくくする。

もちろん、より動物的な外観を作り上げていくことも立派な改良だ。そういう改良を行なったり、独自メカを作り上げげたという方がおられたら、ぜひMMRCに投稿していただきたい。作品の写真と簡単な説明を、編集部宛に送っていただければ幸いである。　（大谷和利）



図4●ロボット作りは頑丈なフレームの構築から始まる。このロボットではRCX自体を構造体の一部として組み込むと共に、本体の最も低い位置にくるようにして、重心が極力下がるようにしている。黒のビームは、下側が1×16、上側が1×2、1×12、1×4のものを並べて使用する

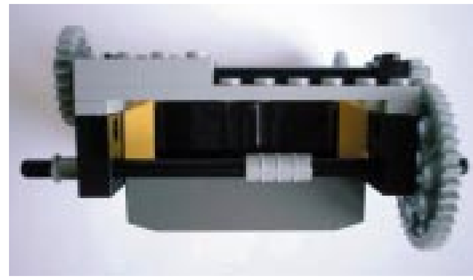


図5●起きあがり時の脚部にはかなりの力がかかるので、トルクをかせぐために3枚のギア（40枚歯→8枚歯→24枚歯）を介してモーターへと導く。スタッドアクスル（シャフト）は上がでっぱり12個分のもの、下が8個分と6個分のものをつないで使うとちょうど良い

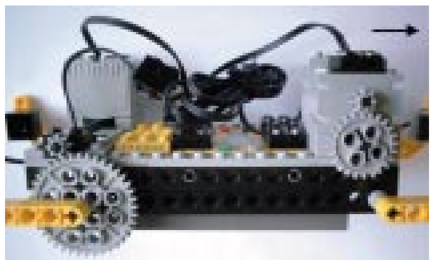


図6●8枚歯のギアを付けたモーターを搭載し、脚（2箇所で曲がっている黄色いビームパーツ）を取り付けた状態を、正面向かって左サイドから見たところ（矢印方向が前）。モーターの高さ合わせは1×4のプレートを重ねて行なっている



図7●同じ状態のシャシーを正面向かって右サイドから見たところ（矢印方向が前）。RCXは前後で上部の形状が異なるため、後部ではわずかの差でモーターの下部の膨らみをクリアできず、完全にはみだした位置に搭載することになる




図8●部品配置を上から平面的に見たところ（矢印方向が前）。モーターからの配線はそれぞれアウトプットポートのAとCに、また脚に取り付けたタッチセンサーはインプットポートの1と3につながる。なお、後ろ脚からの配線はそのままでは短すぎるので、長いケーブルで中継している



図9●上部に取り付けるカバー的なフレームを単体で見たところ（矢印方向が前）。細かいパーツ配分の話は割愛するが、図10とあわせて見ていただければ、だいたいの構造や部品構成がわかるはずだ

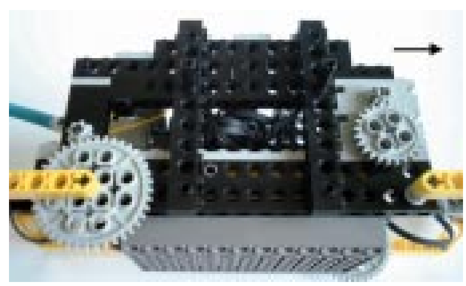


図10●カバーフレームを取り付けたところ（矢印方向が前）。動作時に回転軸に大きな力がかかるロボットの場合、上下方向のギアの噛み合わせ部分でブロックが外れやすくなる。そんなときは、このようにビームを利用して上下から挟み込んで固定するとよい



図11●頭の部分はいわば飾りものなのでいろいろと遊んでしまって構わない。ここではオレンジ色の羽根のような部品を口に見立て、蝶番のような動きをするパーツで角度を調整しながら取り付けている

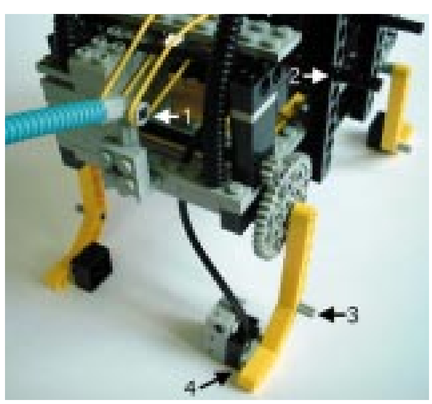



図12●尾（1）は、ゴムを利用してある程度動きを規制し、また適度に揺れるようにした。重心移動用のコネクターペグ（2はビーム厚3枚分の長さのフリクション・コネクターペグ、3はコネクターペグの半分がスタッドアクスルになっているもの）の位置は重要。タッチセンサーを脚に取り付けるには、間に1×2のプレート（4）が必要だ



図13●プログラム例をRCXコードで示す。基本的には、前後の脚とも、タッチセンサーがオフになったら、2秒待ってから脚を広げる方向に1秒弱動かし、重心が移動して正立したところを見計らって脚を閉じる方向に1秒強動かす。実際の脚のストップ位置はタッチセンサーが押された時点だが、万が一それをオーバーしたときにもトラブルを未然に防ぐ仕組みだ

MMRC

# RoboLabでプログラミング(上級編)

先月は初心者向きのPILOT環境を紹介したが、今月は上級者向けのINVENTORを使ってみよう。例のごとく、マニュアルも側に置いてご覧になることをお薦めする。

まず初期画面からPROGRAMMERを選ぼう。先月はここでPILOTを選択したが、今月はINVENTORのレベル4(Inventor 4)をダブルクリックしてみよう(図1)。もちろん、ここで特定のサンプルプログラムを選んで参考にしてもいい。まず現われるのは始めと終わりだけのプログラム(図2)だが、PILOTとはアイコンの大きさもかなり小さくなり、ウィンドウもいくつも現われてずいぶん雰囲気が違うと思う。

実は上部のウィンドウはPanelウィンドウといって、プログラムを動かすには必要なのだが、ほかには特に意味はない。そこで普段はプログラムの説明を書いておくのに使われている(後述の縦棒カーソルを使う)。またプログラムの作成を終了するにはPanelウィンドウを閉じればよい。

## アイコンを線で繋いでプログラミング

実際にプログラムを記述するのが、下側のDiagramウィンドウだ(図3)。この図を見れば解るとおり、PILOTとは複雑さがかなり違う。基本的にはプログラムのスタートを表す青信号アイコンから、終了を表す赤信号アイコン(へ実行の流れを表す(ピンク色の)線をつなぐことで、プログラムを書くことになる。いくつかのアイコンからは下に異なる種類の線が出て、菱形のアイコンや数字につながっているが、このアイコンはセンサーや出力端子の番号を表している。

では、具体的にプログラムの書き方を示そう。まずDiagramウィンドウをクリックして、WindowsメニューからShow Tools PaltteとShow Functions Paletteを選んで、Toolsパレット(図4)とFunctionsパレット(図5)を出しておこう。Toolsパレットには左上から順に値の変更(指カーソル)、アイコンの移動(白矢印カーソル)、テキストの追加・変更(縦棒カーソル)、アイコンの連結(糸巻カーソル)の4つがよく使われ、TABキーを押すたびにこの4つのカーソルが順に選ばれるようになっている。

Functionsパレットにはコマンドや各種の値(Modifiers)が用意され、マウスでそれらを選んでDiagramウィンドウ内でクリックすることで、そのアイコンが追加される。Functionsパレットの上2/3は出力関係のもの、たとえばモーターAを前へ、といったコマンドだが、実はこれだけではあまり役に立たない。下側の1/3にあるポップアップメニュー(図6)の中にあるコマンド群(図7)を使うことの方が多いだろうから、必要に応じて別パレットにしておこう(上部のピンを選ぶ)。

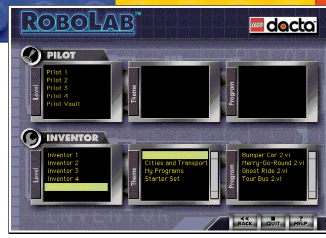


図1●INVENTORのレベル4(Inventor 4)をダブルクリック

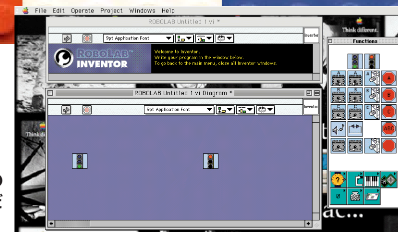


図2●現われるのは始めと終わりだけのプログラム

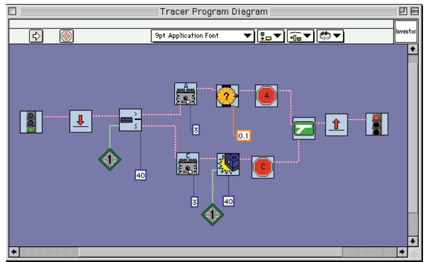


図3●プログラムを記述するDiagramウィンドウ

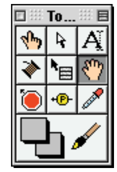


図4●Toolsパレット

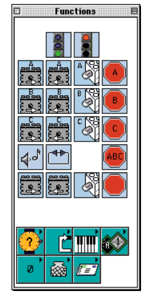


図5●Functionパレット

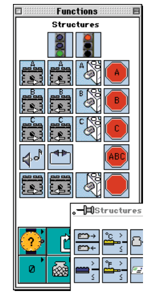


図6●下側の1/3にあるポップアップメニュー

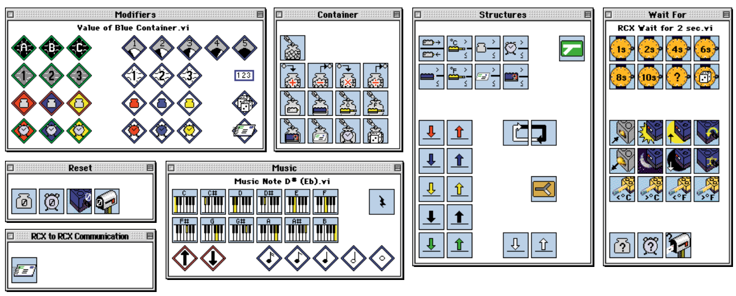


図7●ポップアップメニューのコマンド群

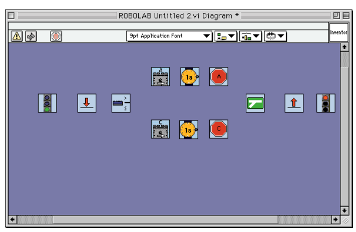


図8●Functionパレットからコマンドを選んで並べてみる

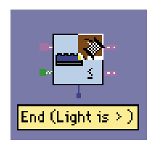



図9●アイコンの左上はBeginといって線が入り、右上はEnd線が出ていく

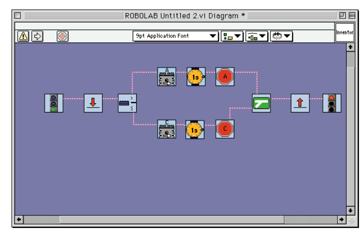


図10●図のように線を繋ぐ

## プログラムを書いてみよう

これから作るのは簡単なライントレーサー用のプログラムで、付属のテストパッドの黒い線の上を回るものである。ここではRCXの1番のセンサー端子にライトセンサーが、AとCの出力端子につながっているとしている。完成したものは図3であるが、これがどんなプログラムかといえば、「ライトセンサーの値が40を越えていればモーターAを右へ速度3で0.1秒動かし、40以下ならCのモーターを右へ速度3でライトセンサーの値が40以上になるまで動かす」を繰り返すものだ。

まずは白矢印カーソルにして、Functionパレットからコマンドを選んで図8のように並べてみる。次に糸巻カーソルを選ぶとアイコン間に線を引くことができる。各コマンドアイコンの左上はBeginといって線が入ってくる端子で、右上(場合によっては右下も)はEndといって線が出ていく端子となる(図9)。アイコンの下側にはModifierといって各コマンドのオプション情報を付ける端子である。End側にカーソルを合わせて、Begin側へドラッグすると線が引かれる。この線は白矢印でクリックしてからdeleteキーで削除できるが、ちゃんとつながっていない線ならメニューからRemove Bad Wiresを選ぶと消える。

図11●エラーダイアログ

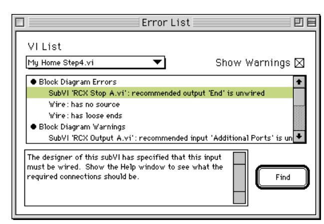


図10のように線をつないだら、あとはModifiersコマンドから1番ポート(緑の菱形)と定数(青い四角)を選んで配置し、ライトセンサーの各端子と接続する。定数の値を指カーソルで選んで40に変更すれば、一応これで完成だ。プログラムをRCXへ転送するにはウィンドウ左上の白い矢印ボタンを押せばよい。

RCXメモリーの何番にダウンロードするかは事前にRCXで選んでおこう。もし誤りがあればエラーウィンドウ(図11)が現われて教えてくれる。エラーメッセージをダブルクリックすれば対応する場所を示してもくれるので、何度でもやり直してみよう。　(魚井宏高)

# LEGO MindStormsの新作登場!

今年8月末、米国ではLEGO MindStormsシリーズの新作であるRobotics Discovery Set（RDS）（図12）とDroid Developer Kit（DDK）が発売された。当研究所では早速これらを入手したので、詳しい情報をお伝えしたい。

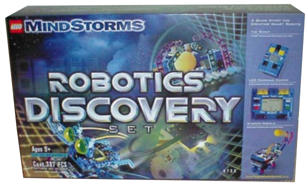


図12●箱正面です。Scoutの写真などが描かれている



図13●Scout大きなLEDに「英語」でコマンドをが表示される


図14●箱の中の写真。「青い」部品が数多く入っている

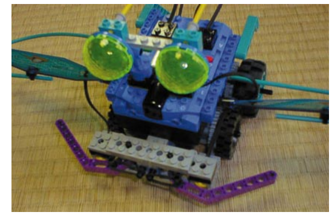
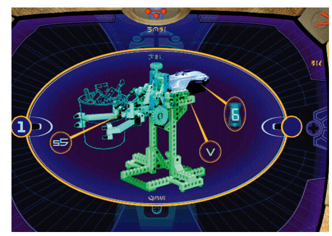

図15●試しに作ってみたもの。触覚はリフトアームと輪ゴムでできている



図16●MicroScout。ひとつのプログラムを選んで動かす


図17●第2レベルで作ったR2-D2のモデル。かなり細かい


図18●DDKに付属しているCD-ROMの画面

## Robotics Discovery Set

これまでのLEGO MindStorms（Robotics Invention System（RIS））はRCXコントロールブロックを使い、パソコンを使ってプログラミングする必要があるために、どうしてもパソコンが使えるユーザにしかロボットを作る楽しみが得られなかった。そこでRDSはScout（図13）と呼ばれる、それ自身で簡単なプログラムを作成可能なコントロールブロックを新たに採用することで、パソコンの使えないユーザーにもアピールし、部品数もRISの約半分にしてロボット作成入門用キットとしてまとめたものである（図14）。

RDSには3冊のマニュアルが付属し、各々Bug（虫型ロボット）、Alarm（侵入者警報機）、Hoop-o-bot（動くバスケットゴールロボット）の3種類のロボットの作り方が記載されている。すべてのロボットは、3～4のモジュールに分かれて構成されていて、各々のモジュールを組み立ててから最後にそれをひとつにまとめ上げるので、組み立て自体も易しいだけでなく、あるモジュールだけ付け替えることでさまざまな形のバリエーションを考えることができる（図15）。

ScoutはRCXと異なり光センサーを本体に内蔵し、モーターも2つしか接続できないが、基本的なモーターの動作に加えてタッチセンサー、ライトセンサーに反応するさまざまな動きのバリエーションがプリセットされていて、それを2つのボタンで選択することで無数の動きのバリエーションを設定することができる。また、形がRCXと同じなのでRISで培ったロボット作成のノウハウも活かせるのもいい点だろう。

## Droid Developer Kit

DDKはMindStormsの新作だが、STAR WARSシリーズの新作でもある。白いR2-D2（図9）はさまざまなメディアでも紹介されているのをご覧になった方も多いだろう。DDKは基本的にSTARWARSに登場するさまざまなロボットをMicroScoutと呼ばれるちょっと小さめのマイクロコンピューター（図10）を使って「動く」モデルにすることができる。マニュアルは100ページ以上もあり、入門機のL-3GO（図16）とR2-D2（図17）、それに中級機のJedi Knght Droidのの作り方が記載されている。

MicroScoutはライトセンサーとモーター1つを内蔵し、7つのプリセットされた動作を選ぶことができる。当然、RDSやRISに較べてもできることは少ないわけだが、そこはモデルの方を工夫することで楽しませてくれる。

実はDDKには（PCでしか再生できないが）CD-ROMが付属しており、こちらの方がマニュアルよりも情報が多い。CD-ROMを再生してみると、STARWARS風のオープニングから始まって、3段階のレベルのチャレンジが用意されている。初心者レベルはL-3GOをまず作って、MicroScoutの内蔵プログラムの説明を経て次のR2-D2の作成へ続くようになっている。

組み立て方もムービーを駆使してわかりやすくできているだけでなく、さまざまなバリエーションの作り方も記載されているのがうれしい。

初心者レベルの次は中級のJedi Knightレベルで、ここでは6つのロボット（DDKではDroidと呼ぶ）の外形や動作を示されて、RDSと同じくいくつかのモジュールを組み合わせて、それらを作り上げていることになる。複雑なモジュールの作り方は見ることができるので（図14）、それほど難しくはない。上級のJedi Masterレベルになると、作り方がまったく示されないモジュールを自ら考えて作らないといけないので、かなりハードだ。　（魚井宏高）

（注）現在、レゴジャパン（株）はMacintoshの正式サポートを行なっておりません。Robotics Discovery Set、Droid Developer Kitは日本語化して販売されます。



## 部品が足りない!と思ったら…

LEGO MindStormsを入手して「こんなロボット」と思って作り始めてみたものの「ここのビームの長さが足りない」とか「24歯のギアがもう1つ!」などと歯がゆい思いをした方も多いだろう。RISには700以上の部品が付いてくるとはいっても、さまざまな種類別に考えれば少しずつしかないわけで、いざとなると意外と足りないものだ。

そんなときにどうするか?もちろん、追加セットを購入するのもひとつの方法なのだが、市販のLEGOブロック、特にLEGO Technicシリーズを購入することで、さまざまな部品を入手することができる。それに、LEGO Technicのセットのマニュアルは、初心者には組み立て方のいい見本となること請け合いである。

1984年から発売されているLEGO Technicシリーズは小さなバイクから、大きなスーパーカーと呼ばれるものまでさまざまなモデルがあり、駆動方法もモーターだけでなく、空気圧を使ったものなどもあり、なかなか奥の深い世界でもある。

LEGO Technic関係の情報なら私（魚井）の主催するサイトTechnicManiac（http://technic.fish-bone.tm/）にさまざまなモデルの写真とレビューがあるので参考にしてほしい。　（魚井宏高）








**波戸井 ヒロアキ**
**(Hiroaki Hatoi)**
10年におよぶCGのキャリアを生かして、パッケージデザイナーからCGクリエイターへ。現在は某ゲームメーカーでアーケード版の制作を行なう。
http://www.yk.rim.or.jp/~kawagoe/

## ゲームのプロが描くクルマ

微妙な湾曲が表現されたドアパネル、見事なまでに滑らかに仕上げられたパーツのエッジ……まさにクルマの持つ美しさを極限まで引き出したのが今回の作品『ポルシェ・ボクスター』だ。

作者の波戸井ヒロアキ氏は、アーケード版のゲームを手がけるクリエイターであるから、プロ中のプロといえる。日ごろはアニメーションを念頭に“軽いデータ”を最優先する波戸井氏だが、このボクスターでは徹底したリアリズムの世界を表現している。

3D CGソフトには、ベジェ曲線で作成するタイプとポリゴンで行なうタイプがあり、静止画でのカーモデリングにおいては前者が主流となっている。そんな中、ポリゴンモデラーでここまでクオリティの高い作品を描く波戸井氏の手法はどのようなものか。圧倒的な質感表現を中心に訊いてみた。

なお、波戸井氏はWindows版のLightWave 3D*1を使用して制作を行なっている。

## CGで描く世界の名車 LightWave 3D編

# THE CAR MODELING

# 走りの愉悦 ポルシェ・ボクスター PORSCHE BOXSTER



**今月のテーマは、ポルシェが誇るミッドシップ2シーターの『ボクスター』。複雑な曲面で構成された独特のフォルムを、波戸井（はとい）ヒロアキ氏がLightWave 3Dを駆使して見事に表現。ベジェ曲線による制作が主流となっているカーモデリングでポリゴンモデラーの価値を再認識させる仕上がりとなっている。**

### 繊細なカーデザインの世界

**――元々、仕事でもクルマのCGを作っていたのですか？**

**波戸井●**いいえ。実はこれまでクルマって作ったことなかったんです。普段は格闘ものを中心に、ステージやキャラといったアニメーションを前提にしたものが多いので。クルマの映り込みやベベルエッジの表現[*2]を自分の目で見たかった、という気持ちでしたね。クルマそのものへの興味はそれほど強いほうじゃないんですけど、クルマってインダストリアルデザインとしてすごくデザイン性が高くて、作るうえで非常に勉強になるかなと。

**――実際にクルマを作ってみてあらためて感じたことはありますか？**

**波戸井●**やはり実際に作るとなると、漫然と見ているのと違うので、資料とか見まくって「このカーブはこうつながってるのか」とか、「こういう面を作ってるんだ」みたいなことを探るように作っていくのが面白かったですね。クルマって簡単そうに見えて、実はものすごく繊細なんだと思いました。机だと少しぐらいラインが違っていてもおかしくないんだけれど、クルマだとすぐに分かっちゃうんです。不思議ですよね。

**――たとえば苦労した部分はどんなところですか？**

**波戸井●**一番手間がかかったのはライトの周辺ですけれど、それ以外にもボンネットのカーブとライトの膨らみの3次曲面って一致していなくて、どこかでムリして繋ぐことになるんですが、こういうところが今回実は時間がかかっていて、チャレンジングなところでしたね。あと、クルマ以外でもそうなんですけれど、ベベルエッジをどうするかという部分。エアインテークも見せたいところのひとつでしたから。

**――クルマには無理なラインがけっこうあるのですか？**

**波戸井●**無理なラインというわけでもないんですが、たとえばドアの横は微妙にへこんでいて、これを適当にローポリゴンでへこますと単にカタチが乱れているだけで失敗したようになってしまうんです。なにげないところなんだけれど、逆にここはある程度多めにポリゴンを使って、面に気をつけてあげないと、ぶつけられてへこんでいるみたいな（笑）ラインに見えちゃうおそれがあるんです。そういった調整には気を使いましたね。

### ポリゴンモデリングの手法

**――LightWaveでのモデリングはどのように進めるのですか？**

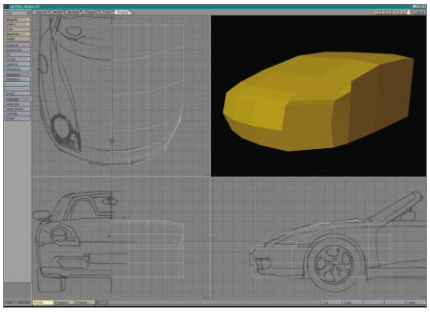
**波戸井●**ネンドをがんがん削っていって、徐々にカタチにしていく、という感じです。たとえばフロントの部分は、大きな四角から始めて、それを徐々に細かくしていって、下絵に曲線を合わせていきました。LightWaveでは、オブジェクトに“サブディバイド”と


MICHELIN



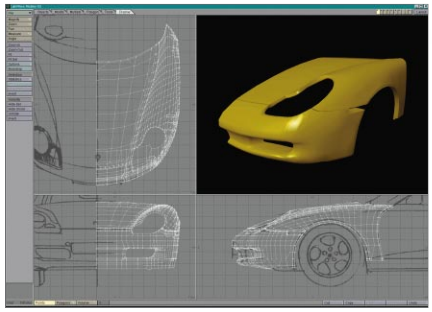

Boxster

Figure 1



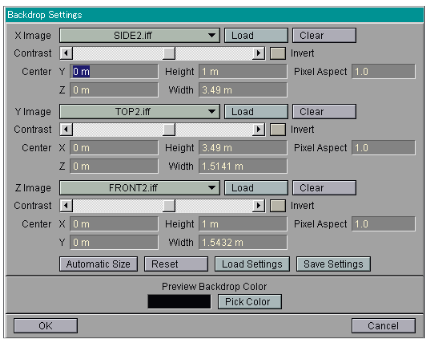
形の分かれ目ごとにboxで大きな塊を作り、ナイフツールで徐々に細分化していく

Figure 2



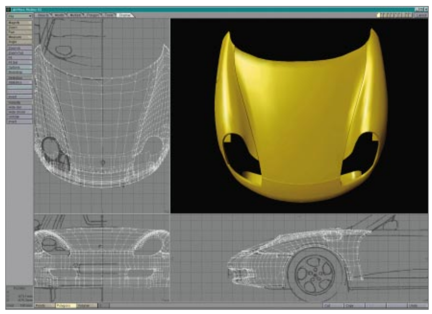
細分化したオブジェクトをテンプレートに合わせていく。テンプレート作っておけば、パーツごとに制作しても全体のデッサンが狂うことがない

Figure 3



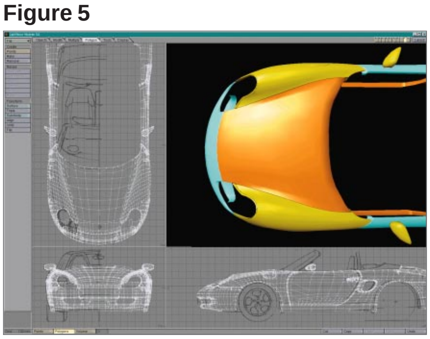

Lightwaveのテンプレートは画面の拡大縮小に追従するので使い勝手が良い。起動しなおしても前回のテンプレートが残るほか、テンプレートの設定に名前をつけて保存しておくことも可能

Figure 4



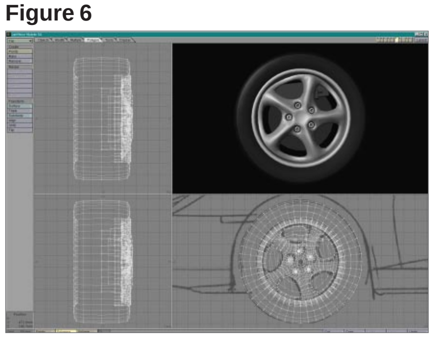
半分だけ作成したボンネットを鏡面コピーして、フロント部を仕上げる。クルマは基本的に左右対称なので、作成するときは半分だけ作るというのが一般的だ。

Figure 5



パーツごとにレイヤーを分けて保存しておく。形が決まったら、ひとつのレイヤーにまとめていく。編集するパーツ以外は非表示にして作業する

Figure 6



ホイールは1/5を作って残りを複製。微妙な曲面も見せ場になるのでしっかり作る。タイヤ下部を重量表現でつぶすこともあるが、実際はそれほどでもないので今回は省略した

いうコマンドをかけると、縦横の中央でポリゴンが分割できます。それを何回かかけてテンプレートに沿わせていくんです。1ポリゴン単位で削除したりすることもできるので、難しいところでもどうにかなっちゃう自由度[*3]がポリゴンモデラーにはありますね。

**――ボディの滑らかさは、LightWaveのMetaNURBS（メタナーブス）機能[*4]を使っているのですか？**

**波戸井●**今回、MetaNURBSでの編集はほとんど使っていないんです。友人からは「なんで？」って言われるんですけれど（笑）。一番の理由は細かいコントロールが今のバージョンではまだできないということです。丸くなり方が一様で、妙な“ヌル感”がある。だから今回は、かなり具体的なところまで作り込んで、一番最後のレンダリングするときに必要な箇所だけMetaNURBSをかけました。ベベルエッジなどは、普通のコーナーにポリゴンをワンクッションおいてMetaNURBSをかけると、自動で綺麗な曲線になるので便利なんですけれどね。

**――他にLightWaveで気に入っているところはどこですか？**

**波戸井●**エリアライトとリニアライト、つまり面光源と線光源があるところ[*5]ですね。

## Word explanation

**＊1：Lightwave 3D**
「モデラー」と「レイアウト」の2つのアプリケーションから成るCGソフト。ポリゴンモデラーの自由度とアニメーション用の豊富なプラグインによって、ゲームクリエイターからの支持を得ている。Windows NTをメインプラットフォームとしているが、最近ではMac版の環境も整ってきている。

**＊2：ベベルエッジの表現**
クルマなどの工業デザインでは、パーツの角やフチが丸く加工されている。その面取り部分（ベベルエッジ）をいかにリアルに再現するかがCGのリアリティ表現では重要になる。

**＊3：難しいところでもどうにかなっちゃう自由度**
Lightwaveをはじめポリゴンモデラーでは、ポリゴンのメッシュで構成された面の各ポイントを選択して自由に加工できる。それに対して、ベジェによるスプラインモデラーでは、面に穴を開ける加工などがやや煩雑になりがち。それぞれ一長一短のあるところだ。

**＊4：ボディの滑らかさは、LightWaveのMetaNURBS機能**
MetaNURBSは、ポリゴンメッシュをNURBSと呼ばれる曲線に準じて滑らかにしてくれる機能。滑らかにするため、ポリゴン数は増える。

**＊5：エリアライトとリニアライト、つまり面光源と線光源があるところ**
通常のCGソフトでは、太陽光としてのディスタンスライト、電球のように全方向を照らすポイントライト、特定の方向に光を当てるスポットライトが標準的な光源となっている。LightWaveではさらに、光源自体がある程度の面積を持つエリアライトと、蛍光灯のような表現に適したリニアライトが装備されている。また、影の種類として“デプスマップ”という手法が利用でき、レイトレーシングでは不可能なボケ足のある影を落とすことが可能となる。

**＊6：レンダリングした画像からテクスチャーを作るんですね**
アニメーションとして動かすことが条件となるゲームにおいて、モデルデータは極限まで軽くなくてはならない。そのため、粗いモデルデータに画像（テクスチャー）を貼り付けることによって、モデルの細部を擬似的に表現しているのである。



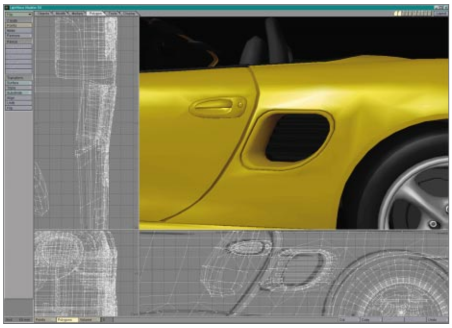


今回の夜景では、クルマの左手前にエリアライトを入れています。ライトの光源がある程度の広さをもっているのでそういった雰囲気には有効だと思います。
——ゲーム用に少ないポリゴンで描くのと比べて静止画の場合大きな違いはありますか？
波戸井●ゲームの仕事では本当にかつかつの所までポリゴンを減らしていくんですが、それでも最初の段階ではこのぐらいまで作ってしまうんです。それでレンダリングした画像からテクスチャーを作るんですね*6。そうすると少ないポリゴンでもエッジの部分とかが再現できるんです。

## 感性のリアリズム

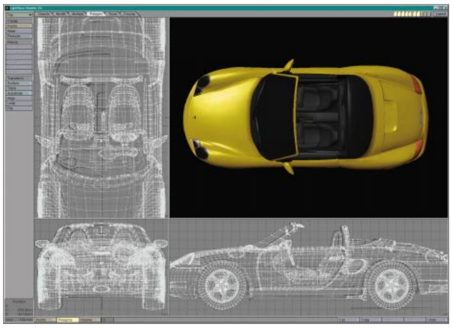
——波戸井さんにとってリアリティを感じさせる一番のポイントはどこだと思いますか？
波戸井●フォトリアリズムという言葉がありますけど、写真っていうのは実際の人間が見ているものとはかなり違うものだと思うんです。たとえばコーヒーカップを見る時はそれを集中的に見ていて、その回りはあらためて「回りに何があるかな」と思った時にそこを見る感じで、けっこう人間って見たいモノを見たいように見ている部分があると思います。写真はまんべんなく、完全な物理法則に則ってとらえていますよね。一方、人間の目は当然立体視していますし、視野の中にはなんとなく見えている部分もある。それと感覚的に「青い」と思ったら青く見ちゃっているとか、いわゆるリアリズムといってもフォトリアリズムじゃないリアリズムというのは、感覚的な世界をある程度入れていかなければ完成されないんじゃないかと思っているんです。今回の絵は、「僕はボクスターをこう見ていますよ」ということなんですよね。
——このボクスターで波戸井さんが意識的に演出した部分はどこですか？
波戸井●ボクスター独特の曲面ですね。たぶん写真と見比べたら、実際はかなり違うと思います。ベベルエッジひとつとっても違うでしょう。ちょっと強調気味かな、という気もしますけれど、逆にそこが見せたい部分でもありますね。結局それは絵の発想かなと思うんです。共感してもらえれば「あ、そうだね。こういう感じだね」っていうふうになるし、違うふうにボクスターを見ている人にとっては「違うよ」みたいな感じになる。それでいいんじゃないかと思うんです。

**Figure 7**



ベベルエッジはPlaneBeltSelectorで制作。このプラグインはディ・ストームのHPからダウンロード可能。指定した1方向のポリゴン列をオート選択して、任意の比率で一括分割できる

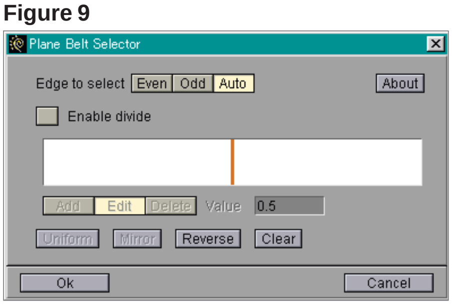
**Figure 8**



ロングショットならば角に一段階の面取りがあれば十分だが、アップにしたい部分はさらにMetaNURBSを使って、ポリゴン間を任意に割ってやる

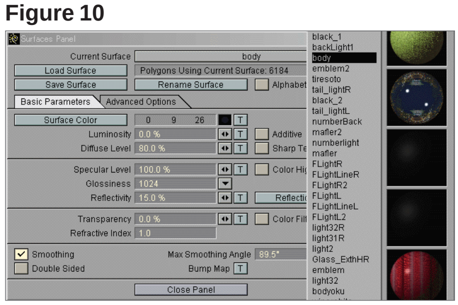



## Figure 9



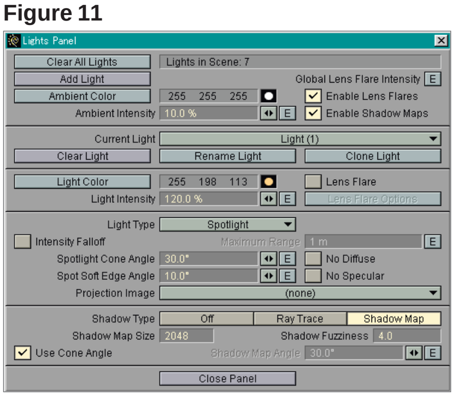

全体的に適正な分割数になるようにポリゴンの見直しを行なう。ボンネットは当初の約半分にポリゴンを削減できた。またMetaBURBSをかけられるように多角形ポリゴンをすべて四角形と三角形に分割

## Figure 10



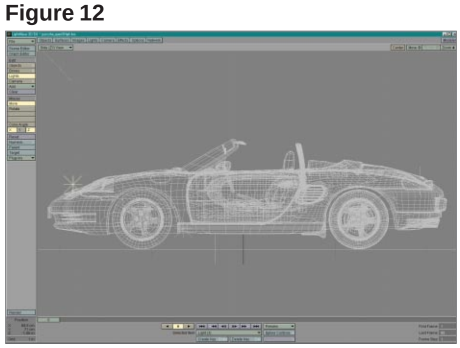

クルマの場合テクスチャー数は比較的少なくてすむが、マテリアル設定は慎重にやる必要がある。特にSpeculerLebelとGlossinessの関係は重要。DiffuseLebelは基本的に80％とした

## Figure 11




主光源はスポットライトを遠く離して使用。影のタイプにレイトレースではなくデプスマップを使うためである。これにより影のエッジをソフトにぼかし、レンダリングタイムも稼げる

## Figure 12



静止画ではカメラに近い部分のポリゴン分割を多めにしている。図は夜景画像のSideViewだが、後輪の方が前輪より分割数が多い

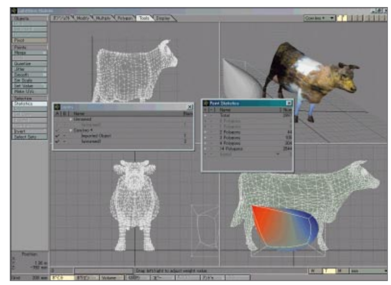
# Information

### ●LightWave 3D製品情報

LightWave 3D 5.6／288,000円

10月末、Windows版の新バージョン6.0がリリースされる。しかし、現段階ではMac版に関する情報は公開されていない。マルチプラットフォームを重視してきたLightWaveだけに、早いタイミングでのMac版リリースが期待されるところだ。なお、バージョン6.0では、インターフェイスが一新されるほか、モデラー上でテクスチャーを貼ったり、4分割画面のすべてでOpenGL表示が可能になるなど、各種の操作性向上が計られている。また、MetaNURBSにおいて、ウェイトのコントロールが可能となり、丸くしたいところの調整が従来よりも細かく行えるようになる。

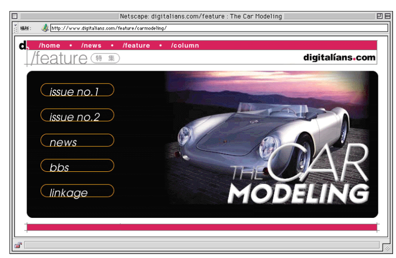
問い合わせ：(株)ディ・ストーム／03-5570-8722　http://www.dstorm.co.jp/



### ●The Car Modelingバックナンバー

MACLIFE 9月号『ニュービートル』：諌山 洋

MACLIFE 10月号『アルファ156』：戸澤 徹




『The Car Modeling』専用ホームページ

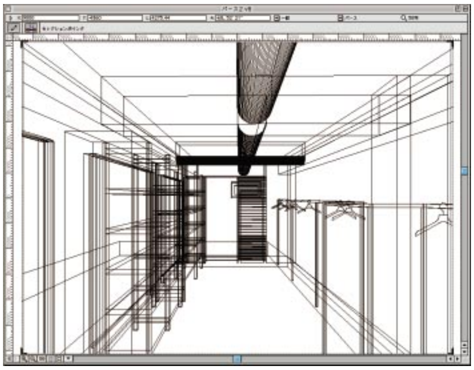
http://www.digitalians.com/feature/carmodeling/



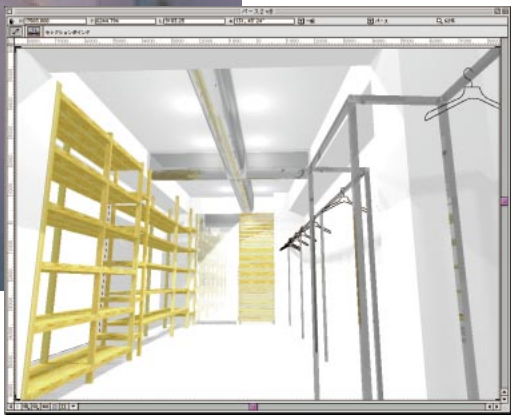
Photo by Nacasa&Partners inc

⬅eupepomboo代官山店　代官山駅近くにある路面店。意識したのは光。金属質の梁、木製の棚、異素材間のつなぎ役として、光が空間全体を包み込む

⬇設計段階の3D画像。Vector Worksで3Dをおこす。さまざまな所からの見え方の検証をするために細部に渡り忠実に再現する



⬅RenderWorksを使い、基本設計（案）のレンダリング完成。金属質やミラーを貼った時の見え方がわかる。今回は実際に使った光とは光源の設定が違うが、光の質や、張り込み素材の質を調整することによって限りなく本当の見え方に近づく。それが事前に出来るのがすごいところ



vol.5

インテリアデザイン入門

# IDへの道

五十嵐久枝
&川村伸

Macはデザインの世界でどのように使われているのか？
また、デザイナーは、実際にMacを仕事でどのように使いこなしているのか？
建築・インテリア・プロダクトと幅広いデザインを手掛ける
イガラシデザインスタジオの五十嵐久枝さん、川村伸さんのオリジナル・レクチャーを公開してきた。
「IDへの道」最終回の今回は、
「eupepomboo」「TSUMORI CHISATO」のインテリアデザインの工程＆現場。

## ――インテリアデザインのアイデアのまとめ方は？

「enpepomboo」は、チダコウイチさんのデザインする若者向けブランド。そのフラッグ・ショップとしての代官山の店舗のインテリアをデザインしました。方向性としては、「eupepomboo」の洋服のとても淡泊で、はかなげな特徴をふまえて、内装もシンプルで抑えた感じを心掛けました。店舗はテナントビルの１階ですが、空間は天高が低く、梁も露出していて奥行きも狭く、片側すべて窓というショーウィンドウのようなスペースでした。ここで梁をふさいでしまうと、さらに天井が低くなって圧迫感が加わってしまうので

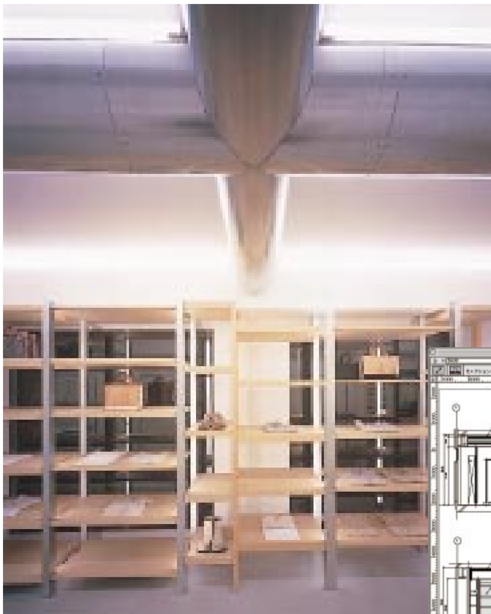
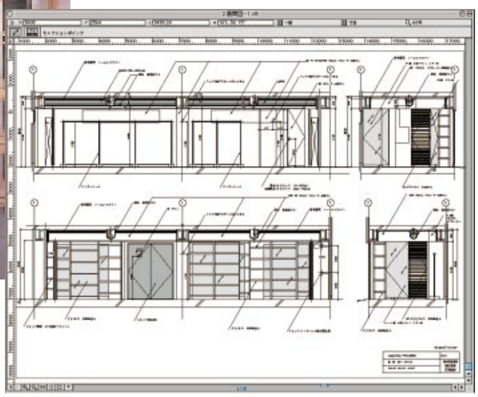


Photo by Nacasa&Partners inc

⬅木製の棚。棚の高さは作為的に互い違いに配置してリズムを出している。この棚は外部に面した大きなガラスの前にあるために昼間の見え方と夜の見え方が重要になってくる。手前の縦の支柱には照明が入っていて、夜には棚を照らす

⬇展開図。見えている物の素材や高さ寸法などを記入してある




## 五十嵐久枝

*Hisae IGARASHI*



東京生まれ／昭和61年桑沢デザイン研究所インテリア・住宅研究科卒業、クラマタデザイン事務所勤務後、平成5年イガラシデザインスタジオを設立。平成8年から桑沢デザイン研究所非常勤講師を勤める。インテリア、建築、プロダクトなど幅広いデザイン活動を行っている。





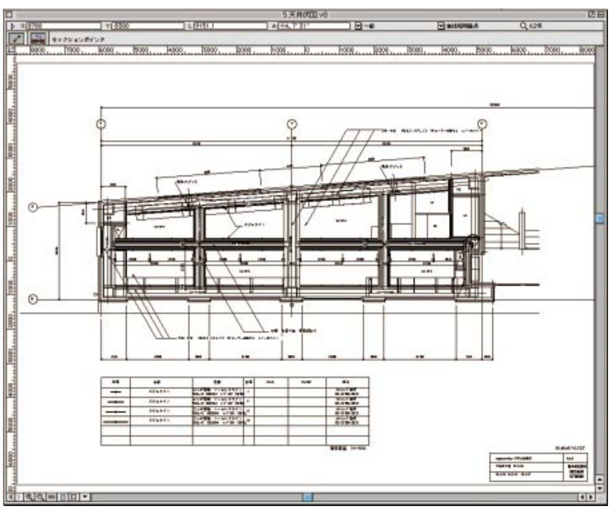
**イガラシデザインスタジオ**

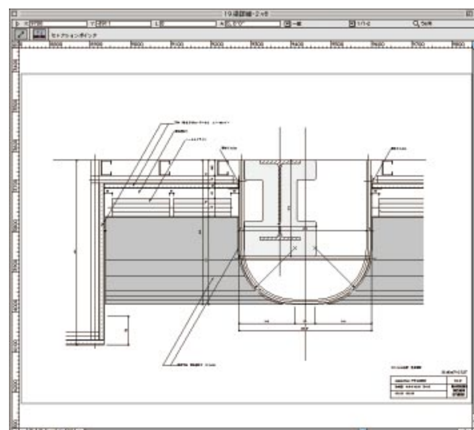
五十嵐先生自身がデザインを手掛けた建物の一室にある。

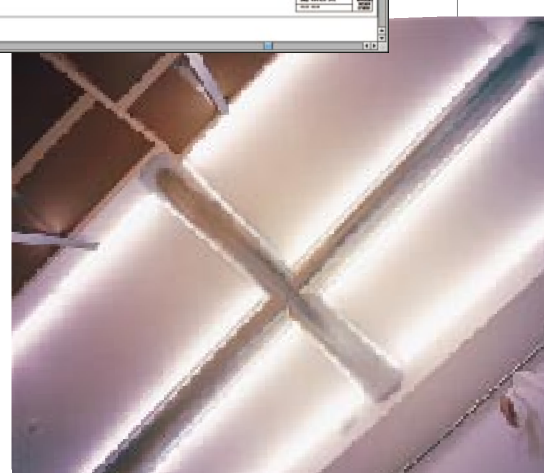
E-mail：ids@bb.mbn.or.jp


⬇梁の部分詳細図。（縮尺1／2）もともとの鉄骨の梁とその廻りにどのように亜鉛版を巻いていくか、細部にわたって記入してある

➡平面図。Vector Worksにて作成。普段は平面図・展開図は縮尺1／30で描く。どこに何があるか、幅と奥行きで示してある







⬆縦横に十文字に走る梁（ハリ）に亜鉛版でカバーを付けた。初めに見たときに、スペースの中で目立った存在だったので、さらに強調してみた。上部に埋め込まれた光源も梁の存在を際立たせる

工夫が必要でした。それでは思い切って梁を強調してみよう、ということになり、最終的に今回のデザインができあがりました。窓も内部がよく見えるようにすべて残し、内部の棚はランダムに構成して、目立たせてあります。

「TSUMORI CHISATO」の方は専門店の一角のスペースで、ごく最近手掛けたものです。後で触れますが、このお仕事は発注から施工までかなり早いペースで進んでいきました。

インテリアの場合は、プロダクトの場合よりも、数パターンの立面図や、アイソメなどのたくさんの図面が必要になります。基本設計から実施図面に至るまで、すべてMini CAD、VectorWorksを使って製作図面を作りました。今回の店舗では設備図、什器図、パース、平面図、展開図、天井伏図、床伏図などを起こしました。ちなみに、全体図は基本的に1/30の大きさです。あとは変更するにしても、Mac上では、手書きよりも訂正が簡単ですし、数人で分担することもできるので、作業的にはスムーズです。什器図も1/10で描き、確認作業するために原寸で起こす場合には、事務所のプロッターでやってしまいます。納得のいくまで何度も確認することが非常に楽になりました。

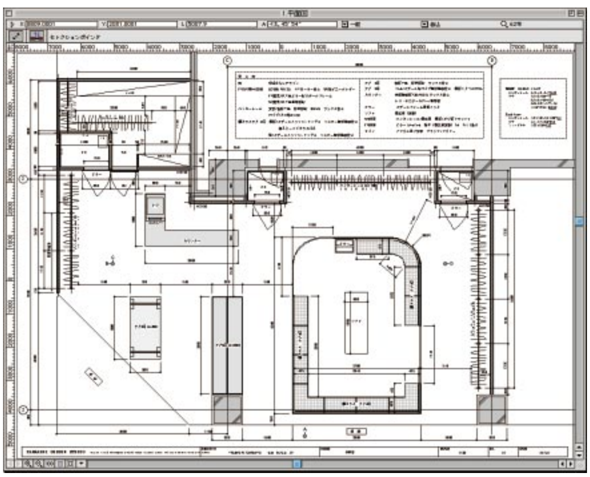
### ――具体的な工程は？

今回の「eupepomboo」「TSUMORI CHI

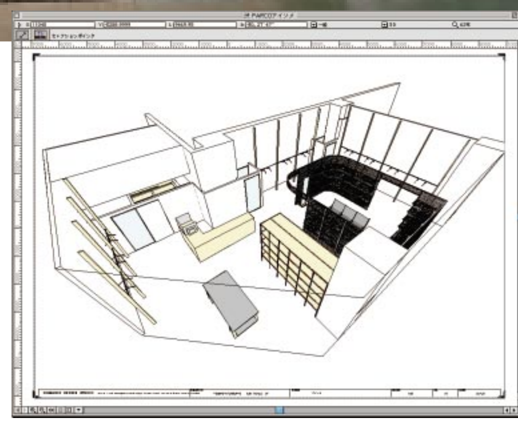


Photo by Nacasa&Partners inc

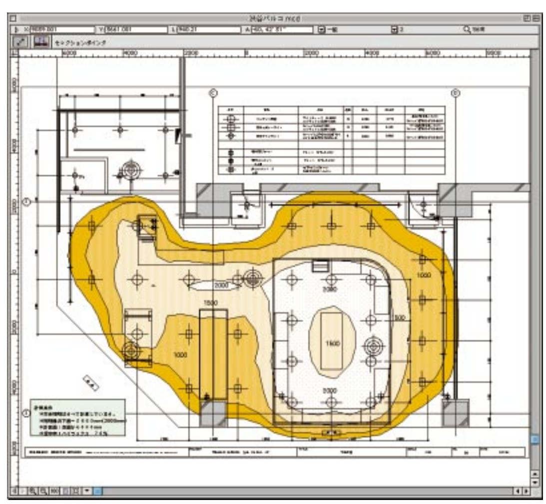
⬆TSUMORI CHISATO 渋谷PARCO　全景。空間に広がりを持たせるために天井を取り外して、スケルトンにしている。また、店舗に二面性を出すために大きく2つの要素に分けられている



⬆平面図　図面用紙はA2で、1／30の図面。モニターで用紙全体を見ると当然、細かい所は見えないので、常に拡大、縮小を繰り返しながら描いていく



⬆店舗全体の俯瞰図。VectorWorksのウォークスルーツールで実際に店の中を歩き回ってみる。CADならではの事前にできる検証作業



⬅照度分布図。天井伏図という照明器具を記入した図面を照明メーカーにe-mailで送り、明るさの分布を示したものを送り返してもらう。その間わずか30分

インテリアデザイン入門

vol.5

# IDへの道

ATO」でもそうですが、インテリアは決められたスペースの範囲をデザインしてゆくものですから、まずそのスペースを描き、その中に必要なものを、だいたいのスケールで入れていきます。次に全体のイメージを想像しながら、そのもののレイアウトを整えて配置していき、人や物の通るスペースや、動くものであればそのスペースを確保できるかどうか確かめる。この時にスペースに余裕があるかないかが見えてきますし、別のパターンと比較することができます。気に入ったプランに、高さ情報を与えればパースやアイソメを見ることができます。俯瞰図の作成やいろいろな角度からの検証も可能です。さらに素材を与えてレンダリングすればかなりリアルな状況がつかめますし、色を与えるだけでもぐんとわかりやすくなります。什器や家具などのディティールは、パースの一部分を拡大して検証したり、置き家具であれば立面をプロッターで原寸出力することもあります。

関係者や製作業者の方に提示する図面とい



⬆金網の空間のみをパースにして、さまざまな角度から見て検証する

⬇店の中枢である金網の什器。空気を適度に遮断する金網は、店の中にありながらその中にまた空間を形成する



Photo by Nacasa&Partners inc

うのは、すべてCADで描いています。クライアントには文字情報は最低限にしてレンダリングやカラーの図面を、制作業者、管理会社には仕様や寸法などを細かく書き込んだ図面を渡します。また設備は各業者によって必要な情報が違ってきますが、初めはすべて一緒に考え、図面にするときは別々に分けて出力できるので便利です。たとえば、天井伏図は天井に配置された照明の位置をしめし、電気設備の図面は、その照明器具のスイッチの位置と回線を示します。平面図のデータをベースに各情報をを加えて、図面ができあがります。給排水や空調の図面も同様に作っていきます。詳細図は全体図面の一部を拡大したものにさらに書き加えて作っていきます。それから最近特に便利になったのが、照明計画で、メーカーの方に天井伏図と器具のリストをメールで送り、照度を計算してもらい照度分布図を書き加えてまた送り返してもらいます。以前はFAXのやりとりか図面を届けてもらい、打ち合わせをしていましたが、送って１時間後にはデータを見ながら電話で打ち合わせができるようになり、当初よりも格段に作業が早くなりました。

コンピュターを導入して、CADを使うようになり、仕事の仕方と環境が大きく変わりました。自分の思うようなイメージを以前よりも短時間でいくつも作り、何度でも確認できるのはコンピューターの利点ですし、デザイン上でもとても画期的なことです。それに最近のインテリアデザインの進行の仕方は時間が思うようにもらえず、デザイン側の作業の速さを求められる機会が多くなってきています。

## ──最終回にあたって

今回、全5回にわけてインテリアデザイン入門を紹介してきたわけですけれども、コンピューターの導入によって、仕事をする上で今まで同じような図面を描くために残業したりしてきたことがなくなって、デザインそのものを考える時間を多く取れるようになったわけです。私たちがやってきたことは、あくまでコンピューターとの手探りの作業で、マニュアルを適当に読んで（笑）、「コンピューターならこんなこともできるだろう」という思い込みで使ってきたのですが、たまたまコンピューターの普及していく流れに、そのコンセプトがぴったりと合って、結果的に現在もとても有効な使い方ができています。今後、こういった自由なコンピューターの使い方は、さらに増えて継続されていくだろうし、また改善されていく部分もあるだろうと思います。私たちのテクニックはほんの一例に過ぎませんが、みなさんのお役に立てたならとても嬉しいです。どんどん高性能のコンピューターが開発されていくでしょうし、便利なソフトなどを応用して、インテリアデザインなり、興味あるものに有効に使って欲しいと思います。

## Chapter 1 タブ

### 今回必要なもの



●**GirlTalk 2.4**
（今月号のCD-ROM MACLIFEに収録）



●**ResEdit**
Appleが配付しているリソース編集ツール（ftp://ftp.apple.co.jp/pub/AppleJapan/Macintosh/Utilities/からダウンロードして下さい）

### 初めましてのかたへ

私のHP（http://cwaweb.bai.ne.jp/~emi/）にバックナンバーがあるので参考にしてね。

大きめリソースのほとんどは解説済み、あとは細かいリソースだけだよね。完成目指して頑張ろう!

これはコントロールパネルのKaleidoscopeを開いたときに表示されるもの（右図）。

タブには、大きなものと小さなものがある（小さなものはPinkElephantなどでも表示される）。

Ver.1.x対応のスキームでは、このリソースを持たなかったんだけど、それをVer.2.x対応のスキームで使っても、Kaleidoscope自体が勝手につけてくれるので、Ver.2.x対応のスキーム作成の場合でも省略してかまわない（でも見た目が少し貧弱になってしまうよ。図1のように表示される）。

タブのリソースID/cicn、cinf共通
大きなタブを例に図1を参照

大きなタブ
-9984　Large Disabled Rear Tab
-9983　Large Rear Tab







アクティブの場合（右図）、インアクティブの場合（上図）

❷を押したところ




❶-9984　Large Disabled Rear Tab
❷-9983　Large Rear Tab
❸-9982　Large Pressed Rear Tab
❹-9981　Large Front Disabled Tab
❺-9980　Large Front Tab
❻-9978　Large Disabled Tab Pane
❼-9977　Large Tab Pane

## 今月の課題は コレ タブなどの細かいもの



イラストレーション：佐々木亮

**デスクトップカスタマイズユーティリティKaleidoscopeを使っていると「どれも素敵なスキームなんだけど、もっと自分好みのものってないのかなぁ」などと思うことはありませんか?**
**ちょっとした基本さえ押さえれば、誰にだって作れてしまえるのだ!**
**ここでは、超初心者向けにスキームの作り方を説明していくつもり。**
**誰だって最初は初心者、難しく考えないで一緒にやってみよう!**

**Kaleidoscope Color Scheme *簡単作成講座*——10**



# 一緒にスキーム作りましょう

## ResEditでタブなどの細かいもの編

emi☆

CD-ROM Sample



-9982　Large Pressed Rear Tab
-9981　Large Front Disabled Tab
-9980　Large Front Tab
-9978　Large Disabled Tab Pane
-9977　Large Tab Pane

小さなタブ
-9976　Small Disabled Rear Tab
-9975　Small Rear Tab
-9974　Small Pressed Rear Tab
-9973　Small Disabled Front Tab
-9972　Small Front Tab
-9970　Small Disabled Tab Pane
-9969　Small Tab Pane

### 大きなタブを例にとってみると

　タブのサイズは縦が21ピクセル以上だけど、大きすぎると図2みたいになってしまうので、25ピクセルぐらいまでにしておいたほうが無難。横は30から35ピクセルのものが多いけど、これもデザインがシンプルなもので、cinfの設定に問題がなければ、10ピクセル以下でも大丈夫。cinfについては図3を参照してね。
　あと、-9980　Large Front Tabは、下にくっつくパネルのリソースとうまくつながるようにデザインしてやると、見栄えがよくなるよ（図4）。このパネル(-9977　Large Tab Pane)のリソースのサイズは9×9ピクセルの正方形が一般的。cinfもcicnも前号のボタン作成の要領でやればOK。




図1　タブのリソースを省略した場合

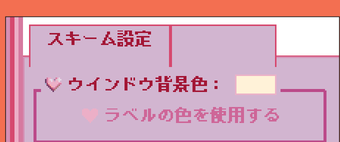



図2　大きすぎるタブ

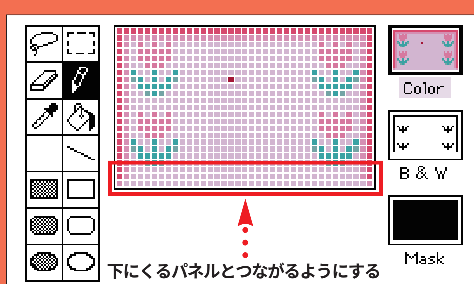
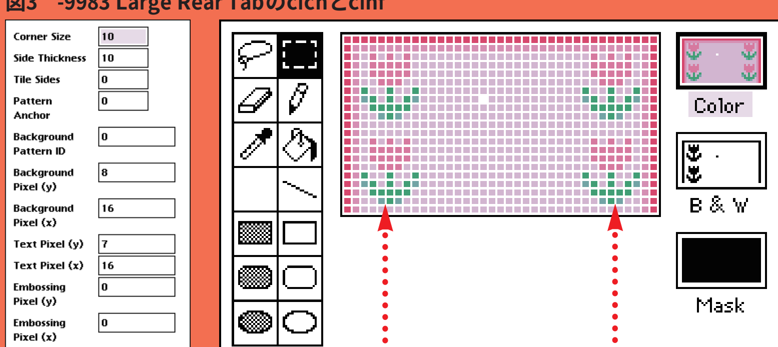



図4　-9980 Large Front Tab

図3　-9983 Large Rear Tabのcicnとcinf




Corner Sizeは、普通は、四角の角を設定するのだけど、タブリソースのCorner Sizeは、必ず、表示させたい両サイドの幅を設定する。ほかは、今までのcinfと同じようにテキストや背景を設定する

## Chapter 2
## ポップアップウィンドウ

　これは便利なウィンドウだよね。ウィンドウをデスクトップの下にドラッグするとタイトルバーが引き出しの取っ手みたいになって収まってくれる。アプリケーションのエイリアスをひとつに集めて、アイコンを小ボタンにしておけば、立派なランチャーになったりするし。
　図5は、ノーマルなポップアップウィンドウとGirlTalkのポップアップウィンドウ。

ポップアップウィンドウのリソースID（cicn、wnd#共通）
-12320　Popup Window

　図6を見てみると、やっぱりこれも実際のポップアップウィンドウをギュっと縮めたもので、ウィンドウ枠、タイトルバー、左右のGrow Region（グロウボックスに似た働きをする。ウィンドウを左右に拡大縮小するためのもの）、Grow Boxでできている。GrowBoxは実際に機能しないので、あえてつけてない人もいるんだけど、せっかくだから、ちょっとしたワンポイントを入れたりするといいよね。
　タイトルバーの部分にお飾りをつけると面白いんだけど、実際に使ったときに詰めて並べると、せっかくのデザインが重なってしまう場合があるので、並べかたに気をつけるか、何も飾らないものにするかがいいと思うよ。
　タイトルテキストの文字色とwnd#指定は図6を参照。wnd#はRectangle ListとPartCordのTop、Left、Rightを指定。Bottomは不要。やっぱりPinkElephantでね。

図5
ポップアップウィンドウ



## Chapter 3

# ポップアップボタン

これは「別名で保存」の時に出てきたりするよね（図7）。

ポップアップボタンのリソースID（cicn、cinf共通）

■ボタン本体

-8208　Inactive Popup Text Part
-8207　Active Popup Text Part
-8206　Pressed Popup Text Part
-8205　Inactive Popup Arrow Part
-8204　Active Popup Arrow Part
-8203　Pressed Popup Arrow Part
-8202　Inactive Popup Solo Arrow
-8201　Active Popup Solo Arrow
-8200　Pressed Popup Solo Arrow

■矢印部分

-8199　Inactive Large Popup Arrow Glyph
-8198　Active Large Popup Arrow Glyph
-8197　Pressed Large Popup Arrow Glyph
-8196　Inactive Small Popup Arrow Glyph
-8195　Active Small Popup Arrow Glyph
-8194　Pressed Small Popup Arrow Glyph

IDを見てもらえばわかるように、-8208から-8203のボタン本体はボタンを真っ二つに割ったような感じのリソースなの。テキストが乗っかる部分とポップアップを示す矢印が乗っかる部分に別れてるよ。使った時に2つがピッタリ合って1つのボタンになるようにデザインやサイズを考えて、各々のcinfの設定もきっちりやってね(図8)。

-8202から-8200は、矢印だけを乗っけるボタンなのでテキスト指定は不要。あと、通常の矢印と小さな矢印も別個に作ろう。小さな矢印はPinkElephantでも使われてるよね。この矢印、大きく作りすぎてボタンからハミ出たりしないようにしようね。でも、わざとハミ出すデザインもアリかも!?

図6　ポップアップウィンドウの文字色とwnd#指定

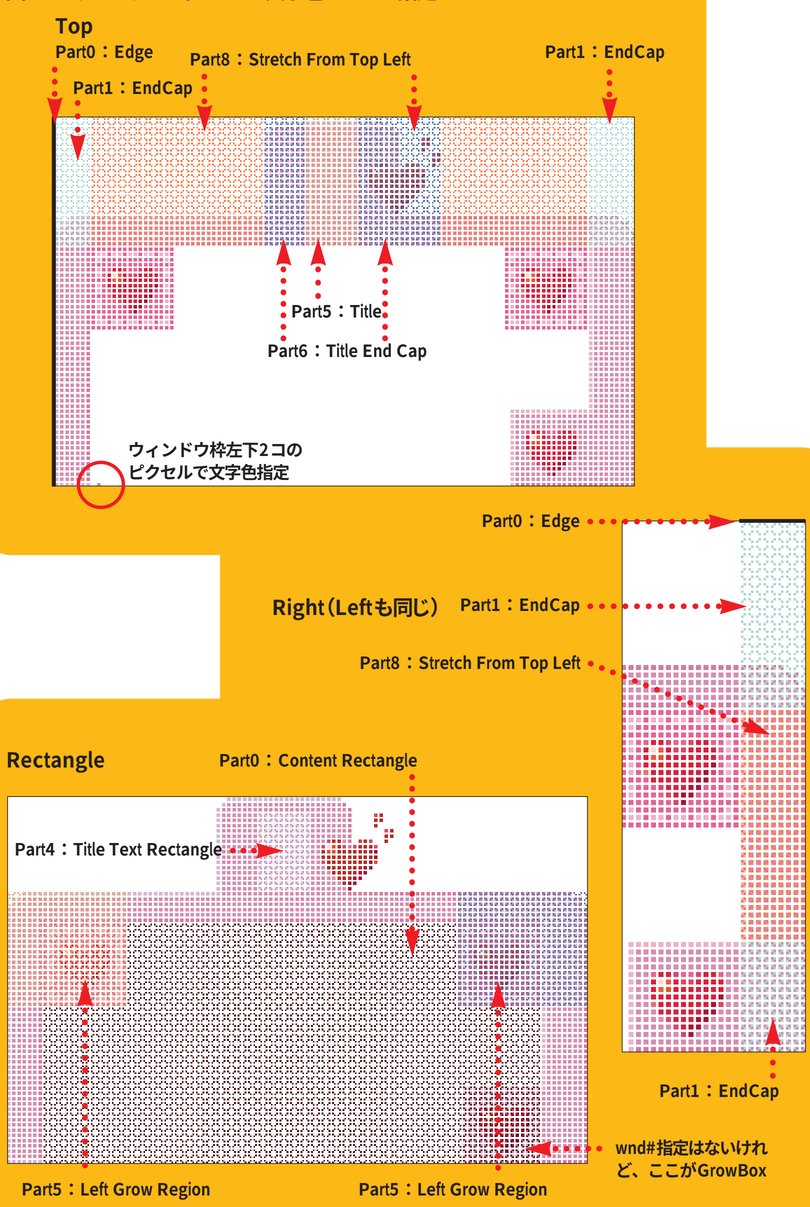
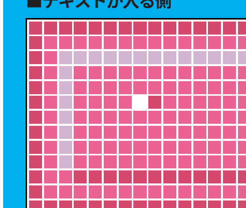



図7　ポップアップボタン




図8

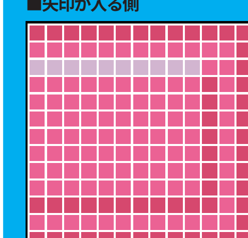
■テキストが入る側



Coner Size 3
Side Thickness 3
Background Pixel(y) 5
Background Pixel(x) 5
Text Pixel(y) 5
Text Pixel(x) 5
Embossing Pixel(y) 5
Embossing Pixel(x) 8

-8207 Active Popup Text Part

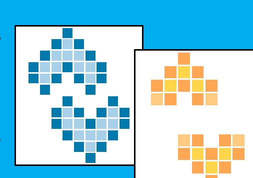
■矢印が入る側



Coner Size 3
Side Thickness 3
Background Pixel(y) 5
Background Pixel(x) 5
テキストは入らないのでText Pixel、Embossing Pixelは0

-8204　Active Popup Arrow Part

矢印は1つだけでも、上下1セットのものでも好きな形でよい。大きな矢印は12×12ピクセルまで、小さな矢印には10×10ピクセル以下にしておくほうが無難



## Chapter 4 Point Arrow

ウィンドウをリストで表示したとき、フォルダーの左横に三角のポイントがついてるよね。フォルダーを閉じた状態の時は右向き三角で、開いた状態の時は下向き三角のもの（図9）。

Point ArrowのリソースID（cicn）

■右向き

-10112　Inactive Right Point Arrow

-10111　Normal Right Point Arrow

-10110　Pressed Right Point Arrow

■左向き

-10104　Inactive　Down Point Arrow

-10103　Normal Down Point Arrow

-10102　Pressed Down Point Arrow

これはcinfなどの設定も不要で簡単。12×12ピクセルの範囲で、好きな三角ポイントを描こう。この三角ポイントはアニメーションさせることもできちゃうけど、GirlTalkではそのリソースを入れてないので、他のスキームからコピーさせてもらって挑戦してみるのもいいかも。

アニメーションのためのリソースは、右向きがcicnが-10109〜-10105、左向きはcicnが-10101〜-10097。

## Chapter 5 背景とテキスト

### デスクトップパターン

デスクトップパターンも組み込むことができる。これは以前何度か説明したことのあるppatを使うよ。ppatにID番号「17」のものを作り、そこで背景画像を作ってしまえばおしまい（図10）。

### デスクトップの文字と文字のラベル

文字のラベルにデスクトップパターンと同じパターンを使うと、ラベルが透過したように見えていい感じ（図11）。cicnとcinfの簡単な設定でOK。GirlTalkのcicnとcinfの-9552　Desktop Name Backgroundを開いてみたのが図12。ppatの17を使うので、cicnではテキスト色だけを入れてまわりは白のまま。cinfではTextPixelと、Background Pattern IDを設定する。

パターンを使わなくても単色ベタ塗りでいいよって人は、cicnにテキストの色と背景の色を入れ、Background Pattern IDを「0」にしてBackgroundPixelとTextPixelを設定しよう。cinfは、使わない項目を「0」にしておくようにね。

これと同じやりかたで、ウィンドウの中の背景も設定できるし、リスト表示させたときのソート、ソートなしの背景、リストの罫線も設定できる。

cicn、cinfの共通IDは以下のとおり。図9で確認してね。

-9551　Icon Background

（ウィンドウの中の背景）

-9550　List non-sort

（リスト表示でソートされてない項目の背景）

-9549　List Sort Color

（リスト表示でソートされる項目の背景）

-9548　List divider line

（リスト表示の罫線）

もうすぐこの連載もおしまい。あとちょっとなので、お付きあいよろしくお願いします！

図10　ppat

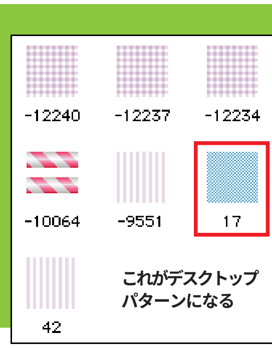
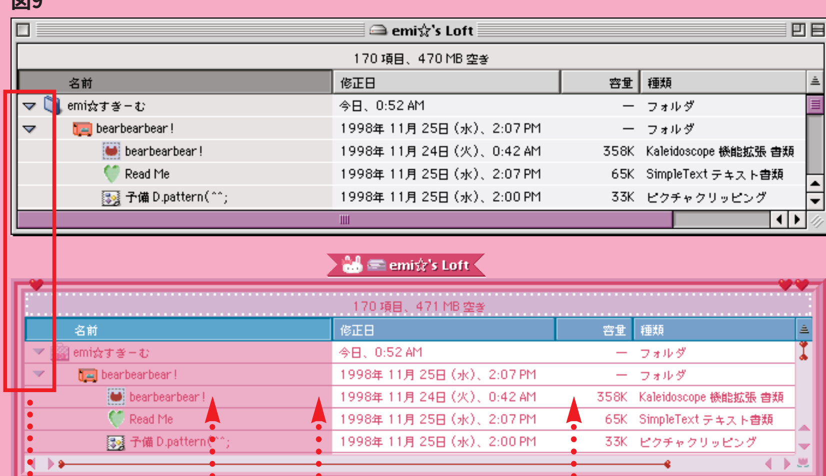






図11
文字のラベルをデスクトップパターンとおなじものにした

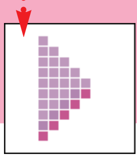
図9




ソートされた項目の背景
-9549 List Sort Color

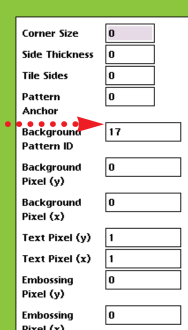
ソートされた項目の背景
-9548 List divider line

ソートされていない項目の背景
-9550 List non-sort

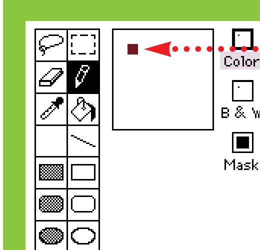


12×12ピクセルの範囲で三角を描こう

図12




文字の背景に使いたいppatのIDを入れる。パターンではなくて、単色ベタ塗りでいい場合は、cicnで背景色を入れ、ここを0にする




テキストの色を1ピクセルで指定する。このときエンボスも作れる。まわりの色の白い部分に色を塗って、そのまま背景色に使うこともできる

# プレイステーション2がもたらす巨大な衝撃とは?

## スパコン並の家庭向け端末によって一変する情報家電市場

山名一郎 ジャーナリスト

あまりに安直すぎるようだが、それがかえってストレートでたいへんわかりやすい、「2」の名称を付加した次世代プレイステーション「プレイステーション2」(以下「PS2」)が、9月13日に正式に発表された。ずば抜けた3D性能、DVD-ROM/CD-ROMドライブの搭載……くらいまでは、広義にはテレビゲーム機の範疇に収まるのだろうが、加えてIEEE1394の採用、ケーブルモデムを前提にしたネットワーク機能(PS2のケーブルモデム化？　セットトップボックス化？)、およびビット配信ビジネスへの展開、さらに開発ツールをベースにしたグラフィックワークステーション業界への進出(の可能性)など、PS2の先には広大な未開拓地が広がっている。

### PS2の成功の鍵は従来の固定概念の打破

私はこれまでに2度、テレビゲーム業界について本を著作した[*1]。それら多くの取材を通して強く印象に残っているのは、特にプレイステーション(以下「PS1」)発売直前の94年秋ごろの、「ゲーム屋にはゲーム屋の論理があり、家電屋のソニーなんかにクリエイターやゲームプレイヤーの心をつかめるはずがない」といった、おごりのようなゲーム業界人たちからの発言だった。複数の人々からたびたび聞かされた。

いま、その人たちはどうしているのか。どういう発言をしているのか追及するつもりはまるでないが、どう割り引いても、現在のところはPSの圧勝であり、逆に、ゲームを知りつくしていたはずのゲーム屋の論理は惨敗を喫してしまった。

PS1大成功の理由はゴマンと発売されている書籍でいくらでも読むことができる。ただ、1つだけ述べておきたいのは、PS1は最初から、ゲームを、いわゆるゲーム屋さんの心の根にあったゲームとしてとらえていなかったこと。つまり、それまでは子供たちや一部のマニアと考えられていたテレビゲームの消費者を、女性や中高年、さらには「ライトユーザー」と呼ばれる人々にまで拡大し、積極的に取り込んでいった。PS1の成功の理由は、戦略的なマーケティング、話題づくりのたくみさにある。

実際、初めて手にしたテレビゲームはPS1だというそこそこの年齢層の人はすごく多い。あれだけ大量にテレビCMが放映されれば、だれだってちょっとさわってみたくもなる。

ソニー・コンピュータエンタテイメント(SCE)の大成功は、ナムコ、スクウェア、エニックスの抱き込みによっていわゆる「従来型のゲーム」を継承しつつも、一方で「ゲームとはこういうもの」というそれまでのゲーム屋の常識や発想を覆し、まったく新しいジャンルのゲームを創出したという、戦略的なすそ野の拡大にある。

このことは、もはやPS1の成功を語る上での定説だと思う。しかしなぜだか、セガ・エンタープライゼスのドリームキャストにしても、任天堂・松下電器産業連合のゲーム専用機ドルフィンにしても、「ゲームとはこうあらねばならぬ」という固定観念がぬぐえていないような感じがしないでもない。

### スーパーコンピューター並の処理性能を誇るEmotion Engine

言葉を換えれば、かつてのライバルたちがまだそんなことに拘泥しているうちに、PS2は別の次元に一気に駆け上がってしまったということもできる。

スペックを眺めると、MIPSのR3000ベースの128ビットマイクロプロセッサ(Emotion Engine)と専用の画像処理エンジン(Graphics Synthesizer)によるけた違いの3Dグラフィックス性能と、DVD-ROM/CD-ROMドライブを結合させた新世代のテレビゲームマシンであるかのようだ。

確かにPS2の性能はすごい。アップルはVelocity Engineを搭載したPowerPC G4の性能を誇示すべくGFLOPS(ギガフロップス)という単位を掲げ、スーパーコンピューター並みの「1GFLOPS」(理論値では最大4GFLOPSになるという)を実現したと発表した。だが、これより約半年も前に、Emotion Engineの能力は6.2GFLOPSであることが明らかになっていた[*2]。もっとも、私自身がこの1Gとか6.2Gといった数値を確認したわけではなく、単純に比較すべき値ではないだろう。

そこでPS1とPS2のポリゴン量を比較してみたら、PS1では公称値150万ポリゴン/秒だった性能が、PS2では5,500万ポリゴン/秒(光源計算などをしない場合)へと35倍以上も向上していた。さすがにこのレベルになると、テレビ(約35万画素)を楽にしのぎ、ちょっと大げさなが



発売日は平成12年3月4日、価格は39,800円となった「プレイステーション2」。128ビットの『Emotion Engine』を搭載し、メディアにDVD-ROMを採用。「プレイステーション」との下位互換性を実現するという

*1 著作：『ゲーム業界三国志』ダイヤモンド社／1997年、『キング・オブ・ゲームの未来戦』日本実業出版社／1994年を参照されたい。　*2 約半年前から明らかになっていた：日経エレクトロニクス1999年3月22日号による。

**PS2発売予定タイトル（一部）**

公開された開発予定タイトルは80以上、ソフトウェア開発ライセンスを結んだ企業は国内外で200社を越えることも明らかにされた



グランツーリスモ2000／SCE
©1999 Sony Computer Entertainment Inc.

らも35ミリフィルムのクォリティ（約600万画素）に近づく。アップルのいい方にならえば、「PS2は、Emotion Engineという『チップに入ったスーパーコンピューター』を内蔵している」ということになる（とはいえ、最近の最速スーパーコンピューターは1兆回/秒の浮動小数点演算をこなすTFLOPS＝テラフロップス領域へと進化しているのだが……）。

## DVDプレイヤーとしてのPS2

そしてこのPS2のエンジンが表現する膨大なデータを収めるのにチョイスされたメディアがDVD-ROMである。ご承知のように、家電メーカにとってDVDは20世紀最後（21世紀最初？）の大型商品だと期待されてきた。が、DVDの実状はどのようになっているのだろうか。

レーザーディスク（LD）のリプレースというコンセプトでは限界普及率は見えている。音楽ディスクについていうと、世の中の趨勢がMP3などに向かいつつある中、高音質なオーディオディスクという切り口ではパイが増えない。

PC用DVD-ROMタイトルはどうか。CD-ROMタイトルが売れず、製作会社の倒産や吸収合併が相次ぐ状況にあってはDVD-ROMタイトルに投資しようという企業や人などいない。CD-ROMが売れないのに、どうして、それよりも制作に手間がかかり、それに見合った価格がつけられないDVD-ROMの市場があるのか、ということである。つまり、大型商品と期待されながら——というよりも業界がそうやって煽りながらも、本当のところは、コンテンツやコンテキストが全然見えていなかったのがDVDの実態だったのだ。

ところが、PS2やドルフィンが採用したとなると、DVDに描く未来像は大きく変わることになる。SCEが掲げたPS2の販売目標は、発売開始後の2日間で100万台というものだ。PS1の100万台突破が発売後半年以上かかったことを考えると、2日で100万台は異例の速さだ。だが、



The Bouncer（仮）／スクウェア
©スクウェア/ドリームファクトリー

これすら容易に達成できるだろうというのが大方の予想である。プレイステーションはもはや、子供向けのゲームや玩具ではなく、大人も欲しがるエンタテインメント機器になってしまっているため、高額であることは問題ではない。

この「2日で100万台」という数字に対し、言葉を発せられないでいるのがDVDビデオプレーヤーを手がけてきた家電メーカだろう（ソニーもその一社だが）。同プレーヤーの累計出荷台数が50万台を超えたのはつい最近で、97年秋の発売から数えると丸2年もかかっている*3。

PS1は、94年12月の発売から現在まででおそらく5,500万台を超えているはずだ（今年3月の時点でワールドワイドで5,442万台と発表されている）。PS2の人気はPS1のそれをはるかに上回っているから、ソニーの生産能力を月産200万台程度とすると（PS1は250万台）、2000年の終わりごろには、1,500万台〜2,000万台もの、PS2という名のDVDビデオプレーヤー／DVD-ROMドライブが世界中の家庭に入り込んでいることも十分に考えられる。DVDビデオも再生することのできるテレビゲームとして……。2001年末には5,000万台以上に増殖しているかもしれない。

## 情報家電市場に及ぼす超・巨大なインパクト

この現象はたいへんなことだ。将来像がぼやけ出していたDVDの道筋がPS2によってしっかりつけられたことももちろんたいへんなことだし、それに、家電メーカーやハリウッド、あるいはPCメーカーの思いと異なるかたちでDVDが家庭に浸透していくことになるわけだから、DVDにかかわる、とりわけ家電メーカーの人々は、この機に、DVDとエンドユーザーの関係（要するにソフトやハードウェアのこと）を根本から考え直す必要があり、これもたいへんなことに違いない。少なくとも、映画ソフトや音楽の視聴をもって、DVDを「21世紀最初の大型商品」と位置づけるのはナンセンス以外の何者でもなくなった。

だが、もっと重要なのはDVDではなくて、スーパーコンピューター並みのチップを搭載した「最先端の技術の固まり」が、一気に家庭に押し



鉄拳TAG TOURNAMENT（仮）／ナムコ
©NAMCO LTD. ALL RIGHTS RESERVED

寄せてくることの方である。

これには2つの意義がある。1つは、PS2で生まれる半導体の需要が、産業用・民生用、部品、デバイスを含めたエレクトロニクス産業の全体の底上げをはかっていくということ。電卓やファミコンも新規の半導体需要を生み出したが、PS2は桁が違う。国内におけるPS1の世帯普及率はすでに30%を超え、テレビゲームとしてのシェアは60%以上。携帯電話よりも低いがPCよりも高い。PS2には、この30%＝約1,500万世帯＝1,500万台が、すでに約束された最低限の市場であるはずだ。PS2が産業構造を転換させ、エレクトロニクスと半導体業界の国際競争力をさらに強固なものにしていくのだ。

もう1つは、テレビという情報システムとの親和性である。家庭に「最先端の技術の固まり」が押し寄せてくるという点では、PS2はPCと似ているものの（PCを最先端と言えるかどうかは異論もあるだろうが）、設置される場所が違う。PCは仕事場か書斎、PS2は個室かリビング。当然ながら、テレビ受像機ともっとも親しい最先端のデジタル機器がPS2ということになる。

テレビ放送は、CSがすでにデジタル化され、2000年末にはBSが、2003年からは地上波が順次デジタル化されていくことになっている。これにデジタル機器を、ハード的、アプリケーション的にどう接続していくかは、非常に大きなテーマである。デジタル機器としてはPCも候補の1つだが、親和性の点ではPS2の方がより強い。したがって家庭内のデジタル化はPS2——というよりも、この場合はセットトップボックスといった方が正確だ——が制し、それに連なるアプリケーションはPS2を基準に進んでいく、のかもしれない。PS2にはこういう可能性も込められている。ソニー本体がプレイステーションを事業の中核に据えた意図には明らかにそれがあるのだが、誌面が足りなくなってしまった。勝手ながら、このつづき（デジタル放送、IEEE1394、CATV網、デジタルコンテンツ配信-など）は来月号で考えてみたい。

*3 **丸2年もかかっている：**日本電子機械工業会の統計（http://www.eiaj.or.jp/）によると、1999年の国内出荷台数は、1月から7月までで17万5000台、1日あたり833台！でしかない。

# 「e-one」問題でアップル勝訴、ソーテックは徹底抗戦へ

## 販売・展示停止処分を受けたソーテック、「色違い」の新機種を発表へ

http://www.sotec.co.jp/

**「iMacそっくりパソコン」として注目を集めた(株)ソーテックの「e-one」をアップルコンピューターが告訴したことは先月お伝えしたとおりだが、この両社の争いがまったく新たな局面を迎えている。東京地方裁判所のアップル勝訴という判決を不服とするソーテック側が、スペックアップ*1を施した「色違いのe-one」を発売したのだ。**

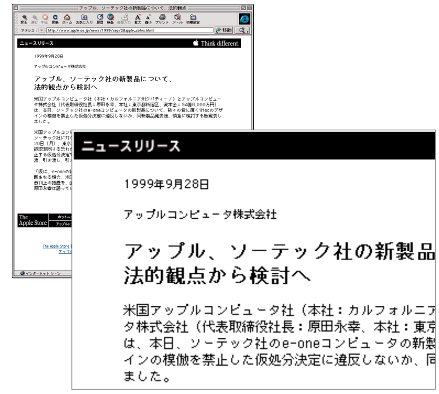
### 係争の経緯

そもそもの訴訟の始まりは今年7月に米Apple Computerが米Future Power社、および韓国の大宇社を提訴したことに始まった。これに続く今回の訴訟の対象となったのは日本のソーテックが発売する「e-one」だ。ソーテックは韓国のPCメーカーであるTrigem Computer社と業務提携を結んでいるほか、韓国のKorean Data Systems社とも同様に業務提携している。この2社の合弁企業が米eMachines社*2であり、eMachines社は米国でe-oneとまったく同一のハードウェアを「eOne」として発売している。

米AppleはFuture Power社および大宇社の提訴に続き、8月19日には米eMachines社を提訴。



ソーテックの新機種「e-one 500」。色が変更され、筐体の素材もトランスルーセントではなくなった




アップルはソーテックの新機種を「法的観点から検討」すると発表

国内でもアップルコンピュータが8月24日にソーテックを提訴した。9月20日に東京地方裁判所はソーテックに対して、e-oneの「製造、販売、販売のための展示及び輸出入を禁止」という仮処分を決定した。両製品にデザインの類似性が認められるというのが処分の根拠である。

ソーテックはこの仮処分を不服としながらも、早々に仮処分に応じた処置を実行。オンライン販売の中止、店頭展示などを急遽取り下げた。だがその数日後には各種報道を通じて「色違いマシンの発売」によって徹底抗戦の構えを取ることが明るみに出ると、アップルとソーテックの間に再び緊張が生じた。アップルはソーテックの発表する新製品を「法的観点から慎重に検討する」という発表を行なった。

### ソーテックの「新機種」

ソーテックが発売したのは「ミレニアムブルー」と名付けられた青みがかった銀色のみを使った、単色・ソリッドカラーの「e-one 500」だ。ソーテックの大辺創一代表取締役社長は、発表会の場において「10万円以上の高額商品であり、iMacと誤認識することなどありえない」「OSが異なる」を繰り返し、東京地裁の仮処分と新機種とは関係がないことを強調した。事実、新しい色を採用したe-oneは形状こそiMacそっくりだが、その印象は大きく変わった。ソーテックの発表後、9月末日時点でアップル側の対応は発表されていないが、改めて「iMacの独自性」について争われるのは必至だ。

ジョブズはアップル復帰時に「コピーキャット*3を生み出し業界を前進させていく」企業がアップルだと指摘した。ご承知のとおりiMacは十二分にコピーキャットを登場させたが、e-oneのデザインはいわば「デッドコピー」（完全な模倣）である。コンピューターにおけるデザインを先導してきたアップルは、コンピューターにおけるデザインを守る基準を確立するという点でも、業界を率先することとなるだろう。




ソーテックの開催した新製品発表会には多数の報道陣が詰めかけ、iMacとの類似性に関する質問が相次いだ



左より中尾氏（取締役）、橋本氏（取締役）、大辺氏（代表取締役）

**●iMacに関する訴訟の経緯**

| | |
|---|---|
| 7月1日 | Apple Computer、Future Power社、大宇社を提訴 |
| 7月19日 | ソーテック、「e-one 433」を発表 |
| 8月19日 | Apple Computer、eMachines社を提訴 |
| 8月24日 | アップルコンピュータ、e-oneについて 東京地裁に提訴 |
| 9月14日 | 東京地裁での事情聴取 |
| 9月17日 | ソーテック、弁護士を通じて東京地裁に書類を提出、審議打ち切り |
| 9月20日 | 東京地裁が仮処分決定 |
| | アップルコンピュータ、仮処分が決定された旨の発表 |
| 9月21日 | ソーテック、仮処分決定に沿った各種の処置を実行 |
| 9月28日 | アップルコンピュータ、ソーテックの新製品を検証する旨の発表 |
| | ソーテック、「e-one 500」を発表、受注開始 |

*1 **e-oneのスペックアップ**：CPUがIntel Celeron 433MHzから500MHzに、ハードディスクドライブが8.4GBから13GBに、それぞれ変更された。価格は据え置きの128,000円からとなっている。　*2 **米eMachines社**：昨年末よりインターネットサービスプロバイダーとの契約を条件に超低価格でパソコンを販売し、急速にシェアを拡大したメーカー。現在、米アメリカ・オンラインの契約によって400ドルのリベートを受け取ることができる。　*3 **コピーキャット**：類似品のこと。アップルが作り出す製品は、他社にまねをされるという意味。

# ニコンが211万画素デジタルカメラ「COOLPIX 800」を発表!

## 光学2倍ズームレンズ搭載のハイ・コストパフォーマンスモデル

人気のCOOLPIXシリーズに新モデルが加わることになった。211万画素CCDと2倍ズームレンズを搭載した「COOLPIX800」である。

同シリーズの200万画素クラスモデルは、すでに3倍ズームのCOOLPIX950と単焦点のCOOLPIX700の2機種がある。それぞれ人気が高いが、特にCOOLPIX950は予想を超える人気に供給が追いつかず、今もバックオーダーを抱えている状況だという。質の高い絵作りと、カメラメーカーであるニコンの名からくる信頼性が人気を支えているようだ。COOLPIX700の方は単焦点ではあるが「950」の画質を受け継ぎながら価格が抑えられており、こちらも評価は高い。そして、新モデルのCOOLPIX800はその名が示すように両モデルの中間に位置する製品である。なお、価格で89,000円だが、発売は11月6日の予定。




基本スタイルはCOOLPIX700のデザインを継承している



光学ファインダーの形状がCOOLPIX700とは異なっており、高級感を増している。液晶モニターの右上にズームボタンが並ぶ



レンズ部がグリップよりも前方にせりだしている。沈胴式のようなデザインだがレンズは固定だ



コントロール用のボタンの配置はCOOLPIX700と同じだ



記録メディアはコンパクトフラッシュ。標準では8MB タイプが装備されている



ノーマルモードの撮影サンプル。オートの設定だが、適正レベルに露出補整されており、明るく鮮やかな画像になっている



マクロモードの撮影サンプル(一部をトリミング)。最短で7cmまでピントが合う




屋外でも明るく、見やすい1.8インチの低温ポリシリコンTFT液晶モニター

### ➡2倍ズームレンズ搭載

撮像素子は「950」「700」と同じ1/2インチの211万画素CCD。記録画像のサイズは1,600×1,200pixelになる。本体のスタイルは、いわゆるコンパクトカメラタイプで「700」とほとんど同じデザインになっている。それでも光学ファインダーの形状など、細部のデザインには違いがあり、単にレンズを付け替えただけというわけではない。そのレンズは、35mm換算で38〜76mmの2倍ズームのニッコールレンズである。「950」のレンズは38〜115mm相当なので、その弟といえるレンズだ。単焦点モデルはコンパクトで気軽に持ち歩けるという利点があるが、ズームモデルの持つフレーミングの自由度は、やはり魅力だ。望遠側が76mmと、やや物足りない気はするが、人物の撮影がメインのスナップ用途などには使いやすいレンズといえるだろう。

ズームの駆動はスムーズでボタン操作のレスポンスもまずまずである。レンズ回りが沈胴式を思わせるのデザインになっているため勘違いしそうだが、レンズ部は固定で、ズーミングに伴って伸縮するわけではない。そのため「700」と比べると、かなりレンズが飛び出している。レンズ部の印象が強くなったため、見た目の高級感は増している。

### ➡スピード面の不満はない

基本的な撮影機能は「700」に準じたものだ。「950」にある絞り優先、シャッター優先AEといったマニアックな撮影機能はない。それでも露出補整は1/3ステップで±2段まで行なえ、ホワイトバランスも任意の設定を含め7種類もある。また、マルチオートホワイトバランスという画面を256分割して、被写体と背景を識別して撮影シーンの色情報を分析する優れた機能も新たに加わっている。さらに、距離数を選択するマニュアルフォーカスは45ステップあり、フルオートだけでは物足りないというユーザーの撮影心を満足させてくれる。もちろん、ほとんどの場合フルオートの設定でベストな画質がえられるようになっている。オートフォーカス精度と自動露出制御機能が高く、画質に関しては「950」に迫るものだ。

スピードは、速さでは定評があった「700」よりもさらに高速化された印象だ。起動は約2秒、記録時間は平均1〜2秒と速い。また、バッファメモリーを使った連写機能が充実しており、スピード面の不満はない。連写には新たにウルトラハイスピードというモードが加わっている。これは1/4VGAサイズで1秒間に約30コマ、連続40コマの撮影ができるものだ。カメラには動画再生機能はないが、連写画像は動画素材としても利用できるだろう。

光学2倍ズームで、さまざまな性能も高めながら価格はCOOLPIX700よりわずかに高いだけということなのでコストパフォーマンスに優れた魅力的な製品といえるだろう。 ●狩野千英

SPECIAL PREVIEW

# QuarkXPress 4.1は11月予定
## ヘルプ機能やPDF、HTMLに対応

http://www.quark.co.jp/

QuarkXPressが、11月に4.1にアップデートされる予定だ。リリースにあたって、Quark社のデスクトップ製品担当ディレクター リチャード・ジョーンズ氏に概要について聞いた。

QuarkXPress 4.1の特長として、次のようなものがあります。QuarkLink、はさみツール、DeJavuなどの新しいXTensionsの追加、PDFファイル取り込み／書き出し機能、HTMLテキスト取り込み／書き出し機能のサポートなどです。このうち、HTML Text Import XTensions日本語版は、4.1リリース後、準備が整い次第、Quark社Webサイトを通じて配布する予定です。

QuarkLinkは、アプリケーションのメニューからインターネットを介して各種カスタマーサービスを提供できるというものです。はさみツールは、ベジェ曲線などを自由に切ることができるというもの、また、DeJavu機能では、最近使ったファイルにダイレクトにアクセスすることができます。

Quark社では急速に普及しているPDFファイルに対応するべく、真摯にこのテクノロジーと取り組んでいます。4.1でお目にかけることになるPDF Import／Exportフィルタは、その第1段階を示すものです。4.1では、PDFファイルの取り込みは、Adobe Acrobat 3.0で作成されたPDFファイルを画像ボックスの中に取り込むというもので、残念ながら現在のバージョンではCIDフォントが使用されているPDFファイルの取り込みはできません。現バージョンでは、書き出しはAdobeDistillerをエンジンとして利用しつつ行ないます。ただ、先にも言いましたように、これはほんの手始めにすぎません。将来、QuarkXPress 5.0では、Acrobat 4.0ファイルの取り込みはもとより、XPressに取り込んだPDFファイルの編集にも完全対応する予定です。もちろん、書き出しもAcrobat Distillerに依存せず可能になります。

また、4.1のHTMLテキストの書き出し機能は、単に書き出しが可能というだけでなく、目次項目に選ばれたテキストにリンク機能を持たせることもできます。Quark社では、Web関連テクノロジーをサポートするための新機能や新製品の開発にも力を入れており、将来的には、XMLへの対応策を充実させていく予定です。先ごろ、米国で発表を行なった「avenue.quark」（英語版）は、その先駆けとなる製品です。

4.1では、数多くの問題点が解消され、とても安定した製品になっています。QuarkXPress 4.1アップデーターは、4.0登録ユーザーの皆様にお送りするほか、雑誌のCD-ROMやインターネットで無料で配布する予定です。



Quark社デスクトップ製品担当ディレクター
Richard Jones氏

# ソニー、メモリ型オーディオ市場に参入
## メモリースティックに関するライセンス契約でハード普及を目指す

http://www.sony.co.jp/

ソニーマーケティング（株）は、小型のIC記録メディア「マジックゲートメモリースティック」を記録媒体として採用したメモリー型オーディオ機器「メモリースティックウォークマン」を発表、12月より発売すると発表した。

これまで発売されているメモリー型オーディオ機器はほとんどがMP3に対応していたが、メモリースティックウォークマンはSDMI*1の提示する仕様を満たす「ATRAC3」を採用。同技術はミニディスクに搭載されている圧縮方式の約2倍の圧縮性能で、ほぼ同等の音質を得られるという。著作権保護については「MagicGate」*2と呼ばれる技術を利用する。メモリースティックウォークマン用のデータを作成するにはWindowsマシンを利用するが、パソコンとの接続はUSBであるため、Macへの対応も十分に考えられる。

メモリー型オーディオ機器市場は、MP3の急速な普及によって市場の需要が認められていたが、コンピュータメーカーによる大手家電メーカーの参入が欠けていたため、なかなか一般化が進んでいないという状況だった。9月末にはアイワ、ケンウッド、三洋、シャープ、パイオニア、富士通の6社との間でメモリースティックのオーディオ利用に関するライセンスを契約することで合意に至ったことを発表した。これらの家電メーカー各社がメモリースティックを採用したメモリー型オーディオ機器を開発するのはほぼ間違いない。ソニーでは2001年を目処に256MBのメモリースティックを実現する予定としている。





「メモリースティックウォークマン」（左）と、Magic Gate技術を搭載した「マジックゲートメモリースティック」（上）

# アップル、G4の出荷遅れで業績予測を下方修正

http://www.apple.com/

米Apple Computerは、9月末日締めの第4四半期における利益が、前四半期の成績を大幅に下回る模様であることを明らかにした。Power Mac G4に搭載するG4プロセッサの供給が遅れており、Power Mac G4の出荷台数が予測を大幅に下回ることが主な理由であるという。

Appleは10月13日に業績を発表する予定で、Appleによる利益予測は7500～8500万ドルの間という数値となっている。

Appleのフレッド・アンダーソン最高財務責任者（CFO）は、「G4プロセッサの供給数が予想を下回り、大量のバックログを抱えたまま9月末日締めの四半期を終了するだろう。次四半期は出荷台数、売上ともに前年度を大幅に上回る成長となることを予想している」と述べている。

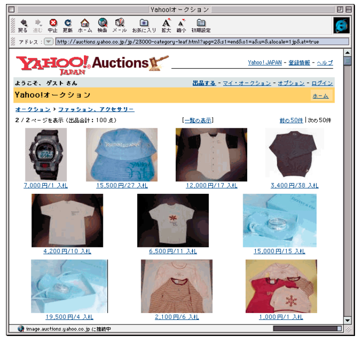
一部ではAppleが事前にモトローラとの間で生産量について調整を終えないまま、G4の発売に踏み切ったことが原因との説もある。G4の供給不足の解消は時間の問題との見方が強い。

*1 SMDI：Secure Digital Music Initiative（安全なデジタル音楽音楽計画）の略称。RIAA（全米レコード協会）が主導する、MP3に代わる安全な音楽フォーマットの仕様策定を目指した業界団体。 *2 MagicGate：メモリースティックウォークマンで利用する「マジックゲートメモリースティック」と、これに対応する周辺機器に搭載される機能。著作権の有無、楽曲を再生する機器の正当性を判断し、著作権を保護する。

# Yahooがオークションサイト開設

## 自動入札方式を採用、米国eBayの成功に続けるか

http://auctions.yahoo.co.jp/




アイテムを写真でブラウジングできるYahoo!のオークションサイト

Yahoo! Japanが「Yahoo! オークション」という新サービスを開始した。小規模なオークションサイトはこれまでもいくつか見られたが、ポータル規模のサイトが国内で大々的にオークションシステムを展開した例はYahoo! Japanが初めて。

Yahoo! オークションは、一般ユーザーが物品を競売するシステムを備えたWebサイトであり、利用者は売り手にも買い手にもなることができる。売り手として参加する場合は、売りたい品物のカテゴリを選択し、品物の情報、取引条件などを詳細に指定するだけでよい。売値は売り手の自由裁量で設定できるほか、必要に応じて品物の写真も添えることが可能だ。

一方の買い手は、カテゴリーを選んで品物を選択する。品物の状態、価格といった条件が合ったら、ここで「入札」を行なう。最終的に最も高い値を付けた人が商品を購入する権利を得られるということになる。

オークションサイトと一般掲示板との違いは、オークションサイトには買い手を支援するシステムが整備されている点だ。希望する価格を設定しておけば、その価格範囲内で最も安価な価格で競り落とすシステムとなっている点だ。このため、売り手側も品物が売りやすくなっている。

Yahoo!以外にも、アスキーイーシーが開設したショッピングポータル「e-sekai」、リクルート、So-net、ディー・エヌ・エーの3社による新オークションサイトなどが後に続いている。この方式が日本でも根付くかどうかが注目される。

# 液晶一体型PCがブームに

## Windowsパソコンでも独自デザインを追求

http://www.simplem.com/、http://www.panasonic.co.jp/will/pc/





パナソニックの「Will PC」（上）と、NECの「simplem」（左）。液晶による奥行きの薄さが特徴的だ

iMacで火がついたパソコンの「デザイン重視」の傾向が、Windowsパソコンでも本格化する兆しが見えてきた。液晶ディスプレイをベースとしたデザイン重視パソコンが登場し始めている。

NECは「シンプルでいこう。ナチュラルに語ろう。」をキーワードに、インターフェイスを徹底排除したシンプルなパソコン「simplem」（シンプレム）を発売した。キーボードとマウスはワイヤレスで利用できるほか、テレビのリモコンに似た「インターネットパッド」を備えており、マウス＋αの操作を行なえる。DVDドライブを備えており、フロッピーディスクはオプション。基本的にはノートブックパソコンの部品を流用しているようで、独自のスタイルを備えたパソコンに仕上がっている。

一方のパナソニックが発売する「WiLL PC」は、アサヒビール、花王、トヨタなどの異業種が参加するプロジェクト。正面から見るとiMacに似ているが、全体的には「λ（ラムダ）フォルム」という独自の工業デザインを採用している。液晶ディスプレイ、DVDという特徴は一緒だ。

ただ、いずれのパソコンも決して「リーズナブル」ではないようだ。価格はどちらもオープン、実勢価格は30万円前後となる見込みである。

### ➡Western Digital、ハードディスク40万台をリコール

米Western Digital社は、同社の出荷したIDEハードディスクのうち、「WD Caviar 5400 RPM EIDE」モデルの40万台に製造不良があったことを公表し、現在該当するハードディスクの交換に応じている。該当機種の一覧はhttp://www.westerndig ital.com/fitness/drive-alert.htmlに掲載されている。連続利用時間が半年〜1年を経過すると、ドライブが駆動しなくなるという問題が生じることがある。

同ホームページでは、PC/AT互換機用の該当機種チェック用ユーティリティが用意されている。各種報道によると、AppleのPower Mac G4に採用された可能性もあるようだが、すぐに何らかの問題を引き起こす問題ではないため、Appleの対応に注意しておくべきである。

●Western Digital／http://www.westerndigital. com/

### ➡マイクロソフト、次期Windows「Millennium」ベータテストへ

Microsoftは、Windows 9xの後継となるOSとしては最新のものとなる「Windows Millennium」のベータテストを開始した。このOSはWindows 95、98、98 Second Editionに続く、95系のカーネルを引き継ぐOSとしては最終バージョンとなる。「レガシーデバイス」と呼ばれる古い規格の機器を外し、MS-DOSモード用アプリケーションをサポート対象外とするなど、実現可能な範囲で既存の制限を取り外すことを目標としている。HTMLをユーザーインターフェイスとして積極的に取り入れるなどの改良も取り込まれる予定だ。今回のベータ版はかなり早期のバージョン。製品のリリースは2000年内を予定している。

●Microsoft／http://www.microsoft.com/

### ➡マイクロソフト、Outlook Express日本語版を10月下旬に公開

マイクロソフトは、電子メールクライアント「Outlook Expressx」の新バージョンとなるバージョン5.0を9月に開催されたWORLD PC Expoにて発表した。10月下旬より一般に公開される。

新バージョンでは、オートコンプリート機能やキー操作などの使いやすさに関連した機能向上が図られている。また、メール添付ファイルの標準エンコードにApple Double*1が追加されたほか、Windowsとのファイルの送受信時に拡張子を補う機能も追加された。

MSNの提供しているWebベースのメールサービスである「Hotmail」のメールもOutlook Expressから利用できるようになっている。

●マイクロソフト(株)／http://www.microsoft.com/japan/mac/oe/

*1 AppleDouble：Macintoshのファイルシステム（HFS、HFS+）に利用されているファイル記録方式。データフォークとリソースフォークの2種類に分割されていることが特徴。

# 富士写真フイルムがZip新製品発売

## 250MBのメディアと対応ドライブ、およびUSB対応ドライブ

価格●オープン（Zip250ディスク）、38,000円（Zip250ドライブ）、26,000円（Zip100USBドライブ）
http://www.fujifilm.co.jp/

富士写真フイルムは、記憶容量を2.5倍に大容量化した「Zip250ディスク」と「Zip250ドライブ」、またUSBに対応した「Zip100USBドライブ」を発売した。

Zip250ディスクは富士フイルム独自のATOMM（超薄層塗布型メタルメディア）技術により、従来のZipディスク*1（100MB）とまったく同じサイズで250MBの大容量を実現している。

Zip250ドライブは100MB Zipディスクのリード・ライトが可能な下位互換性を確保しているので、100MBディスクのファイル資産を活用でき、また用途に合わせてディスクの使い分けが可能。最大で2.4MB/S（SCSI接続時・250MBディスク使用時）と、従来の100MBドライブに対し約1.7倍の高速化を実現しており、高画質デジタルカメラの画像ファイルや各種マルチメディアファイルなど大容量ファイルの記録時に快適に使用できる。また、電源オフ時にディスクを挿入すると自動的にドライブの電源が入る「オートパワーオン機能」を搭載している。サイズは139×42×190mmで、重量は約450g。

Zip100USBドライブは、USBインターフェイスに接続可能。最大1.0MB/Sと、100MB SCSIドライブに迫る高速転送レートを実現した。サイズは136×38×184mmで、重量は約450g。

●（株）富士写真フイルム／03-5466-3801



## 松下のデジタルスチルカメラ「PV-DC10JZ」

価格●85,000円
http://www.panasonic.co.jp/



松下電器産業／松下寿電子工業はデジタルスチルカメラ「PV-DC10JZ」を発売した。PV-DC10JZは132万画素・光学3倍ズーム搭載に鮮明な高画質画像の撮影ができ、DUAL Card Slotを採用。これにより、CompactFlashカードを2枚装着することで約800枚（ノーマルモード・32MBカード使用時）の画像がカードの入れ替えなしに撮影できる。低消費電力型専用LSIの開発により連続撮影枚数160枚以上を実現。さらに4秒間の動画撮影、0.5秒間隔の連写撮影など多彩な機能を搭載している。

●松下寿電子工業（株）／089-966-2826

## 新PowerBook G3内蔵用ZIPドライブとSuperDiskドライブ

価格●ともにオープンプライス
http://www.gate.co.jp/




ゲートは米国VST Technologies社製の新PowerBook G3内蔵用ZIPドライブ「VST Zip Drive」とSuperDiskドライブ「VST SuperDisk Drive」の販売を開始した。VST Zip DriveはIomega社のZIPドライブメカニズムを採用した製品で、拡張ベイ*2に簡単に装着できる、100MBの大容量、高速な書き込み／読み込みを実現している。起動ディスクとしても使用可能。VST SuperDisk Driveは、120MBのSuperDiskメディアの書き込み／読み込みをサポートするほか、フロッピーディスクの読み書きにも対応。

●（株）ゲート／03-3865-5812

# アルプス電気「MD-5500」発売

## マイクロドライブプリンタに新製品登場

価格●59,800円
http://www.alps.co.jp/

アルプス電気は、マイクロドライブプリンタ「MD-5500」を発売した。マイクロドライブプリンタとは、溶融熱転写プリンターの技術を使用したもので、インクジェットやレーザーとは異なるもの。MD-5500はデザイン、パーソナル市場に向けた商業印刷とほぼ同等の印刷が可能なプリンターだ。顔料インクを使用したCMYK面順での印刷、VD2,400dpiの高精細印刷によりオフセット印刷と同等の色再現性を実現している。メディアフレキシブルで印刷本紙への印刷モードをサポートし、160lpi印刷モードなど、オフセット印刷のシミュレートにこだわった性能を備える。メタリック、白などの特殊印刷もシミュレート可能。印刷可能範囲は224×592mmで、POPなどの長尺印刷も可能。A4ノビ版に対応し、A4トンボ付きの印刷ができる。NIES POP書体添付。USBコネクター標準装備。RIPにはAdobe純正のPostScript3のCPSIを搭載しており、Color Sync2.6に対応している。オーバープリント・トラッピングに対応するほか、ネットワーク対応も果たしており、日本コンピュータ工業(株)より、Mac用の標準ドライバーを発売予定だ。オプションでSCSIアダプター（6,800円）、昇華スタータキット（6,400円）、MD-5500をPSプリンターにするSoftwareRIP（59,800円）が用意されている。

漢字Talk 7.1以降、Mac OS 7.6.1からMac OS 8.6まで対応している。

●アルプス電気（株）／045-544-824



*1 Zipドライブ：米国iomega社開発の記憶装置。100Mバイト以上の記憶容量をもつもので、米国ではポピュラーな記憶装置として流通している。 *2 拡張ベイ：さまざまな機能を追加できるスロットのことを指し、Macの場合、PowerBookに搭載されているもののことを言う。CD-ROMドライブ、Zipドライブ、MOドライブ、バッテリーなどの拡張ベイ用製品が出されている。

## QVデジタルシリーズ「QV-8000SX」&「QV-2000UX」

価格●100,000円(QV-8000SX)、88,000円(QV-2000UX)
http://www.casio.co.jp/

カシオ計算機はデジタルカメラ「QV-8000SX」と「QV-2000UX」を発売した。QV-8000SXは最大32倍（光学8倍×デジタル4倍）のズーム撮影が楽しめる131万画素モデル。光学8倍ズームは35mmフィルム換算で40～320mm相当をカバーしている。「QV-2000UX」はF2.0光学3倍ズームレンズと211万正方画素原色CCDを搭載した高画質モデル。IBMマイクロドライブ（340MB）対応で、これを使用すれば1,600×1,200ピクセルの最高画質画像を約400枚まで記録できる。いずれもUSB接続用端子を標準装備。
●カシオ計算機(株)／03-5334-4828



写真は、QV-2000UX

## ポータブルCD-R/RWドライブ「FREECOM Traveller CDRW」

価格●72,800円(Mac/Win98版パッケージ)
http://www.vertexlink.co.jp/



バーテックスリンクは独FREECOM社製のポータブルCD-R/RWドライブ「FREECOM Traveller CDRW」の販売を開始した。Traveller CDRWは充電バッテリー内蔵のCD-R/RWドライブで、USB対応の外付けCD-R/RWドライブとしては他社に類をみない4倍速書き込み・書き変えを実現している。FREECOMケーブルシリーズのケーブルを交換することで、USB、パラレル、PCカードの3つのインターフェイスへの対応が可能となている。薄さ19mm、着脱可能なリチャージャブルバッテリー装着時でも600g。ケースは半透明のアクアブルー。アダプテック社製ライティングソフト「Adaptec Toast」付属。USBケーブル付き。
●(株)バーテックス リンク／03-5259-5126

## USB採用CD-RWドライブ「elegance CD-RW DRIVE」

価格●オープンプライス
http://www.mds2000.co.jp/

エム・ディー・エスはUSBインターフェイス採用のCD-RWドライブ「elegance CD-RW DRIVE」を発売した。elegance CD-RW DRIVEはスケルトンボディを採用しており、付属の5色の専用フットを付け替えることで好みに併せてドレスアップができる。レコーディングソフトとしてAdaptec社製「TOAST ver3.8日本語版」が付属（ver.4.0日本語版に無償アップグレード可能）している。簡単操作でオリジナルCDが作成可能で対応フォーマットも豊富。CD-Rライト4倍速、CD-RWライト2倍速、リード8倍速。サイズは16.8×27×5cmで、重量は1.7kg。
●(株)エム・ディー・エス／03-3834-5250



## Ultra SCSI/SCSI-2対応外付型640MB/230MB MOドライブ

価格●68,000円(MOF-R640/AP)、47,000円(MOF-R230/AP)
http://www.iodata.co.jp/

アイ・オー・データはUltra SCSI/SCSI-2対応外付型MOドライブ2機種を発売した。640MB対応の「MOF-R640/AP」と230MB対応の「MOF-R230/AP」で、いずれも4,558回転/分、平均シークタイム*1 23msの富士通製最新MOドライブ「MCE3064SS」を採用。書き込み効率を向上させるライトキャッシュ「ウルトラ・キャッシュ」により高速ファイル転送を実現している。設置場所を選ばない薄さ36mmのスリム設計。「B'sCrew Ver2.1 for Macintosh」を標準添付。サイズは36×122×265mm。
●(株)アイ・オー・データ／076-260-1024、03-5256-1024、06-4705-5544



## Ultra SCSI対応PowerBook G3専用SCSI I/Fカード

価格●11,800円
http://www.logitec.co.jp/

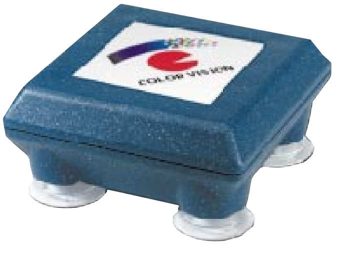


ロジテックはUltra SCSIに対応したPowerBook G3専用のSCSI I/Fカード「LPM-SCSI3E/M」を10月上旬に発売する。LPM-SCSI3E/Mは、CardBus仕様のPCカードスロットで使用可能なSCSI I/Fカード。Ultra SCSIをサポートし、同期転送時に最大20MB/S（理論値）の高速データ転送が可能。32bitバスマスター転送もサポートしている。CD-Rユニットや CD-R/RWユニットを接続した場合に、6倍速・8倍速でのCD-Rメディアの書き込みが可能。アクティブターミネータ搭載。B'sCrew 3 Lite版添付。
●ロジテック(株)／03-3377-0016

## モニターキャリブレーションシステム「PhotoCal」

価格●28,000円
http://www.imi-jp.com/

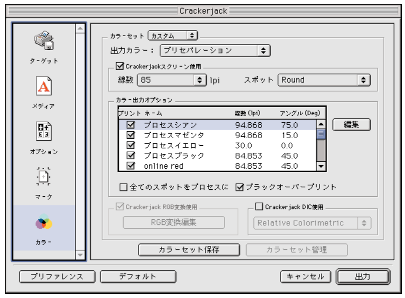
イメージアンドメジャーメントは、モニターキャリブレーションシステム*2「OptiCal」の一部機能制限を加えた普及版、「PhotoCal」を12月から発売する。この「PhotoCal」は、モニターキャリブレーションとプロファイリングを行なうシステムで、モニター上の色をより自然な色合いに近づけるためのもの。ColorSyncとICMプロファイルを作成でき、モニター自身の色調整機能を使って、モニター内部の色温度を適正値に調整する。専用ソフト付属。Mac OS 8.6対応。
●イメージアンドメジャーメント／03-3365-3641



*1 シークタイム：ハードディスクなどの回転式記憶装置の性能判断のための指針のひとつ。ディスクの特定の位置に読みとりのヘッドが移動するまでの時間のこと。シークタイムが短ければ、そのぶんデータに速くアクセスできる。 *2 キャリブレーション：ディスプレイやプリンターなどの出力機器で表現される色を調整することをさす。

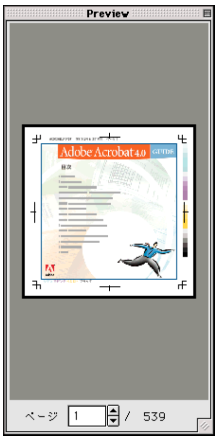
## 「Crackerjack 3.0日本語版」発売
### 分版出力、カラーコントロールを可能にするAcrobatプラグイン

価格●オープンプライス
http://www.copstalk.co.jp/




ケミカル・リサーチは、Acrobat PDFファイル*1から分版出力、カラーコントロールを可能にするAcrobatのプラグイン「Crackerjack 3.0日本語版」を発売した。

Crackerjackは、従来のバージョンでPDFからのPostScript Level2出力機への分版出力、カラーコントロール機能、製版トンボ、オフセット、スクリーン線数などのコントロールを実現していた。バージョン3.0では、In-RIPセパレーション未対応の出力機に対しても分版出力が可能なプレセパレーション機能、デバイスに依存しないICCカラープロファイルの取り込み（入力のみ、出力に関しては今後対応予定）、ブラックオーバープリント、PostScript 3特有のコメント対応、出力前のプレビューを可能にし出力ミスを防ぐカラープレビュー表示、現場での生産性を飛躍的に向上させるバッチ処理機能の標準搭載など、商業印刷に必須の機能を追加した。システムは68030以降（PowerPC推奨）、漢字Talk7以降（7.2.1以降推奨）、Adobe Acrobat 3.0以降対応、Acrobat4.0推奨。




なお、Crackerjackから分版出力する場合は、In-RIPセパレーション（RIP分版）コマンドをサポートするPostScriptラスタライザーが必要。

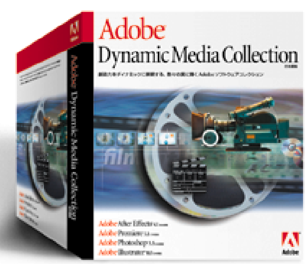
●ケミカル・リサーチ（株）／045-984-0257

## 「Adobe Dynamic Media Collection日本語版」

価格●オープンプライス（予想価格260,000円程）
http://www.adobe.co.jp/

アドビシステムズは、映像や画像を取り扱う同社の人気ソフトをひとつのパッケージにした「Adobe Dynamic Media Collection」を発売した。同パッケージに含まれるソフトは、モーショングラフィックスとビジュアルエフェクツ用ソフト「Adobe After Effects4.1」、プロフェッショナルデジタルビデオ編集ツール「Adobe Premiere 5.1」グラフィックソフトの定番「Adobe Photoshop 5.5」、イラストレーションユーティリティ「Adobe Illustrator 8.0」の4つで、すべて日本語版となっている。

●アドビシステムズ（株）／03-5350-0407

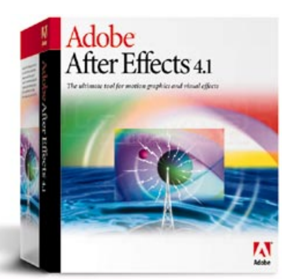



## モーショングラフィックス・ツール「Adobe After Effects 4.1」

価格●オープンプライス（予想価格110,000円程）
http://www.adobe.co.jp/

アドビシステムズは、ビジュアルエフェクトとモーショングラフィックスのツール「Adobe After Effects 4.1」を発売した。今回のバージョンアップでは、メディア変換機能の拡張、ユーザーのクリエイティブコントロールの強化、生産性の向上を主眼に、大幅な機能強化を果たしている。新機能としては、より高解像度のファイルへのサポートや、より多くのファイルフォーマットへの対応、レイヤーを自動的に連続して配列する「シーケンス機能」*2などが挙げられる。

●アドビシステムズ（株）／03-5350-0407




## Webソリューションソフト集「Adobe Web Collection」

価格●オープンプライス（予想価格190,000円程）
http://www.adobe.co.jp/




アドビシステムズは、「Adobe Web Collection日本語版」を発売した。「Adobe Web Collection日本語版」はWebサイトの作成に必要なソフトウェアをパッケージにしたもの。パッケージ内容としては、プロ向けのWebデザインツールAdobe GoLive 4.0日本語版、Web機能が強化されたAdobe Photoshop 5.5日本語版、イラストレーションソフトAdobe Illustrator 8.0日本語版がパッケージされる。また、、簡単にWeb用ボタンやバナーなどを作成できるAdobe ImageStyler日本語版が同梱される。

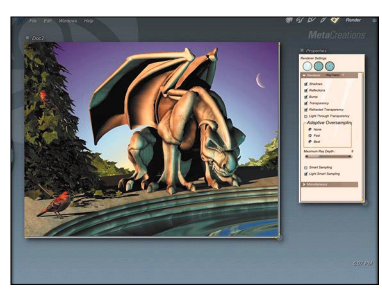
●（株）アドビシステムズ／03-5350-0407

## MetaCreations社の3Dソフト「CARRARA日本語版」今冬発売

価格●未定
http://www.mvi.co.jp/

メディアヴィジョンはMetaCreations社の3Dソフト「CARRARA日本語版」を今冬発売する。CARRARAは印刷、ビデオおよびWeb向けの3Dモデリングおよびアニメーション作成ソフト。多くのハイエンド3D製品に搭載されている重要な機能のほとんどが搭載され、最新のレンダリング技術に基づいた高速なハイブリッドレンダラーやSmartFlowと呼ばれるワークフローの導入、MetaStreamのサポート、ダイレクト3DおよびOpen GLのサポートなどの特徴をもつ。

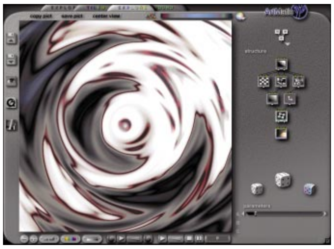
●（株）メディアヴィジョン／03-3263-0566



*1 PDFファイル：米Adobe Systems社が開発したドキュメント表示用ファイル形式。レイアウトやフォントの情報を損なうことなく、ファイル内に納められているので、ファイルを開く側の環境に依存しないで文書を表示できる。圧縮率も高く、電子メールで送る際などにもよく使われる。PDFファイルを読むためのソフト「Adobe Acrobat Reader」はフリーウェアとして配布されている。　*2 シーケンス：データを記憶開始位置から順番に並べていくこと。

## アート・シンセサイザー「アートマティック（ArtMatic）」

価格●12,000円
http://www.hookup.co.jp/index_ie.html

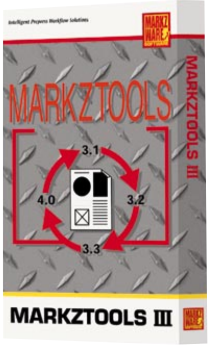


フックアップはU & I Software社の「アートマティック（ArtMatic）」を10月20日にリリースする。ArtMaticは“アート・シンセサイザー”と呼ばれる、全く新しいジャンルのソフトウェアで、ピクチャー（PICTフォーマット）を短時間の簡単な作業で作り出すことが可能。また、いくつかのアニメーション・モードが搭載されており、高品質のQuickTimeムービーを作り出すことができる。さらに数学的合成によって不思議でエキサイティングなサウンド（SD IIフォーマット）が作成可能。単体での使用でも楽しめるほか、各種デザインに利用できる。
●(株) フックアップ／03-5256-2853

## Quark用エクステンション「Markzware MarkzTools III」

価格●29,800円
http://www.swtoo.com/

ソフトウェア・トゥーはMarkzware社のQuarkXPress用エクステンション「Markzware MarkzTools III for Macintosh」を取り扱い開始した。「Markzware MarkzTools III」は、QuarkXPressドキュメントの回復を支援するエクステンション*1で、QuarkXPressの古いバージョンで新しいバージョンのドキュメントを開いたり、それらのファイルを変換することができる。また開きたいドキュメントが損傷している場合や不適切なファイルフォーマットなどの場合には、ファイルを適正化することも可能となっている。Markz Tools IIからのアップグレード価格は8,000円（税別）となっている。
●(株) ソフトウェア・トゥー／03-5676-2177




## 定番電子メールソフト、大変身「Eudora ART」シリーズ

価格●未定
http://www.kuni.co.jp/

CD-ROM Movie

クニリサーチインターナショナルは定番の電子メールソフト「Eudora ART」シリーズを12月から順次発売予定。Eudora ARTはiMacおよび青白Power Mac G3、Power Mac G4に対応しており、Eudora Proの性能を受け継ぎながら、アーティストの富田勉氏デザインによるアーティスティックなインターフェイスを採用しているのが特徴だ。1カ月から2カ月の間隔で合計4種類のイメージの全く異なったデザインをシリーズ展開する予定で、1シリーズあたり1万本、合計4万本のオンラインによる限定販売。シリーズ第1弾は第2次世界大戦末期にドイツで開発されていた計算機"ENIGMA"がテーマ。本誌CD-ROM MACLIFEに、デモのイメージムービーを収録している。
●(株) クニリサーチインターナショナル／06-6441-0234



# 「Painter 6 日本語版」今冬発売

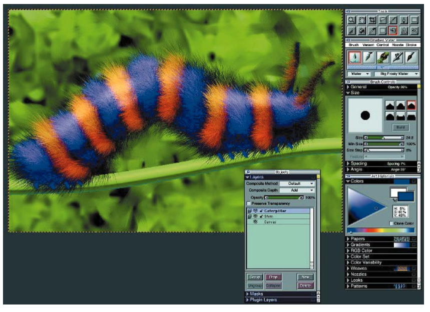
## 新機能満載の定番ペイントツール

価格●未定
http://www.mvi.co.jp/

メディア ヴィジョンはMetaCreations社のペイントツール「Painter 6日本語版」を今冬発売する予定だ。

Painter 6の特徴としては、リアリティの追求や創造的なコントロールを可能にしている次世代ブラシエンジンテクノロジー、各ブラシストロークに複数カラーを使用することを可能にするBrush loading（ブラシ読み込み）機能、アート作品にリアリティーを追加する盛り上げ塗り、個別のブラシストロークに反応するパレットナイフ、手のベアリング・傾斜・圧力を基にインタラクティブに回転や拡大・縮小操作を実行し、キャンバス上で複数のイメージを同時に噴射するイメージホース、ベジェ曲線*2ハンドルを移動させることによりベースラインの形状を編集するText on a Curveなどがある。

ユーザーインターフェイスも改善され、より直観的で使いやすい環境となっている。新たなメモリー構造により処理時間を大幅に短縮しており、



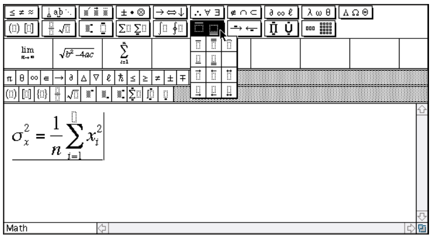
複数ストロークのスプーリング、モーション抑制、キュービック補間により、高速でスムーズな描画を実現している。業界標準拡張レイヤーが組み込まれており、ペイントレイヤーと効果との組み合わせを実現している。またCMYK、TIFF形式も新たにサポートした。

さらにPainter 6ではWacom Intuosタブレット、ペン、エアブラシテクノロジーをサポートしており、アーティストの表現のニュアンスを詳細に再現することを可能にしている。
●(株) メディア ヴィジョン／03-3263-0566

## 数式入力ソフト「MathType 3.6日本語版」

価格●36,000円
http://www.senko-corp.co.jp/

亘香通商は米国Design Science社の数式入力ソフトMathTypeの新バージョン4.0を日本語にローカライズした「MathType 3.6日本語版」を発売した。MathTypeは数式の構造や数式上の表記の決まりを解する数式作成ソフトで、複雑な数式をマウスでクリックするという単純な作業で作成でき、そのデータを他のソフトで作成した文書、ホームページ、あるいは数学表現用の特殊な清書システムにも取り込める製品。数式エディターに見られるさまざまな機能のすべてが大幅にグレードアップされたものになっている。
●亘香通商 (株) ／045-320-2711




*1 エクステンション：機能拡張ファイルのこと。Macのシステムフォルダのなかの機能拡張フォルダに入れることで、さまざまな機能を追加できる。 *2 ベジェ曲線：複雑な曲線を小さなデータで表現するために考案された方法で、曲線をコントロールする点を設定し、その点から長さや角度を変え、曲線を調節する。

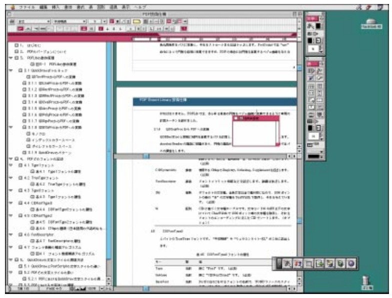
# 「EGWORD Ver.10」発売

## 「EGBRIDOGE」「EGWORD PURE」もバージョンアップ

価格●25,000円（EGWORD）、9,800円（EGBRIDGE）、12,800円（EGWORD PURE）
http://www.ergo.co.jp/

エルゴソフトはワープロソフト「EGWORD Ver.10 for Macintosh」を11月19日に発売する。今回のバージョンではインターネットを意識した機能の強化に重点を置いており、出力フォーマットが強化されている。まず、EGWORD単体でPDF形式の出力に対応し、章番号やリンクマーク・メモなどの情報も、そのままPDFの対応する機能で再現される。また、HTML*1書き出しのオプションも追加された。出力する画像のフォーマットを追加したほか、ページの構成のHTML文書の作成ができる。スライドショーHTML書き出し機能も追加され、1ページを1枚の絵として表示するHTMLファイルが書き出せる。同バージョンには同日発売予定の日本語入力プログラム「EGBRIDOGE Ver.11 for Macintosh」が標準添付される。

「EGBRIDOGE Ver.11」はユーザーの思考を妨げず日本語入力を行うことを目的に、最小の基本的な単語だけを変換候補選択時に表示し、ユーザーが要求したときにのみすべての単語を表示する機能を装備。また同音語候補を表示中に、間違えやすい単語の意味や用法を表示する単語意味表示、同音語候補の選択を容易にする同音語パレット拡張機能、過去に入力した単語や文節を参照／出力する入力履歴機能などを追加した。



なお「EGWORD Ver.10」の簡易版「EGWORD PURE Ver.5.0」は12月3日発売予定。新機能・強化機能はEGWORDと同様だが、PDF形式の出力、スライドショーHTMLの書き出し、KWIC（文脈付き索引）検出機能は搭載されない。

●（株）エルゴソフト／045-565-3330

# 演算星組の書道ソフト「Mac書道・山水」

価格●18,800円
http://www.enzan-hoshigumi.co.jp/

演算星組は書道ソフト「Mac書道・山水」を発売した。「Mac書道・山水」は用途に応じた多彩な筆を用意し、筆それぞれに「にじみ」「かすれ」「肌理」「筆圧」「はね」「筆形」「筆跡」「色深」などのパラメータをプリセットしており、繊細微妙な筆の動きを完璧にシュミレートする。常にストロークを記録している「筆書録」では、画像の逆戻し、再生、削除が可能。高解像度での描画、印刷が可能なほか、下絵機能をベースにした見本帳はリアルタイムで筆運びをナビゲートする。紙の選択も充実。極彩色からモノクロームまでカラー表現のバリエーションは無限。

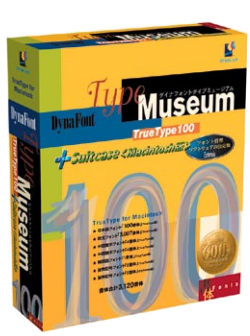
●（株）演算星組／03-3372-2970



# フォント管理ツール「DynaFont Type Museum+Suitcase」

価格●16,800円
http://www.dynalab.co.jp/

ダイナラブ・ジャパンはTrueTypeフォント+フォント管理ツール「DynaFont Type Museum+Suitcase」を発売した。定番の日本語100書体TrueTypeフォントパックに、新製品のフォント管理ツール「Extensis Suitcase 8J Macintosh版」フルバージョンを同梱した製品で、Mac OSの機能に関係ないフォント管理を簡単に行なうことができる。フォントをセット化して必要なときだけ再起動せずに切り替えて使用できるので、Mac OSが扱えるフォント数の制限を取り払える。Mac OS 8.6に対応。iMac、および新Power Mac G3にも対応している。




●ダイナラブ・ジャパン（株）／03-3224-3170

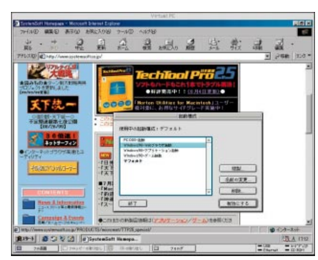
# Virtual PC version 3.0日本語版

## Connectix社製PCエミュレーターソフトの最新版

価格●42,800円（with Windows 98）、12,800円（with PC-DOS）
http://www.mvi.co.jp/

メディア ヴィジョンとシステムソフトはConnectix社のPCエミュレーターソフト「Virtual PC version 3.0日本語版」（with Windows98とPC-DOS）2製品を11月5日に発売する。Virtual PC version 3.0（with Windows98）はWindows98 Second Editionがプリインストール済みのパッケージで、この製品の使用により、新たなハードウェアを購入することなくMacでWindows98が使用できる。Windowsのソフトが利用できるほか、Win95、NT、DOS、IBM OS/2、Linuxもサポートしている（OSは別途購入）。さらにPC環境のネットワークにアクセスしたり（Ethernet対応）、MacとWindows間のファイル共有も簡単だ。

Virtual PC version 3.0日本語版の新機能としては、広範囲なUSBのサポート、MacとWindows環境の双方でのインターネット接続の共有、Win環境でのAppleScriptの実行、ネットワークのアクセス速度とスループット*2の向上、Sound Blaster 16のサポート、PCフォーマットのディスクパフォーマンスの向上、セットアップアシスタント、起動構成マネージャなどがある。



Virtual PC version 3.0日本語版（PC-DOS）はWindows OSの付属しないパッケージで、PC DOS 2000日本語版のみがプリインストールされている。他のOSを使用したい場合は別途ライセンスの購入およびインストールが必要だ。

ver 1.0/2.0/2.1からのアップグレードは7,140円（税込み）。アップグレードキットのみの提供で、各バージョンに添付のOSは提供されない。

●（株）メディア ヴィジョン／03-3263-0630
（株）システムソフト／092-752-5264

*1 HTML：Hypertext Markup Languageの略。インターネットのWorld Wide Webで閲覧するための書類を書くための言語。文書中にタグを配置して、そこから別のページにリンクさせたり、サーバーの情報などを引き出す設定ができる。　*2 スループット：コンピューターが一定時間内に処理する情報量のこと。

## 定番のトラブル解決ソフト「Norton Utilities 5.0 Mac版」

**価格●19,800円**
**http://www.symantec.co.jp/**



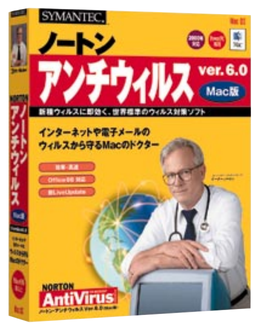

シマンテックは、定番のMac用トラブル解決ソフトNorton Utilitiesの新バージョン「Norton Utilities 5.0 Mac版」を発売した。Norton Utilities は、Macの使用上で起こるさまざまなシステム上のトラブルを未然に防いだり、解決するソフト。Norton Utilities 5.0では、これまで起動ボリュームの修復にはユーティリティーCDから起動する必要があったが、起動ボリュームもCDから起動することなく検査・修復できるようになった。このほか、FireWire機器への完全対応、オンライン更新機能などが搭載された。バージョン3.5以上のユーザーは、9,500円でアップグレード可能。

●(株) シマンテック／03-3476-1156

## ウイルス防護ソフト「Norton Anti Virus 6.0 Mac版」

**価格●9,800円**
**http://www.symantec.co.jp/**

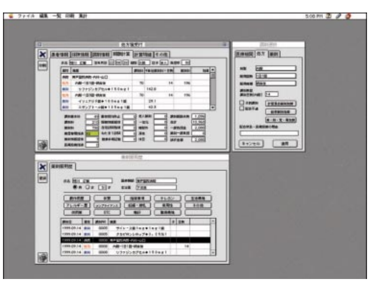
シマンテックは、電子メールやCD-ROM、MOなどを経由して侵入するウイルスからMacを保護するソフトNorton Anti Virusの新バージョン「Norton Anti Virus 6.0 Mac版」を発売した。同バージョンでは、未知ウイルスを見知する独自のスキャン・エンジン「Bloodhound」を搭載し、ウイルスに感染したファイルを自動修復する機能も搭載された。このほか、オンライン更新機能のスピードの向上、スキャン速度の向上などがはかられている。バージョン5.0以上のユーザーは5,500円でアップグレード可能。またMac OS 9に対応させるアップデートCD-ROMを登録者に2,500円で提供する。




●(株) シマンテック／03-3476-1156

## 薬剤調剤窓口用ソフト「Pharma office ver.1.0」

**価格●68,000円 (本体)、30,000円 (薬剤データ)**
**http://www.ibook.co.jp/axess/**



アクセスは、薬剤調剤窓口用ソフト「Pharma office ver.1.0」を発売した。Pharma office ver.1.0は、これまでコンピューターを利用すれば小規模でも効率的な業務が可能であっても費用対効果から考えて、高価なシステムを導入することが困難であった小規模保険薬局のニーズに応えるもので、調剤業務に伴う窓口業務（処方箋入力・領収書発行・調剤録）、薬歴管理業務（薬歴管理指導簿）、保険請求業務などを低コストで行なえる。本体と薬剤データがある。

●(有) アクセス／078-845-2223

## 「素材辞典2000年プレミアム（クリスマス・お正月編）」

**価格●7,800円**
**http://www.datacraft.co.jp/**

データクラフトは「素材辞典2000年プレミアム（クリスマス・お正月編）」を発売した。「素材辞典Vol.48 クリスマス・お正月編」に、干支の辰と2000年イメージを集めたプレミアムDISCをプラスしたもの。「素材辞典Vol.48 クリスマス・お正月編」にはクリスマスツリー、リース、キャンドル、十二支、門松などの素材が200点、プレミアムDISCには高級感のある木や銅の龍や、親しみやすいタツノオトシゴの写真、さまざまなモチーフで作られた2000年のイメージなど年末年始のクリエイティブワークに役立つ素材100点が収録されている。CD-ROM 2枚組。




●(株) データクラフト／03-5772-2355

### ➡ページレイアウト・デザイン ツール「Adobe InDesign 1.0 英語版」発売開始

**価格●オープンプライス**
**http://www.swtoo.com/**

ソフトウェア・トゥーは「Adobe InDesign 1.0英語版」の発売を開始した。Adobe InDesign 1.0英語版はエディトリアルデザイナーをはじめとするプロのために開発された製品で、表現の自由と生産性の向上、精密なレイアウトを実現する。PhotoshopやIllustratorともシームレスに連動し、ひとつに統合されたデザイン環境を提供する。QuarkXPressやPageMakerのファイルを開くことも可能で、過去の資産もInDesignへスムーズに移行可能。なおAdobe InDesign英語版は、英語版OS上での使用および英語の出力機で出力することを前提にしており、日本語を含む2バイトフォントの入力、プリントおよび日本語OS上での動作はサポートしていない。日本語版の発売時期は未定。

●(株) ソフトウェア・トゥー／03-5676-2177

### ➡学研医療ソフトシリーズ「医療辞書　かな漢字編」

**価格●15,000円**
**http://www.three-a.co.jp/**

スリー・エー・システムズは学研医療ソフトシリーズ「医療辞書　かな漢字編」を発売した。「医療辞書　かな漢字編」は日本語入力システム（IME）の専門用語辞書で、日本語入力のかな漢字変換効率を高めて資料作成の能率をアップする。内科系・外科系・看護婦・薬剤師など医療関係に従事する人全般に役立つ辞書だ。おもな特長は従来の倍以上に増強した約11万語を収録しているところ。Mac用ではATOK12、ことえり（Mac OS 8.5用）などのIME[*1]に対応。

●(株) スリー・エー・システムズ／03-5487-2035

### ➡総合素材集第15弾「スゴネタ15宴会パーティー」

**価格●8,800円**
**http://net.grapac.co.jp/sugoneta/**

グラパックジャパンは総合素材集スゴネタシリーズの第15弾「スゴネタ15宴会パーティー」を発売した。「スゴネタ15宴会パーティー」は、飲食店やホテル、企画会社や宴会幹事の各種アイテム（ちらし、メニュー、招待状、グッズ等）作りに便利な素材集。写真530点(JPEG/PICT、解像度は1,024×1,536pixel)、イラスト1,050点（EPS/PICT）、テンプレート140点（EPS/PICT）、飾り文字350点（EPS/PICT）、飾り罫140点（EPS/PICT）、ペーパークラフト20点（EPS/PICT）の計2,230点を収録。CD-ROMケース、ガイドブック、オリジナルブラウザ付き。ハイブリッドCD-ROM 8枚組。

●グラパックジャパン (株)／03-5213-5563

*1 IME：Input Method Editorの略。Mac上で仮名漢字変換を実現するためのソフト。Macでは特にインプッドメソッドと略して呼称されることが多い。

## オリンパス「TURBO MO」シリーズ新発売

価格●本文参照
http://www.olympus.co.jp/

オリンパスは、3.5インチ光磁気ディスクドライブ「TURBO MO」シリーズの新製品3機種を10月23日から発売する。「TURBO MO 640 S II」は、ディスク回転数、業界最速の4,643rpmを誇り、Macセットが65,000円、Mac PCIセットが78,000円。「TURBO MO 640 II」は業界最速のシークタイム[*1]23msを実現し、Macセット53,000円、USBセット63,000円。「TURBO MO 230 II」は、パーソナルユース用の230MBスタンダードモデルで、ディスク回転数4,643rpmを実現。こちらはMacセットが44,000円、USBセットが54,000円となっている。すべての製品は下位互換性があり、たとえば640MBのMOドライブでも、240MB以下のMOメディアを読み込み・書き込みすることができる。
●オリンパス光学工業（株）／0426-42-7499



## Ethernetカード「NET-G Gigabit PCI Card」

価格●225,000円
http://www.dit.co.jp/

ディアイティはPCIスロット用ギガビットEthernetカード「NET-G Gigabit PCI Card」を発売した。NET-G



Gigabit PCI CardはIEEE 802.3z準拠のFull-duplexギガビットEthernetインターフェイスを装備し、Duplex SC fiber connectorに対応している。10Mbpsや100MbpsのEthernetネットワークとの混在でも利用可能だ。Jumbo Flame互換。頻繁に発生するインタラプトでも安定した動作が可能。インストールが簡単で、TCP/IP、AppleTalk対応により、手間をかけずに運用することができる。
●（株）ディアイティ／03-5634-7651

## 外付けSCSI DVD-RAMドライブ「DVD-RAM5.2G/A」

価格●77,000円
http://www.melcoinc.co.jp/

メルコはBUFFALOブランドから外付けSCSI DVD-RAMドライブ「DVD-RAM5.2G/A」を発売した。DVD-RAM5.2G/AはDVD-RAMの読み書きに加え、DVD-ROMリード2倍速、CD-ROMリード20倍速で、PD[*2]にも対応している。ドライブはパナソニック社製。SAI社製UDF対応フォーマッター



「DVD-RAM Tune Up」をCD-ROMで標準添付。添付のSCSI変換コネクタでD-subフル25ピンとD-subハーフ50ピンのSCSIコネクタに対応。ブランクメディア添付（片面2.6GB）。なお、同様のSCSIケーブル、変換コネクタ、フォーマッタは、Mac用DVD-RAM接続キット「DCK-ADVD」（12,000円）として別売りもしている。
●（株）メルコ／052-619-1827

## 「USB-CCD」と「USB-CAP」がMacに対応

価格●21,000円（USB-CCD）、14,800円（USB-CAP）
http://www.iodata.co.jp



アイ・オー・データ機器のCCDカメラ「USB-CCD」、キャプチャーケーブル「USB-CAP」の2製品が、Mac対応となった。同社のMac用キャプチャーソフト「HoldSight」の添付により、簡単に静止画・動画の取り込みができる。パッケージに「MacOS 8.6 Apple iMac,G3対応」シールが貼られている製品については、すでにMac用サポートソフトが添付済み。添付されていない製品についても、同社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）よりダウンロードが可能。また同社のバージョンアップ窓口（TEL076-263-7070）や秋葉原I・Oプラザ AKIBA（TEL03-3258-1010）でもサポートソフトのバージョンアップを受け付ける。
●（株）アイ・オー・データ機器／076-260-1024、03-5256-1024

## フラットヘッドスキャナー「CanoScan FB636U」

価格●24,800円
http://www.canon-sales.co.jp/

キヤノンは、普及価格のフラットベッドスキャナー「CanoScan FB636U」を発売した。FB636UはLIDE技術を用いた密着型カラーイメージセンサーを搭載して薄型化、低消費電力を実現しているほか、アルミ素材の圧板（上蓋）を採用し、美しさの際立つデザインと



なっている。厚み39mmの超薄型設計で、低振動・低騒音モーターの採用により静音スキャニングを実現している。600dpiの光学解像度で、RGB各色12bitで読み取ったのち、8bitに変換することで、原稿に忠実でなめらかな画像を得ることができる。USBインターフェイス採用。サイズは256×39×372.5mmで、重量は約1.5kg。このほか、600dpiの光学解像度の「CanoScan FB630P」（19,800円）、そして300dpiの光学解像度の「CanoScan FB330P」（14,800円）も発売した。
●キヤノン販売（株）／0570-01-9000

## インディーズフォント集「FONTROM3」

価格●5,800円
http://www.apjapan.co.jp/

エーアンドピーコーディネータージャパンはインディーズフォント集「FONTROM3」を発売した。今回3号目となるFONTROMでは、現在のフォントシーンを代表するフォントデザイナーやグラフィックデザイナー、イラストレーターなど多彩な顔ぶれが14組そろった。常に新しく刺激的なフォントを必要とするデザイナーや、フォントを使う人、作る人の手によってたえず生み出されていくインディーズフォントを実用的なものから実験的なものまで、42書体を収録。収録FONT形式は1バイトMac用Postscript type1 FONTでCD-ROM版。A4サイズカタログとFONT印字見本帳/フォントイメージビジュアル/キーマップ付き。
●エーアンドピーコーディネータージャパン（株）／03-5798-0210




## 「創造素材バリューパック　クリスマス＆新年」

価格●14,800円
http://www.imaging.co.jp/iml/

イメージランドは「創造素材バリューパック　クリスマス＆新年」を発売した。同社の「創造素材」シリーズから今秋新発売の「クリスマスVol.1」および「新年Vol.1」を年末に向け特製パッケージに2枚セットしたもので、計200点の素材を収録。「クリスマス」には街角のツリーやユニークなリースなど、ヨーロッパ各地で撮影したファンタスティックなクリスマス風景、「新年」には門松、鏡餅、水引、コマ、初日の出などが収録されており、グリーティングカードや年賀状に利用できる。フォトCD方式。
●（株）イメージランド／03-5802-5513




*1 シークタイム：ハードディスクなどの回転式記憶装置の性能判断のための指針のひとつ。ディスクの特定の位置に読みとりのヘッドが移動するまでの時間のこと。シークタイムが短ければ、そのぶんデータに速くアクセスできる。　*2 PD：松下電器産業の開発した、書き換え可能な光ディスク。1枚で、640MBの記憶容量。相変化方式を用いており、ドライブはCD-ROMドライブとしても利用可能。

### エーアンドピー
### 素材集「フォト満タン7　はがき」

**価格●8,800円**
**http://www.apjapan.co.jp/**

エーアンドピーコーディネータージャパンは素材集「フォト満タン7　はがき」を発売した。年賀状や季節のあいさつに便利な素材を集めた定番のハガキ／カード系素材を収録しており、バックグラウンドやカットフォトなどとくに写真を大きく使う印刷物への使用に最適な素材集。収録内容は写真（高解像度JPEG18MB）1,000点、写真（低解像度JPEG）1,000点、フォント（DynaFont）10書体、「具-満タンセレクト200」（EPS、WMFなど、イラスト、飾り罫など計200点）。CD-ROM2枚組、全素材掲載カタログ付ガイドブック付属。
●エーアンドピーコーディネータージャパン（株）／03-5798-0210



### Bungie Software社のゲーム
### ソフト集「Mac Action Sack」

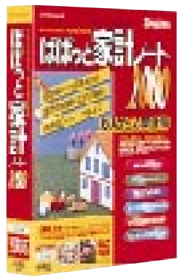
**価格●$18.95（送料別）**
**http://www.japancentral.com/**

PSP Inc.は、米国Bungie Software社のゲームソフト集「Mac Action Sack」の日本向け販売を同社インターネット直販サイト、www.JapanCentral.com（http://www.japancentral.com/~Products/Bungie/indexAction.htm）で開始した。
Mac Action SackはBungie Software社が開発したMac用アクションゲーム6タイトルのパックで、Minotaurをはじめ、Pathways Into Darkness、Abuse、Marathonシリーズ3タイトル（Marathon、Marathon 2: Durandal、Marathon Infinity）が入っている。製品はSack（袋）に入っている。英語版で、パッケージには日本語簡易マニュアルが含まれる。
●Pacific Software Publishing, Inc.／http://www.japancentral.com/




### アジェンダ
### 「ぱぱっと家計ノート2000」

**価格●4,800円**
**http://www.agenda.co.jp/**



アジェンダは家計簿ソフト「ぱぱっと家計ノート2000」を11月5日より発売する。「ぱぱっと家計ノート」の家計簿では、よく使う機能をボタン化し、一目でわかるようウィンドウ内に配置。ボタン1つで必要な操作ができ、初めて家計簿ソフトを使用する人でも簡単に使いこなせる。入力も、ワンタッチ入力、スーパーレシート入力、スーパークイック入力、通常入力の4種類を用意。複数の口座やカードの管理も万全で、自動引き落としや自動口座振替設定も簡単。実生活に即した予算設定や各種係数による家計分析機能など、上手な家計のやりくりに役立つ機能が満載されている。また、同製品の発売を記念して、「ぱぱっと家計ノート2000」のCD-ROM内に辻学園辻クッキングスクール監修のマルチメディアお料理ソフト「お料理上手 基本システム」4,000円分をもれなく収録する「お料理上手プレゼントキャンペーン」を実施している。
●（株）アジェンダ／011-700-2161

### 「MIXAイメージ・ライブラリー」の
### 新作5タイトル

**価格●各10,000円**
**http://www.screen.co.jp/mixa/**

大日本製造はデジタル素材集「MIXA（マイザ）イメージ・ライブラリー」の新作5タイトルを発売した。高画質画像データ（標準2,500×2,000画素）を収録し、ロイヤリティーフリーで印刷物やマルチメディア・タイトルの製作に自由に利用できる素材集で、第61巻「粋な小物 - Still Life」は楽器・ガラス容器などを中心とした小物、第62巻「光のデザイン - Light Design World」は光を反射する水晶玉やガラス管などをモチーフにした光のイメージ、第63巻「冬景色 - Japanese Winter」は日本の冬の風景、第64巻「子供と暮らし - Kids Life」は四季の暮らしの中で遊ぶ子供たちの様子、第65巻「CG・夢幻宇宙 - CG/Space Fantasy」は幻想的な宇宙のイメージをオリジナルCGで収録。
●大日本スクリーン製造（株）／03-3989-3676



### 「Shade実用3Dデータ集
### 『森シリーズ』第4集〜第6集」発売

**価格●各7,800円**
**http://www.ex-tools.co.jp/**

エクス・ツールスは「Shade実用3Dデータ集『森シリーズ』第4集〜第6集」となる「水中生物の森」「街の森1」「街の森2」を発売した。「水中生物の森」は水中や水辺の生物の3Dデータを200点以上収録。「街の森1」は各種住宅、高層ビル、学校、病院、コンビニ、ホールなど130種類以上の建築物や、建築部材、看板、住宅周辺設備など建物周辺のデータを収録。「街の森2」には、



エクステリアシーンに欠かせない針葉樹、広葉樹木、落葉、常緑樹など約200種類の樹木形状データを中心に、道路、ガードレール、歩道、各種標識など公共設備等のデータを440点以上収録。データ形式はR3シリーズShade形式、アンロック形状。ハイブリッドCD-ROM。
●エクス・ツールス（株）／092-722-4552

### 「千都フォントライブラリー
### CIDフォント」

**価格●20,000円〜459,000円（セレクト数など、パッケージによる）**
**http://www.screen.co.jp/**



大日本スクリーン製造は「千都フォントライブラリーCIDフォント」[*1]書体集3種を11月11日に発売する。千都CIDはPostScriptフォントで、CIDフォーマットの採用によりAdobe Acrobat4.0日本語版を利用してPDFファイルへの千都フォントの埋め込みが可能。これにより、Acrobat Reader4.0日本語版を用いてオープンされた千都フォントを含んだPDFファイルは、千都フォントが閲覧側になくても作成側と同じフォントとレイアウトで表示・プリントアウトでき、イメージセッタなどで高解像度で出力できる。種類は「ヒラギノ書体集」「専用かな書体集」、「ファンシー書体集」の3種で、パッケージに同梱されたキーディスクに設定されたセレクト数の範囲内で、CD-ROM内の書体の中から任意の書体が利用可能。
●大日本スクリーン製造（株）千都ホットライン／075-417-2568

### 年賀状用特選イラスト集
### 「イラスト玉手箱HGたつ」

**価格●3,980円**
**http://www.agenda.co.jp/**




アジェンダは年賀状用特選イラスト集「イラスト玉手箱HGたつ」を発売した。来年の干支の「たつ」を中心に、各種題字など年賀状作成に役立つ、高品質で美しいイラストを収録したもの。写実的なイラストからポップ調のイラストまで、あらゆるタッチのイラスト（JPEG）を200点収録しており、ビジネスからプライベートまで活用できる。
●（株）アジェンダ ユーザーサポート係／011-700-2161

*1 **CIDフォント**：米アドビシステムズ提唱のフォント形式。処理の高速化やメモリー消費の軽減を可能にするフォントで、詰め組み情報や自体の置き換え機能をフォント自体に組み込んである。

Daniel Barnet, Daniel.Barnet@unbound.com

# 部屋を掃除していたらふと出てきたすばらしい美術品。昔の人の思想っていうのはすばらしいものだなあと感動……えっ、これもコンピューターの話なの？

## ついに姿をあらわすXanadu インターネットの桃源郷となれるのか

Samuel Coleridgeの詩であるKubla Khanに歌われた中国元代の古都「上都」に出てくる桃源郷Xanadu（ザナドゥ）。こんな凝った名前がついたプロジェクトのこと、記憶に残っている方もいると思う。コンピューター史上稀有の発明家Ted Nelsonが打ちあげた未完の構想Xanaduが40年近く経った今、一部現実のものとなりそうだ。

Ted Nelsonは、カリフォルニア州モントレーで開催されたO'Reilly Open Source Conventionのとあるセッションで（会場の入りはまばらだったらしい）Xanaduのソースコードの一部を、オープンソースのコミュニティーに公開すると述べた。Linux*1などと同様の配布方法となり、無償提供によって世界中のプログラマーの支援を今後得られることになる。

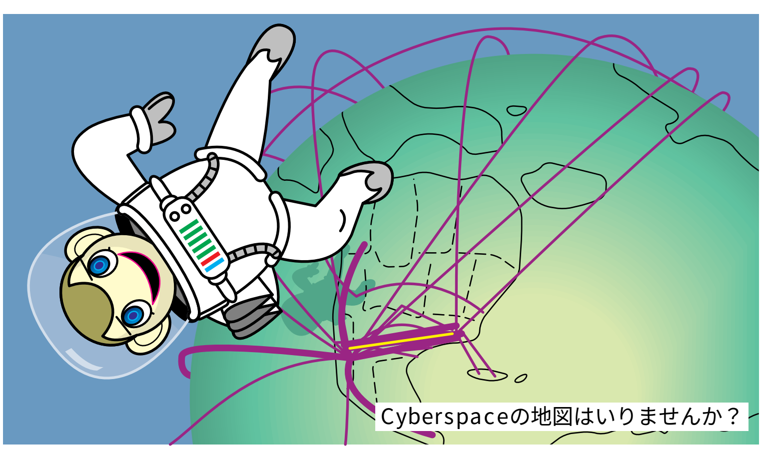
Xanaduは、一言でいうと「双方向の文書リンクシステム」ということになるだろう。概念的に今日のWWWの元になっているもので、WWWはXanaduをかなり縮小したもの、といえる。世界共通のライブラリーとしてテキストやデータが存在するという点ではWWWと等しいが、Xanaduには、パラレルテキストと呼ぶ膨大な双方向のリンク・システムと、著作権料支払いのシステムを含んでいる。ハイパーテキスト*2という言葉の生みの親はNelsonである。

Xanaduのリンクは、WWWのリンクと違って壊れることがない。ドキュメントを複数の人間がリアルタイムで編集することもできる。またリンク先のドキュメントと何が同一で何が異なるかがわかるようになっている。Xanaduではこれをリンクではなくコンディションと呼ぶ。異なる情報を、見える形で再利用していくのだ。このため元となる情報は仮想的にオリジナリティが保たれ、著作権の処理も容易だというわけ（この支払いシステムをHypercoinという）。優れた考え方だが、実際に出てきたコードがなかった。

Xanaduが具体的な形を見せない間に、Tim Berners-Leeが現在のWWWの元となるプロジェクトを開始、WWWはまたたく間に世界に広がった。その間もNelsonは、WWWの欠陥を指摘することはできても、具体的なコードは見せられずにいたのだ。

今回Nelsonがhttp://udanax.com/で公開した開発者向けのソフトウェアは、Udanax Green（Xanadu 88.1）とUdanax Gold（Xanadu 92.1）と呼び、それぞれクライアントソフト（ブラウザー）とサーバーソフトという位置付けになっている。X11オープンソースライセンス形態で配布しているが、サーバーソフトはまだすべてが公開されていない。サーバーソフトウェアは、「かなり野心的なため、歴史を知らない人たちが扱えるようにするには改良を続ける必要がある」という。

今回のオープンソフトウェア化は、Xanaduにとっては大きな一歩である。


Cyberspaceの地図はいりませんか？

## ドメインの取り合い裁判を減らす「ガイドライン」が成立

Www.apple.comといったインターネットアドレスについて「取り合い争い」が各地で起きているのはご存知だろう。基本的にアドレスは早いもの勝ちであるが、商標やブランド知名度を論拠に後から来て横取りを目指す企業が後を断たない。またその譲渡金目当てに、金になりそうなドメイン名をいくつも登録している人たち（このような土地投機のような行動をサイバースクワットと呼んでいる）も多い。現在ドメインの取り合いに関する争いが解決できない場合は、ドメイン名登録機関であるバージニア州の会社Network Solutions(NSI)がそのドメイン名を保留することになっているが、その後の争議には多くのコストがかかるため、個人など小規模な組織に不利であるとされていた。

そこでインターネットで使われている名称について監督する非営利団体であり、NSIに対抗する組織として米政府から承認を受けているICANN（Internet Corporation for Assigned Names and Numbers）が、これらの行為に対してのガイドラインを発表した。新しい規定とは、商標などの保有に関して乱用していると指摘されたすべてのドメイン名保有者は第三者による調停を受けなければならず、敗者となった場合は罰金を課せられる、というものだ。ICANNでは、どういう行為が乱用にあたるのか明確に定義されるまでは、この新しい政策は実行されないとしているが、ICANNの評議会で10月中には、サイバースクワットの狭義を決めるとしている。この調停にかかる金額は上限を設け（現在は900ドルという提示がある）、金銭的に不利な人を擁護しようとしているのも特徴だ。

この新しい規定は、ドメイン争いについて問題の解決場所をはっきりさせた点が重要で、実力を持ってきたICANNのこの新しい政策によって、ドメイン名に対する裁判は激減すると期待されている。

*1 **Linux**：フィンランドの学生だったLinux Torvaldsが作ったUNIXベースのPC用OS。米国フリー・ソフトウェア協会が推進している活動の一環としてライセンスフリーで広く配布されている。UNIXの標準的な機能を備え、DOS/V機やMacintosh用のバージョンもある。これらは、インターネットで入手でき、雑誌などで配布されている。MACLIFE10月号では、Linux for PPCを収録している。　*2 **ハイパーテキスト**：テキスト中の任意の場所に埋め込まれたリンクをたどることによって、関連情報を表示させることができる仕組み。

## 最新のCPUから豹がらのパソコンまで要注目だったIntel Developers Forum

今月もっとも米国で話題を集めたのは、カリフォルニア州パームスプリングスで開かれた「Intel Developers Forum」であろう。実に多くの注目すべき発表があった。

まずはUSB*3の次期バージョンであるUSB2の概要が発表された。当初の目標であったUSB 1.1の10～20倍（120～240Mbps）という速度を大幅に上回り、30～40倍（360～480Mbps）の転送速度を持つという。さらに従来のケーブルやコネクターを使用でき、USB 1.xと下位互換性がある（完全な互換性ではない）のが大きな特徴。細かいスペックは、10月のUSB 2.0 Developers' Conferenceで発表され、2.0に対応した最初のシステムは2000年後半に登場する見込みだ。なお、USB 2.0のプロモートグループにAppleは入っておらず、Intelを始めとしてCompaqやHewlett-Packard、Lucent Technologies（AirPortを共同開発した会社）、Microsoftなどの企業が参加している。

Intelは、Coppermineと呼ばれるPentium IIIの高機能版を発表した。当初600MHzと考えられていた同チップだが、先月お伝えしたAMDのAthlonプロセッサを上回るため、最低でも700MHzのクロックスピードで10月から出荷開始するという。技術的には、CMOS回路の線幅を0.25ミクロンから0.18ミクロンに狭め、256KBの2次キャッシュをチップ本体に組み込むことで処理速度を向上している。

また話題の64ビットCPU「Merced」を披露すると同時にサンプル出荷を開始したと発表した。すでに64ビット版のWindowsとLinuxが動作しているという。

またネットワーク関連でも大きな発表があった。その目玉と言えるのが、オープンな規格をベースにするIntel Internet Exchange(IX)Architectureに基づく新しいネットワークプロセッサIXP1200だ。主にルーターで使用され、従来の専用チップとは違って通信の負荷状況に応じて通信の流れを変更するように再プログラムできる機能を持っている。Intelでは、IXAをサポートする企業を支援するために、「Intel Communications Fund」という2億ドルの基金も設立している。

またこれまで何度もお伝えしてきた、Easy PC規格に基づく期待のiMac系（従来とは違うカタチ、という意味で）コンピューターも数多く出品された。ライムグリーンでちりとりのような形のPCや、黄色のモニターの右側に本体がちょこっとひっついたようなPC、4つに折りたためて片付けられるキーボード、あげくの果てには長いすの形をしたOttomanと呼ばれるPCも披露された。

## MS Officeがタダになる？ 引き金はSunのStarOffice

Sun Microsystemsは、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、HTMLエディターなどの機能を持つ統合ソフトをインターネットで無償にて配布開始した。これは同社が買収したドイツのStar Division社のソフトStarOfficeを無償で配布するもので、Windows 95/98/NT、OS/2、Linux、Solaris上で利用できる。ユーザーは無料でMS Officeによく似たアプリケーションを使えるようになるのだけでなく、MS Officeのファイルも開くことができる。さらにSunでは、StarOfficeのコードも無償公開しようとしている。

これに対してMicrosoftも、いくつかのインターネットプロバイダーとともに、Web上での共同作業サービスを提供する計画のあることを認めた模様。このサービスはOfficeをベースとしたもので、Officeがインターネットで提供されると大きな話題を呼んだ。

何かと仲が悪いと噂されるSunとMSだが、MSが実際に上記計画を無償で実行するかどうかは微妙だろう。またSunとしては、StarOfficeの普及によって高価なサーバーマシンが売れるようになるともくろんでいるだけで、私は今回の発表には一般のメディアが言うほど反MS色を感じていない。

## Webのトラフィックが多いのは 北アメリカとさあ、あと1つはどこでしょう

最後に、WIREDを読んでいたらおもしろいサイトを発見したので紹介しておこう。インターネットを中心とするサイバースペースの地図を集めたサイト、An Atlas Of Cyberspaces（http://www.cybergeography.org/atlas/atlas.html）。である。

このサイトは、University College LondonのMartin Dodge氏によって運営されているもので、目には見えないさまざまな「電子領土」の地図やグラフィックスを掲載している。単なる回線図もあれば、さまざまなトラフィック量をグラフにした地図、IPアドレスの分布地図、ドメインの分布、Usenetのフロー地図、海底ケーブルは通信衛星の地図などなど、ビジュアル化（視覚的表現）の苦労がしのばれるさまざまなグラフィックが見れるのだ。驚くのは、どの地図も美しいこと！ 14のページから成るが、決して退屈することはないだろう。アメリカのどの都市が一番インターネットを使っているか知りたくないかい？

## 今月の MAC BEST 10 ニュース

**No.1 Power Mac G4が出荷開始**
「スーパーコンピュータ並み」という（私にはこの表現が理解不能）G4プロセッサを積んだ新型Power Macが登場。大方の予想を裏切り、ボディ側面にG4の文字はない。

**No.2 青白G3をG4に**
Firmware Updateをして怒り心頭のアナタ。PowerLogix（http://www.powerlogix.com/）のPowerForce G4 Processor Cardを使えばG4にアップグレードできます。

**No.3 No AppleTalk in Cupertino**
US Appleの本社では、やっとネットワークがTCP/IPベースのものになったらしい。うーん、まだAppleTalk使っていたんですね。

**No.4 Communicator 4.7 for Mac登場**
この新しいバージョンでは、bug fixの他に、Shop@Netscapeツールボタンを装備、Netcenterのオンラインショッピングチャンネルに簡単に接続できる。

**No.5 IE 5は冬までお預け**
MicrosoftはInternet Explorere 5の開発が遅れていると発表、時期は確定していないが冬になることは間違いない模様。ちなみにWindows版の出荷は5月だった。

**No.6 AirportのFAQを掲載**
AppleのTILにAirport Wireless CommunicationのFAQを掲載（http://til.info.apple.com/techinfo.nsf/artnum/n58414）。「どれくらいの距離で使えるのか」など、ユーザー向けの情報が中心。

**No.7 LinuxPPC 1999 Q3が登場**
新しいMac用Linuxは、G3へのメジャーアップグレードとなるもので、セキュリティ上の重要なbug fixや、インストール方法の改善が施されている。PowerBook G3（Lombard）にもインストールできる。

**No.8 DiskLockがアップグレード**
SymantecからDiskLockを買い取ったPowerOn社が始めてのアップグレード。青白G3やリムーバブルIDEドライブに対応した。

**No.9 GraphicConverterがアップグレード**
120以上の画像フォーマットに対応していることでファンの多いGraphicConverterが3.7.1にアップグレード。Bug Fix版である。http://www.lemkesoft.com/us_gcabout.html

**No.10 SOTECその後**
日本ではe-Oneが出荷停止の仮処分になったんだって？ でもって今度はG4カラーに塗り替えたとか(笑)。裁判の行方が楽しみだ。

*3 **USB**：Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、プリンター、モデムなどの周辺機器を接続するためのシリアルインターフェイス規格。MacではiMacから採用されている。最大127台までの機器を接続できる。

V E R S I O N U P
# バージョンアップ

## ヒューリンクス カレイダグラフ3.0

ヒューリンクスは、2次元グラフソフト「カレイダグラフ3.0 Mac日本語版」の最新アップデーターをリリースした。同アップデーターでは、これまでバージョン3.09で発生していた、棒グラフを作成した際にエラーバーが正しく表示されないという不具合を解消できる。同アップデーターは、同社Webページ（http://www.hulinks.co.jp/download/regist_update.html）から無料でダウンロードできる。なお、出荷されている同製品はバージョン3.08で、同アップデーターを使用することによってバージョン3.09bに書き換えられる。

(株)ヒューリンクス
03-3590-2311
http://www.hulinks.co.jp/

## アクト・ツー MacMP3アップデーター

アクト・ツーは、MP3エンコーダー/プレーヤーソフト「MacMP3 1.0J」のアップデーターをリリースした。同製品の登録ユーザーを対象に、同社Webサイトから無料配布される。

同アップデーターでは、MacMP3エンコーダーからCDDBに接続またはデータ取得できない問題、CD-ROMドライブが接続・搭載されていない機種で起動しない問題が解消され、イコライザーの装備、CDエクストラからのエンコードのサポートなどの改良がなされている。詳しくは同製品情報の専用Webページ（http://mp3.act2.co.jp/）を参照のこと。

(株)アクト・ツー
03-3328-8431
http://www.act2.co.jp/

## エルゴソフト バージョンアップ

■すぐれ筆2000アップグレード

エルゴソフトは、宛名書き作成ソフト「すぐれ筆2000 for Macintosh」（標準価格6,200円）の登録ユーザーを対象にアップグレードサービスを行なっている。アップグレード価格は3,300円（税別）。受け付けは2000年3月末日まで。詳細は、登録ユーザーに送付されている案内か、同社Webページ（http://www.ergo.co.jp/VUP/VUPT0918_0.HTM）を参照のこと。

また、同社製品の登録ユーザーを対象とした優待販売も予定されている。優待販売価格は4,000円（税別）。詳細は同社Webページで告知の予定。

■EGWORD、EGBRIDGEアップデート

エルゴソフトは、人気の定番ワープロソフト、EGWORDのアップデーター「EGWORD9.0.2」と、日本語インプットメソッドの「EGBRIDGE」のアップデーター「EGBRIDGE10.0.5 」を発表した。同社のWebサイトからダウンロードできる。また、今月号のCD-ROM MACLIFEにも、同アップデーターを収録している。

(株)エルゴソフト
045-565-3330
http://www.ergo.co.jp/

C A M P A I G N
# キャンペーン

## ヒューリンクス キャンペーン情報

ヒューリンクスは、システムのフリーズやクラッシュなどに対処するシステムユーティリティー「コンフリクトキャッチャー8」の特別キャンペーンを実施している。同キャンペーンでは、「コンフリクトキャッチャー8」を購入して登録したユーザーに、起動時間を短縮するユーティリティー「Speed Startup」の使用ライセンス（2,500円）が無料でプレゼントされる。期間は1999年10月31日まで。

なお、Speed Startupはオンライン販売の製品で、同社Webページ（http://www.hulinks.co.jp/product/ssu/down.html）からダウンロードする。

(株)ヒューリンクス
03-3590-2311
http://www.hulinks.co.jp/

## So-net キャンペーン情報

ソニーコミュニケーションネットワークは、インターネットサービスプロバイダー「So-net」において、学生を対象にしたインターネット接続サービスを開始した。大学、大学院、各種専門学校在籍者は、「アカデミック特典」、「アカデミックコース」のサービスを利用できる。「アカデミック特典」では、So-netのインターネット接続サービスの入会金2,000円が無料になる。「アカデミックコース」は、月額基本料金1,000円、基本料金内の利用可能時間がデイタイム無制限、デイタイム以外が3時間、基本料金超過後が10円/3分となっている。同サービスを利用するには学生証の提示が必要。詳しくは、「アカデミック特典」についてはhttp://www.so-net.ne.jp/access/basic/special05.htmlを、「アカデミックコース」についてはhttp://www.so-net.ne.jp/access/basic/course06.htmlを参照のこと。

また、同プロバイダーでは各種キャンペーンを実施中。新規会員ならびに既存会員に抽選でDVDプレイヤー、CSチューナーセット、MDウォークマンなどの賞品がプレゼントされる。また、新規会員はSo-netのWebサイトの有料コンテンツを3カ月間無料で利用できる。さらに、キャンペーン期間中は新規会員と新規会員を紹介した既存会員に、ポイント制度「e-Coupon」サービスの1,000ポイントがプレゼントされる。

ソニーコミュニケーションネットワーク(株)
0570-001414
http://www.so-net.ne.jp/

## クォークジャパン キャンペーン情報

クォークジャパンは、QuarkXPressを学んでいる学生を対象に、「QuarkXPress 3.3 日本語版 for Power Mac」を特別価格で提供する「学生向け特別販売キャンペーン」を実施している。特別価格は55,000円。同キャンペーンはキャンペーン製品がなくなり次第終了する。また、キャンペーン製品は店頭販売はされていない。購入方法は、「学生用特別販売キャンペーン申込書」に必要事項を記入し、学生証または在学が証明できる書類のコピーを添えてサポートセンターまでFAXまたは郵送後、郵送される請求書に従って製品代金を入金。対象は、小学校から大学、専門学校、盲学校、

養護学校、国や地方自治体が設置した研究所や研究機関、QuarkXPressをカリキュラムに含む教育機関やトレーニングセンターなどに在籍し、購入に際して学生証や受講証、在籍証明書などの証明書類の添付が可能な学生や研究者。詳細は同社Webページを参照のこと。

クォークジャパン(株)
03-3476-9440
http://www.quark.co.jp/

## フォーサイト キャンペーン情報

フォーサイトは、ファイルメーカーProで作成されたデータベースに画像データを自動的に取り込むソフト「ImageCapture 1.0J」の価格変更にともない、同製品を特別価格で提供するキャンペーンを実施している。キャンペーン価格は、ImageCapture 1.0Jが新定価13,000円のところ9,800円、ImageCapture Pro 1.0Jが新定価38,000円のところ29,800円。

また、同社では、ファイルメーカーのWebサイト上のリンク経由で同社サイトにジャンプしたユーザーが対象製品を特別価格で購入できる、「ファイルメーカーキャンペーン」を実施している。期間は1999年10月末日までで、先着300本限り。対象製品はImageCapture、ImageCapture Pro、「ファイルMate グラフ」、「ファイルMate スケジューラ」の4製品。詳しくは同社Webページ（http://www.fsight.co.jp/campaign/index.html）を参照のこと。

(株)フォーサイト
045-224-4956（FAX）
http://www.fsight.co.jp/

## メディアヴィジョン キャンペーン情報

メディアヴィジョンは、Webバナー作成ツール「Headline Studio日本語版」をキャンペーン版として特別価格で提供する「Headline Studioサンクスキャンペーン」を実施している。価格は、製品版が19,800円（通常価格39,800円）、アカデミック1ユーザー版が13,300円（従来価格26,700円）、GoLive CyberStudio Personal Edition日本語版バンドルが20,800円（従来価格39,800円）となっている。同キャンペーン版製品には、特典としてWebページ作成用素材集CD-ROMが添付されている。

また、同キャンペーン版製品を購入したすべてのユーザーは、「Painter5.5 Web Edition」を特別優待価格25,000円（標準小売価格58,000円）で購入できる。

(株)メディアヴィジョン
03-3263-0566
http://www.mvi.co.jp/

## コダック キャンペーン情報

コダックは、デジタルカメラ「DC280JZoom」を購入し、同製品に同梱される応募ステッカーをユーザー登録カードに添付して郵送したユーザー全員に「Kodakコンパクトフラッシュカード15MB」をプレゼントするキャンペーンを実施している。期間は1999年12月31日まで。詳細は同社Webページ（http://www.kodak.co.jp/digital/dc280j/dc280_700.html）を参照のこと。

コダック(株)
03-5644-5050
http://www.kodak.co.jp/

## コギト キャンペーン情報

コギトは、MIDIシーケンスソフト「オルティナ ライトウェイト2.0」を購入したユーザーに、MIDI音源などの賞品が当たる「MacでDTMおたすけキャンペーン」を実施している。プレゼント賞品は、MIDI音源モジュール「YAMAHA MU-128」、「Roland SC-8850」、iMac、iBook。期間は2000年1月31日まで。詳しくは同社Webページを参照のこと。

(株)コギト
075-254-5147
http://www.cogito.co.jp/

## エルゴソフト キャンペーン情報

エルゴソフトは、宛名書き作成ソフト「すぐれ筆2000 for Macintosh」（標準価格6,200円）の発売を記念して、「すぐれ筆2000 トクトクキャンペーン」を実施中。同キャンペーンでは「すぐれ筆2000」に、画像、動画、音声データを管理するマルチデータ管理ソフト「フォトコレクター Ver.2.0 for Macintosh」、日本語入力プログラム「EGBRIDGE Ver.10 for Macintosh」の試用版「EGBRIDGE Ver.10 体験版」、外字作成ソフト「漢字職人 Ver.2.0 for Macintosh」の試用版「漢字職人Ver.2.0 体験版」がバンドルされるもの。キャンペーン版価格は6,200円で、20,000本の限定販売。

(株)エルゴソフト
045-565-3330
http://www.ergo.co.jp/

Announcement
# お知らせ

## 亘香通商 Mathematica4.0

■Mathematica Professional 4.0

高等数学をはじめ、あらゆる分野の応用に使える汎用ソフトウェアシステム、「Mathematica Professional 4.0 日本語版」がリリースされた。同バージョンでは、膨大な量の数データを処理する際の効率の向上、新たなアルゴリズム、言語、インタラクティブ機能などの搭載、数値計算の速度向上、データの直接のインポート/エキスポート、グラフィックスやサウンドファイルのフォーマット、HTMLとTeXの出力能力の向上、データと信号処理に関するサポートの向上、特定の代数領域での計算サポートなどの改良がなされている。価格は358,000円。同バージョンへのアップデートサービスの受付期間は1999年12月末日同社必着分まで。アップデート料金は83,000円。

■Mathematica日本語キット

Mathematicaのインターフェイスとドキュメントを日本語で使えるようにする、Mathematicaシステムのアドオン「Mathematica日本語キット」がリリースされた。価格は40,000円。同バージョンでは、すべてのレベルで日本語メニューが使用可能になっている。なお、同製品はMathematica Professional 4.0でのみ使用可能。同バージョンへのアップデートサービスの受付期間は1999年12月末日同社必着分まで。アップデート料金は40,000円。

亘香通商(株)

045-320-2711
http://www.senko-corp.co.jp/

### A＆Pコーディネータージャパン gu-mantan WEB

エーアンドピーコーディネータージャパンは、同社が運営する「gu-mantan WEB」（http://www.mantan.ne.jp/）で、写真やイラストなどのデジタル素材コンテンツをエレクトリックコマース形態で提供するサービスを行なっている。同サービスは会員制で、年間利用料金9,000円で好きなデジタル素材を自由にダウンロードできる個人向けサービス、年会費12,000円と素材1点ごとのダウンロード料金を従量課金するデザイナー/SOHO向けサービス、企業内使用向けとして複数パスワード/IDのライセンスを行なう法人向けサービスの3種類が用意されている。約70,000点の写真素材やクリップアートがデータベース化されており、キーワードを入力して欲しい素材を検索する機能をWebブラウザーから利用できる。素材点数は随時追加され、今年末には20万点まで拡張する予定とのこと。

エーアンドピーコーディネータージャパン(株)
03-5798-0210
http://www.apjapan.co.jp/

### ジャストシステム 医療機関向けサービス

ジャストシステムは、同社が運営するインターネット情報サービス「JustNet」（http://www.justnet.ne.jp/）において、医療機関を対象としたインターネットサービス「ドクターパック」（http://www.doctors.ne.jp）を実施している。同サービスでは、医療機関に特化したホームページ作成ツール、ドメイン取得代行などを提供する。インターネットに不得手なユーザーでも簡単にホームページを作成でき、医院の診察内容・診療時間・医療所所在地、医療情報などを告知することが可能。また、「ドクタードメイン」や独自ドメインを取得することもできる。ユーザーの医院を検索エンジン「ドクターナビ」（http://www.dental-clinic.com/sos/）内の「ドクターサーチ」にも自動的に登録できる予定。料金は、「ドクタードメイン」では初期費用10,000円、月額費用10,000円、利用可能サーバー容量50MB、追加10アドレス1,000円、独自ドメインでは初期費用30,000円、月額費用20,000円、利用可能サーバー容量50MB、追加10アドレス1,000円などとなっている。

また、プラザクリエイトとの提携により、ネガフィルムの病院外観や手書き地図をデジタル画像に変換するサービスも提供する。これにより、デジタルカメラやレタッチソフトなどを所有していないユーザーでもホームページを簡単に作成することが可能。

JustNetインフォメーションデスク
03-5412-2606

### イメージアンドメジャーメント Media100シリーズ値下げ

イメージアンドメジャーメントは、ノンリニアビデオ編集システム「Media100」シリーズの全モデルの価格改定を行なった。また、同シリーズの商品ラインナップおよびオプション構成が変更されたほか、Media100にリアルタイムエフェクトオプションが追加、ハイエンドモデルのXRとV80にDVとSDIインターフェイスが標準装備されるなどの改良がなされている。価格は「Media100 leDV」が1,600,000円から540,000円、「Media100 xeDV」が2,760,000円から1,885,000円などと値下げされている。詳細は同社Webページを参照のこと。

(株)イメージアンドメジャーメント
デジタルビデオグループ
03-3365-3641
http://www.imi-jp.com/

### デジタルオリジン アップグレード新価格

デジタルオリジンは、同社のDV製品のアップグレード新価格を発表した。アップグレードでは、対応デジタルビデオカメラおよびデッキ（メディアコンバーターを含む）の充実、Mac OS 8.6への対応、レンダリングスピードの高速化を実現している。各製品のアップグレード価格は、EditDV1.5Jが24,800円、PhotoDV1.4Jが5,800円、MotoDV1.4Jが7,200円、MotoDV1.4J＋PhotoDV1.4Jが13,000円となっている。アップグレードの申し込み方法については、デジタルオリジン日本代表Webサイト（http://www.digital-origin.co.jp）を参照のこと。

デジタルオリジン　マーケティング
日本代表
03-5575-5891
http://www.digital-origin.co.jp

### PSI-Japan ドメイン登録

国際調達情報（PSI-Japan）は、ドメインネーム管理システムでの日本における第一次登録業者としての業務を開始した。これまでNetwork Solution Inc.が独占的に行なってきた登録業務を実施する。これにより、日本国内からは英語による受け付け窓口しか用意されていなかった「.com」「.net」「.org」のドメインネームの登録を、登録代行業者を通すことなく日本語で行なうことができる。また、管理・技術サポートも日本語で行なわれ、日本円での支払いが可能になる。登録費用も年間契約（2年間）で、たとえば日本円なら月額にすると400円以下、USドルでは月額3ドル以下となり、電話の1カ月分の基本料金より安くなる。登録は、同社の専用Webサイト（http://domains.ne.jp［日本語］、http://www.psi-domains.com/Register［英語］）で受け付けている。

(株)国際調達情報
03-3234-6915（FAX）
http://www.psi-japan.co.jp/

### LIGHT YEARS PRO デジタルCGイベント開催

LIGHT YEARS PROは、ハイクオリティーなCG作家がエンターテインメントをコンセプトに映像空間を創造する、デジタルアニメーションイベント「carnival — digital graphics＆animation」を開催する。日時は1999年10月31日、場所は東京ビッグサイト会議棟6階。入場料は1,200円。

同イベントでは、デジタルファッションショーやバーチャルバンドなど、立体的な映像世界を体感できる映像ミュージアムや、参加作家の未発表作品の上映、参加作家のトークショー・セミナー、一般公募作品の上映などが行なわれる。

LIGHT YEARS PRO
03-5367-6618
http://www.jade.dti.ne.jp/~cnvl

### インプレス impress Search

インプレスは、同社が運営するインターネット情報ニュースサービス「impress Watch」（http://www.watch.impress.co.jp/）の全コンテンツを検索できる検索ページ「impress Search」（http://www.search.watch.impress.co.jp/）を

## MAC CALENDARイベント開催案内

| | 展示会名 | 開催場所 | 問い合わせ | |
|---|---|---|---|---|
| 10／13(水)――10／16(日) | メカトロテック・ジャパン99 | ポートメッセなごや | ニュースダイジェスト社 | 052-732-2455 |
| 10／17(日)――10／22(金) | 第15回デジタルプリンティング会議 | IS&T（オーランド） | The Sociey for Imaging Science& Tech | 703-642-9090 |
| 10／20(水)――10／22(金) | データベース'99　TOKYO | 東京国際フォーラム | 日本経済新聞社　事業局総合事業部 | 03-5255-2847 |
| 10／26(火)――10／29(金) | システム コントロール フェア '99 | 東京ビッグサイト | 日本電機工業会 | 03-3581-4842 |
| 10／26(火)――10／29(金) | '99国際ロボット展 | 東京ビッグサイト | 日刊工業新聞社 | 03-3222-7239 |
| 11／2(火)――11／5(金) | COM JAPAN 1999 | 東京ビッグサイト | 日本電子工業振興協会 | 03-3433-4547 |
| 11／9(火)――11／12(金) | COMDEX Japan '99 | 幕張メッセ | ソフトバンクフォーラム | 03-5642-8433 |
| 11／9(火)――11／12(金) | Enterprise Solutions Tokyo '99 | 幕張メッセ | ソフトバンクフォーラム | 03-5642-8433 |
| 11／9(火)――11／12(金) | SEYBOLD Seminars Tokyo/Publishing '99 | 幕張メッセ | ソフトバンクフォーラム | 03-5642-8433 |
| 11／9(火)――11／12(金) | OBJECT WORLDJapan '99 | 幕張メッセ | ソフトバンクフォーラム | 03-5642-8433 |
| 11／10(水)――11／12(金) | Windows NT INTRANET Solutions Tokyo '99 | 幕張メッセ | ソフトバンクフォーラム | 03-5642-8433 |
| 11／10(水)――11／12(金) | MST '99 | 東京ビッグサイト | 日本システムハウス協会 | 03-3668-3151 |
| 11／15(月)――11／17(水) | コンピュータセキュリティ会議・展示会 | Chicago Hilton & Towers | Miller Freeman.Inc | 415-905-2200 |
| 11／15(月)――11／19(金) | COMDEX／Fall '99 | Las Vegas Convention Center | ZD EVENTS | 781-433-1500 |
| 11／15(月)――11／19(金) | Linux Bussiness EXPO | Las Vegas Convention Center | ZD EVENTS | 781-433-1500 |
| 11／16(火)――11／19(金) | INCHEM TOKYO 99 | 東京ビッグサイト | 日本能率協会　産業振興本部 | 03-3434-1391 |
| 11／17(水)――11／19(金) | 国際放送機器展 | 幕張メッセ | 日本エレクトロニクスショー協会 | 03-5402-7601 |

運営開始した。同ページはimpress Watchの最新記事からバックナンバーまで、Webページに掲載されているすべてのコンテンツを検索できる。

(株)インプレス
03-5275-9270
http://www.impress.co.jp/

### アドビシステムズ 製品リニューアル

アドビシステムズは、同社のパブリッシングソフトウェア4製品をパッケージにした「Adobe Publishing Collection」をリニューアルして発売している。同製品は、Adobe Acrobat4.0日本語版、Adobe Photoshop5.5日本語版、Adobe Illustrator8.0日本語版、Adobe PageMaker6.5 Plus日本語版が含まれる。価格はオープンプライスで、市場予想価格は19万円前後。

アドビシステムズ(株)
03-5350-0407
http://www.adobe.co.jp/

### アジアサーブテクノロジー 外字コンバートサービス

アジアサーブテクノロジージャパンは、DynaFont Gaiji Editor for Macintoshで作成したDynaLab TrueTypeフォントの外字をPostScriptフォントにコンバートするサービスを行なっている。料金は1契約につき198,000円。サービス対象となるフォントは、DynaFontプレミアム54書体パック PS-Printer版、DynaFontプレミアムセレクト10 PS-Printer版、DynaFont Type Museum PSI100、DynaFont Type Museum PSL100。詳しくは同社Webページ（http://www.asiaserve.co.jp/gaiji-service/）を参照のこと。

アジアサーブテクノロジー(株)
03-3224-3182

### インフォマニア たまごネット倶楽部

インフォマニアは、インターネット接続サービスと生命共済・収入共済を合体させた会員制サービス「たまごネット倶楽部」を実施している。同サービスは、毎月3,200円の会費で、24時間無制限のインターネット接続、病気死亡時に400万円が支払われる生命共済、健康や保険に関する無料相談の3つのサービスを会員に提供するもの。共済は、コロンブス倶楽部の「コロンブスSOHO共済」を再販する形で提供され、病気やケガで死亡したり高度障害となったときに保障金が支払われる生命共済のほか、病気やけがで7日以上働くことができなくなった場合に、掛け金に応じて1カ月当たり10～30万円の保障が得られる収入共済がある。

(株)インフォマニア
045-989-1550
http://www.tamago.ne.jp/

### KCEO 実況パワフルプロ野球

コナミコンピュータエンタテインメント大阪は、「実況パワフルプロ野球ホームラン競争」を開催している。同社の商品であるコンシューマーゲームソフト「実況パワフルプロ野球」シリーズの「ホームラン競争」をShockwave版にしてホームページ上で配布し、成績をホームページ上で公開するもの。詳しくは同社Webページ（http://www.kceo.co.jp/homerun/index.html）を参照のこと。

(株)コナミコンピュータエンタテインメント大阪
kceo@kansai.toppan.co.jp

# iBookデモ展示販売店最新情報
## (9月14日現在　58店舗)

いよいよ日本でも発売になったiBook。まずは実際に自分の目で確かめたいという人は、以下の店へ急ごう。iBookはiMac発売時と同様に、今までMacを取り扱っていたショップすべてに置いてあるわけではない。今後、取扱店は随時増えて行くはずなので、近くに店がない人はそれまで待とう。

**北海道**

**●九十九電機　DEPOツクモ2番街店**
北海道札幌市中央区南2条西1-5
011-242-3199

**●OAシステムプラザ釧路店**
北海道釧路郡釧路町睦1-1-4
0154-38-7150

**●OAシステムプラザ函館店**
北海道上磯郡上磯町七重浜7-10-10
0138-48-6770

**岩手県**

**●OAシステムプラザ盛岡店**
岩手県盛岡市西仙北1-19-1
019-635-2331

**秋田県**

**●Mac GARAGE**
秋田県秋田市中通5-5-30
0188-32-8803

**山形県**

**●OAシステムプラザ山形店**
山形県山形市五十鈴1-1-5
0236-25-5088

**宮城県**

**●ラオックス仙台店**
宮城県仙台市宮城野区榴岡2-1-25
022-292-2211

**●ディーアイエス情報機器販売
パソコンの館　仙台店**
宮城県仙台市泉区泉中央1-2-3
022-218-0271

**神奈川県**

**●ソフマップGIGA STORE横浜店**
神奈川県横浜市西区南幸2-15-13
横浜ビブレ7F
045-323-8030

**●コンプマート藤沢**
神奈川県藤沢市辻堂新町2-4-1
0466-30-1821

**千葉県**

**●ダイエーメディアソリューションズ
メディアバレー千葉**
千葉県千葉市中央区中央3-2-9
043-224-9700

**●コンプマート柏**
千葉県柏市十余二249
0471-41-0371

**埼玉県**

**●ソフマップGIGA STORE大宮店**
埼玉県大宮市桜木町2-1
大宮西武ビルアルシェ1F
048-648-2011

**●コンプマート大宮**
埼玉県大宮市南中丸263-1
048-680-4701

**●CSK・エレクトロニクス　T・ZONE所沢店**
埼玉県所沢市大字牛沼字北山327
0429-94-2800

**茨城県**

**●カスミ家電DIGIX WONDER東海店**
茨城県那珂郡東海村舟石川749
029-287-0370

**栃木県**

**●コジマ　MACCENTER**
栃木県宇都宮市星が丘2-1-8
0286-25-9013

**群馬県**

**●ヤマダ電機テックランド高崎Mac館**
群馬県高崎市飯塚町440-3
0273-63-6366

**山梨県**

**●ノジマMac駅甲府向町バイパス店**
山梨県甲府市向町上反田75-1
0552-21-0131

**東京都**

**●ラオックス ザ・コンピュータMAC館**
東京都千代田区外神田1-8-8
03-3251-4811

**●石丸電気本店**
東京都千代田区外神田1-9-14
03-3255-1500

**●ソフマップ秋葉原2号店 Mac Collection**
東京都千代田区外神田1-15-2
ミオスビル
03-5256-2927

**●イケシヨップ本店**
東京都千代田区外神田4-2-6
03-3251-4722

**●CSK・エレクトロニクス　T・ZONE本店**
東京都千代田区外神田4-3-3
03-3526-7711

**●島村楽器　新宿ＰｅＰｅ店**
東京都新宿区歌舞伎町1-30-1
西武新宿ペペ5F
03-3207-7770

**●さくらや パソコン・OA館**
東京都新宿区新宿3-19-2
03-5269-3030

**●ヨドバシカメラ新宿西口本店
(OAマルチメディア館)**
東京都新宿区西新宿1-11-1
03-3346-1010

**●ソフマップ新宿3号店 Mac Collection**
東京都新宿区西新宿1-18-6
西新宿ユニオンビル
03-3344-5833

**●CSK・エレクトロニクス　T・ZONE渋谷店**
東京都渋谷区宇田川町24-1
高木ビルディング 6,7F
03-5457-1255

**●ビックパソコン館池袋本店**
東京都豊島区東池袋1-6-7
03-5956-1111

**●さくらや池袋東口店**
東京都豊島区南池袋1-22-5
03-3590-3535

**●murauchi.co.jp 八王子本店コンピュータ館**
東京都八王子市大和田町5-1-21
0426-42-6211

**●ダイエーメディアソリューションズ
メディアバレー町田**
東京都町田市原町田3-2-8
042-721-2021

**●ノジマ　マックステーション**
東京都町田市鶴間537-4
042-799-5445

**●ノジマ　Mac駅小平店**
東京都小平市小川町2-2062-1
042-343-5401

**石川県**

**●ディーアイエス情報機器販売
パソコンの館　金沢店**
石川県金沢市若宮1-17
0762-64-2890

**静岡県**

**●コンプマート浜松店**
静岡県浜松市鍛冶町321-5
053-450-3111

**愛知県**

**●コンプマート大須マルチメディアランド**
愛知県名古屋市中区大須3-10-19
052-252-0181

**●OAシステムプラザ大須店**
愛知県名古屋市中区大須3-11-19
OAビル
052-265-1650

**●グッドウィル「情報百貨店」
Apple Park**
愛知県名古屋市中区大須3-11-34
052-238-1330

**●エイデン　Mac Mart 名古屋**
愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-2
052-589-9111

**京都府**

**●上新電機　J&P京都寺町店Apple館**
京都府京都市下京区寺町通仏光寺下ル
恵美須之町524
075-341-4511

**滋賀県**

**●キットカット**
滋賀県大津市中央4-8-22
0775-27-1133

**大阪府**

**●ソフマップ大阪8号店
Mac Collection2**
大阪府大阪市浪速区日本橋4-8-10
06-6634-8874

**●ニノミヤPC X town Mac館**
大阪府大阪市浪速区日本橋4-9-14
06-6632-2031

**兵庫県**

**●ニノミヤPC X town神戸Mac館**
兵庫県神戸市中央区三宮町1-3-3
小林ビル1F,2F
078-322-2038

**●星電社　PC-PORT三宮**
兵庫県神戸市中央区三宮町1-5-8
せいでん三宮本店北館6F
078-391-8171

**岡山県**

**●デオデオ　COM CITY岡山**
岡山県岡山市中山下1-8-15
086-232-6511

**●ニノミヤ岡山本店**
岡山県岡山市西古松西町7-16
086-245-2038

**広島県**

**●CSK・エレクトロニクス
T・ZONE広島そごうパソコン館**
広島県広島市中区大手町2-2-1
そごうパソコン館
082-244-9533

**●デオデオCOM CITY**
広島県広島市中区紙屋町2-2-21
082-248-4343

**香川県**

**●デオデオゆめタウン高松店**
香川県高松市上天神町字高田362-1
0878-69-7711

**高知県**

**●エレクトリックパーツ高知**
高知県高知市南御座48-8
088-884-0686

**福岡県**

**●大塚商会　αランド福岡**
福岡県福岡市博多区祇園町2-1
住友生命博多祇園ビル1F
092-262-5658

**●ベスト電器　コンピュータウン博多**
福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1
092-432-3255

**●ベスト電器　コンピュータウン福岡**
福岡県福岡市中央区天神1-9-1
092-752-0001

**熊本県**

**●ベスト電器　コンピュータウン熊本**
熊本県熊本市下通1-9-4
096-322-4180

**沖縄県**

**●OAシステムプラザ沖縄店**
沖縄県中頭郡北谷町北谷2-15-3
098-926-0055

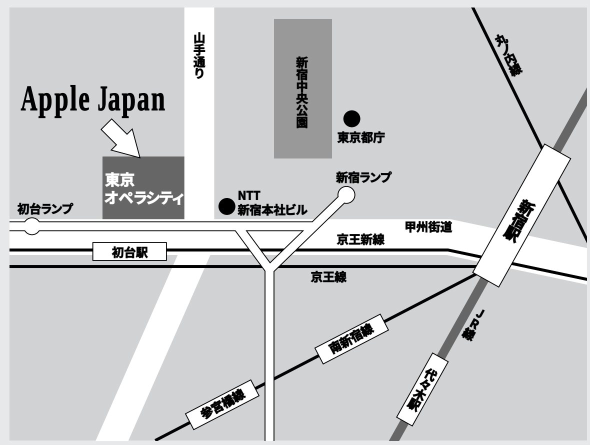
## セミナー開催のお知らせ

参加費
無料！

# インテリアデザイン入門「IDへの道」

本誌連載「IDへの道」を担当されている、イガラシデザインスタジオ主宰の五十嵐久枝 さんが、
連載を踏まえて、Macによる新しいインテリアデザインのかたちをレクチャー。
ほかに、エーアンドエー社員によるCADソフト「VectorWorks」「RenderWorks」を使っての
インテリアデザイン活用法などを御紹介致します。
この機会に是非、ふるってご参加いただき、最先端のインテリアデザイン現場事情を体験してください。

## 平成11年11月12日（金）
## アップルセミナールーム（新宿・初台）




| | |
|---|---|
| **テーマ** | インテリアデザイン入門「IDへの道」 |
| **開催日時** | 平成11年11月12日（金）午後1時～5時<br>（受付開始12時30分～） |
| **開催会場** | アップルセミナールーム（新宿・初台） |
| **募集人数** | 80名 |
| **参加費** | 無料 |
| **主催** | ビー・エヌ・エヌ |
| **協賛** | Too、エーアンドエー |
| **協力** | エクシードプレス 、アップルコンピュータ |

### 参加お申し込み方法

**必要事項：参加者氏名／会社名／部署名／電話番号／メールアドレス**

**●E-mailでのお申し込み**
下記アドレスへ必要事項を明記の上、送信ください。
送信先：amano@aanda.co.jp
＊メールにて「参加証」を返信致します。当日はお手数ですが、プリントアウトして御持参ください。

**●FAXでのお申し込み**
下記FAX番号へ必要事項を明記の上、送信ください。
FAX：03-5285-2350　担当：天野
＊FAXにて「参加証」を返信致します。当日、御持参ください。

**注：必要事項の記入漏れがないようお願い致します。また、FAXお申し込みの方で、メールアドレスをお持ちの方は御記入ください。**

### プログラム

| | |
|---|---|
| 13:00～14:00 | 講演<br>**インテリアデザイン入門「IDへの道」**<br>五十嵐久枝 氏　インテリアデザイナー |
| 14:00～14:30 | **質疑応答** |
| 14:30～14:45 | ——休憩—— |
| 14:45～15:45 | 講座1<br>**「インテリアデザインのための VectorWorks／RenderWorks 活用法」**<br>——VectorWorks／RenderWorksを使った「家具の作成」と「プレゼンテーションテクニック」——<br>天野　善夫 氏　エーアンドエー株式会社 市場部セミナーグループ VectorWorksエバンジェリスト |
| 15:45～16:30 | 講座2<br>**「インテリアデザイナーのための最新情報」（仮題）**<br>講師未定 |
| 16:30～ 17:00 | **五十嵐先生の作品の紹介**<br>**Power Macintosh G4、iMac、VectorWorksの紹介** |

米陸軍のWebサイトで使用されるサーバーシステムが、Windows NTベースのものからMac OS＋WebStarによるものへと変更になったそうだ（ArmyLinkによる元情報は、http://www.dtic.mil/armylink/news/Sep1999/a19990901hacker.html）。その理由は、一連のクラッカーの攻撃からサイトを守り、よりセキュリティの高い運営を可能にするためである。Mac OS＋WebStarによるWebサイトの割合はインターネット全体の0.9%にも満たない（それでも6万サイトを越える）ものの、安全性では22%のシェアを持つWindows NTサーバーを遥かに上回り、ほぼ鉄壁の守りだ。この措置はWindows NTの安全性が確認されるまでの暫定措置としているが、果たして元に戻ることはあるのだろうか（戻す必要があるか、というべきか）。

*Pen Duo宣言*

## 再び幻のAppleプロト

先月のApple Interactive Television Boxに続いて、プロトタイプづいているが、今回はさる知人から送られてきたペンベースMacのイメージをお届けしよう（図1）。

この実物は僕もかつてWWDCで見たことがあるのだが、5、6年前にペンベースコンピューティングが騒がれていた頃に作られたもので、PowerBook Duo（おそらく230）を基にして作られたペンコンピューターである。

基本的な構造は、見てのとおり、Duoの液晶ディスプレイ部を表裏逆に取り付けたような感じであり、当然トラックボールやクリックボタンは省かれており、ボタンがあったスペースはスピーカーカバーとなっている。

当時はGO社のPenPointなどのペンベースOSが注目されており、MicrosoftはWindows for Pen Computingと称するペンコンピューター用のWindowsのバリエーションをさかんに喧伝していた。

その流れをApple社も無視できずにこうしたプロトタイプを開発していたわけだが、その割には慎重であり、ペンベースMacにマウス操作を前提としたインターフェイスを持つMac OSをそのまま載せてもユーザーエクスペリエンスを悪化させるだけ（それはまさにWindows for Pen Computingのやり方だった）であると考えていた。

それは結局のところNewton技術へとつながっていったのだろう。最終的にペンベースのDuoはプロトタイプのまま消えていった。

社内的にはNewtonの開発チームとMac部門は互いに反目し合っていたところもあったので、このWWDCにおけるペンベースDuoのプロトタイプのお披露目は、Macチームによる牽制の意味がこめられていたのかもしれない。今となっては、どちらも歴史の1ページとなってしまったわけだが…。



1●さる知人から送られてきたペンベースDUOのプロトタイプのイメージ（液晶部分は視野角の関係で反転表示に見える）。ビデオ画像なので画質はさほどよくないが、トラックボールボタンだった部分にスピーカーが埋め込まれていることなどがわかる

特別企画欧州紀行パート2

## 通信するなと言われても…

さて、今回は再びヨーロッパの情報環境の（一端の）話をしよう。9月号のときには、妻の学会出席に同行してフランスとスペインに行ったわけだが、少し間をおいて今度は妻の友人（アメリカ人）がドイツ人の新郎とドイツ本国で結婚式を挙げることになり、僕たち自身もビザを更新する必要があってオランダ周りで現地に向かったのである。

しかし、その前に、パート1で書ききれなかったフランスでのエピソードを書いておきたい。それはモンパルナスとエッフェル塔の中程に位置するプチホテルでの出来事だった。

欧州行きということで、もちろん僕は旅行先の国々での通信用のジャック類を通販で手配していたのだが、運悪く出発日までにフランス向けの電話ジャック変換アダプターが届かなかったのがことの始まりだ。ホテルにチェックインして一休みすると、僕はアダプターを調達しようと街に繰り出した。

その際にフロントマンにワケを話して、アダプターがありそうな電気店はないかと訊くと、近くにコンピューターに強そうな電気屋があるという。ところが、ショップというよりは工房的なその店に行ってみると、残念ながら変換アダプターは扱っておらず、僕は他の店を探して表通りをあてもなく歩き始めた。

すると、数ブロック歩いたところにフランステレコムの営業所があるではないか。ここなら何とかなりそうだということで中に入り、待つことしばし。スタッフの手が空いたところで「ボンジュール」と声をかける。

うっかりフランス語で挨拶す

大谷和利の

# PowerBook Diary

**再び幻のペンベースDuo写真公開、フランスのプチホテル通信顛末、オランダの街角インターネット事情と街規模のアートイベントの話題など**

ると言葉に堪能だと思われ、そのまま相手にフランス語で会話を始められてしまうのだが、そこは礼儀と心意気（？）。すぐに英語で用件を切り出すと、若いアジア系の男性が応対してくれた（フランスでも案外英語でことが足りるものなのだ）。

実は待っている間に、いかにも使えそうなケーブル（一端がフランス式ジャックでもう一端がモジュラージャック）が壁際の商品陳列棚に並んでいるのが目に入っていた。そこで事情を話して「あれは使えるか？」と訊いたところ、彼は「前にアメリカ人の旅行者がが買っていったが、使いものにならないと返品された」と答え、机の引き出しから袋の開いたケーブルを取り出して見せた（待っていたかようなタイミングのよさだ）。

彼は続けて、「変換アダプターは扱っていないので、フランス仕様のモデムを買うのが一番だ。確実につながるぞ」という（そりゃ、そうだが…）。そして、奥からモデムパッケージを持ってくると構わずにパッケージのセロファンを破って、製品内容の説明に入った（こういうセールス手法なのか？）。Mac用のシリアルケーブル付きのパッケージが用意されている点には感心したが、もちろん、わざわざ外付けモデムなど買う気はない。

ところが、よく見るとモデム自体はアメリカでも売っているブランドで、ライン側のジャックに差し込むケーブルがフランス仕様になっているだけということに気が付いた。つまり、そのケーブルだけあれば、PowerBookはフランスの電話回線につながるはずなのだ。

ダメもとで「そのケーブルだけ売ってくれないか？」と訊いたが、やはり「それはできない」という返事。じゃあ、ということで「ともかく棚にあるケーブルを売って欲しい」と頼んでみた。彼は「使えないことがわかっている品物を売るわけにはいかない」と渋ったが、僕としてもここで引き下がるわけにはいかない。ケーブル内部の線は４本しかなく、その内の２本さえ正しくつなぎ変えれば通信は可能なことを説明して「何があっても返品しないから…」とダメを押した。

と、意外なことが起こった。「これを持って行け。タダで構わないから」とさっきの袋の開いたケーブルを手渡すのである。相手が素人ではないと知って諦めたのか、これ以上は時間の無駄と思ったのか、あるいはそこまで言う旅行者を哀れんだのか、そのあたりはわからないが、とりあえず僕は丁寧に礼をいうとホテルに戻ったのだった。

ところが、ホテルのフロントデスクを通りかかったとき、さっきは親切に相談に乗ってくれたフロントマンが厳しい口調でこう言った。「通信はしないで欲しい。ついでにコンピューターも使ってはダメだ」。

僕が外にいる間に、彼は同僚か上司にこの話をして、要らぬ知恵を吹き込まれたのか、急に「前にアメリカ人がコンピューターを使ったとき、ホテル全館が停電して大変な目にあった。だから…」と言い出したのだ。

もしかしたら、このケーブルを返品した張本人かと思ったものの、通信の失敗による停電など聞いたこともない。おおかた電圧関係（フランスは220V）かコンセント形状のトラブルで、変にそのあたりをいじってショートでもしたのだろう。

僕は一応「OK」と答えたが、もちろん通信とPowerBookでの作業をやめる気はなかったし、内部配線をつなぎかえたケーブルは見事にその役目を果たしてくれた。その見返りとして、空路での移動中にたまった数十通の電子メールの処理が、次の難題として控えていたのだが。

## 建築的モニターデザイン

ということで、話はドイツのフランクフルト空港に飛ぶ。飛行機の乗り換え待ち時間というのは、結構退屈なものだが、僕はそんなときに各航空会社のカウンターにあるコンピューターを見て回ることにしている。アメリカ国内だとどこも似たようなグリーンディスプレイで面白くも何ともないが、ヨーロッパは同じDOSやWindowsマシンでもバラエティに富んでいて興味深い。

今回の白眉は、Lufthansa航空が使っていたSiemens社のScenicシリーズ（http://www.siemens.com/pc/business/index_d.htm）のCRTで、ちょっと古いモダンデザインという感じだが、後方からの眺めにも気を使ってなかなかの美しさを見せていた（図2、3）。

## Ｙ２Ｋの足音

同じく空港での時間潰しを兼ねて目を通していた新聞には、2000年問題絡みで興味深い話題が2つ載っていた。

1つは、「2000年バグ」に引っかけた「Y2K Bug」のナンバープレートを持つVWビートルの写真（図4）。もう1つは、以前にも紹介したことがあるFreePlay社のゼンマイラジオ（とゼンマイライト。図5）の注文が増


Auf dem Weg ins Jahr 2000
SEITE 16
UNTERNEHMEN UND MÄRKTE

4●ルフトハンザ航空は、待合いに米・独の主要な新聞を大量に置いている。その見出しの1つが、この"Y2K BUG"のプレートを付けたバグ（旧型ビートル）だったのでページを開いてみると、これは単なるアイキャッチで、中身は真面目な「2000年問題」の記事だった


2●フランクフルトの空港で見かけたドイツSiemens社のScenicシリーズコンピューターのモニター。Scenicシリーズはむろんwindowsマシンだが、なかなかよいデザインをしている


3●Scenicシリーズモニターの後ろ姿。CRTのチューブ形状をそのまま活かして後半部を絞り込み、電源や回路などを両側から挟むように配置していることがわかる側面のパターンが特異で、モダンとポストモダンの中間的デザインという感じ


Y2K supply sales gain momentum
Power sources, food, water purifiers being snatched up

5●こちらは同じ待合いにあった"USA TODAY"紙の「2000年問題」記事。だいぶ以前にこのコーナーでも紹介したことのあるFreePlay社のゼンマイラジオなどが売れゆきを伸ばしている、とある。無骨だったFreePlayラジオやライトも、最近ではトランスルーセントカラーを採り入れている

えているという話題である。

特に、僕の記憶ではFreePlay社の製品はiMac登場後にカラーがトランスルーセントとなり、その巧妙なハイテクゼンマイのメカニズムが目に見えるようになって、一層楽しい製品へと変身した。元々はアフリカにおけるAIDS予防知識の普及のツールとして開発されたものが、こうしてまったく別の角度から脚光を浴びるのだから、世の中わからないものだ。

## 街角インターネット端末

オランダのアムステルダムには、ビザの更新が速やかに行なえそうだとの理由で立ち寄ったのだが、とても美しい都市で妻共々大変気に入ってしまった。

情報環境という点で驚かされたのは、街角やミュージアムに洒落たデザインのインターネット端末（図6）が設置され、公衆電話感覚で利用できることだった。これは、アムステルダムが大阪だとすれば京都にあたるユトレヒトの街でも同様（図7〜12）で、さすがに多くのハッカーやメディア・アクティビストを生み出す国だけのことはあると感心した。

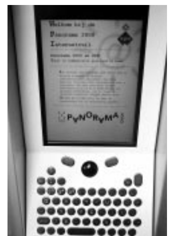
## 古都の一大アートイベント

そのユトレヒトでは折しも街を挙げての一大アートイベント”PANORAMA 2000”（図13〜15）が開催中だった。その古い街並みに対して、あえてミスマッチとも思える巨大彫刻や写真作品を配置した企画力や実行力もさることながら、街の中心にある塔から眺めさせることで仮想的な美術館を現出させるというアイデアは脱帽ものだった。

中でも僕が気に入った「実用的」作品は、クルマごと乗り込める観覧車（残念ながら訪れた日には動いて居らず、写真もない）であり、すぐに各国の大都市に導入して人気を呼びそうなコンセプトが光っていた。

## 独・蘭、公衆電話巡り

ついでに、と言っては何だが、ここでドイツとオランダで見かけた公衆電話・端末の類を一同に集めてみよう（図16〜21）。実に多彩で電話ボックスに至るまで個性に満ちていることがわかる。先のインターネット端末を含めて、日本の街角もこのようにバラエティに富んでいると、風景が一層楽しくなるのだが…。



10●僕も順番を待って、この街角インターネット端末でアクセスしてみた。縦長の画面で見るWebページは結構新鮮。一応液晶画面はカラー（DSTNと思われる）で、バックライトもついて視認性はかなり高い。端末の価格もそれなりにするはずだ



11●PANORAMA 2000のサイトはオランダ語表示か、英語表示かを選択可能になっていた。画面下のトラックボールでポインタを移動し、その斜め上両側にあるボタンがマウスクリックの代わりとなる。それ自体の操作性は悪くないが、背の高さによってはキーボードは打ちにくい



12●ブラウザーソフトは専用のものが搭載されているようだ。もっとも、PANORAMA 2000の画面ではインターフェイス要素がWebページデザインに含まれているので関係がない。速度的にもISDN程度は確保されているように思えた。こういうものが街角にあれば、確かに便利である



13●切符売り場の窓に貼られたPANORAMA 2000のカタログ。街全体が巨大アートの分散型展示場と化しているので、全貌を見るためには塔に上るしかない。そこで、料金を徴収できるという仕組み



14●塔に上ってユトレヒトの街を見下ろしたところ。古い塔の先端部の屋根に足場を組んで回廊を造っただけなので結構スリリングだ。アートの例は、たとえば画面左の白い矢印の部分に見ているようなもので…



15●地上から見るとこんな感じになっていたりする。これはアジア系アーティストの作品で、雑踏や満員電車の中に居る２人の人間を取り出してバルーン状態にしたものだという。こういうものが街のあちこちにあって、古都に非日常的な雰囲気をもたらしていた



6●アムステルダムで見かけた公衆電話スペース。屋根などはなく、機器の防水性はかなり優れているようだ。驚くのは、真ん中の1本のようなインターネット端末も含まれていること。これなら普通の人はモバイルマシンなど持ち歩かず、ここからインターネットにアクセスするだろう



8●たとえば、図7の端末の前には、こんなに古い歴史的な塔がそびえ立っている。実はたまたまPANORAMA 2000と呼ばれる屋外アートイベントの真っ最中で、この塔は作品を眺める展望台の役目も果たしていたのだが、最高で地上150mの地点まで人々を運ぶために、なんと工事用のエレベーター（矢印）が設置されている



16●街角端末以外にも、オランダの情報環境はずいぶんと進んでいるように見えた。こちらは、古いホテルのロビーに置かれたクレジットカード使用のインターネットターミナル（左）とクレジットカード電話だ。変にプリペイドカードを作らずに、クレジットカードで済ませられるのがよい



7●同じくオランダのユトレヒトにあった同型の公衆インターネット端末。ユトレヒトといえば、かなり古い家並みが密集する古都だが、そんな街角にこういう端末がニョッキリと生えているのである



9●そういうわけで、この女性は、PANORAMA 2000情報に関するサイトをここでブラウズしていたのであった。会期中はこの端末を開放して、そのサイトには無料でアクセスできるという粋なはからいがなされていた




17●ついで、公衆電話関係の写真をいくつかお目にかけよう。まず最初は、フランクフルト空港にあったクレジットカードフォンである。デザイン的にはやや古めで、プラスティック然としている




18●同じく空港にあった別の公衆電話。元々はコイン電話だったものの上にカード読み取り装置を付けたような形状だが、古いものを大切にするドイツ人気質が表れているように思える



19●これも別のクレジットカード電話。今一つパッとしないデザインだが、これでも受話器はピンク色で目立つ工夫がされている

# オランダのショップ事情

そして最後は、アムステルダムとユトレヒトのショップを巡って締めくくろう。由緒ありそうな古い建物と最新のビジネスの組み合わせがユニークで、異文化の面白さを味あわせてくれる。いつかまた訪れたい街である（図22〜27）。

なお、ヨーロッパなどで撮影したモノクロ写真をまとめてホームページを作ってみた。連載用の記録写真とはひと味違うイメージをご覧になりたい方は、<http://members.aol.com/kazugraph>からアクセスしていただきたい。



22●街のインターネットカフェ（というか、単に端末を時間貸しするだけで喫茶はない）もアムステルダムではこんな古びたビルの１階にある。日が長く、夕食は午後の９時頃からというお国柄なので、それまで人々は思い思いの時間を過ごす



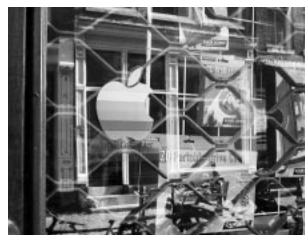

23●あいにく定休日で閉まっていたApple製品を扱うDTP専門店”Lettergrafica”（看板に”JUST for PROS”の文字が見える)。やはり店構えは古く、街並みを壊さないようになっている



20●バウハウス的に簡潔なデザインが施されたこれは、ドイツテレコムの公衆電話。パブリックスペースにバラエティに富む電話が並んでいる様子を見るのはなかなか興味深い



21●さらにオランダでは、公衆電話ボックスが三角柱だったりする。確かに建設費が四角柱に比べて安上がりかもしれない。ところで、奥に見える化粧品メーカーのポスターが大友克洋の「AKIRA」の影響を受けているように思えるのは考え過ぎか？



24●中が真っ暗で写らないので、代わりにAppleショップである証拠の1枚。日本でもおなじみのCase Logic社のCDケースなどのパッケージが見える




25●このプロショップでは、Mac OS 8.5（！)、Norton Utilities や、ＵＭＡＸのＵＳＢハブなども販売されている。シャッターも古いものがそのまま利用されていた




26●アメリカと同じく、プロでもMOよりはZIPなどの需要が高いのか、USB接続のＺＩＰドライブやSuperDiskドライブが販売されている。エプソンのカラーインクジェットプリンターは、ここでもかなりのシェアを誇っているようだ



27●こちらも閉店後のインテリアショップ。洒落たプラスティック製の水差しは、手前が青、真ん中が白、奥がオレンジとiBookカラーだったが、それよりも僕の目をひいたのは矢印で示した空のレジだ。現金がないことをあえてアピールして、押し入っても無駄なことを伝えているのである




28●この牛乳パックに入って食料品などと一緒に売られているのは、正真正銘の携帯電話だ。日本でもサービスが開始されたプリペイドフォンなので、こういう売り方が可能になったというわけ。それにしても、効果的なパッケージングである

From My PowerBook Diary

## PowerBook日記から

**8月19〜28日**　はるばる日本から弟と姪が訪ボストン。一緒にナイアガラフォールとディズニーワールドを観光する。

感心したのは、ディズニーワールドに新たに採り入られていた“FastPass”システムだ。これは、無用な待ち行列を減らすためのシステムで、人気のアトラクションの入り口付近にあるデバイスにカードを差し込むと、そこに戻って来るべき時間帯が書かれた紙が出てくる。それまでは他のアトラクションに乗ってきてもよいし、買い物をしていてもよい。所定の時間に戻るとどんなに混んでいても5〜10分で乗ることができる。これも技術の進歩の恩恵だ。

**9月10日**　前号でダークホース的なホラー映画“The Blair Witch Project”は必見か？　と書いたが、実際に見てみたらちょっと考えを改めた。確かに手法は斬新だが、あの揺れる画面を全編に渡って見続けると確実に気分が悪くなるし、ストーリーらしいストーリーがないので、一層辛い。よほどのカルトファンかホラー映画の研究家以外は見ないほうが無難だ。

逆に、確実にお薦めできるのが、ブルース・ウィリス主演の“The Sixth Sense”だ。内容的には、死者が見えるという少年と、ウィリス扮する児童精神医学者の心の交流を描くもので、彼につきものの派手なアクションシーンがなく、内面的な演技で新境地を開拓したことも高い評価を集めている。ややスローテンポで謎に満ちたプロットの先に、単なるホラーを越えた意外な結末が待っていた。そのエンディングによって、すべての出来事がオセロのように入れ替わる。その鮮やかさに、"The Sixth Sense"の観客からは拍手が起こったのだった

# あ★かるいMac道のススメ・其ノ十九

「究極のMac道を目指して今日も頑張るぞ」「ガッテンでさぁ、ご隠居!」
Macユーザーが抱える難問奇問に長屋の住人たちがずばりお答えします。

文・塩川 泉／絵・まつむらまきお

みんなのアイドル、お鈴でえす。左にいるご隠居さんは、あたしのおじいちゃんなのよ

長屋のご意見番、Macの生き字引とはわしのことじゃ。Macのことならなんでも知っとるぞ

ども、大工の留吉っす。「だいく」じゃなくて「でぇく」って発音してくれると嬉しいな

長屋の発明家、源蔵です。「Mac通の源さん」とも呼ばれていて，少し恥ずかしいです

ちわ〜す。おや、今日もマックの話で盛り上がってるようすね。

いやはやまったく、こんなに早く出てくるとは夢にも思わなかったな。

ほんとね。来年にならなきゃ出てこないだろうって、あたしはそう思ってたもん。

作ってる当人たちだって、これほど早く実現するとはまったくの予想外だったんじゃないすか？

いくらなんでも、そりゃなかろう。できる限り早く出荷したいと、そう思って頑張った結果じゃろうて。

そうですかねえ。なんか、その場の勢いで作っちゃったって感じっすよ。

どうも会話が噛み合ってないような気がするんだけど、留さんはなんの話しているの？

なにってそりゃあ、この『あ★かるいMac道のススメ』の本の話だよ。これまで「単行本化の予定はぜんぜんない」とか散々言っておきながら、出すときはいきなりだもんな。

あのな、わしらはほれ、例のG4マシンについて話しておったんじゃ。やっ

## Power Mac G4を早速買おうと思ってるんですが、すぐにG5が出ちゃうなんてことはありませんよね？






## PowerPC G4
【パワーピーシー・ジーフォウ】

モトローラ、アップル、IBMの三社が共同で開発した第4世代目のPowerPCプロセッサ。正式な型番はMPC7400。このプロセッサの最大の特徴は、128ビットのベクタ演算プロセッサ（アップルは「Velocity Engine」、モトローラは「AltiVec」と呼んでいる）が搭載されていることで、G4対応アプリケーションであれば従来の1.5倍〜6倍で処理可能になっている。また、SIMDという並列処理モデルを採用したことで、クロックサイクル毎に20演算を可能にしている。マルチプロセッシングにも対応。現在のところ350MHz、400MHz、450MHz、500MHzの動作周波数が存在する。

てくるなりいきなり会話に加わろうとするから、こういうトンチンカンなことになるんじゃ、まったく。

ま、そこいらへんが留さんらしいっていや、それまでなんだけどね。

ああ、あれ、あのG4マックの話だったんすか。いやね、なあんか変だなとは思ってたんすよ、おいらも。あは、あはははは。

で、話を戻すとじゃな、当初はアップルも「2000年5月のWWDCまでにはG4マックを投入する」と言っておったんじゃが……。

まあ確かに、言ってることに間違いはないもんね。これはもう、マックファンにとっては嬉しい誤算としか言いようがないわ。

でもご隠居、iBookの直後にG4マックの登場でしょ。こんな調子でぽんぽんと新製品が出てくるようだと、もうしばらく待ってたらすぐにG5マックが出てくるんじゃないすか？

いやいや、なんでもモトローラ社によると、G5チップが出荷されるのは2001年になってからということじゃから、その点は安心してええと思うぞ。

次から次へと新しいマシンが出てきちゃったら、買うほうだって困っちゃうもんね。

じゃあ来年はG4のクロックアップマシンが出てくるくらいで、G5マックの登場は21世紀になってからと、そう思っていいんすね？

ま、そういうことじゃな。750MHzにクロックアップされたG3チップも出てくるという噂もあるし、ここ当分は高速G3とG4のせめぎ合いという感じになるじゃろう。

来年にはPowerPCに最適化されたMac OS Xも出てくるだろうし、再来年はG5マックかあ。21世紀の幕開けはすごいことになりそうね。

まったくそのとおりだね。それにほら、2001年にはたぶん、『続・あ★かるいMac道のススメ』も出るだろうから。

毎度のことじゃが、留はお気楽でいいのお。それ以前に連載が打ち切りになるとか、そういう可能性は考えたことないんか？

そりゃもう、ぜんっぜん考えたことないっすね。おいらの目が黒いうちは、打ち切りになんかさせやしませんって。

でもさ、その前に『MACLIFE』が休刊になっちゃうかもしれないし……。

そ、そりゃちょっと言い過ぎなんじゃねえか、お鈴ちゃん。ほら、へ、編集長がこっち見て睨んでるよお。

あ、安心してくれ、読者諸君。たとえこの連載が打ち切りになろうとも、『MACLIFE』はこれからもずっと続いていくからなあ。

# キーボード、マウスの次にくる 標準的な入力デバイスは、何ですか？



ところでご隠居、いよいよマック用の音声認識ソフトが、もうすぐ登場するみたいっすね。

そりゃあIBMが作った、ViaVoiceというソフトじゃな。すでにWindows版は売り出されておるんじゃが、まもなくそのMac版が発売されるはずなんじゃよ。

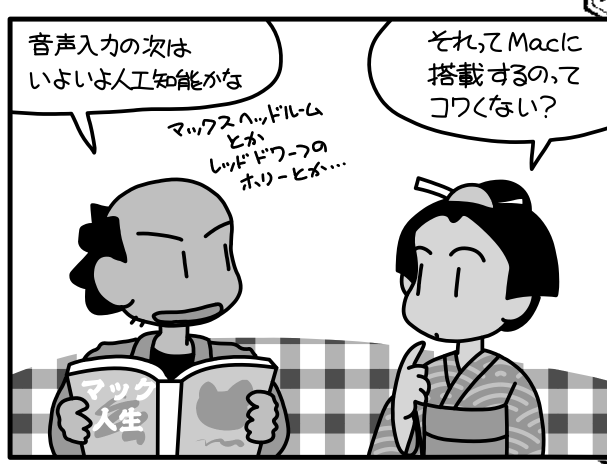
これまでパソコンに何か命令を伝えるためには、まずキーボードが必要だったよね。それに、補助装置みたいな感じでマウスが出てきて……。

ほかにもタッチペンやタッチパネルなどいろいろな入力装置があるにはあったが、どれも一長一短あるからのお。それに、ViaVoiceはあくまで音声認識、つまり音声を解析して言葉に変換するソフトじゃから、命令を伝える道具と言ってしまうと、ちと語弊があるな。

Mac OSにも声紋が認識できる機能が加わるって話がありやすよね。

それが可能になったら、1台のマックを複数のユーザーが利用するような企業なんかじゃ、けっこう重宝するでしょうね。

いちいちパスワードを入力しなくても、マイクに向かってちょっと喋るだけで個人を認識してくれるんじゃから、じつに便利な機能じゃな。




パスワードが不要だから、パスワードを盗まれる恐れもないし。それって最高のセキュリティだわ。

でもさ、テープレコーダーで再生した声とか聞かせると、どうなっちゃうんだろ？

# あ★かるいMac道のススメ・其ノ十九




ま、そういった問題点もクリアされたから、Mac OSに声紋認識機能が搭載されたんじゃが、最初のうちは少しトラブルがあるかもしれんな。

ここまでくると次はいよいよ、人間と会話できるコンピューターの登場っすね。

SF小説でよく出てくる、あれね。クラークの「2001年宇宙の旅」に出てくるHAL9000とか、ホーガンの「ガニメデの優しい巨人」や「巨人たちの星」に登場したゾラックやヴィザーあたりが、けっこう有名だわ。

おいらは鉄腕アトムくらいしか思い付かないよ……。

たとえば、ある書類を開いたり閉じたり、印刷するといったごく簡単な命令で済ませられる作業なら、すぐにでも実用化できるじゃろう。しかし、人間同士が交わすような会話ができるコンピュータとなると、ちと難しかろうのお。

どんな言葉を喋ったかを認識する機能と、その喋った言葉がどんな内容なのかを把握する機能は、似ているようでいてぜんぜん違う機能だもんねえ。

そういうことじゃな。スムーズに会話するためにはどうしても人工知能、つまり学習する機能が必要になるから、なかなかたいへんなんじゃよ。

それじゃあ、コンピューターとお喋りができるようになるのは、まだ当分先のことなんすね。

ねえおじいちゃん、もしコンピューターとの会話が可能になったら、やっぱり持ち主の性格がパソコンに反映されるのかな?

どんなもんかのお。そりゃプログラム次第だと思うが、もしかしたら持ち主に似てくるかもしれんな。

そうなったら面白いだろうなあ。おいらのパソコンはいなせで粋な喋りかたするでしょうねえ、きっと。

留さんのどこがいなせで、どこが粋なのよ。それよりもさ、留さんのパソコンがおじいちゃんのパソコンに説教されてるほうが、ずっと可能性があると思うな、あたし。

そのうえお鈴のパソコンにはいじめられたり、イヤミを言われたりするじゃ。やれやれ、留のパソコンも気の毒にのお。

ううう、なんだか泣けてきちゃったよ。おいらのパソコン、かわいそう……。

## iBookを買ったんですが、なぜか私が持つと違和感があるようです。iBookにふさわしいスタイルっていうのを教えてください。



こんちはあ。あ、留さんもいたのか、そりゃ好都合だ。ふっふっふ、これ見てよ、これ。

ああっ、そ、それはもしかしたらいま巷で大評判の、あのiBookじゃねえのかい?

もしかしたらもなにも、こんなに目立つノートパソコンといったらもう、iBookしかないじゃろうが。

そうかあ、これが噂のiBookかあ。それにしてもなんですね、源さんがiBookを持ってても、ものの見事に似合ってませんやね。

そ、それを言ってくれるなよ、留さん。僕もずいぶんと気にしているんだから……。

iBookはデザインが斬新なだけに、持ち主の服装センスもそれなりになんとかせにゃならんのかもしれんな。

そういや、iMacに合わせてカーテンや家具をコーディネートし直したって人もいるくらいだから、iBookを持って歩き回るときもやっぱり、それなりのカッコしなきゃあ。

えらく簡単に言ってくれるけどさ、具体的にどんな格好をすりゃいいんだい?

iBook柄の着物なんてどうでしょね。ブルーベリーとタンジェリンの絵を交互にちりばめた、ど派手な着物。

それじゃあまるで、アップルの動く広告塔だよ。その格好でマックエキスポに行ったら、受けるかもしれないけど……。

ま、どこで出会っても一目で源さんだとわかるじゃろうが、わしだったら死んでもそんな着物は着たくないのお。

じゃあいっそのこと、着物もスケルトンにしちまう！

ぼ、僕の着物をかい？　それはちょっと勘弁してほしいなあ。それに読者もきっと、そういう絵は期待してないと思うよ、うん。

この際だから言うておくがな、わしも見たくないぞ、やっぱり。

そうはおっしゃいやすけどね、ご隠居。あれも駄目これも駄目じゃあ、話がぜんぜん進みやしませんぜ。

そもそもね、江戸時代の人間にパソコンを持たそうってこの企画自体に、ちょっと無理があると思うんだよ、僕は。

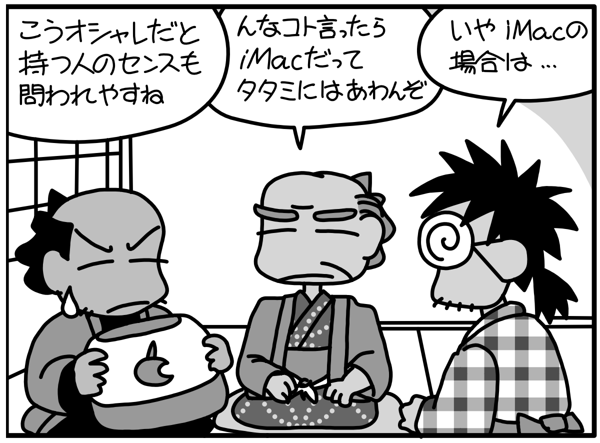
絵師も「日本髪の女性は描き分けるのが難しい」とか、よく泣き言をいっとるようじゃしのお。

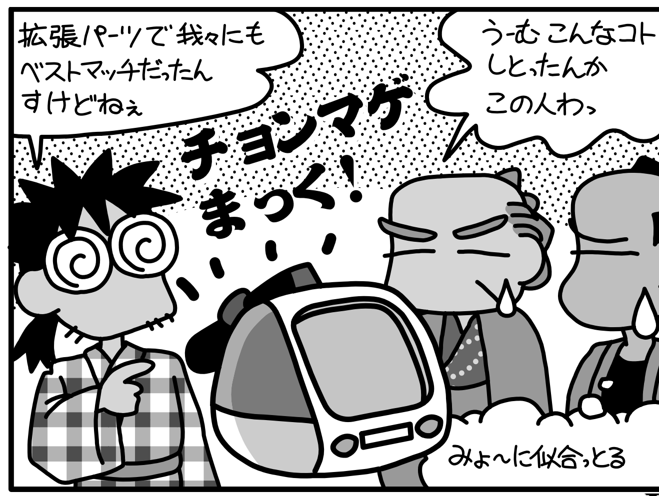
文士だってしょっちゅう、「毎月3つも4つもオチを考えるのはむちゃくちゃたいへん」って言ってやすしねえ。

よし、こうしようじゃないか。来月号でいきなり、文明開化してしまうんじゃよ。わしらだってマゲを落として洋服を着れば、iBookに似合うスタイルになれるってもんじゃ。

なあるほど、そりゃグッドなアイデアですねえ。でもご隠居、読者はさぞ驚くでしょうなあ。

まあな、まさにインド人もビックリってやつじゃよ、わははははは。




あれ、今度はインド人が出てくるんですか、このコーナーに。

これまでマドマドなんとかって宇宙人とか猫又娘とかいろいろ出てきたから、もう何が出てきたって驚かないぜ、おいらは。

いや、そうじゃなくてじゃな、昔、カレーのコマーシャルにそういうセリフがあって……ええい、もうええわい。とにかく文明開化じゃ、日本の夜明けも近いぞ、諸君！

やだなあ、ぼけちまったんですかい、ご隠居。お天道さまはもうとっくに、頭の上に登ってやすぜ。日本列島、どこもかしこもとっくに夜が明けてまさあ。

ぐわああ、疲れる……。お、お前たちと話しとるとどっと疲れるわい。だめだ、こりゃ。

**質問募集のお知らせ**

このコーナーでは，みなさんが普段から疑問に感じている質問を電子メールで募集しております。「Mac OS 9の声紋認識を設定しようと思ったらいきなり犬が吠えて、それ以来犬がいないとMacが使えなくなっちゃいました」とか「Power Mac G4が盛んにギガフロップって叫んでいるわりには、プレステ2のほうがギガフロップ値が上なんですが、これはどういうことでしょうか？」といった難問奇問に，いろんなキャラクターが誠心誠意（？）答えますので，ドシドシご応募ください。採用された方にはマドマド星人マグカップを差し上げます。メールアドレスはmaclife@bnn.co.jp。メールの題名は「Mac-Do」としてください。

## 大江戸呑気帖

まつむらまきお



# KandaNewsNetwork

The smallest digital TV station in the world
http://www.knn.com/

何でも無料のネットの世界にまたもや、便利なサイトが日本に上陸です。米国e-groups.comのサービスがやってきました。



▼今月はどこから何をリポートするのか？　世界で一番小さなデジタル放送局が巻き起こす、奇想天外で型破りなMacintosh LIFE！

kanda News Network
神戸発！ 世界で一番小さなデジタル放送局


神田 敏晶
URL:http://www.knn.com/
mail:kanda@knn.com


KNN OF THE MONTH

# 全米700万人のユーザー、1日1、000万通のメール配信のサービスが日本に！

米国ではポータルサイト（一般的にはインターネットにアクセスする時、ブラウザーに表示させる一番最初のページのこと）のIPO（店頭公開）や買収は、ひととおり一巡したところで落ち着きをみせました。またE-tradeやe-bayのECサイトも全米でCFなどでも認知されるようになりました。今後はMac OS 9に付属する"Sherlock II"の登場で、インターネットの総串ざし検索市場はますます熱くなることでしょう。

さて、次にくるインターネットのキーワードは何でしょうか？　米国では昔から"ネットコミュニティ"に話題が集まっています。古くはAOL、geocities、ICQ、MS linkexchangeですが、最近では「e-groups.com」が注目されています。

e-groups.comのスタートは1998年6月で、半年後にはYahoo!などを手掛けたベンチャーキャピタル「セコイア」から、5,100万ドルの投資を受けています。ユーザーは、9カ月間で300万人。そして1年で700万人超えるコミュニティサイトに成長しています。これも、スタンフォード大学のソフトウェアエンジニアたちが、ネットコミュニティに不足しているサービスというニッチマーケットを極めた結果から生まれたのがこのe-groups.comです。

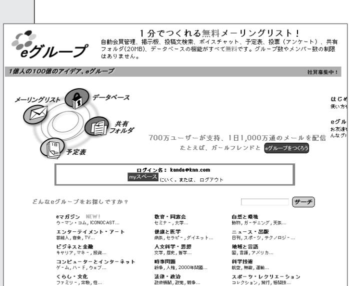
ここは無料のメーリングリストがすぐに構築できる点が人気のポイントで、しかもサービスは日ごとに増え、ボイスチャット（英語サイトWin版のみ）まで登場してきました。今年の8月に日本でもスタートを開始し、10日間で1万人ユーザーを獲得しているそうです。

現在、KNNでもこの「eグループ http://www.egroups.co.jp/ （e-groups Japan）」のサービスを利用していますが、メーリングリストが簡単に作れてしまうところが魅力です。今までメーリングリストのサービスを借りていたり、Linuxサーバーに苦心してセットアップしていたことを考えればこの簡単さは、まさに天国！天国！

構造を理解するのに少しだけ時間がかかりますが、「eグループ・オフィス」の機能も秀逸です。企業でグループワークや各プロジェクトを管理するためにもGood。さらに個人の予定を入れて、プロジェクトごとの予定とシンクロさせることができます。個人の予定とグループのメンバーが同時にひとつのスケジュールを共有できるので、全体のスケジュール管理が可能となります。

さらに電子メールでリマインダーがついているので、毎月ある行事や予定の1日前にメールでリマインドしたりするのにも便利です。強いて難をいえば、すべての登録がWebからだけなのが辛いかもしれません。そのうち電子メールで登録ができるようになれば、i-modeだけでグループワーク、そしてメーリングリストの管理までできることになるでしょう。

今まで日本にも単一の機能だけのWebでのサービスはありましたが、このように総合的なサービスで日本に登場してきたので、Yahooジャパンにとってもいいライバルの出現かもしれません。骨肉を争うネットビジネス・ウオーズがようやく日本でもおきそうな気配があらわれてきました。



eグループの日本語サイト。シンプルで質素なイメージだが、できることは非常にパワフル！　メーリングリストを中心に予定表、データベース、共有フォルダまでパワフルなツールが続々と登場



ボクが実際に使っているメーリングリストの管理画面。こんなに簡単にリストが作れてしまっていいのだろうか？「まぐまぐ」を見た時と同じ感動を与えてくれた





こちらは予定表の入力画面。電子メールでリマインドを設定できるところがとても便利だ。あとはこのデータをPalmにリンクできれば、もういうことなし




# 究極のモバイルG3 デスクトップ登場！

## ショルダーベルトと液晶モニターケースで 完全無欠のモバイル装備に

モバイルコンピューティングを始めてからかなり時間がたつが、ボクの場合はやはり最終的には体力勝負となるようだ。いままでにも、モバイルマシンではなく、どうしてもデスクトップでないとダメな時っていうのが結構ある。たとえばFireWireを経由してキャプチャーした画像をそのままビデオで編集したいなんていう場合だ。こんなこともPowerBook G3にFireWireカードがあればそれも可能かもしれないが、それでは高くつく。今やPower Mac G３、いやPower Mac G4ですら、消費税抜きでは20万円でおつりがくる時代だ。キャプチャーカードまで買っていたらPower Mac G4が2台買えてしまう……というか、ノートはPower Book 3400Cがまだまだ健在なので、買う必要がないのである。

そこでPower Mac G3のデザインにショルダーベルトを通してみると、意外にも結構安定するではないか。このG3のデザインは、ここにベルトを通すためにあったんだと思っている。ここまでは、冗談っぽく進んでいるが、これを肩にかけてモバイルするとなると、本当にちっとやそっとではきかない。実際にニューヨークのMACWORLD EXPOからSIGGRAPHまでこのスタイルでずっと移動していたおかげで、肩はボロボロ、Power Mac G3も名誉のすり傷だらけである。おまけに飛行機のラゲッジではワレモノシールをベタベタ貼られて、運が悪い時には、ラゲッジルームに放り込まれてしまうこともある。

しかしそんな時にもG３のケースは簡単にオープンできるので、ハードディスクだけを抜いて機内に持ち込み、G3本体の無事を祈る。この状態で機内持ち込み4回、ラゲッジ搭載2回の防衛戦をG3は勝ち抜いている。最近では液晶の特製ケースを調達してデスクトップ・モバイルが完璧となりつつある。



もしもG3が機内持ち込みサイズに仕上がっていたら？ と何度思ったことか…。運がよければ、機内持ち込みが可能かも。しかし、厳密に持ち込みのサイズを確認すると、持ち込みサイズを十分にオーバーしている。しかし動じてはいけない。厳重に梱包するよりも、「割れ注意」のシールだけの方が実は扱いがていねいだったりする。ケースに入れるより、この方が安全だったかもしれない。さすがに液晶モニターはそうはいかないので、PA用のケースに緩和のための硬化スポンジで対策中。しかし、このおかげで100メートル歩いては休憩しなければ歩けなくなってしまった。やはりモバイルには基礎体力が必要のようだ



G3を持ち運ぶためのバッグ（できれば透明）を販売してくれたら嬉しいです。それまでは、ぷよぷよのビニールでぐるぐるまきの旅…ああ



# 毎年、恒例「World PC EXPO TVスペシャル」

## ハンドヘルドに咲いたハンドスプリングと幕張パフォーマンス

ボクは9月7日から開催されたWorld PC Expoに、Expo TVのスタッフとして今年も参加しました。今回、「Palmは日本でもNo.1になれるのか?」というタイトルで、元祖Palmの開発マネージャーであるロブ・ハイタニ氏とJ-OSの開発者の山田達司氏が顔をあわせました。ロブ・ハイタニ氏はハンドスプリング社でさらにPalmを面白くすると語り、山田氏はこれからも道具や食料が用意されたも同然のPalmの山に登らずにはいられないと語りました。このセッションの翌週、ハンドスプリング社からは、Palmよりも安い価格のPalmOS搭載のハンドヘルドマシンが発表されています。

会期中の4日間、番組はコジマスペシャルとして、インターネットやCSで、連日のニュースが幕張のスタジオから放送されました。熱くて暑い5日間でした。




Palmの世界では語らずにはいられないこの2人。Palmの夢にかけた人とPalmを日本に導いた人だ。PalmOSのライセンスを機会に、今度はどんなPalmの世界が登場するのか？




今年で3年目を迎えるExpoTVスタッフ。年に一度のイベントですが、チームワークばっちりで連日の番組制作でした。今年はスタジオも暑かったので大変！

ボクは今年もコンパニオンレポートで5日間、幕張の華のパフォーマンスをレポートしました。

今年のコンパニオンNo.1ブースは、やはりフジ写真フィルムさんでしょう。デジカメを向けると、やはりキマリのポーズでした。



ボクのコーナーの中では、コンパニオン・オブ・ザ・イヤーを続々と紹介しました




Editor-in-Chief
神田敏晶　TOSHIAKI KANDA
Chief Columnist
魚井宏高　HIROTAKA UOI
Photographer
濱村和恵　KAZUE HAMAMURA
Animator
いのうえさきこ　SAKIKO INOUE
Writer
正月孝広　TAKAHIRO MASATSUKI
Editor
樋口美妙子　MISAKO HIGUCHI



特集●〜11月でまる2年。ますます勢いにのるバーチャルカンパニー〜

# 「ten6/d'Box」

■ten6/d'Box
http://www.ten6.com/
■オオサカチャンネル
http://osaka.ch/

TEXT&PHOTO by 正月　孝広


「ten6/d'Box」エントランス。この中ではいろいろなビジネスが展開されている


株式会社インターサポートゼネラルマネージャー　西山朗人氏。優しい人柄が印象的


取材日に放送を行なっていた、松竹芸能のシンデレラエキスプレスのお2人。テーマは「プロレス真剣勝負論」


アメリカザリガニのお2人。番組「GAHACK（ガハック）」の中では、イラストや加工写真を使い非常に効果的な演出が行なわれていた


番組終了後、掲示板の書き込みをチェック。タレントとファンが直ぐにネットワークを介してコミュニケーションを行なう


オフィスカゴの鹿児島俊光氏


オフィスカゴの鹿児島暁子さん


ストリーミングのネットワーク関係を裏で支える、同じく「ten6/d'Box」の住人、有限会社ブイロジック代表　岡村浩太郎氏

「テンロク」。天神橋筋の北端に位置し、梅田からも近く交通の便も良いこの街は、関西では古くから栄え、天六と呼ばれ親しまれている。もちろん天四、天五、天七も近くには控えている。

そんな古くからのこの街中に、デジタルクリエーターのための共同オフィス、「ten6/d'Box」がある。阪急系列のバーチャルカンパニーとして2年前にオープンしたこの空間には、プログラマーからデザイナー、コンサルティングからシステムエンジニアと多彩な入居者が集まっている。懸賞サイトで有名なあの「とくとくページ」の山本恭弘氏もここの住人である。

そんな濃いメンバーを取り仕切っているのが、「ten6/d'Box」の運営を行なっている株式会社インターサポートゼネラルマネージャー西山朗人氏である。西山氏はクライアントと入居者のビジネスのコーディネーターとして、またスペースを管理するマネージャーとして日々精力的に活動している。

氏は、「ビジネスの場合、デジタルやネットワークというキーワードで、ひとくくりにしてしまうことが多いが、実際にはその中で細かく分かれている。またテクノロジーの進化の激しい業界なので、常に新しい知識を吸収する必要がある。これらのことを丁寧にきちんとフォローしていくことが事務局としてとても大切です」と語ってくれた。

その西山さんが現在「ten6/d'Box」のイチ押しとして紹介していたのが、毎週土曜日の深夜24時から25時までの1時間、松竹芸能所属の新人タレントがゲストとして番組を行なっている、「オオサカチャンネル」というストリーミング生放送である。企画から運営までのハードすべてをまとめているのが、入居者であるオフィスカゴの鹿児島暁子さん。そして番組の構成、演出とソフト面を取りまとめているのが御主人の鹿児島俊光氏である。

ストリーミングといえば、まだまだ動きがぎこちないという先入観もある。しかし、このオオサカチャンネルの番組作りは、そこをきちんと理解した上で、ラジオでもなくテレビでもない、つまり音だけでは淋しいが、映像はサクサク動いて見せにくいという、その特性の間を掴んだ非常にストリーミングらしい演出を行なっている。またWebサイトでは平行して、視聴者だけでなく出演者も書き込む掲示板が設置してあり、生放送の前後にリアルタイムで意見の交換ができる演出も見事だ。

「オオサカチャンネル」は年内の放送が確定している。毎週土曜日の深夜24時、ぜひアクセスしてほしい。

●今月のお題●

# 「G4のもたらすもの」




さて、G4も**予定通り発表**されたことだし、World PC EXPOで**実際**に**触**ってみた**方**も**多**いだろう。**残念**なことに**僕**は**今**まで**実物**を**見**る**機会**もなく、**雑誌**やWebで**情報**を**得**ているだけなのだけど、それでも**最高峰**モデルというのは、いつもドキドキさせてくれるものだ。

**先月**とは**違**って、G4は**買**いか？といわれれば、「**最高峰**モデルは**常**に**買**いだ」という**持論**をいうだけになってしまう。

さて、**一言**でG4と**呼**んでいるものの、**実際**にMacとしてはマザーボードの**違**いで2モデルあるわけだし、**例**のごとくCPUを**指**すこともある。CPUとしてのG4は「スーパーコンピューターがデスクトップに」とか「これは**兵器**です」と**言**われるとおり、**一昔前**なら**何億**もしたような**性能**を**叩**き**出**している。いやいやまったくすごいもんだ。

でも、その**性能**を**目一杯使**うためにはそれ**専用**に**書**かれたアプリやプラグインが**必要**だし、OSがVelocity Engineを**使**うようになるとも**思**えないわけで、そういう**意味**では**一般**ユーザーにとってのG4って、**単**にちょっと**速**いG3でしかない。あとはゲームが**対応**してくれないと、あまり**嬉**しくないのかな。でも、それじゃあG4の**性能**をいくら**褒**め**立**てたところでしょうがない。だから、AirPortやAGPグラフィックスなんかもトータルでは**重要**なわけだ。そうすればCPUだけでなく**別**の**観点**からG4Macを**選**ぶ**理由**もあるからね。

さてさて、いつかはG4だってi Macに**搭載**されるわけだろうし、その**時**のキャッチフレーズは**当然**「あなたのお家にスーパーコンピューターをどうぞ」かな？

**（魚井宏高）**

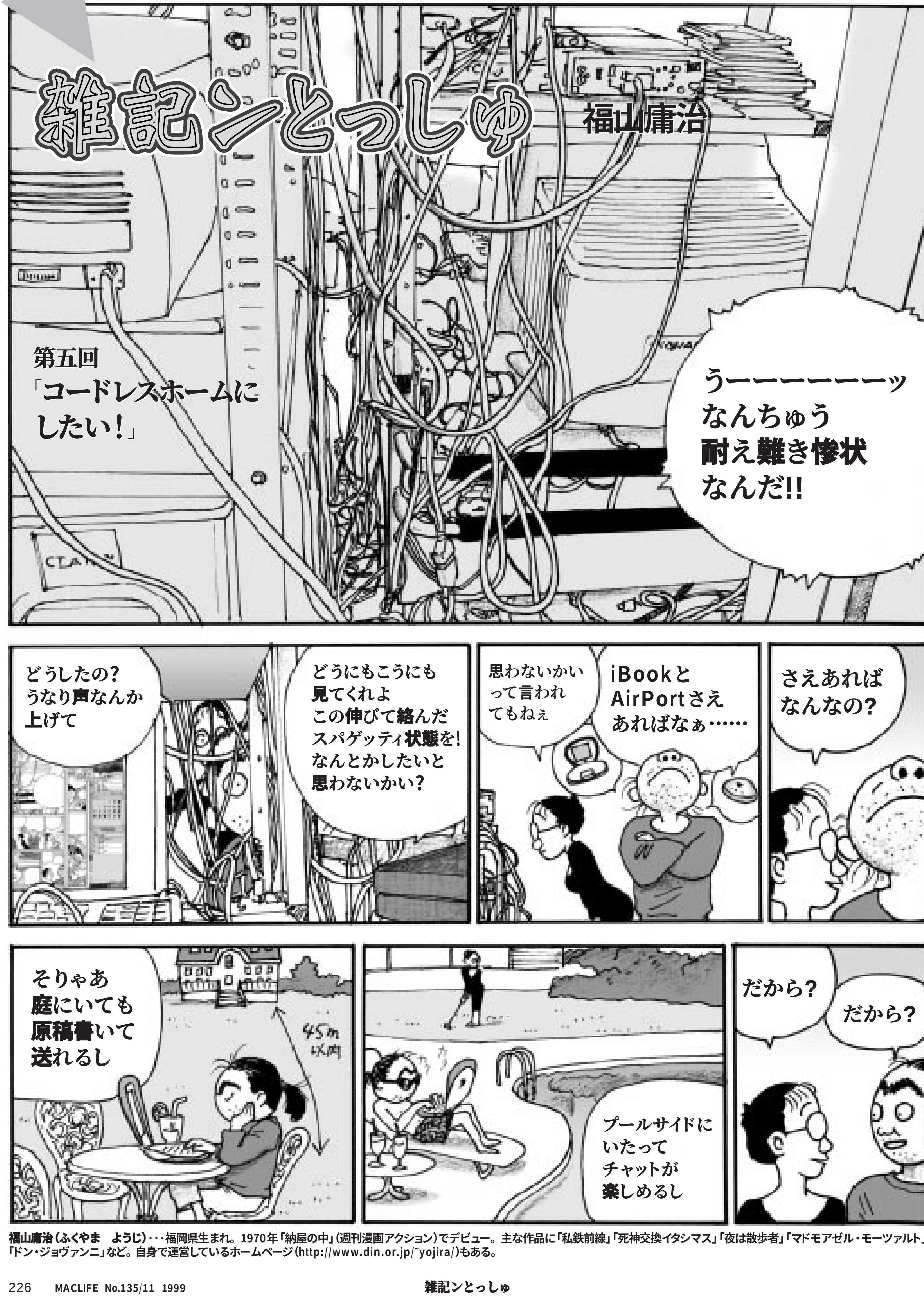


iBookとAirPortがあれば、ケーブルやコード類の煩わしさから解放されるのは間違いないのですが……

# 雑記ンとっしゅ

福山庸治

## 第五回「コードレスホームにしたい！」




福山庸治（ふくやま　ようじ）・・・福岡県生まれ。1970年「納屋の中」（週刊漫画アクション）でデビュー。主な作品に「私鉄前線」「死神交換イタシマス」「夜は散歩者」「マドモアゼル・モーツァルト」「ドン・ジョヴァンニ」など。自身で運営しているホームページ（http://www.din.or.jp/~yojira/）もある。




■45メートルもの庭のある家に住めるようになるにはどれだけ働けばいいのでしょう!?

次号(12月18日発売号)に続く・・・

## Palmユーザーの集うところ 今日から



Mac同様、Palmを使うことは難しくない。しかし、上手に使いこなすには、書籍やWebを見たりして、積極的に情報を集めた方がいいのもMacと同じだ。とはいうものの、一人でできることには




### ユーザーグループとは？

Mac周辺では古くから地域のユーザー同士でグループを作り、Macについて研究したり、新しい機種の品評会を行ったり、あるいはひたすら集まって騒いだり、という活動が盛んだ。アップルもこういった活動を「ユーザーグループ(UG)」として認識し、Macを盛り上げる応援団として有形無形の支援を行っている。

こうした活動が盛んな理由のひとつに、職場や学校など身近なところにMacユーザーが少なかったことが挙げられるだろう。雑誌などで得られる情報も少なかった時代、ユーザー同士の集まりは貴重な情報交換の場であり、そしてなにより楽しい交流の場であったことだろう。

一方、Palmデバイスはどうかというと、ずいぶん知名度は上がっているとはいえ、さすがに単位面積あたりのユーザー数は少ない。インターネットでの活動は盛んだが、専門誌はまだないし、Palmデバイスに詳しいお店も多くはない。必要な情報を誰もが手に入れられるという状態にはほど遠いのが実態だ。まさに、このような状況にこそ、UGが必要となってくるのだ。

### UGのことなら「パーム航空」へ

このような状況の中、いち早くUGの必要性に気づき、全国のUGの結成を事実上支援してきたのが、「Palmとワークパッドを愛する人たちのためのエンターテインメントマガジン」として知られるWebサイト、「パーム航空」*1のWebマスタ「機長」氏だった。パーム航空をきっかけに、ユーザーが集まり、各地にUGが育っていった。

現在でも、パーム航空には情報が次々と集まっており、すでにこの誌面では紹介しきれないほどのUGの情報が掲載されている。UGに興味のある方は、まずはパーム航空でお住まいの地域にUGがないかどうか探してみることをお薦めする。

### UG「彩パーム」の場合

UGとは実際にはどんなものなのだろうか。98年12月から埼玉県を中心に活動を開始した地域系UG「彩パーム」*2の代表、SHIGE@浦和さんにお話をうかがった。

──現在のユーザー数はどれくらいですか？

「127名+α(9/18現在)です」

──会員の方のPalm使用歴はどれくらいでしょうか？

「だいたいの感じとして、3割位の方が2年位、7割位の方が約半年、そして全体で1年以内だと思います」

彩パームに限らず、WorkPad日本語版の登場で使いはじめた方が多いのだろう。

──発足のきっかけを教えてください。

「当時私の周辺にPalmユーザーが居なかったので、連絡を取ってるうちにこんなことになりました。機長さん@パーム航空に乗せられたという説もあります」

──主にどのような活動をされているんでしょう。

「メーリングリストによる情報交換、オフ会（主に飲み会）*3による、お話＆情報交換、HP上での企画「Palm/GAME ハイスコアコンテスト」の開催などです」

──オフ会でPalmデバイス活用法のシェアなどをしているのですか？

「たぶん何も（シェアというほど）特殊なことはしてないと思いますが、気楽にみんなで使用方法とかを教え合っています。MLや、オフ会で話しをしながらが多いですね」

──UGによってPalmの使い方は変わりましたか？

「まず、活用度が非常に上がりました。活用方法もかなり多岐にわたる様になりました」

実際にオフ会などで多様な使い方をしている人に会って話をできることは、それだけでもPalmデバイスを使う楽しみを増やしてくれる。そういう姿に影響されてか、SHIGE@浦和さんのお宅ではご家族のほとんどがWorkPadユーザーになってしまったという。

──これからUGに参加される方に、なにか一言。




写真左●パネルディスカッションのひとコマ。機長、胸毛を描かれるの図。描いているのは本誌でもお馴染み、PowerBook使いの田中ポチ氏。右が山田氏。後ろがみのたん氏　写真右●PUXPOのパーティにはHandspring社のロブ・灰谷氏の姿も。新しいPalmデバイスの仲間、Visor発表直前だったにもかかわらず、ユーザーに対してもフレンドリーであった（ただしVisorについてのガードは非常に固かったようだ）

「会っても、話しても、メールでも、飲んでも、色々なことがすべて楽しいです。『発見』も非常に多くありますし、年齢や、利害関係のないつき合いは非常に有効で、楽しいです。気軽に参加して下さいね。楽しくやりましょう」

Palmデバイスは、それ自体を使うことが目的ではなく、使うことによって生活が便利になったり、豊かになるところに本質がある。Palmデバイスをきっかけにして新しい



PUXPOではステージ企画やパーティの他に、UGがブースを構えてグッズの販売や使い方相談所など、ユニークな出展多数。本文でお話を伺っている彩パームのブースではゲーム大会を行っていた



World PC ExpoでもPalmデバイスに関する展示は3com、IBMブースを中心に大変盛り上がっていた(3comブース)

限界がある。他の人たちはどんなふうに使っているか、生の声が聞いてみたい。「ああ、身近にPalmユーザーがいればいいのに。」そんなふうに思ったら、ユーザーグループへの参加を考えてみて欲しい。

# 始まる Palm DAYS

吉沢正敏

人間関係に飛び込むことができ、ついでにPalmデバイスの活用法まで教えてもらえる。それこそPalm的UGのあり方といえるのかもしれない。

## ユーザーコミュニティの集大成「PUXPO」

UG活動を含むユーザーコミュニティの集大成として、去る9月11日、World PC Expoと連動する形で「Palm/WorkPad User 's Expo in Japan ' 99」が開催された*4。全国のPalmデバイスのユーザーが一堂に会すべく企画された、ボランティアベースのお祭りイベントである。ハード・ソフトの新作発表、参加者同士の名刺交換イベントや豪華プレゼント大会など、200人以上の参加者にもかかわらず整然とし、かつ「熱い」イベントとして大成功のうちに終了した。

この中の企画として開催された、「本音Talk!!〜Pilot/Palm/WorkPadの過去・現在・未来〜」と題されたパネルディスカッションには、前出のパーム航空機長、Nifty「FPalm」のフォーラムマネージャであるみのたん氏、そしてJ-OSの作者である山田達司氏の3人が登場。立場的には三者三様な彼らが、どのようにコミュニティに関わり、どんな意見を持っているのかに注目しよう。

みのたん●「PILOT登場当初は日本語が使えず、会社名が入力できないなど仕事には使えないと考え購入をためらっていた。しかし、その後山田さんがJ-OSの前身となるソフトを携えてフォーラムに登場した数日後にはPalmを購入、Palm専用会議室を作ってしまった。その後、Nifty社の人間にもPalmを使わせて、独立したフォーラムの設立にも納得してもらった」

Palmコミュニティの先がけであるFPalmも、現在のUG同様、Palmデバイスにピンと来た人たちの熱意で転がり始めたことがうかがえる。UG活動に関しては、山田氏がこんな発言をしている。

山田●「UGというと恐い人がたくさんいて取って食われるのではないかと思うかもしれないけれど、実際に食べる人は少ないので大丈夫。先日(UGに参加した人から)『最近会社以外の人とこんなに楽しく遊んだことがない』という話を聞いた。自分自身も人間関係がとても広がったように思う」

UGには、山田氏のようにソフトを開発する側の人間も多く参加している。

機長●「ソフト開発者の素顔を見ることができ、ただ公開されているソフトを使うよりもソフトを身近に感じることができる」

そこから新しいソフトや、ソリューションが誕生することも当然あり得るだろう。UGオフ会の喧騒は、新しいものを産み出す混沌でもあるのだ。

## Palm/WorkPad片手に会いに行こう

最後は機長の言葉で締めくくろう。

「赤外線通信での名刺交換のように人と人をつなげる機能がPalmには用意されている。Palmは人と人をつなげる機械なのだと思う」

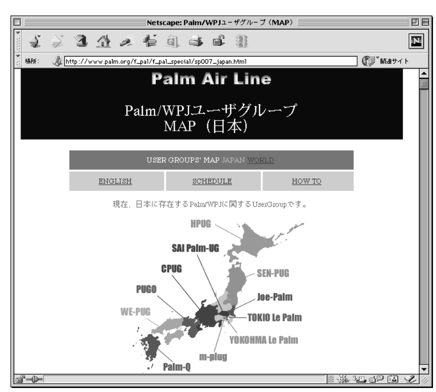
シリアスなビジネスユーザーにも、ゲームに勤しむユーザーにも、UGの門戸は等しく開かれている。なぜなら、「Palmは人と人をつなげる機械」なのだから。

＊1）パーム航空：http://www.palm.org/
本記事の作成にあたって、パーム航空には全面的にご協力いただいた。

＊2）彩パーム公式ページ：
http://www03.u-page.so-net.ne.jp/da2/shigeo/spug/

＊3）オンライン（インターネット上）ではなく、オフライン、つまり実際に顔をあわせる形で集まることをオフ会と言う。

＊4）PUXPO'99公式ページ：
http://www.nifty.ne.jp/forum/fpda/fpalm/puxpo/




パーム航空には地域系UGの分布図も掲載されている。あなたのお住まいの近くにもUGはきっとみつかるはずだ

PowerBook●カスタム講座（16） ●まりも、しんかい、geta、TS、jun-atmark

# よみがえれ！ Portable & PowerBook 100

このコーナーは、愛してやまないPowerBookをより活用するための講座である。日々悩んでいる問題の解決方法から、世界に1台だけのPowerBookにカスタマイズする方法まで、Macintoshユーザーグループ『POWERBOOK ARMY』のメンバーが、リレー形式でそのテクニックとアイデアをわかりやすく披露してくれる。PortableとPowerBook 100について紹介する。

## ●PortableとPowerBook 100の修理テクニックと使いこなし

**拡張性や性能にまったくの妥協を許さず、当時のAppleのこだわりが凝集しながらも結果的にはその大きさと価格のために商業的には失敗作に終わったMacintosh Portable。そしてそのPortableの性能をそのまま2kg余りのボディに詰め込みんだ、すべてのPowerBookの「原点」ともいえるApple初のノート型機、PowerBook 100。CPUに68HC000を採用し最大RAMは10MBに満たないながら今でもきわめて魅力的なこれら「過去の」マシンを現役で使い続けるための工夫を紹介してみたい。**

### 動かないPortableを復活させる！

Portableは他機種に比べてきわめて手に入りにくい。それでも（程度にもよるが）アメリカでは50～200ドル位で売買されている（ただし送料は航空便だと150ドルほどかかる）ので、よく探せば状態のいい中古品を相応の値段で入手する事も可能である。しかし、製造から既に10年も経過しているため調子が悪かったり、ある日突然動かなくなることも多い。そして保守パーツの入手はそれこそ困難をきわめるため結局そのまま「お蔵入り」してしまう。

しかし、Portableは今見ても非常に魅力的なMacである。単にコレクションとして飾ったり、動かないものを死蔵しておくのはあまりにもったいない。Portableが動かなくなる原因はだいたいパターンが決まっている。そこで「死んだPortableを復活させる」いくつかのTipsを公開しよう。

Portableの動作不良の原因の中で比較的たやすく解決できるものは以下のとおり。

❶バッテリーの劣化
❷ロジックボードのフューズ切れ
❸ロジックボードのコンデンサー不良
❹内蔵ハードディスクのクラッシュ

まず❶であるが、内蔵ハードディスクを搭載している機種の場合、Portableを起動するためには内蔵バッテリーが「健康」でなければならない。と言うのもPortable純正のACアダプター（1.5A）単体では内蔵ハードディスクから起動するには電力不足なのである。バッテリーの端子間電圧を計測して5.4V未満であればそのバッテリーはもう「死んで再充電できない」可能性がある。PowerBook 100シリーズ用のACアダプター（2Aまたは3A用）を用いると内蔵バッテリーなしでも起動可能となる。予備の健康なバッテリーが入手できれば一番よいのだが、現在新品のPortable用バッテリーはまず手に入らない。

内蔵ハードディスクはおろかフロッピーからでも起動できないときは❷か❸を疑ってみる。このうちフューズはロジックボードの中央部キーボード側に「F1」と書かれた部分にある。「BUSS 7A」と書かれた黄色いフューズ（7A用）は秋葉原や日本橋で容易に入手可能なので、もし断線していたら交換する。

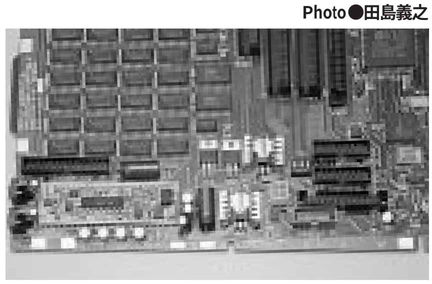
❸については、特に電源まわりのコンデンサーが劣化すると、起動しなかったり動作が不安定になったりする。悪くなるコンデンサーは大体決まっていて、バックライトなしのタイプのPortableではC25、C26、C27、C28、C17、C22のコンデンサー（いずれも47μF、16V）が元凶であることが多い。これらを同規格（耐電圧は余裕をみて25Vにしたほうがよい）の電解コンデンサーに極性を間違わないように交換する。そのほか、大型のC16、C20、C8（470μF、25V）やNMIスイッチ、

**●これがPortableだ！**



PowerBookシリーズと異なりボディは白い

Photo●田島義之



Portableのロジックボード（写真はバックライトなしのタイプ）。左下に見える4つ並んだ丸い部品が特に問題となりやすいC25～28コンデンサー

**●Portableに3.5インチハードディスクを搭載**



3.5インチSCSIハードディスクを接続するための変換ケーブル

●Portableに2.5インチハードディスクを搭載



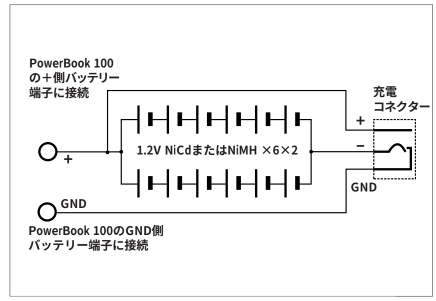
変換ケーブルによって2.5インチSCSIハードディスクがPortableでも使用可能となる

●Portable用自作バッテリー



使用不能になった純正バッテリーの中身を市販鉛蓄電池と詰め替え、純正品と同じ感覚で使えるようにしてみた

●PowerBook 100用自作バッテリー




単3型ニッケル水素蓄電池（またはニッカド電池）を用いる場合の回路図

リセットスイッチに直結したC15、C24（1μF、50V）にも注意する。

フロッピーディスクから起動可能で、しかも❶の問題がクリアされているなら内蔵ハードディスクが壊れている可能性がある。Portableの純正ハードディスク（CONNER製40MB）は3.5インチであるが、ケーブルがデスクトップ用ともPowerBook用とも異なるため（34ピン専用ケーブル1本でロジックボードと接続されている）、そのまま代替することはできない。そこで次にデスクトップ用3.5インチSCSI ハードディスクとPowerBook用2.5インチSCSI ハードディスクをPortableに搭載する「秘技」について説明する。

## Portableに 3.5／2.5インチ SCSIハードディスクを搭載する

Apple ComputerがWebサイトで配付しているPortableのDeveloper's Noteによると、34ピンの専用ケーブルを流れているのは、通常のSCSI信号（とディスク駆動用の+5V及び+12V）である。そこで変換ケーブルを試作し接続してみたところ、デスクトップ用50ピン3.5インチSCSI ハードディスクから起動できた。

デスクトップ用のハードディスクと交換する場合、ドライブユニットに記載されている消費電力に注意しよう。通常、これらの消費電力は純正ハードディスクより大きいため、交換後は起動時に必ずACアダプターを使用する必要がある。バッテリーのみで起動を行うと起動中にハングアップする場合がある(Quantum LP240S使用時)。詳細は「TS Factory」（http://www.freepage.total.co.jp/Tfactory/）に掲載されている。

同様にしてPowerBook用2.5インチSCSI ハードディスクを搭載することも可能である。ディスクの消費電力や振動に対する強さを考えるなら、こちらのほうが有利である。変換ケーブルの自作方法については「まりもの研究室」（http://square.umin.ac.jp/~itoh/）を見てほしい。

交換したハードディスクが認識されず、しかも外付けのSCSI機器を繋げると認識されるならターミネーション設定に問題がある。この場合、ターミネーション回路を自作すればよい。詳しくは「Portable Mobiler」（http://member.nifty.ne.jp/~barchetta/）を参照してほしい。

なお、変換ケーブルは実際に接続する前に、必ずテスターによる配線確認を行なってほしい。

## Portable用自作バッテリー

Portable用バッテリーは6V、5Ahの鉛シール蓄電池である。純正バッテリーを新品入手する事は不可能に近いと思われるが、代替品なら自作可能である。

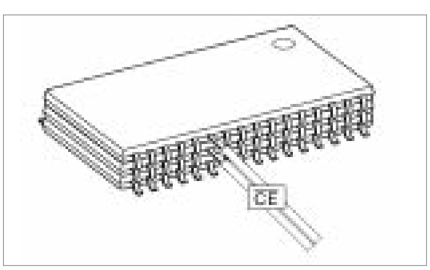
筆者はひろろんさんからの情報をもとに市販鉛蓄電池をPortable用に改造してみた。使用する鉛蓄電池は比較的入手容易な6V、4AhのGSまたはYUASA製のものである。これを写真のように純正Portableバッテリーの中身に組み込んだ。容量が純正バッテリーよりも20%ほど少ないので性能は劣るが、それでもバッテリー単独での起動は可能で、2時間ほど使用できる(「まりもの研究室」参照のこと)。

## PowerBook 100用 自作バッテリー

PowerBook 100の純正バッテリーもPortable用と同じ鉛蓄電池のため、長時間使用せずに放置しておくと自己放電してしまい端子表面に酸化皮膜ができて充放電できなくなる。使えなくなった純正バッテリーに代わるバッテリーを自作したので紹介しよう。

自作したバッテリーは電気店などで入手が容易な１セル1.2V/1550mAhの単3型ニッケ

●PowerBook 100用拡張メモリーの改造




このようにしてチップの上にチップを重ねる





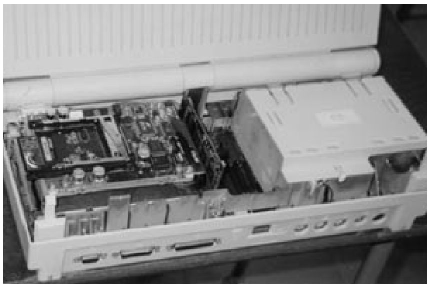
もとの2MBメモリー（上）と6MBに増設した拡張メモリー（下）

●トラックパッド化Portable



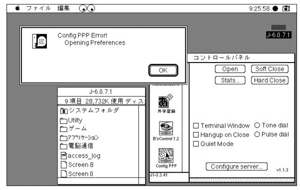
トラックボールユニットのスペースにトラックパッドを内蔵したところ

### ●PortableにPCカードリーダーを内蔵

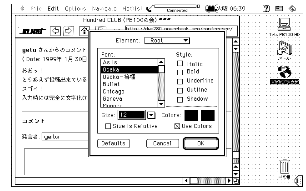


48MBのコンパクトフラッシュを起動ディスクとして使用している

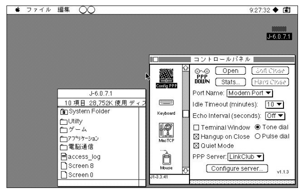
### ●PowerBook 100でインターネット



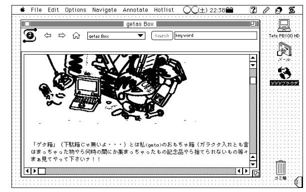
漢字Talk6.0.7.1では「システムフォルダ」のためエラーが出る



MacWebの設定



「System Folder」と改名するとエラーは出ない



Mosaicでホームページ「ゲタ箱」に接続したところ

ル水素（NiMH）バッテリーを電池ボックスに組み込み6本直列に接続して7.2Vとし、それを並列に接続して容量を倍にしている。PowerBook 100の純正バッテリーの仕様は6Vだが、7.2VのバッテリーでもPowerBookは動作するため、一般的で充電器等の入手が容易な7.2Vとした。

ニッケル水素バッテリーは純正の鉛バッテリーと充電特性が異なるため、PowerBook本体でフル充電することができない。そのため、充電用コネクターを設け充電器に接続して充電するようにした。充電コネクターは充電器を接続した際、影響が本体に及ばないようにバッテリーと本体との接続が切れ、充電器とバッテリーのみが接続するよう配線した。

この自作バッテリーはフル充電時3100mAhの容量があり、PowerBook 100を省電力設定を切った状態で約2時間動作させることができる。また、電池ボックスを使用しているので不良バッテリーセルを容易に交換することもできる。詳細は「ゲタ箱」（http://www1.linkclub.or.jp/~geta/）を参照してほしい。

## PowerBook 100用改造拡張メモリーモジュールの試作

最近では、PowerBook 100専用の6MB拡張メモリーの入手は難しくなってきている。そこで、4MBモデルのPowerBook100に付属していた2MBの拡張メモリーをもとに、6MBまで容量を拡張するテクニックを紹介する。

まず、2MBの拡張メモリーに搭載されている4個の各チップの上に2個のチップを被せる状態で増設する。次に、図のように増設したチップの/CEピン以外のすべての足を最下のチップの足にハンダ付けする。拡張メモリー上のコネクターには6MBまでのメモリーをアクセスする信号が配置されているので、増設したチップの/CEピンとそれに対応するメモリーコネクターのピンとを接続することで、6MB拡張メモリーが完成する。

増設するチップは薄いパッケージのものを用いないとロジックボードに搭載できないので注意が必要だ。

## そのほかのPortable改造

藤井氏は写真のようにPortableにトラックパッドを内蔵した。トラックボールユニットのおさまる部分に市販のトラックパッドが埋め込まれている。

筆者はハードディスクの代わりにPCカードリーダーを内蔵した。ここにコンパクトフラッシュ（48MB）を挿入し、起動ディスクとしての利用が可能である。ハードディスクを搭載していないため、まったくの無音環境を実現できた。改造方法は「Portable Mobiler」に掲載されている。

## PowerBook 100 & Portableでインターネット

PowerBook 100やPortableでもインターネットに接続してメールのやり取りや（システムによっては）Webブラウズも可能である。そこで漢字Talk 6.0.7.1および7.1以降でのインターネット接続方法を紹介する。

**●漢字Talk 6.0.7.1**

**接続機能拡張等：MacPPP 1.1.3（ConfigPPP＆PPP）、MacTCP 1.1.1**

漢字Talk6.0.7.1用の日本語にローカライズされたインターネット接続機能拡張はないと思われる。MacPPP 1.1.3やMacTCP 1.1.1は英語環境用であり、漢字Talk 6.0.7.1ではシステムフォルダを認識できず、初期設定書類を作成できないため、エラーを起こして起動しない。しかし単純なことだが、半角カタカナの「システムフォルダ」を半角英字の「System Folder」に変更することにより、この問題を回避できる。

ただし、FAXソフトなどとコンフリクトを起こす可能性があるため、機能拡張を読み込む順番を変えたり、コンフリクトを起こす機能拡張を外す。漢字Talk 6.0.7.1で動くインターネット用のソフトは、メーラーのEudora-J1.3.8.5、FTPソフトのFetch 3.0.1がある。Webブラウザーは残念ながら日本語環境下で動作するものは見つかっていない（System 6環境で動作するMacWWW 1.03というテキストブラウザーがあるが、Powerbook 100では動作しない）。

**●漢字Talk 7.1以降**

**接続機能拡張等：MacPPP 2.5（ConfigPPP＆PPP）、MacTCP J1-2.06**

漢字Talk 7.1以降のシステムでは、アップルが販売していたインターネットスタータキットおよび漢字Talk 7.5.3に含まれるシステム機能拡張を利用するのがもっとも簡単である。また、漢字Talk 7.1以上のシステムではWebブラウズが可能であるが、現在出回っているメーラーおよびWebブラウザーのほとんどが、68020以上のCPUを要求しているため、それらは使用できない。前述のEudora-J 1.3.8.5、Fetch 3.01はもちろん動作するが、PowerBook 100で動作し、日本語表示が可能なWebブラウザーには、NCSA Mosaic 1.03

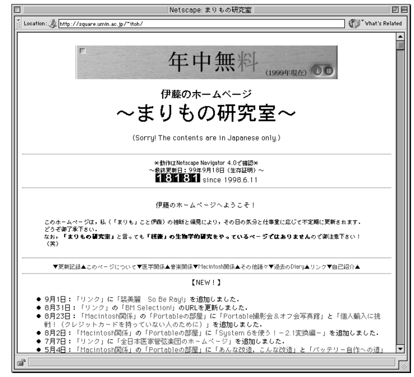
## ●Portableでモバイル！



東京駅に現れたPortableモバイラー@京都。10kg近い荷物にもへこたれてはいけない

## まりもさんとしんかいさん

http://square.umin.ac.jp/~itoh/
http://member.nifty.ne.jp/~barchetta/




「今度のコンシューマー向けのポータブルはハンドルがつくらしい」iBookが発表される数1ヵ月前に、こんなニュースが流れたとき、ニヤリとしたあなたは、そうとう古くからのPowerBookマニアである。1989年、最初のPowerBookが生まれる2年前にAppleが開発した、最初のポータブルマシンが、Macintosh Portableである。MPUには16MHzの68HC000を搭載、9インチの液晶ディスプレイを持ち、バッテリーでなんと9時間も動作した。取り外して左右の入れ替えが可能なトラックボールとキーボードを持ち、スペースシャトルにも載せられた、最初のノートパソコン。しかし、6.4kgの重量が欠点だった。まりもさんやしんかいさんのサイトを訪れると、Macintosh Portableや、PowerBook 100などのいにしえのモデルをレストアし、活用する方法を見ることができるだろう。そこまでやるか？　やるのである。

（POWERBOOK ARMY代表／飯嶋　淳）



それでも、東京までの長い道のりがもたらした疲労は隠しとおせない



Portableと携帯電話と接続ケーブルさえあればどこからでも通信可能



素晴らしいキーボードのおかげで電車の中でも物書きに耽ることができる(ただし混雑時には控えるべきであろう)



Portableはその構造から携帯電話の置き場所にも困らない。生みの親であるジャン・ルイ・ガゼー氏に深く感謝しよう




Portableの使用は場所を選ばない。体力さえあれば駅のホームでも本体を片手持ちして使うことができるのだ

に日本語パッチを当てたMosaic 1.03JとMacWeb 1.00A3がある。

なお、Mosaic 1.03JはGIF画像を表示できるが、MacWeb 1.00A3では画像表示ヘルパーアプリケーションがPowerBook 100では動作しないため、テキストのみ表示される。JPEG画像はPowerBook 100で動作するJPEG画像表示ソフトが存在しないため、表示できない。PowerBook 100のモニターは白黒２階調でドットも粗いため、Webブラウズはテキスト中心と考えたほうがよい。また両ブラウザーともフレームなどには未対応なため、Javaや最新のHTMLに対応したホームページなどは見ることはできない（詳細は「ゲタ箱」と「PowerBook 100's World News」（http://www.caneneco.com/）を参照してほしい）。

## Portableでモバイル！

さて、バッテリーが復活して、ハードディスクも容量が増して、インターネットにも接続することができることがわかったので、モバイルを実践しよう。モバイルといっても、ただ持ち運ぶだけではつまらないので、出かけた先から通信することを目的にする。

ここで用意するものは、Portable、キャリングケース、携帯電話、携帯電話通信アダプター、インターネット関連のソフトである。通信には、内蔵モデムを使ってグレーの公衆電話から行なってもよいが、ここでは携帯電話と携帯電話通信アダプターを用いた。その様子は一連の写真を御覧戴きたい。

結論からいうと、Portableでモバイルすることは十分可能である。Portableは動作条件にもよるが、iBookと同等の6時間程度のバッテリー駆動が可能であるため、一日中モバイルしていることも可能である。東京・大阪間を新幹線で移動している間、ずっとMODフォーマットの音楽を聴いて、なおかつ2時間以上仕事をこなす、そんな使いかた方も可能である。

## 関連サイト

●伊藤のホームページ〜まりもの研究室〜
http://square.umin.ac.jp/~itoh/
●the Portable Mobiler Page
http://member.nifty.ne.jp/~barchetta/
●ゲタ箱
http://www1.linkclub.or.jp/~geta/
●TS Factory
http://www.freepage.total.co.jp/Tfactory/
●PowerBook 100's World News
http://www.caneneco.com/
●RIKIBON〜最高のPowerBookを創る会〜
http://www.powerbook.org/rikibon/
●Hundred Club分室
http://hundredclub.portable.to/

## 注意!!

原則として、PowerBookをユーザーが分解したり改造した場合、メーカーやショップから保証が受けられなくなる。すべて自己の責任において行なってほしい。筆者およびMACLIFE編集部はこの記事によって生じた、いかなる事態に関しても一切の責任と保証を負わないので、覚悟を決めてから実行すること。また、質問にも一切答えられません。

## ●おまけ

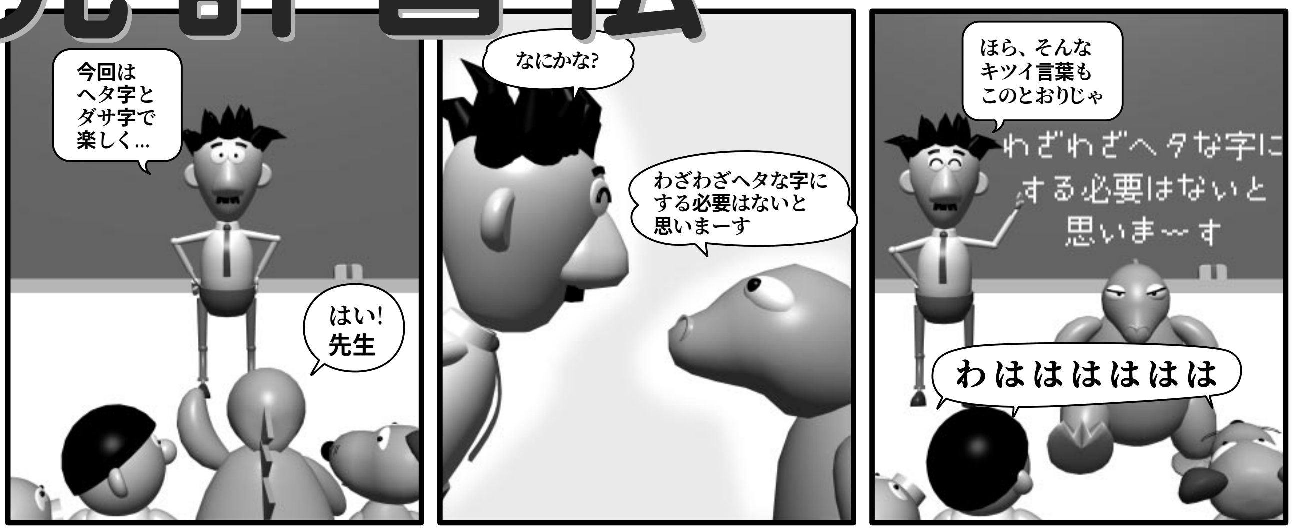




実物のPortableにはなかなかお目にかかれないが、Potable好きが集まるとこういう光景も可能となる

# オンラインソフト 免許皆伝

●毛利司津江● http://home.att.ne.jp/gold/gapi/




へた字とダサ字で脱力満点！フォント管理もラクチンだ！

## 『へた字7／ダサ字／へたダサヘルパー／Geneva2Osaka／FontList』の巻

Osakaフォントはもう飽きた
文字化けなんて見たくもない
フォントに関するエトセトラ
みんなまとめて解決だ！

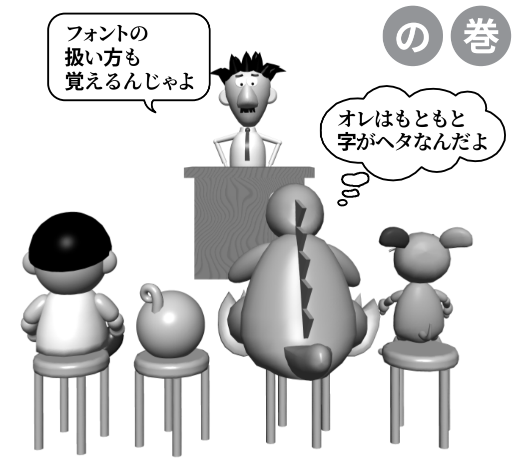
**へた字7**
作者●柳澤一邦氏
バージョン●1.2
ジャンル●フリーウェア
URL●http://www.root.or.jp/yngsw/hetaji.html

**ダサ字**
作者●保崎哲也氏
バージョン●1.1
ジャンル●フリーウェア
URL●http://www2s.biglobe.ne.jp/~tet/

**へたダサヘルパー**
作者●高野琢巳氏
バージョン●1.0.5
ジャンル●フリーウェア
URL●http://www06.u-page.so-net.ne.jp/rb3/ttakano/HetaDasa/

**Geneva2Osaka**
作者●いいむらなおき氏
バージョン●1.30
ジャンル●カンパウェア
URL●http://hp.vector.co.jp/authors/VA010318/

**FontList**
作者●浅利哲氏
バージョン●1.4
ジャンル●フリーウェア
URL●http://www.asari.meguro.tokyo.jp/




## フォントを変えよう

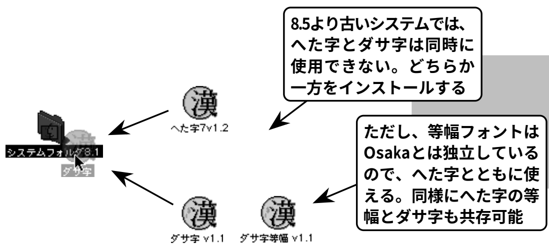




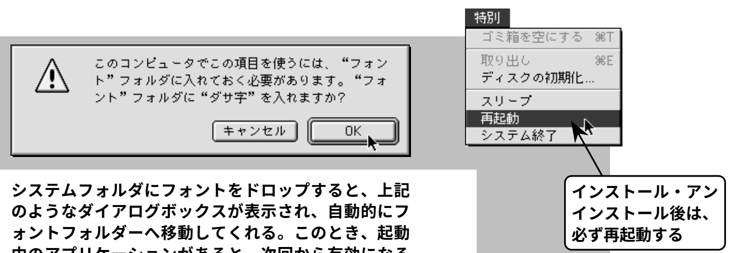

# インストールは システム次第

意外かもしれないが、フォントが苦手という人は多い。再起動が必要だったり馴染みのないダイアログボックスが表示されたりと、いまひとつ取っつきにくい部分があるためだろう。事実、イロイロと注意も必要だが、今回のようなフォントなら比較的簡単である。ただし、OSのバージョンによって操作が異なるので注意して作業を行なってほしい

## へた字・ダサ字のインストール （8.5より古いシステムの場合）




へた字やダサ字は、Osakaフォントのひらがなやカタカナ部分を独自のデザインに置き換える特殊なフォントだ。8.5より古いシステムならインストールは簡単で、どちらか一方をシステムフォルダにドロップするだけである。元に戻したいときは、フォントフォルダーから出して再起動すればよい。なお、へた字の等幅フォントは作者のWebページに用意されているので、興味のある人はアクセスしてみよう




システムフォルダにフォントをドロップすると、上記のようなダイアログボックスが表示され、自動的にフォントフォルダーへ移動してくれる。このとき、起動中のアプリケーションがあると、次回から有効になるというダイアログボックスが表示され、何事もなかったかのようにFinder画面に戻る。しかし、このままでは表示されない。忘れずにMacを再起動しよう

### 8.5より古いシステムにおける注意点（バグじゃないヨ）

**■同時に使えない**

へた字やダサ字は、どちらもOsakaフォントを置き換える構造なので、同時には使えない。ただし、等幅フォントは異なる書体の組み合わせでも使用可能

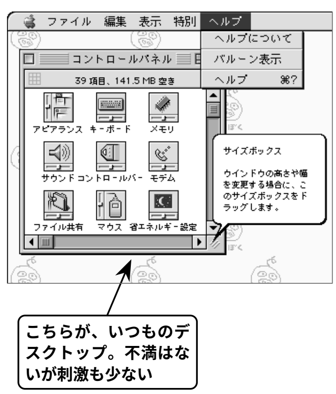
**■印刷できない**

Osakaフォントで印刷すると、プリンタの解像度に応じたTrue Typeフォントが使われるため、ビットマップのみのへた字やダサ字などは出力されない。印刷したい場合は、ASL Fontなどの、Osakaの文字を拝借した非TrueTypeフォントを指定する

**■ポイント数によっては表示されない**

へた字やダサ字などは、特定のポイント数のビットマップ（点で構成された）文字しか用意されていない。したがってワープロなどで他のポイント数を指定すると、OsakaのTrue Typeフォントが表示され、へた字やダサ字は表示されない

●インストール前




こちらが、いつものデスクトップ。不満はないが刺激も少ない

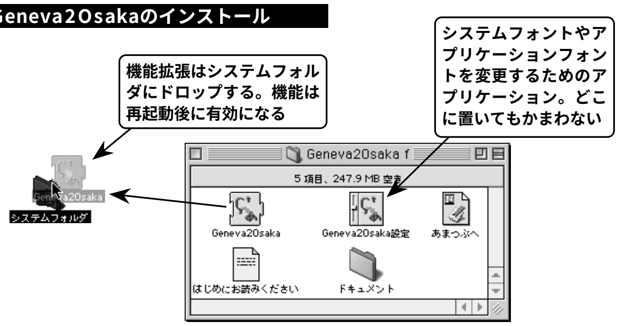
メニューやタイトルバーなど、Osakaフォントを使っている部分のひらがなやカタカナ、音引きなどは、すべて大変身する




●インストール後

再起動後のデスクトップ。何も設定しなくても、ご覧のようにクラクラする環境が出現する。これはOsakaフォントを乗っ取る形でフォントが置き換えられたためで、Osakaを使っている箇所はことごとくご覧のような脱力感いっぱいの文字になる。病みつきになる人が続出するのもうなずけるデザインだ

## Geneva2Osakaのインストール



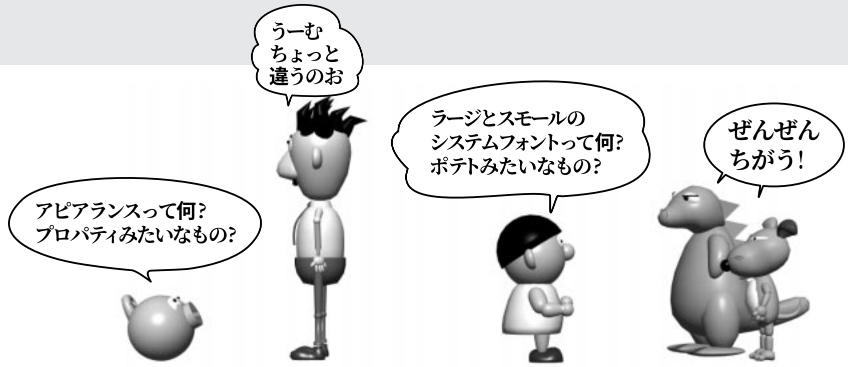

Geneva2Osakaは、海外のアプリケーションでリストなどの表示フォントが欧文のGenevaに固定されているために起きる文字化けを解消し、特殊文字が半角カタカナに文字化けしてしまうのを修正してくれる機能拡張だ。Font Patchin'とNoMeMo Bustersの機能が一緒になったものと考えるとわかりやすい。Geneva2Osakaの特長は、設定する項目がない点だ。文字どおり、インストールしたら忘れてしまっても問題ない。このシンプルさが、大幅にユーザーを増やしている点である

**なごみ系というか癒し系というか、なんとも説明しがたいフォントがへた字やダサ字である。しかし、その効果は絶大で、堅苦しいデスクトップがへなちょこに、普通のマニュアルがお笑いに大変身してしまう。今回は、ユーザーから絶大なる支持を得ているへた字とダサ字を中心に文字化け解消やフォント一覧など、フォント周りを快適にするためのソフトを紹介する。また、Mac OS 8.5以降で、へた字やダサ字を使う方法も説明するので、表示されなくなり堅くなってしまったあなたも必見である。**

オンラインソフト

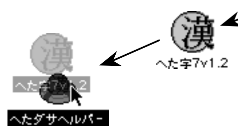
# 免許皆伝

# アピアランスでいくざんす



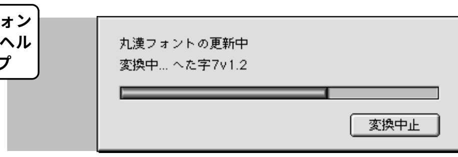

Mac OS 8.5以降のシステムではフォントの形式が変更されたため、へた字やダサ字をそのまま使うことはできない。そこで登場するのがへたダサヘルパーだ。このソフトを使えば、へた字やダサ字の丸漢フォントを新形式のフォントに変換してくれる。それにしても、こんなソフトまで存在するとは、ヘルパーの作者とへた字やダサ字ファンの情熱には驚かされるばかりだ

## へた字・ダサ字のインストール（8.5以降のシステムの場合）

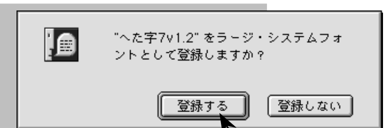



変換したいフォントをへたダサヘルパーにドロップ

操作や手順は多いが、内容は簡単なのでリラックスして作業を進めよう。まずはハードディスクに5MB以上の空きがあることを確認し、変換したいフォントをへたダサヘルパーにドロップする。これだけで変換作業は完了だ。もし変換したいフォントがフォントフォルダーにある場合は、そこからデスクトップなどに移動し、Macを再起動してから作業を続けること

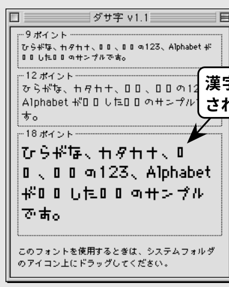



変換の進行状況を示すダイアログボックス。機種にもよるが、変換時間は十数秒ほどだ




後述するアピアランスコントロールパネルに登録するかどうかを聞いてくるので、とりあえず登録しておく。ただし等幅フォントはシステムフォントに登録できないため、このダイアログボックスは表示されない

### ●変換に失敗した場合の例



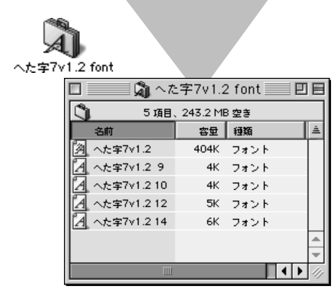

漢字部分が変換されていない

システムにインストールする前に、正常に変換されたかどうか確認しておこう。スーツケースフォントをダブルクリックして開き、サイズが一番大きい書類を開いてほしい。このウインドウで、上図のように文字部分が「□」で表示されるようなら変換失敗である。そんなときは、失敗したフォントはごみ箱に移動し、Shiftキーを押しながらMacを再起動して最小限の機能拡張だけを読み込み、もう一度変換作業を行なおう。また、メモリコントロールパネルを開いて、仮想メモリをオンにし、実メモリーの2倍程度のメモリーを割り当ててから作業を行なうとうまくいく場合があるそうだ




変換したスーツケースフォントをシステムフォルダにドロップ

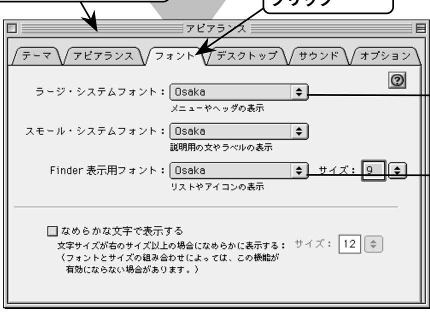
完成したフォントは独立しておりOsakaフォントとは無関係である。つまり、へた字とダサ字、その他のフォントは共存できるのだ。インストールはシステムフォルダにドロップするだけで、再起動する必要はない。ただしメニューやタイトルバーの表示など、システムフォントとして使うには、もう少し作業が必要になる




これで新形式のフォントが完成だ。なお、このスーツケースフォントには、元のへた字やダサ字にはない、Osakaフォントの一部（漢字部分など）が含まれている。これらはアップルの著作物なので、このスーツケースフォントは再配布できない。注意しよう

コントロールパネルフォルダーからアピアランスを開いたところ

フォントタブをクリック




数あるMacの機能の中でも「名前からは内容がわからないで賞」の最右翼にいるのがアピアランスだ。システムフォントやファインダーのフォント設定は、このアピアランスコントロールパネルで行なう。なお、スモール・システムフォント、いわゆるアプリケーションフォントには、へた字などは登録されない。これを変更したい場合は、次の項で説明するGeneva2Osakaのアプリケーションを利用する




へたダサヘルパーで変換した後に表示された「ラージ・システムフォント」とは、これのこと。ここにはなんらかの方法で登録されたフォントしか並ばない

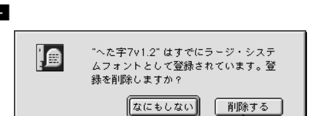



こちらはファインダー用のフォント。インストールされている全フォントが表示される

### ●リストから削除するには




ラージ・システムフォントのリストから削除したいフォントをドロップ

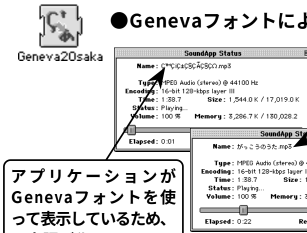



リストから削除する。フォント自身が削除されるわけではない

変換したフォントは、フォントフォルダーから出してしまえばラージ・システムフォントにも表示されなくなる。あえてリストから削除する必要はないが、気になるときは、その変換済みフォントをへたダサヘルパーにドロップしよう。気が変わって再登録したくなったら、もう一度ドロップすればよい

# Genevaと書いて ジュネーブと読む

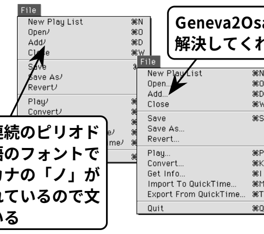
●Genevaフォントによる文字化け解消



Geneva2Osakaが Osakaフォントに 変更してくれた

アプリケーションが Genevaフォントを使って表示しているため、日本語が化けている

●特殊な文字による文字化け解消

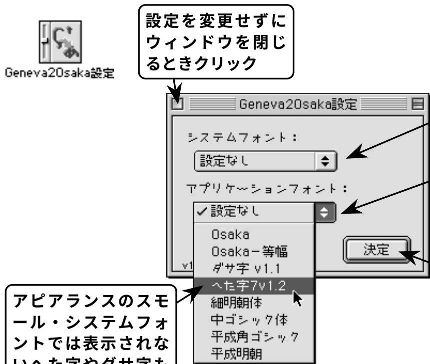


Geneva2Osakaが 解決してくれた

欧文では三連続のピリオドだが、日本語のフォントでは半角カタカナの「ノ」が割り当てられているので文字化けしている

設定する箇所が少ないため解説する面積が小さくなってしまったGeneva2Osakaだが、その機能は決して小さくはない。ご覧のように、欧文のGenevaに固定されているため起きる文字化けと、日本語書体の半角カタカナに化けてしまう特殊文字の文字化けを、何の設定も行なうことなく解消してくれる。簡単だけどすごい!

●Geneva2Osaka設定



設定を変更せずにウィンドウを閉じるときクリック

メニューバーやタイトルバーなどに使われるシステムフォント（ラージ・アプリケーションフォント）を選択。Mac OS 8.5以降ではアピアランスの機能を使っているため、変更は即座に反映される

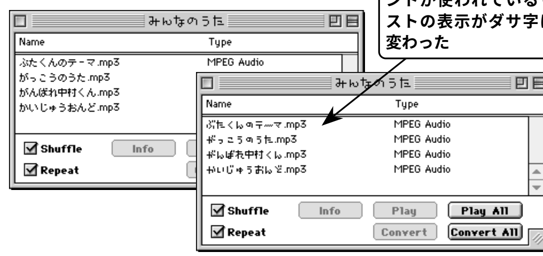
リストや説明の表示に使われるアプリケーションフォント（スモール・システムフォント）を選択。再起動後に有効になる

設定を有効にして閉じるときにクリック。ただし、「設定なし」にしているとOsakaに戻ってしまう。変更したくないときは左上のクローズボックスをクリックすること

アピアランスのスモール・システムフォントでは表示されないへた字やダサ字も選べる！

Geneva2Osaka設定では、システムフォントとアプリケーションフォントの設定を行なう。文字化け用の設定は含まれていない。これらはMac OS 8.5以降のアピアランスを使ったフォント変更と基本的には同じだが、全フォントが選べるため、へた字やダサ字をアプリケーションフォントに指定できる。なお、システムフォントにはコマンドキーのマークなど特殊な文字が含まれている必要がある。これがない書体を指定すると、メニュー表示などがおかしくなるので注意すること

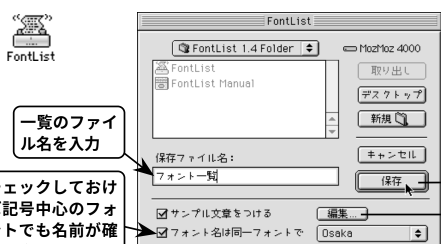
●アプリケーションフォントの変更



アプリケーションフォントが使われているリストの表示がダサ字に変わった

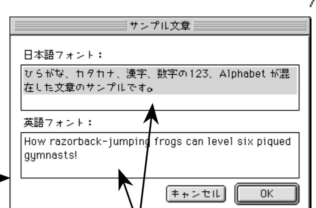
Mac OS 8.5より古いシステムでは、システムフォントもアプリケーションフォントもOsakaに指定されているため、どちらもへた字やダサ字で表示される。しかし8.5以降では独立して指定可能になったため、何も指定しないとリストなどはOsakaのままだ。Geneva2Osaka設定を使えば、アプリケーションフォントも変更できるので、上図のように快適な環境が作れる

## FontListでインストールされているフォントを確認



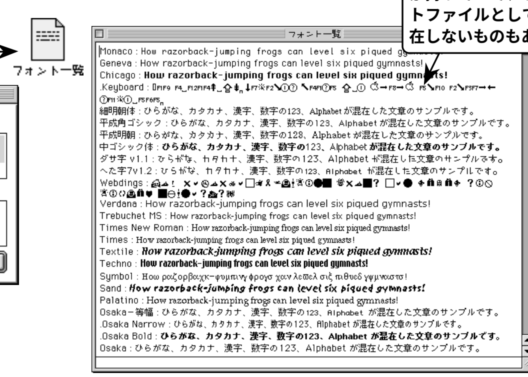
一覧のファイル名を入力

チェックしておけば記号中心のフォントでも名前が確認できる



サンプル用の文章を入力する。ただし、変更は今回限りで保存されない

FontListはMacにインストールされているフォントの一覧をスタイル付きのテキスト書類として書き出してくれるアプリケーションだ。フォント名からスタイルが思い出せなくて困っているときや、不要なフォントを探したいときに重宝する小粋なソフトである



Simple Textで開いたところ。システム自身が持っていて、フォントファイルとしては存在しないものもある

ついつい増えてしまうフォントだが、入れすぎはメモリーの無駄だしフォントの選択も遅くて面倒になる。また、経験則ではあるが、システムが不安定になることもあるようだ。この一覧を使って、追加したまま使っていないフォントはフォントフォルダーから出しておくとよいだろう




フォントをインストールしたけど文字が変わらないゾ、という人は、使っているアプリケーションのフォント設定を変更しよう。8.5よりも古いシステムではOsakaフォントが置き換わるため問題はないが、8.5以降では独立したフォントなので手動で指定しないと反映されない。そこさえクリアしてしまえば、快適で脱力感一杯の環境が出来上がるはずだ。試しに、へた字でEメールを表示してみよう。ニュースも苦情も原稿の催促も、思わず笑ってしまうに違いない。ストレス解消にもってこいである。

花谷育雄

エッセイ

# 1999年の今年こそはきっと・・・・

あれから、もうすぐ1年になろうとしている。昨年の11月18日、高校生の娘と2人で午前3時過ぎに早起きし、自宅に隣接する青空駐車場まで出向いて、暫しのあいだ夜空を見上げた。これから冬がやってくる晩秋の季節だが、未明の東空に輝いているのは春を告げる星座たちで、しし座の一等星レグルスがひときわ明るい光を放っていた。そう、マスコミでも話題になった「しし座流星群」を観望するためである。

残念ながら、日本ではピークの時間を外れていたらしく、流星雨とまではいかなかったようだ。おまけに、少し雲が出始めて肌寒くもなったので早めに室内に戻ったら、そのあとひときわ明るい大流星が出現した様子で、今でも悔いが残っている。それでも、1時間あたり数十個の「流れ星」に出会うことができた。

「しし座流星群」のもとになっているのは、33年の周期で太陽に接近するテンペル・タットル彗星が、細長いだ円軌道上にまき散らしたダスト（塵）と言われている。このダストの帯と地球の軌道が交差するときに、せいぜい砂粒程度の大きさのダストが大気中に飛び込んできて、瞬間的に燃え上がるのが流星の正体というわけだ。その速度は秒速70キロにも達するらしい。

彗星は太陽に接近したとき、表面が蒸発して大量のダストを放出し、それは年数とともに次第に拡散していく。つまり、流星群のもとになる母彗星が太陽に近づいた年の前後数年間が、ダストの密度も濃く、たくさんの流星の出現が期待できる。テンペル・タットル彗星の接近が確認されたのは昨年だ。また、「しし座流星群」の場合は、西暦年数の下2桁が33の倍数の年を中心に、流星雨と呼ばれるような華々しい現象が起きている。事実、33年前の1966年11月17日、アメリカ西部では1時間に15万個、ピーク時には毎秒40個もの流星が観測され、はじめて写真にも記録された。

今年は1999年、何とも期待が高まる年だ。それに加えて、今後は木星の引力の影響で軌道が少しずれるため、流星雨が出現するチャンスは最後になるかもしれないという話もあがっている。ここはぜひ、Something ELseのようにラストチャンスをゲットしよう。

流星を観察するには、視界が広く開けた場所で、肉眼で見るのがいちばんだ。どこに飛ぶのかわからない流星は、気ままに寝ころがって楽しもう。防寒対策と退屈しのぎのアイテムだけは忘れずに。もちろん、後者が不要になるほどの現象が起きれば言うことなしだが、筆者は最近話題のMP3のお世話になるつもりだ。MacでMP3データを作成したり聴いたりするには、森本尚孝氏が運営している「MP3の道具箱 for Macintosh」（http://www.naotaka.com/mp3/index.html）を覗いてみるのがよい。Macのフリーウェアだけで MP3を作るための図解入り手引書（原作者：Gregory Chan氏）を日本語化した、「Making MP3s on the Mac 1.2J」も入手可能だ。

本誌12月号が書店に並ぶ11月18日は、少し早起きして星空を眺めてみてほしい。何しろ今世紀最後の、そしてひょっとしたら最大級のスペクタクルショーに出くわすかもしれないのだから。

## 快適MACLIFE FORUM Library最新登録ソフト

| LIB No. | 登録No. | FileName | バイト数 | 参照数 | コメント（1999年08月30日登録分まで） |
|---|---|---|---|---|---|
| LIB:03 | 502 | 直角交／推理と造型のパズル | 196480 | 17 | 3種類の管を指定された数だけ組み合わせ、2つの球体をつないでいくパズルゲーム |
| | 501 | Golden2-Ver1.1.3 | 454016 | 21 | Macintosh上でハムスターを飼うソフト。眺めているだけでも楽しいが、最低限の世話は必要 |
| | 500 | 金魚すくい 1.4 [vup] / GAME | 413824 | 77 | 縁日でおなじみの金魚すくいゲーム。金魚の動きなどがリアルになっている |
| LIB:04 | 232 | Web Confidential 1.3J | 331520 | 11 | ユーザー ID、パスワード、登録番号、クレジットカード番号、暗証番号などのデータを管理 |
| | 231 | PetTerm 68K 4.0i / 通信ソフト | 353664 | 16 | 自動巡回とチャット機能に優れたNifty-Serve用通信ソフト68K版。インターネット経由でも可能 |
| | 230 | PetTerm PPC 4.0i / 通信ソフト | 404992 | 32 | 自動巡回とチャット機能に優れたNifty-Serve用通信ソフトPPC版。インターネット経由でも可能 |
| | 229 | DigitalSite1.6.6J / HTML Editor | 1977984 | 10 | HTMLを知らなくてもマウスとツールバーのボタンでホームページを作成可能に |
| | 227 | Bridge 1 プラグイン 1.0J | 10880 | 13 | Bridge 1 SoftwareのWebサイト内のページを検索するためのSherlockプラグイン |
| | 226 | ポスペマクロ4Jnifty v7.sit | 7296 | 12 | PostPetで送られてきたペットメールの吸い込みを回避して受信するためのJniftyプラグイン |
| LIB:05 | 963 | StartupDoubler 2.1J | 117504 | 7 | ソフトウェア加速によってハードディスクのパフォーマンスを向上、Macintoshの起動時間が加速 |
| | 961 | Menuette 1.3J | 566272 | 9 | メニューバー内のテキスト（ファイル、編集、特別などの）の代わりにカラフルなアイコンを表示 |
| | 960 | FileBuddy 5.3.1J | 1270144 | 15 | 定番のファイルやフォルダーを処理するための高機能ファイルユーティリティ |
| | 959 | SwitchRes 2.1.2J | 464896 | 10 | モニターの解像度とカラー階調を調整できるユーティリティ |
| | 958 | ぷれーんの達人ver1.1.1 | 348928 | 16 | ブラウザーやメールソフトからテキスト保存したファイルを段落推定を行ないプレーンテキストに変換 |
| | 955 | LaunchBar1.3.4 | 225152 | 17 | PowerBookなどの画面が小さいMacでも重宝する省スペースのアプリケーション型ランチャー |
| | 953 | Date！ 1.5.sit | 6528 | 18 | ドラッグ＆ペーストしたフォルダーの名前に日付を入れてくれるAppleScript |
| | 952 | ラーメン・タイマー | 6528 | 24 | カップラーメン用3分間タイマー。ダブルクリックで起動してOKボタンを押すだけ |
| | 951 | Kineticon 1.6.1J | 1228544 | 10 | デスクトップ上で通常アイコンの代わりにアニメーション化したアイコンを表示させる機能拡張 |
| LIB:06 | 532 | iMaCalc 1.0 | 111872 | 10 | 6色の電卓カラーを選択でき、自分の好みに合わせて楽しく使用できるMacintosh用の電卓 |
| | 531 | ClockTime 4.1 | 562560 | 14 | ストップウォッチ機能とGMT表示を持つカラフルなアナログ時計のJavaアプレット |
| | 530 | Play it Cool 3.3.1J | 444544 | 9 | QuickTimeムービー、QuickTime VRムービー を再生、編集できるユーティリティ |
| | 528 | LockOut 1.4J | 481664 | 8 | あなたがMacintoshから離れている間に他人のアクセスを防止するアプリケーション |
| | 525 | GraphicConverter 3.6.2US | 2475648 | 29 | あらゆる形式の画像ファイルを変換、加工できる便利な定番グラフィックソフトの最新版 |
| | 523 | SwitchBack 2.8J | 235648 | 9 | 2つのフォルダーをリンクしてファイルを最新バージョンにシンクロナイズするためのユーティリティ |
| LIB:07 | 343 | Quit CSM 1.7.6 J | 208384 | 12 | 起動中のアプリケーションをアクティブにせずに、個別、あるいはすべて終了することができるCSM |
| | 342 | Favorites CSM 1.1 | 4864 | 15 | よく使う項目をコントロールバーからアクセス可能にしてくれるモジュール |
| | 341 | World Clock CSM 2.6 J | 223232 | 13 | 最大24都市もの時計を同時に表示できるコントロールストリップモジュール |

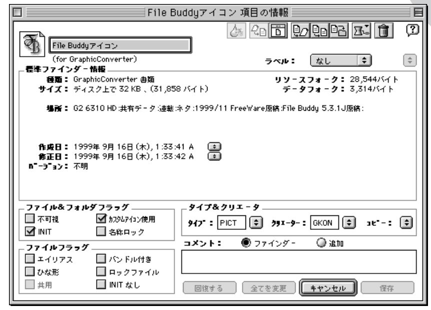
※MACLIFEステーションは、8月1日からリニューアルされ、快適MACLIFEフォーラムになりました。快適MACLIFEフォーラムへの参加は、GO FMACLIFEです。
※この欄で紹介しているソフトウェアは、NIFTY SERVEの快適MACLIFEフォーラム内のデータライブラリの各コーナーに登録されています。
※なお、CD-ROM MACLIFEには、作者の許可を得たソフトのみ収録。使用にあたっては、ファイルに付属している説明書（ReadMeファイル）を必ずお読みください。

## FileBuddy

CD-ROM

バージョン：ver.5.3.1J
ジャンル：ユーティリティ
作者：Laurence Harris <filebuddy@skytag.com>
日本語化：Bridge 1 Software
<http://www.bridge1.com>
分類：Shareware
代価：5,400円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB5-960

ファイルやフォルダーの詳しい情報の表示や編集、検索。複数項目の名前の一括修正。カスタムアイコン作成。任意の場所でエイリアスの簡単作成。ボリュームとフォルダーの目録作成、さらに目録を比較、変更されたファイルやフォルダーについての報告。壊れたエイリアスの自動修復。デスクトップの再構築。不可視ファイルを含むファイルやフォルダーの移動・コピー、リソースやデータフォークの削除など、ファイルやフォルダー処理に不可能の文字はない定番ユーティリティ。

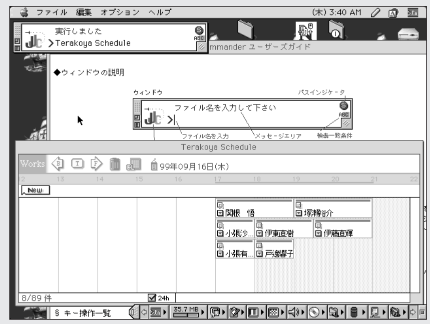



## JJCommander

CD-ROM

バージョン：ver.1.15
ジャンル：アプリケーション
作者：白井満浩 <GFE00501@nifty.ne.jp>
http://www.ne.jp/asahi/jj/workshop/
分類：Shareware
代価：1,000円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-535

ファイル名を入力してドキュメントやプログラムを起動できる一風変わったランチャーだ。ファイルの検索機能も兼ね備えているので、部分的にしかファイル名を覚えていなくても、検索し実行することが可能。入力したファイルの履歴も自動的に作るので、一度実行したファイルは覚えてくれ、使い込むほどに便利になっていく。階層深くアイコンを追いかける必要もなく、アイテム数が増えてきても、ごちゃごちゃせず、省スペースなコマンドベースのランチャー。

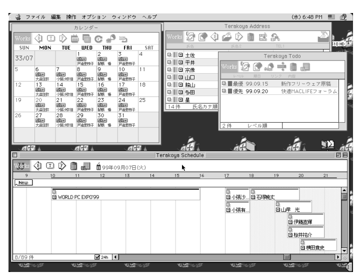


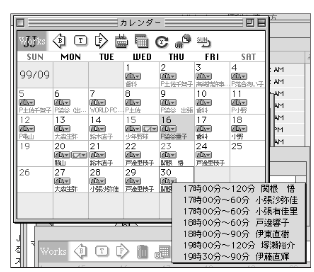

## JJWorks

CD-ROM

バージョン：ver.2.35
ジャンル：アプリケーション
作者：白井満浩 <GFE00501@nifty.ne.jp>
http://www.ne.jp/asahi/jj/workshop/
分類：Shareware
代価：2,500円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-536

JJWorksは、住所録、スケジューラー、ToDo、カレンダー、ダイアリー、ホワイトボードの機能を持った個人向けの情報管理ツールだ。実は今回筆者は、あれほどこだわって長年愛用していたPIMソフトDayMaker3.03から、あっさりと、このJJWorksへ完全に乗り換えたところだ。ここ数年来、2001年以降使えない可能性が高いDayMakerに代わる使いやすいPIMソフトを探し続けていたが、今回やっと、しっくりくるものに巡り会えたという感じだ。PIMソフトに必要な機能はほとんど備えており、ドラッグ＆ドロップを基本とした直観的でわかりやすいインターフェイスで、すぐに違和感なく使い始めることができた。新しいバージョンからは、タブ表示や、アイコンのポップアップガイダンスの機能も加わり、かなりこった仕上がりになっている。JJWorksのすべてのデータ、書類、プログラム、フォルダーをホワイトボードでリンクすることができるため、プロジェクトごとにホワイトボードを作成すると、仕事の進捗管理や、連絡先、作業中のデータなども一括管理可能と、かなり本格的な仕上がりだ。さらに、このホワイトボードにリンクしたアイテムは、ダブルクリックで即アクティブにできる。






## Menuette

CD-ROM

バージョン：ver.1.3J
ジャンル：ユーティリティ
作者：Tiger Technologies
<support@tigertech.com>
日本語化：Bridge 1 Software
<http://www.bridge1.com>
分類：Shareware
代価：2,800円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB5-961

メニューバー内のテキスト（ファイル、編集などのメニュータイトル）の代わりにカラフルなアイコンを表示してくれるコントロールパネル。メニューバーのスペースを節約したい人や自分のMacを見やすくシンプルにしたい場合には最適。漢字Talk 7からMac OS 9まで対応。表示するアイコンはアニメ化させることも可能！　あらかじめ登録済みの140個以上のアイコンのうち、50個以上がアニメ化されている。アイコンエディターでカスタムアイコンも簡単に作成可能。

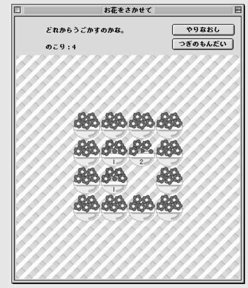


## お花をさかせて

CD-ROM

バージョン：ver.1.10
ジャンル：ゲーム
作者：伊藤日出夫 <hideo@spice.or.jp>
http://www.spice.or.jp/~hideo/
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB3-505

小学校の低学年から楽しめる、パズルゲーム。赤い花の咲いたプランターの絵の駒を動かして、プランターの花を全部満開にすると一面クリア。全部で20面ある。隙間の上下左右の駒をクリックすると駒が移動してプランターの花が一段階ずつ咲いていく。プランターに表示されている数字は満開になるまでの駒の移動回数。ただし、同じ駒は続けて動かすことはできない。駒を動かす順番をよく考えて動かさないと満開にできない場合も出てくる。子供向けと、保護者向けの2種類の遊び方の説明書、問題エディターも同梱されている。

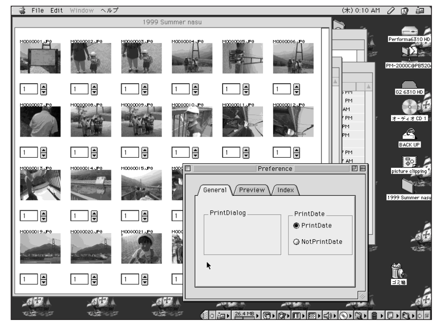



## RocketPrint

CD-ROM

バージョン：ver.0.6.1
ジャンル：アプリケーション
作者：小山　功　<isao-k@imasy.or.jp>
http://www.imasy.or.jp/~isao-k/
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB6-537

デジカメの写真データをまとめて、撮影日も入れて、お手軽に印刷したいときに便利なツール。写真データの入ったフォルダーごと指定すれば、サムネール表示され、各データごとに印刷枚数を指定できるため、印刷したくないものは0枚にして、友人など配りたい写真は必要枚数印刷するといった印刷をさせることもできるので非常に便利だ。あとは、プリンターが出力終了するのを待つだけ。市販のはがきサイズを対象としたラベル印刷機能もある。

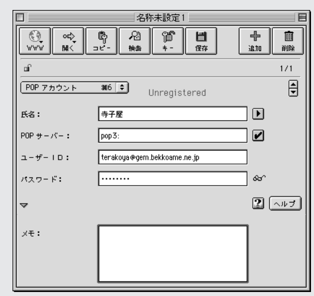



## Web Confidential

CD-ROM

バージョン：ver.1.3J
ジャンル：ユーティリティ
作者：Alco Blom <alco@url-manager.com>
日本語化：Bridge 1 Software
<http://www.bridge1.com>
分類：Shareware
代価：2,500円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB4-232

ユーザーID、パスワード、登録番号、クレジットカード番号、暗証番号などのデータを管理する便利なプログラム。インターフェイスは使いやすい直感的なカード型。Netscape Navigator、Microsoft Internet Explorer、Fetch、Anarchieなどのインターネットアプリケーションへ、自動的にURL、ユーザーID、パスワードなどを暗号化して渡し、パスワード認証の必要なWebページに入るための手続きを自動化。Mac OS 9のKeychain機能もサポート済み。

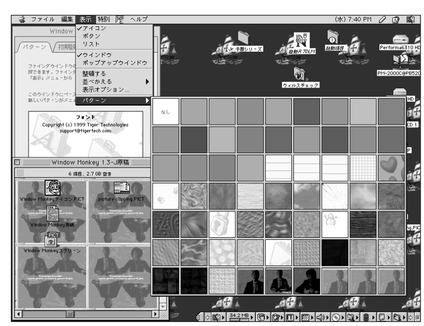



## Window Monkey

CD-ROM

バージョン：ver.1.3-J
ジャンル：ユーティリティ
作者：Tiger Technologies <support@tigertech.com>
日本語化：Bridge 1 Software
<http://www.bridge1.com>
分類：Shareware
代価：2,800円
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB5-962

Finderのウィンドウの背景にピクチャー、テクスチャーなどを貼り付けたり、メニューバーにアプリケーションのウィンドウにすばやくアクセスできるウィンドウ切換メニューを追加する便利なコントロールパネル。ウィンドウの背景の装飾機能ばかりでなく、最近使ったフォルダーや「保存」や「開く」ダイアログから開いているフォルダーを1回のマウスクリックで開ける機能などがあり、実用性も高い。今回のバージョンアップでナビゲーションサービスにも対応した。



## 直角交

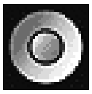
CD-ROM

バージョン：
ジャンル：ゲーム
作者：赤シャツ★☆ <KHF02461@nifty.ne.jp>
http://member.nifty.ne.jp/redshirt/
分類：Shareware
代価：800円
日本語対応：◎
登録場所：FMACLIFE LIB3-502

赤シャツ★☆さんのパズルゲームの最新作「直角交」は、8×8の盤の行・列ごとに指定された数の「直管」「角管」「交差管」を使って、2つの「球体」を1本につなぐ「推理と造型」のパズルゲームだ。退屈になりがちな「数字からの推理と配置」のパズルに、造形的な面白さを加味することで、とっつきやすさ、のめり込み度が増している。始めるステージは、4段階の難易度から選ぶことができ、プレイ途中でのセーブ、ロードも可能。



# いろいろなランチャー

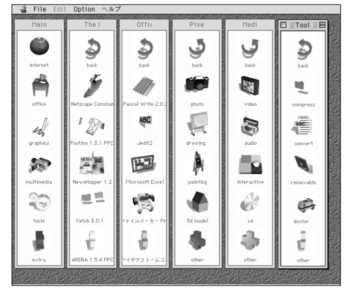


## 3D Launcher

CD-ROM

バージョン 1.2／作者 Gert Jan Leusink & Vincent Verweij／分類 Shareware／代価 $15(US)／日本語対応 △／登録場所 http://www.xs4all.nl/~invaders/3dlauncher.html

アイコンボタンをクリックして、好みのアプリケーションを起動できるランチャーは数多く存在するが、3D Launcherの場合はそのボタンがユニークだ。3Dアイコンを採用していて、しかもそれがアニメーションする。動作させるには、120MHz以上のPower Macintoshで、System 7.5以降のシステム、かつQuickTime 2.1以降がインストールされた環境が必要だ。とにかく一度起動してみよう。メインウィンドウが開き、6個の3Dアイコンがくるくる動いているはずだ。これらはインターネット、オフィス、グラフィック、マルチメディア、ツール、エキストラという6つのグルーピング項目を示しており、それぞれの項目ごとに5つのアプリケーションを登録することができる。Optionメニューから Settingsを選び、Locateボタンを使って指定すればよい。日本語名が文字化けするのと、ウィンドウサイズを変更できないので、長い名称の一部が見えなくなってしまうのが残念だ。





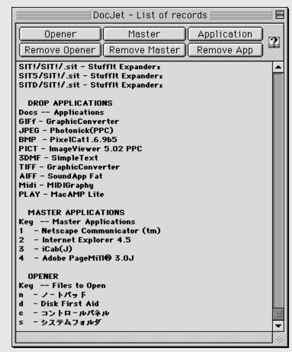
## DocJet

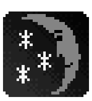
CD-ROM

バージョン 1.3.2／作者 Yellowsoft (Rocco Moliterno)／分類 Shareware／代価 $10(US)／日本語対応 ○／登録場所 http://www.geocities.com/SiliconValley/Network/7162/docjet.html

ファイルやフォルダーなど、希望のオブジェクトを手軽に開けるようにしてくれるのがDocJetである。データベースと呼ぶダイアログにレコードとしてあらかじめ登録すれば、あとはキー操作やドラッグ&ドロップで利用可能だ。ダイアログの最上部には、Application、Master、Openerという3つの登録用ボタンがある。このボタンをクリックして（MasterとOpenerの場合は好みのキーを押しながら）、オブジェクトを選べばよい。Applicationの場合は、あるタイプのファイルを選択し、続けてアプリケーションを指定すれば、いろいろなクリエーターで作られたファイルを特定のアプリケーションで開けるようになる。Masterでは、個別のキーごとに異なるアプリケーションを登録しておき、たとえばひとつのHTMLファイルをさまざまなブラウザーやエディターで開いてみるといった使い方ができる。

Openerは、深い階層にあって頻繁に開くフォルダーなどを登録すると便利だ。



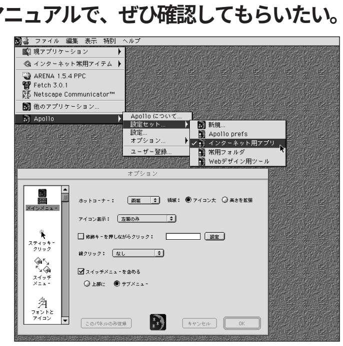



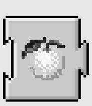
## Apollo

CD-ROM

バージョン J-2.3／作者 Jeremy Roussak (日本語版制作：Mark Nagata)／分類 Shareware／代価 $30(US)／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.dcs.qmw.ac.uk/~jeremyr/apollo.html

ランチャーをメインとして、いろいろ便利な機能を搭載しているのがApolloである。本体は、ApolloとEagleという2つのシステム機能拡張ファイルだ。メニューバーにプルダウン式の専用メニューが追加され、好みのアプリケーション、コントロールパネル、フォルダー、書類、そのほかさまざまなアイテムを起動したり、開くことができる。どんな作業を行なっているときでも、直ちに利用できるのが便利だ。グループを作ってアイテムを整理すれば、それぞれのグループがサブメニューに表示される。Activeチェックボックスを ONにしておけば、一回のメニュー選択だけで、多数のアイテムを同時に起動することも可能になる。アプリケーションごとに、音量レベルやカラー深度などの環境設定を自動的に切替えたり、ホットキーの設定や共有グループなど、実に多機能だ。18章からなる詳しい日本語マニュアルで、ぜひ確認してもらいたい。



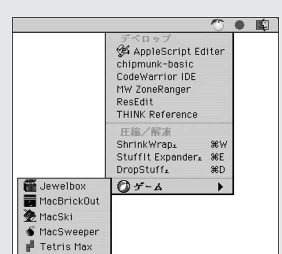


## 文旦Menu

CD-ROM

バージョン 0.7.2b／作者 しんさく／分類 Freeware／代価 -／日本語対応 ◎／登録場所 http://hp.vector.co.jp/authors/VA016330/

美味しそうなフルーツ名がついた文旦Menuは、名前に違わず魅力的な機能を有した、メニュータイプのランチャーだ。機能拡張ファイルをインストールすると、メニューバーに文旦のアイコンが現れる。メニューアイテムを登録するには、同梱の「文旦Menu Folder」をシステムフォルダーに移して、その中に好みのアイテムのエイリアスを入れるとよい。フォルダーを入れて階層化したり、文字修飾や区切り線の挿入など、表示方法を編集できるのがうれしい。特筆すべきは、書類をメニューにドラッグ&ドロップし、選択したアプリケーションで開けることだ。文旦Folder中の項目を並べ変えるには、現在のところResEditを使用する必要があるが、次期バージョンではコントロールパネル化して、簡単に設定できるようになるようだ。ぜひとも早く実現してもらいたい。アイコンパレードのときに、緑から黄色に熟していく文旦の姿が何とも印象的である。

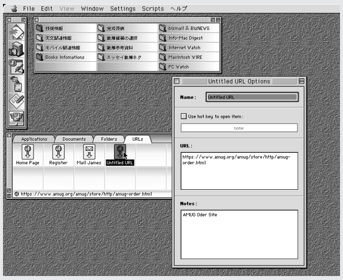


# FreeWare
# いろいろなランチャー

## DragThing CD-ROM

バージョン　2.7／作者　James Thomson／分類　Shareware／代価　$20(US)／日本語対応　△／登録場所　http://www.dragthing.com/index.html

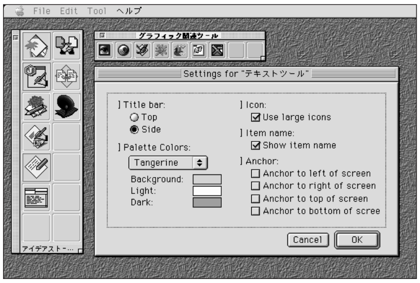
パレットタイプのランチャーなら、DragThingがその代表格だろう。起動すると、ドック（Dock）と呼ぶ2つのウィンドウが表示される。画面左上のほうはプロセスドックといい、現在起動中のアプリケーションのアイコンが並んでいるはずだ。システム標準のアプリケーションメニューと同様な機能だが、利用状況を常に一目で確認できる。左下にあるもうひとつのドックが、自在にカスタマイズできるランチャーだ。あらかじめ、ApplicationsやDocumentsなど4つのレイヤーが提供されており、タブで切替えられるようになっている。このレイヤー構造は、アイテムを種類別に登録でき、スペースの節約にもなるのでうれしい。もちろん、レイヤーを追加することもでき、ドック自体を複数作ることさえ可能である。アイテムをドラッグ＆ドロップするだけで登録でき、削除するのもゴミ箱に移動すればよく、とても使いやすい。外観変更メニューも豊富だ。



## Phut CD-ROM

バージョン　1.12／作者　いいむらなおき／分類　Freeware／代価　-／日本語対応　◎／登録場所　http://hp.vector.co.jp/authors/VA010318/soft/index.html

Phut（ふぁっと）は、パレットタイプのランチャーである。シンプルな外観だが、クリックするだけで登録アイテムを開いたり、ファイルのドラッグ＆ドロップに対応しているなど、基本機能は十分備わっている。むしろ、複数のパレットを作成できるほか、カスタマイズ機能も充実しているといえるだろう。起動後はFileメニューからNewを選んで、新しいパレットを作成する必要がある。初期状態では4つのアイテムしか登録できないので、右下の小さな四角形をドラッグして広げよう。パレットのタイトルバー部分をControlキーを押しながらクリックするとメニューが現れ、Palette Settingsで環境設定を変更することができる。パレットの色はiMacカラーを選べるほか、完全なカスタマイズも可能だ。アイテムを登録するには、Finderからドラッグ＆ドロップするか、登録したい場所でControlキーを押しながらクリックして、Add Fileメニューを使用する。




## LaunchBar CD-ROM

バージョン　1.3.4／作者　K.Hiura／分類　Shareware／代価　500円／日本語対応　◎／登録場所　http://www2.odn.ne.jp/~aab61580/

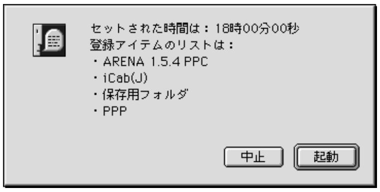
Windowsには、起動中のアプリケーションや開いているウィンドウが、画面の最下部にボタン状に一覧表示される、タスクバーという機能がある。LaunchBarはこれに似た形状で、画面の四辺いずれかに細長くボタンを並べるバー状のランチャーで、デスクトップを広く利用することが可能だ。起動すると、パレットタイプのプロセスウィンドウとバーが現れる。このバーに登録されるボタンのグループのことをページと呼び、ファイルメニューの新規ページを選んで作成する。ページは複数作成して、端部にあるページボタンで切り替えることができるので、作業内容ごとにページを作成して、それぞれ関連アイテムを登録すれば便利だ。登録できるアイテムは、アプリケーション、フォルダー、書類、コントロールパネル、URLなど、ほとんど何でもOKで、バーにドラッグ＆ドロップすれば、簡単に登録することができる。充実したカスタマイズ機能もうれしい。



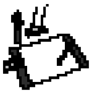
## @Time2 Launch.aplt CD-ROM

バージョン　1.4／作者　成行　求／分類　メールウェア／代価　-／日本語対応　◎／登録場所　http://www.asahi-net.or.jp/~py4m-nryk/index.html

指定された時刻に、登録しておいたアイテムを一気にオープンしてくれるのが@Time2Launch.apltで、いわば時刻設定タイマー機能付きのランチャーだ。バージョン1.4からメールウェアになり、ロック解除コードを入力しないと使用できなくなった。まずは作者に使用希望のメールを送って、コードを入手しよう。アイテムを登録するには、アプレットのアイコンにドラッグ＆ドロップすればよい。確認／取消し用のダイアログが現れるはずだ。登録できるのはファイル、フォルダー、ボリュームなど、Finderが開くことができるものなら何でもよい。実行時間のセットは、アプレットの情報ウィンドウのコメント欄に、24時間制で「hh:mm:ss」（時:分:秒）の形式で入力する。作者のホームページでは、タイマー機能のない「BwizU.aplt」や、登録リストからアイテムを選択的に開くことも可能な「List_Launcher.aplt」、といったランチャーも公開されている。



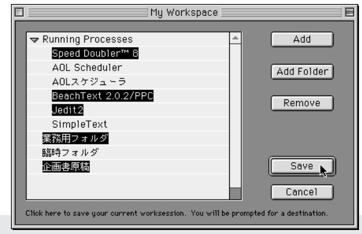
FreeWare
# いろいろなランチャー

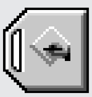


## 9 My Workspace

バージョン 1.0.1／作者 Lazy Mountain Software (John Lowrey)／分類 Shareware／代価 $10(US)／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.alaska.net/~wl7ci/lazymtn/

作業中にデスクトップを一時片付けなければならないとき、My Workspaceは大いに役立つはずだ。アプリケーションをはじめ、書類やフォルダーをセット（ワークセッションと呼ぶ）に登録しておき、あとで速やかに作業状態を再現することができる。現在開かれているものだけでなく、任意のアイテムで構成するセットを作ってもかまわない。My Workspaceを起動すると、稼働中のプロセス（アプリケーション）がリストアップされたウィンドウが開く。ユーザー登録後なら、書類やサーバーも同時にリスト表示されるように、Preferencesで設定することも可能だ。リストにアイテムを追加することもでき、アプリケーションや書類ならAddボタンを、フォルダーの場合はAdd Folderボタンを使う。開きたいアイテムが選択状態になっているのを確認してSaveボタンをクリックすると、ファイルが書き出される。これをダブルクリックすれば指定アイテムがいっせいに開くという仕組みだ。

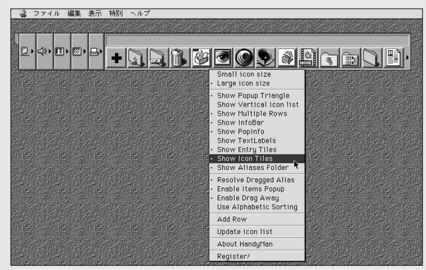


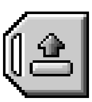



## 10 HandyMan

バージョン 2.0.5／作者 Bert Wynants／分類 Shareware／代価 $15(US)／日本語対応 ○／登録場所 http://www.club.innet.be/~ind0836/mac/HandyMan.html

PowerBookのように、画面が広くない環境の場合は、ランチャーもできる限りコンパクトなものが望ましい。その点、コントロールバーにランチャー機能を付加してくれるHandyManは、省スペース化にもってこいといえる。インストール後のコントロールバーには、＋マーク、アップルメニューとコントロールパネルの2つのフォルダー、およびゴミ箱アイコンが表示される。この＋マークに任意のアプリケーション、書類、フォルダーをドラッグ＆ドロップすれば、追加登録できる。フォルダーを登録した場合、アイコンをプレスすると中身が一覧表示され、容易に選択できるのは便利だ。ドラッグ＆ドロップに対応しており、アプリケーションアイコンで書類を開いたり、フォルダアイコンにアイテムを格納することができる。Mac OS標準のコントロールバーでなく、Extensions Stripを使用した場合は、アイコンサイズの変更など、より多くの機能が有効になる。



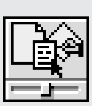


## 11 StripLaunch

バージョン 1.2.1J／作者 Tobias Peciva (日本語版制作：Yuzuru Shiraiwa)／分類 Shareware／代価 $10(US)／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.dd.chalmers.se/~peciva/software/striplaunch.html

StripLaunchもコントロールバーを利用して、頻繁に利用するアプリケーションを起動したり、深い階層にあるフォルダーを容易に開いたりすることができるランチャーである。サイズが小さく、動作が速く安定しているのが特徴だ。まず、StripLaunch本体と「SL 項目」フォルダーをコントロールバー項目フォルダーに入れて、システムを再起動しよう。アイテムを登録するには、そのエイリアスを作成して「SL 項目」フォルダーに入れるとよい。追加直後から、コントロールバーのStripLaunchアイコンをプレスしたときに現れるメニューに表示され、再起動は必要ない。アプリケーション、書類、フォルダー、スクリプト、コントロールパネルなど、何でも登録可能だ。エイリアス名の先頭にタグ（特定の2文字）を加えて、メニュー表示の文字スタイルを編集したり、「-」という名前のフォルダーを作成して区切り線を入れるなど、カスタマイズもできる。

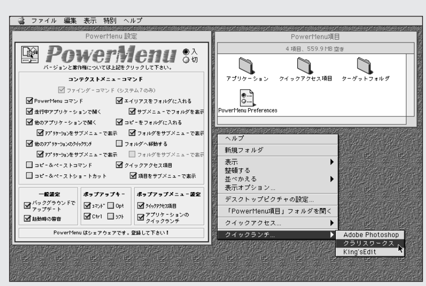


## 12 PowerMenu

バージョン 2.2.3J／作者 Bridge1 Software／分類 Shareware／代価 1,700円／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.bridge1.com/powermenu.html

コンテクストメニューの機能を拡張するPowerMenuは、ランチャーとしても便利に使えるので、ここで取り上げた。よく使うアプリケーションや書類を素早く起動できるほか、選択したファイルを「クイックアクセス」という機能に登録したアプリケーションで開くことなどが可能だ。システム機能拡張とコントロールパネルの2つのコンポーネントのほか、PowerPC＋Mac OS 8の環境下なら、同梱のライブラリーとプラグインもインストールする。また、機能拡張フォルダーに「SOMobjects for Mac OS」が入っているか確認し、なかった場合はこれもインストールしてシステムを再起動しよう。Finderでコンテクストメニューをポップアップし、「PowerMenu項目フォルダを開く」を選択すると、3つのフォルダーとPreferencesファイルが入ったフォルダーが開く。これらのフォルダーに、よく使用するアプリケーションや書類のエイリアスを追加すれば利用可能だ。



## キューティマスコット++入門講座



CD-ROM

# マはマスコットのマ

小池邦人



## 第9回　マスコットでゲームにチャレンジ！――その2

### プロローグ

iBookの登場で喜んでいたら、間髪入れずにPower Mac G4が発表されてしまいました。予想よりずっと早い発表なので、嬉しい誤算といったところでしょうか。さっそくWorld PC Expo'99に足を運んで両機をじっくりと見てきました。iBookはマシンに触れるまで20分待ちの状態でした。蓋を開けたり閉じたり、ハンドルを出して片手で持ったり、AirPortを試すためにIEを起動したり、iBookと対峙する来場者の行動パターンがほぼ同じなのには笑ってしまいました（私もそのうちの1人）。予想通り、iBookは実に綺麗なマシンです。また、思ったよりブルーベリーが素敵だったのが収穫でした。それに、Power Mac G4もカッコ良くなりましたね。大人になったという感じです。

何と言っても今回の目玉はCinema Display！これは本当に素晴らしい。値段がもっと安くなれば「落ちる人」が続出するでしょう。「今は我慢だ、我慢！」と、自分に何度も言い聞かせて家路についた私です（笑）。

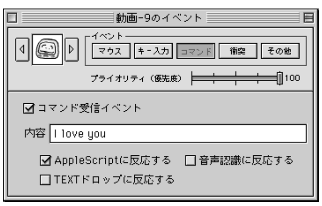



図1●「AppleScriptに反応する」をチェックする

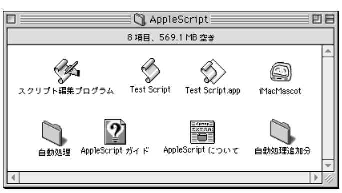



図2●Scriptはアプリケーションとしても保存できる




図3●「スクリプト編集プログラム」を利用する

### AppleScriptからのコマンド

マスコットをコントロールする件で、読者の方からAppleScript対応機能についてのご質問が来ました。ゲーム開発の話とは直接関係ないのですが、まず先んじて、マスコットでのAppleScriptの活用について簡単に説明しておきます。

キューティマスコット++の「コマンド受信イベント」で「AppleScriptに反応する」をチェックすると、他のアプリケーションからのAppleScriptメッセージをコマンドとして受信することが可能になります（図1）。AppleScriptの表記では「Mascot Cmd」の後にコマンドの内容を記述します。たとえば「スクリプト編集プログラム」で以下のようなスクリプトを記述して実行したとすると、「iMacMascot」と名付けた起動マスコットに「I love you」というコマンドが送られます。これは音声認識で「I love you」を認識した時や、プログラムの「マスコット」の「コマンド送信」により送信された「I love you」を受信した時とまったく同じことになります。

```
-----------------------------------------------------------------
tell application "iMacMascot"
            MascotCmd "I love you"
end tell
-----------------------------------------------------------------
```

この後「スクリプト編集プログラム」のファイルメニューから「別名で保存...」を選択し、このスクリプトを「アプリケーション」として保存することもできます（図2）。でき上がったアプリケーションは、起動した瞬間に「I love You」というコマンドを「iMacMascot」に送ります。AppleScriptを熟知した方なら、コマンド送信時間をScriptにより制御し、複数のマスコットを同時に制御するような芸当も可能なはずです。

プレゼンテーションやデモンストレーションの裏方としてマスコットを利用するのも面白いかもしれません。AppleScriptや「スクリプト編集プログラム」の詳しい内容については、Apple社が提供しているドキュメントや、関連書籍を参考にしてください。ちなみに、Appleが提供している最新の「スクリプト編集プログラム」のScriptの記述は英語のみとなりましたので注意してください（図3）。

### メインキャラクターを操作する

それではさっそくゲーム開発の話を再開したいと思います。今回はゲーム開発の雰囲気を出すために、マスコットをキャラクターといい換えてお話します。ご了承ください。

まず最初に考えるべき点は、メインキャラクター

### マスコット作品　大募集

MACLIFE編集部では、読者が作ったマスコット作品を募集しています。お送りいただいた作品は、MACLIFE CD-ROMに収録するほか、優秀作品には薄謝を進呈いたします。みなさん、ふるってご応募ください。
送り先は：maclife@bnn.co.jpまで

をどうやって操作するかということです。たとえば、なつかしい「インベーダゲーム」は、砲台を左右に動かしてミサイルを発射する単純なゲームでした。ユーザーは左右に動くレバーと赤いボタンで砲台（メインキャラクター）を操作しました。

ところが、最近のゲーム専用機のコントローラは、Aボタンを押しながらBボタンを長く押し、その間にCボタンを3回押すとか……おじさんには操作不可能な次元へと突入しております（笑）。

今回はメインキャラクターを1体だけ使う2次元アクションゲームですから、キャラクターの操作はキーボードやマウスでOKです。メインキャラクターの移動方向は、上下左右とその間を入れた8方向とします。キャラクター用のセルとしては8方向にそれぞれ個別の絵柄を描くのがベストですが、方向性のないキャラクターなら全部同じ絵柄でも構いません（図4）。

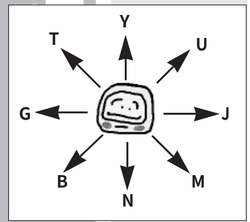


図4●メインキャラクターは8方向へ移動できる

セルを描き終わったら、イベントウィンドウで各移動方向に対して適切なキーボードキーを割り付けます（図5）。上下左右の動きだけなら「特殊キー利用」で矢印キーを割り付けるのが良いかもしれません。しかし8方向だとちょっと悩んでしまいます。テンキーの「8」「9」「6」「3」「2」「1」「4」「7」を使うのがもっともわかり易いのですが、PowerBookやiBookにはテンキーがありません。テンキーがない機種でテンキーを使った操作を強要するのは酷というものです。これだと、誰もこのゲームで遊んでくれないでしょう。



図5●移動方向に合わせキー入力イベントを設定する。「大小文字を区別しない」のチェックを忘れずに

それなら文字キーの「Y」「U」「J」「M」「N」「B」「G」「T」を使うという手段もありますが、操作がわかりづらくなるのが難点です。最近のPowerBook G3やiBookでは、テンキーを一般キーで代用する仕組みが提供されています。しかし機種的には少数派ですから、とりあえず今回はテンキーのない機種を考慮し、移動操作を文字キーに割り付けることで妥協しましょう。

メインキャラクターの操作には、キーボードだけではなく、「マウスムーブイベント」というものを利用することも可能です（図6）。マウスムーブイベントはマウスを指定方向に一定ピクセル動かすと発生します。指定方向はマウスムーブイベントのメニューから選び、ピクセル数は「動作確認」や「アプリ作成」ダイアログの「マウスムーブの感度」に入力しておきます（図7）。感度は3〜6ピクセルの小さな値にしておいてください。もし感度が大きすぎると操作するためのマウスの動きが大きくなり、使用に耐えなくなります。



図6●マウスカーソルムーブイベントを設定する

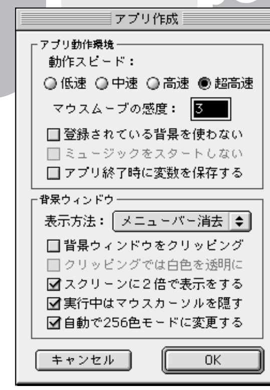


図7●「マウスムーブの感度」にピクセル数を入力

キャラクター操作はキーボードだけでも可能ですが、マウス操作も加え、ユーザーの好みで選べるようにしておくのが親切です。あとは攻撃用（ミサイル発射？）などに使うマウスクリックイベント、ゲーム終了や再開を指示するための3〜4種類のキーボードイベントを用意すればOKでしょう。

割り当てキーとしては「space」「return」「tab」「esc」キーなどを使うとわかりやすいと思います。ただし日本語入力モードのまま「超高速」以外の動作スピードでゲームを動かすと、「space」キーを押しても何も反応しないことがあります（仮名漢字変換が働いているため）。動作スピードは必ず「超高速」にしておいてください。作業がすべて終わったら、設定した操作でメインキャラクターが指示通りの方向へ動くかどうか確認してみましょう。同時にキャラクターの移動スピードも確認してみてください。

## 自動スクロールを試す

前回は背景上のキャラクター表示位置を決める方法や、背景内の「表示エリア」を設定する方法をお話しました。たとえば640X480ピクセルの単色背景を作り、表示エリアを320X240ピクセルに設定して、その真ん中にキャラクターを置きます（図8）。この状態で動作確認し、キャラクターをキーボード操作で移動します。すると、一度表示エリアからはみ出したキャラクターは、操作を続行するとそのまま消えて行ってしまいます。これではゲームとして成立しません。

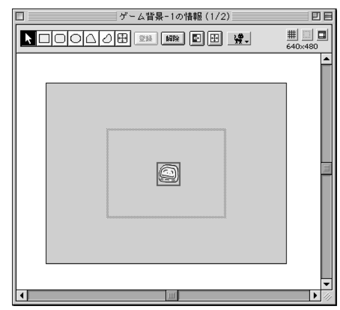


図8●背景上に「表示エリア」を設定する

キャラクターが表示エリアからはみ出しそうになったら背景をスクロールさせ、移動しているキャラクターをいつでも表示エリア内にとどめておく必要があります。これを実現するために、キューティマスコット++には「自動スクロール」という機能が用意されています。

メインキャラクターを選択し、情報ウィンドウの「移動関係」項目の「移動枠内で止まる」をチェックします。まずこの設定により、キャラクターは背景からはみ出すことを禁止されます。つまり、背景の右端まで来たら、いくら右側へ進む操作をしてもその位置から動かないということです。続いて「自動スクロール」をチェックしてください（図9）。



図9●情報ウィンドウで「自動スクロール」を設定する。「マウスドラッグ禁止」のチェックも忘れずに

その横のカラムには1回のスクロールで何ピクセル背景を動かすか（スクロールの幅）を入力します。この数値を大きくすると一度に切り替る範囲が広がりますが、キャラクターの移動距離とのバランスが悪いと画面がチラつくことがあります。スクロール幅には、キャラクターがワンステップで移動する距

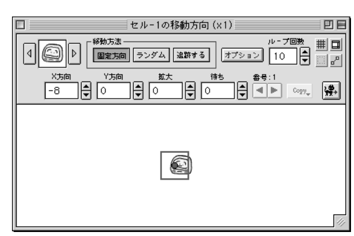


図10●1回の移動ピクセルをスクロール幅に合わせる

# マはマスコットのマ

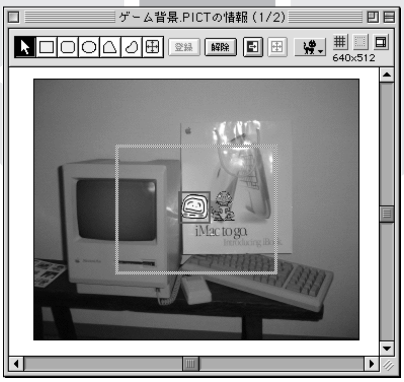


図11●背景を画像に変更して表示エリアを設定する



図12●動作確認に自動スクロールをテストする

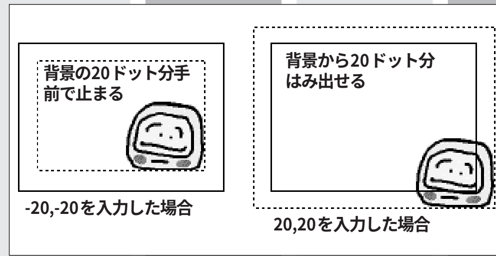


図13●背景に正負の「移動枠の拡張幅」を設定した場合



図14●情報ウィンドウで「スクロール対象外」をチェック



図15●プログラムに表示エリア内に文字表示を行なう

離と同じ値を入力されることをお薦めします（図10）。

ここまでの設定が終了したら、実際に自動スクロールがうまく機能するかどうか試してみましょう。背景が単色のままでは、本当にスクロールしているのかどうか判断できませんので、とりあえずゲームとは関係ない画像を背景として代用してみます。「表示エリア」は背景の1/4サイズとして、その中心に配置します（図11）。操作するキャラクターは表示エリアの真ん中に置き、相対的な位置を見るために、もうひとつの動かないキャラクターをそばに置きます。この状態で動作確認を行ない、キー操作でキャラクターが表示エリアの端に来た瞬間に、背景が自動スクロールすればOKです（図12）。スクロール幅やキャラクターの移動距離を色々と変更して、操作しやすい条件を見つけ出してください。

## ゲーム情報の表示

マスコット情報ウィンドウの「移動関係」の残りの項目についても解説しておきます。まずは「障害物は通過できない」オプションについてです。メインキャラクターと、先ほど位置関係を調べるために表示エリア内に置いたキャラクターの両方に対して「障害物は通過できない」をチェックしてください。すると、メインキャラクターが移動してこのキャラクターに衝突すると、行く手をふさがれてそれ以上進めなくなります。ちょうど「移動枠内で止まる」をチェックし、キャラクターが背景の四隅に衝突した時と同じ状況です。この設定は、ゲーム実行中にメインキャラクターに対する障害物を設置したい時に役立ちます。

次は「移動枠の拡張」です。これには左右と上下の幅をそれぞれピクセル単位で入力します。値はマイナスでも構いません。たとえば「移動枠内で止まる」がチェックされており、それぞれに-20を入力したとします。すると、背景の左右上下20ドット手前でキャラクターの移動がストップすることになります。つまり、キャラクターの進入禁止エリアが背景の回りに一定幅だけ設定されたことになるのです。逆に20を入力すると、キャラクターは背景から20ドットまではみ出すことができます。よほど特殊なことをしないかぎり、普通は両カラムともゼロを入力しておけば良いでしょう（図13）。

最後は「スクロール対象外」オプションです。このオプションをチェックされたキャラクターは、背景スクロールが起こっても、背景とともに移動しません。つまり、かならず表示エリア内の同じ場所（動かさなければ）に固定されます。ゲームでは、倒した敵キャラの数や得点やエネルギー残量（ライフポイント）などの各種情報を画面上に図柄（グラフのバー、赤丸、星印）で表示することがあります。

表示用に使うキャラクターは、必ずこのオプションをチェックしておきます（図14）。このオプションを利用する場合に注意することは、各キャラクターのレイヤー（上下階層関係）を考慮に入れることです。キャラクターは、そのフォルダーがリストの前にあるものほど上側に表示されることになります。ですから、情報表示専用キャラクターはフォルダーリストの一番前に移動しておくべきです。

### マスコット紹介コーナー

今回は、再登場！マスコット・ジェダイマスター（笑）野村一也さん作「絵合わせ　みわこ編」と「絵合わせ　とたに屋編」を紹介いたします。おなじみの「絵合わせパズル」なのですが「マスコットでもこんな事ができるんだ！」という素晴らしい作品です。パズル上の素敵なイラストは、とたに屋さん、にしのみわこさん、お二人の作品です。今回も野村さんのご厚意によりCD-ROMに収録しました。ドキュメントも添付していますので、変数や実行条件の勉強に活用してください。









## 自作数値フォントの利用

ゲーム中、情報を絵柄ではなく「数値」で表示したい場合があります。残り時間とかハイスコアーなどがそうですね。キューティマスコット++には、文字列や数値を表示する機能があることを以前に解説しました（図15）。表示させる文字列は表示エリア内固定ですので、背景がスクロールしても移動することはありません。

表示用フォントには、Macのシステムにインストールされているすべての書体を利用できます。文字のサイズ、スタイル、カラーも自由に選べます。ところが、こうした一般テキスト用フォントを使うと見栄えもカッコ悪くゲームの雰囲気に合いません。ゲームにマッチした素敵なフォントを探して利用しても良いのですが、大きな問題がひとつあります。つまり、ゲームを遊んでくれるユーザーのMacに、そのフォントがインストールされていないと文字表示ができないということです。

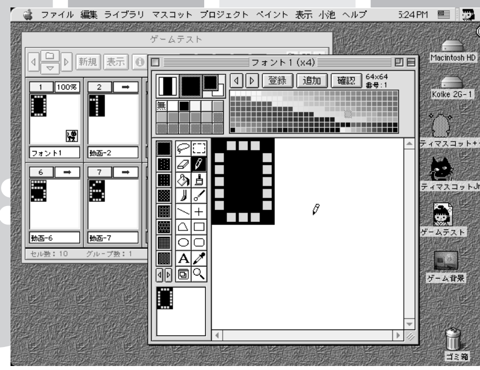
キューティマスコット++の起動アプリ内に使用フォントを内蔵してしまえば問題ないのですが、著作権の問題上、実現は不可能です。そこでマスコット++には、マスコットのセル画像をフォントに代用してしまう特殊な機能があります。この機能を利用することにより、ゲームにマッチした好みのフォントが作成できます。ただし、この機能で作成できるフォントは0から9までの数値のみです。

アクションゲーム中にリアルタイムで表示される文字列はほとんど数値ですので（アドベンチャーゲームの会話内容などは別ですが）この機能をうまく使えば、自作ゲームにマッチした派手な数値フォントを用意できることになります。

まず、数値フォントの作り方を解説します。フォント用として使うマスコットフォルダーを新規作成し、情報ウィンドウで「起動時に表示しない」をチェックしておきます。フォントは数字だけですので、10個のセル（0から9用）を作ってグループ化します。フォントと認識させるためには、グループ先頭のセル名を「フォント」に数値を加えた名称に変更しておきます。たとえば「フォント1」とか「フォント2」です（数値は半角）。セル名を区別すれば、ひとつのマスコットフォルダーに複数の数値フォントを登録しておくことができます。

あとはペイントウィンドウでセルに0から9までのフォントを描きます（図16）。文字と文字の間のスペースも考慮して描いてください。またまったく別のセル（フォルダーも含む）に「フォント1」などの同じ名称が付いていると、そのフォントを探し出せなくなりますので（文字が表示されない）注意してください。

図16●数値フォントをペイントウィンドウで編集する



続いて、こうして作成したフォントを使って数値表示を実現します。プログラムの「全般」から「文字表示」を選び、指定した変数の中身を表示するようにセットします（図17）。この時の表示位置の座標値は「背景」ではなく「表示エリア」の左上が原点となりますので注意してください。また文字側の基点も文字列を矩形で囲った左上となります。

座標値を入力したら、プログラムセルの一番右側にあるフォント選択アイコン（Aアイコン）をクリックし、フォント情報ダイアログをオープンします（図18）。まず「数値フォント用に作成したグループを利用」をチェックし、先ほど作成したフォントグループの名称と同じ番号を「フォント」に続くカラムに入力してください。

これで動作確認を行ない、文字列が自作数値フォントでちゃんと表示されれば大成功です。納得行くまでフォントの見栄えを調整しましょう（図19）。




図17●「time」変数を自作フォントで表示する




図18●フォントダイアログで自作フォントを指定する

## エピローグ

どうですか？　いよいよゲーム開発をしているという雰囲気になってきましたね（笑）。　次回は「マスコットでゲームにチャレンジ！その3」という題目で、ゲームのシナリオを完成させ、敵キャラクターを追加し、ダメージやポイントゲットについても考えてみたいと思います。今回お話できなかったエイリアスマスコットの活用方法なども解説する予定です。お楽しみに！

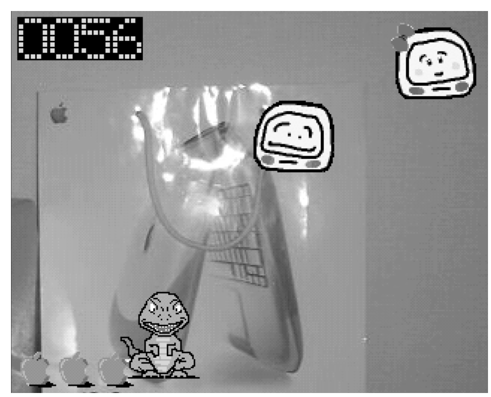
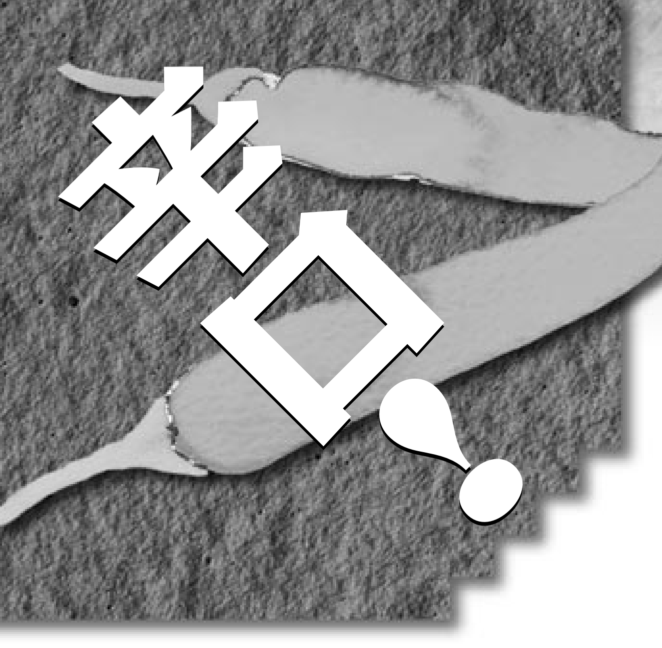


図19●ゲームの動作確認による自作フォントの表示

### マスコットニュース

キューティマスコットに関する詳しい情報をお求めの方は（株）コーシングラフィックシステムズのホームページにおいでください。キューティマスコットJr.とキューティマスコット++との機能比較は以下のサイトで参照することができます。マスコットで実現したいアイデアをお持ちの方は、ぜひ参考にしてください。
http://www.kohshin-graphic-sys.com/softguide/mascot-hikaku.html

また、キューティマスコットJr.に関する「よくある質問」は、（株）コーシングラフィックシステムズのホームページのサイトにまとめられています。何か機能に疑問があったらのぞいてみてください。
http://www.kohshin-graphic-sys.com/softguide/faq_cmjr.html




# 辛口！ 現場が教える本音DTP講座

DTPで作成する印刷物と一言でいっても、実にさまざまなものが存在します。チラシやポスター、パンフレットといった商業印刷物から、雑誌・単行本などのような書籍印刷物など、その他にも数え上げげたらきりがありません。また、DTPで使用するアプリケーションやフォントもさまざまなものがあります。DTPを取り巻く環境は非常に複雑で、標準的なワークフローを提示することは、なかなか困難です。

そのようなことも原因となって、巷ではあまりに非合理的と思われるワークフローが横行しています。このため制作側であるデザイナーや、出力側の出力センターや製版・印刷会社に多大なストレスが加わっています。確かに出力先によって、その会社が推奨する出力条件が異なる場合があるようですが、本当にそれほど条件が異なるものなのでしょうか？　また、一体なぜこのようなことになってしまったのでしょうか？　そして、今後どのように改善すればよいのでしょうか？

今回からは筆者なりに、ワークフローのさまざまな問題点を提起し、その原因を探り、解決方法を提案していきたいと思います。

## 第7回 DTPワーク

文◉佐々木　剛　有限会社イメージエクスプレイン

### ワークフローの変革

かつてのアナログ時代では、どのような印刷物を作成する場合においても、各業種における仕事の分担が明確でした。デザイン、写植、版下、製版といったプリプレスの工程における業種の違いは、誰の目にも一目瞭然でした。各工程に携わっている人々は各々のエキスパートであり、互いの業務に対する知識や分担を理解していたのです。

しかし、デジタル化が進むにしたがって、各業種の分担が不明瞭になってしまいました。元々、デジタル化のメリットとされる「コストダウン」と「短納期」は、各業種における中間工程産物（版下やマスク版・ネガフィルムなど）の削減が主だった理由です。各業種の製品であった中間工程産物がなくなってしまったわけですから、その業務の垣根が低くなるのは当然のことです。一昔前であれば考えられないことですが、いまでは製版会社や出力センターが、文字直しまで行なうなどということが（良し悪しは別として）当然のようになされています。

このように、DTPがプリプレス業界にもたらしたものは、単にコストや時間の削減だけではなく「ワークフローの変革」であったといっても過言ではないでしょう。

### DTP黎明期のワークフロー

5〜6年ぐらい前までは、DTPを扱っている人はごく少数でした。まだPowerPCが登場する以前であり、フォントも今のように多くの種類が存在せず、分版フィルム出力は、まだ一般的ではありませんでした。

当時は、デザイナーやDTPオペレーターが、出力センターに直接データを持ち込んでいました。写真などはスキャニングを依頼し、キリヌキ・貼り込みは自ら行ないました。出力センターは基本的にデータ通り出力すればよく、出力に不適切なRGBやJPEGのデータはスミ版のみが出力され、Illustrator




図1　筆者は市場調査のために、大手出力センターの店頭に立ったこともあるが、フォントや出力解像度のことだけではなく、線数すらわからない印刷会社の営業マンもいた。このような人は、いったい何に対する対価を得ているのだろうか。


著者紹介

◉

SASAKI Takashi



**佐々木　剛**

都内にて、プリプレスコンサルティング会社を主宰。前回連載をお休みしたが、決して休暇を取っていたわけではない。まわりの人々から「どこに遊びに行ったんですか」とよく聞かれたが、実際は土日も仕事漬けであった。休暇を取ってラスベガスに行きたいが、2000年問題があるので怖くて飛行機に乗れない小心者である。


のトンボが1色でも平然と納品されたのです。当然、出力センターに対する商取引は、制作者側で行なっていましたから、制作者側のミスは、制作者側で料金などを負担しなければならなかったのです。出力センターなどにまりました。また同時に、あまりに過剰と思われるサービスが目立ち始めたのも、この時期からでしょう。

現在の多くのワークフローでは、写真のスキャニング、キリヌキ・貼り込みは出力側で

# フローの再認識

「タイムフィー」と呼ばれる料金があったことも手伝って、制作者側はミスを洗い出し、かつ出力が速く済むようなテクニックを身に付ける努力をしました。ですから、出力オペレーターとのコミュニケーションを大事にし、そこから得た情報を元に、より完全なデータの作成を目指していたわけです。

## 現在のワークフロー

3年ぐらい前から、DTPのワークフローは変化し始めました。この頃から、従来のアナログ環境に対して、DTPを取り巻く環境がスピード面でもコスト面でも採算に見合うようになってきたためです。フォントの種類も格段に増え、「写研でなければダメ」といった写研神話が崩れ始めたのもこの時期でした。印画紙出力が減り、相対的にポジフィルム出力が一般的になり、面付けも盛んに行なわれるようになりました。

出力センターも増えましたし、それまでDTPには見向きもしなかった製版・印刷会社が、こぞってイメージセッターの導入を始めました。しかし、DTP出力の発注量は加速度的に増えましたが、受注社の数も同時に増えましたから、当然のように価格競争が始行なっています。それだけでなく、画像データの不備であるRGBやJPEGデータの修正、あるいは（不備というよりは印刷不適正な）墨文字の抜き合わせの処理、Illustratorの1色トンボの修正、などは、出力側で修正するのが当然という人がいるのです。さらに、過去の連載でも書きましたが、制作者が独自に制作したテクスチャーの色調修正を「そんなことができないのは出力側の技術能力不足だ」という人まで存在します。ここまでくると、さすがに開いた口が塞がりません。

未完成の商品（もっと悪くいえば不良品）を納めておいて、「それを直すのがお前の仕事だ」といっているのでは、とても「プロの仕事」とはいえないでしょう。

## なぜ問題が起きたのか

現在のDTPのワークフローに、さまざまな問題点が存在するのは、誰の目から見ても明らかです。では、なぜこのような問題が起きてしまったのでしょうか。

以前のワークフローと、現在のワークフローを比較するとある事実が浮かんできます。それは、DTPへの製版・印刷会社の参入です。それまでは、制作者と出力オペレーターが直接コミュニケーションを取っていましたから、持ち込まれたデータに何らかの不備があった場合、すぐさま制作者に連絡を取り、修正後、再入稿するなどの迅速かつ円滑なワークフローが実現されていました。しかし、両者の間に製版・印刷会社の営業マンが加わることによって、このワークフローはもろくも崩れ去ってしまったのです。

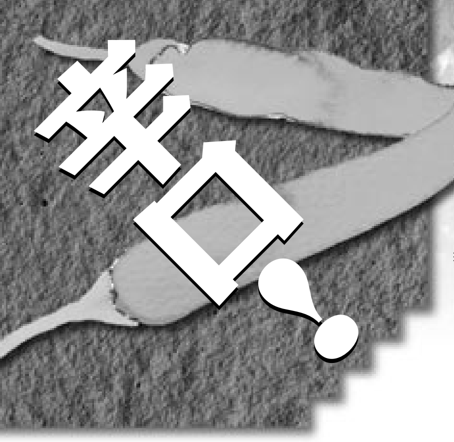
DTPのことをまったく知らない営業マンでは、制作者が伝える重要な情報を出力先に伝え忘れたり、トラブルがあった際も適切な状況判断ができません。ですから、そのような営業マンが間に入っても、話が通じないばかりでなく、スムーズに進むはずの作業を混乱した状況に陥れます。このような営業マンは、出力センターにデータを持ち込んでも「出力依頼書」すら書くことができませんし、書き方を覚えようともしません（図1）。

DTPのことを勉強せずに、問題があれば出力先に文句を言うだけの人達が、なぜ「管理費」という名目で、仕入れに対してマージンを取ることができるのでしょうか。

# ワークフローの改革

## スケジュールを改革する

DTPを導入したのに利益が出ていない製版・印刷会社には、前記のような営業マンが多く在籍しているようです。またそのような会社では、管理責任者や経営者も、アナログ時代の幻想や方針をいまだに引きずっていることが多いようです。




# 現場が教える 本音DTP講座

DTPにはDTPなりのスケジュール管理が存在します。たとえばアナログ製版では、よほど写真原稿の点数が多くない限り、写真原稿の入稿と版下の入稿は同時です。このようなスケジュールでもなぜロスがないのでしょうか。アナログ製版ではまず版下をネガフィルム状態にし、チント処理（アミ伏せ）が必要です。その間、同時進行で写真原稿のスキャニング（分解）を行なうため、時間的なロスが生じないのです。

しかし、いわゆるQuarkXPressやPage-Maker、IllustratorなどのDTPデータは、すでにチント処理されていますから、データに不備がなければすぐにでも（ポジ）フィルム出力が可能です。ですから、写真原稿とDTPデータを同時入稿すると、「スキャニング待ち」という状態が発生してしまい、非効率的な状態になります。絵柄にもよりますが、スキャニングデータは120%〜50%ぐらいはレイアウトソフト上で拡大縮小可能ですので、前もって入稿したいものです。また、使用サイズが変わる可能性がある場合、やや高めの解像度でスキャニングしておくのも一案です。

DTPではカンプや文字校正の段階から、写真のアタリを入れて校正出しするのは当たり前のように行なわれています。ですから写真原稿を前もって入稿することは難しいことではないはずです。それでも写真原稿とDTPデータが同時入稿されるのは、営業マンが制作先に何度も足を運ぶことを惜しんでいるとしか思われせん。わずかな時間を惜しんだがために、出力オペレーターに多くの残業代を払わざるを得ないのであれば、何のために営業しているのかわからないでしょう。

もしも、写真原稿とデータが同時入稿の冊子などで、写真原稿が100点以上あればスキャニングだけで1日以上の時間がかかってしまいます。データが入稿されていても、データに関してはチェック以外は、なにひとつ進行することはありません。ですから、このような無駄な時間を作るよりは、逆に制作者に無理にデータ入稿を急がせ誤植や不備があるほうが問題ですから、もう一度よくクライアントと文字校正をしてもらうようにお願いしたほうが賢明です。

このように現実のワークフローを理解していれば、出力側だけではなく、制作者側の負担やミスを減らすことも可能なのです。

## 見積りを改革する

スケジュールばかりでなく、見積りにもDTPに適した価格設定が存在します。

アナログ製版では色校正に修正が入り、4版焼き直しになってもよほどのことがない限り、すべてのマスク版が使用不能にはなりません。ストリップ修正で済むことも多いのです。初校正時にかかる原価と再校正時にかかる原価が違うわけですから、当然販売価格も異なります。しかし、DTPでは出力側で特別に作業をしなければ、フィルムにかかる原価は変わりません。ところが、再校の費用を値下げしている製版・印刷会社が多く見られるはなぜでしょうか。

これは、アナログ製版時代の価格体系の名残りなのでしょう。しかし、本来DTPでは初校正・再校正では原価が変わりません。もし、初校正時には4割、再校正時には2割というような利益率で価格を設定し、初校正で校了になれば高い利益率を得ますが、以後校正が増えるたびに利益率は低下します。このような価格設定は、とても健全とは思えません。なぜならば、仕事をすればするほど儲からなくなる、という矛盾に陥るからです。

初校正の中に、キリヌキ代や貼り込み代、面付け代、データ修正代を含ませているから、高く設定しているという営業マンもいます。だとすれば、写真100点すべてキリヌキと貼り込みを行ない、さらに16面付けをし、データ修正も多分にある非常に手間のかかるものと、単に出力すればよい非常に手間のかからないものが同じ価格であっても本当によいのでしょうか。このような価格設定がまかり通れば、どのような仕事内容でも均一の価格設定をしている会社には難易度の高い面倒な仕事のみが発注され、価格差がはっきりしている会社には、難易度の低い簡単な仕事が多く発注されるようになってしまいます。

おしなべて均一の価格設定をすることも可能でしょうが、定期刊行物ならばまだしも、かかった経費を請求するのは当たり前ですから、一般的にはある程度個別に価格設定をしたほうが健全と言えます。

## 意識を改革する

製版・印刷会社の古株営業マンの中には、「いままでこのやり方で仕事をしてきた」的なことを言う人をよく見かけますが、まずこのような悪質な意識を徹底的に変えなければ、この業界は一向によくなりません。時代と技術が変わったのですから、手法も変わるのは当然です。また、DTPを扱って賃金を得ているのですから、DTPに対する知識を学ぶことも、必要不可欠です。昔のように不透明な価格設定や原価無視のダンピング、効率無視の精神論的な仕事の仕方などでは、もはや受注を受けることすら難しいでしょう。

現在のDTP業界には、新しいワークフローに適したスケジュールや、適正な価格設定、技術の裏打ちがある適切なアドバイスなどが必要とされています。このような条件を満たせる営業マンや管理責任者を育てることが、製版・印刷会社に要求されています。今月の売り上げのことしか頭にない経営陣は、このような時代には適していないと判断せざるを得ません。

＊

再開初回からかなり辛口になりましたが、いかがでしたか。言い訳ではありませんが、筆者は元々は印刷会社の営業マンです。約8年前、DTPと出会い「版下と色指定を確認するように、DTPデータも営業マンが確認しなければ」と思いDTPを学び始めました。ですから現在の営業マンにも、同様の意識を持ってもらえばと思っているのです。

次回は「データ保守の責任」をお送りします。

Q&Aコーナーは、随時募集しています。Virtual MACLIFE（http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/）の掲示板「MACLIFE会議室」に、どんどん書き込んで下さい。質問以外の、ご意見などもお待ちしています。

*[Design & Layout'Usui Design Office]*

Q&A CORNAR Tips

# プリンターフォントは本当に必要？

MACLIFE編集部のみなさま、はじめまして。kawappiと申します。
いま事務所にカラーPSレーザープリンターの導入を考えてるのですが、フォントのことで悩んでます。

Mac側にATMフォント、プリンター側にプリンター用アウトラインフォントをインストールするのがベストなのでしょうが、プリンターフォントは値段が高いので、何とかMac側のATMフォントだけで済ませられないかとセコイことを考えてます。その場合PSレーザープリンターからの出力（特にQuarkXPress）は可能なのでしょうか？

それから、このような用途の場合、いま店頭に並んでるNewCIDフォントを購入してもいいのでしょうか？　従来のOCFからCID、そしてNewCIDとパッケージがころころ変わって、なにがなにやらさっぱりわかりません。長々と書いてしまいましたが、お答えいただけると助かります。ではでは。(99年8月26日 MACLIFE BBS掲載)

A

プリンターフォントは、基本的には購入をお勧めします。確かに、ご指摘のようにプリンターフォントは高価なものです。購入しないで済むものなら、筆者も購入したくないのですが（笑）、アプリケーションによってプリンターフォントがインストールされていないと、出力結果に問題が生じるものが存在します。

ご質問の中にあるQuarkXPressは、ATMをラスタライザーとしてプリンターに出力することができます。しかし、この方法で出力を行なうと、文字ヅメがかなり狂ってしまいます。リフロー（1行の中の文字が溢れて次行に送られる現象）は起きませんが、字間が開いたり、字と字が重なったりと、DTPではとても使いにくいものになります。この問題は、現在のバージョンである4.05Jでも確認されていますので、QuarkXPressをメインでご使用ならば、やはりプリンターフォントは購入されたほうがよいでしょう。

PageMakerやIllustratorでは、印刷機能の一つとしてフォントのダウンロードができるようになっており、その機能を使えば上記のような問題は発生しません。

どうしてもプリンターフォントを購入したくなければ、PDFに変換後出力するという方法もあります。NewCID（ちなみにこの呼び方はモリサワフォントのみです）フォントでエンベットを行なえば、精度的にも問題ありません。また、通常QuickDrawプリンターで、Illustratorデータが貼り込まれたQuarkXPressデータを出力した場合、Illustratorデータは粗画像のように出力されてしまいますが、PDFで出力を行なえば、キレイなプリント出力が得られます。ただ出力のたびにPDFに変換するのは億劫ですが……。

購入に当たりNewCIDフォントにすべきか否かは、kawappiさんのお仕事の状況や内容によって判断が異なると思います。なぜなら、本誌1999.4月号　No.128の連載にも記述しましたが、モリサワとアドビのフォントは従来のOCFフォントと、NewCIDフォントでは完全には互換がとれていないからです。具体的には、100字あまりの文字改訂及び文字位置・データの改訂などがあります。モリサワのWebサイト（http://www.morisawa.co.jp/support/PDF/fonts/CID_moji_kaitei.pdf）に「CID文字改訂リスト」がありますのでご確認下さい。また、さまざまな問題点を解決するためにモリサワでは、Renewal OCFフォントやOCFフォントの文字修正パッチプログラムといったものを準備中のようです。

もしも、kawappiさんのメインのお仕事がリピート（改訂・再版など）が少ないものであれば、仕事の切れ間のタイミングにNewCIDフォントへの切り替えを行なうことも可能だと思います。しかし、リピートが多い冊子などがメインであるならば、現状でのNewCIDフォントの即時導入は難しいように思います。とりあえずOCFフォントを購入して、モリサワの互換用ツールが用意されしだい、アップグレードをされてはいかがでしょうか。

モリサワは2001年7月末には、OCFフォントのサポートを終了することをアナウンスしていますので、いずれかのタイミングではNewCIDフォントへのアップグレードは検討するべきでしょう。

## Tips

1999.7月号　No.131の連載でINRIPセパレーションについて扱いましたが、INRIPセパレーション出力でもBk100%のオブジェクトを、個別にオーバープリントとノックアウトに使いわけられるテクニックを記載し忘れてしまいました。

RIP側の設定は、「ブラックオーバープリントをオン」にします。このままでは、Bk100%のオブジェクトがすべてオーバープリントになってしまいます。しかし、ノックアウトにしたいオブジェクトの塗り設定を、たとえばBk100%＋C1%などに設定します。RIP側は単色のBk100%のオブジェクトのみ、オーバープリント処理を行ないますから、Bk100%＋C1%ような混合色の設定ではノックアウトになるのです。

1%程度のアミ点は、出力したフィルム上では目に見えてしまいますが、刷版に焼き付けた際にはほとんどがアミ点として形成されません。ですから、版ズレ(印刷見当ズレ)が多少おきても、問題にならないでしょう。

# DTP ユーザー強化連載

# AppleScriptで楽々Quark ⑧ ——はじめてのFace Span

CD-ROM DEMO

倉持 哲也　(株)千明社 システム開発課

先月号の冒頭で話したとおり、米国で開催されていたSeyboldセミナー（8/30〜9/3）でAdobeからInDesignが発表された。残念ながらQuarkからはQuarkXPress 5.0の発表はなく、4.1の発表だけにとどまったようだ。InDesignは出荷も開始され、（英語版ではあるが）日本国内でも入手が可能になったようだ。他媒体でも多数紹介されているとおり搭載されている全機能の約80%をAppleScriptで制御ができるということで、筆者のみならず、業界全体でも非常に期待が大きい。いずれInDesignのスクリプティング環境がどの程度のものかを紹介できればと思う（コラム参照）。

Mac OS X でもAppleScriptが採用されることが決定されており、さまざまな処理を柔軟にこなせるアプリケーションを開発できる環境も提供されるだろう。そういう意味でもFace Spanはけっして難しいRAD開発環境ではないので「次」に向けて操作方法などに慣れておこう。

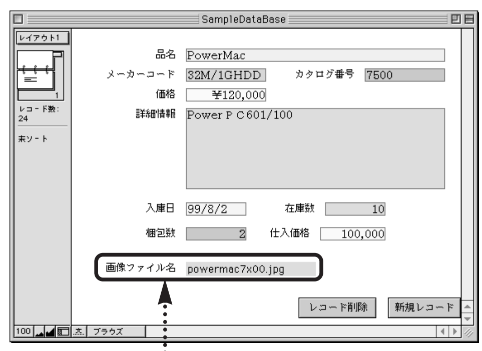


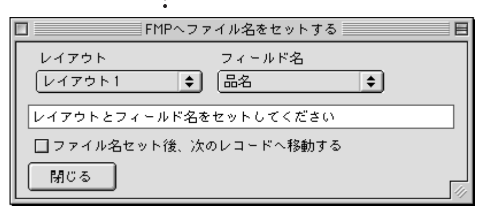

画像ファイルを流し込む場合はここをチェックし、画像ファイルが保存されているフォルダーを選択する

保存、読込、区切りの処理は誌面で掲載、説明するにはあまりにも複雑になり、もうしわけないが、今回は省かせていただいた

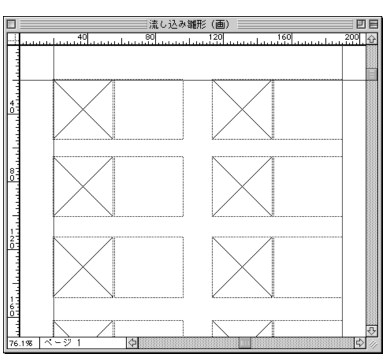
フォルダーを選択する場合はボタンで選択しても構わないが、フォルダーをドラッグ&ドロップしてもかまわない

ファイルメーカーProの特定のフィールド（テキスト型）を用意し、流し込む画像ファイルをセットする。1つの商品で複数の画像ファイルを扱う場合には未対応

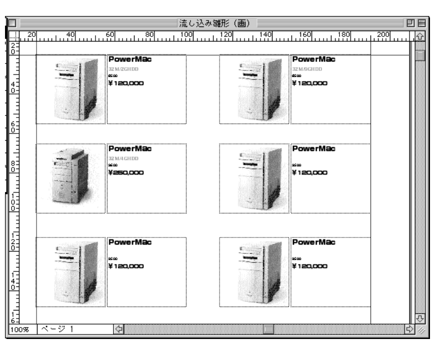



ファイルメーカーProのレイアウト、そしてフィールド名を選択する。パレットが表示されたときにレイアウト名をファイルメーカーProから読みとっておく必要がある。画像ファイルをパレット上のテキストボックスにドラッグ＆ドロップするとファイル名だけを抜き出し、指定したフィールドへセットする。また、連続した登録に対応できるように、ドラッグ＆ドロップしてファイル名をセットしたあと、自動的に次のレコードへ移動するような機能を付加した。画像の流し込みはもう片方のパレットで、指定したフォルダー内のフィールドにセットしてあるファイル名をセットする。ファイルが読みとれなかったり、見つからないなどの理由でQuarkXPressの画像ボックスへセットできない場合は画像を流し込まないようスキップする




今回は画像、テキストボックスを組み合わせたグループをマスターページとして用意した。結果は右図のようになる。使用した画像ファイルは筆者独自で用意したものだが、著作権の問題を考慮し、CD-ROMには収録していないので、読者ご自身で適当な画像を用意し、ファイルメーカーProのフィールドへファイル名をセットしなおしてほしい



また、9/20〜9/24に開催されたIGAS '99でもデータベースパブリッシング（DBP）アプリケーションが多数紹介されていた。AppleScriptで開発されたものではないが、需要が高まってきている表われといえるだろう。時間が許されるかぎりDBPについて検討し全体的な制作コストの削減を目指そう。

## DBPは文字だけではない

先月号では、どのファイルメーカーProでも指定したフィールドにフォントやサイズ、カラーなどを指定して流し込めるようにしたが、たとえば商品説明のための情報には文字だけではなく、画像ボックスやラインなども含めて1まとめとする場合がほとんどだ。

また「お買い得商品！」や「さらに10%値引き！」などの特殊な情報さえもファイルメーカーPro上で管理している場合もあり、流し込む際に「このフィールドのデータが、”お買い得商品”だったら、Illustratorのファイルをこの場所にセットする…」というケースも多いのではないだろうか。

現状、このように、ファイルメーカーProのフィールドデータを”条件”としてQuark XPresへ指定したアイテムグループ（画像、テキスト、罫線）を配置するような機能を実現するアプリケーションは、XTentionには存在するが、手軽に導入できるようなものが少く、筆者が満足するほどの機能を備えていないことが多い。

必要とされる機能を完全に満たすものを開発しようとすると、とても紙面上では紹介しきれない巨大なアプリケーションになる。それだけDBPというのは、ユーザーのニーズをカタチにする最たるビジネスで、非常に複雑で難解なものといえる。

## 画像を流し込む

今回は前回のアプリケーションに改良を加え、画像も流し込めるようにする。例によって左図に仕様をまとめた。

画像の流し込みをどのようにするか？　ここが一番悩むところだといえる。筆者が思いつく限りでは………。

❶ファイルメーカーProのフィールドへファイルの絶対パスをセットしておく。
❷ファイル名だけをファイルメーカーProのフィールドへあらかじめセットしておき、流し込む際、アプリケーション上で画像ファイルが存在するフォルダーを指定して流し込む。
❸ファイルメーカーPro上の商品名（もしくはその商品名に割り振られたユニークな商品コード）データと、画像データベースのCummulusと連携（検索）し、Cummulus上にあるデータを流し込む。

他にも有効な手段があるかもしれないが、今回は❷の方法を選択する。画像ファイルが保存されているフォルダーは作業工程の都合で変更する場合があるため、絶対パスでフィールドへ保存するよりも、保存先のフォルダーを選択させたほうがよいと判断した。

また、実際にどのようにしてQuarkXPressへ画像ボックスとして配置するのか？　という処理はマスターページに画像ボックスを配置して流し込むという手法を選択した（本来ならばこの部分はユーザーが抱えている仕事内容によってさまざまで、ユーザーの要望をすべて実現すると、インターフェイスも処理内容も非常に複雑になる。DBPを実現するXTentionではQuarkXPressで作成した各パーツを雛形としてライブラリー化し、各レコードごとにどのパターンを使用するのかを設定している。AppleScriptレベルでは実現できない技術だ）。

## 画像ファイル名をファイルメーカーProへ

画像ファイルをファイルメーカーProのフィールドへセットする場合、手動でセットすることもできるが、登録ミスを防ぐため専用のパレットを用意し、画像ファイルをドラッグ&ドロップすれば、指定したフィールドへファイル名がセットされるようにした。

ウィンドウが開かれるときの処理

```
on prepare theObj

	--表示するウィンドウを中央に表示させる
	set position of window "FileNameSet" to centered in main

	set lay to "データベースを開いてください"
	tell application "ファイルメーカー Pro v3"
		get count every document
		if result = 0 then
			beep 1
			display dialog "ファイルメーカーProのデータベースが一つも開かれていません"
		else

			tell document 1
				set lay to name of every layout --ファイルメーカーの全てのレイアウト名を得る
			end tell

		end if
	end tell

	set contents of popup "ファイルメーカーproLay" to lay --ファイルメーカーProのレイアウト名をポップアップへ
	set enabled of popup "ファイルメーカーproFld" to false
	set enabled of textbox 1 to false
end prepare
```

画像ファイルがテキストボックスにドラッグ&ドロップされたときの処理

```
on drop theObj data theData upon endItem final outline endGrayBox

	--Dragされたファイル名をファイルメーカーProのカレントレコードのフィールドにセットする
	set textbox 1 to fileToName theData
	set fPath to contents of textbox 1
	--チェックボックスの値をあらかじめgetしておく
	set Chk to hilite of checkbox "chkName1"
	set Fname to contents of selection of popup "ファイルメーカーproFld"

	tell application "ファイルメーカー Pro v3"
		tell document 1
			tell current record
				set cell Fname to fPath
			end tell
			try
				if Chk = true then go to record after current record --次のレコードへ移動
			on error
				display dialog "最後のレコードです"
			end try

		end tell
	end tell

end drop
```

```
on selection made theObj
	set selm to contents of selection of theObj

	tell application "ファイルメーカー Pro v3"
		tell document 1
			show layout selm --選択されたものへとレイアウト変更
			set nam to name of every field --変更したレイアウトの全てのフィールド名を得る
		end tell --document 1
	end tell --  tell application "ファイルメーカー Pro v3"

	set contents of popup "ファイルメーカーproFld" to nam
	set enabled of popup "ファイルメーカーproFld" to true

end selection made
```

レイアウト名のポップアップが選択された時の処理

```
	set PictFpath to contents of textbox "txtName7" --画像ファイルが保存されているフォルダのパス
```

```
	----------- 画像を流し込む
	if my TableDataGet(ParCnt, 11) as string = "true" then
		tell picture box box_inc of current page
			set properties of image 1 to {contents:alias (PictFpath & item ParCnt of RData), bounds:proportional fit}
		end tell
	end if
```

画像ファイルを流し込む処理

## スクリプティングテクニック1

ファイルメーカーProへファイル名を登録するウィンドウが表示されるとき、画像ファイルがドラッグ&ドロップされたときの処理内容は、ファイルメーカーProを制御するスクリプトがあるだけで難しいものではないが、レイアウトの一覧をポップアップメニューへ表示する部分は頻繁に使う部分なので参考にしてほしい。

今回のサンプルではユーザー側が用意したファイルメーカーProのデータベースにレイアウトが複数ある場合を考慮し、レイアウトを先に選択し、そのレイアウトに配置されているフィールドを選択するようにした(カレントレイアウトのフィールド名を表示してもかまわないが、どのレイアウトに登録するのかを指示することで、間違った登録や混乱を防ぐことができる)。

### ▶訂正

前回のコラムでAppleScriptで制御できるデータベース「Valentina」について紹介したが、その中で「Valentinaにはレコードを編集するUIがない」と記述したがこれは誤りでVer1.5以降に搭載されているUIで可能だ。また、「SQLで制御できない」という部分も同じくVer1.5から簡単なSQL文でデータベースからレコードを呼び出せることを確認している。お詫びして訂正する。

また、読者から「Ver1.5のGUIが不安定だ」という意見をいただいた。当方でも同じでタイプ11のエラーが頻繁に起きる(AppleScript制御では問題ない)。今後のバージョンアップに期待しよう。

また、ファイルがドラッグ&ドロップされたとき、Dropイベントハンドラーのthe Dataというパラメーターにファイルのエイリアスが入っている(複数ファイルがドロップされた時はリスト形式になる)。

エイリアスからファイル名だけを抜き出す処理はTanakaOSAXのFileToNameコマンドを用いた。AppleScript TextItems Delimitersで区切り文字をコロン(:)にして抜きだす方法もあるが、スクリプトを簡潔にするためにOSAXを用いた。

次のレコードへ移動する処理に、Try〜On Error〜end try文を用いているのは、表示されているカレントレコードが最後のレコードの場合にエラーを返すためである(カレントレコードが最後のレコードであるかどうかを確認するif文を入れてもよい)。

## スクリプティングテクニック2

今回は、前回に画像ファイルを流し込む処理処理を付け加えただけなので、スクリプト自体は、文字をテキストボックスに流し込んだあとに、下のスクリプトを付加しただけである。どの部分に付加されているのかを読者自身で確認してほしい。

流し込む処理としては、実行ボタンが押された直後、画像ファイルがどのフォルダーに保存されているのかを先に変数へ入れておき、流し込む際に、ファイルメーカーProのフィールドにセットされているファイル名と連結したものを、エイリアスとして画像ボックスへ流し込むようにしている。

また、画像ファイルが画像ボックスの中央に自動的に伸縮するよう、boundsプロパティをproportional fitにしている。

QuarkXPressのスクリプティングの少し難しいところだが、画像ボックスに画像を流し込む際、画像ボックスはPicture Boxを指定するが、中身の画像はImageというオブジェクトを指定しなくてはいけない。その際、通常Picture Boxであれば、Tell Picture box 1、2と番号を直接指定するが、画像ボックス内の画像はImage 1のみ指定可能で、たとえば"Tell Image 2 of Picture Box 1"といった指定をするとエラーとなるので注意しよう(理屈から考えると画像ボックス内に画像は1つしかないので、2番目以降は存在しないということなのだが、もう少しスマートな処理にしてほしいところだ)。

## 改良のポイント

今回は、エラー処理をあまり考えないで記述したため、ユーザーには不親切なスクリプトになってしまった。ファイルを複数ドラッグ&ドロップされたときはどうするのか、ファイルを流し込む際、画像ファイルでないものであったり、ファイルが存在しない場合などを考え、Try〜On Error〜end try文などでエラーを出さないようなアプリケーションに改良できるだろう。

## 雑記と次回予告

前回、今回と内容的にはかなり難しいものになってしまい少々反省しているが、これまでの連載をご覧いただいて、おそらくほとんどのかたが、初心者向けの内容ではないと思っているだろう。Mac OS 8.5登場以降、AppleScriptの注目度が高まり、初心者向けの書籍は少ないが、Webや雑誌でも紹介され、情報は少なくないのではないか。しかし、初心者の領域を脱した人へのAppleScriptに関する情報となると、極端に少なくなり、不慣れな英語のマニュアルを見てトライ&エラーの繰り返しで、何とかしのいでるという状態ではないだろうか。また、実際の業務にどのように適用するかという点で、悩むことも多いのではないか。そういった中級者で時間的に余裕のないかたに今回の連載が役に立てばと願っている。

次回は、DTP用の画像データベースとしては、AppleScriptで制御できる唯一の製品であるCummulusとの連携についてチャレンジしていきたい。

### ついに発売されたAdobeの次世代DTPソフトウェア

# Adobe InDesginのAppleScript環境を斬る!

8/30〜9/3に米国で開催されていたSeyboldセミナーで発表、出荷されたAdobe InDesgin（英語版）について若干触れてみたい。なお、InDesignを入手して間もない状態のため、操作に不慣れなところがあることと、デザイナーでもオペレーターでもなこともあり、操作や機能については客観的な評価しかできないということをご了承いただきたい。

まずPDFの書き出しを標準でサポートしていること、Illustratorのようにグラデーションが使用できる、パスが使用できる、ガイドライン作成の自由度の高さなどは、デザイナーに評価されるのではないか（ほかにも、ファイルをドキュメント上にドラッグ&ドロップすればデータを配置できる、無制限Undoは、非常に便利だと思う）。“ QuarkXPressキラー ”といわれるだけの機能は搭載しているようだ。気になった点はPower Mac G3でも全体的な動作がやや遅く感じる。操作感もQuarkXPressしか使ったことのない人は、さまざまな面で使いにくさを感じるかもしれない（このあたりは慣れもあるだろう）。

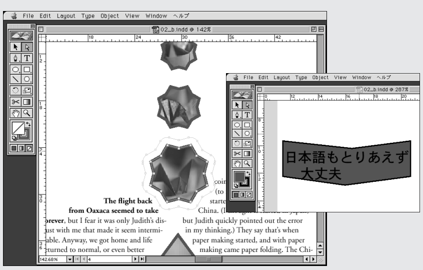
肝心のAppleScriptに関してだが、こちらはQuarkXPressとは比較にならないほどドキュメントが充実している。インストールCDの中にはPDFのオンラインマニュアル（Windows版はVisualBasicにも対応しているため、そのリファレンスも記載されている）、簡単なサンプルスクリプトが多数用意されている。マニュアルも英語だがわかりやすく、Adobeの顧客第一主義なるものを実感してしまった（このあたりはQuarkも見習ってほしいところだ）。さらにプラグインを開発できるデベロッパーキットも用意されている。さらにQuarkXPressが搭載している「XPressTag」と同様のタグ機能もあり、詳しい仕様もPDFで収録されている。

実際のスクリプティングに関しては、仕様は異なるものの、QuarkXPressの場合と同様な記述ができるため（あたりまえかもしれないが）、既存のアプリケーションをInDesignに対応させる作業は、そう難しくないのではないか。

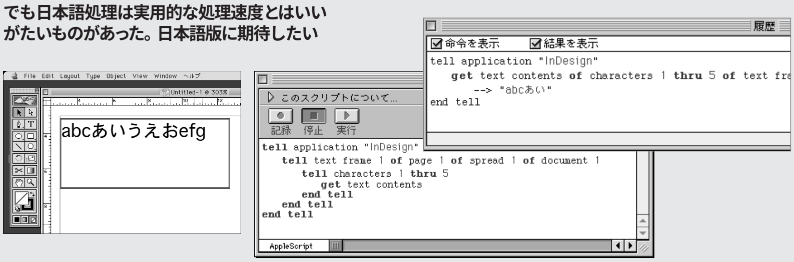
「InDesignが搭載している機能の80%はApple Eventで制御できる」と公表していたとおり、QuarkXPressではできなかった機能が制御できるようになっている。一例をあげると、プリンターの制御、PDFの出力、グループ解除など（残念ながらグループ化は制御できない。ただし、APIが公開されているのでプラグインを作ってしまえば…と思う）、英語版なので日本語環境を公式にサポートしているわけではないが、2バイト文字も1文字としてちゃんと認識する（図参照）。

逆に残念なのが、検索機能（属性検索、置換ができるので非常に便利なのだが）、文字のアウトライン化、ライブラリーがAppleScriptで制御できないことだ。QuarkXPressも同様に制御できないが、オペレーターの作業を合理化するという点で、ぜひ制御できるようにしてほしいところだ。

Windows版はVisualBasicで制御できるという点に注目したい。VisualBasicは基幹システムで用いられているRDBMSにアクセスできるミドルウェア（DAO、RDO、ADOなど）が標準で用意されているため、InDesignと連携すればAppleScriptよりも重装備でかつ処理速度も満足のいくDBP環境が構築できるだろう。VisualBasicのほうがさまざまなことができるため、大規模で高速な自動処理が必要な場合は、書体などの問題はあるかもしれないがWindowsでの開発も検討すべきだろう。

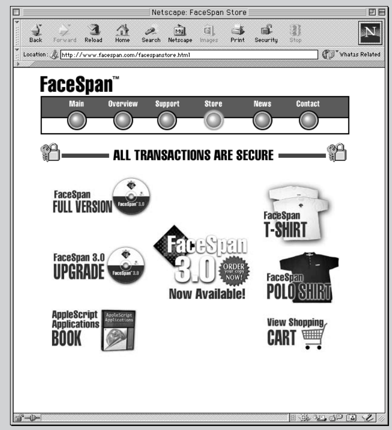



InDesginはIllustrator、PhotoShop のようなルック＆フィールドだ。Adobe非公認かもしれないが、日本語のインライン入力もなぜかできたが，ものすごく反応が鈍い。G3-300Mhzでも日本語処理は実用的な処理速度とはいいがたいものがあった。日本語版に期待したい




InDesginのドキュメント上に配置されたテキストボックス内の文字列をAppleScriptから抜き出す一例。日本語も1文字として扱われていることがわかる。QuarkXPressの場合、“ tell text box 1 of page 1 of document 1 ” といった指定ができるが、InDesginの場合は “ tell text frame 1 of page 1 of spread 1 of document 1 ” といったぐあいにspread 1を間に入れないとエラーとなってしまう。テキストボックス内の内容はtext contentsプロパティで得ることができるが、さらにparagraph、charachterクラスを指定して細かく得られることができる。文字単位のスタイルシートにも対応している

### ■Face Spanの情報・購入について



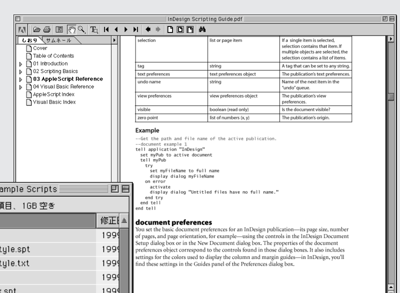

Face SpanのHome Page。支払いはクレジットカードのみだが，確実に入手できる。購入時の為替レートにもよるが3万程度●http://www.facespan.com/

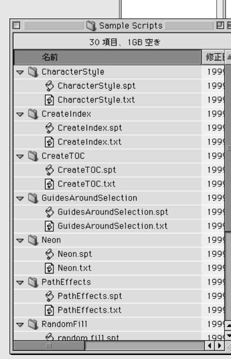
※著者紹介

**倉持 哲也**

1974/11/27 生まれ。（株）千明社に勤務する社内SE。9月中旬に長期休暇みをとり、実家に帰り地元の祭りに行った。伝統的な花火芸を見たのだが、始まるまでの説明や奉納御礼の放送が長く、待ち時間だけで疲れてしまい、肝心の花火芸が短時間で終わってしまい帰り際に不満を言っていたところ、父親に「待ち時間が長いからこそ、見知らぬ人との会話が楽しめるのであって、花火芸は二の次のではないか」と説教を喰らってしまった。我々バブル世代が最も不得意とする部分を鋭く突かれ、下げた頭が上がらないような想いであった。
URL：http://www.asahi-net.or.jp/~qq8t-krmc/
E-mail：qq8t-krmc@asahi-net.or.jp

「K2」というコードネームの発表から大変長らく待たされたこともあり、細かい機能、アーキテクチャーから開発環境まで、あらゆる意味でQuarkXPressの牙城を突き崩すには十分な機能を備えていると、筆者としては感じた。ただし、“ まだ発売されたばかりのソフト ” である。特に制作、出力などの現場サイドからのフィードバックをいかに素速く的確に次のバージョンに生かせるかが、ユーザーに浸透するうえでの重要なカギになるだろう。



AppleScriptに関するマニュアルは、PDFでインストールCDに収録されている。約250ページ（！）のマニュアルにはWindowsのVisualBasicで使用する際のリファレンスも記載されている。各プロパティの簡単なサンプルもあり初心者にはありがたい内容だ。サンプルスクリプトは10種類ほどあり、いずれもInDesginをAppleScriptで制御する際に参考になる

第10回

# Macで快適！ビジネス・ネットワーキング

河野省二

G4マシンが発表されたのは良いが、Mac OS X Serverに未対応という話を聞くと、Mac OS Xのリリースも、もしかしたら先送りになってしまうのではないかと心配になってしまう。とはいえ、Mac OS 9ではAppleShare IPの様にTCP/IPによるファイル共有ができたり、Sherlock2が搭載されたりと、新機能満載でこれらがどの様にAppleShare IPの機能として取り込まれるのか、非常に楽しみである。

## GigaBit Ethernet編 Macintoshでギガビットイーサネット

### ネットワークの高速化は十分か？

サーバの高速化に伴って、ネットワークの高速化を行うべきであるという話はこの連載だけでなく、ネットワーク関連の様々な情報源でご覧になっていると思う。

オフィスで行うことのできる高速化といえば、100Mbpsネットワークへのアップグレード、スイッチングハブの導入、高速サーバの導入などが思いつくが、CPUやハードディスクの高速化に伴って、これらのインフラの一部がボトルネックになって来ている可能性も考えられるようになってきた。

ネットワークのコンサルティングでDTP関連のオフィスなどにお邪魔すると、高速なスイッチングハブなどを導入して整然としたネットワークを組まれていることが多い。VLANとまではいかないまでも、全ての端末にスイッチングハブのポートを用意しており、いわゆる理想系のネットワークを構築されている。

全ての端末がスイッチングハブに接続されていることで、端末間のバイパスが確保され、十分な速度が得られている・・・はずなのだが、よくよく考えてみるとそう言うわけではない（図1）。

ネットワークのたとえ話ではポートの速度をホースの太さ、パケットの流量を水の流量として考えることが多い。サーバを含む全ての端末がスイッチングハブに接続されている場合、ホースの太さと水の流量がどうなっているのかを考えてみよう。

8ポートのスイッチングハブに7台のクライアント、1台のサーバを接続してある環境でサーバに対してファイル共有をしている。それぞれのポートに流れてくる水の量は100Mbps、つまり最大時で700Mbpsということになる。これに対して、サーバ側で受けられる水の量はクライアントと同じ100Mbpsである。ではあとの600Mbpsはどの様に処理されることになるのだろうか。

これらの溢れてしまった600Mbps分の水はスイッチングハブのバッファにためられてサーバの処理を待つことになる。雨がたくさん降った日にはダムに水を溜めているのと同じである（図2）。

となると、このバッファの容量がハブとしての性能を決めることになる。十分なバッファ（バックプレーン）を用意しており、バッファからポートへのデータ転送が高速なものほど良いスイッチングハブということになる（図3）。

最近20,000円程度で販売されているスイッチングハブではこれらの性能が十分でなく、ネットワークの障害を起こしてしまう場合が多いようだ。ネットワークカードもメーカによってかなり速度が違うようだが、ネットワークカードの高速化に伴い、ハブの性能もより高速なものが求められている。

しかし、バッファが十分に用意されているからといって、処理速度が速くなっているわけではない。ネットワークのトラブルが起きないようになっているだけで、実際に処理速度が大きく向上するというわけではないのである。100Mbpsはやはり100Mbps以上の速度を出すことができない。

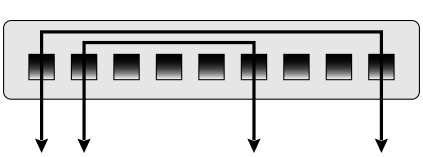


図1●スイッチングハブを導入すれば、ハブ全体にパケットが流れてしまうことがなく、ポートごとにデータのやり取りが行なわれるので、個々のましんのファイル共有などが、他のマシンのファイル共有を邪魔しない

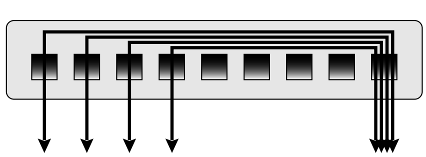


図2●ただし、通信方法が多対1だと1つのポートにパケットが集中してしまうので、サーバーの処理が遅いと余計に速度が遅くなることがある。また、バックボーンの速度が遅いハブの場合は、データのロストが頻繁に起こるようになる

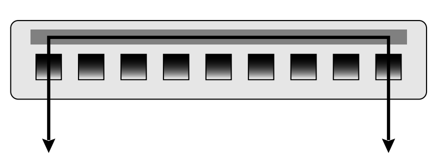


図3●スイッチングハブでは、各ポートを接続するためにバックプレーンを利用する。バックプレーン速度が遅いと、ポートを作り出すことができずにデータをロストし、結果的に速度が低下する。

## 1000Mbpsのイーサネット

そこで、データ処理の集中するサーバのポートを高速化することが重要な課題となってくる。クライアントの速度が100Mbpsになったのだから、サーバはその一つ上の1000Mbps、つまりギガビットにするのが良いだろう。

今までのネットワークと互換性を持たせ、拡張性を維持するためにはイーサネットの規格でギガビットが実現されるのが最良である。そういった意味合いも込めて、登場したのがギガビットイーサネットである。

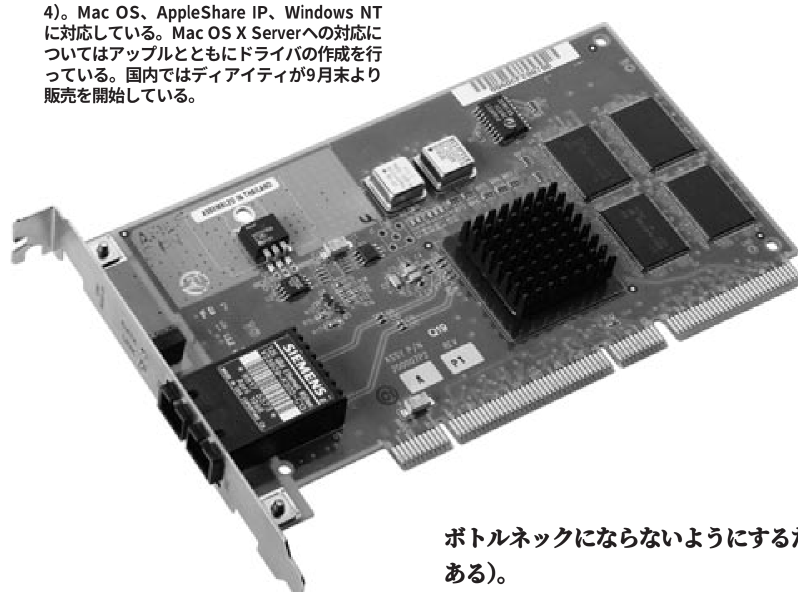
ギガビットイーサネットは従来の10Mbpsや100Mbpsのイーサネットと同様に、転送方式にCSMA/CDプロトコルを利用している。つまり、イーサネットに対応したアプリケーションやユーティリティをそのまま利用できることになる。フレームの形式もフレームのサイズも同様なので、ネットワーク上で大きなトラブルが起きることはといったことはないだろう。標準化についてもIEEE802.3委員会ではIEEE802.3z委員会を形成している。

現在ギガビットイーサネットでは光ファイバーを利用しており、1000Base-SXという規格でカードやハブが各社からリリースされている。光ファイバーを採用していることによって、ケーブリングが難しくなっているが、ネットワークの専門業者に頼むことで比較的容易にネットワークの構築ができるだろう。

100Mbpsのイーサネットがそうであったように、いずれはツイストペアケーブルによるギガビットイーサネット接続ができるようになるだろう。接続の最大延長がどの程度になるのかは現状では確定していないが、既存のネットワークを十分に生かせる規格になってくるのではないかと期待している。

## Mac OSで利用するギガビットイーサネット

Mac OS用のギガビットイーサネットカードは米Farallonからリリースされており(図4)、国内では日本語の簡易マニュアルがついたものがディアイティから提供されている。定価が225,000円とまだまだ高価だが、環境によっては十分なコストパフォーマンスを得られるのではないかと思う。



Farallonのギガビットイーサネットカード(図4)。Mac OS、AppleShare IP、Windows NTに対応している。Mac OS X Serverへの対応についてはアップルとともにドライバの作成を行っている。国内ではディアイティが9月末より販売を開始している。

残念ながらMac OS X Serverではサードパーティ製のネットワークカードをサポートしていないため、ギガビットイーサネットカードを利用することはできないが、Farallonのホームページによれば、アップルと共同でドライバを作成しているといったことが書かれている。是非とも期待したい。

では、AppleShare IPではどうだろうか。もちろんAppleShare IPでも問題なく利用することができる。筆者の環境ではG3/350 256MB RAMを利用してネットワークを構成してみた(図5)。

2台のG3にそれぞれギガビットイーサネットカードをインストールし、ギガビットスイッチングハブに接続をした。一方のG3にはAppleShare IP 6.2をインストールし、事前にいくらかのファイルをコピーしキャッシュを作成しておいた(キャッシュを作成したのは、サーバからのダウンロードを円滑に行い、サーバ側のディスクの速度がボトルネックにならないようにするためである)。

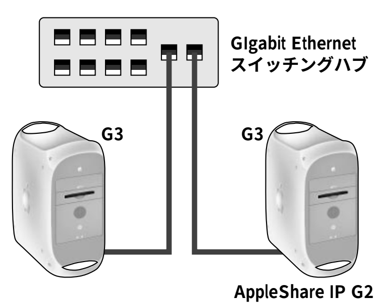



図5●今回は、Gigabitのスイッチングハブに2台のG3を接続した。Farallonのカードは、ASIPにも最適化されており、TCP/IPの通信も高速に行なうことができる。

ダウンロードに関してはMac OS 8.6のCD-ROMを丸ごとディスクにコピーし、これをクライアント側からダウンロードをしてみた。約600MBのファイル群のコピーに要した時間は約40秒。計算すると約120Mbpsの速度でファイル転送を行うことができたことになる。

ディアイティのNET-G FastEther-TX 10/100 PCIカード(Farallon製のネットワークカードにディアイティのドライバが付属した製品)を利用したときの最大転送速度が60Mbpsぐらいなので、その2倍の速度は実現できている。

2倍といっても1対1で接続した場合の速度であり、この速度ではアプリケーションの処理速度がボトルネックとなっている可能性がある。アップルが配付していたデータによれば、AppleShare IP 6.2の転送速度はG3/300で85Mbps程度だったと記憶しているので、120Mbpsというのはそれなりに良い数字だということになる。

今回は実測に多くの時間を割くことができなかったので、実データが参考にならないかも知れないが、ギガビットイーサネットのイメージについては理解していただけたのではないだろうかと思う。

リアルタイムビデオ編集のフロントエンドにMacintoshを利用しているような環境では待ち望んでいたカードがリリースされたということではないだろうか。

QTStrearming Server編

# QuickTime Streaming Serverでビデオオンデマンド

VOD（ビデオオンデマンド）という言葉があまり聞かれなくなったが、QuickTime Streaming Serverがリリースされたことで、比較的簡単にビデオコンテンツの配信ができるようになった。

前回はジャストタイムでのリアルタイムストリーミングの方法を紹介した。読者の皆さんからはたくさんの問い合わせがあり、非常にうれしく思っている。ただ、生放送では接続速度に合わせたコンテンツが作りにくく、多くのユーザにクオリティを維持したコンテンツを見てもらうのは非常に難しい。

今回はQuickTime Streaming ServerによるQuickTimeコンテンツのオンデマンド配信を行うことにしよう（オンデマンドといっても、Webによるコンテンツの配信なのだが）。

## コンテンツの作成

コンテンツの作成を行うためのツールは多くリリースされている。ビデオ編集はMacintoshの得意分野だから、様々なツールが古くから用意されているのである。

キャプチャーや編集を行うソフトウェアで有名なのはAvid Cinemaだが、これ以外にも非常に有用なソフトウェアがリリースされている。

たとえば、速度に合わせたストリーミング用のコンテンツを自動的に作成してくれるソフトウェアとしてTerran Interactive社のMedia Cleaner Pro 4といった製品もある。

これらのソフトウェアについてはアップルのQuickTimeのページに紹介されているので、参考にして欲しい。

http://www.apple.co.jp/quicktime/authoring/index.html

実際にコンテンツを作る前に気をつけて欲しいのは、配信の速度と受信速度のバランスである。最近では多くのユーザがISDNを利用しているので、ISDNを中心にしたコンテンツ作成をしがちだが、iMacのユーザは56Kモデムを利用していることを忘れないで欲しい。

できれば各速度に合わせたコンテンツを作成しておくのが良いだろう。

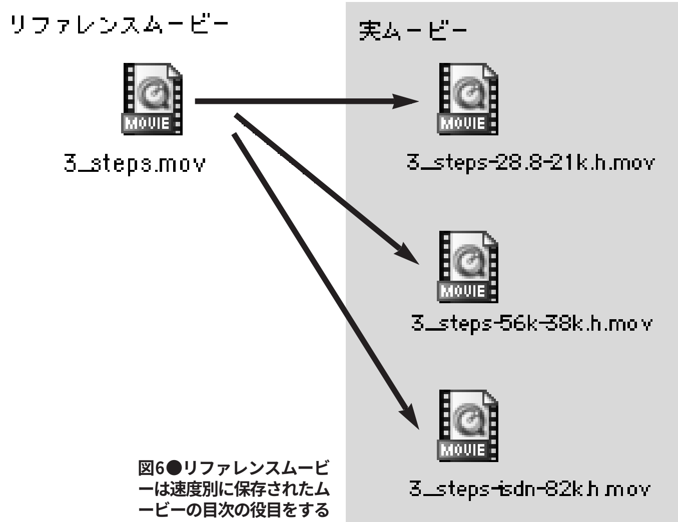



図6●リファレンスムービーは速度別に保存されたムービーの目次の役目をする

## 速度に応じて自動配信

各速度に合わせたコンテンツをデータレート選択ムービーと呼んでいる。データレート選択ムービーを作成するにはアップルが配付しているMakeRefMovieというユーティリティを利用する。MakeRefMovieは速度別に保存したQTコンテンツのインデックスを作成するためのソフトウェアで、作成されたリファレンスムービー（図6）にユーザがアクセスすることで速度に応じたムービーファイルが再生される。

ユーザーはリファレンスムービーにアクセスすると速度に応じたムービーを配信する。ムービーではなくURLで代用することもできる。

たとえば、

- 3_steps-28.8-21k.h.mov
- 3_steps-56k-38k.h.mov
- 3_steps-isdn-82k.h.mov

の3つのファイルを3_steps.movにまとめることにする。作業は非常に簡単で、MakeRefMovie（図7）を起動して、それぞれのファイルをドラッグアンドドロップするだけである。あとはファイルごとに速度（Speed）と優先度（Priority）を設定すればよい。

ムービーの代わりにURLを登録することもできるので、実ムービーがなくてもリファレンスムービーを作成することができる。

リファレンスムービーはコンテンツを含まないので、実際の再生には登録したムービーファイルをアップロードしておく必要があることを忘れないで欲しい。

MakeRefMovieは以下のURLからダウンロードすることもできる。

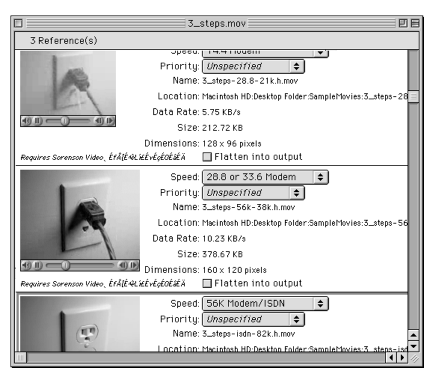



図7●MakeRefMovieの画面。新規に作成した3_steps.movに各ムービーを登録している。それぞれのムービーはドラッグアンドドロップで登録し、速度と優先度を設定するだけで良い。一部文字化けをしているが、気にする必要はない。速度ごとにムービーの大きさを変更することもできる




図8●すでにおなじみのQuickTime TV。ここでは各番組の一覧表を作成しているが、ムービーごとに並べていけば簡単な番組表ができることになる。カタログ的に簡単な説明をつけても分かりやすいと思う

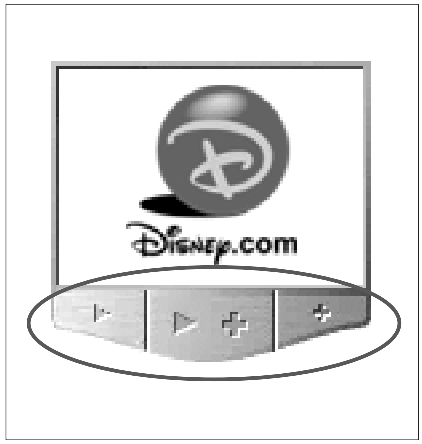
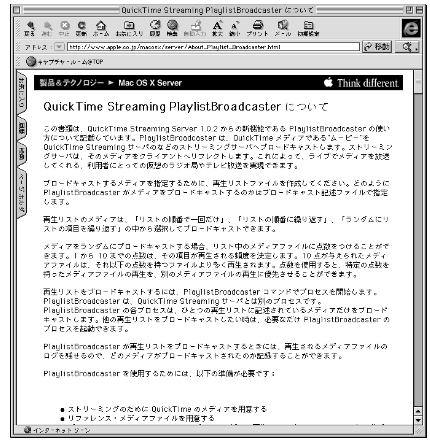



図9●この部分がFlashで作成されており、クリッカブルになっている




QuickTime Streaming PlaylistBroadcasterのホームページ(図10)。文字ばかりで分かりにくいように思うが、良く読んでみると色々な可能性があることを実感できる。一度読んだだけでは良く分からないと思うので、何度も何度も読み返してチャレンジして欲しい

http://www.apple.co.jp/quicktime/developers/tools.html

データレート選択ムービーに関する詳しい情報は

http://www.apple.co.jp/quicktime/authoring/datarate.html

を参照して欲しい。QuickTimeプラグインがどの様にデータレート選択ムービーで指定されたファイルを探しているのかという仕組みを知ることができる。

## コンテンツのカタログを作成する

オンデマンドでユーザが見たいものを選択するにはWeb上でコンテンツをカタログのように掲載しておけばよい。アップルの提供しているQuickTime TV（図8）はまさにそのお手本であると言っても良いだろう。

オンライン上のコンテンツは何度も見てもらえることで、その効果を発することになる。そういう意味合いでは「お気に入り」にコンテンツを登録してもらえることは目的を達成への近道となる。

QuickTime TVではカタログから各コンテンツを選ぶと、それらを再生するだけではなく、お気に入りに加えることができるようになる。QuickTime 4.0ではFlashのコンテンツを再生できるようになったので、これを利用してボタンを作ることができる。この、「お気に入りに加える」ボタンもFlashのコンテンツで作成されている。たとえば、ディズニーのQuickTime TVの紹介ページではディズニーのポスターフレームの下にボタンが配置されているが、これがFlashで作成されているということになる。

QuickTimeのコンテンツにはFlashで作成したファイルを含めることができる（図9）。ワーナーブラザースのコンテンツではアーティストのビデオクリップを見ながら、そのCDを注文できるボタンがついている。ポスターフレームとしてだけではなく、ムービーの一部として利用することができる。

WebページにQuickTimeを配置するには<EMBED>タグを利用する。以下はアップルのページから抜粋したものだが、キャッシュやコントローラのオンオフ、自動再生の選択などを行うことができる。

```
<EMBED WIDTH=”120” SRC=”
http://a68.g.akamaitech.net/7/68/51/988c17f0113dd4/www.apple.com/quicktime/favorites/disney1/disney1_addfav.mov”
 HEIGHT=”40” CACHE=”false” CONTROLLER=’false ”AUTOPLAY= ”false ”>
```

## 複数のコンテンツを利用して、番組を作成する

Webページの目的によっては、ユーザが選択したコンテンツだけを見せるというのではなく、様々なコンテンツを順番に、もしくはランダムに見せたいといった要求もあるだろう。

もちろんCGIなどを利用して<EMBED>タグの中身を変えていけば、それほど難しくなく実現できるだろう。

しかし、この機能をQuickTime Streaming Server 1.02から標準で実装することになった。PlaylistBroadcasterがそれである。PlaylistBroadcasterを利用することで、Webマスターが作成したリストにしたがって「リストの順番で一回だけ」、「リストの順番に繰り返す」、「ランダムにリストの項目を繰り返す」といった条件でコンテンツの再生ができる。

詳しくは以下のURLを参照して欲しい。

http://www.apple.co.jp/macosx/server/About_Playlist_Broadcaster.html

これを利用すればコンテンツの間にCMをランダムに入れたり、番組の予告を入れるなどといったことも実現できる。

各コンテンツには優先度を設定することができ、再生回数をコントロールできるので、ランダムに設定したとしても十分に番組として成り立つコンテンツの作成ができる。

QuickTime Streaming Serverはオープンソースソフトウェアとして Linuxもサポートされている。様々な機能を搭載して個人でも番組作りをできるようになるのは非常にうれしいことである。




協賛◎競馬道On Line（NECインターチャネル）

# 第4回 Macで作る！ オープンソースな競馬予想ソフト

## 今月はApple Eventの使い方を解説、しかし、その前に…

競馬予想ソフトに不可欠な機能のひとつに、ダウンロードしたデータを解凍するという作業が挙げられます。そこで、今回はそのような外部作業に不可欠なAppleEventの利用法について解説しましょう。

その前に、先月号で解説できなかったREALbasic 2 Pro（以後Rb）のデータベース機能である‘REALデータベース’に関する注意点を説明しておきます。

まず、プログラマーがREALデータベースを利用してみようとした場合、必ずといっていいほどいくつかの障害にぶつかってしまいます。具体的にそれがどのような障害なのか、ということは「MACLIFE Open Source Project」ホームページ（http://www.bnn.co.jp/opensource/）にアップしてある「ギャンブラー1号」ソースコードを見ていただくことにして、まずはこのデータベース機能が実際にはどの程度使えそうなのか、そして他のデータベースソリューションにはどのようなものがあるのか、などについてまとめてみます。

## REALデータベースに内在するバグ（仕様？）に気をつけろ

さて、前々回の馬券収支管理アプリケーションの製作、そして前回のギャンブラー1号をREALデータベースを使用する形への改造をとおして、Rb内蔵のデータベースを利用しようとしてきました。

REALデータベースを使うということは、そのままSQLというデータベース言語を利用することを意味しますが、Rbの現バージョンでは、マニュアルでは利用可能とされているSQLコマンドの中にも使用できないものがあったりと、自分の作ったプログラムがうまく動かない場合の問題の特定が難しい状態になっています。

実際、第2回の解説のときに指摘した、maxというSQLコマンドが未実装であるために冗長なコードになってしまった部分がありますし、先月号のソースコードでは自動入力の際の更新がうまく行なわれていないような挙動不審な部分がでてきました。いまのところこれらの問題に対しては、次のRb（米国の本家サイトでは2.1のα／β版のリリースがされています）で修正されるのを待つか、またはこの部分が怪しいな、と感じた部分をうまく回避するコードに修正していくことになります。

閑話休題、Rbへの文句はこの辺にして、実際に前回はふれることのできなかった「ギャンブラー1号」に加えたデータベースまわりのコードについて、少々解説していきます。

基礎知識として、REALデータベースに対する実行手順をまとめると、

1) データベースを開く
2) 開いたデータベースに対してSQLSelectなどでSQLを実行し、結果をdatabaseCursorに格納
3) 得られたdatavaseCursorから必要な情報を取り出す
4) もしSQLの検索条件にマッチしたものが複数あった場合、databaseCursorのおわりまで3)をくりかえす

となります。

たとえば、本ページ左下の表1のような出走馬データの例を考えてみます。このデータから、レース名が「Qちゃん杯」の時の出走馬1～3を得ようとするとき、SQLは、

| レース名 | 出走馬1名前 | 出走馬2名前 | 出走馬3名前 |
|---|---|---|---|
| Qちゃん杯 | アイブックテイオー | シブヤパートナー | イーワンシルバー |
| うーちゃん杯 | ロボットワード | ヨセミテテイオー | アクセスドイツ |
| のんぷう記念 | ノビノビスケジュール | シブヤパートナー | ケミカルカラー |

表1●競馬の出走馬データの例

リスト1■前回のプロジェクト中のメソッドgetUma

```
App.getUma:
Function getUma(theID as Integer,theRaceName as String) As String
 //
 dim myUmaID as String
 dim myDB as database
 dim myDBCrsr1 as databaseCursor
 dim myDBCrsr2 as databaseCursor
 dim myResult as String
 //
 // mainWindow.ListBox1に表示する
 // 馬データの取得
 //
 myResult = “ ”
 myUmaID = “horse”+str(theID)
 myDB = openREALDatabase(gDBFile)
 if myDB<>nil then
  myDBCrsr1 = myDB.SQLSelect(“select “+myUmaID+” from race where name= ’”+theRaceName+”’”)
  myDBCrsr2 = myDB.SQLSelect(“select id,est,name from horse where id= ’”+myDBCrsr1.idxField(1).stringValue+”’”)
  myResult = myDBCrsr2.idxField(1).stringValue+”,”+myDBCrsr2.idxField(2).stringValue+”,”+myDBCrsr2.idxField(3).stringValue
 end if
 return myResult
 //
End Function
```

```
select 出走馬1名前,出走馬2名前,出走馬3名前 from テスト where レース名=Qちゃん杯
```

となり、結果得られるdatabaseCursorは1つに限定されます。databaseCursorからデータを引き出すには、さらに<得られたdatabaseCursor>.idxField(n).stringValueという形で文字列として得ることができます。

idxFieldの引数であるnは、この場合ならselectのあとに続いている出走馬1名前〜出走馬3名前がその順にならんでいるため、1〜3の値をとります。つまり、出走馬2名前はidxField(2).stringValueで取得可能ということです。

別の例を挙げます。出走馬2名前には、「シブヤパートナー」という馬名が2回出てきています。このシブヤパートナーがでてくるレース名を得るSQLはどうなるでしょうか？

```
select レース名 from テスト where 出走馬2名前=シブヤパートナー
```

になると思いますが、この表の場合、得られるdatabaseCursorは2つになります。まず、1つ目のdatabaseCursorから先ほどと同様idxField(1).stringValueで値を取り出した後、databaseCursorのプロパティeofがtrue、つまりdatabaseCursorが終端にきたと知らされるまでdatabaseCursorに対してmoveNextというメソッドを用いてつぎのdatabaseCursorを参照し、idxField(1).stringValueで値を取り出します。

これらのデータの取り出し方については、先月号のソースコード中のApp.getHorseList、App.getRaceName、App.getUmaなどで利用されています。

また、SQL文を実行するためのメソッドであるSQLSelectは、SQL文を記述した文字列を引数にとります。

ですから、たとえば本ページ上のリスト1に紹介するApp.getUmaのように、メソッド自体に与えられた引数をSQL文を構成する文字列として使用することで、似たような検索条件の場合にコードを減らすことができるでしょう。

## サードパーティ製プラグインを使うという手もある！

実は、他にREALデータベースの欠陥を回避する方法があります。それは、サードパーティ製のデータベースプラグインを使うという手です。

先月号の倉持哲也氏の連載記事『AppleScriptで楽々Quark』でも紹介されていたAppleScript用のデータベースエンジンであるValentinaに、Rb版が公開されていました(http://www.paradigmasoft.com/でサンプルをダウンロードできます)。価格199ドルとのことですが、実は9月いっぱいは99ドルという価格で購入することができました。

ValentinaにはPDFで提供されているリファレンスマニュアルとチュートリアルマニュアルがあり、これを読んでサンプルファイルを確認していくことで基本的な部分は理解することが可能です。チュートリアルにはリレーショナルなデータベースの作り方も載っており、マニュアルに簡単な解説しかないREALデータベースよりも可能性に説得力のあるものになっています。

ValentinaはRbのプラグインになっていますが、このプラグインはコントロールを追加するのではなくデータベースを扱うためのクラスを追加する形になっており、すべての動作をコードを書いて定義するようになっています。

テーブルのフィールドの定義の仕方に特徴があるものの、実際のデータの検索にはおなじみのSQLが使用できるようになっており、REALデータベースからの移行も何度かのデータベース作成経験を積むことで慣れていくでしょう。

Standard版のユーザーがデータベース機能をほしいと思ったときにはProfessional版にアップグレードすることと同じくらい検討に値する選択肢だと思いますし、すでにProfessional版のユーザーでも現状のREALデータベースの実装に不満のある方は試す価値のあるプラグインです。

## REALbasicでAppleEventを使う、その基礎の基礎

さて、新しいお題目である“Apple Event”の話をはじめましょう。

| こんなときは・・・ | 送られるAppleEvent | 実行されるメソッドの順序 |
|---|---|---|
| アプリケーションを起動 | aevt/oapp | App.open、App.newDocument |
| 書類をファインダから開く | aevt/odoc | App.open、App.openDocument |
| 書類をファインダから印刷 | aevt/pdoc | App.open、App.handleAppleEvent |
| アプリケーションを終了 | aevt/quit | App.close |
| その他のイベント | 自由に決定 | App.handleAppleEvent |

表2●AppleEventの処理順番

AppleEventとは、アプリケーション間でイベントをやりとりするMac OS標準の機構です。たとえばFinderでなにかの書類アイコンを選択して『プリント』コマンドを選択すると、Finderはその書類を作成したアプリケーションを起動して、印刷を始めます。これは、Finderが「この書類を印刷してね」というAppleEventをアプリケーションに送付したと考えることができます。

また、アプリケーションへの書類のドラッグ&ドロップも、アプリケーション側ではファインダから送られてきた「このファイルがドラッグ&ドロップされたよ」というAppleEventに対応する処理をおいておけばいいわけです。

Rbでは、基本的には次のような手順でAppleEventを受け取ることに対応したアプリケーションを作ります。今回は初めてなので、特定の用途向けという形ではなく、「ギャンブラー1号」に限らず今後AppleEvent対応のアプリケーションを作る際のひな形プロジェクト的なものにします。

まず、Rbを起ち上げたら新規プロジェクトに変更を加えます。Window1というウインドウがデフォルトでプロジェクトに用意されていますが、このプロパティのうちスーパークラスをAppletからWindowに変更します。そして、『ファイル』->『新規クラス』で新しいクラスを一つ追加し、名前をApp、スーパークラスをApplicationに設定します。Window1にはStaticTextを一つ追加しておきましょう。これはきちんと動作しているかどうかのテストに利用します。

また、『プロジェクト設定』でこのアプリケーションのクリエーターを仮に「TEST」とし、起動時にはどのウインドウも開かないようにしておきます。Window1、そして追加したAppクラスに書き込むコードを、次ページに掲載しておきます。

Window1がAppletのままの場合、Window1が複数の文章ごとにウインドウを生成するというような場合に不具合が生じてしまいます。たとえば、テキストエディターソフトを作成するとして、そこに「フォント」メニューを追加した場合の一般的なアプリケーションの挙動を考えてみましょう。起動直後には「ファイル」メニューはアクティブになるはずですが、ウインドウが一つも開いていない場合は、「フォント」メニューは非アクティブの状態だと思います。ウインドウが開いた時点で、はじめてアクティブになるメニューがある、ということです。

このような場合、「ファイル」メニューのようなウインドウの状態によらない処理は、Applicationクラスをプロジェクトに追加してそこに書き込み、「フォント」メニューの処理自体は、Windowクラスに変更したそれぞれのウインドウの中に書き込むことになります。このプロジェクトの中では、Enable MenuItemsというイベントの中でウインドウの状態によって変化する「ファイル」->「閉じる」の状態を決定している、File_closeの定義の仕方などがその部分にあたります。

さて、Appクラスに追加した、Apple Eventの処理のためのコードをみてみましょう。Apple社の規約では、アプリケーションが最低限サポートするべきApple Eventとして、アプリケーションを起動する「oapp」、書類を開く「odoc」、書類を印刷する「pdoc」、アプリケーションを終了する「quit」を指定しています。これらの処理は、いくつかはApplicationクラスの中のイベントとして書けばいいのですが、HandleAppleEventの中でアプリケーションが他にサポートするAppleEventとともに処理を定義する必要があるものもあります。

イベントがハンドラを呼び出す場合、ある決まった順序があり、この順序をうまく理解していない場合、アプリケーション起動時に変数などを二重に初期化してしまったりするような、バグを誘発するプログラムになってしまいがちです（本ページ左上の表2にこの順番を簡単にまとめておきます）。

また、どのメソッドをどこに記述するか、そしてオリジナルなAppleEventの処理はどこにどのように記述するかにも、注目です。このひな形プロジェクトでは、イベントクラス「tst1」にて、「tst1」「tst2」というイベントIDのApple Eventを定義しています。これらは単に文字列を返すだけの、いわばAppleEventにおける「Hello World」のようなものです。

さて、このプロジェクトのリストの中で、この記述の仕方に注目、という部分が1つあります。AppクラスのなかのFile_printというメニューハンドラの中などで見ることができるコードなのですが、Window1(window(0)).pdocという書き方です。window(0)は、現在開いているウインドウのなかで一番手前にあるウインドウを参照するための関数ですが、これは一般的なWindowクラスを返

## 他アプリケーションで有効なApple Eventを確認する方法

実際に自分で他のアプリケーションで有効なAppleEventを確認するツールを紹介しておきます。Apple Eventは、アプリケーションのaeteリソースで説明されていますが、標準のResEditではこれを編集するテンプレートをもっていないため、普通にaeteリソースをダブルクリックしても理解不可能なデータが表示されるだけです。そこで、その名も『ResEdit aete editor』というファイルを使用中のResEditにコピーします。このファイルは、ResEditのテンプレートを集めたhttp://www.rzs.net/TMPL_files.htmlというサイトなどで入手できます。図1に紹介したリソースをうまくResEditにコピーできると、次に起動したときにはaeteリソースにアイコンがつき、ダブルクリックして開いていくと様々な情報を表示するウインドウが有効になります。インストール後に得ることができる情報（図3）をみると、その可読性の差は一目瞭然でしょう。

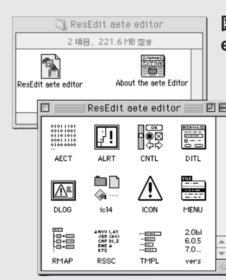


図1●ResEdit aete editorのリソース

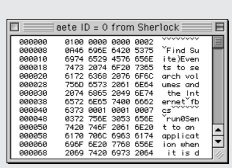


図2●aete editorを当てる前のaeteリソースの表示

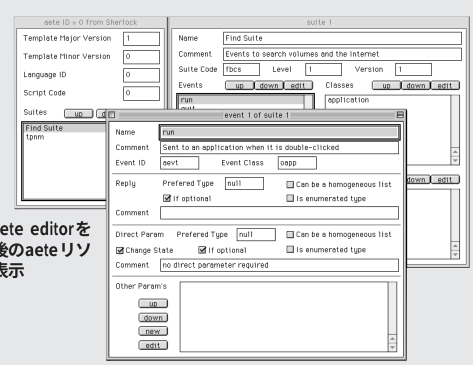


図3●aete editorを当てた後のaeteリソースの表示

してきます。一般的なWindowクラスには、今回Window1に追加したような『pdoc』というような名前のメソッドやイベントはありませんから、window(0)でせっかく一番手前のウインドウがどのウインドウかわかっても、window(0).pdocとしたのではエラーになってしまいます。このような時には、このwindow(0)がWindow1に特徴を完全に引き継いでいるものとして、紹介したコードのような書き方をしてやります。今後複数のオリジナルのウインドウを利用するようなプロジェクトでは、window(0)をWindow1などと一つに決めてかかることは危険ですが、window(0)がどのウインドウからできているのかを調べたあとならば、同じように記述することでウインドウごとの処理をわけることができます。

さて、AppleEventを受け取るところの次は、AppleEventを送信する場合を見てみましょう。オンラインヘルプのAppleEventクラスの項で送付の例をいくつか挙げています。また、「MACLIFE Open Source Project」ホームページには先に紹介したひな形プロジェクトに、いくつかのAppleEventを送るテスト用アプリケーションも一緒にアップしましたので、それも参考にしてください。

```
■Window1に追加するメソッド
Window1.odoc:
Sub odoc(theItem as folderItem)
  //
  // このウインドウにファイルを読み
  // 込む場合の処理はここへ・・・
  StaticText1.text = theItem.absolutePath
  //
End Sub

Window1.pdoc:
Sub pdoc()
  //
  // 印刷時の処理
  //
  msgBox "印刷!!"
  //
End Sub
```

```
■Appクラスに追加するメソッド
App.Deactivate:
Sub Deactivate()
  //
  // アプリケーションが背後にまわった
  // 時の処理
  //
End Sub

App.Activate:
Sub Activate()
  //
  // アプリケーションが一番手前に
  // きたときの処理
  //
End Sub

App.Close:
Sub Close()
  //
  // アプリケーション終了時に、よば
  // れるコードをここに記述します。
  dim i as integer
  //
  if windowCount<>0 then
    for i=1 to windowCount-1
      // それぞれのウインドウを
      // 閉じる処理をします
      window(i).close
    next
  end if
  //
End Sub

App.EnableMenuItems:
Sub EnableMenuItems()
  //
  File_new.enabled = true// 新規
  File_open.enabled = true// 開く
  File_close.enabled = (windowCount>0)// 閉じる
  File_setup.enabled = (windowCount>0)// 用紙設定
  File_print.enabled = (windowCount>0)// 印刷
  File_quit.enabled = true// 終了
  //
End Sub

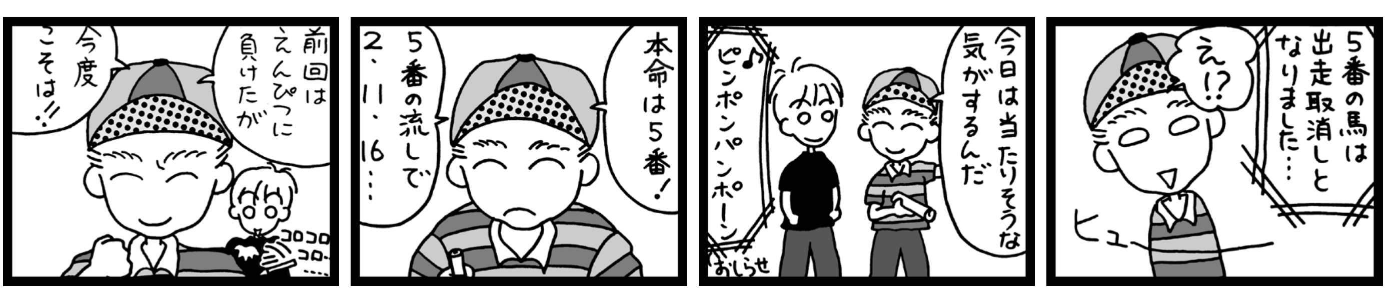
App.Open:
Sub Open()
  //
  // アプリケーション起動時に、必ず
  // 一番最初によばれるコードをここ
  // に記述します。
  //    ～完全初期化用
  //
End Sub

App.OpenDocument:
Sub OpenDocument(item As FolderItem)
  // 書類をダブルクリックすることで
  // アプリケーションが開かれた場合、
  // openの次にここで記述した処理が
  // 行われます。
  dim myWin as Window1
  //
  myWin = new Window1
  myWin.odoc item
  //
End Sub

App.NewDocument:
Sub NewDocument()
  //
  // アプリケーションをダブルクリック
  // して起動した場合に、openの次に行
  // なう処理を、ここに記述します
  dim myWin as Window1
  //
  myWin = new Window1
  //
End Sub

App.HandleAppleEvent:
Function HandleAppleEvent(event As AppleEvent, event
Class As String, eventID As String) As Boolean
  //
  // その他のAppleEventは、ここで
  // select case文でAppleEventごとに
  // 適切な処理をさせます。
  select case eventClass
  case "aevt"
    select case eventID
    case "pdoc"
      // ファインダから書類を印刷
      me.openDocument event.folderItemParam("----")
      window1(window(0)).pdoc
    end select
  case "tst1"
    select case eventID
    case "tst1"
      event.replyString = "これはテスト1です"
    case "tst2"
      event.replyString = "これはテスト2です"
    end select
  end select
  //
  return true
  //
End Function
```

## 第4回『競馬道なひと』 by しきやあけみ



# 再チャレ!! リナックス

# Linux for PPC Japanese Edition 2.0



文●まえだひさこ　イラスト／漫画●Nuts Head

## 新バージョンを使ってLinuxに再チャレンジしよう！ Linux for PPC Japanese Edition 2の使い方（第1回）

Linux for PPC Japanese Edition 2のインストールはうまくいきましたでしょうか？　今回は、前回インストールガイドの補足や、Japanese Edition 2を便利に使うためのTIPS、そしてEmacsエディタのアドインについて説明していきます。なお、最後のほうでは先月号のCD-ROM MACLIFEからのインストールがうまくいかなった読者のための最新カーネル情報も紹介しておきます。お急ぎの読者はまずそちらから読むことをお薦めいたします。

（なお、記事中では誌面スペースの都合上、Japanese Edition 2パッケージを“フルインストール”された環境を前提に進めています。ですから“標準インストール”のみを行なった読者は、先月号のCD-ROM MACLIFEから別途追加でインストールする必要のあるソフトウェアがありますので、あらかじめご注意ください）

### 日本語入力について補足

先月号のCD-ROM MACLIFEに収録されたLinux for PPC Japanese Edition 2では、起動時に標準でcannaserverが起動していますが、文字入力のためのシステムであるkinput2が起動していません。つまり、Netscape Communicatorなどでは、そのままでは日本語の入力ができません。

そこで、まず最初にkinput2を手動で起動させる方法を説明しておきましょう。rootでログインし、ターミナルソフトを起動し、次のようにコマンドを入力してkinput2を起動してください。

```
$ kinput2 &
```

これによって、controlキーとoキーを同時に押すことで、日本語入力が可能になります。Netscapeのinputフィールドに日本語を入力した場合、文字が見えなくなりますが、実際には入力されています。

なお、ログイン時に、自動的にkinput2を起動しておくためには、初期設定ファイルを書き直す必要があります。「/etc/X11/xinit/Xclients」ファイル、もしくはホームディレクトリーに「.Xclients」ファイルがある場合はそちらを修正して、「kinput2 &」というように追加しておきます（後述の「.Xclients」のリスト参照）。

### ウィンドウマネージャーの変更

Japanese Edition 2では標準の総合デスクトップ環境としてGNOMEが起動しますが、パワーの少ないマシンでは非常に重く感じることがあるかもしれません。その場合、GNOMEではなく他の軽いウィンドウマネージャーを起動するとよいでしょう。

Xウィンドウを起動するために必要なファイルである標準の「/etc/X11/xinit/xinitrc」ファイルを見ると、どのウィンドウマネージャーを起動するかの記述を、まず最初にユーザーのホームディレクトリーにある「.Xclients」ファイル→「/etc/X11/xinit/Xclients」ファイルの順に探し、両方のファイルが存在しない場合は、ウィンドウマネージャーとしてtwmが起動するようになっています。

単純にtwmを起動するには、これらのファイルを削除もしくは名前を変更してしまえばよいのですが、WindowMakerやAfterstepなど他のウィンドウマネージャーを起動したい場合は、「.Xclients」を書き換えるとよいでしょう。Japanese Edition 2では、「.Xclients」はホームディレクトリーに作成されませんので、以下のようにコピーしてから修正してください。

```
$ cp  /etc/X11/xinit/Xclients  $HOME/.Xclients
```

　他のウィンドウマネージャーを起動するには、「.Xclients」を修正し、GNOMEとKDEに関する記述を削除もしくはコメントアウトしておきます。たとえばWindowMakerを起動するには、ホームディレクトリーの「.wm_style」というファイルに「wmaker」というように記述しておきます。ただし、この「.wm_style」ファイルは自動的には作成されませんので、管理者が手動で追加する必要があります。

**●リスト「.Xclientsの記述例」**

```
#!/bin/bash
rm  -f  $HOME/Xrootenv.0
rm  -f  /tmp/fvwmrc* 2>/dev/null

kinput2  &          [kinput2を起動]

# First thing - check the user preferences
if [ -f $HOME/.wm_style ] ; then
   WMSTYLE=`cat $HOME/.wm_style`
   case “$WMSTYLE” in
    Afterstep ¦ AfterStep)
   exec  /usr/X11R6/bin/RunWM  --AfterStep
      ;;
      WindowMaker ¦ Windowmaker ¦ WMaker ¦ wmaker)
      exec  /usr/X11R6/bin/RunWM --WindowMaker
      ;;
      Fvwm95 ¦ fvwm95)
      exec  /usr/X11R6/bin/RunWM --Fvwm95
      ;;
      Mwm ¦ MWM ¦ Lesstif)
      exec  /usr/X11R6/bin/RunWM --FvwmMWM
      ;;
   esac
fi
```

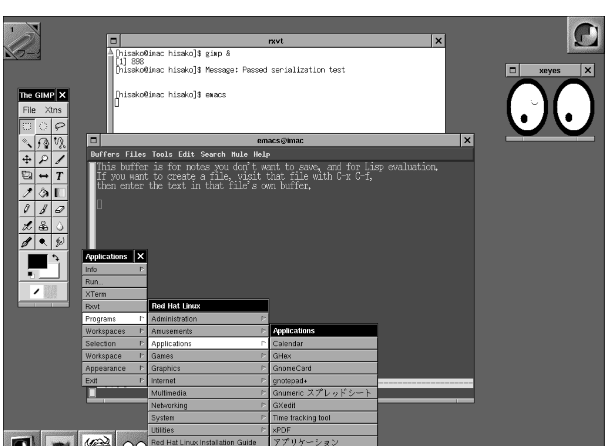



図1●ウィンドウマネージャーをWindow Makerに変更したところ

　マルチユーザーで使うことを前提としている場合、ユーザー登録の際にユーザーホームディレクトリーに作成されるドットファイルの雛形を作成しておくと便利です。このためには、「/etc/skel」ディレクトリー以下に「.Xclients」をコピーし、「.wm_style」を作成しておきます。
　なお、WindowMakerでは、そのままでは日本語メニューが表示されませんので、ターミナルソフトを起動して、以下のコマンドを実行するようにします。

```
$ wsetfont  japanese
```

　設定を反映させるために、Window Makerを起動し直します（図1）。

## Mewでメールの送受信

　さて、前回は簡単にEmacsの説明をしました。Emacsは単純なエディターではなく、追加機能を用いて、メールの送受信から簡易WWWブラウザーとしての使用など、さまざまな使い方ができます。ここでは、Linuxでは最も一般的なメールソフトであるMewの設定と使用方法について説明していきます。
　Emacsの設定ファイルは、ホームディレクトリー直下にある「.emacs」になりますが、まずはこれを修正します。
　Japanese Edition 2では、基本的な設定（Mewだけではなく、IRCやネットニュースを読むためのGnusの設定も含む）について、すでに記述がありますので、まずは該当する行の冒頭のコメント（”;”マーク）を外します。次に、「Please set your mail domain」となっている部分を、自分のメールサーバーのドメイン名に変更します。

**●リスト「.emacsの内容修正」**

```
;;;; Mew 起動設定
(autoload ‘mew “mew” nil t)
(autoload ‘mew-send “mew” nil t)
(setq mew-mail-domain-list ‘(“foobar.com”))
```

　次に、Mewのセットアップを行なうために、IMスクリプト「imsetup」を実行します。これは、perl5で書かれた対話式スクリプトで、電子メールディレクトリーとネットニュースのディレクトリーなどを聞かれますが、リターンキーを押して進んでください。
　ただし、最後に電子メールアドレスを聞かれますので、インターネットプロバイダーなどから与えられた自分の電子メールアドレスを入力するようにします。



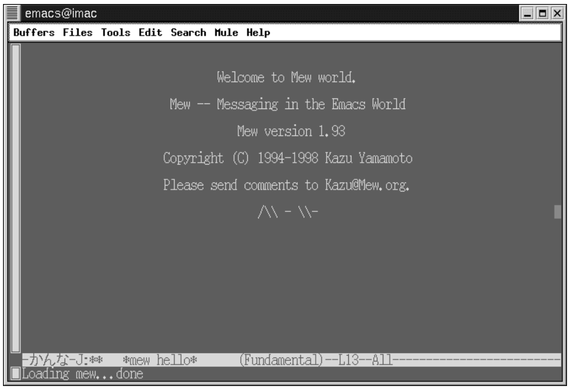



図2●Emacsで「M-x mew（MはEscキーのこと）」とタイプし、Mewを起動




図2●パスワードを入力するとメール受信／一覧表示してくれる




図4●受信リストから任意メールを選択、Returnキーを押すと内容が読める




図5●新規メールを作成して「C-c（Control＋cキー）」で送信する

```
$ imsetup
Where is your home directory? [/home/maeda]
Where is your Mail directory? [/home/maeda/Mail]
/home/maeda/Mail does not exist. Create it? [yes]
Creating /home/maeda/Mail directory.
[途中省略]
What is your E-mail address(es)? [maeda@imac]
maeda@foobar.com　（ここで電子メールアドレスを入力）
[途中省略]
Directory /home/maeda/.im created.
Setup /home/maeda/.im/Config.
```

これにより、ホームディレクトリー以下に「.im」ディレクトリーと、それ以下にConfigという設定ファイルが作成されます。電子メールを送受信するためには、このConfigファイルを編集して、必要な情報を書き込んでおきます。リストに電子メール送受信のために最低限必要な情報を示します。記述中、#以下はコメントとして無視されます。

なお、この設定ファイルは、メールサーバーに電子メールを残すための「Keep=日数」設定や、不用意なPostPetメールをmboxから排除するための設定など、非常に細かい設定が可能になっています。

**●リスト「.im/Configで必要な情報」**

```
Address=maeda@foobar.com　（メールアドレス）
Name=Hisako Maeda　（自分の名前）
Smtpservers=mail.foobar.com　（SMTPサーバー名）
Imget.Src=pop　（POPサーバーを使う場合は「pop」を指定）
PopAccount=maeda/POP@mail.foobar.com　（POPアカウントとPOPサーバー名）
```

*fetchmailを使っている場合は、「local」を指定します。
**APOPサーバーを使っている場合はAPOP@hostというように記述します。IMAPを使う場合は、「PopAccount」ではなく「ImapAccount」を使用します。

ここまで設定を行なったら、さっそくEmacsを起動してみましょう。

```
$ emacs &
```

Mewを起動する前に、Emacsのコマンド操作について少し説明しておきます。たとえば、メニューから「Files」を開いてみると、ファイルを開くための「Open File...」の右に<C-x C-f>のように表示されていますが、これはショートカットキーを意味しています。わざわざマウスを使ってメニューから開かなくても、Controlキーとx

キーを同時に押すことでコマンド入力待ちになりますので、次にファイルを開くためにControlキーとfキーを同時に押すことで、ウィンドウの下に「Find file:~/」と表示され、ファイル名の入力待ちになるわけです。

コマンドの入力をキャンセルするには「C-g（Control＋gキー）」と入力することで、最初の画面に戻ることができます。この「C-x」の他に、メタキー「M-x」（このMは、MacでいうCommandキーもしくはEscキーのこと。例：Esc＋x）を使う場合もあります。

Mewを起動するには、「M-x mew」とタイプしてロードします（前ページ図2、図3）。もしくは、ターミナルから次のようにして、Emacsを起動してもかまいません。

```
$ emacs  -f  mew
```

ここで「Enter password : 」と表示されますので、POPサーバーのパスワードを入力するとメールを取り出すことができます。それ以降は、「i」キーを押すことで再度メールを取得することができます。この最初に表示される状態をSummaryモードといいます。受信メールを読むためには、該当するメールの行にカーソルを持っていき、Returnキーを押します（図4）。ウィンドウが2つに分割され、上がSummaryモード、下がMessageモードになります。「v」キーでSummaryモードに戻ります。

次に、新規にメールを作成する場合ですが、Mewメニューから「Write/Reply/Forward」→「Write a message」を選択するか、Summaryモードで「w」と入力します。メニューが「Mew/Draft」にかわり、新規作成モードになります。「C-o」キーで日本語入力になります。作成したら、「Mew/Draft」→「Send Message」を選択するか、「C-c」と入力します。「Content-Type:」ヘッダが自動的に追加され、メッセージを送信するかどうか聞かれますので、「y」とタイプして送信します（図5）。

## 告知：先月号のCD-ROM MACLIFEでJapanese Edition 2をインストールできない場合

さて、最後に前月号のCD-ROM MACLIFEに収録されたJapanese Edition 2に関する最新情報をお知らせいたします。

実は、先月号のCD-ROM MACLIFEに収録されていた旧Power Macシリーズ用のカーネル「Japanese Edition Default」において、インストール時に一部内蔵CD-ROMが認識されないというエラーが発生しています。この問題の対処法としては、マインド側が提供する新「Japanese Edition Default」カーネルを古いものと差し換えてからインストール作業をしていただく必要があります。

新「Japanese Edition Default」カーネルは今月号のCD-ROM MACLIFE内の「連載」フォルダー内に収録してありますので、それを解凍してお使いください。同ファイルのFTPでの入手先は下記のURLとなります。

ftp://ftp.PC-Mind.co.jp/pub/Mind/Mind/2.0/updates/MACLIFE/

なお、Blue & White型Power Mac G3シリーズにおきましても、一部マザーボードで内蔵IDE HDD認識でトラブルが報告されています。これは一部マザーボードにおけるDMA関連の問題が起因しているようなので、そのような症状のある読者は、前述の新「Japanese Edition」カーネルもしくは下記のFTPサイトに用意されているテスト版カーネル「Default-CMD646」で起動実験をしてみてください。

ftp://ftp.PC-Mind.co.jp/pub/Mind/Mind/developement/testing/2.0/Kernel/Default-CMD646

なお、これらの問題はJapanese Edition製品版では解決済みとなっています。

先月号のCD-ROM MACLIFEおよび本連載内容に関して、他に問題のある箇所や説明不足の点については、MACLIFEホームページ（http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/）のBBSでお問い合わせください。

編集部／マインド／ライターたちが総動員で、報告があり次第、対処できる範囲で、質問に対する回答をアップロードしていく予定です。本連載に関する感想がご要望なども、同BBSで受け付けております。

## 次号はGIMPに関して操作説明します

またまた、駆け足での説明になってしまいましたが、ひとつひとつのアプリケーション、特にEmacsのような大きなアプリケーションには機能が多く、慣れるまでに時間がかかるのは必至です。この記事は導入の手がかりにはなるかもしれませんが、Emacsなどについてはよい専門書が多く出版されています。さらにカスタマイズなどに挑戦してみてください。

さて、次の号ですが、Linuxにおけるグラフィックアプリケーションについて、GIMPを中心にお送りしたいと思います。

限定品



# Software Ranking

ランキング調査時にはまだ発売されていないので、チャート入りは果たしていないが
Adobe社から、さまざまな定番人気ソフトのバージョンアップ版や
それらをパッケージにしたお買い得版が発売される。
価格的にも魅力的なものがあるので、
おそらく来月あたりからランキング地図も書き換えられることだろう。
iBookの発売によるソフトの売り上げ増加も実に楽しみだ。

*掲載価格は9月31日現在のデータです

## BUSINESS




↑1 **Microsoft Office98 Macintosh Edition**
¥68,800　マイクロソフト

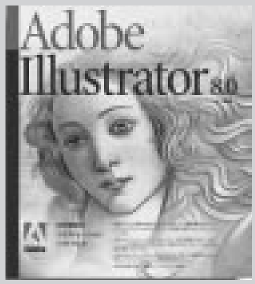
↓2 **ATOK12 for Macintosh**
¥9,800　ジャストシステム

↑3 **Microsoft Excel 98 Macintosh Edition**
オープンプライス　マイクロソフト

↑4 **ファイルメーカー Pro 4.1**
¥39,000　ファイルメーカー

↑5 **Microsoft Word 98 Macintosh Edition**
¥68,800　マイクロソフト

## GRAPHICS




→1 **Adobe Illustrator 8.0日本語版**
¥120,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

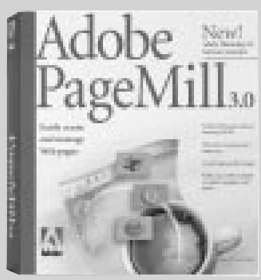
→2 **Adobe Photoshop 5.0日本語版**
¥155,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

→3 **Adobe Publishing Collection日本語版**
¥198,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

→4 **Adobe PageMaker 6.5Plus日本語版**
オープンプライス　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

→5 **Adobe Illustrator 8.0アップグレード版**
¥25,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

## MULTIMEDIA




→1 **Adobe PageMill 3.0日本語版**
¥12,800　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

→2 **Adobe Acrobat 4.0日本語版**
オープンプライス　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

→3 **STRATA VISION 3D 5.5**
¥24,800　ソフトウェア・トゥー

↑4 **LightWave 3D 5.6J**
¥288,000　ディ・ストーム

↑5 **Shade Debut R3**
¥23,800　エクス・ツールス

## ENTERTAINMENT




→1 **北斗の拳 激打～タイピング奥義～**
¥4,800　ホロン

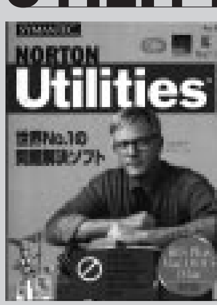
↑2 **AquaZone**
¥6,800　オープンブック9003

↑3 **特打2 ～復讐のマシンガン入力～**
\4,900　ソース

↓4 **AI麻雀**
¥9,800　アイフォー

↓5 **特打指令タイプコップ**
\4,900　ソース

## UTILITY




↑1 **Norton Utilities for Macintosh Ver 4.0.4J**
¥22,800　シマンテック

↓2 **Mac OS 8.5**
¥13,800　アップルコンピュータ

↑3 **B'sCrew Ver.3**
¥9,800　ビー・エイチ・エー

→4 **Norton AntiVirus for Macintosh Ver 5.0.3J**
¥12,800　シマンテック

↓5 **ノートン安心パック**
¥13,800　シマンテック

**ランキング協力店一覧**(50音順)

| | |
|---|---|
| あんこう・パソコン・ビジュアル館 | 03-3257-2511 |
| イケショップ | 03-3251-9688 |
| ソフトランド | 045-320-2711 |
| ソフマップ | 03-3251-3000 |
| チャンプ | 03-3829-8089 |
| 九十九電機 | 03-3251-9959 |
| Power YU | 03-3486-8866 |
| ペン・ツー・シー | 03-3253-1152 |
| MacACADEMY2号店 | 03-5256-0981 |

**MacCatalog 1999〈現行機種カタログ〉では、**
**アンケート調査時に流通しているMacintosh、**
**およびApple関連製品の価格、**
**おもなスペック等を紹介します。**
**場合によっては本誌発売日以降に品切れになったり、**
**価格が変更になることもありますが、ご了承ください**

*掲載価格は9月30日現在のデータです

**アンケート協力店一覧**（50音順）

| | |
|---|---|
| あんこう・パソコン・ビジュアル館 | 03-3257-2511 |
| イケショップ | 03-3251-9688 |
| ソフトランド | 045-320-2711 |
| ソフマップ | 03-3251-3000 |
| チャンプ | 03-3829-8089 |
| 九十九電機 | 03-3251-9959 |
| Power YU | 03-3486-8866 |
| ペン・ツー・シー | 03-3253-1152 |
| MacACADEMY2号店 | 03-5256-0981 |

▶各項目の内容

**デスクトップ型**



**ノートブック型**




**最低価格** 888,888円
**平均価格** 999,999円

**発売開始時期**

システム構成
CPU（クロック）
最大搭載メモリ（メモリの種類）
／二次キャッシュ
搭載ドライブ（HD／CD）
汎用拡張スロット
付属システム
サイズ（HWD）／重量
その他スペック
（付属CD-ROMの内容は機種によって異なる）

システム構成
CPU（クロック）
最大搭載メモリ（メモリの種類）
搭載ドライブ（HD／FD）
汎用拡張スロット
ディスプレイ
バッテリ
付属システム
サイズ（HWD）／重量
その他スペック

# Mac Catalog 1999 現行機種カタログ

## iMac 333



**最低価格** 158,000円　'99/4
**平均価格** 158,000円

32MB／HD6000／CD
PowerPC 750（333MHz）
最大128MB（DIMM×2）／512KB Backside Cache
6GB IDE HD／24倍速CD-ROM（ATAPI）
Mac OS 8.5.1
395×380×440mm／17.3kg
**ビデオ表示機能：**標準6MB SGRAMで最大1,670万色（～1,024×768）
**インターフェイス：**USBポート×2、Ethernet（10／100Base-T／RJ-45）ポート、56Kbpsモデム、16bitステレオ／SRSサラウンド入出力ポート×各1、マイクロフォン×1、ヘッドフォンジャック×2、スピーカ内蔵
**付属品：**キーボード、マウス、電源ケーブル、電話ケーブル、ソフトウェアインストールCD-ROM（Mac OS 8.5.1、付属アプリケーションソフトなど）、マニュアル、保証書
ボディ外装はストロベリー、ライム、タンジェリン、グレープ、ブルーベリーの5種類より選択可能

## iBook




**最低価格** 198,000円　'99/10
**平均価格** 198,000円

32MB（SDRAM）／HD3200／CD
Power PC G3/300MHz
最大160MB／512KB Backside Cache
3.2GB IDE HD／24倍速CD-ROM
Mac OS 8.6（iBook専用）
34.4×29.4×3.15～5.2cm／約3kg
**ビデオ表示機能：**標準4MB SDRAMビデオメモリー 最大1,670万色（800×600）
**インターフェイス：**12MbpsUSBポート、Ethernet（10/100Base-T）ポート、AC電源ポート、56kモデムポート（V.90、K56flex対応）、ATI RAGE Mobility グラフィックコントローラー、16ビットステレオ端子、AC電源ポート、ヘッドフォンジャック、スピーカ
**付属品：**Mac OS CD-ROM、電源ケーブル「YoYo」など
**オプション：**AirPortカード（12,800円）、AirPort Base Station（38,000円）

## Power Macintosh G4/500




**最低価格** 428,000円　'99/11
**平均価格** 428,000円

256MB／HD27000／CD／Zip
PowerPC 7400（500MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
27GB Ultra ATA/66 HD／5.2GBDVD-RAM（ATAPI）
PCIスロット×3
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,600×1,200）
**インターフェイス：**、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×3、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×3（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済のAGP 2Xスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

## Power Macintosh G4/450




**最低価格** 318,000円　'99/10
**平均価格** 318,000円

128MB／HD20000／CD／Zip
PowerPC 7400（450MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
20GB Ultra ATA/66 HD／5倍速DVD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×3
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,600×1,200）
**インターフェイス：**、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×3、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×3（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済のAGP 2Xスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3、56kモデムカード
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

## Power Macintosh G4/400




**最低価格** 198,000円　'99/9
**平均価格** 198,000円

64MB／HD10000／CD
PowerPC 7400（400MHz）
最大1.5GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
10GB Ultra ATA/33 HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13.6kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,600×1,200）
**インターフェイス：**、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3、56kモデムカード
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

## Power Macintosh G3/450



**最低価格** 361,000円　'99/6
**平均価格** 380,800円

128MB／HD9000／CD
PowerPC 750（450MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
9GB Ultra2 Wide SCSI HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
**インターフェイス：**ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Mac Catalog 1999

## Power Macintosh G3/400/DVD



**最低価格** 231,000円　'99/6
**平均価格** 242,500円

64MB／HD6000／DVD
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
6GB UltraATA HD／5倍速DVD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
**インターフェイス：**ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

## Power Macintosh G3/400/ZIP



**最低価格** 295,800円　'99/6
**平均価格** 312,000円

128MB／HD12000／CD／Zip
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
12GB UltraATA HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
**インターフェイス：**ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

## Power Macintosh G3/350



**最低価格** 196,000円　'99/6
**平均価格** 197,300円

64MB／HD6000／CD
PowerPC 750（350MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
6GB UltraATA HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
**インターフェイス：**ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
**付属品：**マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

## PowerBook G3 400/14" 1MB




**最低価格** 424,000円 '99/5
**平均価格** 427,500円

64MB／HD6000／DVD-ROM
PowerPC 750（400MHz）
最大384MB／1MB Backside Cache
6GB IDE HD／2倍速DVD-ROMドライブモジュール
PCカードスロットType1/2×1もしくはZoomed規格PCカード×1
14.1" TFTカラー液晶（バックライト）
充電式リチウムイオン電池
Mac OS 8.6（PowerBook G3専用）
323×264×43mm／2.68kg
**ビデオ表示機能：**標準8MB SDRAM／ATI RAGE LT Proグラフィックカード装着済　最大1,670万色（1,024×768）
**インターフェイス：**USB×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrTalk／IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニタポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、内部モデムポート（K56flex）、マイクロフォン、スピーカ×2
**付属品：**Mac OS CD-ROM、ケーブル類ほか

## PowerBook G3 333/14" 512KB




**最低価格** 296,000円 '99/5
**平均価格** 297,500円

64MB／HD4000／CD-ROM
PowerPC 750（333MHz）
最大384MB／512KB Backside Cache
4GB IDE HD／24倍速CD-ROMドライブモジュール
PCカードスロットType1/2×1もしくはZoomed規格PCカード×1
14.1" TFTカラー液晶（バックライト）
充電式リチウムイオン電池
Mac OS 8.6（PowerBook G3専用）
323×264×43mm／2.68kg
**ビデオ表示機能：**標準8MB SDRAM／ATI RAGE LT Proグラフィックカード装着済　最大1,670万色（1,024×768）
**インターフェイス：**USB×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrTalk／IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニタポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、内部モデムポート（K56flex）、マイクロフォン、スピーカ×2
**付属品：**Mac OS CD-ROM、ケーブル類ほか

## Macintosh Server G3/450



**最低価格** 628,000円 '99/6
**平均価格** 628,000円

256MB／HD9000×2／CD
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
9GB Ultra2 Wide SCSI HD×2／32倍速CD-ROM
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
**ビデオ表示機能：**標準16MB SDRAM／ATI RAGE 128グラフィックカード装着済
**インターフェイス：**ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3うち1はUltra2 Wide SCSIカード装着済、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3（空き1または2）
**付属品：**AppleShare IP 6.2やSoftRAID 2.1.6などソフト多数、キーボード、マウス、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

# 現行機種カタログ

## Apple Studio Display/CRT




**最低価格** 59,400円 '99/1
**平均価格** 61,700円

17"（対角）ダイヤモンドトロンCRTディスプレイ
表示可能サイズ16"
0.25mmアパーチャグリルピッチ
**解像度／垂直走査周波数：**640×480/85Hz、800×600/85Hz、832×624/75Hz、1,024×768/85Hz、1,152×870/75Hz、1,280×1,024/75Hz、1,600×1,200/60Hz
**走査周波数：**30～85KHz（水平）48～160Hz（垂直）
**コントローラー：**輝度調整、コントラスト調整、消磁、水平サイズセンタリング、垂直サイズセンタリング、コンバージェンス調整、回転、糸巻き歪み調整、台形歪み調整、平行四辺形歪み調整、ズーム、モアレ調整、色温度調整
**コネクター／ケーブル：**DB-15ビデオコネクタ、VGA-Macアダプター
427×411×447mm／20.8kg
**付属品：**Appleディスプレイソフトウェア、電源コード、VGA-Macアダプタ、マニュアル、保証書
**システム条件：**Power Macintosh G3、Mac OS8.0以降

## Apple Studio Display/Flat Panel



**最低価格** 157,000円 '99/1
**平均価格** 158,200円

15.1"（対角）TFTカラー液晶ディスプレイ
**表示色数：**1,670万色
**視野角：**120°（水平）、90°（垂直）
**解像度／垂直走査周波数：**640×480（60/67/72/75Hz）、720×400（70Hz）、800×600（56/72/75Hz）、832×624（75Hz）、1,024×768（60/70/75Hz）
**コントローラー：**ビデオモード、輝度調整、リセットボタン、OSDナビゲーション、OSD調整
**コネクター／ケーブル：**DB-15ビデオコネクター、ADBポート、S-video入力ポート、コンポジットビデオポート、オーディオ入力ポート、オーディオ出力ポート、VGA-Macアダプター
249×399×175×mm／3.5kg（スタンド使用時381～490×399×249mm／5.5kg）
**付属品：**Appleディスプレイソフトウェア、電源コード、電源アダプター、フリップアウトスタンド、VGA-Macアダプター、マニュアル、保証書
**システム条件：**Mac OS8.0以降のPower Macintoshまたは PowerPCベースのMac OS搭載機

## 耳より 林檎ばなし

一年もの長きにわたって、ベストセラーを続けたiMacに、Appleスマートローンが適用された。このAppleスマートローンは、iMac本体と一緒にメモリー、周辺機器、ソフトウェアなどを購入し、合計200,000円を越える場合に、上限200,000円で、実質年利1.00%でローンを組むことができるというシステム。今回は10/31日まで。

実はこのキャンペーンは、次なる新製品が間近に控えているというサインと解釈してよい。実際、iBookの日本語版が発売になり、デスクトップでも新発表されたPower Mac G4の400MHz版が店頭に並び、その後450MHz、500MHzと順次発売される予定だ。気になるのは、まことしやかに流れる新iMacのウワサ。詳細は明らかになっていないが、年内に発表される可能性があるとか、ないとか。とりあえずお金を貯めておくにこしたことはないようだ。

秋深し、隣は何をする人ぞ…
秋の夜長は、ゆったりと、おすすめ書籍片手にMacintoshと触れ合おう！

# BookMark

## 「DTPのコツ」シリーズ第2弾!! DTPを攻略するための基本とTipsを学べ！




好評「DTPのコツ」シリーズ第2弾は、DTPデザイナーのための一冊だ。
フォントの基礎知識からQuarkXPressやPageMakerといったDTPソフトウェア、欠かせないグラフィックソフトウェアであるIllustratorやPhotoshopでのデータ作成の留意点や注意しなければならないポイント、さらには、印刷や製本といったフィニッシュ作業の基礎知識やチェックポイントが、簡潔にまとめられている。
紹介されているコツやTipsは、どれも実際の現場での知識だけに、すぐに活用できる便利なものばかりだ。とくに印刷や製本などの知識は、出力センターや印刷所まかせになってしまうケースも多いが、知っているとデザインの幅が広がることは間違いない。覚えておいて損はない。
また、冒頭には、エディトリアルについての基礎知識も書かれているので、これから、エディトリアルデザイナーを目指す人にもお薦めできる一冊だ。

### 「DTPデザインのコツ」

著者●インフォメディア著
発売元●ビー・エヌ・エヌ
ページ数●224p
価格●980円（税別）

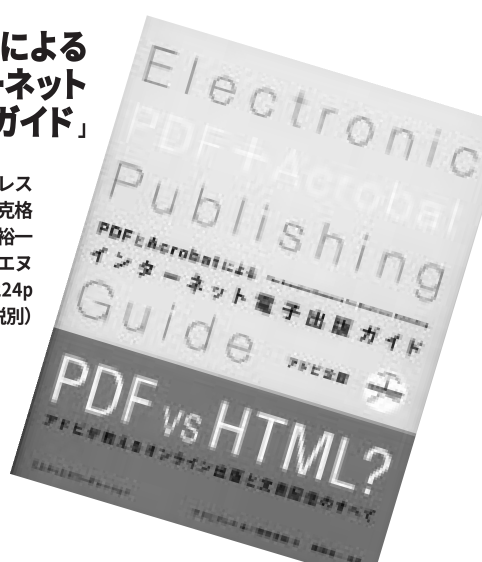
# 今月のおすすめ

## アドビ社公認！ オンライン出版から文書配信まで、PDF文書の活用法を解説

日本語フォントの埋め込みやハイエンドなPDF文書の作成が可能になったことで、注目を集めている情報配信ツール「Acrobat 4.0」。本書は、このAcrobatを開発したアドビ社のデザイン・出版のプロが執筆した、アドビ社公認のインターネット電子出版ガイド。オンライン出版や文書配信といった電子出版のノウハウが詳しく解説されている。PDFについて知りたい人、インターネットでの出版を考えている人にはお薦めできる一冊だ。
ソフトウェアの解説が目的ではないので、実作業についての記述は少ないが、電子出版の種類、情報配布の手段、印刷物と電子出版の違いといった電子出版の根本的な解説から、使用するソフトウェアや制作過程、構造などの基礎知識が丁寧に分かりやすく解説されている。また、インターネット上やモニター上での文字や画像の表示、表現、画像の形式、色の概念など、電子出版に必要な知識や印刷物から電子出版への変換する新しい出版物の利用方法などについても解説されている。Acrobat 4.0日本語版についての情報も記載されているので、本書を読めば、最新の電子出版についての基本的な知識を一通り得ることができるだろう。

### 「PDFとAcrobatによるインターネット電子出版ガイド」

著者●アドビプレス
翻訳●茂田克格
監修●猪股裕一
発売元●エムディエヌ
ページ数●224p
価格●3,800円（税別）



# 今月の新刊

*コンピューター用語ならおまかせ*

**「日経パソコン新語辞典2000年版」**

日経パソコン編集部編　日経BP　2,600円（税別）

年々増え続けるパソコン用語。2000年度版では、新登場の用語を含め、3,400語を収録。パソコン年表などの資料も付属。掲載されている用語をすべて収録したCD-ROMが付属







*グラフ作成のプロになろう*

**「医学研究データ、実験データをまとめる～グラフ作成のABC～DeltaGraphを使いこなそう!」**

長田 理著　羊土社　3,900円（税別）

東京大学医学部の長田 理先生が、医師や生物化学研究者のために、DeltaGraphを使ったグラフ作成のノウハウを初心者にもわかりやすく解説

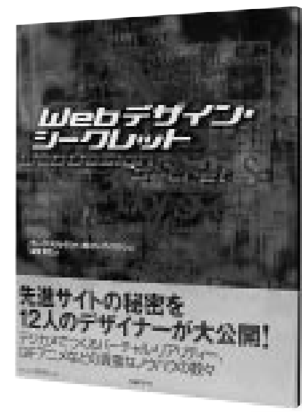



*ネットワークリテラシーを身につけよう!*

**「学校で教わっていない人のためのインターネット講座」**

有賀妙子・吉田智子著　北大路書房　1,800円（税別）

インターネットの基本的な概念からネットワークの仕組み、コミュニケーション手段である電子メールの使い方、Webページの見方や利用方法、基本的な制作方法からJavaScriptやCGIを使った制作方法まで、余すところなくインターネットを解説




*プロのテクニックを探れ!*

**「Webデザイン・シークレット」**

ディーク・マクレランド他著　古賀秀之訳
日経BP　3,800円（税別）

「Webサイト・デザイン改訂版」「Webサイト・マネジメント」の姉妹本。先進技術を使った最先端Webサイトの秘密を12人のデザイナーが大公開。オールカラーで最新テクニックを学ぼう




*初心者からエキスパートまで、デザイナーは必見!*

**「デザイン・エッセンシャルズ 3rd Edition」**

ルアンヌ・コーエン著　エムディエヌ　3,500円（税別）

1993年に発行された好評だった「デザイン・エッセンシャルズ」の第3版。内容は、現行のアプリケーションに対応して大幅に改訂されている。Photoshop 5.0、Illustrator 8.0の連携で、美しいグラフィックを作成するためのテクニックが数多く解説され、デザイナーは必見の価値あり

*Eメールはコンピューターだけじゃない!*

**「いつでもどこでもEメール」**

北原静香・中川純一・水野寛之著
インプレス　1,400円（税別）

iモード、cdmaOne、PメールDX、文字電話……。携帯で、PHSで、FAXで、メールは送れる、受け取れる。Eメールはもう特別なものではない。Eメールで便利に使えるサービスやソフトウェアを紹介。Eメールユーザーにはとても役立つお薦めの一冊







*CGを駆使するデザイナー、クリエーター必見の書*

**「Shade Design Workshop」**

岩井庸之介著　誠文堂新光社　3,000円（税別）

プロのインダストリアルデザイナーである、岩井庸之介氏が執筆した、デザイナー、クリエーターのためのShade R3のための一冊。モデリングを中心に解説されている。CD-ROM付属




*インターネットでのトラブルを未然に防げ!*

**「WEB110　金銭トラブル&アダルトサイト編 1999～2000年版」**
**「WEB110　個人情報&ネットストーカー編 1999～2000年版」**

名犬ヨッシー著　ビー・エヌ・エヌ　各1,000円（税別）

WEB110の主催者である名犬ヨッシーが、インターネット上で起こったアダルトサイト関連のトラブルや事件、個人情報関連のトラブルや事件の実例を挙げ、対処方法をイラストなどでわかりやすく解説。インターネットユーザーは必読！！

## Macintosh書籍トレンド&ランキング '99/9

| 順位 | 書名 | 出版社 |
| --- | --- | --- |
| 1 | REALbasic使いへの道 | ソフトバンク |
| 2 | デジタル素材百科'99 | アゴスト |
| 3 | Shadeトレーニング | ビー・エヌ・エヌ |
| 4 | Adobe Pagemill 3.0ガイドブック | 秀和システム |
| 5 | DTPデザインのコツ | ビー・エヌ・エヌ |
| 6 | Macintoshで作るLAN入門 | ディー・アート |
| 7 | 現場の必須テクニックWeb制作の仕事術 | 毎日コミュニケーションズ |
| 8 | できるインターネットOS8.5版 | インプレス |
| 9 | Adobe After Effects SUPER GUIDE | 翔泳社 |
| 10 | Illustrator8.0スピードマスター | ビー・エヌ・エヌ |

協力／書泉グランデ、T・Zoneミナミ

# 快適MACLIFEフォーラム通信 第3号

8月1日オープン!

MACLIFEステーションは、8月1日から快適MACLIFEフォーラムにリニューアルされた。快適MACLIFEフォーラムは、新たに読者有志により運営されるフォーラムだ。今回は、新フォーラムの協力スタッフ、飯嶋淳さん、坂本漱仁(TWING)さんからそれぞれの担当する会議室の紹介かたがた近況を語ってもらった。

快適MACLIFEフォーラム

## 今月のスタッフ 飯嶋 淳(いいじま じゅん)

■快適MACLIFEフォーラム協力スタッフ■
officer@powerbook.org

この原稿がMACLIFEに掲載される頃には、iBookの出荷も本格的に始まり、たくさんの新しいMacintoshユーザーが、Macintoshコミュニティに参加し始めていることだろう。Appleの凋落とともに、PowerBookとPowerBookユーザーは長い不遇の時代を過ごしてきたが、今やプロフェッショナル向けのPowerBookと、家庭や学校向けのiBookという2つの太い柱が完成し、かつてないほどの充実を見せている。あとは、これで、小さめのノートパソコンがあれば、いうことないのだが、これはあとのお楽しみだろう。また、Palm OSを搭載したリンゴマークのPDAが出るのではないかという噂も根強い。Palmからスピンアウトしたメンバーが作った、HandSpringのVisorもかなり魅力的である。こちらは、USB用のクレイドルと、Mac用のソフトも最初から付属している。拡張用のスロットもあり、ワイヤレスやEthernetを経由して、メールやWebを見られるようになるかもしれない。

Macintoshを取り巻くモバイル、あるいはポータブル環境が、ホットになってきたのは、もう、素直に嬉しい。

私は日々、PowerBookやiBook関連のニュースサイトや、Appleのサポートページを巡回して、PowerBookやiBookに関する噂話、ニュース、新しい周辺機器、トラブルやサポートの情報などを集めて、POWER BOOK NEWS(http://www.powerbook.org/news/japan.html)というニュースサイトで紹介している。

そして、現在、このサイトで紹介した情報は、すべて快適MACLIFEフォーラムの11番会議室「PowerBook Club◇PowerBookとMobile PC」にも掲載している。本来会議室はニュースを紹介するのには適しているとはいえないが、ニュースを肴に、面白い話ができればよいと思うので、ぜひ、皆さん遠慮せずに、コメントをつけていただきたい。

**飯嶋淳●**Macintoshユーザーグループ、POWERBOOK ARMY代表。三度の飯よりPowerBookが好き、というわりには太っている。PowerBookを毎日担いで通勤をするのもダイエットの効果はないらしい。PowerBookやiBookのことならまかせて下さい。

---

## 今月のスタッフ 坂本漱仁(さかもと そうじ)(TWING)

■快適MACLIFEフォーラム協力スタッフ■
MXD00175@niftyserve.or.jp

「快適MACLIFEフォーラム」はリニューアルしましたが、その中でも何も変わっていない20番会議室「Let's Mac"Win"tosh◇MacとWinの素敵な関係」のお手伝いをしております。20th MacintoshでMP3ファイルを聞いてから、自分の持っているCDを片っ端からMP3ファイルを作ったはいいのですが、我が家にはWin98、NT、2000β3、Linuxなど、いろいろなOSがあるのですが、すべてのOSでMP3ファイルのあるボリュームにアクセスできるようにしたいと考え、サーバーOSについてもう一度考えてみました。条件は、

❶MacでもWinでも、できればLinuxでもアクセスできること
❷ファイル名にあまり制約されないこと
❸デスクトップにマウントできるボリュームであること

これだけの条件がそろい、もちろんハード的にもちゃんとつながっていれば、いつでもどこでもMP3ファイルを再生して聴くことができます。

まず、思い浮かぶのはWindowsNT Server。Windows系のOSからは問題なくアクセスできますし、AppleTalkサービスを導入すれば、Appleからもアクセスできます。ただし、この場合MS-DOS時代からの悪しき遺産である8文字+3文字というファイルネームを守らないと実はうまくつながらない場合があります。加えて1つのフォルダーに多くのファイルが入っているとこれまたうまくつながらない場合があるので、落選。MacOS X ServerはWindows系OSからのアクセスにはSambaを使う必要があり、設定が面倒なので落選。同じ理由でLinuxも落選。最後に残ったのはAppleShareIP 6.2です。

AppleShareIP 6.2はメールサーバーやWebサーバーなどてんこ盛りの機能があるのですが、その中で私が使っているのはファイルサーバーの機能だけ。この機能だけでもWindowsからでもMacからもアクセスできるので大満足です。ただ問題は起動までの時間がすごくかかるときがあることです。これは多分がインストールの時に正しくインストールできなかったかからでしょう。これからも精進です。

ところで、皆さんはMP3のエンコードや再生にはどのソフトを使われていますか。私はMac用はMacMP3とMACASTが、Win用はCD2MP3とド定番のWinAMPがいいのかないいかなと思っています。

皆さんのお薦めソフトも会議室で教えてください。

**坂本漱仁(TWING)●**ふつうの会社員、そしてコンピューター関連の仕事もしておりません。ただし、会社ではデザイン部と私以外はみんなWin系という逆境の中、"凡人は筆を選びます"といってMacを使い続けています。

## 快適MACLIFEフォーラム(FMACLIFE)の会議室

| | | |
|---|---|---|
| 1 | From FMACLIFE | ◆お知らせ・告知・発表 |
| 3 | Library Info | ◆新着ライブラリ情報 |
| 5 | Magazine Talk | ◇Mac雑誌にもの申す |
| 6 | Tea Time | ◇茶飲み話・自己紹介 |
| 7 | Just Buy It! | ◇欲しいものは今買おう |
| 8 | Web Satellite | ◇Web情報・談義・質問 |
| 9 | Trouble Rescue | ◇なんでも質問・相談 |
| 11 | PowerBook Club | ◇PowerBookとMobile PC |
| 12 | Amusement room | ◇電脳遊戯室 |
| 13 | Welcome to music!! | ◇まっくでおんがく! |
| 15 | Hardware A to Z | ◇ハード談義とQ&A |
| 16 | Software A to Z | ◇ソフト談義とQ&A |
| 17 | Auto Script Club | ☆自動通信自由自在 |
| 18 | PostPet保健室 | ☆困った時の民間療法 |
| 19 | PostPet保育園PTA | ☆うちの子が一番! |
| 20 | Let's Mac"Win"tosh | ◇MacとWinの素敵な関係 |

# MAIL BOX

http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/

## G4発表

9月1日深夜。いつもどおりApple USAのホームページを眺めるつもりだったが、「なんと！ Power Mac G4の発表ではないか！」と感動のさけびと変わった。Power Mac G3 B＆Wは灯油タンクのようで嫌いだったが、G4は渋くて大人の味を出しているようにも感じた。欲しいけど、旧G3 DT233をまだ売る気はないので、しばらく様子をうかがう。PowerBook G3を買おうと思ったが、手に入りそうにないので、今日iBookを注文します！　あ〜、アップル信者はいつまでも。（山口県　Bei　31歳　Power Mac G3 DT233、PowerBook 5300）

*

翌日の仕事も忘れて、ジョブズ師匠の講演を夜中じゅう見て、G3ユーザーの私はとても歯がゆい思いでした。そして先日のWorld PC Expoで実物を見てみると、ウーム、やはりよいですね、G4。とはいったものの、すでに内蔵型MO、タブレット、フロッピーディスクドライブ、トラックボールと結構な投資をしている家のじーさん（G3）に愛着があるのも確かです。負け犬の遠吠えに聞こえるかもしれませんが、ポップさの残るG3の筐体もけっしてG4に劣っているとは思えませんし、今頭の中にあるのはじーさんのRAMスロットを埋めることのみです。（神奈川県　おG3　22歳　Power Mac G3 350/DVD）

*

アップルのデザインは、昔から、非常に優れていると思います。一時期、『？？？』な感じの頃もあったように思いますが。みなさん、服やバッグは、少々高くても『ブランド品』を欲しがるじゃないですか。パソコンも『ブランド指向』の時期に入って来たんですかね。いよいよPower Mac G4がデビューしました。カッコは同じですが、かなりクールでサイバーなパッケージだと思います。個人的には、青／白の方が好きですが、これはこれでカッコいいと思います。iBookも、まだ実物は見てないのですが雑誌やサイトなどで細部までよーく見て見ると、これが隅々まできちんとデザインされた物です。これは、今だに、Wintelメーカーでは成し得てない優れた点だと思います。事実、あの『e-one』の実物を見ると、匡体の材質やケーブルや端子類の処理など、ぜんぜん違います。「あーあ、やっぱりDOS/Vなんだな……」とがっかりしてしまいました。設計理念が統一されてないと感じます。なんか、作り方がすっごく安直な印象を受けました。その点、iMacやiBookは妥協してません。それに、やっぱりOSのとっつき易さではるかにMacの方が上だと思います。自分は、かつてMacとWin95と両方使っていた時期がありますが、PCカードひとつ使えるようにするのにどんなに大変なことか！！　やっぱり、イイものはいつまでも残っていてほしいものです。その意味では、アップルは今が頑張り時、って気がします。（MACLIFE BBS 9月1日掲載　DJ-K）

## iBookでスケッチ

iBook。非常に興味があります。実際に触ってみないとわからないことが多いと思いますが、World PC Expoで見た人の話では、「思ったより小さい」というし、スペックは私の仕事に使うのに十分だし、AirPortもよさそう。これまで使ってきたSCSI機器があるので、これ1台だけというわけにはいかないが、バリバリ使えそう。持ち運びにどれだけ耐えられるか重さかが問題かも。USBペンタブレットを買って、iBookでスケッチにいくというのもいいかも。（山形県　匿名希望　35歳　Power Mac G3 350MHz、Duo250、PowerBook 150、LC 575）

iBookとペンタブレットでスケッチに行くのはいいですね。iBookのデザインは、小学校の時に持っていた絵の具箱みたいですものね。

## Mac in the Scene

9月号の「Mac in the Scene」は、なかなか興味深いものがありました。各シーンでどのようにMacが使われているのかがよくわかり、おもしろかった。特に九州保険福祉大学おけるiMacの使われ方が、今後の教育機関のコンピューター導入に一役買いそうに感じられてよかったです。MMRCは今後とも突っ込んだ記事をお願いします。（東京都　野村耕太郎　19歳　PowerBook G3 333）

*

青森の本屋さんでは発売日の2日遅れで店頭に並びますが、我慢できずに発売日当日に青森駅のキオスクまでMACLIFEを買いに行きます。毎月毎月、Mac関係の雑誌を買わずにいられない私はMac中毒です。「Mac in the Scene」の特集にびっくりしました。今年の1月に発売されたスタジオディスプレイを即注文したのに、私の手に入ったのは6月。最近やっとショップでも見かけるようになりました。記事に出てくるサンリオさんやエイアールさん、すごいですね。サンリオさんなんか写真の中だけでもスタジオディスプレイが12台もありますよ。あるところにはあるものだ。それともないのは青森だけ？（青森県　小田桐美都　30歳　Power Mac G3、PowerBook 2400、VAIOノート）

青森でもあるところにはあるんだと思いますよ。会社の中はなかなか見せていただけないので、大きな会社ほど取材の許可を取るのが大変です。

## 激辛インターネット

iBookに続いて、ホワイト＆グレーのG4が出るわ、Photoshop 5.5は出るわ、時代の流れは目まぐるしいというのに、一方の我が身は努力もせず、進歩もなく、無意味な毎日を過ごすのみ。このままではMacでLIFEを語る資格もなくなってしまいます。が、失業中故にお金がなく、新製品の記事を見るだけで、虚しい気分はつのるばかり……。新しいものを買わなくとも充実できる、たとえば、COOLなWebサイトの特集なんぞもやってくださいませ！　こないだのインターネット激辛特集は楽しかったです。（東京都　ann　25歳　Power Mac G3 DT 233）

新製品だけにこだわらずに特集を組みたいのですが、これだけ立て続けに、新製品が出てきてしまうと、取り上げないわけにはいかないし……。




## 表紙につられて

はじめまして。私、MACLIFEは初体験なのですが、なぜ買ったかというと、自転車を購入するつもりだったので、表紙の写真でつい手にとってしまいました。内容は上級者向けのようで、Mac初心者の私には敷居の高いものでした。でも、最新情報が詳しく載っていて、ちょっと上級気分になりました。それにオシャレなので、来月号も買いたいと思います。自転車買ったら、アップルのステッカーを貼ろうと思います。（東京都　MT-266は28才　28歳　Power Mac G3 MT266）

*

表紙について解説するページができましたね。以前、表紙の「MACLIFE」の文字がMだけが赤で、その他が緑（だったかな？）に印刷されたことがありました。
何の意味があるのかと問う読者からのはがきもけっこうあったような。結局クリスマスにちなんだカラーリングだったとの種明かしがあったのが次々号くらいでした。なんかのんびりした時代でしたね。（東京都　三山鎮皓　38歳　Macintosh SE、Performa 5210）

## インターネット規制は必要

インターネットに規制は必要かという議論になると、以前は何が規制か、自由こそ一番と思っていましたが、最近ストーカーや詐欺などのトラブルを見るにつけ、そう思わなくなってきました。インターネットは自分が作ったといって笑い者になった某国の副大統領以上に、インターネットはただでこんなことができます、家庭でもただでこんなに便利ですと思っている輩も問題です。裏でシステムを支えている人的、物的コスト、税金などがあり、道にころがる石や土とは根本的に違うのですから。よくたとえられる自動車と通信の例でいえば、道があるから、便利だからと皆が自分勝手に運転したらどうなるかということです。おかしな人が必ずいる世の中。本当の意味での正義と常識と尊厳を守るための規制はやむを得ないでしょうね。（東京都　Fighting Boar　40歳　Power Mac 7200/90、Power Book 520）

StarWarsのムービーが2,300万回ダウンロードされたとアップル社が自慢するのを聞くと、すばらしいと思うと同時に、郷ひろみが渋谷の路上で勝手にライブをやったのを思い出します。インターネットの交通渋滞のことは誰が考えればいいんでしょうね？

## 定期購読が高い!

定期購読の価格が高い。毎月購入しているので、定期購読したいが定期購読割引などがまったくないし、さらに送料まで加算されている。割引は無理だとしても、せめて送料サービスでもあれば、申し込むのだが……。（奈良県　yabuchan　36歳　Power Mac 8500/120）

*

家の近くの本屋ではMACLIFEが早く売り切れてしまうので大変困っています。年間定期購読をしようか迷っているのですが、雨の日などで本がぐしゃぐしゃにならないかと心配です。また、発売日より若干遅れるというのが気になります。実際どうなのでしょうか？（東京都　高橋伸行　24歳　Power Mac G3 MT 300）

10月18日～12月17日の2カ月間「定期購読キャンペーン」を行ないます（34ページ参照）。この期間に年間購読を申し込まれると送料無料で、価格も割引になります。なお、送料については、このキャンペーンが終わっても無料にする予定です。キャンペーン終了後は割引はありません。また、お届けが発売日よりも遅れるという件ですが、以前は確かに遅れることがありましたが、現在では発送日を1日早くしたことと、配送業者さんの協力によりほとんどの地域で、遅れることなく届いていると思います。よろしくお願いします。

## 子供たちに拍手!

最近、4歳の子供がMacを使い始めました。ほとんど何も教えなかったのですが、あっという間に使いこなしているようです。しかしながら、先日フロッピードライブにアニメのカードを入れてしまったようで、これを取り出すのに一苦労でした。私の友人の子供は、煎餅を入れてしまったそうです。この子供たち、ある意味でナイスなセンスを持っていると思いませんか？（滋賀県　とーちゃん　31歳　Power Mac 8500/120、Color Classic）

子供さんのセンス、すばらしいです。カードを入れた子は、Macの中でアニメが動くと思ったのでしょうか？　煎餅を入れた子は、Macがお腹をすかせていると思ったのか、それとも、魔法のポケットのように煎餅が増えると思ったのでしょうか？　子供って本当におもしろいですね。こういう感覚を大事にしていきたいですね。

## 音引きの表記

9月号「音引きは変？」にコメント。音引きしない習慣は確かに通産省の指導で「工学系」の論文・文書では従われる場合が多いようです。一方「理学系」では、むしろ必ずといっていいほど音引きされます。マニュアルにあろうが、デフォルトで音引きがなかろうが、私のPower Book G3/233は、今ではすべて音引きされています。私は理学部化学出身の大学教員です。というわけで、Macintoshは工学系だけではなく、皆が使いやすいマシンで、MACLIFE誌の音引きに賛成している少し頑固な私でした。（東京都　泉　康雄　34歳　PowerBook G3/233、PowerBook 1400cs、NEC Lavie NX 26A）

*

9月号「MAIL BOX」（P266）の『音引きは変？』というお便りに対する編集部からのコメントですが、投稿された方の意図をちょっと取り違えているように思います。お便りされた方は、『音引きが変』といっているのではなく、『表記を日本語Mac OSと揃えて欲しい』と言っているのではないでしょうか。そして、私もこの意見に賛成です。画面

と雑誌（本）の表記が違うというだけでつまづいてしまう初心者の方って、結構いるのですよ。(私の母もそういうタイプの人間ですので……)（MACLIFE BBS 8月31日掲載　落合)

落合さんのおっしゃるように澤田さんは、『音引きが変』とおっしゃっているわけではありませんでした。誤解を与えるようなタイトルを付けたことをお詫びいたします。なお、画面上の固有名を表記する場合は、元の用語をそのまま表記していますので、問題は少ないと思いますが、いかがでしょうか。

## 早期開発要請

iMacのおかげで、Appleも、Macユーザーも元気になりました。そして実はMicrosoft Office 98のおかげもありますね。使用頻度の低い専用アプリはエミュレーター上でこなせるし、ホント、Macだけで済ませることができるようになったのは、くやしいけれどOffice98の貢献が大きいですね。あと、業務で困るのは、MacからPIM（Palmだけど）とシンクロできるグループスケジュールソフトが存在しないこと！　スケジュール確認するために常時エミュレーターを起動させておくのはうっとうしいんですよね。Outlookでも、Cybog Officeでも、TeamAgendaでも、Eudora Plannerでもいいから、早く実現してくれ〜、ッて感じです。要望の多いアプリケーションについて、MACLIFEで早期開発要請メールキャンペーンを張って圧力をかけるっていう企画は如何でしょうか？（大阪府　川上哲司　39歳　iMac）

## デジカメ買いました

とうとうデジカメを買ってしまいました。SANYO DSC-SX150です。今まで，写真をスキャナーで取り込むことで，ほとんど用は足りていたので，デジカメというものにあまり必要性を感じていなかったのですが，あちらこちらでのレビュー記事を読むにつけ，今までのデジカメとは一線を画した製品である気がしてきて，ショップで手にとって試してみるうちに買ってしまいました。実際に買ってみて，あちこちで見るレビュー記事であれだけ褒めちぎられていた理由が少しずつ分かって来たところです。一般にデジカメの場合，画素数のアップにばかり感心が向けられがちですが，画素数以外の使い勝手の良さが，感じられる良い買い物が出来たようです。（岡山県　安田朋則　35歳 Power Mac 7600/120、PowerBook G3/333）

## 学校のパソコンをMacに

うちの学校もそうですけど、どうして学校はパソコンをMacintoshにしないのでしょうか？（それはアンタがMacintoshユーザーだからだと言われそうですが…）WindousよりもMacintoshのほうが、絵を描く面で優れているといいますから、僕的にMacintoshにしたほうがいいと思います。だいたい、学校でビジネス面で優れたパソコンなんて使わなくて良いと思いますけど？　G4も出たことですし、Windows使ってる教育者の方、Macintoshに買い換えませんか？（福岡県　尾鶴亮　12歳　IIfx、SE/30、Color Crassic）

「学校でビジネス面で優れたパソコンなんて使わなくて良い」という意見が新鮮でした。そうですよね。ビジネスは社会に出てからで十分ですから、学校では、まずパソコンというものに慣れることが大切で、使いやすいものを使ったほうがいいはずです。でも、日本の学校にMacを導入するのは、いろいろと大変みたいですよ。

## e-oneについて

やはりe-oneの販売が差し止められましたね。法的にはともあれ、誰が見てもiMacのパクリです。この裁判所の判断は今後のパソコンのあり方を変える重要なできごとではないかと思います。この点でもiMacは世界を動かしたといえるのではないでしょうか。（東京都　三山紀子　36歳　Performa 5210）

*

iMacそっくりWindowsパソコンe-oneがついに製造・販売禁止（仮処分）！　ソーテックもかわいそうに。デザインを考えるのはそれだけ難しいということですか。（兵庫県　G4にはADBがない！　30歳　Power Mac 6200/75）

*

私はiMacユーザーである。ボンダイブルーが発売され、すぐに購入した。しかし、MacとWindowsの両刀遣いの私は、ヨコハマブルーのe-oneを購入して並べて使おうと思ったのだが、東京地裁により販売差し止め。iMacは「きわめて独自性の高い商品」と認められたわけであるが、個人的には少々残念。しかし、あらためてアップル社のマーケティングはすごいとも思えた。（東京都　まっきん　33歳 iMac）

新聞やテレビでも報道され、この問題に対して世間的にも感心が高いということが証明されたようです。まだ、裁判が確定したわけではないので、なんともいえませんが。Macに親近感を抱いている人は、みんな喝采したのではないでしょうか？

## やっぱりカミナリは怖い

先日のカミナリで、会社のパソコンがやられてしまいました！　サーバーは落ち、回線はショートしており、完全復旧するのに２日もかかりました。しかし、数カ月分もの未バックアップデータはついに永遠に消失してしまいました！！　話には「カミナリはこわい」と聞いていましたが………まさかそれが自分の身にふりかかってこようとは夢にも思っていませんでした。これからは真面目にバックアップをとろう、と心に誓い、カミナリ対策の必要性をしみじみと感じた２日間でした。（東京都　ハクション・グレーシー　37歳 iMac）

一時期、このMailBoxで話題となったカミナリは、まだ生息していたのですね。カミナリは夏よりも秋の方がこわいといいますし、みなさん、気を付けましょう。




## 「From a new world～世界のファインダーから～」

## Reporter 大募集！

「From A New World～世界のファインダーから～」では、誌面に登場してくださる海外在住のMacユーザーを募集中。現地のMac事情やインターネット事情、ハヤリものや日本とはちょっと違う海外の常識などを聞かせてください。

また、お友達の紹介も大歓迎です。あなたのMac仲間で海外に住んでいる方はいませんか？自薦他薦は問いません、ふるってご応募ください。

**☆応募要項**

住所、氏名、年齢、職業、電話番号、E-mailアドレスを明記し「世界のファインダーから」募集係までお便りください。お友達の紹介の場合は上記の項目のほか、ご紹介いただく方の氏名と連絡先（E-mailアドレスまたは電話、ファックス番号）に海外在住歴をお書き添えください。

宛先：〒102　東京都千代田区九段南2-7-6
(株)エクシードプレス
MACLIFE編集部
「世界のファインダーから」
募集係

また、E-mailでもご応募できます。その場合は、
maclife@bnn.co.jp
までお願いします。

## PRESENT

●「MACLIFE」No.133/9月号
当選者発表（敬称略）

**『MIXA IMAGE LIBRARY 100 SHOT』3タイトル　各1名**
**Vol.57『ビジネス・ワールド』**
神奈川県　関　寛夫
**Vol.58『日本の野鳥』**
新潟県　小竹有美子
**Vol.59『CG・3Dクリップアート』**
東京都　大渡ひとみ

**Entrance Gate standard『エンジェル』スタンダード版　1名**
岐阜県　堀田加苗

**Entrance Gate professional『エンジェル』プロフェッショナル版 1名**
広島県　橘高　章

**3Dウルトラ・ナスカー・ピンボール　1名**
東京都　藤原健人

**復刻版　天下統一　1名**
愛知県　水谷哲弥

**カラースケルトンタップ　5名**
島根県　土肥亮馬
千葉県　千島　淳
福岡県　西村亮子
大阪府　早川　敬
富山県　常田千春

**Retrospect　1名**
山形県　宮沢　啓

**ケータイ編集王2000　1名**
滋賀県　西森久晴

**EXTENSIS PORTOFORIO 4.0J　2名**
京都府　加藤正人
広島県　池田佳貴

**EXTENSIS PHOTOGRAPHICS 1.0J　1名**
長野県　中島信次

**12MB Game Wizard for PCI Mac 1名**
熊本県　小原耕造

**Tech Tool Pro 2.5 日本語版　1名**
秋田県　佐藤　晋

**Bryce4 日本語版　1名**
福岡県　福山　聡

**T-Time ver2.0　3名**
神奈川県　塩田　勝
愛知県　浅野　博
大阪府　多田雅一

**マスタークリップ 25,000 Plus 1名**
愛知県　簗瀬佳正

**NBA日本公式Webサイト開設記念マウスパッド　10名**
北海道　北村　明
東京都　山口　功
埼玉県　矢口朝之
福岡県　尾鶴　亮
宮城県　引地優一
山形県　阿部由紀子

## 前号の訂正

MACLIFE No.133／9月号のCD-ROM MACLIFEに収録されていた旧Power Macシリーズ用のカーネル「Japanese Edition Default」において、インストール時に一部内蔵CD-ROMが認識されないというエラーが発生しました。この問題の対処法は、P.264を参照してください。

なお、Blue & White型Power Mac G3シリーズにおきましても、一部マザーボードで内蔵IDE HDD認識でトラブルが報告されています。この問題の対処法も、P.264を参照してください。

他に問題のある箇所や説明不足の点については、MACLIFEホームページ（http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/）のBBSでお問い合わせください。

編集部／マインド／ライターたちが総動員で、報告があり次第、対処できる範囲で、質問に対する回答をアップロードしていく予定です。

関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

## 別冊「快適PowerBook生活'99」のお詫びと訂正

9月13日に発売されましたMACLIFE 10月号別冊「快適PowerBook生活'99」におきまして、下記のとおり間違いがあり、関係者の方々にご迷惑をおかけいたしました。ここにお詫びして訂正いたします。

＜P.60の内容について＞
▼　誤　POWERBOOK ARMY主宰
→　正　POWERBOOK ARMY代表
▼　誤　飯島淳さん
→　正　飯嶋淳さん
▼ここではP.60-61全体を通して飯嶋氏が書かれたかのように掲載されていますが、実際に飯嶋氏が書かれたのは本文１行目から32行目までの部分のみで、その他の原稿につきましては編集協力した（有）ノーションによるものです。なお、飯嶋氏ご本人は、実際にはモバイル環境でのFTPを行なっているわけではありません。読者の方々の誤解を招くような掲載をしてしまいましたこと、および飯嶋氏にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

＜P.174の内容について＞
▼（ホームページPOWERBOOK ARMY紹介文中）
誤　飯島淳さんが主宰する　→
正　飯嶋淳さんを代表とする
▼ホームページPOWERBOOK ARMYの紹介文は、このホームページが飯嶋氏個人のホームページであるかのように掲載されていますが、実際にはPOWERBOOK ARMYはMacintoshユーザーグループとしてプロモーション展開しているものです。読者の方々の誤解を招くような掲載をしてしまいましたこと、および飯嶋氏とPOWERBOOK ARMY関係者の方々にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

MACLIFE編集部
（有）ノーション

# 『MACLIFE』次号予告

## 速報 新型iMacの真相！
# 新型iMacは出るのか！

インターネットに画像が流出したのためにー気に盛り上がった「新型iMac」とは何か？
それはいつ、どこで発表されるのか？　その真相に迫る！

## 特集 どうしてもサブノートが欲しいあなたに
# モバイルツール 徹底ガイド

iBookでモバイルができないわけではないけれど、もっとモバイルに適したツールが欲しいと
いうあなたに贈るモバイルツール徹底ガイド。Macと一緒に使えるモバイル機器はどれだ？

## 特集 ブレークしそうなＤＶＤって何だ？
# DVD-ROM & RAMビギナーズ

米国ではすでにブレークしたDVD市場だが、日本ではプレステ2の登場を待たねばならないようだ。ところで、DVD Video、DVD-ROM、DVD-RAMといろいろあるが、その違いはなんだろう？

## 特集 50以上の新機能を徹底検証
# Mac OS 9を使いこなせ

発売開始されたMac OS 9だが、どんな機能があるのか？　Mac OS Xが発表間近の今、
バージョンアップすべきなのか？　Mac OS 9を徹底検証する。

➡集中レポート
# 年賀状に最適のソフト&プリンター

**12月号は11月18日(木)発売、**
**定価は980円です。**

◆掲載記事は予告なく変更することがあります。

予約は，(株)ビー・エヌ・エヌ　販売部　TEL.03-3238-1622

MAC LIFE

## 編集後記

●ラグビーワールドカップが始まった。スカパーも完備して、万全の観戦体制だ。ジャパンは予想通り惨敗だったので、今回は開催地のレッドドラゴン＝ウェールズに期待している。（とよ）

●本の出版という形態を改めて考える時がきていると最近通説に思う。一方通行のメディアには限界があるだろう。もっとユーザーに近い位置から、売りっぱなしではなくサポートすることが大事だ。（タカアキ）

●かつて3人の賢者が心地よいハーモニーでこう歌った／変化を目撃しろ／荒れ地で井戸を掘り当てた者だけが／唯一語れる言葉／変化を目撃しろ／捨ててから手に入れられる物もある／だからさよなら（KenG）

●TRAVISの「The Man Who」に感動。Oasis meets Radioheadといった趣もあるが、せつないボーカルが絶品。今年のベストアルバムはこれで決まりでしょう。ぜひご一聴を。（TOSH）

●台風、トルコと台湾の大地震、原発臨界事故（これは天災ではなく人災だが）。予想もしていない災害が続発している。ミレニアム直前には、なにか不可思議な大きな力が動くのだろうか？（いっぺ）

●今年の夏は（気温もMacも）暑かった（熱かった）と過去形で今いえるかどうかが微妙だが、ようやく収束しつつあるようだ。セミではなくて虫が鳴いているしね。西澤保彦『夢幻巡礼』は昏く強力だ。（よた）

●帰宅後はTVを見るのが日課だったが、最近、あまり見ていない。常につけっぱなしなのだが、集中できないのだ。こうなったら毎晩、葉山まで行き、ナイトクルージングでも楽しむことにするか。（gas）

●日本でもNBAの試合が行なわれるようになって3年目だが、いまだに一度も観戦に行ったことがない。なんとなく「夢」が壊れそうで嫌なのだ。海外スポーツ観戦はそれだけ奥が深いのだ。（しお）

●秋の和菓子売り場は楽しい。さつま芋や栗を使ったものや、お彼岸にはおはぎが一斉に並べられたりする。あ〜、見てるだけで幸せ、と思ってたら、おはぎを求めて殺気立つおばちゃんに突き飛ばされた。（愛）

●PEPSIのＳＷボトルキャップを全52種類中、51種類まで集めた。掲示板で交換したり、購入したり……インターネットのおかげでなんでも手に入る時代になった。問題はお金が必要ってことだけど。（雨）

●読者Mailに『iBookはドラえもんのイメージ』という感想があった。確かドラえもんの道具に"流行の風を送る団扇 (?)"があったような気がする。あのデザインと交換条件でそれを入手していたら…と空想。(kuni)

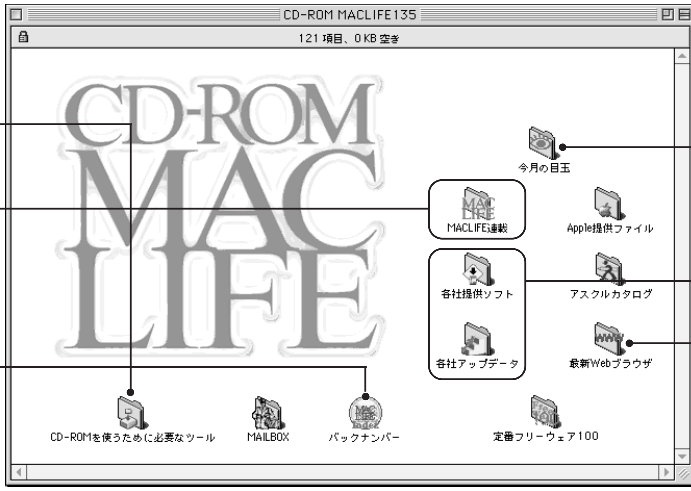
# Macware Selection INDEX

Soft Ware

G U I D E

# CD-ROM MACLIFEの楽しみ方

## 収録ソフトウェアを使うための準備と楽しみ方

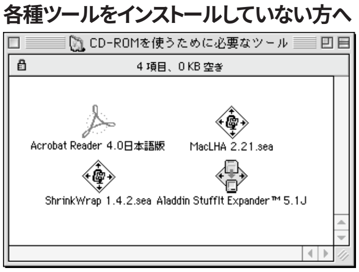


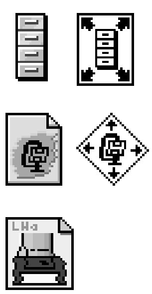

**【3】『MACLIFE連載』フォルダー**
**本誌と連動した各種ソフトウェアとファイル**




MACLIFEのレギュラーページと連動したフォルダー。記事で紹介したソフトのデモ版、サンプルデータ、フリーウェアなどが収録されている。

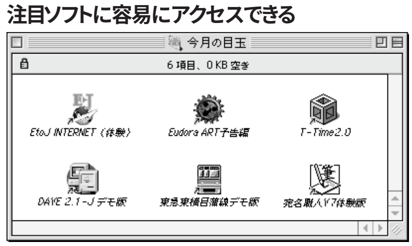
**【1】『CD-ROMを使うために必要なツール』**
**各種ツールをインストールしていない方へ**



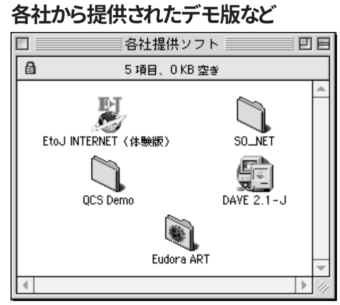
CD-ROM MACLIFEに収録されているソフトウェアのほとんどは、圧縮／伸張ツールによって圧縮されている。これらの多くはアイコンで見分けることができる。上から順にCompact Pro（図左）、Compact Pro自動伸張（図右）、StuffIt（図左）、StuffIt自動伸張（図右）、LHA。Acrobat ReaderはPDFファイルを見るツール

**【2】『今月の目玉』フォルダー**
**注目ソフトに容易にアクセスできる**



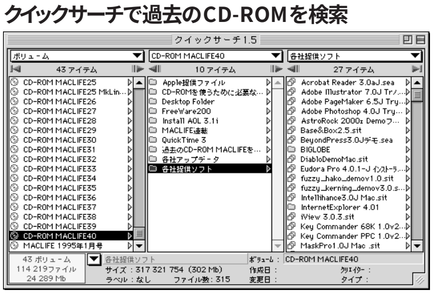

.注目ソフトの収録されたフォルダーのエイリアスが入っているので、ダブルクリックすると、そのソフトの入ったフォルダーが開く

**【4】『各社提供ソフト』フォルダー**
**各社から提供されたデモ版など**




各社からCD-ROM MACLIFE用の提供ソフトや試用版。So-netサインアップソフトなどが入っている。

**【5】『バックナンバー』フォルダ**
**クイックサーチで過去のCD-ROMを検索**




クイックサーチデモ版を利用した検索システム。過去のCD-ROM MACLIFEを調べることができる。クイックサーチリーダを起動し、「カタログ」メニューの「カタログを更新」を選択すれば，準備完了。左のウインドウのCD-ROMのナンバーを選択すれば、その号の内容が表示され、「検索」メニューの「データベース内を検索」を選べば、記入した文字列を含んだファイルが何号に収録されたか検索できる。

**CD-ROM MACLIFEは，『MACLIFE』本誌とリンクした内容をCD-ROMで提供するものである。特集や連載の関連ファイルなど，数多くのデータが収録されている。また、各社提供によるデモ版やアップデーターも収録している。**

### 最初に行なうことは？

CD-ROM MACLIFEの利用にあたっては、Mac OS 7.6.1以降をインストールした、68040／68LC040以上搭載のMac（24MB以上のメモリを搭載)、2倍速以上のCD-ROMドライブが必要になる。推奨する環境としては、インターネットに接続できるPowerPC搭載Macおよび互換機(32MB以上のメモリを搭載)。OSはインターネット系のソフトウェアともっとも親和性が高いMac OS 8.1を推奨している。

CD-ROM MACLIFEをCD-ROMドライブに入れると、自動的にウィンドウが開く。まずは『CD-ROMを使うために必要なツール』フォルダのなかに入っている圧縮／伸張ツール「StuffIt Expander」と「MacLHA」、ディスクイメージのファイルをマウントする「ShrinkWrap」が収められているので、これをハードディスクにインストールする。

今月号には「StuffIt Expander 5.1J」が収録されている。StuffIt 5.0で圧縮されたファイル圧縮効率がいいため、フリーウェアなどでStuffIt 5.0形式のファイルが増えてきている。StuffIt 5.0形式のファイルはStuffIt Expander 5.0でしか解凍できないので、インストールしておくことをお薦めしたい。StuffIt Expander はStuffIt、Compact Proのアーカイブ、BinHex、MacBinary のデコードに対応している。

# CD-ROM MACLIFE今月の目玉

## T-Time 2.0機能限定版／EtoJ INTERNET 体験版／宛名職人Ver.7体験版ほか

### 鉄道運転シミュレーション 東急東横線／目蒲線デモ版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『MACLIFE連載』→『GAME NOW』フォルダー

東急東横線／目蒲線の運転ができるトレインシミュレーター。体験版では東横線の学芸大学〜都立大学間を運転することができる。『MACLIFE連載』フォルダーの『Game Now』に収録。

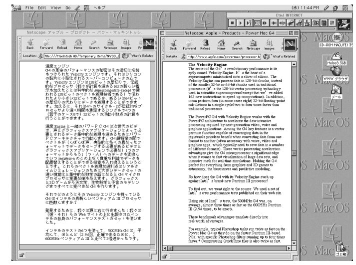
### T-Time 2.0機能限定版




収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『Macware Selection』フォルダー

デジタルテキストを読むためのブラウザー。機能限定版はEBK（エキスパンドブック）とTTZファイルのみ読むことができる。『MACLIFE連載』フォルダーの『Macware Selection』に収録。

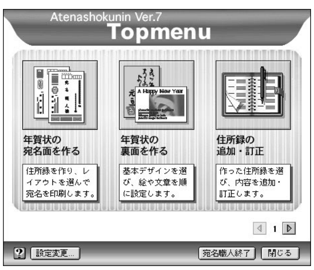
### EtoJ INTERNET 体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『各社提供ソフト』フォルダー

ネットサーフィンを楽しみながら、英文ページを翻訳して読むことができる翻訳ソフト。30日間の使用期限が設けられている。このソフトは『各社提供ソフト』フォルダーに収録されている。

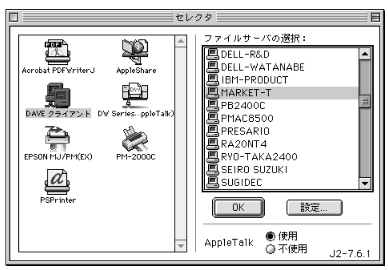
### 宛名職人Ver.7体験版




収録場所：『MACLIFE連載』
→『Macware Selection』フォルダー

データベースを作成して宛名を印刷したり、基本デザインから絵や文章を選んで年賀状や往復ハガキを簡単に作成できる。『MACLIFE連載』フォルダーの『Macware Selection』に収録。

### DAVE 2.1-J デモ版




収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『各社提供ソフト』フォルダー

サーバーを経由することなく、Macのセレクターを介してWindowsマシンと接続することができるソフト。WindowsからもMacと接続できる。『各社提供ソフト』フォルダーに収録。

### Eudora ART ENIGMA 予告編ムービー




収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『各社提供ソフト』フォルダー

クニリサーチインターナショナルが12月に発売する新しい電子メールソフトEudora ARTシリーズ「ENIGMA」の予告ムービー。このムービーは『各社提供ソフト』に収録されている。

### そのほかの注目ソフト

・QuickTime 3.0.2：『Apple提供ファイル』フォルダー
・iLiner デモ版：『MACLIFE連載』フォルダー→『Macware Selection』フォルダー→『iLiner 1.0 Demo』フォルダー
・Linux for PPC2.0J：『MACLIFE連載』フォルダー→『再チャレ！ Linux for PPC』フォルダー
・Microsoft Internet Explorer 4.5J：『最新Webブラウザー』フォルダー→『Microsoft』フォルダー
・Netscape Communicator 4.5J：『最新Webブラウザー』フォルダー
・Shockwave 7：『最新Webブラウザー』フォルダー

### 読者メールの受け付け

MACLIFEでは、読者はがきのかわりに電子メールでもアンケートやプレゼント応募、資料請求、ご意見ご要望を受け付けている。CD-ROM MACLIFEの『MACLIFE連載』フォルダーの『MAILBOX』フォルダーのなかにある「読者メールテンプレート」をメールの本文にペーストして必要事項を記入し「mlreader@bnn.co.jp」宛に送信してほしい。このとき、メールの題名は「readers No.135」としてほしい。応募は1人1通まで。また、一般のご意見、ご要望、投稿などもこのアドレスで受け付けている。Mail Boxに掲載されることもあるので、匿名希望の場合は明記のこと。

また、本CD-ROMに対する質問や要望などは「cd-rom@bnn.co.jp」宛に送ってほしい。

**読者メールは：**
**mlreader@bnn.co.jp**

**編集部宛のご意見は：**
**maclife@bnn.co.jp**

**CD-ROMについてのご意見は：**
**cd-rom@bnn.co.jp**

●動作環境

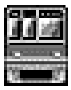
| | |
|---|---|
| ハードウェア | 68040／68LC040以上搭載のMacintoshおよび互換機。24MB以上の搭載メモリ、2倍速以上のCD-ROMドライブ |
| OS | Mac OS 7.6.1以上 |

●推奨環境

| | |
|---|---|
| ハードウェア | PowerPC搭載Macintoshおよび互換機 32MB以上の搭載メモリ、4倍速以上のCD-ROMドライブ |
| OS | Mac OS 8.1 |
| その他 | インターネットに接続できる環境 |

# 「MACLIFE 11月号付録CD-ROM」インストール手順

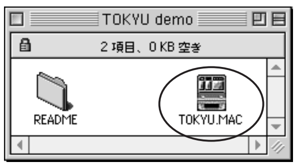
**MACLIFEの付録CD-ROMには、以下のようなソフトの体験版、試用版を収録している。**



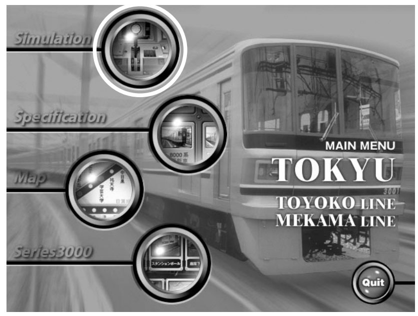
## 鉄道運転シミュレーション 東急東横線／目蒲線 デモ版

### 小学館プロダクション

❶「Game Now」内の「TOKYU demo」フォルダーにある「TOKYU.MAC」アイコンをクリックする

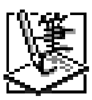



❷解凍デモ版では運転シミュレーションコーナーのみを体験することができる




❸コンソール中央の加速・減速レバーと右にあるブレーキレバーで運転する



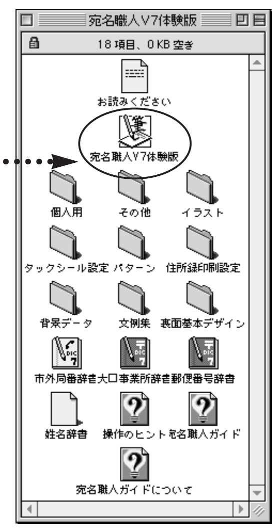



## 宛名職人Ver.7体験版

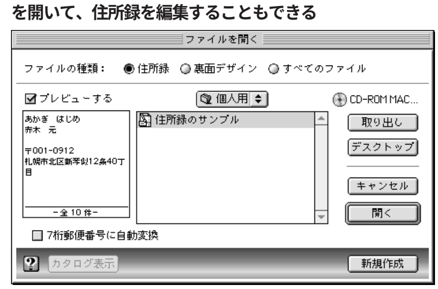
### アジェンダ

**http://www.agenda.co.jp/**

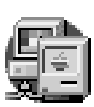
❶MACLIFE連載フォルダーの「Macware Selection」フォルダーにある「宛名職人V7体験版」フォルダーをハードディスクにコピーし、宛名職人V7体験版アイコンをクリックする




❷新規作成のほか、メニューから既成のサンプルフォームを開いて、住所録を編集することもできる




■体験版による制限事項
・宛名面／裏面デザインのJPEG保存機能、CSV形式などへのデータ書き出し、写真はがき形式での出力、携帯電話メモリ編集ソフトへのデータ書き出し、タックシール印刷等の特殊印刷機能
・宛名印刷と裏面デザインの印刷を実行すると、「Sample」という大きな文字が重なって印刷される
・製品版添付のイラストや裏面デザインは体験版では未収録



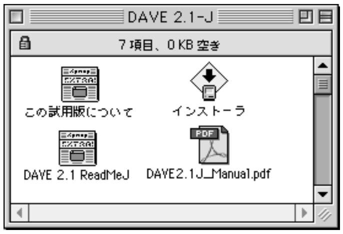
## DAVE 2.1-J体験版

### メディアアヴィジョン

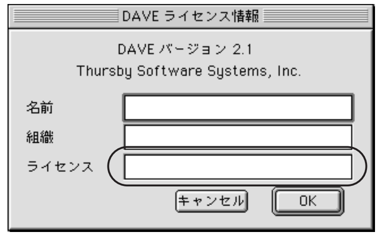
**http://www.mvi.co.jp/**

●試用版の期限は1999年11月30日まで
●ライセンスコード：
233V-BVP-7XP-T2Y-E3R-26Y-ZPK-XVJ-EI8-SEV

❶「各社提供ソフト」フォルダー内の「DAVE 2.1-J」を開いてインストーラーを起動させる

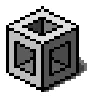



❷インストール終了後、コントロールパネルからNetBIOSを開き、READ MEに書かれているライセンスコードを記入する




❸ライセンス入力後、自分のコンピューターに認識用の名前を入力する。詳細な設定は付属のPDFマニュアルを参考していただきたい



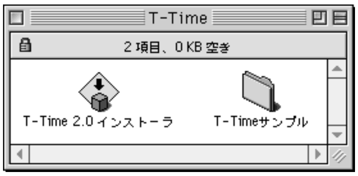


## T-Time 2.0 機能限定版

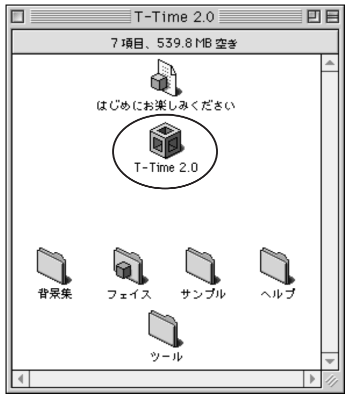
**ボイジャー**

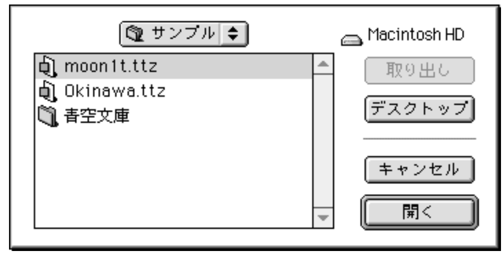
**http://www.voyager.co.jp/T-Time**

❶「MACLIFE連載」フォルダー内の「Macware Selection」フォルダーにあるT-Timeフォルダーにあるインストーラーを起動させる




❷解凍終了後、T-Time 2.0アイコンをクリックするとアプリケーションが起動する




T-Timeフォルダー内には3種類のサンプルデータが用意されている

---

**1999 11**
**No.135**

**CD-ROM MAC LIFE**

**●動作環境**
漢字Talk7.6.1以上（Mac OS 8推奨）
搭載メモリ24MB（推奨32MB）
13インチモニタ以上
32,000色表示
倍速CD-ROMドライブ以上

**●万一、CD-ROM MACLIFEが破損していた場合のお問合せ**
（株）ビー・エヌ・エヌ販売部
TEL 03-3238-1622
（月〜金曜日の9：30〜17：30）
sales@bnn.co.jp

**鉄道運転シミュレーション**
**東急東横線／目蒲線デモ版**

**アスクルカタログ**

**Microsoft Internet Explorer 4.5J**
**Netscape Communicator4.5J**

**定番フリーウェア100**

**『MACLIFE』連載**
**Entertainment●各種デモほか**
**あ★かるいMac道●オリジナルムービー**

**Macware Selection**
**●T-Time 2.0 機能限定版／宛名職人Ver.7体験版／iLiner 1.0デモ版**

**各社提供ファイル**
**●EtoJ INTERNET 体験版／DAVE 2.1J デモ版／Eudora ART ENIGMA予告編ムービー／So-netオンラインサインアップソフトほか**

**各社最新アップデータ多数収録**
**●アイ・オー・データ／（SC-APUNシリーズサポートソフト）アスキー（REALbasic 2.0.2日本語版アップデータ）／アルプス電気（Micro Dry プリンタドライバ Ver.6.2、CopyStudio 3.0）NEC（MultiReader 600U用iMac対応スキャナドライバモジュール、AtermITシリーズ用モデムスクリプトファイル Ver.4.00、AtermIT75/IT60シリーズ用ファームウェア Ver.1.20ほか／エプソン販売（EM-900C/CN Ver.5.65J、MJ-6000C Ver.5.64J、EPSON ES-8000 TWAIN Pro Ver.1.5a ほか）／エルゴソフト（EGBRIDGE10.0.5 アップデータ）ほか**

**使用条件**

CD-ROM収録

# アップデータドライバ・ソフトウェアリスト

収録場所：『CD-ROM MACLIFE』
→『各社アップデータ』フォルダ

### ●アイ・オー・データ
★SC-APUNシリーズサポートソフト
http://www.iodata.co.jp/

### ●アスキー
★REALbasic 2.0.2日本語版アップデータ
http://www.ascii.co.jp/realbasic

### ●アダプテック
PowerDomain 2940U2W
PowerDomain 2940UW v4.1
http://www.adaptec.co.jp/

### ●アドビシステムズ
Adobe Illustrator 8.0.1 J アップデータ
URL http://www.adobe.co.jp/

### ●アルプス電気
CopyStudio 3.0
Micro.DryプリンタドライバVer.6.2
Micro Dry™ RIP 2.0.2J Updater
Micro Dry(TM) プリンタ スキャナユーザーズマニュアル (Ver2.0以降) for Macintosh
http://www.alps.co.jp/brand/printer

### ●インタウェア
BOOSTER750 機能拡張1.2.0アップデータ
BOOSTER 64・54 G3用ソフトウェア Mac OS 8.6対応版
BOOSTER PB G3 EXドライバ
DV CinemaGear 1.2.1機能拡張 Mac OS 8.6対応版
http://www.iijnet.or.jp/Interware/

### ●インフィニシス
AfterDark 4.5アップデータ
http://www.infinisys.co.jp/

### ●ウイニングラン・ソフトウェア
DAVE 2.1p3日本語版 アップデータ
Fractal Design Expression 1.0.5 J アップデータ
Ray Dream 3D 1.0.3Jアップデータ
Ray Dream Studio 5.0.3Jアップデータ
http://www.winningrun.co.jp/

### ●エーアイソフト
WX III for Mac（3.0.X→3.0.5）
http://www.aisoft.co.jp/

### ●NEC
MultiReader 600U用iMac対応スキャナドライバモジュール
AtermITシリーズ用モデムスクリプトファイル Ver.4.00
AtermIT75/IT60シリーズ用ファームウェア Ver.1.20
IT75/IT60らくらくユーティリティ Ver.1.20
AtermIR450シリーズ用ファームウェア Ver2.14
AtermIR450シリーズ用コネクションマネージャ Ver1.10
http://www.pc98.nec.co.jp/

### ●エプソン販売
■スキャナ
EPSON Scan! II Ver.2.1c
GT-7000 TWAIN Rev.3.1a（SCSI）
GT-7000 TWAIN Rev.3.1a（USB）
GT-9500/5500 TWAIN Rev.3.2a
GT-9600 TWAIN Rev.1.5c
★ES-8000 TWAIN Pro 1.5a
CS-5000N TWAIN Pro 1.0a

■プリンタードライバ
LP-1700/8200/9200/8300/9200S/1700S Ver. 3.5c（EPSON Print!3）
LP-800 EPSON Remote! 1.0
LP-8000C Driver 4.0.1
LP-8600C 1.1a
LP-9300Ver.1.11
LP-9300 /9600/Ver.1.11
EM-900C/CN Ver.5.65J
MJ-6000C Ver.5.64J
MJ-8000C Ver.5.64J
MJ-810C 2.81Js
MJ-830C 5.59J
MJ-930C 5.1A
PM-600C /700C /750C /Ver.5.59J
PM-680C Ver.5.62J
PM-770C Ver.5.65J
PM-2000C 5.59J（iMac）
PM-3000C Ver.5.65J
PM-5000C Ver.5.64J
PM-9000C Ver.5.64J

■デジカメユーティリティ
カラリオ・フォトダイレクトプリント Ver.3.0J
CP-800（EPSON Photo!3）Disk Rev.1.0b
EPSONPhotoファイルアップローダ3 Disk Ver.1.01J
プリントマークソフト Ver.2.01J
CPS3/CPS4
http://www.i-love-epson.co.jp/

### ●エルゴソフト
★EGBRIDGE Ver.10.0.5アップデータ
★EGWORD9.0.2 アップデータ
EGWORD PURE4.0.1 アップデータ
ネットウォーカーVer.1.0.1アップデータ
フォトコレクターVer.1.0.1アップデータ
もぐらたたキー R2アップデータ
http://www.ergo.co.jp/

### ●沖データ
Microline PS シリーズユーティリティ 2.3
Microline PSIIプリンタドライバ8.3.24
Microline PSIIIプリンタドライバ8.5.2
Microline 7300ユーティリティ2.1.7
Microline 7300PSIIドライバ8.3.2
Microline 620CLドライバ1.10j
Microline 600CLドライバ1.00
Microline 4wドライバ1.10
Microline 400/400CLドライバ1.02
Microline 8wプリンタドライバ
Microline 8c PS3プリンタドライバ
Microline 640CL プリンタドライバ
Microline 12n プリンタドライバ
http://www.okidata.co.jp/

### ●オリンパス光学工業
FPD_2M インストーラ
TEL 0426-42-7499

### ●キヤノン販売
■プリンター
BJC-430J(USB) iMacドライバ v1.00A
BJC-455J v2.10A
BJC-465J v2.10A
BJC-5500J v1.03A
BJF-100 v3.00
BJF-200 v3.00
BJF-200 IS Scan v1.11
BJF-600 v3.00
BJF-800 v3.00
BJF-6000 v3.00
BJF-8500 v3.00
BJ MacOS8.6対応用モジュール「ColorGear CMM Lite」For Macドライバ V1.8.0

■スキャナ
IX Scan Plug-In Ver2.6
ScanExpert FS Ver3.0.3
ScanExpert Ver3.0
FB620S Toolbox Extension Ver1.01b1
BJC-430J(USB) iMac IS Scanドライバ v1.01A
CanoScan 2700F 日本語
CanoScan FB620S 日本語

■デジカメ
ScanExpert Ver3.0
PowerShot350.sea.1
PowerShot 350用 Plug in for Macintosh
http://www.canon-sales.co.jp/

### ●コーシングラフィックシステムズ
マスコットJr. 1.01 アップデータ
CutiePocket 1.04 アップデータ
AgentMaker1.2.0 アップデータ
TEL 03-5379-5153

### ●システムソフト
HDT253J アップデータ
ラムチャージャー8 アップデータ
Speed Doubler 8アップデータ
SpeedCopy8サーバ
SurfExpress 1.5.1Jアップデータ
Virtual PC212J.アップデータ
システムソフト電子辞典2.0.8アップデータ
大戦略 for Macintosh Mac OS 8.5 対応アップデータ
TEL 092-752-5264

### ●シマンテック
Norton AntiVirus 5.0.3アップデータ
NotronUtilities 4.0.4アップデータ
TEL 03-3476-1156

### ●終作
六角大王Super1.06アップデータ
TEL 042-920-3243

### ●亘香通商
DiskExpress 3.0.2Jアップデータ
UボートII日本語版2.03→2.5.2アップデータ
UボートII日本語版2.14→2.5.2アップデータ
マスタージャグラープロ 2.02アップデータ
TEL 045-320-2711

### ●ディアイティ
NET-G Driver 3.2.2
http://www.dit.co.jp/netjoy/

### ●ディ・ストーム
LightWave 3D 5.5Jアップデータ
http://www.dstorm.co.jp/

### ●日本ヒューレットパッカード
■インクジェットプリンタ日本語版
DeskWriter Series 6.04
DW 300 Series 5.11
HP DW/DJ 300 Series v6.0.3
DW600 Series 9.4.1
DJ 800 Series 9.4

■インクジェットプリンタ英語版
DeskWriter 500 Series 6.0.4
DW 300 Series 5.11
HP DW/DJ 300 Series v6.0.3
DW 600 Series 9.4.1
DW 800 Series 9.4

■日/英両システム
HP DeskJet USB Driver 1.0.1

■レーザープリンタ
LaserJet 4L インストール
LaserJet 4PJ インストール
LaserJet 4LJ Pro インストール
LaserJet 5L/6L インストール

■スキャナ
SJ4sNewControlPanel
DeskScan II2.4E
HP ScanJet Copy 2.01
TEL 03-3335-8333（東京）
06-6838-1155（大阪）

### ●ビー・エイチ・エー
B's Recorder GOLD(PowerPC)1.0.2アップデータ
B's Recorder GOLD(USB)1.0.2アップデータ
B's Recorder GOLD(68K) Ver1.0.2アップデータ
★B'sCrew 3.1.3アップデータ
B'sRecorderProTo4.0.9アップデータ
TEL 03-3263-0566

### ●ピクセラ
■SCSI用

| | |
|---|---|
| PixeColorF100 | BJF-100 |
| PixeColorF200 | BJF-200 |
| PixeColor 400J | BJC-400J |
| PixeColor 420J | BJC-420J |
| PixeColor 430J | BJC-430J |
| PixeColor 440J | BJC-440J |
| PixeColor 465J | BJC-465J |
| PixeColor 700J | BJC-700J |

■USB用

| | |
|---|---|
| PixeColor 35VII | BJC-35VII |
| PixeColor 80V | BJC-80V |
| PixeColor 240J | BJC-240J |
| PixeColor 420J | BJC-420J |
| PixeColor 430J | BJC-430J |
| PixeColor 465J | BJC-465J |

■AppleTalk用
PixeART Ver.2.02
PixeDC Ver 1.01

■コンパクトフラッシュ
PX-iM Mounter & PX-iM Utility
TEL 0722-24-7311

### ●富士写真フイルム
TX-7Monitor/TX-7SGM
FD-A1/FD-A1B(フラッシュパス)用
IF-CL/W3・IF-CL/M3アップデータ
TEL 03-3406-62981

### ●富士ゼロックス
DocuPrint C1250/DocuColor 1250用 ICCファイル Ver.1.2.1
TEL 0120-81-2209

### ●ボイジャー
T-Time 1.1.3-r2アップデータ
TEL 03-5467-7070

### ●マクロメディア
Dreamweaver 2.01J アップデータ
（株）アスキー
TEL 03-5351-8652
(株)システムソフト インフォメーションセンター
TEL 092-752-5264

### ●松下寿電子工業
LK-RM734UZ/LK-RM934UZドライバ 1.5
http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3

### ●ミノルタ
★Camera Access アップデータ
★Dimage Vユーティリティ
Dimage Scan Dual
DimageScanSpeed1.0.1J
DimageScanMulti1.1J
RD-175
QuickScan 35 v2.6J
TEL 03-5423-7555／06-6271-2641

### ●メディアヴィジョン
Poser 3.0.1J アップデータ
MacTools Pro 5.0.1J アップデータ
RAM Doubler8.0.1アップデータ
Speed Doubler8アップデータ
Virtual PC2.1.3Jアップデータ
SurfExpress 1.51Jアップデータ
http://www.mvi.co.jp/

### ●ヤノ電器
SCSI Device Pro2.3.1アップデータ
UPS Watcher 1.1アップデータ
USB MO 1.0.1アップデータ
USB PCRW 1.1.2アップデータ
USB FD 1.2.1アップデータ
TEL 078-993-0010

### ●ヤマハ
★RTA50i用iナンバー対応ファームウェア Rev.03.03.35
RTA50i かんたんパソコン設定
ネットボランチ・コールセンター
TEL 0120-808384

### ●リコー
imagio Color2800シリーズW28a R-PS2用 PPDファイルVer1.40
リコープリンタコールセンター
TEL 0120-56-1240

**★印は今月新たに収録／更新されたソフトウェアです。**

# お楽しみ『定番フリーウェア100』

**毎月，定番フリーウェアをCD-ROM MACLIFEに100本以上収録！** CD-ROM

★印は、今月アップデートされた／新規に収録したソフトです

監修●花谷育雄

**MACLIFEのホームページVirtual MACLIFEに『定番フリーウェア100』のリンク集ができました。ご利用ください。**
http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/link/freeware.html

## Mac OS 8.5関連

### ★Favorites CSM
1.2/菅原正明/フリーウェア
**●「よく使う項目」をコントロールバーから利用**
Application、File、URL、E-mail Address、Directoryのタイトルに分類されてメニュー表示される。

### No Alias Badge
1.0.1/Ouzak & Rilla/フリーウェア
**●Macのエイリアスに矢印はいらない**
Mac OS 8.5でエイリアスを作成したときにできるアイコンに、矢印を付けないように設定できる。矢印に不満があるユーザーにお薦め。

### ★Prestissimo
1.5.1/PolyMorph Software/フリーウェア
**●手軽に使えるカスタマイズツール**
ティアオフ（アプリケーションメニューから外す）したときのアプリケーションパレットのカスタマイズなどが行なえる。

### QuitProcess
2.0/菅原正明/シェアウェア（800円）
**●アプリケーションを手軽に終了**
起動中のアプリケーションの一括終了など、起動アプリの操作を可能にする。終了させないアプリの指定などもできる。

### ★Sherlock Menu
2.5J/Public Access Software/シェアウェア（5ドル）
**●Sherlockへのショートカットメニュー追加**
メニューバーの虫眼鏡アイコンから素早くSherlockを呼び出して検索できるようになる。




### SoundSet Constructor
1.0b2/Chris Gervais/フリーウェア
**●自分好みのサウンドテーマを作成**
メニューやウィンドウなど、各カテゴリーにサウンドファイルを割り当てるだけで、サウンドテーマを作るツール。

### Summarize It!
1.1.0/清水友彦/シェアウェア（メール）
**●テキスト文書要約支援ツール**
任意のテキスト書類に書かれている内容の要約や、フォルダーに保存したテキスト書類の内容を一括して要約する。

### ★へたダサヘルパー
1.0.5/高野琢巳/フリーウェア
**●丸漢フォント用ツール**
へた字、ださ字などの丸漢フォントをMac OS 8.5上でも使えるようにするためのツール。

## iMac

### Flying iMac
1.00/HIROMA/フリーウェア
**●羽根の生えたiMac大行進**
After Darkの名作、「フライング・トースター」のトースターがiMacに。After Dark用のファイルのほか、単体アプリケーション形式もある。

### iMac Cursor
―/Bryan Bortz/シェアウェア（5ドル）
**●カーソル変更機能拡張書類**
通常の矢印ポインタをボンダイブルーの三角ポインターに変更。時計型ポインターもペアカラーでおしゃれに。

### iMacFuncKeys
1.3.0/清水友彦/シェアウェア（メール）
**●iMacファンクションキー活用ツール**
iMacのスケルトンキーボードに配置されているファンクションキーに、便利なアクション機能を追加するツール。

### ★iMacolor
1.1/伊東秀喜/シェアウェア（メール）
**●アップルメニューとゴミ箱をiMac風アイコンに**
コピーで変更できないシステム標準アイコンを変更するコンパネ。iMacの全カラーに対応し、おまけも同梱。




### iMacウォッチ
0.9/ひょろ（Tetsuya Uetsuji）/フリーウェア
**●現在の時刻をかわいく表示**
ボンダイブルーと5色のiMacの外観をしたキューティマスコット製アプリケーション。

### iText
1.2/山下道明/フリーウェア
**●どうせなら、アプリケーションだっておしゃれに**
独特のカラーリングやシンプルデザイン、高処理といったiMacのコンセプトをモチーフに作成されたエディター。

### ★Ringo CD Controller
2.2.2-J/Takashi Ourai/フリーウェア
**●iMacカラーの音楽CDプレイヤー**
リンゴ型のウィンドウにオーディオコントローラーを配置。自分のiMacに合わせたカラーを選択可能。

### USB Overdrive
1.1/Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（20ドル）
**●汎用のUSBドライバ**
USB対応のマウス、ジョイスティック、などのための汎用ドライバー。

## 圧縮・解凍

### Compact Pro
J-1.52/Bill Goodman/シェアウェア（25ドル）
**●分割圧縮機能をもった圧縮・解凍ツール**
Compact Pro形式（.cpt）の圧縮・解凍、BinHex形式（.hqx）のエンコード／デコードができる。

### ★Decoder
2.0.3/Harmony Software/シェアウェア（10ドル）
**●uuencode／Base64形式のデコーダ**
uuencodeとBase64の両形式に対応した高速解凍ツール。ファイルの拡張子とファイルタイプの関連づけは任意に設定できる。

### DropBinHex
1.6.1/清水友彦/シェアウェア（メールウェア）
**●BinHex形式変換ツール**
ファイルだけでなくフォルダー単位でも、BinHex形式に変換／復元できる。



### Aladdin DropStuff
5.1.2J/Aladdin Systems/シェアウェア（3,900円または30ドル）
**●ドラッグ＆ドロップで圧縮**
ドラッグ＆ドロップでStuffIt形式に圧縮する「DropStuff」の新バージョン。Unicodeに対応したほか、圧縮率を緩めそのぶん高速な圧縮を行なうこともできる。また、StuffIt Expanderで解凍／デコードできるファイルの種類が拡張され、解凍も高速化される。

### LHA Expander
1.0.8/関野雅則/フリーウェア
**●LHAファイルの解凍ツール**
ドラッグ＆ドロップによって、LHAで作成された書庫ファイルを解凍するツール。

### LSAssistPack
2.0.4/小林貴博/フリーウェア
**●ファイルを自動判別し解凍する**
ドラッグ＆ドロップされたファイルを判別し、適切なアプリケーションを起動して解凍する便利ツール。

### MacGzip
1.1.2/SPDsoft/フリーウェア
**●UNIX環境で多用されるgzip対応**
「gzip形式」はUNIX環境では標準的に利用されているフォーマットなので、UNIX環境にファイルを圧縮して移動する必要がある場合はインストールしておきたい。

### MacLHA
2.22/石崎一明/フリーウェア
**●DOS環境で一般的なLHAのMac版**
「LHA形式（.lzh）」は、PC-9801がパソコンの主流だった時代のMS-DOS環境では、標準的な地位を占めていた純国産圧縮フォーマット。このLHA形式をMacで扱うためのソフト。

### StuffIt Expander
5.1.2J/Aladdin Systems/フリーウェア
**●定番解凍ツール**
Macで一般的なStuffIt形式、BinHex形式、CompactPro形式ファイルを、ドラッグ＆ドロップで解凍できる定番ツール。「DropStuff」を入れておけばなお便利。StuffIt 5.0形式のファイルは、Staffit Expander5.1以前のバージョンでは、解凍できないので注意が必要だ。

### ZipIt
1.3.8/Tom Brown/シェアウェア（15ドル）
**●zipファイル対応の圧縮ツール**
Windows環境で一般的なzipフォーマットを扱う圧縮／解凍ツール。未登録バージョンでは機能制限がある。Windowsユーザーとのデータのやり取りには必携。

## システム

### BeHierarchic 4.0J
4.01J/Fabien OCTAVE、佐久間由夫/シェアウェア（10ドル）
**●フォルダ階層表示ツール**
Appleメニュー内のフォルダーなどを階層表示させるツール。サブメニューにもアイコン表示が可能。Mac OS 8.5との相性については、4.0で解消された。

### CopyPaste
4.3.2J/Script Software International/シェアウェア（20ドル）
**●コピー＆ペースト機能を拡大**
最大10項目を記憶できるコピー＆ペースト機能を強化させるツール。

### ★Default Folder
J-3.0.3/St. Clair Software/シェアウェア（25ドル）
**●ファイルダイアログボックス機能を拡張できる**
ファイルダイアログボックス機能を拡張する、Mac OS 8.6に対応したコントロールパネルの最新版。

### Desktopper
1.3/Recurring Dream/シェアウェア（15ドル）
**●デスクトップ上のアイコンに素早くアクセス**
ウィンドウの後ろに隠れてしまったアイコンを、ホットキーやホットコーナーで最前面に呼び出す。

### MacProby
3.4.0/清水友彦/シェアウェア（1,500円）
**●Macの情報表示ユーティリティ**
使用中のMacのハード、ソフトに関する16種類の情報や、エラー時にPRAM情報などを表示する。

### Memory Mapper
1.5/R. Fronabarger/フリーウェア
**●メモリマップを表示するツール**
起動中のアプリケーションのメモリー占有状況や、空き情報をグラフィカルに表示し、仮想メモリーにも対応。

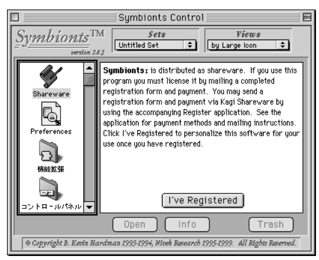
### ★NetChronometer
1.4.0/Jeremy Kezer/シェアウェア（7ドル）
**●時計合わせツール**
インターネット上にある標準時計サーバーを使って、Macの内蔵時計を修正するツール。

### ProgramSwitcher
4.5.3J/Michael F. Kamprath/シェアウェア（10ドル）
**●アプリケーションの切り換えが簡単**
Option＋タブ（TAB）キーでアプリケーションの切り換えを可能にするコントロールパネル。

### Snapz Pro2
2.0.1/Ambrosia Software/シェアウェア（40ドル）
**●定番キャプチャツール**
画面キャプチャーツールの定番。画面全体のほか、ウィンドウだけ、プルダウンメニューだけ、任意の矩形領域を選択することができる。また、画面の動きを音つきでQuickTimeムービーに記録することもできる。

### ★Startup Doubler
2.1J/Marc Moini/シェアウェア(2,400円)
**●Macの起動を高速化するコントロールパネル**
インストール後2回目から、機能拡張書類とコントロールパネルのロード時間が20～50％短縮される。

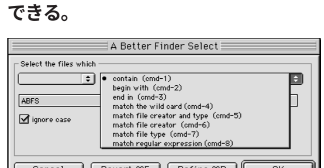
### ★Symbionts
2.8.3/Kevin Hardman/シェアウェア（20ドル）
**●高性能な機能拡張マネージャー**
機能拡張だけでなく、コントロールパネル／フォント／起動項目／システム終了項目／コントロールバー／アップルメニューをそれぞれオン／オフできる機能拡張マネージャー。OSに標準の機能拡張マネージャよりも高機能でオススメだ。




### TechTool
1.1.8/MicroMat Computer Systems/フリーウェア
**●ハードも含めた検知も可能**
システムフォルダの損傷の検知やデスクトップファイルの再構築、PRAMのクリアなどが行なえるユーティリティ。ハードウェアやシステムの情報も表示できる。なお、このソフトの商品版が「TechTool Pro」。

## コンテクストメニュー

### ★A Better Finder Select
1.8/PublicSpace/シェアウェア（10ドル）
**●選択範囲を絞り込んでファイル検索**
選択したファイル、フォルダ内のなかから条件に合ったファイルだけを検索できる。




### ★FinderPop
1.8.1J/Turly O'cconer/フリーウェア
**●片手でコンテクストメニューを表示**
マウスをクリックするだけでコンテクストメニューを表示する定番ツール。一度使うと手放せない。

### More File Info CMM
2.4 J/伊東秀喜/シェアウェア（10ドル）
**●もっと詳しいファイル情報を表示する**
タイプ／クリエーターやリソースフォークなど、「情報を見る」だけでは表示されない、より詳細な情報を表示する。

### MovieUtilities CMM
1.4/Riccisoft and Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（15ドル）
**●ムービーファイルの表示と変換**
QuickTimeの機能を利用してムービーを再生するほか、音声を別形式に変換して保存するなど多彩な機能をもつ。

### PowerMenu
2.2.3J/Mark Aiken/シェアウェア（1,700円）
**●よりパワフルなコンテクストメニューを!**
Mac OS 7にもコンテクストメニューを追加するなど、よりパワフルに各種機能を追加してくれる。

### StuffCM
2.5.2J/David Catmull/シェアウェア（1,200円）
**●StuffItの機能をすべて実現**
「Stuff Engine」と一緒に使用するプラグインソフト。StuffItを利用してファイルの圧縮や解凍、BinHex変換など、StuffItのほとんどの作業を直接指定できる。

### ★Swift
1.4/山崎俊昭/フリーウェア
**●画像、ムービーを再生**
画像やムービーを表示する。また、画像をデスクトップピクチャーに指定するといった機能もある。

### モアイの技
1.0b5/上田唯志/フリーウェア
**●ファイルの情報を閲覧、変更**
選択したファイルの拡張子を見て、対応アプリケーションを表示してくれる。また、クリエーター、タイプ変更などが手軽に行なえる。

## コントロールバー項目

### CalcStrip
1.4.2/kykz's Software/シェアウェア（5ドル/500円）
**●9桁までの四則演算ができる計算機**
数値や計算マクロのペーストと計算結果のコピーが可能な、小さな計算機。Mac OS 8.5に対応。

### Control Panels Strip

3.3/Ammon Skidmore/フリーウェア

**●コントロールパネル書類を実行**

コントロールパネル書類をコントロールバーから直接起動させるためのモジュール。

### Control PPP Strip

2.0.5J/SailMaker Software/シェアウェア（10ドル）

**●PPP接続の状況の表示**

時間経過、積算時間の表示や、PPP、TCP/IPの呼び出し、接続と切断を可能にする。PPP接続のヘルパーとして最適。Mac OS 8.5に対応。

### Extensions Strip

J-1.9.3/Ammon Skidmore/シェアウェア（15ドル）

**●コントロールバー互換ソフト**

複数のコントロールバーが表示できる。Control Panels Strip 3.2.2、Process Manager 1.3が付属する。

### HandyMan

2.0.5/Bert Wynants/シェアウェア（15ドル）

**●Extensions Stripと相性がよいランチャー**

縦／横表示に対応しているため、Extensions Stripと相性がよいランチャー。

### ★Jeremy's CS Modules

2.0.1/Jeremy Kezer/シェアウェア（10ドル）

**●定番のコントロールバー項目集**

13種類の項目からなる定番のコントロールバー項目集。バッテリーや温度計測はとくに人気がある。Mac OS 8.5対応。

### ★Quit CSM（MabaSoft Quit CSM）

1.7.6J/MaBaSoft/シェアウェア（5ドル）

**●アプリケーションのメモリー表示と終了**

アプリケーションごとの使用メモリーサイズの表示、複数のアプリケーションの終了を可能にする。Mac OS 8.5対応。

### Pooh's Strip

1.8.1/清水友彦/シェアウェア（500円）

**●日本製コントロールバー項目集**

日本の祝日などに対応したカレンダーと、作者の得意なインターネット分野の項目が充実している。OS 8.5対応。

### StripLaunch

1.2.1/Tobias Peciva/シェアウェア（5ドル）

**●コントロールバーランチャー**

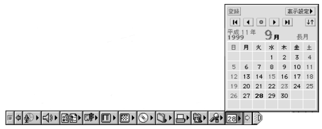
あらかじめよく使うアプリケーションのエイリアスやファイルを設定しておけば、コントロールバーで手軽に起動できるようになる。

### ★来過

1.6.2/itei（夜久伊亨）/シェアウェア（1,000円）

**●多機能カレンダーを表示**

スケジュールやイベントの管理が行なえるマンスリー表示のカレンダーで、年単位のスクロールができる。



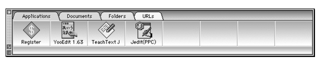
## ファイル

### ★DragThing

2.7/James Thomson/シェアウェア（15ドル）

**●カスタマイズ可能なファイルランチャー**

使用頻度の高いアプリケーションや書類などをパレット状のウィンドウに登録すると、ダブルクリックだけで簡単に起動する。



### ★FileBuddy

5.3.1J／5.3.1/SkyTag Software/シェアウェア（35ドル）

**●定番ファイルユーティリティ**

ファイル変換機能やエイリアス作成機能など、強力な検索機能を備えた定番ユーティリティ。ファイルの名称や属性、テキストファイル中の語句まで検索することができる。

### ファイル検索犬ポチ

2.4.1/中谷賢一/シェアウェア（1,000円）

**●ファイル検索ユーティリティ**

ファイル検索時に入力するキーワードの関係を、「同じ行の中」や「同じ段落内」という具合に指定できる検索ツール。

### PowerBar Pro

3.2/Electric Puppy Software/シェアウェア（15ドル）

**●階層表示可能なランチャーソフト**

「ツールバー」と呼ばれるパレットで、操作するランチャーソフト。

### Type/Creator Database

3.1/Ilan Szekely/シェアウェア（15ドル）
※3.3は登録ユーザー限定でDemo版としては3.1が利用可

**●ファイルのタイプとクリエーター覧**

約18,000種類のファイルについて、タイプとクリエータ・コードをデータベース化して検索する機能を搭載。

### UltraFind

2.5.3/UltraDesign Technology/Steve Linford/シェアウェア（39.95ドル）

**●高速多機能なファイル検索**

日本語（2バイト文字）にも対応したファイル検索ユーティリティ。とくにファイルの内容で検索する機能に優れている。ドローファイルのなかで使用している文字を指定し、それを含んだファイルを検索することもできる。また、Web上の文字列を検索することもできる。

### Yank

3.0.2J/William Modesitt/シェアウェア（1,500円）

**●アンインストールツール**

選択したアプリケーションと、アプリケーションで作製されたファイルを削除し、不要な初期設定ファイルの整理も行なえるユーティリティ。

## ディスク

### ★AutoCat

2.5.1/Olivier Lebra/シェアウェア（10ドル）

**●ゴミ箱内のファイルのカタログを作成**

ディスクをゴミ箱にドラッグして取り出すとき、それに含まれているファイルのカタログを自動的に作成してハードディスクに保存するユーティリティ。

### Disk Charmer

3.1.4/Fabrizio Oddone/シェアウェア（10ドル）

**●HFS+に対応したディスクユーティリティ**

フロッピーディスクの高速消去、フォーマット、コピーが可能。DOS、HFS+フォーマットの初期化も可能。

### DiskDup+

2.9.2/Roger D. Bates/シェアウェア（25ドル）

**●ディスクコピーとイメージファイル作成**

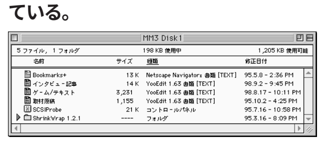
HFS+にも対応した、ディスクの複製やディスクイメージの作成を高速に行なうユーティリティ。

### DiskFolder

2.5/中原仁/シェアウェア（2,500円）

**●ディスク情報を階層フォルダで管理**

FINDERのような表示形式でディスク情報を一覧できる。FD、MO、CD-ROM、Zip、PDから、ハードディスクやネットワークボリュームまで含まれている。



### ★Mt. Everything

1.5.0b1/Horst Pralow/フリーウェア

**●SCSIデバイス管理用ユーティリティ**

ディスクのマウント／アンマウントなどを強力に実行。

### ramBunctious

1.3.1J/Elden Wood & Bob Clark/シェアウェア（1,800円）

**●RAMディスク作成ユーティリティ**

RAMディスクの速度を向上させ、複数のRマウントやセキュリティ機能も付加させるRAMディスク作製ユーティリティー。

## テキスト

### eDOC

2.2.1/Michel Touchot/シェアウェア（25ドル）

**●スタンドアロン形式の文書作成**

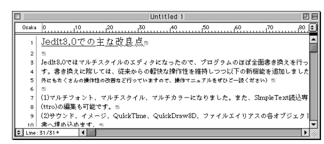
セレクタ機能拡張ファイルがインストールされ、印刷と同手順で任意の書類を誰でも読める文書に書き出す。

### ★Jedit

3.0（Rev.3.0.3）/（株）まつもと/シェアウェア（2,500円）

**●定番テキストエディター**

マクロ機能、アップルスクリプトなどに対応した汎用テキストエディター。HTMLエディターとしても使用できる。



### KanaKiller

1.6.3/関信/フリーウェア

**●半角カナ文字を自動変換する**

Eメール送信時にトラブルになりやすい半角カナ交じりのテキストを、全角カナ交じりに自動変換してくれるユーティリティ。DTPなどでテキストを整形する場合にも便利。

### LightWayText

2.1.2/山下道明/シェアウェア（2,500円）

**●高機能日本語テキストエディター**

ワープロ並みの豊富な機能を備えた日本語テキストエディター。

### PowerReplace

6.5/Guoniu Han/シェアウェア（25ドル）

**●高機能なテキスト変換ツール**

簡単なフィルターを作成して、複数の文字列の検索置換を一度に高速処理する。既存の各種フィルターも便利。

### SimpleText Color Menu
3.2J/Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（10ドル）
**●SimpleTextに機能追加**
SimpleTextに機能を追加するパッチソフト。文字列の検索や色指定のメニューが追加される。

### ★T.Clip
2.5/国府田正樹/シェアウェア(2,000円)
**●テキスト入力補助ユーティリティ**
メニューから選択するだけで、文書の途中に記号や特殊文字、日付などのテキストを取り込んでくれる。

### 縦変 for Mac(Tatehen for Mac)
1.12/安原啓悦/フリーウェア
**●縦書きテキスト変換ツール**
横書きのテキストを縦に並べ替えるツール。

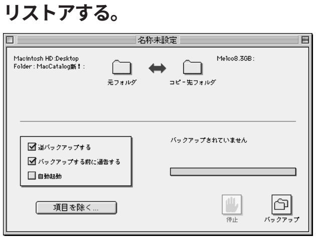
### TextChain
1.5/仲野隆行/フリーウェア
**●テキスト結合ユーティリティ**
複数のテキストファイルをドラッグ＆ドロップなどでひとつにする。クリエーター設定やヘッダー付加も可能。

### YooEdit
1.63/田川 洋一/フリーウェア
**●高速起動の日本語テキストエディター**
速さと検索機能、キーボードの操作性などに優れ、PICT画像も貼りこめる。Mac OS 8.5対応の開発版も公開中。

## セキュリティ＆バックアップ

### ★Drag'nBack
2.9.8/Enterprise Software/シェアウェア(50ドル)
**●わかりやすいディレクトリー構造**
どの階層にあるファイルでも、ディレクトリー階層がわかるように、ほかのディスクへコピーを作成する。

### John's RAM Disk Backup
1.1/John C Rethorst/フリーウェア
**●システム終了時にRAMディスクを自動保存**
RAMディスクの内容をシステム終了時に自動的にバックアップし、起動時にリストアする。



### ★SwitchBack
2.8J/Glendower Software/シェアウェア(3,000円)
**●ファイル管理ソフト**
2つのフォルダーをシンクロさせて、最新のファイルを入れ替えるユーティリティ。

### Synchronize!
3.7/Qdea/シェアウェア（29.95ドル）
**●直観的で使いやすいバックアップツール**
フォルダーバックアップ用のユーティリティ。2つのフォルダをシンクロナイズさせる／バックアップをとる、のいずれかの使用方法がある。

### Synk
2.5.2/Randall Voth/シェアウェア（10ドル）
**●簡単操作のバックアップユーティリティ**
各種作業条件の設定後、ボタンをクリックするだけでシンクロナイズ／バックアップが可能。

### THE BLOCK
2.1J/Marc Mennigmann/シェアウェア(8ドル)
**●セキュリティツール**
「パスワードはキーボードからの入力が必要だ」という既成概念を逆利用したプロテクトシステム。通常のキーボードからのパスワード入力後にescキーを使った2ステップ方式。

### ★The MacLocksmith
2.4.0/Yellowsoft/Rocco Moliterno/シェアウェア（15ドル）
**●ファイル保護ユーティリティ**
起動すると小さなウィンドウが表示され、ここにプロテクトをかけたいファイル／フォルダーをドラッグ＆ドロップするだけで、簡単にファイル保護ができる。

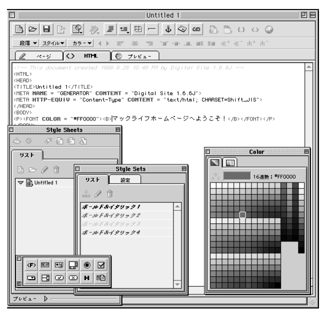
### ★WormScanner
2.3.1/James W. Walker/フリーウェア
**●ウイルスワクチンソフト**
不可視ファイルのAutoStart9805ウイルスを検索し、駆除を行なう。3種類のスキャンモードが選択できる。

### ★Y2K Software Audit
1.31/Pedagoguery Software/シェアウェア(38ドル)
**●ソフトの2000年問題対応をチェック**
インストールしているアプリケーションや機能拡張書類などを、4種類に区分してレポートする。

## インターネット

### Anarchie Pro
3.5J/Stairways Software/シェアウェア(10ドル)
**●検索が可能なFTPクライアント**
Anonymous FTPサーバーからのファイルのダウンロードに便利なFTPソフト。ダウンロードしたいファイルの置かれている場所がわかっていない場合でも、archieサーバーや、Stairways Shareware社とAmbrosia社によるMac Searchサーバーにファイル名を問い合わせ、探すことができる。

### ★BetterTelnet
2.0fc1c2/Rolf Braun、日本語化:吉田昭男/フリーウェア
**●改良が図られたtelnetクライアント**
「NCSA Telnet」をもとにRolf Braun氏が開発している「BetterTelnet」の日本語対応版。Favoriteメニューが独立して設けられているため、メニューから選択するだけで、よく利用するコンピューターに接続可能。



### ★Digital Site
1.6.6J/日浦勝昭/シェアウェア(2,500円)
**●ワープロ感覚のHTMLエディター**
HTMLタグや文法の知識は必要なく、WYSIYNGにより仕上がりを確認しながらホームページを作成できる。

### Fetch日本語版
3.0.3J2/ハートコンピュータ（株）/シェアウェア（2,500円）
**●高機能ファイル転送ソフト**
ファイルの拡張子や使いたいプログラムを登録すれば、ファイルタイプとクリエーターを自動的に設定する。日本語版では、漢字コードの自動変換に対応している。対応漢字コードはJIS、シフトJIS、EUC。

### FreePPP
2.6.2/Rockstar Studios and the FreePPP Group/フリーウェア
**●接続の操作がメニューから行なえる**
複数の接続先の情報を管理できるほか、詳細な転送レートのリアルタイム表示ができる。モデムやTAの初期化コマンドはユーザーレベルで入力するので、ATコマンドを使った細かい設定が可能だ。

### ★IPNetMonitor
2.3/Sustainable Softworks/シェアウェア（20ドル）
**●ネットワーク診断ツール**
TCP/IPネットワーク環境の状況を詳細に表示。さまざまな機能を併せ持つネットワーク診断ツール。UNIX環境でのping、traceroute、finger、nslookup相当の操作が行なえるほか、TCP/IPパケットの送受信状況や接続状況をリアルタイムでモニターできる。

### ★IRcat
0.5/0.6b9/田上敦士/フリーウェア
**●IRCチャットクライアントソフト**
簡単な設定で、インターネットを使ったチャットが楽しめる。日本語のインライン入力もサポート。

### MailKanjiFixer
1.4/伊東秀喜/シェアウェア（メール）
**●文字化け修復ツール**
漢字コードが文字化けしてしまったメールやテキストの文字化けを可能なかぎり修復する。

### PageSpinner
0.5／0.6b2/Optima System/シェアウェア（25ドル）
**●初心者でも扱えるHTMLエディター**
最高18個まで独自のタグを作ることが可能。また、書体の設定もツールバーで簡単に行なえる。

### PerMan Surfer波乗野郎
3.14/(株)ビー・ユー・ジー/シェアウェア(6,800円)
**●ホームページ自動巡回ソフト**
指定時刻に、登録したURLの更新チェックやデータのダウンロードを行なう。マルチセッションに対応。

### URL Manager Pro
2.5.1J/Alco Blom/シェアウェア(3,500円)
**●ブックマーク管理ユーティリティ**
高機能なブックマーク管理ツール。ブックマークの取り込み・書き出しはもちろん、ブックマーク内でのソートや検索、重複したURLの削除、アウトライン表示、メールアドレスやURLの抽出が可能。

## グラフィック

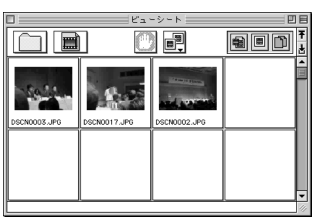
### ComebackImage
2.6.2.1/青木康雄/シェアウェア(2,500円)
**●多彩な機能を持つフォトレタッチソフト**
フルカラー対応のフォトレタッチソフト。PICTやJPEGのほか、一部のデジタルカメラで採用されているJ6I形式の画像ファイルも開くことができる。

### GIFConverter
2.4.4/Kevin A. Mitchell/シェアウェア（30ドル）
**●画像ファイルコンバーター**
GIFをはじめ、PICT、JPEG、TIFF、RIFFなど主要形式に対応。簡単なレタッチ、スライドショー機能もある。

### ★GraphicConverter
3.7/Lemke Software/Thorsten Lemke/シェアウェア（35ドル）
**●画像変換&描画ソフト**
Windows標準のBMP形式をはじめ、AmigaからUNIXまで、さまざまなOSで使われている画像ファイルフォーマットを開くことができる画像変換ツール。ペイントツールあるいは画像レタッチソフトとしての機能もあり、スライドショーもできる。

### ★ImageViewer
5.0.2J/5.1/Plato Grande Software/Kevin Wleklinski/シェアウェア（25ドル）
**●使い勝手に優れた画像コンバーター**
GIF、JPEG、PICT、TIFFの4形式に対応した画像ビューワー。相互の形式に変換することもできる。大量の画像ファイルを一度に表示したり、簡単に整理するための機能が備わっている。

### ★Photonick
1.7.2/田中康之/フリーウェア
**●デジカメに適した画像処理ソフト**
デジタルカメラによく見られる歪曲収差を補正する機能などを持つ、高機能な画像処理ソフト。PICT、JPEG、CAM、プログレッシブJPEG形式の画像を読み込んで、エッジ強調、色強調などの画像調整、フィルター、マスク処理ができる。




### PixelCat
1.6.9b5/BombCat,Yoshiki（DreamField）/フリーウェア
●日本特有の画像フォーマットに対応した画像ビューワー＆コンバーター
PICT、Compressed PICT、BMP、GIFなどのほか、Doga PIC、G68、MAGなどの画像フォーマットに対応している画像ビューワー兼コンバーター。

### QuickNailer
1.7.1/Stephen Baber/シェアウェア（18ドル）
**●画像／ムービーデータの管理ツール**
ドラッグ＆ドロップで画像およびムービーファイルを探し出して、サムネイルウィンドウを開いて一覧表示する。表示できる形式はPICT、JPEG、GIF、QuickTimeムービー（MooV）、Photoshop2.5（8BPS）、QuickTime Image（qtif）、clipping（clpp）など。

### ★RenderBoy
2.2.0/Vista Systems （Paul Rybarczyk）/シェアウェア（25ドル）
**●3Dレンダリングソフト**
球や直方体などを組み合わせ、比較的簡単な操作で、ハイクオリティな3D画像が作成できる。

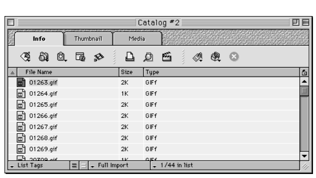
### ShareDraw
2.01/Peirce Software/シェアウェア（24.95ドル）
**●ドロー系描画ソフト**
24ビットカラー対応のドロー系描画ソフト。ひし形ツールや円弧ツールなどの描画ツール、シアーツールやディストートツールなどの変形ツールは市販のソフトに匹敵する機能をもつ。

### SketchBook
2.5/木村渋太郎/シェアウェア（3,500円）
**●楽しいペイントソフト**
絵心がなくても初心者でも簡単に絵が描けるペイントソフト。

## マルチメディア

### Animation Maker
3.2J/VOGET SELBACH ENTERTAINMENT/シェアウェア（25ドル）
**●簡単なアニメーションを作成**
ペイントツールやボタン操作などが主体の、手軽な動画作成ソフト。GIFやPICS形式での保存ができる。

### GIfBuilder
0.5/Yves Pigue/フリーウェア
**●アニメーションGIF作成**
簡単な操作でアニメーションGIFのデータが作成できるオーサリングソフト。




### iView Multimedia
3.7/Script Software International/シェアウェア（25ドル）
**●シンプルで強力な画像カタログソフト**
1カタログで8,000までの画像を管理することができる画像カタログ管理ツールで、作成可能なカタログ数には制限がない。サポートしている画像形式はPICT、JPEG、GIF、Photoshopなど。

### MooVer
1.6J/esp Software/Eduard Schwan/シェアウェア（10ドル）
**●ドラッグ＆ドロップでムービー作成**
PICTファイルやサウンドファイルをドラッグ＆ドロップするだけで、QuickTimeムービーを作成することができる。ムービーのサイズは最初にドロップされた画像の大きさで決定され、カラー階調は256色（8bitカラー）、あるいは1670色（24bitカラー）に設定できる。

### Morpher
2.0/藤宮昌和/シェアウェア（2,000円）
**●モーフィングムービー作成ソフト**
2つのPICT形式の画像を取り込み、最初と最後の画像をベースにして連続的に変化するQuickTimeムービーまたはPICS形式の動画を作成する。

### ★OneApp Slide Show
5.0/OneApp Software/シェアウェア（25ドル）
**●マルチメディアプロジェクタ**
QuickTime、QuickTime VR、AIFFサウンドなどさまざまな画像形式に対応したプレゼンテーションソフト。

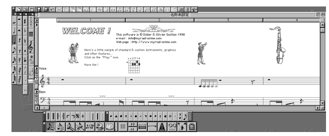
### ★Play it Cool
3.3.1J/Russell Clarke/シェアウェア（2,000円）
**●QuickTimeムービー再生ソフト**
QuickTimeムービーの再生と編集ができ、画像やサウンドファイルを開くことも可能なユーティリティソフト。

## サウンド

### ConvertMachine
1.2v1J/Rod Kennedy/シェアウェア（1,200円もしくは15ドル）
**●サウンドファイルのフォーマット変換ツール**
ドラッグ＆ドロップするだけでサウンドファイルを変換できる、「SoundMachine」と同じ作者によるユーティリティ。AIFF/AIFC、AU、WAVE、システムサウンド、QuickTimeオーディオなどを相互に変換可能。ステレオをモノラルにすることもできる。圧縮比率やサンプルレートも自由に設定可能。

### MacAmp Lite
1.5.2/@soft/シェアウェア（10ドル）
**●オーディオプレイヤーMacAmpの簡易版**
MP3をはじめとする各種サウンドフォーマットに対応し、モジュール追加でさらに機能アップも可能。

### ★Melody Assistant
4.0/Didier & Olivier Guillion（MYRIAD SARL）/シェアウェア（15ドル）
**●フランス生まれの高機能な楽譜編集・作曲ソフト**
「.kar」を含むMIDI形式やMOD形式などのサウンドファイルも開け、ユーザー登録すると、AIFF、WAVE形式での書き出しも可能になる。



### MIDIGraphy
1.4.2/前田昌雄/シェアウェア（2,000円または20ドル）
**●多機能なシーケンスソフト**
内部データ構造などが、すべて標準MIDIファイルフォーマットの規約に基づいて作られているシーケンスソフト。RCP、SNGファイルの読み込みもサポートしているほか、LHA圧縮ファイルは解凍しなくても読み込むことができる。

### MPEG Audio Realtime Player
1.74/Oliver Dreer/フリーウェア
**●MP3の再生が可能なサウンドプレーヤー**
CDとほぼ同じ音質を保ちながら、12分の1のサイズまでデータを圧縮することができるMP3（Layer3）方式のサウンドファイルを再生する。圧縮比の低いLayer1（1/4程度）やLayer2（1/6～1/8程度）にも対応している。

### ★PlayerPRO
5.3/Antoine ROSSET/フリーウェア
**●さまざまなフォーマットに対応した再生・編集ソフト**
MOD形式のサウンドファイルの再生・編集ソフト。そのほかにS3M、Mldl、MTM、MADx、OKTA、snd、WAV、AIFF、AIFC、MED、XMの各フォーマットを読み込んで再生することができる。また、演奏中の曲情報が波形やインジケーター形式で視覚的に表示できる。

**SndSampler**
3.7.1/Alan Glenn/シェアウェア(20ドル)
**●録音＆サウンド編集ツール**
シンプルな録音機能にあわせ、サウンド編集機能を搭載した強力なツール。さまざまなエフェクトやレートの変更などが可能。

**Sound Sculptor II**
2.4.1/Jeff Smith/シェアウェア(30ドル)
**●8トラックまで使えるサウンドエディター**
8トラックステレオサウンドまでの再生および編集が可能で、ファイル形式はAIFF、System 7サウンド、WAVE、Sound Designer II、Sound Editに対応している。

**SoundApp**
2.6.1J/Norman Franke/フリーウェア
**●サウンド再生ツールの決定版**
AIFF、AU、WAVE、MP3などのさまざまな音声フォーマットに対応したサウンド再生ツール。また、System 7サウンド、Soundスーツケース、WAVE、AIFF、NeXTの各フォーマットへの変換もサポートしている。

**SoundMachine**
2.7.1J/Rod Kennedy/シェアウェア(1,200円もしくは15ドル)
**●サウンドプレーヤー**
サウンド再生ユーティリティm-law(mu-law)、AIFF、WAVEなどのオーディオフォーマットを再生するサウンドファイルプレーヤー。

## データベース＆メモ

**ForceEngineII**
1.7.2/上田篤史/シェアウェア(3,800円)
**●カード型データベースの定番**
現在さまざまなニーズに対応できるように、3種類のシリーズとしてリリースされているデータベースソフト。ベースファイルと呼ばれる設計ずみのカード（テンプレート）が、Genesisというフォルダに11種類備わっている。これらをそのまま利用することができ、変更を加えてカスタマイズすることも可能。もちろん、まったくオリジナルな様式のカードを設計することもできる。

**Gramotki**
1.5.9J/Troy Magazine/シェアウェア(3,200円)
**●高機能なスティッキーズ代替ソフト**
テキスト以外に画像やサウンドの貼り付けもできるメモ、一覧リスト、カレンダーがセットになっている。

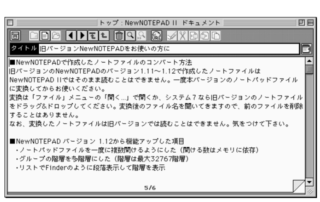
**Idea Keeper**
1.5023/Glenn Berntson/シェアウェア(30ドル)
**●高機能なメモ帳**
ひらめいたアイデアを書き留めたり、To Do（しなければならない事柄）のリストアップにも利用できる高機能なメモ帳。いくつかのメモをトピックスというグループで体系化することができるのをはじめ、修飾文字の使用もサポートしており、さらにひとつのノートウィンドウからほかのウィンドウやファイルにリンクを張ることも可能。

**★まみむメモ（memo）**
1.61/伊藤日出夫/シェアウェア(金額任意)
**●メモ用紙とカレンダーを兼ね備えたスケジューラソフト**
ホワイトボードにピンなどで留めていくような感覚で、日付入りのメモを利用できる。基本的にはメモパッド（メモ用紙の束）、それを貼り付けるマンスリーカレンダー（月間予定表）とウィークリーカレンダー（週間予定表）、不要になったメモを捨てるためのゴミ箱、および貼り付けられたメモ用紙の編集用ウィンドウ（デイパッド）で構成されている。

**メモゼリー（Memojelly）**
1.9.0/落合徹/シェアウェア（1,500円）
**●生きてるように動き回るゼリー状のメモ帳**
テキスト、画像、音声などのデータをドラッグ＆ドロップして保存。検索やパスワード設定機能も完備。

**Memorize**
4.4/清水友彦/シェアウェア（2,000円）
**●定番PIMソフト**
PIMソフトの定番。スケジュールの登録やメモなどの基本機能に加えて、画像の表示やURLの管理能力を持つ。高機能でありながら簡単に使えるため、愛用者も多い。

**★NewNOTEPAD II**
1.8.1/久浦広樹/シェアウェア（2,500円学生は無料）
**●高機能メモソフト**
メモの記述と管理機能を統合したメモソフト。フォルダーの中にメモファイルを保存するように、ウィンドウの中にいくつもメモを登録できる。フォルダーの追加もできるので、複数のメモを整理する際に便利。



**ScrapIt Pro**
5.4.4/John V. Holder/シェアウェア（20ドル）
**●さまざまな形式のファイルをスクラップ／一覧できる**
スクラップするデータに名前を付け、それで検索して速やかに表示させることができる。また、保存したすべての項目をギャラリー形式で一覧表示させたり、スライドショー形式によって順に表示させることも可能。ストックできるデータは、テキスト、画像、サウンドはもとより、ムービーやQuickDraw 3Dのファイルでもよい。

## デスクトップデコレーション

**DarkSide of the Mac**
5.0.5J/Tom Dowdy/シェアウェア(20ドル)
**●9カ国語対応のスクリーンセーバー**
AfterDarkモジュールも利用可能なアプリケーションタイプのスクリーンセーバー。48種類のモジュールを同梱。

**Icon Machine**
1.6.2J/David Catmull/シェアウェア(2,600円)
**●アイコンをカスタマイズ**
ファインダーアイコンをカスタマイズするアイコンエディター。

**IconShop**
2.0/木村洪太郎/シェアウェア(3,200円)
**●アイコンの編集ができるアイコンエディター**
ドラッグ＆ドロップでライブラリ登録ができ、アイコンの編集が可能なアイコンエディター。

**Kaleidoscope**
2.2J/Greg Landweber,Arlo Rose and Edward Voas/シェアウェア（25ドル）
**●デスクトップカスタマイズユーティリティ**
Macの見た目のデザインを過激にカスタマイズしてくれるユーティリティ。2.0でスクロールアローのダブル化やデスクトップパターンとの連動化機能が加わった。




**★Kineticon**
1.6.1J/Kinetic Creations/シェアウェア(1,800円)
**●アニメアイコンを表示する**
26種類のサンプルアイコンが同梱されているほか、Kineticon Editorでオリジナルアイコンも作成可能。

**★MacDim**
2.2J/Ibrium HB/フリーウェア
**●シンプルなスクリーンセーバー**
画面を薄暗くするほか、選択ファイルの起動／スリープも可能。パスワード機能も備わっている。

**Pattern Manager**
1.5.2/Sterling Augustine/フリーウェア
**●画像ファイルから手軽にデスクトップパターンを作る**
一般のグラフィックツールで行なうと面倒な作業を、すべて簡単に処理してくれる。プレビュー機能がやや弱いのが残念だが、オリジナルのデスクトップパターンを作るのに役立つ。

**★Window Monkey**
1.3J/Tiger Technologies/シェアウェア(2,800円)
**●ウィンドウパターンを付加**
ウィンドウのなかにパターンを貼るコントロールパネル。

**★デスクトップピンナップ**
2.6.0/落合徹/シェアウェア（1,000円）
**●デスクトップピクチャを自動切り換え**
高度な機能を持ったデスクトップピクチャ貼りつけツール。一定時間ごとに画像を切り換える、貼り付けた画像に枠を付けるなど、機能が満載だ。

CD-ROM MACLIFE収録のフリーウェアに関して以下のことに注意してください
※シェアウェアは、無料のソフトではなく、継続して使用する場合に一定の対価を必要とするソフトです。シェアウェアのソフトを気に入って継続使用する場合には、対価を必ず支払いましょう。それが、新しい、有用なソフトのさらなる開発につながります。なお、対価は、お金の場合のほか、さまざまな条件の場合があるので、詳しくは当該ソフトに付属する文書をお読みください。